

講義内容2009

法学部

KOMSYについて

“KOMSY”とは、本学シラバス管理システムの愛称です。
駒澤大学ホームページトップ「在学生・教職員の方」から「講義内容検索KOMSY」でログイン画面が開けます。

KOMSYで出来ること

- ・ 冊子と同じ講義内容が登録されています。
- ・ 授業各回のより具体的な内容や補足、その他ホームページへのリンクなどがあります。
- ・ 担当教員へ授業内容等についての質問メールを送信することが出来ます。また、その質問内容は掲示板形式で閲覧することも可能です。
※ 詳細情報は、入力されていない科目もあります。

KOMSYを利用するための準備

KOMAnetの「ユーザID」が必要となります。総合情報センターで取得申請を行ってください。

- ※ KOMSYの初期パスワードは、生年月日です。たとえば、昭和63年4月2日生まれの場合、パスワードは「19880402」です。

詳しくは『KOMSY利用の手引き』をご覧ください。

(駒澤大学) <http://www.komazawa-u.ac.jp/>

講 義 内 容

『講義内容』の見方(2)
 参 考(4)

目次案内

法律学科フレックスA・政治学科

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目(17)
 2. 教養教育科目(18)
 3. 外国語科目(24)
 4. 保健体育科目(31)

II 専門教育科目

1. 法律学科(35)
 2. 政治学科(39)

III 他学部履修科目(43)

IV 「日本語」・「日本事情」科目(44)

V 随意科目(45)

法律学科フレックスB

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目(46)
 2. 教養教育科目(47)
 3. 外国語科目(48)
 4. 保健体育科目(50)

II 専門教育科目(51)

III 他学部履修科目(54)

IV 随意科目(55)

| | | |
|-----------------|-----------------|----------------------------------|
| 法律学科フレックスA・政治学科 | 全学共通科目 | 宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 法 |
| | 専門教育科目 | 法律 政治 |
| | 履修科目 | 他学部 |
| | 「日本語」 「日本事情」 | 日本語 |
| | 随意科目 | 「随意科目」 |
| 法律学科フレックスB | 全学共通科目 | 宗教教育 教養教育 外国語 保健体育 |
| | 専門教育科目 | 他学部 |
| | 履修科目 | 他学部 |
| | 随意科目 | 「随意科目」 |
| | 「日本語」 「日本事情」 | 日本語 |

『講義内容』の見方

- 1、『講義内容』は、『履修要項』（別冊）、『授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
- 2、『講義内容』は、法学部で開講されている全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、所属する学科で開講されている科目のみです。
（この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。）
- 3、履修できる科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）に掲載されている科目です。
『授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 4、外国語科目の再履修クラスを履修する場合は、教務部①番窓口で『外国語再履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 5、他学部履修科目を履修する場合は、教務部①番窓口で『他学部履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『講義内容』を閲覧してください。
- 6、教職課程・資格講座に登録している場合は、教務部で『講義内容（教職課程・資格講座）』と『課程各講座授業時間表』を受け取ってください。

※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

～『講義内容』の利用手順～

①『履修要項』（別冊）を参照し、「授業科目の区分」や「履修できる科目」を調べる。

②『授業時間表』（別冊）を参照し、履修したい科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

| 曜日時限 | 科目名 | 担当者名 | コード | 備考 | 区分 | 教場名 |
|------|-------|-------|--------|------|----|-------|
| 月 1 | 仏教と人間 | 駒澤 太郎 | 111111 | 法A1必 | | 玉-111 |

↑
※履修コード

③『講義内容』の目次ページから、同様の履修コードを探し、ページを開く

（『講義内容』目次ページの記載例）

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------|-------|--------|-----|
| 仏教と人間 | 駒澤 太郎 | 111111 | 1 |

↑
※

④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認した上で、授業内容を閲覧する。

（『講義内容』科目枠の記載例）

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 111111 ←※ |
| 科目名 | 仏教と人間 |
| 担当者名 | 駒澤 太郎 <small>こまざわ たらう</small> |

～法律学科所属の学生へ～

◎「法律学科フレックスA」に所属の学生

フレックスB時間帯（月～金 6・7 時限、土 3～7 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『講義内容』の法律学科フレックスBのページ（冊子の後半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

◎「法律学科フレックスB」に所属の学生

フレックスA時間帯（月～金 1～5 時限、土 1～4 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『講義内容』の法律学科フレックスAのページ（冊子の前半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

参 考

外 国 語 科 目

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II D

〈英語 II D の授業内容と履修上の留意点〉

専門学部にあった英語のテキストを用いおこなう講読の授業です。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 II

〈英会話 II の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話 I のレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準 1 級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 III

〈英会話 III の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話 II のレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検 1 級合格、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L I

〈英語 L L I の授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器 (1号館 3・4階 P C 教場) を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L II

〈英語 L L II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：L L I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準 1 級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L III

〈英語LLⅢの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が開き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、授業内試験・期末試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の文章を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならばほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既習の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円／『コンパクト版』(2004年) 2,600円
また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の3点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

松岡榮志他『超級クラウン中日辞典』(2008年 三省堂) 6,000円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

对外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

相原茂『講談社日中辞典』(2006年 講談社) 7,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

ロシア語学習上役に立つサイトを次に紹介します。

まず、学習の成果を確認するには検定試験を受けることをおすすめ。

東京ロシア語学院のサイト www.tokyorus.ac.jp をクリックすると、応募のしかた、場所がわかります。また、同じサイトでロシア語のOSの基本的使い方、ウインドウズ日本語版でロシア語のうち方などの情報を得ることができます。ロシア語のキーボードが打てるようになったら、知りたい情報をロシア語で次のアドレスに打てば、様々な情報を詳しく得ることができます。www.gogo.ru

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

| | 1時限(政治) | | 2時限(法律) | | 3時限(法律) | |
|-----|---------|-------|---------|-----------|---------|--------|
| 水曜日 | ※牧野 | 室内球技 | ※大石 | ミニサッカー | ※山口 | 室内球技 |
| | 大石 | 簡化太極拳 | 竹田 | 体操・トランポリン | 秋田 | 卓球 |
| | 秋田 | サッカー | 牧野 | 室内球技 | 大石 | ミニサッカー |
| | 山口 | 卓球 | | | | |

※は、科目の主担当者

「健康・スポーツ実習(集中授業)」開講科目一覧

集中開講科目は、前期・後期の両方を受講する必要があります。

また、前期と後期で受講する科目が変わります。科目の選択を第1回目の授業で行いますので、必ず参加してください。

《日程》 前期：7月18日(土)～22日(水) 後期：1月4日(月)～8日(金)

《時間》 10:00～12:00・13:00～15:30

(於：玉川校舎)

| 前期 | | 後期 | |
|-----|--------|----|--------|
| ※山口 | 室内球技 | 鈴木 | 卓球 |
| 末次 | ダブルダッチ | 高橋 | ソフトボール |
| 大石 | 太極拳 | 岩本 | 屋外球技 |
| 牧野 | バドミントン | 村松 | 室内球技 |

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習 I～IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

| | | 月 曜 日 | 火 曜 日 | 水 曜 日 | 木 曜 日 | 金 曜 日 | | | | |
|-----|---|-------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 1時限 | | | | | | | | | | |
| 2時限 | 渡 | 前期・基礎 | 大 石 | 前期・応用 | 下 谷 内 | 前期・基礎 | 村 松 | 前期・応用 | 牧 野 | 前期・応用 |
| | | 室内球技 | | ミニサッカー | | 室内球技 | | 卓球 | | バスケットボール |
| | 辺 | 後期・基礎 | | 後期・応用 | | 後期・基礎 | | 後期・応用 | | 後期・応用 |
| | | 室内球技 | | ミニサッカー | | 室内球技 | | 卓球 | | バスケットボール |
| 3時限 | 渡 | 前期・応用 | 大 石 | 前期・基礎 | 下 谷 内 | 前期・基礎 | 末 次 | 前期・基礎 | 牧 野 | 前期・基礎 |
| | | 室内球技 | | 簡化太極拳 | | 室内球技 | | ダブルダッチ | | バスケットボール |
| | 辺 | 後期・応用 | | 後期・基礎 | | 後期・基礎 | | 後期・基礎 | | 後期・基礎 |
| | | 室内球技 | | 簡化太極拳 | | 室内球技 | | ダブルダッチ | | バスケットボール |
| 4時限 | 渡 | 前期・応用 | | | | 末 次 | 前期・応用 | | | 前期・応用 |
| | | 室内球技 | | | | | 室内球技 | | | |
| | 辺 | 後期・応用 | | | | | 後期・応用 | | | |
| | | 室内球技 | | | | | 室内球技 | | | |

外国語科目

英語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびます。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

英語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

英語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段階から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

英語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

英会話 I・II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度です。

英語 LL I・II

情報メディア機器 (1号館 3・4階のPC教場) を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL® で450点、TOEIC® 500点、英検 2 級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、授業内試験・期末試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、試験のときだけ一夜漬けて乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の文章を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既習の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのももちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまえば、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習のパートナーとして息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円／『コンパクト版』(2004年) 2,600円
また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の3点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

松岡榮志他『超級クラウン中日辞典』(2008年 三省堂) 6,000円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

相原茂『講談社日中辞典』(2006年 講談社) 7,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

ロシア語学習上役に立つサイトを次に紹介します。

まず、学習の成果を確認するには検定試験を受けることをおすすめ。

東京ロシア語学院のサイト www.tokyorus.ac.jp をクリックすると、応募のしかた、場所がわかります。また、同じサイトでロシア語のOSの基本的使い方、ウインドウズ日本語版でロシア語のうち方などの情報を得ることができます。ロシア語のキーボードが打てるようになったら、知りたい情報をロシア語で次のアドレスに打てば、様々な情報を詳しく得ることができます。www.gogo.ru

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

| | 月 曜 日 | | 火 曜 日 | | 水 曜 日 | | 木 曜 日 | |
|-------------|-------|--------|-------|-----------|-------|--------|-------|-----------|
| 6 時 限 | | | | | | | 村 松 | 健康・スポーツ論* |
| 7 時 限 | 大 石 | ミニサッカー | 三 幣 | 健康・スポーツ論* | 村 松 | バドミントン | | |

*時間表で教場を確認のこと。

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------|--------|--------|-----|
| 仏教と人間 | 晴山 俊英 | 204101 | 7 |
| 仏教と人間 | 池田 練太郎 | 204201 | 7 |
| 仏教と人間 | 佐藤 秀孝 | 204301 | 8 |
| 仏教と人間 | 石井 清純 | 204401 | 8 |
| 仏教と人間 | 菅原 壽清 | 204501 | 9 |
| 仏教と人間 | 渡部 正英 | 204601 | 9 |
| 仏教と人間 | 岡部 雅明 | 204701 | 10 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 吉津 宜英 | 205701 | 10 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 角田 泰隆 | 205801 | 11 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 大谷 哲夫 | 205901 | 11 |
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 晴山 俊英 | 206001 | 11 |

2. 教養教育科目

・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|------------------|--------|--------|-----|
| 文学〔日本文学「古典」〕 | 塩崎 真理子 | 206601 | 15 |
| 文学〔日本文学「古典」〕 | 坂口 博規 | 206901 | 15 |
| 文学〔日本文学「日本のことば」〕 | 相澤 貴之 | 206701 | 16 |
| 文学〔日本文学「近代」〕 | 石割 透 | 207001 | 16 |
| 文学〔日本のことば〕 | 萩原 義雄 | 207201 | 17 |
| 文学〔外国文学「アメリカ文学」〕 | 田中 保 | 207301 | 18 |
| 文学〔外国文学「ロシア文学」〕 | 杉山 秀子 | 207401 | 18 |
| 歴史学〔日本中世史〕 | 今野 慶信 | 207801 | 18 |
| 歴史学〔東アジア考古学〕 | 千葉 基次 | 207901 | 19 |
| 歴史学〔古代オリエント史〕 | 大城 道則 | 208001 | 19 |
| 歴史学〔西洋近代史〕 | 土方 史織 | 208101 | 20 |
| 歴史学〔日本近世史〕 | 出口 宏幸 | 208201 | 20 |
| 歴史学〔日本近代史〕 | 立川 章次 | 208301 | 20 |
| 芸術学〔日本美術〕 | 北野 良枝 | 208401 | 21 |
| 芸術学〔西洋美術〕 | 矢野 陽子 | 208501 | 21 |
| 芸術学〔音楽〕 | 浦本 裕子 | 208601 | 22 |
| 哲学〔西洋思想の源流〕 | 滝口 清栄 | 208701 | 22 |
| 哲学〔西洋思想の源流〕 | 佐藤 暁 | 208801 | 23 |
| 哲学〔西洋思想の源流〕 | 佐藤 暁 | 208901 | 23 |
| 哲学〔近代の人間観と世界観〕 | 古田 知章 | 209001 | 23 |
| 哲学〔近代の人間観と世界観〕 | 佐藤 暁 | 209101 | 24 |
| 哲学〔近代の人間観と世界観〕 | 小島 優子 | 209201 | 24 |
| 哲学〔現代文明と人間〕 | 黒崎 剛 | 209301 | 25 |
| 哲学〔現代文明と人間〕 | 滝沢 正之 | 209401 | 25 |
| 哲学〔現代文明と人間〕 | 麻生 享志 | 209501 | 26 |
| 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 | 鈴木 聡 | 209601 | 26 |
| 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 | 山口 祐弘 | 209701 | 27 |
| 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 | 鈴木 聡 | 209801 | 26 |
| 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 | 滝口 清栄 | 209901 | 27 |
| 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 | 鈴木 聡 | 210101 | 26 |
| 論理学〔知の技法〕 | 伊古田 理 | 210001 | 28 |
| 論理学〔知の技法〕 | 小島 優子 | 210201 | 28 |
| 科学史〔科学と技術〕 | 高橋 秀裕 | 210401 | 29 |
| 科学史〔近代科学の成立と展開〕 | 高橋 秀裕 | 210501 | 29 |
| 倫理学〔人間観〕 | 古田 知章 | 210601 | 30 |
| 倫理学〔応用倫理学〕 | 黒崎 剛 | 210701 | 30 |
| 倫理学〔応用倫理学〕 | 滝沢 正之 | 210901 | 31 |
| 倫理学〔応用倫理学〕 | 黒崎 剛 | 211111 | 30 |
| 倫理学〔価値観〕 | 久保 陽一 | 210801 | 31 |
| 倫理学〔制度とモラル〕 | 滝口 清栄 | 211001 | 32 |
| 倫理学〔東洋倫理〕 | 末木 恭彦 | 211101 | 32 |
| 宗教学〔比較宗教文化〕 | 池上 良正 | 211201 | 33 |
| 宗教学〔聖と俗〕 | 田中 かの子 | 211301 | 33 |
| 宗教学〔世界観と儀礼〕 | 小川 順敬 | 211401 | 34 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|--------------|-------|--------|-----|
| 宗教学〔日本人の宗教〕 | 矢野 秀武 | 211501 | 34 |
| 宗教学〔生活と宗教〕 | 菅原 壽清 | 211511 | 35 |
| 宗教学〔民俗宗教の諸相〕 | 星野 靖二 | 211521 | 35 |
| 人文地理学〔風土と文化〕 | 山口 太郎 | 211601 | 36 |
| 人文地理学〔風土と文化〕 | 櫻井 明久 | 211701 | 36 |
| 人文地理学〔空間と行動〕 | 伊藤 慎悟 | 211801 | 37 |
| 人文地理学〔空間と行動〕 | 伊藤 修一 | 211901 | 37 |
| フレッシュマンセミナー | 湯浅 陽子 | 357001 | 38 |
| フレッシュマンセミナー | 萩原 義雄 | 357101 | 39 |
| フレッシュマンセミナー | 佐原 作美 | 357201 | 40 |
| フレッシュマンセミナー | 鈴木 裕子 | 357301 | 40 |
| フレッシュマンセミナー | 坂口 博規 | 357401 | 40 |
| フレッシュマンセミナー | 蘭部 幹生 | 357501 | 41 |
| フレッシュマンセミナー | 石割 透 | 357601 | 41 |
| フレッシュマンセミナー | 小林 治 | 357701 | 42 |
| フレッシュマンセミナー | 松田 直行 | 357801 | 42 |
| フレッシュマンセミナー | 湯浅 陽子 | 357811 | 43 |
| 日本文化基礎 | 佐原 作美 | 357901 | 43 |
| 日本文化基礎 | 鈴木 裕子 | 358001 | 44 |
| 日本文化基礎 | 湯浅 陽子 | 358101 | 44 |
| 日本文化基礎 | 蘭部 幹生 | 358201 | 45 |
| 日本文化基礎 | 石割 透 | 358301 | 45 |
| 日本文化基礎 | 小林 治 | 358401 | 46 |
| 日本文化基礎 | 松田 直行 | 358501 | 46 |
| 日本語文化基礎 | 萩原 義雄 | 358901 | 47 |
| 日本語文化基礎 | 湯浅 陽子 | 358911 | 48 |
| 日本文化研究IA | 佐原 作美 | 169701 | 49 |
| 日本文化研究IA | 坂口 博規 | 171101 | 49 |
| 日本文化研究IA | 鈴木 裕子 | 171201 | 49 |
| 日本文化研究IA | 蘭部 幹生 | 172001 | 50 |
| 日本文化研究IB | 石割 透 | 170201 | 50 |
| 日本文化研究IB | 小林 治 | 175501 | 51 |
| 日本文化研究IB | 松田 直行 | 215711 | 51 |
| 日本文化研究IIA | 佐原 作美 | 359001 | 52 |
| 日本文化研究IIA | 鈴木 裕子 | 359101 | 52 |
| 日本文化研究IIA | 坂口 博規 | 359201 | 52 |
| 日本文化研究IIA | 蘭部 幹生 | 359301 | 53 |
| 日本文化研究IIB | 石割 透 | 359701 | 53 |
| 日本文化研究IIB | 小林 治 | 359801 | 54 |
| 日本文化研究IIB | 松田 直行 | 359901 | 54 |
| 日本語文化研究I | 萩原 義雄 | 170901 | 55 |
| 日本語文化研究I | 湯浅 陽子 | 215721 | 56 |
| 日本語文化研究II | 萩原 義雄 | 360601 | 57 |
| 日本語文化研究II | 湯浅 陽子 | 360701 | 58 |
| 実務表現 | 萩原 義雄 | 360901 | 59 |
| 実務表現 | 湯浅 陽子 | 361001 | 60 |
| 日本文化テーマ研究A | 佐原 作美 | 168901 | 60 |
| 日本文化テーマ研究A | 佐原 作美 | 168911 | 61 |
| 日本文化テーマ研究B | 佐原 作美 | 169001 | 61 |
| 日本文化テーマ研究B | 鈴木 裕子 | 169011 | 61 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------------|-------|--------|-----|
| 日本文化テーマ研究C | 坂口 博規 | 169101 | 62 |
| 日本文化テーマ研究C | 藪部 幹生 | 169111 | 62 |
| 日本文化テーマ研究D | 坂口 博規 | 169201 | 62 |
| 日本文化テーマ研究D | 藪部 幹生 | 169211 | 63 |
| 日本文化テーマ研究E | 石割 透 | 169301 | 63 |
| 日本文化テーマ研究E | 小林 治 | 169311 | 64 |
| 日本文化テーマ研究F | 石割 透 | 169401 | 64 |
| 日本文化テーマ研究F | 小林 治 | 169411 | 65 |
| 日本文化テーマ研究G (夏季集中) | 松田 直行 | 169501 | 65 |
| 日本文化テーマ研究H | 松田 直行 | 169601 | 66 |

(2) 社会分野

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------------|---------|--------|-----|
| 社会学〔現代社会を考える〕 | 南後 由和 | 215801 | 67 |
| 社会学〔現代社会を考える〕 | 呉 炳三 | 215901 | 67 |
| 社会学〔現代文化を考える〕 | 呉 炳三 | 216001 | 68 |
| 社会学〔現代文化を考える〕 | 牛島 千尋 | 216101 | 69 |
| 社会学〔社会生活を考える〕 | 小畑 和 | 216201 | 70 |
| 社会学〔社会生活を考える〕 | 呉 炳三 | 216301 | 70 |
| 統計学〔社会現象の統計的分析〕 | 田中 正光 | 216401 | 71 |
| 統計学〔社会現象の統計的決定〕 | 新行内 康慈 | 216501 | 71 |
| 文化人類学〔文化と人間〕 | 森 雅文 | 216701 | 72 |
| 文化人類学〔文化と人間〕 | 加藤 之晴 | 216801 | 72 |
| 文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 | 杉井 純一 | 216901 | 73 |
| 文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 | 森 雅文 | 217001 | 74 |
| 文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 | 鈴木 一馨 | 217101 | 75 |
| 文化人類学〔社会変化と価値観〕 | 小川 順敬 | 217201 | 75 |
| 文化人類学〔社会変化と価値観〕 | 内山 明子 | 217301 | 76 |
| 文化人類学〔社会変化と価値観〕 | 内山 明子 | 217401 | 76 |
| 法学・憲法〔法と社会生活〕 | 長谷川 日出世 | 217501 | 76 |
| 法学・憲法〔法と社会生活〕 | 和知 恵一 | 217601 | 77 |
| 法学・憲法〔法と社会生活〕 | 沼田 雅之 | 217701 | 78 |
| 法学・憲法〔法と社会生活〕 | 鷄徳 啓登 | 217801 | 79 |
| 法学・憲法〔法と国家〕 | 新田 浩司 | 218101 | 79 |
| 法学・憲法〔法と国家〕 | 新田 浩司 | 218201 | 79 |
| 法学・憲法〔法と国家〕 | 織田 晃子 | 218401 | 80 |
| 法学・憲法〔法と権利〕 | 沼田 雅之 | 217901 | 80 |
| 法学・憲法〔法と権利〕 | 茂野 隆晴 | 218501 | 81 |
| 法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中) | 池田 実 | 218601 | 81 |
| 政治学〔社会生活とデモクラシー〕 | 白鳥 浩 | 218701 | 82 |
| 政治学〔政治システムと政治参加〕 | 富崎 隆 | 218801 | 82 |
| 政治学〔国際社会と日本〕 | 山崎 望 | 218901 | 83 |
| 経済学〔現代社会と市場経済〕 | 梶中 貴 | 219001 | 83 |
| 経済学〔現代経済と人間〕 | 森田 成也 | 219101 | 84 |
| 経済学〔現代経済理解へのガイド〕 | 松前 龍宜 | 219201 | 84 |
| 経済学〔現代経済理解へのガイド〕 | 矢野 浩一 | 219301 | 85 |
| 社会科学論〔社会認識の思想〕 | 大石 雄爾 | 219401 | 85 |
| 教育学〔デス・エデュケーション〕 | 柳堀 素雅子 | 219501 | 86 |
| 教育心理〔大学生の心理〕 | 石橋 達也 | 219601 | 86 |

(3) 自然分野

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|---------------------------|---------------------------------|--------|-----|
| 生物学〔生態と進化〕 | 清水 善和 | 220201 | 87 |
| 生物学〔生態と進化〕 | 清水 善和 | 220301 | 87 |
| 生物学〔生物と環境〕 | 中村 敏枝 | 220401 | 87 |
| 地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕 | 加藤 潔 | 220501 | 88 |
| 地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕 | 山縣 毅 | 220601 | 88 |
| 地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕 | 山縣 毅 | 220801 | 88 |
| 地球科学〔地球システムと人間圏〕 | 澤口 隆 | 220701 | 89 |
| 地球科学〔自然景観の成り立ち〕 | 市川 清士 | 220901 | 89 |
| 地球科学〔自然景観の成り立ち〕 | 市川 清士 | 221001 | 89 |
| 自然環境論〔生命と環境〕 | 山縣 毅 | 221101 | 90 |
| 自然環境論〔生命と環境〕 | 山縣 毅 | 221201 | 90 |
| 自然環境論〔生命と環境〕 | 持丸 真里 | 221301 | 90 |
| 自然環境論〔生命と環境〕 | 持丸 真里 | 221401 | 90 |
| 自然環境論〔生命と環境〕 | 持丸 真里 | 221601 | 90 |
| 自然環境論〔生命と環境〕 | 中村 敏枝 | 221701 | 91 |
| 自然環境論〔地球・太陽系環境〕 | 坂野井 和代 | 221501 | 91 |
| 自然環境論〔生物の集団と環境〕 | 坂巻 義章 | 221801 | 92 |
| 自然環境論〔生物の集団と環境〕 | 坂巻 義章 | 221901 | 92 |
| 自然環境論〔生物の集団と環境〕 | 坂巻 義章 | 222001 | 92 |
| 自然誌〔現代の自然像〕 | 清水 善和 篠原 正雄 持丸 真里 山縣 毅 | 222201 | 92 |
| 自然誌〔現代の自然像〕 | 清水 善和 篠原 正雄 持丸 真里 山縣 毅 | 222301 | 92 |
| 数学〔微積分学入門〕 | 古宇田 悠哉 | 222401 | 93 |
| 数学〔線型代数学入門〕 | 古宇田 悠哉 | 222501 | 93 |
| 数学〔現代数学入門〕 | 福田 賢一 | 222601 | 94 |
| 情報数学〔情報と論理〕 | 坂野井 和代 | 222701 | 94 |
| 物理学〔光と物質〕 | 篠原 正雄 | 222801 | 95 |
| 物理学〔光と物質〕 | 篠原 正雄 | 222901 | 95 |
| 化学〔衣食住の化学〕 | 持丸 真里 | 223001 | 95 |
| 化学〔衣食住の化学〕 | 持丸 真里 | 223101 | 95 |
| 宇宙科学〔星と銀河〕 | 篠原 正雄 | 223201 | 95 |
| 宇宙科学〔星と銀河〕 | 篠原 正雄 | 223301 | 95 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 谷本 玲大 | 223401 | 96 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 山本 博信 | 223501 | 97 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 小川 健次郎 | 223601 | 98 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 谷本 玲大 | 223701 | 96 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 澤口 隆 | 223801 | 98 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 谷本 玲大 | 223901 | 96 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 山本 博信 | 224001 | 99 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 小川 健次郎 | 224101 | 98 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 谷本 玲大 | 224201 | 96 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 澤口 隆 | 224301 | 98 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) | 古宇田 悠哉 | 224401 | 100 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|---------------------------|--------|--------|-----|
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) | 山本 博信 | 224601 | 100 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) | 長坂 浩史 | 224701 | 101 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) | 小川 健次郎 | 224801 | 101 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) | 小川 健次郎 | 224901 | 101 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) | 谷本 玲大 | 225001 | 102 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) | 谷本 玲大 | 225201 | 103 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 坂野井 和代 | 225601 | 104 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 | 坂野井 和代 | 225701 | 104 |
| コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕 | 坂野井 和代 | 225801 | 104 |
| コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕 | 坂野井 和代 | 225901 | 104 |
| 人類学〔人類の進化〕 | 馬場 悠男 | 226001 | 105 |
| 人類学〔人類の進化〕 | 馬場 悠男 | 226101 | 105 |
| 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 | 高橋 良博 | 226201 | 105 |
| 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 | 本間 美智子 | 226301 | 105 |
| 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 | 加藤 博己 | 226401 | 106 |
| 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 | 杉山 雅美 | 226501 | 106 |
| 心理学〔人間関係を考える〕 | 高橋 良博 | 226601 | 107 |
| 心理学〔人間関係を考える〕 | 鈴木 順一 | 226701 | 108 |
| 心理学〔人間関係を考える〕 | 加藤 博己 | 226801 | 109 |
| 心理学〔人間関係を考える〕 | 鈴木 順一 | 226901 | 108 |
| 心理学〔心を科学する〕 | 高橋 良博 | 227001 | 109 |
| 心理学〔心を科学する〕 | 堀内 正彦 | 227101 | 110 |
| 心理学〔心を科学する〕 | 中丸 茂 | 227201 | 111 |
| 心理学〔心を科学する〕(夏季集中) | 深堀 友覚 | 227301 | 112 |

(4) 総合分野

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 総合I〔仏教と社会〕 | 熊本 英人 | 228201 | 113 |
| 総合I〔仏教と芸術〕 | 村松 哲文 | 228301 | 113 |
| 総合II〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕 | 清水 善和 漆原 和子 坂野井 和代 篠原 正雄 須山 聡 出口 宏幸 持丸 真里 柳澤 紀夫 山縣 毅 | 228501 | 114 |
| 総合III〔TOEFL (R) の問題で学ぶ知的教養〕 | 白鳥 義博 | 228801 | 114 |
| 総合III〔小説と映画で読み解く現代中国〕 | 塩旗 伸一郎 | 228901 | 115 |
| 総合IV〔現代アメリカ事情〕 | 林 明人 | 229001 | 115 |
| 総合IV〔新市民社会論〕 | 西村 祐子 | 229101 | 116 |
| 総合IV〔ポスト・モダンの世界〕 | 丸小 哲雄 | 229201 | 117 |
| 総合V〔イギリスの歴史と文化〕 | 石原 孝哉 | 229301 | 117 |
| 総合VI〔民族とは何か〕 | 大野 祐二 | 229601 | 118 |
| 総合VI〔イスラム〕 | 吉田 京子 | 229701 | 118 |
| 総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕 | 早川 紀代 | 229801 | 119 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|------------------|------------------------------------------------------|--------|-----|
| 総合VII〔トラブルと法的解決〕 | 中濱 義章 井上 健一 北野 かほる 佐藤 多美夫 中田 英幸 向田 正巳 | 229901 | 120 |
| 総合VII〔都市論〕 | 早川 純貴 響庭 伸 浦田 早苗 堀内 康史 村上 暁信 | 230001 | 121 |
| 総合VIII | 休講 | — | |

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-----------------|--------|--------|-----|
| 英語IA | 笹倉 貞夫 | 238001 | 125 |
| 英語IA | 田中 靖子 | 238101 | 125 |
| 英語IA | 本間 俊一 | 238201 | 125 |
| 英語IA | 飯沼 好永 | 238301 | 126 |
| 英語IA | 依田 里花 | 238401 | 126 |
| 英語IA | 西原 克政 | 238501 | 126 |
| 英語IA | 萩原 輝 | 238511 | 127 |
| 英語IA | 本間 俊一 | 238801 | 127 |
| 英語IA | 岩原 康夫 | 238901 | 128 |
| 英語IA | 依田 里花 | 239001 | 128 |
| 英語IA | 西原 克政 | 239101 | 128 |
| 英語IA | 萩原 輝 | 239201 | 129 |
| 英語IA〔基礎英語特別クラス〕 | 落合 和昭 | 240211 | 130 |
| 英語IB | 藤井 道行 | 244701 | 131 |
| 英語IB | 木元 喜久子 | 244801 | 131 |
| 英語IB | 海琳 泰子 | 244901 | 131 |
| 英語IB | 亀田 三重子 | 245001 | 131 |
| 英語IB | 海琳 泰子 | 245101 | 132 |
| 英語IB | 藤井 道行 | 245201 | 132 |
| 英語IB | 木元 喜久子 | 245211 | 132 |
| 英語IB | 木元 喜久子 | 245501 | 133 |
| 英語IB | 藤井 道行 | 245601 | 133 |
| 英語IB | 海琳 泰子 | 245701 | 133 |
| 英語IB | 岸本 茂和 | 245801 | 134 |
| 英語IB | 亀田 三重子 | 245901 | 134 |
| 英語IB〔基礎英語特別クラス〕 | 亀田 三重子 | 246931 | 134 |
| 英語IIA | 塚本 利男 | 252201 | 134 |
| 英語IIA | 西田 義和 | 252301 | 135 |
| 英語IIA | 渡部 孝治 | 252401 | 135 |
| 英語IIA | 山口 晃 | 252411 | 135 |
| 英語IIA | 石原 孝哉 | 252501 | 136 |
| 英語IIA | 狩野 晃一 | 252601 | 136 |
| 英語IIA | 古富 猛 | 252701 | 136 |
| 英語IIA | 風間 則比古 | 253001 | 137 |
| 英語IIA | 古富 猛 | 253101 | 137 |
| 英語IIA | 高見 陽子 | 253201 | 137 |
| 英語IIA | 永野 光一 | 253301 | 138 |
| 英語IIA | 落合 真裕 | 253311 | 138 |
| 英語IIB | 町田 成男 | 257801 | 138 |
| 英語IIB | 田中 保 | 257901 | 139 |
| 英語IIB | 三幣 友行 | 258001 | 139 |
| 英語IIB | 吉江 正雄 | 258011 | 140 |
| 英語IIB | 山口 晃 | 258101 | 140 |
| 英語IIB | 安齋 薫 | 258201 | 141 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------------------|---------------------------------|--------|-----|
| 英語IIB | 高橋 住江 | 258301 | 141 |
| 英語IIB | 大庭 直樹 | 258601 | 142 |
| 英語IIB | 尾形 重政 | 258701 | 142 |
| 英語IIB | 伊勢村 定雄 | 258801 | 143 |
| 英語IIB | 小泉 和弘 | 258901 | 143 |
| 英語IIB | 菅原 典子 | 258911 | 143 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 梅原 敏弘 | 260401 | 143 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 前田 脩 | 260501 | 144 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 岡本 誠 | 260601 | 144 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 吉沢 栄治郎 | 260701 | 144 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 田中 保 | 260801 | 145 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 林 明人 | 260901 | 145 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 白鳥 義博 | 261001 | 145 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 朝川 真紀 | 261101 | 146 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 川崎 笑佳 | 261111 | 146 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 熊沢 和明 | 261501 | 147 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 高野 秀夫 (後期) ・濱口 真木 (前期) | 261601 | 147 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 広川 治 | 261701 | 148 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 笹倉 貞夫 | 261711 | 148 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 田中 靖子 | 261801 | 148 |
| 英語IID 英語IID〔再クラス〕 | 手島 敬子 | 261901 | 149 |
| ドイツ語IA | 河上 和史 | 266901 | 149 |
| ドイツ語IA | 井村 行子 | 266911 | 149 |
| ドイツ語IB | 松岡 晋 | 267801 | 150 |
| ドイツ語IB | 堀内 美江 | 267811 | 150 |
| ドイツ語IIA | 松岡 晋 | 268101 | 151 |
| ドイツ語IIA | 飯塚 公夫 | 268111 | 151 |
| ドイツ語IIA | 武田 利勝 | 268301 | 151 |
| ドイツ語IIA | 松岡 晋 | 268311 | 151 |
| ドイツ語IIB | 飯塚 公夫 | 268401 | 152 |
| ドイツ語IIB | 藪下 紘一 | 268501 | 152 |
| ドイツ語IIB | 森 公成 | 268511 | 152 |
| ドイツ語IID ドイツ語IID〔再クラス〕 | 志真 斗美恵 | 268701 | 152 |
| フランス語IA | 伊藤 なお | 269901 | 153 |
| フランス語IA | 出口 雅敏 | 269911 | 153 |
| フランス語IB | 東 辰之介 | 270901 | 153 |
| フランス語IB | 遠山 博雄 | 270911 | 154 |
| フランス語IIA | 東 辰之介 | 271201 | 154 |
| フランス語IIA | 遠山 博雄 | 271211 | 154 |
| フランス語IIA | 遠山 博雄 | 271301 | 154 |
| フランス語IIA | 今関 アン | 271401 | 154 |
| フランス語IIB | 菅谷 暁 | 271501 | 155 |
| フランス語IIB | 畑中 千晶 | 271601 | 155 |
| フランス語IIB | 遠山 博雄 | 271611 | 155 |
| フランス語IID フランス語IID〔再クラス〕 | 大野 英士 | 271801 | 156 |
| 中国語IA | 三田村 圭子 | 274301 | 156 |
| 中国語IB | 李 雲 | 276701 | 156 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------------------|---------------|--------|-----|
| 中国語IA | 岩崎 皇 | 274401 | 156 |
| 中国語IB | 岩崎 皇 | 276801 | 156 |
| 中国語IIA | 吉田 建一郎 | 277201 | 157 |
| 中国語IIA | 梅田 雅子 | 277301 | 157 |
| 中国語IIA | 児島 弘一郎 | 277401 | 157 |
| 中国語IIA | 弘兼 加奈子 | 277501 | 158 |
| 中国語IIA | 秋元 翼 | 277601 | 158 |
| 中国語IIA | 岩崎 皇 | 277701 | 158 |
| 中国語IIA | 李 雲 | 277801 | 158 |
| 中国語IIA | 児島 弘一郎 | 277811 | 159 |
| 中国語IIB | 吉田 建一郎 | 278001 | 159 |
| 中国語IIB | 梅田 雅子 | 278101 | 160 |
| 中国語IIB | 弘兼 加奈子 | 278111 | 160 |
| 中国語IIB | 児島 弘一郎 | 278301 | 161 |
| 中国語IIB | 秋元 翼 | 278401 | 161 |
| 中国語IIB | 李 雲 | 278501 | 161 |
| 中国語IIB | 本間 由香利 | 278511 | 161 |
| 中国語IID 中国語IID〔再クラス〕 | 塩旗 伸一郎 | 278801 | 162 |
| 中国語IID 中国語IID〔再クラス〕 | 天野 節 | 278901 | 162 |
| スペイン語IA | 佐藤 麻里乃 | 280501 | 162 |
| スペイン語IA | 齊藤 明美 | 280511 | 163 |
| スペイン語IA | 真下 祐一 | 280521 | 163 |
| スペイン語IB | 上野 勝広 | 281701 | 164 |
| スペイン語IB | 真下 祐一 | 281711 | 164 |
| スペイン語IB | 石井 登 | 281721 | 164 |
| スペイン語IIA | 真下 祐一 | 282101 | 165 |
| スペイン語IIA | 石井 登 | 282111 | 165 |
| スペイン語IIA | 大岩 功 | 282121 | 165 |
| スペイン語IIA | 大岩 功 | 282301 | 166 |
| スペイン語IIA | 上野 勝広 | 282401 | 166 |
| スペイン語IIB | 大岩 功 | 282501 | 166 |
| スペイン語IIB | 石井 登 | 282511 | 167 |
| スペイン語IIB | 大岩 功 | 282601 | 167 |
| スペイン語IIB | 上野 勝広 | 282611 | 167 |
| スペイン語IIB | 齊藤 明美 | 282621 | 168 |
| スペイン語IID スペイン語IID〔再クラス〕 | モラーレス、ムニョス、S. | 282801 | 168 |
| ロシア語IA | 大須賀 史和 | 283601 | 169 |
| ロシア語IB | 木村 英明 | 284001 | 169 |
| ロシア語IIA | 木村 英明 | 284201 | 170 |
| ロシア語IIA | 杉山 秀子 | 284301 | 170 |
| ロシア語IIB | 木村 英明 | 284401 | 170 |
| ロシア語IIB | 佐野 朝子 | 284501 | 171 |
| ロシア語IID ロシア語IID〔再クラス〕 | クロチコフ、Y. | 284701 | 171 |

《再履修クラス》

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|------------|--------|--------|-----|
| 英語IA〔再クラス〕 | 大淵 利春 | 291501 | 172 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 山口 晃 | 291601 | 172 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 伊藤 美代子 | 291701 | 172 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|---------------|---------------------------------|--------|-----|
| 英語IA〔再クラス〕 | 岩井 洋美 | 291801 | 172 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 飯沼 好永 | 291901 | 173 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 町田 成男 | 292001 | 173 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 外池 一子 | 292301 | 173 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 太田 由紀子 | 292601 | 174 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 手島 敬子 | 292701 | 174 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 三芳 康義 | 293201 | 174 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 安齋 薫 | 293401 | 175 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 濱口 真木 | 293601 | 175 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 白鳥 義博 | 293901 | 175 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 川崎 笑佳 | 294001 | 175 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 岩原 康夫 | 294101 | 176 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 近藤 真彫 | 294201 | 176 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 江田 幸子 | 294211 | 176 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 太田 美智子 | 294601 | 177 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 埜 美智子 | 295001 | 177 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 小泉 和弘 | 295101 | 177 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 川崎 浩太郎 | 295301 | 177 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 佐藤 江里子 | 295401 | 178 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 梅原 敏弘 | 295501 | 178 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 笹倉 貞夫 | 295601 | 178 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 濱口 真木 | 295801 | 178 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 行廣 泰三 | 295901 | 179 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 高野 秀夫 (後期) ・甲斐 捷子 (前期) | 296201 | 179 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 佐藤 江里子 | 296301 | 180 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 丸小 哲雄 | 296501 | 180 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 本間 俊一 | 296901 | 181 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 本橋 右京 | 297101 | 181 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 志真 斗美恵 | 297201 | 181 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 武田 利勝 | 297401 | 182 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 野島 利彰 | 297411 | 182 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 飯塚 公夫 | 297501 | 182 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 杉本 正俊 | 297601 | 182 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 薮下 紘一 | 297801 | 183 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 南 はるつ | 297901 | 183 |
| ドイツ語IIA〔再クラス〕 | 森 公成 | 298001 | 183 |
| ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 森 公成 | 298002 | 183 |
| ドイツ語IIA〔再クラス〕 | 本橋 右京 | 298101 | 183 |
| ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 本橋 右京 | 298102 | 183 |
| ドイツ語IIA〔再クラス〕 | 薮下 紘一 | 298201 | 184 |
| ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 薮下 紘一 | 298202 | 184 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 芦原 眷 | 298801 | 184 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 大野 英士 | 298901 | 184 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 菅原 猛 | 299001 | 184 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 谷川 かおる | 299011 | 185 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 菅谷 暁 | 299101 | 185 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 今関 アン | 299201 | 185 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|----------------|--------|--------|-----|
| フランス語IB〔再クラス〕 | 伊藤 なお | 299301 | 185 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 谷川 かおる | 299501 | 186 |
| フランス語IIA〔再クラス〕 | 畑中 千晶 | 299601 | 186 |
| フランス語IIB〔再クラス〕 | 畑中 千晶 | 299602 | 186 |
| フランス語IIA〔再クラス〕 | 今関 アン | 299701 | 186 |
| フランス語IIB〔再クラス〕 | 今関 アン | 299702 | 186 |
| フランス語IIA〔再クラス〕 | 桑田 禮彰 | 299801 | 186 |
| フランス語IIB〔再クラス〕 | 桑田 禮彰 | 299802 | 186 |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 秋元 翼 | 300601 | 187 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 秋元 翼 | 300602 | 187 |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 天野 節 | 301201 | 187 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 天野 節 | 301202 | 187 |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 小川 隆 | 301301 | 187 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 小川 隆 | 301302 | 187 |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 布施 直子 | 301401 | 187 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 布施 直子 | 301402 | 187 |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 弘兼 加奈子 | 301501 | 187 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 弘兼 加奈子 | 301502 | 187 |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 曹 泰和 | 301511 | 188 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 曹 泰和 | 301512 | 188 |
| 中国語IIA〔再クラス〕 | 本間 由香利 | 301801 | 188 |
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 本間 由香利 | 301802 | 188 |
| 中国語IIA〔再クラス〕 | 大久保 明男 | 301901 | 188 |
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 大久保 明男 | 301902 | 188 |
| 中国語IIA〔再クラス〕 | 李 雲 | 302001 | 188 |
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 李 雲 | 302002 | 188 |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 大岩 功 | 302601 | 189 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 大岩 功 | 302602 | 189 |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 齊藤 明美 | 302701 | 189 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 齊藤 明美 | 302702 | 189 |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 石井 登 | 302801 | 189 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 石井 登 | 302802 | 189 |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 荻野 恵 | 303001 | 190 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 荻野 恵 | 303002 | 190 |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 佐藤 麻里乃 | 303011 | 190 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 佐藤 麻里乃 | 303012 | 190 |
| スペイン語IIA〔再クラス〕 | 齊藤 明美 | 303101 | 190 |
| スペイン語IIB〔再クラス〕 | 齊藤 明美 | 303102 | 190 |
| スペイン語IIA〔再クラス〕 | 大岩 功 | 303201 | 191 |
| スペイン語IIB〔再クラス〕 | 大岩 功 | 303202 | 191 |
| スペイン語IIA〔再クラス〕 | 石井 登 | 303301 | 191 |
| スペイン語IIB〔再クラス〕 | 石井 登 | 303302 | 191 |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 廣田 英靖 | 303501 | 191 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 廣田 英靖 | 303502 | 191 |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 佐野 朝子 | 303601 | 192 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 佐野 朝子 | 303602 | 192 |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 木村 英明 | 303701 | 192 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 木村 英明 | 303702 | 192 |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 安徳 ニーナ | 303801 | 192 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 安徳 ニーナ | 303802 | 192 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|---------------|----------|--------|-----|
| ロシア語IIA〔再クラス〕 | クロチコフ、Y. | 303901 | 193 |
| ロシア語IIB〔再クラス〕 | クロチコフ、Y. | 303902 | 193 |
| ロシア語IIA〔再クラス〕 | 大須賀 史和 | 304001 | 193 |
| ロシア語IIB〔再クラス〕 | 大須賀 史和 | 304002 | 193 |
| ロシア語IIA〔再クラス〕 | 安徳 ニーナ | 304101 | 193 |
| ロシア語IIB〔再クラス〕 | 安徳 ニーナ | 304102 | 193 |

《選 択 科 目》

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|----------|--------------------|--------|-----|
| 英文講読 | 林 明人 | 284901 | 194 |
| 英文講読 | 矢島 直子 | 285001 | 194 |
| 英文講読 | 前田 脩 | 285101 | 194 |
| 時事英語研究 | 岡本 誠 | 285701 | 195 |
| 時事英語研究 | 梅原 敏弘 | 285801 | 195 |
| 時事英語研究 | 白鳥 義博 | 285811 | 195 |
| 時事英語研究 | 落合 和昭 | 285901 | 196 |
| 時事英語研究 | 矢島 直子 | 285911 | 197 |
| マルチ・メディア | 落合 和昭 | 286501 | 198 |
| マルチ・メディア | 大庭 直樹 | 286601 | 199 |
| マルチ・メディア | 梅原 敏弘 | 286701 | 199 |
| マルチ・メディア | 大庭 直樹 | 286801 | 200 |
| 英会話I | セイジ、K | 264201 | 200 |
| 英会話I | セイジ、K | 264301 | 200 |
| 英会話I | ウェルズ、J. K. | 264401 | 201 |
| 英会話I | ウェルズ、J. K. | 264501 | 201 |
| 英会話I | セイジ、K | 264601 | 200 |
| 英会話I | ミックエリゴッ ト、J. P. | 264701 | 202 |
| 英会話I | ウェルズ、J. K. | 264801 | 201 |
| 英会話I | レーン、C. M. | 264901 | 202 |
| 英会話I | ミックエリゴッ ト、J. P. | 265001 | 202 |
| 英会話I | ロンゴ、T. | 265101 | 203 |
| 英会話I | レイン、R. V. | 265201 | 204 |
| 英会話I | ロンゴ、T. | 265301 | 203 |
| 英会話I | ミックエリゴッ ト、J. P. | 265311 | 202 |
| 英会話I | ウェルズ、J. K. | 265321 | 201 |
| 英会話II | セイジ、K | 287401 | 204 |
| 英会話II | ロンゴ、T. | 287501 | 205 |
| 英会話II | レイン、R. V. | 287601 | 206 |
| 英会話III | ウェルズ、J. K. | 287701 | 207 |
| 英会話III | レーン、C. M. | 287801 | 208 |
| 英語 L I I | 西村 祐子 | 265401 | 209 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|------------------|-------------------|--------|-----|
| 英語L LI | 岸本 茂和 | 265501 | 209 |
| 英語L LI | 井伊 順彦 | 265601 | 210 |
| 英語L LI | 川崎 浩太郎 | 265701 | 210 |
| 英語L LI | 外池 一子 | 265801 | 210 |
| 英語L LI | 外池 一子 | 265901 | 210 |
| 英語L LI | 甲斐 捷子 | 266001 | 211 |
| 英語L LI | 久保 ひさ子 | 266101 | 211 |
| 英語L LII | セイジ、K | 288501 | 211 |
| 英語L LII | 高橋 明子 | 288601 | 212 |
| 英語L LII | 加藤 佐和子 | 288701 | 212 |
| 英語L LIII | 勅使河原 三保子 | 289301 | 212 |
| 英語L LIII | 西村 祐子 | 289401 | 213 |
| 英語L LIII | 久保 ひさ子 | 289501 | 213 |
| ドイツ語コミュニケーションI | 小林 ゲアリン デ | 288001 | 214 |
| ドイツ語コミュニケーションII | 小林 ゲアリン デ | 288801 | 214 |
| ドイツ語IA (選) | 武田 利勝 | 289601 | 214 |
| ドイツ語IB (選) | 井村 行子 | 290201 | 214 |
| ドイツ語II (選) | 井村 行子 | 290801 | 215 |
| フランス語コミュニケーションI | ラリア・三倉、 M. | 288101 | 215 |
| フランス語コミュニケーションII | ラリア・三倉、 M. | 288901 | 215 |
| フランス語IA (選) | 東 辰之介 | 289701 | 215 |
| フランス語IA (選) | 出口 雅敏 | 289711 | 216 |
| フランス語IB (選) | 菅原 猛 | 290301 | 216 |
| フランス語II (選) | 桑田 禮彰 | 290901 | 216 |
| 中国語コミュニケーションI | 陳 洲拳 | 288201 | 216 |
| 中国語コミュニケーションII | 小川 隆 | 289001 | 217 |
| 中国語IA (選) | 吉田 建一郎 | 289801 | 217 |
| 中国語IA (選) | 岩崎 皇 | 289811 | 217 |
| 中国語IB (選) | 大久保 明男 | 290401 | 217 |
| 中国語II (選) | 三田村 圭子 | 291001 | 218 |
| スペイン語コミュニケーションI | モラーレス、ム ニョス、S. | 288301 | 218 |
| スペイン語コミュニケーションII | モラーレス、ム ニョス、S. | 289101 | 218 |
| スペイン語IA (選) | 中島 聡子 | 289901 | 219 |
| スペイン語IB (選) | 齊藤 明美 | 290501 | 219 |
| スペイン語II (選) | 佐藤 麻里乃 | 291101 | 220 |
| ロシア語コミュニケーションI | 安德 ニーナ | 288401 | 220 |
| ロシア語コミュニケーションII | 安德 ニーナ | 289201 | 220 |
| ロシア語IA (選) | クロチコフ、Y. | 290001 | 220 |
| ロシア語IB (選) | 木村 英明 | 290601 | 221 |
| ロシア語II (選) | クロチコフ、Y. | 291201 | 221 |
| 朝鮮語IA (選) | 宋 美玲 | 290101 | 221 |
| 朝鮮語IB (選) | 宋 美玲 | 290701 | 222 |
| 朝鮮語II (選) | 宋 美玲 | 291211 | 222 |

4. 保健体育科目

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|--------------------------|---------------|--------|-----|
| 健康・スポーツ実習（ミニサッカー） | 大石 武士 | 195101 | 225 |
| 健康・スポーツ実習（室内球技） | 牧野 茂 | 195101 | 225 |
| 健康・スポーツ実習（体操・トランポリン） | 竹田 幸夫 | 195101 | 226 |
| 健康・スポーツ実習（室内球技） | 山口 良博 | 195201 | 227 |
| 健康・スポーツ実習（ミニサッカー） | 大石 武士 | 195201 | 227 |
| 健康・スポーツ実習（卓球） | 秋田 浩一 | 195201 | 228 |
| 健康・スポーツ実習（室内球技） | 牧野 茂 | 195301 | 228 |
| 健康・スポーツ実習（卓球） | 山口 良博 | 195301 | 229 |
| 健康・スポーツ実習（サッカー） | 秋田 浩一 | 195301 | 229 |
| 健康・スポーツ実習（簡化太極拳） | 大石 武士 | 195301 | 230 |
| 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技） | 山口 良博 （前期） | 196402 | 230 |
| 健康・スポーツ実習（集中授業）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 （前期） | 196402 | 231 |
| 健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳） | 大石 武士 （前期） | 196402 | 232 |
| 健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン） | 牧野 茂（前期） | 196402 | 233 |
| 健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球） | 鈴木 淳平 （後期） | 196402 | 234 |
| 健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール） | 高橋 俊介 （後期） | 196402 | 235 |
| 健康・スポーツ実習（集中授業）（屋外球技） | 岩本 哲也 （後期） | 196402 | 236 |
| 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技） | 村松 誠（後期） | 196402 | 237 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196501 | 237 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196502 | 237 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196503 | 237 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196504 | 237 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196601 | 238 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196602 | 238 |
| 生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196603 | 238 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196604 | 238 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196701 | 238 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196702 | 238 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196703 | 238 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196704 | 238 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196801 | 239 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196802 | 239 |
| 生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196803 | 239 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196804 | 239 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196901 | 239 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196902 | 239 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196903 | 239 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 196904 | 239 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 197001 | 240 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 197002 | 240 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|----------------------------|--------|--------|-----|
| 生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 197003 | 240 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技） | 渡辺 一郎 | 197004 | 240 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・応用）（ミニサッカー） | 大石 武士 | 197101 | 240 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・応用）（ミニサッカー） | 大石 武士 | 197102 | 240 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・応用）（ミニサッカー） | 大石 武士 | 197103 | 240 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（ミニサッカー） | 大石 武士 | 197104 | 240 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・応用）（ミニサッカー） | 大石 武士 | 197201 | 241 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・応用）（ミニサッカー） | 大石 武士 | 197202 | 241 |
| 生涯スポーツ実習III（後期・応用）（ミニサッカー） | 大石 武士 | 197203 | 241 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（ミニサッカー） | 大石 武士 | 197204 | 241 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（簡化太極拳） | 大石 武士 | 197301 | 241 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（簡化太極拳） | 大石 武士 | 197302 | 241 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（簡化太極拳） | 大石 武士 | 197303 | 241 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（簡化太極拳） | 大石 武士 | 197304 | 241 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（簡化太極拳） | 大石 武士 | 197401 | 242 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（簡化太極拳） | 大石 武士 | 197402 | 242 |
| 生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（簡化太極拳） | 大石 武士 | 197403 | 242 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（簡化太極拳） | 大石 武士 | 197404 | 242 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197501 | 242 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197502 | 242 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197503 | 242 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197504 | 242 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197601 | 243 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197602 | 243 |
| 生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197603 | 243 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197604 | 243 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197701 | 244 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197702 | 244 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197703 | 244 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197704 | 244 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197801 | 245 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197802 | 245 |
| 生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197803 | 245 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技） | 下谷内 勝利 | 197804 | 245 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・応用）（卓球） | 村松 誠 | 197901 | 245 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・応用）（卓球） | 村松 誠 | 197902 | 245 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・応用）（卓球） | 村松 誠 | 197903 | 245 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（卓球） | 村松 誠 | 197904 | 245 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・応用）（卓球） | 村松 誠 | 198001 | 246 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・応用）（卓球） | 村松 誠 | 198002 | 246 |
| 生涯スポーツ実習III（後期・応用）（卓球） | 村松 誠 | 198003 | 246 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（卓球） | 村松 誠 | 198004 | 246 |
| 生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 | 198101 | 246 |
| 生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 | 198102 | 246 |
| 生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 | 198103 | 246 |
| 生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 | 198104 | 246 |
| 生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 | 198201 | 247 |
| 生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 | 198202 | 247 |
| 生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 | 198203 | 247 |
| 生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（ダブルダッチ） | 末次 美樹 | 198204 | 247 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 生涯スポーツ実習I (前期・応用) (室内球技) | 末次 美樹 | 198301 | 247 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・応用) (室内球技) | 末次 美樹 | 198302 | 247 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・応用) (室内球技) | 末次 美樹 | 198303 | 247 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (室内球技) | 末次 美樹 | 198304 | 247 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・応用) (室内球技) | 末次 美樹 | 198401 | 248 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・応用) (室内球技) | 末次 美樹 | 198402 | 248 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・応用) (室内球技) | 末次 美樹 | 198403 | 248 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (室内球技) | 末次 美樹 | 198404 | 248 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・応用) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198701 | 248 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・応用) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198702 | 248 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・応用) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198703 | 248 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・応用) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198704 | 248 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・応用) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198801 | 249 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・応用) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198802 | 249 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・応用) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198803 | 249 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・応用) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198804 | 249 |
| 生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198901 | 249 |
| 生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198902 | 249 |
| 生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198903 | 249 |
| 生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 198904 | 249 |
| 生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 199001 | 250 |
| 生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 199002 | 250 |
| 生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 199003 | 250 |
| 生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (バスケットボール) | 牧野 茂 | 199004 | 250 |
| 生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ) | 三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝 | 199301 | 251 |
| 生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ) | 三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝 | 199302 | 251 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード) | 鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博 | 199401 | 252 |
| 生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード) | 鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博 | 199402 | 252 |
| 生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎) (テニス) | 江口 淳一 | 199501 | 253 |
| 生涯スポーツ実習 (集中前期・応用) (テニス) | 江口 淳一 | 199502 | 253 |
| 生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎) (ゴルフ) | 三幣 晴三 | 199701 | 254 |
| 生涯スポーツ実習 (集中後期・応用) (ゴルフ) | 三幣 晴三 | 199702 | 254 |
| 健康・スポーツ論 1 | 竹田 幸夫 | 200501 | 255 |
| 健康・スポーツ論 1 | 秋田 浩一 | 200601 | 255 |
| 健康・スポーツ論 1 | 佐藤 政之 | 201111 | 256 |
| 健康・スポーツ論 2 | 大石 武士 | 201201 | 256 |
| 健康・スポーツ論 2 | 下谷内 勝利 | 201401 | 257 |
| 健康・スポーツ論 2 | 村松 誠 | 201601 | 257 |
| 健康・スポーツ論 2 | 牧野 茂 | 201801 | 258 |

Ⅱ 専門教育科目

- ・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスA生の科目ですが、フレックスB時間帯に開講しています。フレックスBの専門教育科目のページを参照してください。

1. 法律学科フレックスA

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-----------|-----------------|--------|-----|
| 法学概論 | 高橋 洋城 | 114411 | 261 |
| 法学概論A | 高橋 洋城 | 114412 | 261 |
| 法学概論 | 北野 かほる | 114421 | 262 |
| 法学概論A | 北野 かほる | 114422 | 262 |
| 公法入門 | 山口 邦夫 ・金子 昇平 | 114511 | 262 |
| 法学概論B | 山口 邦夫 ・金子 昇平 | 114512 | 262 |
| 私法入門 | 中田 英幸 | 114531 | 263 |
| 法学概論B | 中田 英幸 | 114532 | 263 |
| 憲法 | 高畑 英一郎 | 114601 | 264 |
| 憲法 | 西 修 | 114701 | 264 |
| 民法総則 | 向田 正巳 | 114801 | 265 |
| 民法総則 | 熊谷 芝青 | 114901 | 265 |
| 刑法総論 | 山口 邦夫 | 115001 | 266 |
| 刑法総論 | 佐藤 多美夫 | 115101 | 267 |
| 会社法 | 荒木 正孝 | 115301 | 268 |
| 会社法 | 井上 健一 | 134411 | 268 |
| 債権総論 | 中田 英幸 | 115701 | 269 |
| 物権法 | 山田 創一 | 115601 | 269 |
| 行政法 | 金子 昇平 | 115401 | 270 |
| 行政法総論 | 金子 昇平 | 115402 | 270 |
| 刑法各論 | 松村 格 | 115801 | 271 |
| 裁判法 | 五百田 俊治 | 116001 | 271 |
| 国際法 | 王 志安 | 115501 | 272 |
| 有価証券法 | 中濱 義章 | 115901 | 273 |
| 商法総則・商行為法 | 川口 幸美 | 117101 | 273 |
| 担保物権法 | 山田 創一 | 116701 | 274 |
| 家族法 | 竹中 智香 | 117001 | 274 |
| 相続法 | 竹中 智香 | 117002 | 274 |
| 保険・海商法 | 井上 健一 | 116901 | 275 |
| 民事訴訟法 | 間瀬 清史 | 116101 | 275 |
| 刑事訴訟法 | 田中 優企 | 116201 | 276 |
| 労働法 | 藤本 茂 | 116801 | 277 |
| 社会保障法 | 橋爪 幸代 | 116301 | 278 |
| 行政救済法 | 金子 昇平 | 116501 | 278 |
| 行政法各論 | 金子 昇平 | 116502 | 278 |
| 国際紛争解決法 | 王 志安 | 116601 | 279 |
| 国際私法 | 佐々木 彩 | 116401 | 279 |
| 新入生演習 | 金子 昇平 ・藤本 茂 | 121611 | 280 |

法律学科フレックスA

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|--------|------------------|--------|-----|
| 新入生演習 | 川口 幸美 ・松村 格 | 121621 | 280 |
| 新入生演習 | 中濱 義章 ・北野 かほる | 121631 | 280 |
| 新入生演習 | 高橋 洋城 ・荒木 正孝 | 121641 | 280 |
| 新入生演習 | 大宮 隆 ・王 志安 | 121651 | 280 |
| 新入生演習 | 竹中 智香 ・井上 健一 | 121661 | 280 |
| 比較憲法 | 西 修 | 117701 | 280 |
| 法社会学 | 休講 | 118201 | |
| 日本法制史 | 茂野 隆晴 | 117801 | 281 |
| 西洋法制史 | 北野 かほる | 117901 | 282 |
| 政治学原論 | 大塚 桂 | 117301 | 283 |
| 政治史 | 村井 良太 | 117401 | 284 |
| 経済原論 | 村松 幹二 | 117501 | 284 |
| 行政学 | 田丸 大 | 127001 | 285 |
| 法律時事英語 | 井上 健一 | 118101 | 285 |
| 刑事政策 | 覚正 豊和 | 118001 | 286 |
| 法思想史 | 高橋 洋城 | 117601 | 287 |
| 債権各論 | 青野 博之 | 118701 | 288 |
| 英米法 | 北野 かほる | 118401 | 289 |
| 仏法 | 上井 長久 | 118601 | 290 |
| 独法 | 山口 邦夫 | 118501 | 291 |
| 基礎演習 | 池田 実 | 121801 | 291 |
| 基礎演習 | 今尾 真 | 122201 | 292 |
| 基礎演習 | 今尾 真 | 122301 | 292 |
| 基礎演習 | 覚正 豊和 | 122601 | 292 |
| 基礎演習 | 富井 幸雄 | 121701 | 293 |
| 基礎演習 | 向田 正巳 | 122001 | 293 |
| 基礎演習 | 村木 保久 | 122401 | 294 |
| 基礎演習 | 村木 保久 | 122501 | 294 |
| 基礎演習 | 和知 恵一 | 122101 | 294 |
| 演習I | 相田 敏彦 | 132201 | 295 |
| 演習II | 相田 敏彦 | 132202 | 295 |
| 演習I | 青野 博之 | 124201 | 295 |
| 演習II | 青野 博之 | 124202 | 295 |
| 演習I | 荒木 正孝 | 124701 | 296 |
| 演習II | 荒木 正孝 | 124702 | 296 |
| 演習I | 井上 健一 | 123401 | 296 |
| 演習II | 井上 健一 | 123402 | 296 |
| 演習I | 王 志安 | 124801 | 296 |
| 演習II | 王 志安 | 124802 | 296 |
| 演習I | 大塚 桂 | 133501 | 297 |
| 演習II | 大塚 桂 | 133502 | 297 |
| 演習I | 大宮 隆 | 124901 | 297 |
| 演習II | 大宮 隆 | 124902 | 297 |
| 演習I | 金子 昇平 | 123901 | 298 |
| 演習II | 金子 昇平 | 123902 | 298 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------|--------|--------|-----|
| 演習I | 川口 幸美 | 123301 | 298 |
| 演習II | 川口 幸美 | 123311 | 299 |
| 演習I | 北野 かほる | 124601 | 299 |
| 演習II | 北野 かほる | 124602 | 299 |
| 演習I | 小堀 訓男 | 132101 | 299 |
| 演習II | 小堀 訓男 | 132102 | 299 |
| 演習I | 佐藤 多美夫 | 125001 | 300 |
| 演習II | 佐藤 多美夫 | 125002 | 300 |
| 演習I | 塩入 みほも | 133101 | 300 |
| 演習II | 塩入 みほも | 133102 | 300 |
| 演習I | 高橋 洋城 | 124501 | 301 |
| 演習II | 高橋 洋城 | 124502 | 301 |
| 演習I | 竹中 智香 | 124101 | 301 |
| 演習II | 竹中 智香 | 124102 | 301 |
| 演習I | 田中 優企 | 125711 | 302 |
| 演習II | 田中 優企 | 125712 | 302 |
| 演習I | 田丸 大 | 132001 | 302 |
| 演習II | 田丸 大 | 132011 | 302 |
| 演習I | 中田 英幸 | 122701 | 303 |
| 演習II | 中田 英幸 | 122702 | 303 |
| 演習I | 中濱 義章 | 124401 | 303 |
| 演習II | 中濱 義章 | 124402 | 303 |
| 演習I | 西 修 | 125701 | 303 |
| 演習II | 西 修 | 125702 | 303 |
| 演習I | 早川 純貴 | 132701 | 304 |
| 演習II | 早川 純貴 | 133001 | 304 |
| 演習I | 藤本 茂 | 123601 | 305 |
| 演習II | 藤本 茂 | 123602 | 305 |
| 演習I | 松村 格 | 125031 | 305 |
| 演習II | 松村 格 | 125032 | 305 |
| 演習I | 松本 英俊 | 123701 | 306 |
| 演習II | 松本 英俊 | 123702 | 306 |
| 演習I | 間瀬 清史 | 124301 | 306 |
| 演習II | 間瀬 清史 | 124302 | 306 |
| 演習I | 三竹 直哉 | 132401 | 307 |
| 演習II | 三竹 直哉 | 132402 | 307 |
| 演習I | 向田 正巳 | 124001 | 307 |
| 演習II | 向田 正巳 | 124002 | 307 |
| 演習II | 山口 邦夫 | 125601 | 308 |
| 外書講読I (英書) | 北野 かほる | 120401 | 308 |
| 外書講読II (英書) | 北野 かほる | 120402 | 308 |
| 外書講読I (英書) | 王 志安 | 120501 | 308 |
| 外書講読II (英書) | 王 志安 | 120502 | 308 |
| 外書講読I (英書) | 川口 幸美 | 120601 | 309 |
| 外書講読II (英書) | 川口 幸美 | 120602 | 309 |
| 外書講読I (独書) | 松村 格 | 120701 | 309 |
| 外書講読II (独書) | 松村 格 | 120702 | 309 |
| 外書講読I (仏書) | 荒木 正孝 | 120801 | 309 |
| 外書講読II (仏書) | 荒木 正孝 | 120802 | 309 |
| 外書講読I (中国書) | 岩崎 皇 | 120901 | 310 |

法律学科フレックスA

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|----------------|------------------------------------|--------|-----|
| 外書講読II (中国書) | 岩崎 皇 | 120902 | 310 |
| 登記法 | 田沼 浩 | 118801 | 310 |
| 税法 | 中江 博行 | 118901 | 311 |
| 地方自治法 | 富井 幸雄 | 127501 | 311 |
| 環境法 | 仲田 孝仁 | 120301 | 312 |
| 経済法 | 若林 亜理砂 | 119701 | 312 |
| 消費者法 | 向田 正巳 | 120101 | 313 |
| 知的財産権法 | 盛岡 一夫 | 119601 | 313 |
| 民事執行・保全法 | 福永 清貴 | 119301 | 314 |
| 倒産処理法 | 鈴木 貴博 | 119501 | 314 |
| 法哲学 | 高橋 洋城 | 119401 | 315 |
| 法律学特殊講義 [法女性学] | 休講 | 120211 | |
| 財政学 | 塚本 正文 | 119001 | 315 |
| 国際関係論 | 三船 恵美 | 128101 | 316 |
| 経済政策 | 森岡 仁 | 119101 | 317 |
| 社会政策 | 根岸 忠 | 119201 | 317 |
| ※ 実務演習I | 中野 辰久 | 121411 | 318 |
| ※ 実務演習II | 中田 英幸 ・上野 雅祥 ・小林 覚 ・杉山 真一 | 121511 | 319 |
| ※ 実務演習III | 木村 美隆 | 121521 | 319 |
| 現代企業論 | 王 志安 | 101202 | 320 |

2. 政治学 科

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|---------------|-----------------|--------|-----|
| 政治学概論 | 浦田 早苗 ・早川 純貴 | 125901 | 323 |
| 政治学概論 | 早川 純貴 ・浦田 早苗 | 126001 | 323 |
| 政治学概論 | 三竹 直哉 ・中野 裕二 | 126011 | 324 |
| 憲法 | 高畑 英一郎 | 126101 | 325 |
| 政治学原論 | 大塚 桂 | 126201 | 326 |
| 現代政治理論 | 山崎 望 | 126401 | 327 |
| 日本政治論 | 真下 英二 | 126301 | 327 |
| 政治思想史 | 清滝 仁志 | 127101 | 328 |
| 行政学 | 田丸 大 | 127001 | 329 |
| 国際政治学 | 小堀 訓男 | 126601 | 329 |
| 政治制度論 | 田中 嘉彦 | 126501 | 330 |
| 政治過程論 | 早川 純貴 | 126801 | 330 |
| 日本政治史 | 村井 良太 | 126901 | 331 |
| ヨーロッパ政治史 | 浦田 早苗 | 126701 | 331 |
| 地方行政 | 野口 暢子 | 127601 | 332 |
| 政策決定論 | 井上 拓也 | 127701 | 332 |
| 行政法総論 | 塩入 みほも | 127201 | 333 |
| 行政法各論 | 塩入 みほも | 127401 | 333 |
| 地方自治法 | 富井 幸雄 | 127501 | 334 |
| 民法（総則・物権法） | 須賀 昭徳 | 127801 | 334 |
| 刑法総論 | 佐藤 多美夫 | 127901 | 335 |
| 労働法 | 藤本 茂 | 116801 | 336 |
| 刑事政策 | 覚正 豊和 | 118001 | 337 |
| 社会政策 | 根岸 忠 | 119201 | 338 |
| 環境政策 | 横田 匡紀 | 127301 | 339 |
| 国際関係論 | 三船 恵美 | 128101 | 340 |
| 比較政治学 | 三竹 直哉 | 128201 | 341 |
| 国際経済学 | 徳永 俊明 | 091202 | 342 |
| 国際法 | 橋本 靖明 | 128001 | 342 |
| 北米政治論（1） | 小堀 訓男 | 128501 | 342 |
| 北米政治論（2） | 小堀 訓男 | 128601 | 343 |
| 東南アジア政治論（1） | 深尾 康夫 | 128701 | 343 |
| 東南アジア政治論（2） | 深尾 康夫 | 128801 | 343 |
| 中国政治論（1） | 三船 恵美 | 128901 | 344 |
| 中国政治論（2） | 三船 恵美 | 129001 | 345 |
| ヨーロッパ政治論（1） | 中野 裕二 | 129101 | 346 |
| ヨーロッパ政治論（2） | 中野 裕二 | 129201 | 347 |
| ヨーロッパ政治論（3） | 浅見 政江 | 129301 | 347 |
| ヨーロッパ政治論（4） | 浅見 政江 | 129401 | 348 |
| アラブ・イスラム政治論 | 中島 勇 | 129501 | 348 |
| 中南米政治論 | 岸川 毅 | 129601 | 348 |
| 比較都市論 | 村上 暁信 | 128401 | 349 |
| マス・コミュニケーション論 | 相田 敏彦 | 129801 | 349 |
| 数量政治学 | 富崎 隆 | 130101 | 350 |
| メディア社会論 | 相田 敏彦 | 130001 | 350 |

政治学科

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|------------|----------------|--------|-----|
| 政治心理学 | 富崎 隆 | 129901 | 351 |
| 政治社会学 | 中野 裕二 | 129701 | 351 |
| 政治経済学 | 白鳥 浩 | 130301 | 352 |
| 比較メディア論 | 島中 誠 ・岩崎 宇雄 | 130201 | 352 |
| 基礎演習 | 相田 敏彦 | 131401 | 353 |
| 基礎演習 | 浦田 早苗 | 131611 | 353 |
| 基礎演習 | 清滝 仁志 | 131641 | 354 |
| 基礎演習 | 小堀 訓男 | 131201 | 354 |
| 基礎演習 | 塩入 みほも | 131001 | 355 |
| 基礎演習 | 田丸 大 | 131631 | 355 |
| 基礎演習 | 富崎 隆 | 131501 | 355 |
| 基礎演習 | 中野 裕二 | 131301 | 356 |
| 基礎演習 | 早川 純貴 | 130801 | 356 |
| 基礎演習 | 三竹 直哉 | 130901 | 357 |
| 基礎演習 | 三船 恵美 | 131651 | 357 |
| 基礎演習 | 村井 良太 | 131621 | 358 |
| 基礎演習 | 山崎 望 | 131601 | 358 |
| 比較憲法 | 武市 周作 | 134001 | 359 |
| 現代国家論 | 大塚 桂 | 133801 | 359 |
| 国家安全保障論 | 小堀 訓男 | 133701 | 360 |
| 外交史 | 村井 良太 | 133601 | 360 |
| 日本法制史 | 茂野 隆晴 | 117801 | 361 |
| 西洋法制史 | 北野 かほる | 117901 | 362 |
| 英米法 | 北野 かほる | 118401 | 363 |
| 会社法 | 井上 健一 | 134411 | 364 |
| 経済法 | 若林 亜理砂 | 119701 | 364 |
| 国際紛争解決法 | 王 志安 | 116601 | 365 |
| 刑法各論 | 松村 格 | 115801 | 365 |
| 民法（債権） | 上井 長久 | 143802 | 366 |
| 社会保障法 | 橋爪 幸代 | 116301 | 366 |
| 社会学原理 | 呉 炳三 | 133901 | 367 |
| 財政学 | 塚本 正文 | 119001 | 367 |
| 経済原論 | 村松 幹二 | 117501 | 368 |
| 経済政策 | 森岡 仁 | 119101 | 368 |
| 農業政策 | 溝手 芳計 | 093501 | 369 |
| 工業政策 | 奥山 雅之 | 093601 | 370 |
| 商業政策 | 番場 博之 | 091701 | 370 |
| 地方財政論 | 篠原 章 | 094101 | 371 |
| 交通論 | 金 兌奎 | 096401 | 372 |
| 地域計画論 | 原 昭夫 | 038701 | 372 |
| 政治学特殊講義（1） | 浦田 早苗 | 134101 | 373 |
| 政治学特殊講義（2） | 山崎 望 | 134201 | 373 |
| 政治学特殊講義（3） | 早川 純貴 | 134301 | 373 |
| 政治学特殊講義（4） | 大塚 桂 | 134401 | 374 |
| 外書講読I（英書） | 三竹 直哉 | 130501 | 374 |
| 外書講読II（英書） | 三竹 直哉 | 130502 | 374 |
| 外書講読I（英書） | 清滝 仁志 | 130601 | 375 |
| 外書講読II（英書） | 清滝 仁志 | 130602 | 375 |
| 外書講読I（英書） | 相田 敏彦 | 130701 | 375 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------|--------|--------|-----|
| 外書講読II(英書) | 相田 敏彦 | 130702 | 375 |
| 外書講読I(独書) | 松村 格 | 120701 | 376 |
| 外書講読II(独書) | 松村 格 | 120702 | 376 |
| 外書講読I(仏書) | 荒木 正孝 | 120801 | 376 |
| 外書講読II(仏書) | 荒木 正孝 | 120802 | 376 |
| 外書講読I(中国書) | 岩崎 皇 | 120901 | 376 |
| 外書講読II(中国書) | 岩崎 皇 | 120902 | 376 |
| 現代企業論 | 王 志安 | 101202 | 377 |
| 時事英語講座 | 横山 滋 | 133651 | 377 |
| 演習I | 相田 敏彦 | 132201 | 378 |
| 演習II | 相田 敏彦 | 132202 | 378 |
| 演習I | 浦田 早苗 | 131701 | 378 |
| 演習II | 浦田 早苗 | 132511 | 378 |
| 演習I | 王 志安 | 124801 | 379 |
| 演習II | 王 志安 | 124802 | 379 |
| 演習I | 大塚 桂 | 133501 | 379 |
| 演習II | 大塚 桂 | 133502 | 379 |
| 演習I | 北野 かほる | 124601 | 379 |
| 演習II | 北野 かほる | 124602 | 379 |
| 演習I | 清滝 仁志 | 133301 | 380 |
| 演習II | 清滝 仁志 | 133511 | 381 |
| 演習I | 小堀 訓男 | 132101 | 381 |
| 演習II | 小堀 訓男 | 132102 | 381 |
| 演習I | 佐藤 多美夫 | 125001 | 382 |
| 演習II | 佐藤 多美夫 | 125002 | 382 |
| 演習I | 塩入 みほも | 133101 | 382 |
| 演習II | 塩入 みほも | 133102 | 382 |
| 演習I | 高橋 洋城 | 124501 | 383 |
| 演習II | 高橋 洋城 | 124502 | 383 |
| 演習I | 田丸 大 | 132001 | 383 |
| 演習II | 田丸 大 | 132011 | 384 |
| 演習I | 富崎 隆 | 132501 | 384 |
| 演習II | 富崎 隆 | 133051 | 385 |
| 演習I | 中野 裕二 | 132301 | 385 |
| 演習II | 中野 裕二 | 132302 | 385 |
| 演習I | 西 修 | 125701 | 385 |
| 演習II | 西 修 | 125702 | 385 |
| 演習I | 早川 純貴 | 132701 | 386 |
| 演習II | 早川 純貴 | 133001 | 386 |
| 演習I | 藤本 茂 | 123601 | 387 |
| 演習II | 藤本 茂 | 123602 | 387 |
| 演習I | 三竹 直哉 | 132401 | 387 |
| 演習II | 三竹 直哉 | 132402 | 387 |
| 演習I | 三船 恵美 | 133401 | 388 |
| 演習II | 三船 恵美 | 133402 | 388 |
| 演習I | 村井 良太 | 132601 | 388 |
| 演習II | 村井 良太 | 132602 | 388 |
| 演習II | 山口 邦夫 | 125601 | 388 |
| 演習I | 山崎 望 | 132211 | 389 |
| 演習II | 山崎 望 | 132212 | 389 |

政治学科

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------|------|--------|-----|
| 実務者講座 | 田丸 大 | 133681 | 389 |

Ⅲ 他学部履修科目

・『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの他学部履修科目のページを参照してください。

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|--------------------|--------|--------|-----|
| 日本哲学史 | 久保 陽一 | 007411 | 393 |
| 社会心理学A | 坪井 健 | 058331 | 393 |
| 社会心理学B | 休講 | 058341 | |
| 産業と変動の社会学 | 山田 信行 | 058371 | 394 |
| 雇用と労働の社会学 | 山田 信行 | 058381 | 394 |
| 社会福祉発達史 | 堀 千鶴子 | 063901 | 395 |
| 日本経済論 | 沼田 郷 | 091101 | 395 |
| 財務会計論 | 寺坪 修 | 092401 | 396 |
| 日本経済史 | 渡邊 恵一 | 093301 | 396 |
| 中国経済論 | 小杉 修二 | 094701 | 397 |
| アメリカ経済論 | 瀬戸岡 紘 | 094801 | 398 |
| EU統合論 | 藤田 憲 | 095001 | 399 |
| 現代西欧経済論 | 工藤 芽衣 | 095101 | 399 |
| ロシア・東欧経済論 | 山懸 弘志 | 095201 | 400 |
| 会計監査論 | 森田 佳宏 | 097001 | 401 |
| 管理会計論 a | 石川 祐二 | 097111 | 401 |
| 管理会計論 b | 石川 祐二 | 097121 | 401 |
| 貿易論 | 古沢 紘造 | 097601 | 402 |
| 国際政治学 | 小堀 訓男 | 126601 | 402 |
| ヨーロッパ政治史 | 浦田 早苗 | 126701 | 403 |
| 比較政治学 | 三竹 直哉 | 128201 | 404 |
| 現代国家論 | 大塚 桂 | 133801 | 405 |
| 経営学史 | 中川 淳平 | 139501 | 405 |
| 経営史 | 前田 和利 | 139601 | 406 |
| 経営労務論 | 休講 | 140001 | |
| 経営分析論 | 片桐 伸夫 | 141301 | 406 |
| 国際経済論 | 永田 智則 | 141701 | 407 |
| 税務会計論 | 高木 克己 | 141901 | 407 |
| リスクマネジメント論 | 石名坂 邦昭 | 142351 | 408 |
| 消費者行動論 | 菅野 佐織 | 143231 | 408 |
| マーケティング・コミュニケーション論 | 中野 香織 | 143241 | 409 |
| マーケティング・チャネル論 | 青木 茂樹 | 143251 | 409 |
| 情報メディア産業論I | 福家 秀紀 | 432001 | 410 |
| 比較メディア制度論 | 西岡 洋子 | 432401 | 410 |
| グローバルアート政策論 | 川崎 賢一 | 432601 | 411 |
| グローバル創造都市論 | 川崎 賢一 | 432701 | 412 |
| 情報保護と社会 | 苗村 憲司 | 434301 | 413 |
| メディアと知識論 | 齋藤 信男 | 437101 | 413 |

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・帰国生)

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-----------------|--------|--------|-----|
| 日本語入門I a | 鈴木 美希 | 230511 | 417 |
| 日本語入門I b | 鈴木 美希 | 230521 | 417 |
| 日本語入門II a | 鈴木 美希 | 230531 | 417 |
| 日本語入門II b | 鈴木 美希 | 230541 | 418 |
| 日本語I a | 佐野 典子 | 230611 | 418 |
| 日本語I b | 佐野 典子 | 230621 | 418 |
| 日本語I a | 多田羅 哲子 | 230631 | 418 |
| 日本語I b | 多田羅 哲子 | 230641 | 419 |
| 日本語II a | 佐野 典子 | 230711 | 419 |
| 日本語II a | 多田羅 哲子 | 230721 | 419 |
| 日本語II b | 佐野 典子 | 230811 | 419 |
| 日本語II b | 多田羅 哲子 | 230821 | 419 |
| 日本語III a | 多田羅 哲子 | 230911 | 420 |
| 日本語III a | 湯村 礼子 | 230921 | 420 |
| 日本語III b | 多田羅 哲子 | 231011 | 420 |
| 日本語III b | 湯村 礼子 | 231021 | 420 |
| 日本語IV a | 鈴木 美希 | 231111 | 421 |
| 日本語IV a | 湯村 礼子 | 231121 | 421 |
| 日本語IV b | 鈴木 美希 | 231211 | 421 |
| 日本語IV b | 湯村 礼子 | 231221 | 422 |
| 日本語V a | 石川 守 | 231311 | 422 |
| 日本語V a | 多田羅 哲子 | 231321 | 422 |
| 日本語V b | 石川 守 | 231411 | 422 |
| 日本語V b | 多田羅 哲子 | 231421 | 423 |
| 日本語VI a | 石川 守 | 231511 | 423 |
| 日本語VI a | 多田羅 哲子 | 231521 | 423 |
| 日本語VI b | 石川 守 | 231611 | 423 |
| 日本語VI b | 多田羅 哲子 | 231621 | 424 |
| 日本事情I〔地理〕 | 高橋 健太郎 | 231701 | 424 |
| 日本事情II〔自然〕 | 清水 善和 | 231801 | 424 |
| 日本事情III〔歴史〕 | 井上 桂子 | 231901 | 425 |
| 日本事情IV〔思想〕 | 佐藤 美奈子 | 232001 | 425 |
| 日本事情V〔社会〕 | 坪井 健 | 232101 | 426 |
| 日本事情VI〔政治・法律〕 | 三竹 直哉 | 232201 | 426 |
| 日本事情VII〔文学〕 | 坂口 博規 | 232301 | 427 |
| 日本事情VIII〔文化・芸術〕 | 佐藤 美奈子 | 232401 | 427 |
| 日本事情IX〔経済〕 | 福原 好喜 | 232501 | 428 |
| 日本事情X〔経営〕 | 中野 香織 | 232601 | 428 |

V 随 意 科 目

| 科 目 名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------|-------|--------|-----|
| 英語（海外演習） | — | — | 431 |
| フランス語（海外演習） | — | — | 431 |
| 中国語（海外演習） | — | — | 431 |
| 比較思想特講 | 小川 順敬 | 233501 | 432 |

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------------|--------|--------|-----|
| 仏教と人間〔再クラス〕 | 駒ヶ嶺 法子 | 341601 | 439 |
| 仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕 | 松本 史朗 | 341801 | 439 |
| 仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕 | 四津谷 孝道 | 341901 | 440 |

2. 教養教育科目

・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|------------------|--------|--------|-----|
| 宗教学〔比較宗教文化〕 | 田中 かの子 | 342401 | 443 |
| 文学〔日本文学「古典」〕 | 池田 大輔 | 342501 | 443 |
| 文学〔日本文学「近代」〕 | 中西 亮太 | 342601 | 444 |
| 文学〔日本文学「古典」〕 | 伊藤 達氏 | 342701 | 444 |
| 歴史学〔日本近代史〕 | 林 彰 | 342801 | 445 |
| 歴史学〔中国史概観〕 | 小林 惣八 | 342901 | 445 |
| 歴史学〔アジア史概観〕 | 山口 洋 | 343001 | 445 |
| 哲学〔西洋思想の源流〕 | 滝沢 正之 | 343101 | 446 |
| 哲学〔近代の人間観と世界観〕 | 佐藤 暁 | 343201 | 446 |
| 哲学〔現代文明と人間〕 | 鈴木 聡 | 343301 | 446 |
| 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 | 伊古田 理 | 343401 | 447 |
| 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 | 麻生 享志 | 343501 | 447 |
| 倫理学〔現代と倫理〕 | 古田 知章 | 343601 | 448 |
| 倫理学〔人生と倫理〕 | 末木 恭彦 | 343701 | 448 |

(2) 社会分野

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------------|--------|--------|-----|
| 社会学〔現代社会を考える〕 | 南後 由和 | 344201 | 449 |
| 社会学〔現代文化を考える〕 | 橋爪 敏 | 344301 | 449 |
| 文化人類学〔文化と人間〕 | 川上 新二 | 344401 | 449 |
| 文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 | 杉井 純一 | 344501 | 450 |
| 政治学〔政治システムと政治参加〕 | 真下 英二 | 344801 | 450 |
| 政治学〔国際社会と日本〕 | 山村 恒雄 | 344901 | 451 |
| 経済学〔現代経済と人間〕 | 沼田 郷 | 345001 | 451 |
| 社会科学論〔社会認識の思想〕 | 枝松 正行 | 345101 | 452 |
| 統計学〔社会現象の統計的決定〕 | 新行内 康慈 | 345201 | 452 |

(3) 自然分野

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|---------------------|--------|--------|-----|
| 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 | 鈴木 順一 | 345301 | 453 |
| 心理学〔人間関係を考える〕 | 鈴木 順一 | 345401 | 454 |
| 生物学〔生態と進化〕 | 清水 善和 | 345501 | 454 |
| 生物学〔生物と環境〕 | 中村 敏枝 | 345601 | 455 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕 | 澤口 隆 | 345701 | 455 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕 | 坂野井 和代 | 345801 | 456 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕 | 澤口 隆 | 345901 | 455 |
| コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕 | 坂野井 和代 | 346001 | 456 |
| 地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕 | 加藤 潔 | 346101 | 456 |
| 地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕 | 加藤 潔 | 346201 | 456 |
| 自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕 | 篠原 正雄 | 346301 | 457 |
| 自然環境論〔生命と環境〕 | 山縣 毅 | 346401 | 457 |
| 情報数学〔情報と論理〕 | 鳥居 竜三 | 346501 | 458 |

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-----------------|--------|--------|-----|
| 英語IA〔基礎英語特別クラス〕 | 濱口 真木 | 346901 | 461 |
| 英語IA | 今井 夏彦 | 347001 | 461 |
| 英語IA | 萩野 一成 | 347101 | 461 |
| 英語IA | 照山 雄彦 | 347201 | 461 |
| 英語IA | 芝田 興太郎 | 347211 | 462 |
| 英語IB〔基礎英語特別クラス〕 | 大淵 利春 | 348001 | 462 |
| 英語IB | 佐々木 隆 | 348101 | 462 |
| 英語IB | 杉本 誠 | 348201 | 462 |
| 英語IB | 林 孝憲 | 348301 | 463 |
| 英語IB | 佐藤 アヤ子 | 348401 | 463 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 前田 脩 | 354601 | 463 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 前田 脩 | 354602 | 463 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 近藤 真彰 | 354701 | 463 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 近藤 真彰 | 354702 | 463 |
| 英語IA〔再クラス〕 | 増田 恵子 | 354901 | 463 |
| 英語IB〔再クラス〕 | 増田 恵子 | 354902 | 463 |
| 英語IIA | 落合 和昭 | 349201 | 464 |
| 英語IIA | 今井 夏彦 | 349301 | 465 |
| 英語IIA | 岡本 誠 | 349401 | 465 |
| 英語IIA | 芝田 興太郎 | 349411 | 465 |
| 英語IIB | 林 孝憲 | 350301 | 465 |
| 英語IIB | 杉本 誠 | 350401 | 466 |
| 英語IIB | 佐藤 アヤ子 | 350501 | 466 |
| 英語IIB | 佐々木 隆 | 350511 | 466 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 照山 雄彦 | 355201 | 466 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 照山 雄彦 | 355202 | 466 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 岸本 茂和 | 355301 | 467 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 岸本 茂和 | 355302 | 467 |
| 英語IIA〔再クラス〕 | 本間 俊一 | 355401 | 467 |
| 英語IIB〔再クラス〕 | 本間 俊一 | 355402 | 467 |
| ドイツ語IA | 清水 修 | 351401 | 467 |
| ドイツ語IB | 篠原 敏昭 | 351601 | 468 |
| ドイツ語IIA | 清水 修 | 351801 | 468 |
| ドイツ語IIB | 篠原 敏昭 | 351901 | 468 |
| ドイツ語IA〔再クラス〕 | 野島 利彰 | 355601 | 468 |
| ドイツ語IB〔再クラス〕 | 野島 利彰 | 355602 | 468 |
| ドイツ語IIA〔再クラス〕 | 本橋 右京 | 355701 | 469 |
| ドイツ語IIB〔再クラス〕 | 本橋 右京 | 355702 | 469 |
| フランス語IA | 高橋 明美 | 352001 | 469 |
| フランス語IB | 木下 雄介 | 352201 | 469 |
| フランス語IIA | 高橋 明美 | 352401 | 470 |
| フランス語IIB | 木下 雄介 | 352501 | 470 |
| フランス語IA〔再クラス〕 | 長谷川 光明 | 355801 | 470 |
| フランス語IB〔再クラス〕 | 長谷川 光明 | 355802 | 470 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|----------------|--------|--------|-----|
| フランス語IIA〔再クラス〕 | 長谷川 光明 | 355901 | 470 |
| フランス語IIB〔再クラス〕 | 長谷川 光明 | 355902 | 470 |
| 中国語IA | 秋元 翼 | 352601 | 471 |
| 中国語IB | 王 聡 | 352801 | 471 |
| 中国語IIA | 秋元 翼 | 353001 | 471 |
| 中国語IIB | 王 聡 | 353111 | 471 |
| 中国語IA〔再クラス〕 | 大久保 明男 | 356001 | 472 |
| 中国語IB〔再クラス〕 | 大久保 明男 | 356002 | 472 |
| 中国語IIA〔再クラス〕 | 弘兼 加奈子 | 356201 | 472 |
| 中国語IIB〔再クラス〕 | 弘兼 加奈子 | 356202 | 472 |
| スペイン語IA | 大岩 功 | 353401 | 472 |
| スペイン語IB | 横藤田 稔泰 | 353601 | 473 |
| スペイン語IIA | 大岩 功 | 353701 | 473 |
| スペイン語IIB | 横藤田 稔泰 | 353801 | 473 |
| スペイン語IA〔再クラス〕 | 栗林 ゆき絵 | 356401 | 474 |
| スペイン語IB〔再クラス〕 | 栗林 ゆき絵 | 356402 | 474 |
| スペイン語IIA〔再クラス〕 | 栗林 ゆき絵 | 356501 | 474 |
| スペイン語IIB〔再クラス〕 | 栗林 ゆき絵 | 356502 | 474 |
| ロシア語IA | 廣田 英靖 | 353901 | 475 |
| ロシア語IB | 廣田 英靖 | 354001 | 475 |
| ロシア語IIA | 廣田 英靖 | 354101 | 476 |
| ロシア語IIB | 廣田 英靖 | 354201 | 476 |
| ロシア語IA〔再クラス〕 | 杉山 秀子 | 356601 | 476 |
| ロシア語IB〔再クラス〕 | 杉山 秀子 | 356602 | 476 |
| ロシア語IIA〔再クラス〕 | 杉山 秀子 | 356701 | 477 |
| ロシア語IIB〔再クラス〕 | 杉山 秀子 | 356702 | 477 |

《選択科目》

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|---------|-----------|--------|-----|
| 英会話I | ロビン、G. F. | 351201 | 478 |
| 英語L LI | 西村 祐子 | 351301 | 479 |
| 英会話II | ロビン、G. F. | 354301 | 480 |
| 英語L LII | 林 明人 | 354401 | 481 |

4. 保健体育科目

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|
| 健康・スポーツ論 | 村松 誠 | 341201 | 485 |
| 健康・スポーツ論 | 三幣 晴三 | 341301 | 485 |
| 健康・スポーツ実習（ミニサッカー） | 大石 武士 | 340301 | 486 |
| 健康・スポーツ実習（バドミントン） | 村松 誠 | 340501 | 486 |
| 生涯スポーツ実習（集中後期・応用） | 休講 | — | |
| 生涯スポーツ実習（集中後期・基礎） | 休講 | — | |
| 生涯スポーツ実習（集中前期・基礎） | 休講 | — | |
| 生涯スポーツ実習（集中前期・応用） | 休講 | — | |
| 生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ） | 三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝 | 199301 | 487 |
| 生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ） | 三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝 | 199302 | 487 |
| 生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） | 鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博 | 199401 | 488 |
| 生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード） | 鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博 | 199402 | 488 |

Ⅱ 専門教育科目

- ・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスB生の科目ですが、フレックスA時間帯に開講しています。フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。

法律学科フレックスB

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-----------|-------------------|--------|-----|
| 法学概論 | 高橋 洋城 | 323031 | 491 |
| 法学概論A | 高橋 洋城 | 323032 | 491 |
| 公法入門 | 佐藤 多美夫 ・塩入 みほも | 323011 | 491 |
| 法学概論B | 佐藤 多美夫 ・塩入 みほも | 323012 | 491 |
| 私法入門 | 竹中 智香 | 323021 | 492 |
| 法学概論B | 竹中 智香 | 323022 | 492 |
| 憲法 | 武市 周作 | 323101 | 492 |
| 民法総則 | 大宮 隆 | 323201 | 493 |
| 刑法総論 | 佐藤 多美夫 | 323301 | 494 |
| 会社法 | 荒木 正孝 | 323501 | 495 |
| 行政法 | 金子 昇平 | 323602 | 496 |
| 行政法総論 | 金子 昇平 | 323601 | 496 |
| 裁判法 | 五百田 俊治 | 323701 | 496 |
| 国際法 | 王 志安 | 323401 | 497 |
| ※ 比較憲法 | 西 修 | 117701 | 280 |
| 新入生演習 | 向田 正巳 ・西 修 | 327011 | 498 |
| 新入生演習 | 佐藤 多美夫 ・中田 英幸 | 327021 | 498 |
| 新入生演習 | 山口 邦夫 ・田中 優企 | 327031 | 498 |
| 債権総論 | 中田 英幸 | 325001 | 499 |
| 物権法 | 今尾 真 | 324601 | 499 |
| ※ 法社会学 | 休講 | 118201 | |
| 日本法制史 | 休講 | 324001 | |
| 西洋法制史 | 北野 かほる | 324101 | 500 |
| 政治学原論 | 大塚 桂 | 324301 | 501 |
| ※ 政治史 | 村井 良太 | 117401 | 284 |
| 経済原論 | 藤原 碩宣 | 324401 | 502 |
| 行政学 | 田丸 大 | 324501 | 502 |
| ※ 法律時事英語 | 井上 健一 | 118101 | 285 |
| 商法総則・商行為法 | 川口 幸美 | 325501 | 503 |
| 刑法各論 | 松村 格 | 324701 | 503 |
| 刑事政策 | 覚正 豊和 | 323901 | 504 |
| 債権各論 | 須賀 昭徳 | 324801 | 505 |
| ※ 英米法 | 北野 かほる | 118401 | 289 |
| ※ 仏法 | 上井 長久 | 118601 | 290 |
| ※ 独法 | 山口 邦夫 | 118501 | 291 |
| 法思想史 | 高橋 洋城 | 324201 | 506 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|----------------|--------|--------|-----|
| 演習I | 荒木 正孝 | 327601 | 507 |
| 演習II | 荒木 正孝 | 327602 | 507 |
| 演習I | 大宮 隆 | 327901 | 507 |
| 演習II | 大宮 隆 | 327902 | 507 |
| 演習I | 金子 昇平 | 327201 | 507 |
| 演習II | 金子 昇平 | 327202 | 507 |
| 演習I | 田中 優企 | 327701 | 508 |
| 演習II | 田中 優企 | 327702 | 508 |
| 演習I | 中田 英幸 | 326901 | 508 |
| 演習II | 中田 英幸 | 326902 | 508 |
| 演習I | 西 修 | 327301 | 509 |
| 演習II | 西 修 | 327302 | 509 |
| 演習I | 藤本 茂 | 327101 | 509 |
| 演習II | 藤本 茂 | 327102 | 509 |
| 演習I | 向田 正巳 | 327911 | 510 |
| 演習II | 向田 正巳 | 327912 | 510 |
| 演習I | 山口 邦夫 | 327501 | 510 |
| 演習II | 山口 邦夫 | 327502 | 510 |
| ※ 外書講読I (英書) | 王 志安 | 120501 | 308 |
| ※ 外書講読II (英書) | 王 志安 | 120502 | 308 |
| ※ 外書講読I (英書) | 川口 幸美 | 120601 | 309 |
| ※ 外書講読II (英書) | 川口 幸美 | 120602 | 309 |
| ※ 外書講読I (英書) | 北野 かほる | 120401 | 308 |
| ※ 外書講読II (英書) | 北野 かほる | 120402 | 308 |
| ※ 外書講読I (独書) | 松村 格 | 120701 | 309 |
| ※ 外書講読II (独書) | 松村 格 | 120702 | 309 |
| ※ 外書講読I (仏書) | 荒木 正孝 | 120801 | 309 |
| ※ 外書講読II (仏書) | 荒木 正孝 | 120802 | 309 |
| ※ 外書講読I (中国書) | 岩崎 皇 | 120901 | 310 |
| ※ 外書講読II (中国書) | 岩崎 皇 | 120902 | 310 |
| 担保物権法 | 熊谷 芝青 | 326301 | 510 |
| 家族法 | 竹中 智香 | 326411 | 511 |
| 有価証券法 | 中濱 義章 | 324901 | 512 |
| ※ 登記法 | 田沼 浩 | 118801 | 310 |
| 保険・海商法 | 井上 健一 | 326501 | 512 |
| 民事訴訟法 | 間瀬 清史 | 326601 | 513 |
| 刑事訴訟法 | 田中 優企 | 327001 | 513 |
| 労働法 | 藤本 茂 | 325101 | 514 |
| 社会保障法 | 根岸 忠 | 325301 | 515 |
| 行政救済法 | 仲田 孝仁 | 326911 | 516 |
| 税法 | 中江 博行 | 325801 | 517 |
| 地方自治法 | 富井 幸雄 | 326001 | 517 |
| 国際私法 | 佐々木 彩 | 325901 | 518 |
| 環境法 | 仲田 孝仁 | 325601 | 518 |
| 経済法 | 荒井 登志夫 | 325201 | 519 |
| ※ 消費者法 | 向田 正巳 | 120101 | 313 |
| 知的財産権法 | 盛岡 一夫 | 325701 | 519 |
| 民事執行・保全法 | 福永 清貴 | 326701 | 519 |
| 倒産処理法 | 鈴木 貴博 | 326801 | 520 |
| ※ 法哲学 | 高橋 洋城 | 119401 | 315 |

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|----------|-------|--------|-----|
| ※ 法学特殊講義 | 休講 | 120211 | |
| 財政学 | 速水 昇 | 333301 | 520 |
| 国際関係論 | 三船 恵美 | 325401 | 521 |
| 経済政策 | 松前 龍宜 | 307201 | 522 |
| ※ 社会政策 | 根岸 忠 | 119201 | 317 |
| ※ 現代企業論 | 王 志安 | 101202 | 320 |
| 簿記論 | 鈴木 勝浩 | 307901 | 522 |
| 経営学総論 | 名取 修一 | 307601 | 523 |
| 会計学総論 | 石川 純治 | 307101 | 523 |

Ⅲ 他学部履修科目

- ・『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの他学部履修科目のページを参照してください。
- ①フレックスA時間帯（月～金の1～5時限、土の1～4時限）に開講されている科目は、フレックスAの他学部履修科目を参照してください。

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-----------|-------|--------|-----|
| 商学総論 | 大吹 勝男 | 307501 | 527 |
| 国際経済論 | 徳永 俊明 | 308901 | 528 |
| 商業政策 | 休講 | 309301 | |
| アジア経済論 | 休講 | 310001 | |
| マーケティング | 曾我 信孝 | 311101 | 529 |
| 中小企業論 | 吉田 敬一 | 311311 | 529 |
| 中小企業政策論 | 吉田 敬一 | 311401 | 530 |
| 人口論 | 森岡 仁 | 311701 | 530 |
| 人的資源管理論 a | 堀 龍二 | 312211 | 531 |
| 人的資源管理論 b | 堀 龍二 | 312221 | 531 |
| 社会思想史 a | 阿部 弘 | 312611 | 532 |
| 社会思想史 b | 阿部 弘 | 312621 | 533 |
| 法思想史 | 高橋 洋城 | 324201 | 534 |
| 倒産処理法 | 鈴木 貴博 | 326801 | 535 |
| 会計監査論 | 休講 | 331801 | |
| 日本経済論 | 羽鳥 茂 | 332901 | 535 |

IV 随意科目

| 科目名 | 担当者名 | 履修コード | ページ |
|-------------|------|-------|-----|
| 英語（海外演習） | — | — | 539 |
| フランス語（海外演習） | — | — | 539 |
| 中国語（海外演習） | — | — | 539 |

法律学科フレックスA

政 治 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 204101 |
| 科目名 | 仏教と人間 |
| 担当者名 | 晴山 俊英 <small>はれやま しゆんえい</small> |

講義のねらい 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで -
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観 -
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘経典 -
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立 -
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代 -

履修上の留意点 上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法 期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
教科書 特になし。板書が中心となる。
参考書等 授業において適宜指示する。
その他 試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 204201 |
| 科目名 | 仏教と人間 |
| 担当者名 | 池田 練太郎 <small>いけだ れんたろう</small> |

講義のねらい 仏教および曹洞宗の教えに親しんで貰うことを、本講義の目的とします。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、宗教および仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール 本講義の目的を達成するため、本講義では以下のことを行いたいと思います。まず、仏教の教主である釈尊から曹洞宗の両祖（道元禪師・瑩山禪師）にいたる仏教の歴史を概説する。その後、道元禪師のこたばを抄出して明治時代に編纂された曹洞宗の読誦経典『修証義』を読みながら、仏教および曹洞宗の教えを紹介する。

履修上の留意点 必修科目であるので、積極的に参加して貰いたい。
成績評価の方法 学年末に実施する試験（定期試験）と出席点によって成績評価を行う。
教科書 経本と資料を配布してテキストとする。
参考書等 中村元『ブツガ入門』（春秋社）、平川彰『仏教入門』（春秋社）、梶山雄一『空入門』（春秋社）、柳田聖山『禅思想』（中公新書）、鏡島元隆『道元一正法眼蔵・永平広録 禅入門2』（講談社）、松尾剛次『「お坊さん」の日本史』（日本放送出版協会・生活人新書041）等。その他は講義の中で適宜紹介する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 204301 |
| 科目名 | 仏教と人間 |
| 担当者名 | 佐藤 秀孝 |

講義のねらい 仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・授業スケジュール 講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅の人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。

成績評価の方法 具体的には、前期に宗教一般の中における仏教の特徴、仏教の開祖ゴータマ・ブッタの生涯に触れ、さらに四諦八正道や三法印など仏教の基本的なものの見方について触れ、達磨（ダルマ）に始まる中国禅宗の特徴、中国・日本における人間観・修行観・自然観などについて論じる。

教科書 後期には仏教の中から特に禅宗について触れ、達磨（ダルマ）に始まる中国禅宗の特徴、中国・日本における禅宗の歴史の変遷について述べ、さらに仏教・禅宗における人間観・修行観・自然観などについて論じる。

参考書等 年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書 廣澤隆之『図解雑学・仏教』（ナツメ社）1,400円、中尾良信『図解雑学・禅』（ナツメ社）1,400円を使用したい。

参考書等 奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 204401 |
| 科目名 | 仏教と人間 |
| 担当者名 | 石井 清純 |

講義のねらい 仏教の思想と禅の中心思想について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール 種々の経典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。また、鎌倉時代に成立した各宗派の内容を対比的に解説しつつ、現代社会と仏教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

履修上の留意点 (1)「仏教と人間」と建学の理念、(2)宗教の定義、(3)世界の宗教の特徴、(4)仏教の教えの特徴、(5)仏教の宇宙観、(6~8)釈尊伝、(10・11)仏教の展開と伝播(インドから中国へ)、(12~14)大乘仏教の特徴と主要経典、(15)仏像と菩薩像、(16・17)達磨さんの話(映像資料)、(18・19)日本仏教十三宗概観、(20)日本の神々(日本人の宗教観念)、(21~24)禅思想と道元禪師(曹洞宗の禅)、(25)禅の修行道場の一年(映像資料)、(26~28)中世の寺院機構と武家政権の宗教政策、(29)江戸幕府の「法度」について、(30)廃仏毀釈と明治期以降の仏教

成績評価の方法 出席は取らないが、講義中に数回のアンケートや感想文の提出を要求する。これも成績評価に加味されるので、夏休みのレポートとともに確実に提出すること。

教科書 前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。また、授業時間内で要求するレポートやアンケートなども加味して評価する。

参考書等 適宜プリントを配布する。

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 204501 |
| 科目名 | 仏教と人間 |
| 担当者名 | すがわら としきよ 菅原 壽清 |

講義のねらい 人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と宗教」という視点から、人間と宗教・仏教について、その営みをとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教をとらえてゆくための基礎的な講義を、後半では仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禅のころなどの講義を、DVDやプロジェクターを用いてスライドを写すなど、ビジュアルな授業を進めて行きます。

講義の内容・授業スケジュール

〈宗教へのアプローチ〉

1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
2. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈人びとの暮らしと仏教〉

5. 仏陀の教え（仏陀の生涯と教え）
6. 仏教の伝播と変容（中国・チベット仏教）
7. " " （日本の仏教）
8. " " ー神仏習合と分離ー
9. 禅のころ（道元禅師の教え）

（海外調査などで撮影した多数の写真を、ホームページで公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。）

**履修上の留意点
成績評価の方法**

必須科目なので、毎回出欠の確認を行います。

試験 + α + β （詳細は、講義の時説明）

α = 座席点（ABCで、積極的な授業参加を評価します）

β = レポート点（課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します）

教科書

特には指定しません。『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、なお可です。

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

また、講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です

**参考書等
その他の他**

講義中に紹介

特になし

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 204601 |
| 科目名 | 仏教と人間 |
| 担当者名 | わたなべ まさひで 渡部 正英 |

講義のねらい 宗教教育としての仏教をさぐる。日本人に馴染み深い仏教を科学的な視点をもって、人々の生活に宗教としてのどの様に関わってきたかを知る。前期は宗教学、仏教の歴史を通して話す。後期は仏教の実際の行事、儀礼などを参考に人々との関係を中心に話しをする。

**講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法**

（1～6）仏教と宗教学、（7～12）歴史から見た仏教（仏教史、世界宗教として等）、（13～19）

仏教と人生（年中行事、通過儀礼などから）、（20～25）仏教と祈り（仏像、巡礼などとの関わり）

各項目のまとめに授業内試験をする。更に最終講義の時に試験をして、総合評価をする。出席状況は考慮していく。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

| | |
|-------|----------------------------------------------|
| 履修コード | 204701 |
| 科目名 | 仏教と人間 |
| 担当者名 | 岡部 <small>おかべ</small> 雅明 <small>まさあき</small> |

講義のねらい 仏教は、教義としての仏教や、人びとが実際に信仰として行っている仏教などさまざまなレベルの仏教があります。また、信仰に基づいた仏教として行われている活動にも、地域によるバリエーションが存在します。このような多様性に富む仏教について、他の信仰との関連なども含め、仏教の教義や生活に根ざした仏教の理解、さらには宗教一般についての理解を深めることを目的としたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 【1～5】現代日本の仏教諸相(葬祭仏教・檀信徒制度・年中行事・祈祷など)【6～10】宗教現象の諸相(世界宗教・民俗宗教・シャーマニズムなど)【11～15】宗教学の基礎理論(宗教起源説・呪術・宗教論など)【16～20】初期仏教の歴史と教説(ブッタの生涯・教説など)【21～25】インド仏教の歴史と教説(部派仏教・大乘仏教など)【26～30】日本仏教の歴史と教説(仏教の受容・奈良仏教・平安仏教・鎌倉仏教など)

成績評価の方法 出席状況と学年末の筆記試験により評価しますが、場合によってはレポートを提出してもらい、総合的に評価します。

教科書 特に指定しない。
参考書 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院)

| | |
|-------|----------------------------------------------|
| 履修コード | 205701 |
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 吉津 <small>よしづ</small> 亘英 <small>よしかず</small> |

講義のねらい まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動(new spirituality movement)という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点 この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書 特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書 講義の中で随時参考図書を紹介します。

その他 私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 205801 |
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>つのだ たいりゆう</small> 角田 泰隆 |

講義のねらい 宗教とは何か、そして仏教とは何かについて、その基本的事柄について、できるだけわかりやすく講義したい。特に、葬式仏教と批判され誤解されている仏教を、正しく認識してもらいたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、まず宗教とは何か(1～3)について概説し、その後、仏教の歴史(4～5)及びその基本思想(6～15)について解説する。後期は、仏教と人間(16～18)・社会(19～20)・生活(21～22)・環境(23～24)・人権(25～26)・教育等(27～30)さまざまな問題を取り上げて講義する。

履修上の留意点 教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。(定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する)

成績評価の方法 定期試験の成績によって評価する。

教科書 なし

参考書等 授業において紹介する。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 205901 |
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>おおたに かつお</small> 大谷 哲夫 |

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教え。インド・中国・日本における仏教とくに禅仏教の流れ。特に本学の建学の理念の母胎を形作った禅の考え方を曹洞禅を中心にして講義を進める。

履修上の留意点 日本文化の基礎の一面を担った仏教を理解し、現代における日本人としての自分自身の存在を常に意識してもらいたい。

成績評価の方法 出席状況とレポートを加味して評価する。

教科書 特になし。必要な資料は随時配布する。

参考書等 必要に応じて適宜指示する。

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 206001 |
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>はれやま しゆんえい</small> 晴山 俊英 |

講義のねらい 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで-
第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観-
第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘経典-
第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立-
第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代-

履修上の留意点 上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法 期末試験に出席の状況(不定期に出欠をとります)を加味して評価する。

教科書 特になし。板書が中心となる。

参考書等 授業において必要があれば適宜指示する。

その他 試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

2. 教 養 教 育 科 目

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 206601 |
| 科目名 | 文学〔日本文学「古典」〕 |
| 担当者名 | 塩崎 真理子 <small>しほざき まりこ</small> |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 『大和物語』を周辺文学と比較しながら読む。『大和物語』は和歌説話集の性質をもつため、話型が散見する。話型をテーマとして『伊勢物語』や『今昔物語集』、『源氏物語』や他の文学作品と比較しながら講義を進めていく。また、本作品で見られた話型が現代の様々な作品にどのように影響を与えているかも、あわせて考えてもらいたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | <ol style="list-style-type: none"> 1) ガイダンス 2) 『大和物語』とは 3) 生田川伝説 4) 蘆刈伝説 5) 采女入水譚 6) 龍田山伝説 7) 安積山伝説 8) 姨捨山説話 9) 三輪山伝説 10) 二人妻説話・二人夫説話 11) 『大和物語』と『源氏物語』 |
| 履修上の留意点 | 古典文学の知識は必要ないが、各話型が現代の様々な作品にどのように影響しているのか問題意識をもって授業にのぞんでほしい。 |
| 成績評価の方法 | 出席状況と授業時の小レポート、課題レポートによって評価する。 |
| 教科書 | 授業時に、プリントを配布する。 |
| 参考書等 | 適宜、教場で指示する。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 206901 |
| 科目名 | 文学〔日本文学「古典」〕 |
| 担当者名 | 坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small> |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 日本文学（古典文学）に見る「旅・旅人」の文学を取り上げる。特に「漂泊・漂泊者」の文学性を考察する。「旅」を通して、そこに現れる当時の人々の意識の深層を考察してほしい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | はじめに「旅・漂泊」の内実を歴史的に概説し（1・2）、漂泊者としてのヤマトタケル像（3～6）、ついで在原業平の東下り（7・8）、貴種流離譚としての光源氏の須磨退去（9・10）、西行の旅（11～15）、源義経の平泉逃亡（16・17）、阿仏尼の鎌倉下向（18・19）、後深草院二条の旅（20～23）、芭蕉の旅（24～）等々を考察してもらおう。 |
| 履修上の留意点 | 授業は適宜配布するプリント教材によって講義形式で行う。プリントはレポート作成の資料となるものであるから、出席に努めてほしい。 |
| 成績評価の方法 | 授業の最終日にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況や授業への取り組み（授業内の小レポート提出等）への評価を含めて評価する。 |
| 教科書 | 授業時に配布するプリントを教材とする。 |
| 参考書等 | 授業時に適宜紹介する。 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 206701 |
| 科目名 | 文学〔日本文学「日本のことば」〕 |
| 担当者名 | <small>あいざわ たかゆき</small> 相澤 貴之 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義は、日本のことばについて、ときに深く、ときに広く、考え、学ぶものである。講義は現代語の国語辞典をテーマとして進めていく。国語辞典に関する基本事項の確認から始め、それをふまえて、国語辞典を起点として社会や文化の諸相を捉えることで、現代日本語に対する感覚、及び日本文化に対する感覚を磨く。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 現代語の国語辞典の基本的な使い方の確認、辞典の比較研究などを通して現代の日本語を考える。更には、現代日本語文法、方言、外国語などとの関連事項を盛り込み、講義を進めていく。講義の流れは次の通りである。 前期1～5) 辞典の基本、6～10) 辞典の比較、11～15) 現代日本語文法との関わり、後期1～5) 外国語との関連、6～10) 方言との関連、11～15) 辞典の研究 |
| 履修上の留意点 | 講義の中では、紙媒体の辞典を中心にさまざまな国語辞典を利用していくが、新たに辞典を購入する必要はない。各自既に持っている辞典を利用すれば良い。電子辞書も可。ただし、常に辞典を引くという習慣を持って講義に臨むことを強く求める。 |
| 成績評価の方法 | 成績は、①前期3回、後期3回(通年で合計6回)課オレポート、②出席状況、③授業態度、の3項目により総合的に評価する。 |
| 教科書 参考書等 | 授業時にプリントを配布する。 授業中に指示する。 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 207001 |
| 科目名 | 文学〔日本文学「近代」〕 |
| 担当者名 | <small>いしわり とおる</small> 石割 透 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 日本近代文学史のうえで、重要な位置を占め、多くの読者に愛され続けている夏目漱石「坊ちゃん」、島崎藤村「家」、そして芥川龍之介の作品を中心にその内容を細かく検討する。特に、作品の表現について触れ、他の芸術表現ジャンルに対しての文学テキストの特色、テキストにうかがえる文化的諸相を明らかにし、そこに潜む課題について考えていきたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1、夏目漱石「坊ちゃん」(6) 2、島崎藤村「家」(8) 3、芥川龍之介「鼻」(3)、4 芥川龍之介「地獄変」(3) 5 芥川龍之介「奉教人の死」(3) 6、芥川龍之介「舞踏会」(3) など。 |
| 履修上の留意点 | 前もって、その授業で扱う作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。特に夏目漱石、島崎藤村や田山花袋、芥川龍之介や菊池寛などの作品をできるだけ多く読んで授業に臨むこと。 |
| 成績評価の方法 | 年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。 |
| 教科書 | 特に指示しないが、授業で扱う作品は、文庫本で読める。「夏目漱石 坊ちゃん」「島崎藤村「家」(以上「新潮文庫」など)、「芥川龍之介全集1～6」(ちくま文庫)など。 |
| 参考書等 その他 | 授業時に指示する。 講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。 |

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 207201 |
| 科目名 | 文学〔日本のことば〕 |
| 担当者名 | 萩原 義雄 |

講義のねらい 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかないでいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に授業を進めていく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
国語・国文学作品に於ける研究とその展開
 - 02の講義内容 和語と漢語
 - 03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)
 - 04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)
 - 05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』)
 - 07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)
 - 08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)
 - 09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)
 - 10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む
 - 11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む
 - 12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む
 - 13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む
 - 14の講義内容 「パロディ」化の作品とは
 - 15の講義内容 絵本と言語
 - 16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現
 - 17の講義内容 書道と言語(唐顔真卿と明朝体文字)
 - 18の講義内容 文字遊び(回文・逆さことば・しりとり等)
 - 19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、欠字=『干禄字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)
 - 20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)
 - 21の講義内容 文法はグラグラと揺れている
 - 22の講義内容 文章体の特徴を知ろう
 - 23の講義内容 音韻の響きと弾み
 - 24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか
 - 25の講義内容 日本語の系統
 - 26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌
 - 27の講義内容 愈々、独り立ち

履修上の留意点 ※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法 成績評価方法
月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。

『紀田順一郎著作集』第6巻一知の職人たち／生涯を賭けた一冊一〔三一書房1997刊〕

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

教科書
参考書
その他

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 207301 |
| 科目名 | 文学〔外国文学「アメリカ文学」〕 |
| 担当者名 | 田中 保 |

講義のねらい アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家の代表作品を取り上げて、それらの作品を通して、アメリカの文化・歴史・社会を多角的に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール [1]アメリカ文学の主潮(1~15)
[2]主要な作家の作品研究(1~15)

履修上の留意点 前期は講義形式で、足早にアメリカ文学を概観します。後期は主な作家の作品一覧表から興味ある作品を数編選び、グループ編成による発表を行なう。

成績評価の方法 レポート提出、発表、出席状況等で総合的に評価する。

教科書 特に教科書は使用しません。必要に応じてプリントを使用します。

参考書 は授業の際に、適宜紹介します。

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 207401 |
| 科目名 | 文学〔外国文学「ロシア文学」〕 |
| 担当者名 | 杉山 秀子 |

講義のねらい ロシア文学は長い伝統をもつ傑出した文学として日本ではよく知られているが、その詳細について知る人は少ない。日本とは全く異なる土壌でつくられた文学を学ぶことはその国のものの考え方、行動様式を理解するうえできわめて重要であり、意義深いことである。

講義の内容・授業スケジュール (1)ロシアとはどういう国なのか。その風土、国民的気質、宗教、歴史、政治体制、経済についてのあらまし(2-3)ロシア人は自国の言葉をどのように守ってきたか、ロシア語の特性と文学(4-6)女帝の支配するロシア、古典主義文学の隆盛、フォンヴィージン、カラムジンの輩出、ロモノソフの文字改革。(7-9)18世紀から19世紀にかけて活躍する文豪達。プーキン、ゴッリ、ツルゲーネフ、レーモントフ、チュルヌイシェフスキイ、ゲルツェンの輩出(10-12)20世紀初頭のチェホフの文学 1917年革命後に活躍したゴーリキイを中心とするズナーニェ派の作家。これに対抗したのは、ペールイ、ギッピウス、ソロヴィヨフ、ソログラフ、ブリュソフ、ブロークラの象徴派の詩人。リアリズム派と、モダニズム派との熾烈な文学闘争。(13-14)スターリンの台頭による文学のしめつけ。スターリン死後、作家同盟を中心とする雪どけ。エレンブルグらが活躍、ソルジェニツインの国外退去。(15)1991年のソヴェート政権崩壊後の文学。

履修上の留意点 特にないが、自分の意見を書いてもらうことがある。その場合インターネット、ウイキペディアの丸写しは評価しない。

成績評価の方法 文章表現力をつけるため、数回授業中に文章を書いてもらい提出してもらう。授業内試験と提出物を基本に評価する。出席状況も考慮。

教科書 特になし。

参考書等 授業内で指示する。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 207801 |
| 科目名 | 歴史学〔日本中世史〕 |
| 担当者名 | 今野 慶信 |

講義のねらい 歴史学は「史料」に基づいた科学である。なかでも日本中世史は、明治時代、日本と西欧封建制との比較研究から生まれてきた学問分野であり、日本中世封建制度の研究は長く学界を規定してきた。しかし今日、その発展形である唯物史観に基づいた「戦後歴史学」の見直しが叫ばれ、一方では網野善彦氏の研究などに代表される社会史が学界に旋風を巻き起こしてきた。近年の日本中世史研究は、こうした流れを受け、さまざまな資料、例えば系図や絵画などを駆使して、豊かな中世史像を生み出すことに成功している。本講義では、そうした日本中世史の最新の研究動向を紹介しつつ、受講生には歴史・文化や地域に知的好奇心を持ち、過去へのまなざしと現代社会への視点を養ってもらいたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール 講義で扱う時代範囲は、平安時代末期から江戸時代初期までであるが、時代の流れを追い追いつつも、各回毎にテーマを設定しつつ、今ホットなトピックも努めて紹介していくことにしたい。とりわけ、近年状況を呈している地域史研究の分野において、現在我々が暮らしている関東・東京地域史研究の成果を随時紹介していくことにしたい。

履修上の留意点 授業で配布する資料を貼り込むなど、ノート作りには工夫してもらいたい。

成績評価の方法 定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書 なし。随時コピーを配布する。

参考書等 随時紹介する。

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 207901 |
| 科目名 | 歴史学〔東アジア考古学〕 |
| 担当者名 | 千葉 基次 |

講義のねらい 長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点 板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法 毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。

参考書等 授業の中で紹介する。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 208001 |
| 科目名 | 歴史学〔古代オリエント史〕 |
| 担当者名 | 大城 道則 |

講義のねらい 古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- (1) 地中海世界の中のエジプト
- (2) 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- (3) 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程）
- (4) 古王国時代のエジプト
- (5) 新王国時代のエジプト
- (6) メソポタミアの古代都市
- (7) 鉄の王国ヒッタイト

後期

- (8) 古代エーゲ文明の成立
- (9) 東方化の時代と大植民時代
- (10) エトルリア文明
- (11) 古代ローマ皇帝伝
- (12) 火山で埋もれた都市ポンペイ
- (13) 古代ローマ人の食生活
- (14) 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点 お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻・退室は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法 学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書 講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等 大城道則『ピラミッド以前の古代エジプト文明』（創元社）

その他 画像を多用するためパワーポイントを使用する。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 208101 |
| 科目名 | 歴史学〔西洋近代史〕 |
| 担当者名 | <small>ひじかた しおり</small> 土方 史織 |

講義のねらい 西洋近代史の概観をつかみ、現代社会の「かたち」を形成した「近代」という時代がどのようなものであったのか理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 以下の内容を講義形式で進めます。
前期：18世紀～19世紀 国民国家建設(フランス革命～アメリカ独立～産業革命)
後期：19世紀～20世紀 帝国主義形成(植民地主義～第一次大戦)
適宜プリントを配布し、プロジェクタなども使用して理解が深められるようにします。

履修上の留意点 予備知識としてルネサンス期以降のヨーロッパ史を理解しておく必要があります。地図帳や資料集などが手許にあると理解の助けになります。なお遅刻、私語は厳禁。守れない人は履修しないで下さい。

成績評価の方法 期末試験と夏期課題、時々とる出席で総合的に判断します。

参考書等 大下尚一他編『西洋の歴史[近現代編]増補版』ミネルヴァ書房1998年。
近藤和彦編『西洋世界の歴史』山川出版社1999年。
井野瀬久美恵著『大英帝国という経験』(興亡の世界史 第16巻)講談社2007年。
『ヨーロッパ史入門』(全10冊) 岩波書店

その他 授業初回に詳細なガイダンスをおこなうので履修予定者は必ず出席して下さい。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 208201 |
| 科目名 | 歴史学〔日本近世史〕 |
| 担当者名 | <small>でぐち ひろゆき</small> 出口 宏幸 |

講義のねらい 戦国の世が閉じられ、近世社会へ移行することで、どのような社会的変化がおこったのか。都市と村落という視点を基本に話を進めます。受講生にとって、この授業が、歴史と向き合う貴重な「時間」になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール (講義の内容)
全国的に成立した都市は、領主支配の拠点、また商業活動の舞台であり、村は生産の場でした。両空間の成立がもたらした、あらたな展開(身分・家格、社会的分業、文書社会化など)を通して、近代の直前に位置した近世社会について考えます。
(授業スケジュール)
(1～4) 戦国から近世へ、近世社会の概要〔幕府改革〕・〔流通網の形成〕・〔都市文化の隆盛〕
(5～9) 領主支配〔検地、年貢・諸役、五人組〕、〔檀家制度、村請制度〕、都市、村落〔村役人〕、家格(10～14)山村と漁村、商人の台頭、奉公人組織、商品生産の展開、貨幣制度(15～17)村を支えた集団、村方騒動と一揆、村の荒廃、(18)近世の終焉

成績評価の方法 試験80%、平常点20%

教科書 各回にプリント(資料含む)を配布します。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 208301 |
| 科目名 | 歴史学〔日本近代史〕 |
| 担当者名 | <small>たちかわ しやうじ</small> 立川 章次 |

講義のねらい 日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。
幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期 維新変革の機運・尊攘運動の展開・王政復古・明治新政・新国家の統一といった幕末から維新期にかけての過程を考察する。
後期は外交の転機となった幕府最初の遣米使節の人々や、咸臨丸の勝海舟、福澤諭吉、中浜万次郎といった人々の啓蒙思想の原点を考察する。

成績評価の方法 定期試験と出席日数により総合的に評価する。

教科書 尾佐竹 猛『幕末遣外使節物語』(講談社学術文庫)960円

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 208401 |
| 科目名 | 芸術学〔日本美術〕 |
| 担当者名 | 北野 良枝 |

講義のねらい 室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) ～ (12) 狩野正信・元信 (13) ～ (15) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (16) 江戸時代の狩野派 (17) ～ (20) 琳派
 (21) ～ (22) 浮世絵 (23) 南蘋派
 (24) 文人画 (25) ～ (26) 秋田蘭画と司馬江漢
 (27) 円山四条派 (28) 伊藤若沖と曾我蕭白
 (29) ～ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。
成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 208501 |
| 科目名 | 芸術学〔西洋美術〕 |
| 担当者名 | 矢野 陽子 |

講義のねらい ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール
 (1) ガイダンス (2～4) 16世紀の美術 (5) 17世紀初頭の美術 (6～7) 写実的傾向の画家たち
 (8～11) アカデミーと古典主義の美術 (12) 静物画 (13～16) ヴェルサイユの美術 (17～18) 18世紀初頭のフランス美術 (19～22) ロココ美術 (23～25) 肖像画、風俗画、風景画 (26～30) 新古典主義美術

履修上の留意点 作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法 夏休み後に提出するレポートと学年末の筆記試験に出席状況を加えて評価します。レポートの課題や試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等 高階秀爾『フランス絵画史』講談社学術文庫
 大野芳材『フランス近世の美術』財務省印刷局
 その他、授業中に適宜紹介します。

その他 授業内容と関連するものに限らず、開催される様々な美術展覧会を随時紹介する予定ですので、積極的に見に行ってください。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 208601 |
| 科目名 | 芸術学〔音楽〕 |
| 担当者名 | 浦本 裕子 |

講義のねらい

音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。

そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア

後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世

履修上の留意点

- ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
- ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法

前期：試験またはレポート

後期：試験

教科書
参考書等

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）

藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）

久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）

岡田暁生 『西洋音楽史』

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 208701 |
| 科目名 | 哲学〔西洋思想の源流〕 |
| 担当者名 | 滝口 清栄 |

講義のねらい

西洋思想は古代ギリシアで哲学的思索が始まってからすでに二千数百年の歴史をもっている。とかく現代では、目新しさを求める風潮が強くなる。そしてさまざまな流行が私たちを囲んでおり、思想の世界もこの風潮を免れていない。しかし、この二千数百年の歴史は、けっして遺物の山なのではない。そうではなく、この歴史のなかでさまざまなテーマが多くの思想家たちによって提出されて、さまざまな応答がなされてきた。それらは、今日のさまざまな思想的論点の底流を形作っていると云っても、言い過ぎではないだろう。

講義の内容・授業スケジュール

西洋思想の源流として、古代ギリシア・ローマの諸思想、そして中世の思想を取り上げる。講義にあたっては、それぞれの思想の検討だけでなく、その思想の背景にある歴史的な事情や当時の文化のあり方にも目配りをおこなう。講義スケジュールは次のようにする。

前期 ① 万物のはじめをもとめて（ソクラテス以前の哲学者たちの思索を検討する）、② ポリスの思想家たち（ソクラテス、プラトン、アリストテレスなど）

後期 ① ヘレニズム時代のコスモポリートたち（エピクロス、初期ストア派の思想家たち）、② 中世の思想（アウグスチヌス、トマス・アクイナスなど）、③ 近代の幕開け

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、3200円

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 208801・208901 |
| 科目名 | 哲学〔西洋思想の源流〕 |
| 担当者名 | 佐藤 暁 |

講義のねらい 哲学という営みが世界史上初めて行われた古代ギリシャ及びその強い影響下にあった中世ヨーロッパで活躍した哲学者たちの議論に、なるべく具体的かつ多く触れることによって、哲学的な問題とはどのようなものであり、哲学的に何かを論じるとは一般にどのようなことであるか、の理解を得ることを目的とします。また、一見現代の我々のものと異なって見えることもあるそれらの問題設定を知ることによって、我々が何かを考える際に自明と見なしている枠組みの相対性と普遍性を、結果的に吟味することにもなります。

講義の内容・授業スケジュール (1) 概論：哲学とはどのような学問か (2～4) ソクラテス以前の哲学 (5)～(10) ソクラテス・プラトン (11)～(17) アリストテレス (18)～(20) ヘレニズム期の哲学 (21) (22) 教父思想とアラビア哲学 (23) (24) カロリング・ルネサンスと前期スコラ学 (25)～(27) 盛期スコラ学 (28)～(30) 後期スコラ学

成績評価の方法 学期末にレポートを提出してもらいます。
教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 209001 |
| 科目名 | 哲学〔近代の人間観と世界観〕 |
| 担当者名 | 古田 知章 |

講義のねらい 現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 近代の人間観・世界観の源流

- (1) ガイダンス
- (2～4) 哲学における基礎的な問題の整理 人間と世界について問うこと
- (5～7) 古代ギリシアの思想 (1) 一哲学的探求の始まり一
- (8～10) 古代ギリシアの思想 (2) 一哲学の基盤の成立一
- (11～13) キリスト教思想と中世の哲学 一思索の新たな展開一
- (14～15) 中世から近世への連続と変動 一様々なルネサンスについて一

〔後期〕 近世・近代の人間観・世界観

- (1) 前期のまとめ
- (2～4) ルネサンスから近世の思想 一人間観・世界観の変革一
- (5～7) 科学の発展と世界観の変化との関係 一法則的世界と人間一
- (8～11) 《コギト》としての人間存在 一思考の働きの能動性一
- (12～15) 現代の存在論 一見えるものを支える見えない枠組み一

成績評価の方法 二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）
参考書 講義の際にその都度紹介する。

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 209101 |
| 科目名 | 哲学〔近代の人間観と世界観〕 |
| 担当者名 | 佐藤 暁 |

講義のねらい 科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらのある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。(1)概論：人間と人間観、世界と世界観(2)～(13)イギリス経験論(ロック・バークリ・ヒューム)(14)～(22)大陸合理論(デカルト、スピノザ、ライブニッツ)(23)～(30)カントとドイツ観念論(カント・ヘーゲル)

成績評価の方法 学期末にレポートを提出してもらいます。
教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 209201 |
| 科目名 | 哲学〔近代の人間観と世界観〕 |
| 担当者名 | 小島 優子 |

講義のねらい 近代における「人間中心主義」をテーマとする。現代における環境問題を考えるとき、われわれはすぐに人間中心主義の思想のもとに自然破壊が行われてきたことに思い至る。近代における科学技術の発展はわれわれの生活をたいへん便利なものとしてきた。しかし、人間中心主義がわれわれにもたらしたものはいったい何であろうか。このことを考察するために、まず自然と人間との関係は古代ギリシア以来、どのように考えられてきたか、そして近代人の特色とは何であるについて押さえる。

近代において人間中心主義が標榜されるようになったのは、中世のように神が人々にとって中心的な問題ではなくなったことに由来する。そもそもなぜ古来人間は神を信じてきたのか、さらに近代人にとって神とはどのような存在であるのかについて考えたい。近代においてはむしろ人間とは何であるかということが、歴史的状況、社会的状況のなかで問われるようになった。そして人間はいかに生きるべきか、人間とは何かということが問題とされる。講義を通して、人間とは何か、また人間が生きるこの意味について学生諸君に考えてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 哲学とは何か
- 2 近代以前の哲学
 - ① 古代ギリシア哲学の世界観－人間と自然・人間と国家との関係－
 - ② 中世哲学とキリスト教神学
- 3 近代哲学の特徴
 - ① キリスト教神学からの解放－近代人にとって神とは何か－
 - ② 自然科学の哲学への影響
 - ③ 人間中心主義の世界観

成績評価の方法 1回の定期試験(中間試験)と、1回の学期末試験と平常点(出席状況)で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。

教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社
参考書等 小島優子著『最新哲学がよ〜くわかる本』秀和システム

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 209301 |
| 科目名 | 哲学〔現代文明と人間〕 |
| 担当者名 | 黒崎 剛 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 以下のテーマを取り上げる予定 1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか 2. 「知識」は何のためにあるのか 3. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか 4. 近代的自由の類型：自己決定と自律 5. 人間と自然：人はなぜ自然に生きることができないのか 6. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか 7. 歴史哲学 |
| 履修上の留意点 | 近代哲学の主要テーマ別にかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。 |
| 成績評価の方法 教科書 | 学年末試験を中心とし、受講態度および出席を加えて総合評価する。 教科書の代わりにプリントを配布。参考書は教場で紹介する。 |

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 209401 |
| 科目名 | 哲学〔現代文明と人間〕 |
| 担当者名 | 滝沢 正之 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を（翻訳ではあるが）実際に読みつつ、その思想を紹介していく。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 我々が生きている現代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っている。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことを試みたい。 下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。現代哲学の流れを紹介した後にアンケートを採り、受講者の問題関心に応じて扱う哲学者を選択する。とくに要望がない場合は、こちらで重要と思われる哲学者をピックアップする。適宜プリントで内容の補足を行う。 |
| 履修上の留意点 | ちなみに昨年度は、現代思想の概観を確認したのち、フランクフルト学派、ショーペンハウアーを前期に、ニーチェ、キルケゴール、サルトルを後期に扱った。 |
| 成績評価の方法 | 教科書を必ず入手しておくこと。 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。 |
| 教科書 | 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。 |
| 参考書等 | 講義中に適宜指示する。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 209501 |
| 科目名 | 哲学〔現代文明と人間〕 |
| 担当者名 | 麻生 享志 <small>あきお たかし</small> |

講義のねらい 人間の生き方と密着する、また、学問としての「本当の哲学、本物の哲学」に近付くための案内をする。
自己の人生の問題を考えるきっかけを得る。そして、その追い求め方のヒントもさがす。
哲学や、人生を考える上で有益な書物を読む、読み方を説明する、など。

講義の内容・授業スケジュール (1)哲学とは何か(2-6)古代ギリシャ・20分で分かる哲学全歴史・ゼノンのパラドックス・時間論とタイムマシン・原子論(7-12)論理的説得とは・初心者の犯す四誤謬・実験と科学・帰納的推論・山のパラドックス考・自然法則の意味(13-20)経験論の教えるもの・美と感覚・主客二元論・真理論としての対応説・色は実在せず・第一性質と第二性質・プラグマティズムの真理観・哲学史再考(21-30)論理学開始のアポリア・ニーチェ道徳理論の借用・1命題1真偽値説の功罪・可能性を数えつくすこと・カラスのパラドックスやグルー問題その他・「囚人のジレンマ」と哲学・保守思想と19世紀英国の思想家達・建築の哲学・神の存在論的証明の現代的意義・教育哲学における10原理

履修上の留意点 最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を“楽しんで”もりたいと思っています。

成績評価の方法 成績は、出席等による平常点(約3分の1)、前・後期試験および夏休み明け提出のレポート(約3分の2)によって評価します。特に、2度の試験とレポート提出の3条件を満たさない場合、単位は出ません。

教科書参考書等 久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊) 3200円
麻生著『ジョン・デューイにおけるプラグマティズムの真理観の研究』(コンテンツ・ワークス社「ブック・パーク」によるインターネットのオン・デマンド出版)は、講義の内容に直接に関係するものとしてご紹介します。その他講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。他に読むべきものは、講義中において詳細に紹介するので、自己の興味に合わせて読み進められたい、と思います。(下欄「その他」の説明も参照)

その他 大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。
初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 209601・209801・210101 |
| 科目名 | 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 |
| 担当者名 | 鈴木 聡 <small>すずき さとる</small> |

講義のねらい 論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。論理学とは、妥当な論証と非妥当な論証との差異についての研究である。妥当な論証とは、前提から結論が帰結する論証である。前提から結論が帰結することを意味論的ならびに統語論的に表現することが論理学の主要課題である。妥当な論証を行う能力を身につけることは、いかなる分野を専攻する学生にとっても重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール (1)プロローグ・(2)文論理における文の記号化・(3)文論理の言語・(4~7)文論理の意味論・(8~14)文論理の統語論・(15)中間試験・(16・17)第一階量化論理の基本概念・(18・19)第一階量化論理の言語など・(20・21)多重量化・(22・23)第一階量化論理の意味論・(24)第一階量化論理のメタ論理・(25~29)第一階量化論理の統語論・(30)期末試験

履修上の留意点 講義を理解するためには、「数学」のセンスが必須である。
欠席・遅刻は一切認めない。

成績評価の方法 成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書参考書等 配布プリント
本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→・・・という形式で行う。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 209701 |
| 科目名 | 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 |
| 担当者名 | <small>やまぐち まさひろ</small> 山口 祐弘 |

講義のねらい 論理学の基本思想を学ぶことによって、正しく思考し語る態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期
- ①論理学の課題と目標
 - ②思考の基本原則、同一律・矛盾律・排中律・理由律
 - ③伝統的論理学と弁証法
 - ④論理的思考の要素、概念・判断・推理
 - ⑤推理の方法、直接推理
 - ⑥推理の方法、間接推理
 - ⑦蓋然的推理、帰納と類推
 - ⑧誤謬論
 - ⑨パラドックス
 - ⑩論理と科学
- 後期
- ①記号論理学の起源
 - ②命題論理学
 - ③命題関数と真理表
 - ④標準形
 - ⑤命題論理の公理体系
 - ⑥体系の無矛盾性と完全性
 - ⑦命題の内部構造
 - ⑧述語論理学の基本概念
 - ⑨定理の演繹
 - ⑩伝統的論理学の記号化

履修上の留意点 日常の思考と言語表現における論理性に注意をむけること。
成績評価の方法 中間および期末試験による。
教科書 山下太郎「新しい認識への論理」(公論社)

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 209901 |
| 科目名 | 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 |
| 担当者名 | <small>なまぐら きよあき</small> 滝口 清栄 |

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。こう見るならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなからうか。ひとたびこの点に注意を払うようになると、日常生活をしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとし、思考の諸法則が身につくよう心がける。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書はおもにそれぞれのテーマの理解を得るために使い、練習問題をそのつど配布する。形式論理学に重点をおいて授業を進めていく。

履修上の留意点

前期では、実際に文章を論理的に解説する練習をおこない、そのあと、論理的虚偽について、概念、定義と分類、命題、演繹推理(定言三段論法、仮言三段論法など)、帰納推理、記号論理初歩を扱う。

成績評価の方法
教科書

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解いて、論理的な思考回路が身につくように工夫する。出席を重視する。
年間5回の小テストをおこなって、成績を出す。したがって、追試験はおこなわない。
山下太郎他著『新しい認識の論理』(公論社) 3,200円

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 210001 |
| 科目名 | 論理学〔知の技法〕 |
| 担当者名 | <small>いこた まさる</small> 伊古田 理 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1)(2)「論理的」とはどういうことか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理 |
| 履修上の留意点 | 以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。 |
| 成績評価の方法 | 最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など:期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。 |
| 教科書 | 本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書:大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本:野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書) |
| 参考書等その他 | そのつど指示する。 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 210201 |
| 科目名 | 論理学〔知の技法〕 |
| 担当者名 | <small>こじま ゆうこ</small> 小島 優子 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや、論文を書くための力を身につけることを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1 ガイダンス 論理学とは何か 2 さまざまな接続関係 3 接続の構造 4 議論の組み立て 5 論証の構造と評価 6 演繹と推測 7 価値評価 8 否定 9 条件構造 10 推論の技術 11 批判への視点 12 論文を書く |
| 履修上の留意点 | 論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。 |
| 成績評価の方法 | 一回の定期試験(中間試験)と、一回の学期末試験、および平常点(授業時に適宜与える課題)で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。 |
| 教科書 | 野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書) |
| 参考書等 | そのつど指示する。 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 210401 |
| 科目名 | 科学史〔科学と技術〕 |
| 担当者名 | 高橋 秀裕 <small>たかはし しゅうゆう</small> |

講義のねらい 今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけでなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点 いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法 出席・随時レポートによる平常点（40%）および定期試験（60%）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書 特に指定しない。
参考書等 講義の際に適宜紹介する。
その他 講義形式、随時プリント配布。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 210501 |
| 科目名 | 科学史〔近代科学の成立と展開〕 |
| 担当者名 | 高橋 秀裕 <small>たかはし しゅうゆう</small> |

講義のねらい 17世紀科学革命における経験主義の起源の一つとして、魔術的伝統が挙げられる。しかし魔術のような非合理的な伝統が合理主義の追求である近代科学に影響を及ぼしたとは考えられないと言った科学史家もいる。果たしてそう言えるのだろうか？この授業では、ルネサンス期において興隆をみた魔術的伝統とはどのようなものであったか、それが多様かつ複雑なものであったことを理解し、その中で、脱神秘化していく魔術と理論化される技術に焦点をあて、とくに「遠隔力」概念の形成において、科学が魔術と占星術から大いなる刺激を受けた、その事情を探る。

講義の内容・授業スケジュール 磁力の発見をめぐる話題から出発し、魔術と科学のはざまに焦点を当てながら、近代科学の形成過程に「魔術」が果たした役割を探る。とくに磁力と重力の発見過程を歴史的に追跡し、17世紀機械論哲学と力概念の発展について講義する。

履修上の留意点 いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法 出席・随時レポートによる平常点（40%）および定期試験（60%）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書 特に指定しない。
参考書等 講義の際に適宜紹介する。
その他 講義形式、随時プリント配布

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 210601 |
| 科目名 | 倫理学〔人間観〕 |
| 担当者名 | 古田 知章 <small>ふるた ともあき</small> |

講義のねらい われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 人間観の形成の歴史とその伝統

- (1) ガイダンス
- (2~4) 人間と倫理 一人間であるために一
- (5~8) 古代ギリシア思想における人間観の諸相
- (9~11) 中世キリスト教思想における人間観
- (12~15) 人間観の転換 ールネサンス・宗教改革一

〔後期〕 新しい時代の人間観

- (1) 前期のまとめ
- (2~5) 出発点としてのデカルト《思惟する私》とパスカル「考える葦」
- (6~9) 自己の内面性と他者の問題
- (10~12) 人格 一ロックを手がかりに一
- (13~15) 人間存在と自由

成績評価の方法
教科書
参考書等

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
『原典による哲学の歴史』（公論社）
講義の際にその都度紹介する。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 210701・211111 |
| 科目名 | 倫理学〔応用倫理学〕 |
| 担当者名 | 黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small> |

講義のねらい 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」一「価値」や「義務」、「習慣」といった一の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学与医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理――講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」――人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法
教科書

レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。
教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 210901 |
| 科目名 | 倫理学〔応用倫理学〕 |
| 担当者名 | <small>たみざわ まさゆき</small> 滝沢 正之 |

講義のねらい 倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。

講義の内容・授業スケジュール
 [1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。）
 [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学的な位置づけなど。）
 [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。）
 [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。）
 [21回～25回] その他の諸問題（技術と倫理との関係など。）
 （*残りは予備日。また、あくまで目安である。）

履修上の留意点 講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。

成績評価の方法 学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらう課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうか決める。

教科書参考書等 講義中に適宜指定する。
 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 210801 |
| 科目名 | 倫理学〔価値観〕 |
| 担当者名 | <small>くぼ よういち</small> 久保 陽一 |

講義のねらい 何が善で何が正しいか、何に「価値」があるかという問題は、近代以前においては、何が真理であり、何が存在するかという世界観や認識の問題と切り離すことはできなかったが、近代以後峻別されるようになった。だが、現代では再びその点に対する反省が出てきて、世界認識と価値判断の関連が問われている。そこで本講義ではまず近代以前の東西の倫理思想における価値観をとりあげ、次に近代の価値判断をめぐる思想を取り上げ、そして現代における人間の生き方を問うことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール
 1 仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教における世界観と価値判断
 2 近代倫理学（カント、経験論・功利主義、ヘーゲルなど）における価値をめぐる思想
 3 現代における価値の問題

履修上の留意点 私語をつつしみ、よくノートを取る。途中退席は厳禁。講義内容の疑問点は率直に問うこと（随時、質問表を配る）。

成績評価の方法 中間と期末の試験、出席の割合など

教科書参考書等 久保・河谷編「原典による哲学の歴史」（公論社）
 授業中に紹介する。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 211001 |
| 科目名 | 倫理学〔制度とモラル〕 |
| 担当者名 | <small>たきぐち きよえい</small> 滝口 清栄 |

講義のねらい 人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。

履修上の留意点 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
教科書 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 211101 |
| 科目名 | 倫理学〔東洋倫理〕 |
| 担当者名 | <small>すえき やすひこ</small> 末木 恭彦 |

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行れた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール 今年は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。

(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

履修上の留意点 ノートをしっかり取る。
各学期末の試験と夏期休暇のリポートによって成績をつける。追試あり。

教科書 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）

参考書等 和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）

湯浅泰雄『和辻哲郎――近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）

坂部恵『和辻哲郎――異文化共生の形』（岩波現代文庫）

苅部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 211201 |
| 科目名 | 宗教学〔比較宗教文化〕 |
| 担当者名 | <small>いしがみ よしまさ</small> 池上 良正 |

講義のねらい 宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。(1～5) 近代における「宗教」の発見。(6～10) 聖なる時間と空間。神話の力。(11～15) グローバル化のなかの「宗教」。(16～20) 一神教の誕生。ユダヤ教。(21～25) キリスト教。(26～30) イスラーム。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。

年度末に筆記試験を行なう。

特に指定しない。

『岩波講座・宗教』(全10巻)(岩波書店)。『エリアーズ著作集』(せりか書房)。脇本平也『宗教学入門』(講談社学術文庫)。加藤隆『新約聖書の誕生』(講談社)。市川裕他『ユダヤ人と国民国家』(岩波書店)。板垣雄三『イスラーム誤認』(岩波書店)。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 211301 |
| 科目名 | 宗教学〔聖と俗〕 |
| 担当者名 | <small>たなか かのこ</small> 田中 かの子 |

講義のねらい ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類(例:「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」)から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながら、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期(1～15)は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期(16～30)は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他**

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験(追試なし)。

拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』(北樹出版)2008年、改版(第4刷発行)

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 211401 |
| 科目名 | 宗教学〔世界観と儀礼〕 |
| 担当者名 | 小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small> |

- 講義のねらい** 人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのではないでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。
- この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと思います。
- 成績評価の方法** 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
- 教科書** 原則として教科書は用いません。
- 参考書等** 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 211501 |
| 科目名 | 宗教学〔日本人の宗教〕 |
| 担当者名 | 矢野 秀武 <small>やの ひでたけ</small> |

- 講義のねらい** 宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前半はおもに、宗教学の基礎（1～5）、神道と仏教（6～10）、民俗宗教（11～15）など日本の諸宗教の歴史を中心に概説する。後期では、宗教の思想的な側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。具体的には、日本のキリスト教や新宗教などの概説（16～20）とともに、近代日本の宗教者の思想（21～25）を紹介する。その他日本の宗教建築や現代日本人の信仰心の特質（26～30）などもとりあげる。
- 履修上の留意点** レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。
- 成績評価の方法** 前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。
- 教科書** なし
- 参考書等** 授業時に随時紹介する。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 211511 |
| 科目名 | 宗教学〔生活と宗教〕 |
| 担当者名 | 菅原 壽清 |

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教学人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教学人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教学人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

(隔年で、後期の授業内容を変えています。昨年度は、農耕儀礼と人生儀礼から、私たちに身近な生活と宗教を見てきました。今年度は、呪術と宗教、シャーマニズム、妖術などから、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。勿論、宗教学の理論も押さえながら。)

履修上の留意点

講義では、調査で写した写真をプロジェクターなどを用いて映します。また、関連の写真をホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしに関心のある方は是非どうぞ。

成績評価の方法

試験 + $\alpha + \beta$ (詳細は、講義の時説明)

α = 座席点 (ABCで、積極的な授業参加を評価します)

β = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します)

教科書
参考書等

特には、指定しません。

『宗教学ハンドブック』(世界書院)

講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です。

その他

授業の方法—講義、ビデオ・DVD、プロジェクターによるスライドの映写など、ビジュアルな授業を展開したいと思います。調査 Field Work に関心のある方 (社会・文化人類学、宗教学人類学) 是非どうぞ。

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 211521 |
| 科目名 | 宗教学〔民俗宗教の諸相〕 |
| 担当者名 | 星野 靖二 |

講義のねらい

本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることでもあり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

[01] はじめに。[02~03] 現代社会における宗教：導入として、現代社会においてどのような形で宗教が問題になっているのかについて概観します。[04~07] 宗教学について：宗教学の基本的な考え方について概説します。[08~11] 宗教の世界地図：世界の様々な宗教とその実践についての基本的な知識を確認します。[12~16] 近代日本の宗教：近代以降の日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。[17~24] 生活と宗教：生活と宗教の関わりについて、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。[25~29] 現代日本と宗教：現代日本における宗教のあり方について考察を加えます。[30] おわりに。

履修上の留意点

講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。

成績評価の方法

夏期休暇中に小レポート (30点)、学期末に期末レポート (50点) を課します。これにコメントカード・平常点 (20点) を合わせ、総合的に評価します。

教科書
参考書等

特に使用しません。

棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005

関一敏・大塚和夫編『宗教学人類学入門』弘文堂、2004

島蘭進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006

末木文美士『日本宗教史』岩波書店、2006

その他

詳細については、初回講義時に説明します。

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 211601 |
| 科目名 | 人文地理学〔風土と文化〕 |
| 担当者名 | 山口 太郎 |

| | |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義では、都市、とりわけ東京を通じて地理的想像力を磨くこと、そして都市を批判的にみつめる力を養うことを目的とする。教室で学習した知識と、地理的想像力や批判精神といった感覚を、日常生活の場(所)や空間で活かすことができれば理想的である。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 次の項目を予定している。(1)イントロダクション、(2)東京に関する近年の人文地理学における研究成果概観、(3)～(5)東京の自然史、(6)～(9)東京の歴史地理、(10)～(13)都市の観察法、(14)(15)都市計画、(16)～(19)東京の文化地理(渋谷、秋葉原、代官山、下北沢、大久保、新宿など)、(20)～(22)東京郊外の文化・社会地理(世田谷区内各所、田園調布、「多摩田園都市」、多摩ニュータウン、港北ニュータウンなど)、(23)～(26)都市の社会地理(都市空間と権力、時間地理学、都市空間とジェンダー、都市空間と故郷) |
| 履修上の留意点 | 出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課すことがある。また、高校などで利用した地図帳があると便利である。 |
| 成績評価の方法 | 夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行なう試験を基本とし、授業内に行なう小レポートを若干加味する。なお、期限内に夏休みのレポートが提出されないと単位の認定はできない。 |
| 教科書 参考書等 その他 | 特に定めない。プリントを配布する。 授業の中で紹介していく。 講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろな場所へ出かけたりすることを積極的に行なってほしい。 |

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 211701 |
| 科目名 | 人文地理学〔風土と文化〕 |
| 担当者名 | 櫻井 明久 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この授業では、主に作業を通じて人文地理学の考え方と方法を紹介したい。取り扱う作業・方法は、地形図読図、地図帳の利活用、テレビなどのルポルタージュ番組の視聴活用などであり、日本の農村地域やヨーロッパを対象として、風土と文化に関する人文地理学の見方や考え方を考える。取り扱う地域については、伊豆の沿岸集落、ドイツ農村、パリ大都市圏など桜井が経験・調査した地域の事例を丁寧に検討したい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 桜井は今年度初めてこの授業を担当する。そのため、詳細な計画は示しにくいですが、まず前期には、個人と地域との関係を考えながら、日常生活スケールの人文地理学をまず考えたい(1、2、3)。ついで、町探検プラン作成や2.5万分の1地形図や5万分の1地形図の利用について作業をしながら学び、日常生活スケールにおける地域を考えたい(4～12)。夏休みには、前期で学んだ方法を活用してレポートを作成してもらおう。後期は、より大きなスケールで、国、超国家スケールでの人文地理学を考えることにする。すなわち、まず、地図帳を使ってヨーロッパ旅行計画を考えたりしながら、地図帳の利用方法について学び、それらを使って世界各地を説明する試みを行う。(13～15)。ついで、地図帳を使いながら、ヨーロッパの概略を知るとともに、ヨーロッパの「食」と「農業」を通じて、ヨーロッパの生活文化、風土と環境について考えたい(16～23)。また、後期の後半には、夏休みのレポートを簡単にしてもらおう予定である。 |
| 履修上の留意点 | 毎授業、その授業時間内で作成した略地図、着色作業などの成果、ミニレポートを提出してもらい、次時にはその成果やミニレポートを反省して、学生の皆さんの疑問や質問を取り上げ、活かしていきたい。こうした作業活動型の授業を行うつもりであるので、出席が不可欠であり、積極的に参加するよう望みたい。なお、教科書は使用しないが、高校時代に利用した地図帳やそれに相当するような地図帳を利用するので指示する時間には持参すること。また着色作業のために、6色程度の色鉛筆を使うことがあるので指示する時間には持参すること。こうした準備がないと授業に参加できないので注意すること。 |
| 成績評価の方法 | 毎時のミニレポートないしは作品提出・出席：50点、夏休みレポート：30点、試験：20点といったバランスで評価したい。 |
| 教科書 参考書等 | なし。 適宜紹介する。 |

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 211801 |
| 科目名 | 人文地理学〔空間と行動〕 |
| 担当者名 | 伊藤 慎悟 |

| | |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義は、身近な社会問題を取りあげ、地域的な差異の存在と、その要因について議論し、人文地理学の基礎的知識および社会問題への関心を深めることを目的とする。今年度は、分布図や地理学に関する統計資料の分析、考察を行う。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期は、まず地理学の研究目的、意義について概説する。つぎに、文化や習慣、産業に関する地域的な差異について取り上げる予定である。 後期は、都市問題や人口問題に関する資料の分析を行い、地域差の発生要因について説明を加える。 |
| 履修上の留意点 | 地理学の専門知識は必ずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。板書形式の授業なので、ノートを必ず持参すること。 |
| 成績評価の方法 教科書 参考書等 | 前後期の試験(追試あり)と、ほぼ毎回出される課題の提出状況によって評価する。とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。とくになし。 |

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 211901 |
| 科目名 | 人文地理学〔空間と行動〕 |
| 担当者名 | 伊藤 修一 |

| | |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 我々は日常生活の中の多くの場面で、環境に影響を受けつつ、個々の意思の基に行動する。ところが、その行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下のI～VIIIである。詳しくは第1回の講義の際に述べる。 I地図(2～4)、II都市の分布と立地(5～8)、III都市や地域の結びつき(9～12)、IV都市の内部構造(13～16)、V人口変動と分布・人口移動(17～19)、VI都市の居住構造の形成過程とその変化(20～24)、VII都市と余暇活動(25～27)、VIII都市空間における知覚と認知(28～30) |
| 履修上の留意点 | 講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。 |
| 成績評価の方法 教科書 参考書等 | 原則として学年末の試験結果から評価する。なお、追試験は実施しない。 高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。 北川建次編、『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編、『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN 4-7722-4027-6 ノックス、P. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0 |
| その他 | 講義ではプリントを随時配布する。 |

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 357001 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 |

講義のねらい 大学で「学ぶ」ためには、聴く・読む・書く・調べる・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える、という9つの力が必要です。これらの力を半期で段階的に身につけ、ワープロソフトで作成したレポートが提出できるようになることを、この授業のゴールとします。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回オリエンテーション
- 第2回「生徒」から「学生」へ・「何をどう学ぶのか」
- 第3回ノート・テイキング
- 第4回リーディングの基本スキル
- 第5回より深いリーディングのために
- 第6回大学図書館における情報収集
- 第7回インターネットによる情報収集
- 第8回情報の整理
- 第9回アカデミック・ライティングの基本スキル
- 第10回効果的なアカデミック・ライティングのために
- 第11回パソコンによるライティング・スキル
- 第12回プレゼンテーションの基本スキル
- 第13回わかりやすいプレゼンテーションのために
- 第14回プレゼンテーションの実際
- 第15回プレゼンテーションの実際

履修上の留意点 第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

また、湯浅のフレッシュマン・セミナーは2つありますので、一方で選に漏れた場合は、もう一方のフレッシュマン・セミナーにチャレンジするか、他の担当者のものを受講してください。

成績評価の方法 成績評価は出席点(30%)、合計5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点(30%)、および提出された課題点(40%)により行います。

教科書 『繰り返して慣れる! ◆スピードマスター◆ Office 2007 & 情報モラル』 noa 出版 ¥1,030
参考書 学習技術研究会編 『知へのステップ(改訂版)』 くろしお出版 ¥1,890
 ISBN:978-4-87424-355-8 C1081

その他 パソコンで文字入力に困らぬよう、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCには優れたタイピング練習ソフト(Type Quick)が入っています。第1回目の授業時にこのソフトの使い方を説明しますが、タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト(Type Quick) USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 357101 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | 萩原 義雄 |

講義のねらい

嘗て「国語学基礎」という科目が存在した。逆に「基礎国語学」と呼称してもいた。今横文字化して「フレッシュマンセミナー」だそうだ。日本人である私にとってこのカタカナ文字は刺りにもなじまない。故に何を教え、何を学ぶのかその教育展望が今少しく見えていないことを前置きする。いわば、何をどう教え何を見出すか試行錯誤の授業と云うことである。この一教員である私と複数の学生との共同（嚮導）授業になろう。私なりにその堂塔の心柱ともいえる骨格を意味する科目と構えて日本国の大学人にふさわしい「東アジア圏日本語文化交流」に大切な教養を育む時間とも云えよう。

そこで、高等教育で何を学んだのか、まずは教える側と学ぶ側相互に確かめねば成るまい。今の大学教育の第一歩として本学の入学試験に国語・英語・社会（専門科目に細分類）といった三科目が指定され、この試験科目の評価点で合否が決定され、大学人としての門をくぐる。その査定の実態分析は、総合的に委員会を通じて実施されているが、この分析結果がどのようなものか組織的に教員に伝達されてこの科目成立に結びついていると信じたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続き担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文献一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
- 05の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその1（手書きそして縦書き）
- 06の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその2（入力そして横書き）
- 07の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその3（四種類の文字と融合）
- 08の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその4（漢語と和語）
- 09の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその5（洋語と日本語）
- 10の講義内容 日本語表現の多様さ、美しさを生かすその6（東アジア漢文文化圏のことは）
- 11の講義内容 日本語表現文章と国際政治社会における文章
- 12の講義内容 文章作成能力開発その1
- 13の講義内容 文章作成能力開発その2
- 14の講義内容 文章作成能力開発その3
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP（情報言語学研究室）上に凡て逐次掲載しますので常時間閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部（日本文化部門）&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営していきます。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書等
参考書
その他

随時、講義の前後に報知します。
随時、講義の前後に報知します。
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP（情報言語学研究室）上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 357201 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | 佐原 作美 |

講義のねらい 広く文章を読んで理解し、感性と思考力を養い、それを自分の言葉で適格に表現できる力を高めることは若者のみならず大切なことである。そこで、それを目的としテーマとして進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、初めに日本の文字の成り立ちや慣用表現（2～3回）とそれにまつわる事柄（1～2回）を学ぶ。次に文章として『古事記』の中から「国生み神話」などよく知られた神話伝説（3～4回）、『万葉集』からは挽歌や生活苦を詠んだもの（3～4回）や『風土記』（1回）、あるいは幼児期からなじみの深い『竹取物語』（1～2回）等々、情感に訴えるものを選んで読みその目的のための一助としたい。

履修上の留意点 よく読み、よく考え、よく書くことに心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本とし、出席状況を考慮して評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じ授業の中で紹介する。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 357301 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | 鈴木 裕子 |

講義のねらい 一自己表現のためのレッスンー
自分の考えをわかりやすく発言する力が不足している人、言葉で表現する力を磨いて今の自分を少しでも変えたいと思っている人、そういう人たちのための講座。大学での学びに必要な文章力、表現力を養う手助けをする。

講義の内容・授業スケジュール いろいろな種類の文章を読み、理解する力、自分の意見を筋道立てて説明する力、限られた時間にとまどまりある文章を書く力を、実際の作業を通して養う。教材は、新聞記事、評論、手紙、歌詞、特に、今日的な問題を提起しているものを用意するが、受講生のニーズに柔軟に応じたい。

履修上の留意点 プログラム：(1) ガイダンス、(2～3) アイス・ブレイク、プレゼンテーションその1、(4～6) 身近な材料を読む・要約する・書く、(7～8) ディスカッションの方法と実践、(9～11) 調べて書く、プレゼンテーションその2、(12～14) 実用的な文章を書く、(15) 総括。

受講生は、文章を次々と読み、課題を書き、報告することを要求されるので、履修の際にその点を留意すること。また、この授業の性格上少人数が望ましいので、人数制限をする場合もある。第1回目の授業時に履修許可証を渡すので、受講希望者は必ず最初から出席すること。なお、履修許可をもらわなかった場合は、WEB登録をしても、授業を受けられないので注意すること。

成績評価の方法 毎回書いてもらう短いコメント、出席状況（遅刻・早退をしないことは大前提）、課題で60%、最後に提出してもらうレポートで40%。三分の一以上の欠席は不可。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 357401 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | 坂口 博規 |

講義のねらい 殆どの学生諸君は最終学校たる本学において、将来の人生設計の途に立ちます。その貴重な4年間を、自覚的・能動的に過ごしてほしいと考えています。それぞれの専門分野の学問の理解は、実は日本語の理解能力の与かるところ大です。また自己をより正確に且つ効果的に他人に認定されるように、言葉の伝達（日本語表現）の大切さを自覚してほしいものです。

講義の内容・授業スケジュール 上記の目的に立って、テーマを設定して講義し、その講義内容に対する感想や、テーマに即した自分の考えを作文してもらいます（1～3）。特にコミュニケーション論の一端として、言語断絶の疎外状況を物語る「変身譚」について、自己表現の大切さを学んでほしい（4～10）。また日本語表現の特質なども考えてみたい（11～15）。

履修上の留意点 「日本語表現」の知的理解をしてほしい。また言葉による伝達の意義を正しく自覚してほしい。

成績評価の方法 授業の最終日に提出のレポートの成績評価。また授業の折々に課題を出して小レポートも提出してもらいます。出席状況も参考にして、評価します。

教科書 授業の折々にプリントを配布します。

参考書等 授業において紹介します。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 357501 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | <small>そのべ みさお</small> 菌部 幹生 |

講義のねらい 大学のおかれた状況は年々変化し、大学生に対する社会的要請も重みを増したものが増えてきている。大学生生活は高等学校までとは異なる点が多いので、充実した学生生活を送るために、また、将来社会に巣立って行くために、心得ておくべきことを体験的・実習的に修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2～4 大学と大学生活。5～8 キャリアデザインとライフスタイル。9～13 表現法とレポートの書き方。14 レポート提出。15 まとめ。

履修上の留意点 ただし、受講生の数や志向によって内容やスケジュールを変更することもある。その際は授業時間内に連絡する。

受講希望者が100名を超えた場合は抽選によって履修制限をするので、必ず初回の授業で担当教員の履修許可を受けること。履修許可を受けずに web 登録しても単位を修得することはできないので注意すること。

なお、本講座は、出席や授業内提出物で60点分を評価するので、毎時間出席することが大原則である。課題の連絡も含めて、授業時間を大切にすることを求める。また、毎時限新聞記事のコピーをとってくることを求めるので、そのことを承知のうえで履修すること。

成績評価の方法 出席点30点、授業時間内提出物30点、レポート40点の割合で評価する。定期試験期間中の試験は行わない。前期最後の授業時間内に追・再試験に相当するレポートに関する伝達を行うので必ず出席すること。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。
参考書等 必要があればそのつど紹介する。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 357601 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | <small>いしわり とおる</small> 石割 透 |

講義のねらい 日本でのジャズ受容、I（戦前篇）アメリカで誕生したジャズが日本に上陸するのは、ダンスホールが開設された大正後期。以後、演奏では楽器の使用、シンコペーションの多用、強烈なリズム、ハーモニーなどに多くの影響を与え、昭和に入れば、ジャズのスタンダードナンバーの歌が日本語で歌われ、独特の和製ジャズソングを生み出し、戦争に向かう時局を諷刺する歌まで登場するが、やがて1943年にジャズの演奏、レコード販売は中止されるに至る。この時間では、異文化に対する受容の形態を探る一つの試みとして、ジャズの移入が与えた影響を考えようとするものです。

講義の内容・授業スケジュール 1 アメリカにおけるジャズ誕生の歴史・発展の簡単な説明（2）、2 大正10年に始まる「ダンスホール」の開設（1）、3 「私の青空」を中心とするジャズのヒット曲の誕生（2）、4 和製ジャズソングの誕生と日本の文学テキストに現れるジャズ（2）、5 「マダムと女房」などトーキー映画の誕生とジャズ（2）、6 日系二世の女性の歌うジャズソング、和製ボーカルグループの誕生など（1）、7 服部良一のブルース（1）、8 日本の歌唱曲のジャズ化、ハワイアン音楽、南洋音楽などの導入（2）、9 和製ジャズに見られる諷刺、ユーモアの精神、10 和製ミュージカルのスタイルなど（2）

履修上の留意点 ジャズの20世紀における展開は、目くるめくほどに急激に変貌し、それはジャズを誕生させたアメリカにおけるアフリカ系アメリカ人のアメリカでの地位とも連動します。そして現在では、ジャズはあらゆる現代音楽に影響を与え、いろいろな音楽に流れ込み、ジャズというジャンルも消滅しつつあります。この時間では、所謂1930年代のスイングジャズ誕生、流行まで、それらが日本では如何に受け止められたかを検討します。それには、アメリカのジャズの展開を予め簡単に学習し、明治大正期の日本の歌謡の展開の歴史についての基本的な知識が必要とされます。授業の中でも説明しますが、それらについてできるだけ深い関心を持って授業に臨んでください。

成績評価の方法 出席状態を加味し、ジャズ受容や歌詞、映画の感想などについての、レポートを提出、それによって評価する。

教科書 授業時に指示する。
参考書等 授業時に指示する。
その他 講義形式で授業を進め、CD、レコードを聴くことを多用し、幾つかの映画も見て、必要に応じてプリントなどを準備する。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 357701 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | 小林 治 <small>こばやし おさむ</small> |

講義のねらい 山田洋次が『男はつらいよ』シリーズ（第一作は1969年公開）とは別に、しかし並行して1970年から1980年にかけて松竹で撮った5本の映画がある。三部作シリーズとしての『家族』、『故郷』、『同胞』ならびに『幸福の黄色いハンカチ』、『遙かなる山の呼び声』である。それらの作品は、戦後30年を経て高度経済成長の真ただ中であって、喪われつつある日本人および日本の風土の特質を、例えばタイトルの如く、家族、故郷、同胞などの視点から凝視しつつ、その新たな現代における再生の可能性を探っている。これらの営為を眺める中で、戦後の日本が歩んだ道を決定的に方向づけた高度経済成長によって喪ったものを計り、その廃墟からの再生と復活を願う希望について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 上記の映画作品を随時、見ながら、また資料等によって時代背景を考察しながら、上記のテーマに迫ってみたい。

(1~2) 山田洋次にまで連なるところの時代と人間を凝視する松竹出身映画監督の系譜 (3~5) 戦後高度経済成長の概要・その光と影 (6~7) 家族』の分析 (8~9) 『故郷』の分析 (10~11) 『同胞』の分析 (12~13) 『幸福の黄色いハンカチ』の分析 (14~15) 『遙かなる山の呼び声』の分析

履修上の留意点 開講時に、あらかじめ上記した映画作品以外に取り上げる文学作品や映画作品を指示するので、できるだけ事前に読み、かつ見て授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。
教科書 適宜プリントを配布する。
参考書等 授業時に指示する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 357801 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | 松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small> |

講義のねらい 大学の授業から最大限のものを得たいと真剣に考えている新生を対象に、大学での学びの基本を身につけていただくことを目標とする。レポートの書き方など実務的な事項を確認しながら、〈読む／書く〉、〈話す／聞く〉の日本語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。また数名ずつのグループを編成して作業を行い、「共に学ぶ」ためのコミュニケーション（ワークショップ）を体験する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 変わる大学 (2) 教養とは何か (3) 論理的な思考と表現 (4) コミュニケーションとは何か (5) 図書館とパソコンの活用法 (6) レポートの書き方 (7) ワークショップで共に学ぶ

履修上の留意点 大学生活を始めるにあたって、授業にしっかり出席する習慣を身につけていただくためにも、毎回休まずに出席することを当然の前提とする。また理由の如何を問わず、遅刻は認めない（途中入室を許可しない）。

成績評価の方法 前期定期試験期間中に論述式の筆記試験を行う。その点数が6割、出席状況と授業中の提出物等による平常点が4割として評価する。出席が2/3に満たない場合は単位を取得できない。

教科書その他 指定しない。
 初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。この授業は抽選科目ではないが、少人数制の指導を基本としているので、受講希望者が多い場合は初回の授業で「受講許可証」を発行して履修人数の制限を行う。この「受講許可証」を所持していない場合は、履修登録をしても単位を取得することはできない。

なお、同じ時間帯の後期科目「日本文化基礎（松田）」はこの授業とは別の科目であり、両方を履修する必要はない（してもよい）。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 357811 |
| 科目名 | フレッシュマンセミナー |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 |

講義のねらい 大学で「学ぶ」ためには、聴く・読む・書く・調べる・整理する・まとめる・表現する・伝える・考える、という9つの力が必要です。これらの力を半期で段階的に身につけ、ワープロソフトで作成したレポートが提出できるようになることを、この授業のゴールとします。

講義の内容・授業スケジュール
 第1回オリエンテーション
 第2回「生徒」から「学生」へ、「何をどう学ぶのか」
 第3回ノート・テイキング
 第4回リーディングの基本スキル
 第5回より深いリーディングのために
 第6回大学図書館における情報収集
 第7回インターネットによる情報収集
 第8回情報の整理
 第9回アカデミック・ライティングの基本スキル
 第10回効果的なアカデミック・ライティングのために
 第11回パソコンによるライティング・スキル
 第12回プレゼンテーションの基本スキル
 第13回わかりやすいプレゼンテーションのために
 第14回プレゼンテーションの実際
 第15回プレゼンテーションの実際

履修上の留意点 第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っていても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

また、湯浅のフレッシュマン・セミナーは2つありますので、一方で選に漏れた場合は、もう一方のフレッシュマン・セミナーにチャレンジするか、他の担当者のものを受講してください。

成績評価の方法 成績評価は出席点(30%)、合計5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点(30%)、および提出された課題点(40%)により行います。

教科書 『繰り返して慣れる! ◆スピードマスター◆ Office 2007 & 情報モラル』 noa 出版 ¥1,030
 参考書等 学習技術研究会編 『知へのステップ(改訂版)』 くろしお出版 ¥1,890
 ISBN:978-4-87424-355-8 C1081

その他 パソコンで文字入力に困らぬよう、タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCには優れたタイピング練習ソフト(Type Quick)が入っています。第1回目の授業時にこのソフトの使い方を説明しますが、タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト(Type Quick) USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 357901 |
| 科目名 | 日本文化基礎 |
| 担当者名 | 佐原 作美 |

講義のねらい 奈良平安朝の文学をもとに、古代日本人の思想や精神生活のありようを探ることをテーマとした。

講義の内容・授業スケジュール 授業ではその方法として、『古事記』や『万葉集』や『風土記』さらに『竹取物語』や説話集などを対象に、前半は「物」に対する考え方(5~6回)を見る。また、後半では「言葉」(5~6回)の問題を考えていく。つまり、前者を「呪物(的)信仰」、後者を「言霊信仰」としてとらえ、その視点から見ていきたい。

履修上の留意点 古代文学や古代人の心性に迫るにはまず先入観を捨て、単純素朴な気持をもって接するよう心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)を基本とし、出席状況を考慮して評価する。
 教科書 プrintの配布をもって行う。
 参考書等 必要に応じ授業の中で紹介する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 358001 |
| 科目名 | 日本文化基礎 |
| 担当者名 | 鈴木 裕子 |

講義のねらい テーマ：古典文学に見る〈家族〉
 古代の文学作品を中心に取り上げ、それらに描かれた古代の人々の生活を見ていきたい。例えば、良妻／悪妻とはどのような妻か、あるいは悪母／慈母とは何か、男女の関係や親子関係はどのように変わったか、その背景にはどのようなことがあるのかなど、実際に古典作品の一節を読みながら考える（現代語訳を用意する）。

講義の内容・授業スケジュール 説話や日記文学、物語などに描かれている家族像を読みながら現代につながる人間の問題を探る。あわせて古典文学のおもしろさが味わえるとよい。
 プログラム：（1）ガイダンス、（2～4）古代前期の家族・『古事記』、『万葉集』を中心に、（5～7）平安時代の貴族の家族・『落窪物語』、『蜻蛉日記』を中心に、（8～11）説話の世界に見る家族像の変遷・『日本霊異記』、『沙石集』を中心に、（12～14）家族の問題を考える・『源氏物語』から現代文学へ、（15）総括。

履修上の留意点 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。
成績評価の方法 期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。
参考書等 服藤早苗『平安朝の母と子 貴族と庶民の家族生活史』中公新書、その他、参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 358101 |
| 科目名 | 日本文化基礎 |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 |

講義のねらい どんな人でも文化でも、自己を知ることとは他者を知ることよりずっと困難です。私たちは日頃日本人であることを意識することはありませんが、海外へ行ったときとか、あるいは日本国内で非日本人と接触したときに、初めて自分が日本人であることを意識させられます。そのようなとき、改めて自己の文化について何事かを語ろうとして、自分がいかに無知であるかを思い知らされるのです。
 一体日本とは何なのか？日本文化とは何なのか？…これは、「自分とは何か」と自分に問うのに似て、日本人にとって永遠に問い続けなければならない種類の疑問であり、それゆえ答えは一定ではありません。
 この授業が、これから始まる、永遠に問い続ける問いの、最初の答えのきっかけとなれば幸いです。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 授業の進め方、「トピックス」の提示、KT2000テスト、Power Point の使い方の実習
 第2回～第6回 Power Point の使い方の実習、この間にKT2000テスト2回実施
 第7回～第11回 「トピックス」で選んだテーマに従い取材し、得た情報を Power Point でスライドにまとめる。この間にKT2000テスト2回実施
 第12回～第15回 発表会

履修上の留意点 「日本の文化」に関して、自宅の伝統行事、新聞・雑誌・書籍・インターネット・TV特集番組など、身近にある情報源に常にアンテナを張り巡らし、必要な情報を集めるように心がけましょう。
 文字入力に困らぬよう、タッチタイピング（手元を見ないで入力する方法）をマスターするための自助努力を課します。総合情報センター自習室のPCに入っているタイピング練習ソフト（Type Quick）を使って自分でタイピングレベルを上げてください。タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さも評価対象にしますので、努力が報われるはずです。

成績評価の方法 出席点（30%）、Power Point 実習課題点（20%）、プレゼンテーションの学生間の相互評価点（30%）およびKT2000テスト最高点（20%）の総合点で評価します。

教科書 適宜指示します。
参考書等 新聞・雑誌・書籍・インターネット・TV特集番組・各家庭の伝統行事など
 杉浦洋一、John K.Gillespie（共著）『日本文化を英語で紹介する事典』ナツメ社 ￥1,980
 ISBN4-8163-3735-0 C0582

その他 希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト（Type Quick）USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 358201 |
| 科目名 | 日本文化基礎 |
| 担当者名 | <small>そのへ みさお</small> 藺部 幹生 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 真の国際人とは自国の文化をしっかりと認識している人物である。これからの国際社会を生き抜いていくためには、自国についての認識と意見を持ち、それを表現できる必要がある。本講座は、そうした文化の認識に関する導入的講座である。したがって、単に知識を得るのではなく、文化的事象をどのように自分の中で体系化して認識し、そこから何を考えるかを問題にしたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1 ガイダンス。2 婚姻史。3 婉曲表現の文化。4～5 自己認識の文化。6～9 衣食住の文化。10～11 宗教文化・スポーツ文化・原宿文化・テレビゲームの可能性と文化的展望。12～13 文化史としての日本文学と伝承文芸。14 教場試験。15 まとめ。 |
| 履修上の留意点 | 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点20点、意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、ノート・参考書等の持込可）。また、12月の最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。 |
| 教科書 参考書等 | 必要に応じてプリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 358301 |
| 科目名 | 日本文化基礎 |
| 担当者名 | <small>いしわり とおる</small> 石割 透 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ジャズ音楽の日本での受容について。ジャズは、大正時代にレコードの浸透、カフェ、ダンスホールの流行と共に移入され、特に戦後、猛烈なアメリカ文化の日本への進出と共に、日本で確固たる芸術として、アフリカ系アメリカ人の生んだ文化として、その発生の歴史が認識され、文学者などにも影響を与えてきた。この時間は、そうしたジャズの、敗戦から安保条約、新安保条約下での日本でのジャズ受容の展開を検討し、戦後の文化の一端を考察しようとするものです。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1 敗戦と駐留軍クラブにおけるジャズ（1）、2 東京ブギウギの流行など笠置シズ子の活躍を中心に（2）、3 サンフランシスコ講和条約後の、ジャズと呼ばれた日本のポピュラー音楽（2）、4 ジャズショウとミュージカル映画（2）、5 ジャズ喫茶文化について（2）、6 日活アクション映画、「嵐を呼ぶ男」を中心に（2）、7 シネ・ジャズについて（2）、8 大江健三郎「飼育」松本清張「黒地の絵」などをめぐって（2）、9 ビートゼネレーションの文学の移入（2）、10 「真夏の夜のジャズ」など（2）、11 61年正月のアートプレイキーの来日公演（1）、12 朗読詩（1）できれば、以後の倉橋、中上、村上などの文学に与えた影響も考えていきたい。 |
| 履修上の留意点 | アメリカのジャズの歴史的な展開を大体把握して、授業に臨んでいただきたいと思う。出席を重視する。ジャズの受容についてのレポートを提出。それらを加味して評価する。 |
| 成績評価の方法 | 特に指定しない。その都度、必要な教材を、こちらで準備する。 |
| 教科書 参考書等 | マイク・モラスキ「戦後日本のジャズ文化」（青土社）、倉田善弘「日本レコード文化史」（岩波書店）など。授業時に指示する。 |
| その他 | 映画などは、ビデオなどで見ることを考えています。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 358401 |
| 科目名 | 日本文化基礎 |
| 担当者名 | 小林 治 <small>こばやし おさむ</small> |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわられてきた経緯があり、それゆえに賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類無き想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 上記の賢治作品の実相を、生前発表作品である『シグナルとシグナレス』、『氷河鼠の毛皮』およびその生前に唯一出版された童話集『注文の多い料理店』所収の作品などにみていく予定。 (1～3) 宮澤賢治の軌跡 (4～6) 『シグナルとシグナレス』の分析と読解 (7～9) 『氷河鼠の毛皮』の分析と読解 (10～12) 『どんぐりと山猫』の分析と読解 (13～15) 『水仙月の四日』の分析と読解 |
| 履修上の留意点 | 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。 |
| 成績評価の方法 | 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。 |
| 教科書 | 宮澤賢治『宮澤賢治全集第8巻』(ちくま文庫)1,000円 |
| 参考書等 | その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 358501 |
| 科目名 | 日本文化基礎 |
| 担当者名 | 松田 直行 <small>まつた なおゆき</small> |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 講義タイトルは「流行歌の近代史～J-POPへの道程」。明治維新から現代までの流行歌を通して、①世相風俗とメディア史を中心とした日本近現代史、②伝統音楽・西洋音楽・ジャズの3要素の交錯と融合による近現代音楽史、③西洋音楽に日本語をのせる歌詞の問題、の3つを並行して考える。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1) 音の科学 (2) 基本の楽理 (3) 明治における西洋音楽の移入 (4) 浅草オペラとモダニズム (5) 流行歌の誕生 (6) 戦後の歌謡曲 (7) ビートルズとロックの時代 (8) 歌謡曲からJ-POPへ |
| 履修上の留意点 | 前期にフレッシュマンセミナーを受講した新入生が後期にはこの科目を履修することを想定しているため、各自の興味・関心をもとに真剣に授業に取り組む学習姿勢を身につけること自体も目的としている。そのため基本的に毎回出席する姿勢が求められ、遅刻しての入室は禁じる。2/3以上の出席がなければ単位を取得できない。 |
| 成績評価の方法 | 音楽に関して、中学校の音楽の授業で学ぶ程度の基礎知識と楽譜の理解力を必要とする。 定期試験期間中に筆記試験を行う。定期試験の点数を6割、出席状況と授業での提出物による評価を4割として採点する。 |
| 教科書 | 指定しない。授業でプリントを配布し、配布したプリントは定期試験に持ち込み可とする。 |
| 参考書等 | 佐藤良明『J-pop 進化論』平凡社新書、¥725。 |

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 358901 |
| 科目名 | 日本語文化基礎 |
| 担当者名 | 萩原 義雄 |

講義のねらい

「東アジア漢文文化圏」の東端海上に位置する日本国は、独特な言語文化を生み出してきました。その素養を知る手がかりをこの講義を通じて理會を深めていただき、海外の国際文化交流のうえで基礎となる素養を多くの方が育み、この日本文化の手触り・肌触りを実感できる講座となればと考えています。日本の書記文字文化は西欧の音楽文化に通じています。逆に西欧の文字文化は、日本の邦楽文化（仏教聲明・平曲・謡曲）と連動しているといった図式がよく取り沙汰される所以をこの時間で具現できればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
- 02の講義内容 日本語文化を学ぶ一般基礎資料の蒐集方法とその取り扱い
- 03の講義内容 日本語文化を学ぶ字書・辞書・参考専門書の利用とその実際
- 04の講義内容 「東アジア漢文文化圏」における現在の学術研究レベルと成果
その研究領域の一般活用と手続き
(中国・韓国・北朝鮮・モンゴル・ベトナム・タイ・インドネシアなど)
- 05の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その1(中国と日本)
- 06の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その2(朝鮮半島と日本)
- 07の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その3(モンゴルと日本)
- 08の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その4(ベトナムと日本)
- 09の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その5(タイと日本)
- 10の講義内容 言語文化「東アジア漢文文化圏」その6(インドネシアと日本)
- 11の講義内容 「西欧言語文化圏」と日本語文化(ギリシャ・トルコ・イタリアを中心に)
- 12の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その1(ギリシャ&トルコと日本)
- 13の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その2(イタリアと日本)
- 14の講義内容 言語文化「西欧言語文化圏」その3(英国・米国・豪国と日本)
- 15の講義内容 期末課題レポートの提出

履修上の留意点

※情報機器利用の為、許容の人数制限を実施します。出席も、教場IT管理に依拠しています。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れてしまった場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的に抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

レポート課題を用意します。これを紙出し&データ記録(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日迄に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)&短期大学国文学・英文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

教科書
参考書等
その他

随時、講義の前後にて報知します。

随時、講義の前後にて報知します。

情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 358911 |
| 科目名 | 日本語文化基礎 |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 <small>ゆあき ようこ</small> |

講義のねらい 現代の情報化社会において、情報を十分に活用する能力（情報利活用力）は、社会人としての必須能力です。本講座では、情報のインプットからアウトプットまでの流れ「情報収集」「情報管理」「情報分析」「情報創造」「情報表現」の5つの分野のうち、解決策を効果的に示す「情報表現」における様々な基礎的能力、すなわち、伝えたいことが伝わる国語力・文章力・図解力を身につけ、さらに情報を送受信する際に必要なモラルや知識を身につけることを目指します。

また、課題の入手から提出まで、全てパソコンで処理する中で、自然とPC操作能力が高まることも、ねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 授業の進め方： 「YeStudy」コース登録方法と課題提出の仕方、KT2000、Type Quick について

- 第2回 情報表現力とは 【e-learning】《確認小テスト》
- 第3回 文章表現力1-1（前半）【e-learning】《課題1-1、確認小テスト》
- 第4回 文章表現力1-2（後半）【対面授業】《課題1-2、確認小テスト》 KT2000
- 第5回 Drill-1 【e-learning】
- 第6回 文章表現力2【対面授業】《課題2-1&2-2、確認小テスト》 KT2000
- 第7回 文章表現力3【e-learning】《課題3、4-1&4-2、確認小テスト》
- 第8回 ビジネス文書【対面授業】《課題5-1&5-2、確認小テスト》 KT2000
- 第9回 その他の文書【e-learning】《課題5-3&5-4、6、7、確認小テスト》
- 第10回 Drill-2 【e-learning】
- 第11回 ビジュアル表現力1【対面授業】《課題8-1&8-2、9-1&9-2、確認小テスト》 KT2000
- 第12回 ビジュアル表現力2【対面授業】《課題10-1&10-2、11、確認小テスト》
- 第13回 Drill-3 【e-learning】
- 第14回～15回 まとめ【対面授業】 KT2000

履修上の留意点 後期第1回目の授業で授業の進め方の説明を受け、その後は、常に「YeStudy」に入って指示を見ながら、ある程度自己管理の下に課題をこなして、採点に直結するポイントを貯めていく授業形態です。

成績評価の方法 課題、確認小テスト、Drill の総合得点により評価します。各提出物には、それぞれに締切日時があり、期限を過ぎるとアップロードできなくなります。いかなる理由があろうとも、提出されなかったものは評価対象になりません。提出期限厳守です。

教科書参考書等 noa 出版 『伝える力がつければ変わる！情報表現力』 株式会社ワークアカデミー ￥1,766
課題を作成するには、パソコンに Word、Excel および PowerPoint が入っていることが必要です。ソフトの使い方が分からない場合は、毎週必要とする人に開講している「対面授業」に出席して質問するか、書店に並んでいる操作説明書を参考にしてください。

その他 この授業は E-education「YeStudy」を使用して行います。後期最初の授業（説明会）に出席しないと受講の仕方が分からず、単位が取れなくなりますのでご注意ください。

スポーツも芸ごとでも「基本が大切」とは、よく言われることですが、PC操作も実はスポーツと似ていて基本が大事です。PC操作の基本とは、手元を見ないで打つ「タッチタイピング」です。文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心で、基本が出来ているか否かで、仕事の処理能力にかなりの差がつくものです。空き時間を利用して、総合情報センター自習室のコンピュータに入っているタッチタイピングソフト「Type Quick」で入力スキルアップを図ってください。

なお、希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるタイピング練習ソフト（Type Quick）USBメモリ版またはCD-ROM版を購入することが可能です。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 169701 |
| 科目名 | 日本文化研究IA |
| 担当者名 | 佐原 作美 |

講義のねらい 約4500首もの和歌を収めるわが国最古の歌集である『万葉集』の中から、特に異色の作風で知られる山上憶良の作品を読みながら、その人間像や思想を探求することを目的としたい。一人の人物に焦点を当てながら、同時に柿本人麻呂など他の歌人との比較を試みつつ、憶良という古代の巨人の生きざまを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 憶良を理解するにはその全作品を精読することが第一。それにあわせ、時代や社会などのその背景も視野に入れる必要がある。授業では、全77首の和歌のほか、漢詩や散文なども含めて、創作年代順に読んでいくと共に、和歌文学史上における憶良の位置なども考えていきたい。

履修上の留意点 古典文学は何度も繰り返し読むことが肝心。味読することに心掛けてほしい。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。

教科書 土橋 寛編「作者別万葉集」（おうふう刊） 価1,800円。

参考書等 必要に応じ授業の中で紹介する。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 171101 |
| 科目名 | 日本文化研究IA |
| 担当者名 | 坂口 博規 |

講義のねらい 平安末期から鎌倉時代にかけて生きた一女性の和歌集をもとに、当時の女性の人生観とされる「契り」という宿世の認識を考察してもらおう。平家全盛の時代、平清盛の娘建礼門院徳子に仕えた「右京大夫」と呼ばれた女房の個人歌集を通して、作品中に語られた二人の男性との恋愛交渉を中心に、作品を講読する。作者の人生を考察してほしい。

講義の内容・授業スケジュール 最初に女性の手になる自照文学の流れを概観し、特に日記文学に見る女性の自己観照のあり方を考えてもらい（1～4）、前期は作者の宮廷生活や、特に平資盛との出会いを中心に作品を読み（5～15）、後期は似絵（肖像画）の名手で歌人の藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩する姿を考え（16～18）、やがて資盛との愛が再燃して後、資盛が平家一門と共に都落ちや西海流浪の果て壇の浦で死ぬという悲運に翻弄される姿を、作品を通して考えてもらおう（19～）

履修上の留意点 平安時代の一夫多妻の不安定な女性の生き方を通して、「契り（前世からの約束事）」という宿命観を受けとめてほしい。こうした女性の生き方を通して、作者が資盛の菩提を弔う生涯を選択していく姿を考察してもらおう。

成績評価の方法 授業の最終日にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況等を加味して評価する。

教科書 本位田重美編『校注建礼門院右京大夫集』（武蔵野書院）735円

参考書等 授業時に適宜紹介する。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 171201 |
| 科目名 | 日本文化研究IA |
| 担当者名 | 鈴木 裕子 |

講義のねらい テーマ：歌物語を楽しむ
『伊勢物語』を中心に『大和物語』をも取り上げつつ、歌物語の本質について考える。あわせて『伊勢物語絵巻』など視覚的享受についても論じる。原文を読むが、現代語訳も用意する。

講義の内容・授業スケジュール プログラム：(1) ガイダンス、(2～3)「一代記」の始まり・伊勢初段、(4～6) 大和161段と伊勢3、76段、(7～11) 伊勢5段、123段と大和157、158段、伊勢23段と大和149段 (12～14) 伊勢6・12段と大和155段、(15) 前期総括、(16～19) 伊勢24段と大和148段、伊勢60、62段、(20～21) 伊勢63段と大和156段、(22～24) 伊勢40段と大和64段、(25～27) 伊勢65段、69段と源氏物語、(28～29) 業平の終焉・伊勢124、125段と大和165段、(30) 総括。

履修上の留意点 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。

成績評価の方法 期末毎に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 徳原茂実・青木賜鶴子編『王朝歌物語選』（和泉書院）、その他プリント教材。

参考書等 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 172001 |
| 科目名 | 日本文化研究IA |
| 担当者名 | 蘭部 幹生 |

講義のねらい 日本文化のなかで、伝承文芸は上代から近世まで、あらゆるジャンルの文芸と関わって、大きな意味を持っていた。その伝承文芸を代表する説話文学のなかから、特に有名な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。『宇治拾遺物語』は長く編者未詳の作品として扱われてきたが、その謎を解き明かしてみたい。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、その他さまざまなジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6～12 宇治拾遺物語の特徴と問題。13～23 編者論。24～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

**教科書
参考書等**

中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫
『駒澤国文』26号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 170201 |
| 科目名 | 日本文化研究IB |
| 担当者名 | 石割 透 |

講義のねらい 1910年から20年代にかけての日本の、主に短篇小説を読む。

主に大正時代の作家——芥川龍之介・志賀直哉・谷崎潤一郎・江戸川乱歩ら——の作品を読み、それぞれの作家の特質、作家の生きた時代の社会的、文化的状況を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1 志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「小僧の神様」(3) 2、芥川龍之介「芋粥」(4) 3、谷崎潤一郎「小さな王国」(3) 4、江戸川乱歩「人間椅子」(4) 5、志賀直哉「焚火」(3)、6、谷崎潤一郎「春琴抄」(4) 7、芥川龍之介「秋」(3) 8、江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」「D坂の殺人事件」など(3)

履修上の留意点

授業に際して、各々の作品を前もって十分に読んでおくことが望ましい。各作品に絡めて言及する作品についても、すぐに図書館などで読んでほしい。いずれも短篇小説だから、すぐに読める筈である。

成績評価の方法

年度2、3回のレポート提出。更に出席状況を重視する。

教科書

特に指示しないが、扱う作品は、主要な文庫本などで比較的容易に読むことが可能である。例えば谷崎潤一郎「美食倶楽部」(ちくま文庫)、江戸川乱歩「江戸川乱歩傑作選」(新潮文庫)、芥川龍之介「芥川龍之介全集I～VI」(ちくま文庫)、志賀直哉「小僧の神様」(新潮文庫)など。

**参考書等
その他**

年表の会編『近代文学年表(双文社出版)、他は授業時に指示する。
講義を中心に進行する。授業に必要なコピーなどをその都度準備、配布する。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 175501 |
| 科目名 | 日本文化研究IB |
| 担当者名 | 小林 治 <small>こばやし おさむ</small> |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代文学の作家と映画の関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を安部公房について取り上げ、どのように関わっているか考えてみたい。また、前者についても、ネオレアリズモ、シュールレアリズムなどの視点から取り上げる。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房について順次みていく予定である。 (1~3) 安部公房・作家活動の軌跡 (4~6) 安部公房の映画製作について (7~9) ネオレアリズモとの関わり (10~12) シュールレアリズムとの関わり (13~15) 映画『おとし穴』について (16~18) 映画『砂の女』について (19~21) 映画『他人の顔』について (22~24) SF的方法と小説『第四間氷期』について (25~26) SFの歴史 (27~30) SF文学と映画の比較 |
| 履修上の留意点 | 授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と並行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず事前に読んでおくこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。 |
| 成績評価の方法 | 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出欠状況を加えて成績評価をおこなう。 |
| 教科書 | 安部公房『砂の女』（新潮文庫）476円 安部公房『他人の顔』（新潮文庫）476円 その他、適宜プリントを配布する。 |
| 参考書等 | 授業時に指示する。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 215711 |
| 科目名 | 日本文化研究IB |
| 担当者名 | 松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small> |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 始原から現代に至るまでの日本の芸能史を概観し、ジャンルの枠を超えた発想から日本におけるライブ・パフォーマンスの全体像を見つめる。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1) 芸能とは何か (2) 大道芸と見世物 (3) 異界との交流 (4) 芸能の始原を考える：相撲の歴史とともに (5) 能と歌舞伎 (6) 浅草オペラと宝塚 (7) 落語と漫才 (8) 現代演劇を見る |
| 履修上の留意点 | 基本的に毎回きちんと出席することを前提として講義を進める。2/3以上の出席がなければ単位は取得できない。遅刻の場合は出席とみなさないので注意すること。 できる限り視聴覚資料を使って授業を進めるが、それらはあくまで画像・映像に過ぎず、対象とするライブ・パフォーマンスとは本質的に異なる。自ら積極的に芸能の場に足を運んで体験してきてほしい。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期それぞれの定期試験期間中に筆記試験を行う。前期試験の点数が3割、後期試験の点数が4割、出席点（授業での提出物の評価を含む）が3割の配分で評価する。 |
| 教科書その他 | 指定しない。 この授業で扱う内容の専門性を深め、少人数によるワークショップ形式を取り入れた「日本文化研究IIB（松田）」も開講している。希望者はまずIBを先に履修してから、翌年度以降にさらに興味があればIIBを履修していただきたい。 |

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 359001 |
| 科目名 | 日本文化研究IIA |
| 担当者名 | 佐原 作美 |

講義のねらい 日本の古典文学を読むとよく「夢」が出て来る。そこでそれぞれの作品の中で、それがどのような役割を担い、どう位置づけられているかを中心に、「夢と古典文学」をテーマに考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、前期に『古事記』（3～4回）『日本書紀』（4～5回）『万葉集』（3～4回）『風土記』（2回）など主に古代前期の作品を対象に。後期は、『古今集』などの和歌集や、『今昔物語集』などの説話、さらに平安期の『更級日記』などの女流文学、等々（各3～4回）平安期の諸作品を中心に見ていきたい。

履修上の留意点 素材が夢であるだけにその内容は人により作品により種々様々であると同時に類型的な一面もみられる。それだけに、よく味読することが肝要であり、かつ望まれる。

成績評価の方法 折り折りの提出物や定期試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。

教科書 プリントの配布をもって行う。

参考書等 必要に応じ授業の中で紹介する。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 359101 |
| 科目名 | 日本文化研究IIA |
| 担当者名 | 鈴木 裕子 |

講義のねらい テーマ：和歌で読む『源氏物語』
古典の物語では和歌は重要な役割を果たしている。この授業では、『源氏物語』の中から名場面を取り上げて原文を読みながら、特に和歌に着目して鑑賞する（現代語訳を用意する）。物語世界を切り拓いてゆく和歌の重要な機能について理解を深めつつ、古代の物語を読むおもしろさを味わいたい。あわせて、現代の私たちが古典を読み継いでゆくことの意味を確認したい。

講義の内容・授業スケジュール プログラム：(1) ガイダンス、(2～8) 光源氏の青春の物語、(9～14) 和歌で読む紫の上の人生史、(15) 前期の総括、(16～18) 『源氏物語』第二部から第三部の世界へ、(19～22) 薫と大君の物語、(23～27) 浮舟の歌を読む、(28～29) 『源氏物語』の和歌が後世に与えた影響、(30) 総括。
※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。

履修上の留意点 授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式が基本となるが、頻繁に小作文などの課題を出題する。

成績評価の方法 期末毎に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。

教科書 プリント教材。

参考書等 参考書は、俵万智『愛する源氏物語』（文藝春秋社）、鈴木裕子『「源氏物語」を〈母と子〉から読み解く』（角川叢書・角川書店）、『源氏物語入門』（角川選書・角川書店）その他、授業中に指示する。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 359201 |
| 科目名 | 日本文化研究IIA |
| 担当者名 | 坂口 博規 |

講義のねらい 古代の『古事記』『日本書紀』『風土記』等の歌謡を考える。古代の「ウタ」の発生の問題や、「ウタ」の役割（＝古代的意義）を考えるとともに、作品中に登場する歌謡が、その物語の中でどのような役割（＝文学性）を担っているか等を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール はじめ「ウタ」の発生について考察し（1～3）、次いで古代歌謡の種類（4～6）や形態（7・8）や表現様式・歌体（9～13）などを、『古事記』や『日本書紀』『風土記』の物語を含めて解説する。後期に入り、歌謡が物語にいかなる役割を以って採用されているかを理解してもらうために、ヤマトタケル物語を『古事記』と『日本書紀』の両方で読む。この二つのヤマトタケル物語は内容を大きく変えており、その違いは『古事記』と『日本書紀』の政治的主張の差などに由来することから、まず『古事記』と『日本書紀』の成立について考察（14～17）、その上でヤマトタケル物語を読み解きたい（18～30）。

履修上の留意点 古代の文学・歴史書たる『古事記』『日本書紀』『風土記』は、その表現や内容上難解な点が多いので、是非注釈書などに目を通してほしい。本文読解を中心に行うことはしないので作品の理解は現代語訳でもよい。

成績評価の方法 定期試験時におけるレポートの評価による。出席状況も参考にする。

教科書 授業時に適宜プリントを配布する。

参考書等 授業時に適宜紹介する。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 359301 |
| 科目名 | 日本文化研究IIA |
| 担当者名 | 菌部 幹生 <small>そのべ ますお</small> |

講義のねらい 『宇治拾遺物語』の編者が文章博士・藤原経範であるという前提に立てば、『宇治拾遺物語』をどのように読むことができるか、という点を最大のテーマとする。恣意的な読み方によらずに、どのように読むべきかという作品研究の立場に立った方法を実践したい。

講義の内容・授業スケジュール 1 ガイダンス。2 説話文学の盛衰。3～4 編者論。5～14 作中人物論。15～28 作品論。29 教場試験。30 まとめ。

履修上の留意点 日本文化研究IAを履修済みであることが望ましい。できれば同一担当（菌部幹生）者の日本文化研究IAを単位修得してから履修することが望ましいが、そうでない場合は、必ず最初の授業時にその旨を相談すること。

成績評価の方法 また、毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう（試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込み参照可）。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。

教科書 中島悦次校注『宇治拾遺物語』角川文庫

参考書等 『駒澤日本文化』2号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 359701 |
| 科目名 | 日本文化研究IIB |
| 担当者名 | 石割 透 <small>いしわり とおる</small> |

講義のねらい 日本近代文学と〈京都〉——そうだ、京都。学ぼう。

京都は平安時代から、政治、文化の中心としてあり、近代においても首都東京と対照的な、東京を批評する性格をもつ都市として文学の世界でも表象されてきた。現在でも多くの人たちが訪づれる国際的な都市でもある。日本の文化の本質とも深く関わる、こうした〈京都〉という場所は、どのような空間に位置し、いかなる歴史、文化とかかわってきたか。この授業では、京都という都市の性格を概観し、それが特に日本近代文学でいかに表象されてきたかを検討しようとする授業です。

講義の内容・授業スケジュール 1 京都の歴史（2）、2 地理的条件（2）、3 生活習慣、行事、祭礼など（2）、4 京都言葉の特徴（3）、5 家屋構造、路地など（2）、6 近代の京都、疎水工事、市内電車など（1）、7 川端康成「古都」の検討（3）、8 与謝野晶子「みだれ髪」、夏目漱石「虞美人草」（3）、9 東京下町趣味、長崎、祇園、吉井勇、長田幹彦、高浜虚子など（3）、10 近松秋江「黒髪」（3）、11 京都と映画、牧野省三、溝口健二など（1）、12 映画「古都」「祇園囃子」を見る（2）、13 大仏次郎「帰郷」など（1）

履修上の留意点 各授業に先だち、各テキストを読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法 年間に2、3回のレポートの提出。出席を重視して、成績評価に加味する。

教科書 特に指示しない。授業時にコピー、印刷物を配布する。

参考書等 授業時に指示する。京都を表象したテキストに注目しておくように。

その他 講義を中心として進行する。

| | |
|-------|----------------------------|
| 履修コード | 359801 |
| 科目名 | 日本文化研究II B |
| 担当者名 | 小林 治 <small>こばやし ぢ</small> |

講義のねらい

戦後における文学の第一声ともされる同人誌『近代文学』に依る本多秋五や荒正人の評論から始めて、野間宏、椎名麟三などの第一次戦後派から、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄を経て、小島信夫、庄野潤三などの第三の新人に至るまでの戦後日本文学の軌跡を、それぞれの作家の作品を読むという形で辿ってみたい。そうすることで、敗戦までの日本近代文学の陥穽に対峙することから、その表現の独自性を確立しようとした戦後日本文学の可能性と限界を探りたい。

同時に受講生において、個々に自分にとって文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むという行為がどのような意義を持つのかということをおぼろげにあらためて対象化して考える出発点としていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第二次大戦直後の戦後文学の出発期から昭和三十年代に至るまでの戦後派文学の軌跡がいかなるものであったのか、その概論を講義形式でおこなうと同時に、個々の作家の重要な作品については、逐次たちどまって具体的にテキストを用意してじっくりと講読する。なお、今年度は主に同人誌『近代文学』掲載の評論ならびに安部公房と島尾敏雄の短編小説を取り上げる予定。

(1~3) 戦後文学の特色について (4~7) 同人誌『近代文学』の役割 (8~9) 安部公房の軌跡 (10~11) 『飢えた皮膚』の分析と読解 (12~13) 『闖入者』の分析と読解 (14~15) 『R62号の発明』の分析と読解 (16~17) 『死んだ娘が歌った』の分析と読解 (18~19) 『棒』の分析と読解 (20~21) 『鏡と呼子』の分析と読解 (22~23) 島尾敏雄の軌跡 (24~25) 『島の果て』の分析と読解 (26~28) 『出発は遂に訪れず』の分析と読解

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法
教科書

毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

安部公房『水中都市、デンドロカカリヤ』(新潮文庫) 514円

安部公房『R62号の発明、鉛の卵』(新潮文庫) 552円

島尾敏雄『出発は遂に訪れず』(新潮文庫) 590円

その他、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業時に指示する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 359901 |
| 科目名 | 日本文化研究II B |
| 担当者名 | 松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small> |

講義のねらい

昨年度の「日本文化研究IB (松田)」で概説した演劇・芸能の中から受講者の興味関心に応じたテーマを選び、映像を見ながら参加者全員が同じ立場で意見を出しあう少人数のワークショップ形式で授業を進め、昨年度の講義内容をより深く掘り下げた理解を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「演劇における真と美の東西比較」をテーマとして、社会の底辺に生きる人々や泥棒を登場人物とした3つの舞台 (1) ゴーリキー作「どん底」、(2) 歌舞伎「三人吉三」、(3) ミュージカル「ベガーズ・オペラ」を比較検討する。後期はイギリスで上演された鴻上尚史作「天使は瞳を閉じて」を予定しているが、ほかにも受講者の希望があれば、できる限り応じたい。

履修上の留意点

基本的には昨年度の「日本文化研究IB (松田)」の受講者を対象としているので、それを受講していない場合はまずIBから履修していただきたい。初回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

授業の中で適宜レポートの提出を求め、筆記試験は行わない。レポートによる評価が5割、出席状況や授業への参加姿勢による評価が5割として判定する。

教科書

指定しない。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 170901 |
| 科目名 | 日本語文化研究I |
| 担当者名 | 萩原 義雄 |

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据えた形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の鳥瞰・虫瞰の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、現存する日本語資料の実態についてその保管現況を把握します。この資料をどう時代区分するのかを精確に知りましょう。将来、日本語文化を研究する際、どのような重要性を有し、どのように研究発展させていくのかを各が認識していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 01の講義内容 日本文化の未来と古代をつなぐ
- 02の講義内容 五十音圖のはなしと音訓について
文字資料(漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字)から日本語学資料へ
- 03の講義内容 「いろはうた」と「あめつちのうた」そして「たみにのうた」
- 04の講義内容 『伊勢物語』第九段 「東下り」を読む
- 05の講義内容 『野馬臺詩』をめぐる説話譚 — 『吉備大臣入唐絵巻』— PDF版
- 06の講義内容 「落書」PDF版
- 07の講義内容 「手紙」失われた文字 PDF版
- 08の講義内容 文字の修得と習学 PDF版 「かな」について 貴族階級とことば教育 佛敎界とことば教育
- 09の講義内容 文字の運びと流れ PDF版 カタカナ文献資料について— 『古今和歌集』(旧伏見宮家藏)一二〇六年寫—
- 10の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その1 PDF版 — 『今昔物語集』(京都大学附属図書館蔵国宝、鈴鹿本)—
- 11の講義内容 漢字・カタカナの混淆文を読む その2 PDF版 — 鈴鹿本『今昔物語集』から古辞書利用へ—
- 12の講義内容 連綿連続にみる日本語の抑揚階調表現 PDF版 — 徳川本・五島本『源氏物語繪巻』のかな書き「ひ」文字—
夏季課題提出(後期講義に向けてその方向性と準備を説明)
- 13の講義内容 『作庭記』について PDF版
- 14の講義内容 梅沢本『古本説話集』にみる疊字踊り字「／＼」 PDF版
- 15の講義内容 延慶本『平家物語』について PDF版
- 16の講義内容 鴨長明自筆『方丈記』について PDF版
- 17の講義内容 細川三斎忠興筆『徒然草』について PDF版
- 18の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について PDF版
- 19の講義内容 『太平記』について PDF版
- 20の講義内容 中世藝術論〔謡曲・能・狂言〕の言語文化についてPDF版
- 21の講義内容 天草版(キリシタン)資料 PDF版
- 22の講義内容 往来物『庭訓往来』について PDF版
- 23の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』PDF版
- 24の講義内容 『仮名手本忠臣蔵』PDF版
- 25の講義内容 町人文化とことば…十返舎一九編『東海道中膝栗毛』PDF版
- 26の講義内容 樋口一葉『たけくらべ』—雑誌「文學界」と「文藝俱樂部」所載直筆原稿—
冬季課題の提出

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。特に、4週連続して理由なき欠席された受講者については、履修名簿から自動的抹消します。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時間閲覧します。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD(ネットへの添付資料)にして、最終締め切り日に提出します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書

紀田順一郎著『日本の書物』[勉誠出版、3000円(税別)]
インターネット公開型テキスト「国語史」[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等 今野真二『日本語の歴史』文献から読み解く【鳥瞰虫瞰】(笠間書院) 3,800円(税別) ISBN4-305-70307-6

その他の 情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 215721 |
| 科目名 | 日本語文化研究I |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 <small>ひらこ ようこ</small> |

講義のねらい プレゼンテーションとは、そのための立案・企画を含めた発表・説明行為です。情報を相手に正確に伝え、納得させること、宣伝(PR)活動を意味することもあり、プレゼンという略称もよく耳にするようになります。

本講義では、視覚情報(ビジュアル)プレゼンテーションに的を絞り、効果的な作成技法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール
 1~2) タッチタイピングの重要性、プレゼンテーションの基本
 3~4) プレゼンテーションの作成
 5~6) 訴求力のあるスライド作成の基本
 7~8) 訴求力のあるスライドの作成
 9~10) 紙面デザインの基本
 11~12) ポスター・ちらしの作成
 13~14) カタログ冊子の作成
 15) 予備日
 16~17) オートデモの作成
 18~19) Web ページの作成
 20~21) フォトアルバムの作成
 22~23) PDFファイルの作成
 24~30) 総合問題

履修上の留意点 第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

なお、履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法 出席点(20%)、授業内で何回か計測するキータッチ2000テスト結果の最高点(30%)、および提出された課題点(50%)により行います。

教科書 富士通エフ・オー・エム株式会社 『よくわかる Power Point 2007 ビジネス活用編』 FOM出版 ¥2,415 ISBN978-4-89311-716-8

その他の タッチタイピング(手元を見ないで入力する方法)をマスターするため、課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト(Type Quick)でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

タッチタイピング技能は、他の授業でも大変役に立つ上に、この授業では、そのレベルの高さが評価に直結しますので、時間を見つけて練習に励んでください。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 360601 |
| 科目名 | 日本語文化研究II |
| 担当者名 | 萩原 義雄 |

講義のねらい

日本語文化研究Iの日本語歴史で取り扱ってきた作品資料には、多くの注釈書類が編纂されてきている。これらの注釈書類に焦点を当ててみることで、作品の有する特徴並びに享受者側の学習教養の度合いを検証していくこととする。例えば、『古今和歌集』には『古今集註』、『伊勢物語』には『和語知願集』、『神風知願正義集』、『伊勢物語惟清抄』など、『源氏物語』には『源氏物語抄』、『河海抄』など、『枕草子』には『春曙抄』、『徒然草』には『徒然草寿命院抄』といった具合に枚挙なき注釈書が存在している。これらの注釈書類を以て、日本語文化研究における国語資料としての位置づけについて探求することをめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
古典作品に於ける「古注釈」研究の領域とは
- 02の講義内容 『万葉集』の注釈書『万葉集略解』『万葉代匠記』
- 03の講義内容 『古事記』の注釈書『古事記伝』
- 04の講義内容 『日本書紀』の注釈書『日本書紀抄』
- 05の講義内容 文献資料の蒐集方法とその取り扱い
- 07の講義内容 字書・辞書、そして参考とすべき専門書の利用とその方法
- 08の講義内容 『伊勢物語』の注釈書『和語知願集』『神風知願正義集』『伊勢物語惟清抄』
- 09の講義内容 『古今和歌集』の注釈書『古今集註』
- 10の講義内容 『枕草子』には『春曙抄』
- 11の講義内容 『源氏物語』の注釈書『源氏物語抄』『河海抄』
- 12の講義内容 文献素材の入手及びデータ入力作業
- 13の講義内容 『和漢朗詠集』の注釈書『和漢朗詠集註』『和漢朗詠集聞書』
- 14の講義内容 『平家物語』の注釈書『平家物語繪抄』
- 15の講義内容 『徒然草』の注釈書『徒然草寿命院抄』
- 16の講義内容 『太平記』の注釈書『太平記賢愚抄』『太平記音義』
- 17の講義内容 『庭訓往來』の注釈書『庭訓往來註』『庭訓往來抄』
- 18の講義内容 難字・異体字の処理及び修飾文字の利用(「今昔文字鏡」等)
- 19の講義内容 図画・図表の処理(データ加工)→機器スキャナーに依る取り込み
- 20の講義内容 注釈書類の引用文献その1 漢詩・漢籍資料
- 21の講義内容 注釈書類の引用文献その2 和歌資料
- 22の講義内容 注釈書類の引用文献その3 和文資料
- 23の講義内容 注釈書類の引用文献その4 記録類資料
- 24の講義内容 注釈書類の引用文献その5 字書・辞書類資料
- 25の講義内容 解説資料の整理記述(PPTの作成)
- 26の講義内容 資料公開とその注釈語の分析結果報告(PPTによる発表)

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

成績評価の方法

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。月毎に注釈書収載のことは群から説明語彙を選択し、上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。解答の数を最低20としてこの一問一答ずつの提出物を高く評価していきます。提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

教科書その他

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi> を使用する。
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 360701 |
| 科目名 | 日本語文化研究II |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 |

講義のねらい 情報検索、情報共有、文書作成、企画提案、プレゼンテーション、数値分析、デザイン、スケジュール管理…等々、実社会では、「情報を活かし、コミュニケーションする能力 (ICT能力) = 情報活用力」が日々、求められています。パソコンなど情報機器の普及とともに、多くの仕事で情報を取り扱う機会が増え、「情報活用力の優れた人材=仕事のできる人」という図式ができあがりつつあります。

この動きに対応できるよう、情報基礎教育や Office アプリケーション操作をひととおり学習した学生にとっての「実社会で活躍する」スキル涵養のための授業です。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 オリエンテーション、履修登録許可者決定テスト (KT2000)
- 2 「履修登録許可書」発行、ファイル・データ管理
- 3~4 インターネットコミュニケーションI&II (メール・Web ページ)
- 5~6 文書表現、KT2000
- 7 ビジュアル表現
- 8~9 プレゼンテーションI&II (プレゼンの基本と資料作成)
- 10~11 情報検索
- 12 情報運用、KT2000
- 13~15 プレゼンテーションIII (プレゼン実習)
- 16~17 数値分析I-1 (データの種類・データの加工・セル参照)、KT2000
- 18~20 数値分析I-2 (関数の利用)
- 21~24 数値分析II (データ分析、グラフ化)
- 25~30 データベース、KT2000

履修上の留意点

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡も無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したと受けとめ、他の希望者に受講権利を譲ります。

(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法

なお、昨年の「実務表現」を受講し単位を取得した学生は、内容が同じなので、この授業の履修を認めません。他の科目担当者の「日本(言語)文化研究II」を履修してください。

出席点 (20%)、年間を通して5回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (30%)、および提出された課題点 (50%) により行います。

教科書

本田直也監修 『考える、伝える、分かちあう、情報活用力』 noa 出版 (株式会社ワークアカデミー) ¥2,500 ISBN978-4-9902420-4-6

その他

課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト (Type Quick) でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 360901 |
| 科目名 | 実務表現 |
| 担当者名 | 萩原 義雄 |

講義のねらい

広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に涉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかずにいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
書く技術 原稿用紙縦書きの意味
- 02の講義内容 出版社はなぜ400字詰め原稿用紙を用いないのか？
- 03の講義内容 800字の文章は、こうして書く。
- 04の講義内容 原稿用紙7枚半(3000字)の文章の書き方
- 05の講義内容 漢和辞典を繙く
- 07の講義内容 国語辞典を繙く
- 08の講義内容 類語辞典を活用してみよう
- 09の講義内容 話題のエピソードを導入部で使おう
- 10の講義内容 人物はどのように描けるか
- 11の講義内容 自然景物をどう活写するか
- 12の講義内容 時代小説家は何に留意して作品を構築しているのか
- 13の講義内容 推理小説は、種明かしの部分をどこにおいているか
- 14の講義内容 「パロディ」な文章を書いてみよう
- 15の講義内容 絵本を書いてみよう
- 16の講義内容 漫画・アニメにみる「ことば表現」を使えるか
- 17の講義内容 手書き文字はどうすれば巧く書けるようになるのか？そのコツ！
- 18の講義内容 詩や短歌を用いてことば遊び(回文・逆きことば・しりとり等)を学ぼう
- 19の講義内容 かな文字だけの文章
- 20の講義内容 ローマ字だけの文章
- 21の講義内容 文法は、グラグラだ！どうすりゃいいの？
- 22の講義内容 文章の修辞法を知らう
- 23の講義内容 音の響きと弾みから学ぶ「オノマトペ」の活用法
- 24の講義内容 生活に根ざした「方言」で書く文章
- 25の講義内容 「句読点」はどう用いてきたか
- 26の講義内容 言語生活からみた「新聞論評・コラム」
- 27の講義内容 愈々、独り立ち！個性ある書き手をめざそう。(PPTの作成)

履修上の留意点

※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時閲覧願います。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても応対可能とします。

成績評価の方法

週毎に上記項目を常にふまえた上で、提出作文を書いてもらいます。個人が年間提出する上記作文は添削を受けながら再度提出を求めています。その仕上がりが度合いを許し評価を五段階にして提示します。

提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

教科書のその他

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/hagi> を使用する。

情報機器及び文書編集ソフト「一太郎2009」を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 361001 |
| 科目名 | 実務表現 |
| 担当者名 | 湯浅 陽子 |

講義のねらい プレゼンテーションとは、語源である「贈呈する」の視点から言えば、提示する、つまり「見せる」技術です。話すことにおいても、書くことにおいても、「見せる」という意識がとても大切です。

本講義をとおして、話す技術、書く技術を「見せる」プレゼンテーションに高める方策として「パワーマップ」と「アウトライン」を活用しながら、確かな話す技術、骨子が見えるビジネス文書を書く技術を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) オリエンテーション、履修登録許可者選抜テスト (KT2000、PPT、Word)
- 2~3) 話す技術、書く技術両方に共通した考え方「パワー・ライティング」
- 4) プレゼンテーションの技法チェック
- 5~6) 話す技術 (抗議)
- 7~8) 話す技術 (反駁)
- 9~10) 話す技術 (交渉)
- 11~12) 話す技術 (企画・提案)
- 13~15) 話す技術 (報告)
- 16~17) KT2000、ビジネス文書作成の基本確認
- 18~19) 書く技術 (抗議状)
- 20~21) 書く技術 (反駁状)
- 22~23) 書く技術 (交渉状)
- 24~25) 書く技術 (企画・提案)
- 26~27) 書く技術 (報告書)
- 28) KT2000
- 29~30) まとめ

履修上の留意点

第1回目の授業時に、履修登録許可者を決定します。たとえ Web 履修登録を授業前に行っても、第1回目の授業で履修を許可された学生でなければ、履修登録エラー訂正期間に教務部へ申し出てリストから名前の削除手続きが必要になります。

履修登録を許可された学生が第2回目の授業を事前の連絡無しに欠席した場合は、受講できる権利を放棄したものとみなします。(連絡先: yuasa@komazawa-u.ac.jp)

成績評価の方法

出席点 (40%)、合計3回計測するキータッチ2000テスト結果の最高点 (20%)、および「話す」「書く」の提出課題点 (40%) の合計点により評価します。

**教科書
参考書等**

適宜指示します。
 日経BPソフトプレス 『Microsoft Office Word 2007 ビジネス問題集』 日経BPソフトプレス
 ¥1,050 ISBN978-4-89100-896-3
 入部明子 『サバイバル・プレゼンテーション』 メディア・テック出版
 ¥2,604 ISBN4-89627-296-X

その他

課題作成に際しては無理なく作業できるよう、自習室のPCにインストールされている入力練習ソフト (Type Quick) でタッチタイピングのレベルアップに励んでください。希望者が30名以上集まった場合は、大学のPCでも共有できるUSBメモリ又はCD-ROM版を購入することが可能です。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 168901 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究A |
| 担当者名 | 佐原 作美 |

講義のねらい 『古事記』や『日本書紀』などに見られる神話や古伝承などをもとに、古代の日本人の心性や精神生活などのありようをテーマに考察していきたい。あわせ現代人とのつながりについても見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では昔からよく知られた『古事記』(4~5回)の中から「国生み神話」をはじめとする神話伝説、『万葉集』(4~5回)からは行路病死者を詠んだ挽歌や伝承歌。あるいは『竹取物語』などに見られる「羽衣伝承」(3~4回)などを中心に読んでいきたい。

履修上の留意点

各自の感性を大切にしながらよく味読することに心掛けてほしい。
 折り折りの提出物や定期試験(筆記またはレポート)を基本に、出席状況を考慮して評価する。

**教科書
参考書等**

プリントの配布をもって行う。
 必要に応じ授業時に紹介する。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 168911 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究A |
| 担当者名 | 佐原 作美 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 人間の住む世界に対し、妖怪など異類の住む世界を異界というが、人間とこの異類との交流をモチーフとするものが古典文学の中によく見られる。そこでそれらを対象にそれに見られる意義や背景などを考察していきたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 授業では、その代表的な『竹取物語』（6～7回）をはじめ、『風土記』（2回）や『万葉集』（1～2回）や『今昔物語集』（2回）などに見られる関連説話（1～2回）を読みながら、その文化史的社会的意味合いを考察していきたい。 |
| 履修上の留意点 | 何度もうり返し読んで味読するよう心掛けてほしい。 |
| 成績評価の方法 | 折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。 |
| 教科書 | プリントの配布をもって行う。 |
| 参考書等 | 必要に応じ授業の中で紹介する。 |

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 169001 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究B |
| 担当者名 | 佐原 作美 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 奈良平安時代の社会の底辺に生きた一般庶民は、日常の生活の中で何を願ひ、何を信じ、何を恐れ、何を考えていたか等々、その感情や思想の一端について考察していきたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 授業では、それらがよく描出されている説話文学、特に『日本霊異記』や『今昔物語集』などをもとに見ていく。特に、前半では、観音・地藏・阿弥陀仏など現代人にもなじみの深い諸仏信仰に関するもの（各2～3回）を読む。後半は、芸道や霊鬼や古伝承・笑い話など（各2～3回）巾広く取り上げて見ていきたい。 |
| 履修上の留意点 | 説話は短く内容も単純であるだけに、その発するメッセージを見逃さぬよう注意深く読むことが大切。味読むすることを心掛けたい。 |
| 成績評価の方法 | 折り折りの提出物や期末試験（筆記またはレポート）を基本に、出席状況を考慮して評価する。 |
| 教科書 | プリントの配布をもって行う。 |
| 参考書等 | 必要に応じ授業の中で紹介する。 |

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 169011 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究B |
| 担当者名 | 鈴木 裕子 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | テーマ：古典文学で考える〈男〉の生き方・〈女〉の生き方 『堤中納言物語』、『とりかへばや物語』など、『源氏物語』以後に作られた物語を取り上げて、原文の一節を読みながら、古典文学の中に描かれる〈男〉らしき、〈女〉らしきの表現や、社会と文化によって作られる〈ジェンダー〉、さらに、〈暴力〉などの人間関係の問題について考える。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | プログラム：（1・2）ガイダンス・『源氏物語』と後期物語について、（3～4）『堤中納言物語』「花桜折の中將」を読む、（5～7）『堤中納言物語』「虫めづる姫君」を読む、（8～14）『とりかへばや物語』（抄出）を読む、（15）総括 ※受講生の興味・要望や進捗状況により多少変更するかもしれない。 |
| 履修上の留意点 | 授業は主として講義形式であるが、毎回コメントの提出を課する。 |
| 成績評価の方法 | 期末に行うレポート試験（日時・論題等は授業時に提示）40%、授業態度（出席状況と毎回のコメントの内容）60%。なお、三分の一以上欠席すると受験資格を失う。授業中の私語や途中退室等をする者には厳しく対処する。 |
| 教科書 | プリント教材。 |
| 参考書等 | 参考書は、授業中に必要に応じて指示する。 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 169101 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究C |
| 担当者名 | <small>さかぐち ひろみ</small> 坂口 博規 |

- 講義のねらい** 日本文化の一つとして、昔話・民譚と称される伝承がある。本年度はその伝承の中でも「異類怪婚譚」の諸相について考える。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して人間と結婚するという伝承であり、特に異類房譚を考察する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 異類女房譚は、その異類の郷土を基礎として大きく三つの系統があり、A「空」を郷土とする羽衣伝説の例、B「海」を郷土とする浦島伝説の例、C「陸地（森林・山野）」を郷土とする狐女房伝説の例などである。半期科目なので羽衣伝説を中心に考察する。まず異類怪婚譚について解説（1）、次いで日本の古代の伝承から講じてゆく（2～6）。平安時代成立の『竹取物語』も羽衣伝説の系譜に立つ物語であり、また「鶴の恩返し」で有名な鶴女房の話もA系統に属する伝承であり、これらについても考察する（7～13）。更にB・Cの系統についても言及したい（14・15）。
- 履修上の留意点** 異類怪婚譚は室町時代物語草子（御伽草子）の中に多く登場し、その考察は「日本文化テーマ研究D」で行うので、併せて履修して下さい。なお本時の内容は、平成18年度「日本文化基礎」で行ったものであり、18年度「日本文化基礎」を履修した受講生も「日本文化テーマ研究D」を履修していただくと幸いである。
- 成績評価の方法** 授業の最終日に提出してもらったレポートの成績に、出席状況を加味して評価する。
- 教科書** 授業において適宜プリント教材を配布する。
- 参考書等** 授業において適宜紹介する。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 169111 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究C |
| 担当者名 | <small>そのべ みきお</small> 蘭部 幹生 |

- 講義のねらい** 日本文化における事項のうちから、「失われた文化」をテーマとする。日本文学の中で現存しない作品は多いが、そのうち、説話文学史上に多大の影響を与えた（散佚）『宇治大納言物語』をとりあげる。諸書に紹介される記事や引用されて残る佚文を読み、その実態を探る試みを通して、失われた文化の持っていた意味や役割を考えてみたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 1 ガイダンス。2 作品の文学史的意義。3～6 他の文献における記事。7～10 他の文献における受容。11～13 実態と散佚に関する推定。14 教場試験。15 まとめ。
- 履修上の留意点** 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めらるので、必ず原稿用紙を持参すること。
- 成績評価の方法** 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。
- 教科書** プリントを配布する。
- 参考書等** 必要があればそのつど紹介する。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 169201 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究D |
| 担当者名 | <small>さかぐち ひろみ</small> 坂口 博規 |

- 講義のねらい** 室町時代物語草子（御伽草子）群には「異類怪婚物語（人間と人間以外の鳥獣・魚虫・植物等の変身した者との不思議な結婚の物語）」が多く存在する。それらの作品を取り上げ考察すると共に、受講生にはそうした作品から希望する作品を各自選んでもらい、研究レポートを作成してもらう。
- 講義の内容・授業スケジュール** 室町時代物語草子のうち、江戸時代に23篇の作品が「御伽草子」と題して出版された。その中から異類怪婚物語を取り上げて解説する。まず古典文学における物語史を講じて室町時代物語草子の文学的意義を考察（1・2）、更に23篇の中より異類怪婚物語として『浦島太郎』（3～6）・『本囃狐』（7・8）・『蛤の草子』（9・10）を取り上げて読解する。最後に「御伽草子」23篇以外の『雁の草子』を例に作品研究の実際を学んでもらう（11～15）。
- 履修上の留意点** 「異類怪婚物語」については、「羽衣伝説」を中心に「日本文化テーマ研究C」で講義し、室町時代物語草子の作品例として『鶴の草子』を解説するので、後期開講のこちらも受講して下さいと幸いである。
- 成績評価の方法** 授業の最終日に提出してもらったレポートは原稿用紙10～20枚程度（400字詰）を考えている。その成績に、出席状況を加味して評価する。
- 教科書** 授業時にプリント教材を配布する。
- 参考書等** 授業時に、レポート作成のための文献等の紹介をする。

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 履修コード | 169211 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究D |
| 担当者名 | 菌部 ^{そのべ} 幹生 ^{みきお} |

| | |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 日本文化における事項のうちから、「歌徳説話」をテーマとする。「徳」は「得」を意味し、「歌徳説話」とは歌を詠むことによって得をした話であるが、そのような話がどのようにして形成されていったのか、精神的背景にどのようなことがあるのかを顕かにしたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール 履修上の留意点 | 1 歌徳説話の意味。2～5 典型的な歌徳説話について。6～7 歌徳説話の形成。8～9 歌徳説話の精神的背景。10～13 亜流の歌徳説話。14 教場試験。15 まとめ。 毎時間の最後に、その日の講義内容に関する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点20点、毎時間の意見文30点、教場試験50点の割合で評価する（試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等の持込可）。また、最後の授業時間中に、追・再試験に相当するレポートに関する伝達（該当者・テーマ・提出期限等）を行うので必ず出席すること。なお、定期試験期間中の試験は行わない。 |
| 教科書 参考書等 | プリントを配布する。 必要があればそのつど紹介する。 |

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 履修コード | 169301 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究E |
| 担当者名 | 石割 ^{いしわり} 透 ^{とおる} |

| | |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 文学と映画（I 明治篇）。文学と映画、それぞれのテキストは、大正時代から、密接な関係を保ちながら展開してきたが、この時間では、明治期から大正期にかけて発表された、文学史に残る重要な文学テキストと、それが映画化され、映画史の上でも記憶されるべき作品として評価されている映画を通して、文学と映画という、それぞれの表現メディアの特色、それぞれが生まれた時代の文化的な本質、などを検討し、日本の近代文化史の一端を検討したい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール 履修上の留意点 | 1、伊藤左千夫「野菊の墓」と木下恵介監督「野菊の如き君なりき（4）2、島崎藤村「破戒」と市川監督「破戒」（5）、3 夏目漱石「それから」と森田芳光監督「それから」など。 扱う文学テキストは、何れも文庫本で入手できるテキストばかりであり、映画はその都度、授業中にも見るが、それ以後にも機会があれば、文学テキストと照らし合わせて、幾度も見る機会を持ってほしい。そして文学と映画の相違りに留意して考えてほしい。扱う作品以外にも、映画、映画史に言及することも多いので、常に映画を出来るだけ見ておくなど、映画に関心を強く持って受講してほしい。特に、扱う作品の作家、映画の場合は監督の他の作品にも注目してみる機会を持ってほしい。 |
| 成績評価の方法 | 文学と映画を比較検討した課題のレポートを提出すること。出席状況を重視して、成績評価に加味する。 |
| 教科書 参考書等 その他の | 特に指定しない。 授業時に指示する。 講義形式で授業を進行させる。映画はビデオなどで授業時に見る予定。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 169311 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 E |
| 担当者名 | 小林 治 <small>こばやし おさむ</small> |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 宮澤賢治の生前未発表童話を読む。賢治が書いた散文作品は、童話としては難解すぎ、またその法華経文学としての宗教性からも、児童文学としては適当ではないのではないかなど様々な議論がこれまであった。しかし賢治童話は、たとえ難解ではあったとしても、「純真な心意の所有者たち」(『注文の多い料理店』 広告文)へ与えられるべき「すきとほつたほんたうのたべもの」(『注文の多い料理店』 序)であることを願って書かれていることに異を唱える者はないだろう。「卑怯な成人たちに畢竟不可解な」(『注文の多い料理店』 広告文)「純真な心意」とは何かを賢治作品の読解を通じて考え、そのような物語を求める賢治の精神のありようについて考えてみたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 具体的には上記のテーマ等の考察を、『なめとこ山の熊』、『ゼロ弾きのゴージュ』などの短編や、『ポラーノの広場』、『風の又三郎』など比較的長い生前未発表作品の初期形から最終形までの生成の過程の中にもみていく予定。 |
| 履修上の留意点 | (1~3) 宮澤賢治の軌跡 (4~6) 『なめとこ山の熊』の分析と読解 (7~9) 『ゼロ弾きのゴージュ』の分析と読解 (10~12) 『ポラーノの広場』の分析と読解 (13~15) 『風の又三郎』の分析と読解 開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。他の学生の大いなる迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。 |
| 成績評価の方法 | 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。 |
| 教科書 | 宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻』(ちくま文庫) 1,000円 |
| 参考書等 | その他、適宜プリントも配布する。 授業時に指示する。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 169401 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 F |
| 担当者名 | 石割 透 <small>いしわり とおる</small> |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 文学と映画(大正・昭和篇) 大正期以後に発表された文学史のうえでも重要な文学テキストと、それが映画化された映画を対照比較しながら検討し、文学と映画の表現メディアのそれぞれの特徴、それぞれが発表された時代の文化的諸相を検討する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1 森鷗外「山椒大夫」と溝口健二監督「山椒大夫」 2、(4) 芥川龍之介「藪の中」と黒澤明監督「羅生門」(5)、3 豊田正子「綴方教室」と山本嘉次郎監督「綴方教室」(4)、4 宮本輝「泥の川」と小栗康平監督「泥の川」(3) など。 |
| 履修上の留意点 | 受講する前に、主に扱うテキストを充分に読んで授業に臨んでほしい。映画を見終わった後も、できる限り、DVDなどで、その映画を見て、映画と文学の表現の相違を考えてほしい。他の映画作品にもできる限り多く接し、映画独特の表現の特徴を検討してほしい。 |
| 成績評価の方法 | 1、文学と映画に関する課題の、7枚程度のレポート提出による。更に出席状況を重視する。 |
| 教科書 | 特に定めない。 |
| 参考書等 | 授業時に指示する。 |
| その他 | 講義形式で進める。プリントを必要に応じて配布する。また、授業時に扱う映画を何らかの形で見ることを考えている。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 169411 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 F |
| 担当者名 | 小林 治 <small>こばやし おさむ</small> |

講義のねらい 異貌の作家・深沢七郎の小説を精読する。深沢は、昭和三十一年（1956年）、四十二歳で総合誌「中央公論」に創設されたばかりの「中央公論新人賞」に応募し、第一回の入賞者となって作家デビューを果たしている。それ以前は、戦前からギターのリサイタルを継続的に開いたり、旅まわりのバンドにいたり、日劇ミュージックホールにスカウトされて出演したりなど一風変わった風来坊的な生活を送っていた。このような書齋で思考する知識人作家的なタイプとは無縁の、文学同人やサークルからも孤立したその来歴からもうかがえるように、その作品においては、およそ日本の近代文学の正統からはずれて、ヒューマンイズムの規範による人間中心主義的な価値観を徹底して排除したすこぶる実存的な土着の庶民的世界が展開している。既成の価値観をあざ笑うかの如きその突出したアンチヒューマンイズムぶりをその作品世界において、検証してみたい。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には上記の深沢の作家としての特質を、『楢山節考』、『笛吹川』『甲州子守歌』等の代表的作品の読解などによって明らかにしていきたい。

履修上の留意点 (1~3) 深沢七郎の軌跡 (4~7) 小説『楢山節考』の分析と読解 (8~11) 『楢山節考』原作と映画(二度の映画化) の比較考察 (12~15) 小説『笛吹川』、『甲州子守歌』の分析と読解

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んで授業に出席のこと。なお、他の学生の迷惑になるので講義途中の退室は厳禁する。

成績評価の方法 毎回出席を取る。課したレポートの内容に、出席回数を加えて成績評価をおこなう。

教科書 深沢七郎『楢山節考』(新潮文庫)

参考書等 その他、適宜プリントも配布する。
授業時に指示する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 169501 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究 G (夏季集中) |
| 担当者名 | 松田 直行 <small>まつだ なおゆき</small> |

講義のねらい 「演劇ワークショップ」の実技体験を行う夏季集中授業。これは即興演技の訓練法から生まれたもので、コミュニケーションに関する様々な要素(表情と体の動き、話し方、感情表現、グループの人間関係など)を体験的に学ぶとともに、状況に応じて即座に、臨機応変に対処する「インプロ」の技術を身につけることを目的とする。台本を使って演技をする演劇の訓練とは異なり、誰にでも簡単にできる「シアターゲーム」と呼ばれる体を動かすゲームをグループごとに繰り返しながら、最終的には台本のない即興でストーリーを生み出すことを目指す。コミュニケーション技術を学ぶとともに、本番で実力を発揮できる能力を身につけるものとして、企業の社員研修などでも取り入れられているものである。

講義の内容・授業スケジュール (1) 基本講義：ワークショップとは何か? (2) 講義：心と体はつながっている (3) 実技：シアターゲーム (4) 実技：インプロの練習 (5) 実技：インプロのグループ発表 (6) まとめとレポート試験

履修上の留意点 集中授業なので4日間すべてに出席しなければ単位を取得できない。軽い運動をすることができ服装(靴はスニーカーなど)で出席すること。演劇の実習ではないので、演技の経験はまったく必要としない。むしろ人前で自分を表現することが苦手な方にこそ受講していただきたい。ただしグループでの練習に積極的に参加する協力的な姿勢は必要となる。

成績評価の方法 授業への参加状況による評価が6割、「インプロ」のグループ発表の結果が2割、最終日に教場で書いていただくレポート試験の結果が2割として算出する。

教科書 指定しない。

参考書等 絹川友梨『インプロゲームー身体表現の即興ワークショップ』、晩成書房、3,150円。池上奈生美・秋山桃里『インプロであなたも「本番に強い人」になれる』、フォレスト出版、1,365円。

その他 授業日程：8月3日の3~5限、8月4日~8月6日のそれぞれ2~5限、合計4日間の15時限授業。予備日は8月7日の2~5限。台風による休講等で予備日に発表・レポート試験を行うことになる可能性もあるので注意すること。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 169601 |
| 科目名 | 日本文化テーマ研究H |
| 担当者名 | <small>まつだ なおゆき</small> 松田 直行 |

| | |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 講義タイトルは「映画の近代史」。19世紀末の発明である映画は、20世紀を「映像の世紀」と言わしめるほど近代という時代と深くかかわってきた。映画というメディアが近代において果たした役割を歴史的に振り返り、映画とはどのような表現なのかをあらためて考えながら、同時に映像作品によって語られた近代とはどのような時代なのかを考える。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | (1) 映画とは何か (2) 映画の技術と歴史 (3) 映画の文法 (4) 映画の記号論 (5) 日本のモダニズム映画 (6) シナリオの構造 |
| 履修上の留意点 | 実際に映像作品を授業で見いただくことになるので、欠席すると内容がわからなくなる。上映予定の作品は、マック・セネットの無声映画、「戦艦ポチョムキン」、「市民ケーン」、「カルメン故郷に帰る」、「東京物語」など。現代のいわゆる娯楽映画作品とは異なるので、その点は承知しておくように。 |
| 成績評価の方法 | 出席状況と授業で適宜提出を求める小レポートによる評価が5割、定期試験期間中に行う筆記試験が5割として算出する。 |
| 教科書 | ジェイムズ・モナコ『映画の教科書—どのように映画を読むか』、フィルムアート社、3,675円。各自あらかじめ購入して、初回の授業に持ってくること。定期試験は教科書持込可とするので、教科書は必ず必要となる。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 215801 |
| 科目名 | 社会学〔現代社会を考える〕 |
| 担当者名 | 南後 由和 <small>なんご よしかず</small> |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとします。そのことにより、現代社会の背後で起きている現象を広く見通す〈まなざし〉を養い、〈社会学する〉実践感覚をつかむことを目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1) イントロダクション、新しい社会学のために(2～4) 親密性と公共性、相互行為と自己(5～7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(8～11) メディアとコミュニケーション(12～16) 歴史と記憶、空間と場所(17～19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション(20～21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ(22～23) エスニシティと境界、格差と階層化(24～27) 文化と再生産、社会運動と社会構想(28) 総括 |
| 履修上の留意点 | 授業の順序および配分は、多少変更の可能性がります。 教科書をベースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。講義中に挙手・発言をするなど、受講者の積極的な〈参加〉を求めます。 |
| 成績評価の方法 | 平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。 |
| 教科書 参考書等 | 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣)3,500円 授業中に随時紹介します。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 215901 |
| 科目名 | 社会学〔現代社会を考える〕 |
| 担当者名 | 呉 炳三 <small>くれ ひょうさん</small> |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (前期)社会学の基礎概念： (1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3～4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本的行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本的集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト (後期)現代社会の特徴的な諸相： (1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害、(9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト 以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。 |
| 履修上の留意点 | 本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。 |
| 成績評価の方法 | 出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。 |
| 教科書 参考書等 | 開講時に説明する。 講義中に、その都度紹介する。 |

| | |
|-------|----------------------------|
| 履修コード | 216001 |
| 科目名 | 社会学〔現代文化を考える〕 |
| 担当者名 | 吳 炳三 <small>お びんざん</small> |

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)社会学の基礎概念：
 (1)はじめに、(2)社会学とは、行為論として、(3～4)社会学における行為、(5)行為者としての個人、(6)社会化と人間形成、(7)国民性についてグループ討議、(8)日本の行為論、集団論として、(9)集団の概念、(10)官僚制理論、(11)小集団論、(12)集団の類型、(13)日本の集団論、(14)おわりに、(15)前期テスト

(後期)現代社会の特徴的な諸相：
 (1)家族、(2)家族の機能、(3)恋愛、(4)結婚、(5)自殺についてグループでディベート、(6)少年犯罪、(7)少子・高齢、(8)アダルトチルドレン・摂食障害、(9)若者・IT文化、(10)フリーター、ニート・引きこもり、(11)格差社会についてグループでディベート、(12)性同一性障害、(13)就職・転職・リストラ、(14)ジェンダー、(15)後期テスト

以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

**教科書
参考書等**

開講時に説明する。
 講義中に、その都度紹介する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 216101 |
| 科目名 | 社会学〔現代文化を考える〕 |
| 担当者名 | 牛島 千尋 <small>うしじま ちかみ</small> |

講義のねらい

社会は人間、集団、そしてこれらの相互的な関係から成立している。本講義の前期では、まず、社会はどのような仕組みで成立しているのか、社会と個人、個人と個人はどのような関係にあるのかを学んでいく。後期は、前期の内容をもとに、社会階級・階層、ジェンダー、エスニシティ、世代、地域からみた社会・文化に関する諸問題を国内外の事例を通して考察していく。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 社会の発見と社会学
3. 社会学の誕生と展開(1)－予見するために観察する
4. 社会学の誕生と展開(2)－社会の発展的類型化
5. 社会学の誕生と展開(3)－集合的表象としての社会
6. 社会学の誕生と展開(4)－社会的連帯と社会類型
7. 社会の変動と動向(1)－近代化・産業化・都市化
8. 社会の変動と動向(2)－産業社会と社会階級
9. 社会の変動と動向(3)－支配の諸類型と近代官僚制
10. 大衆社会と中間集団
11. 大衆社会と社会的性格(1)－伝統指向型・内部指向型・他人指向型
12. 大衆社会と社会的性格(2)－オーガニゼーション・マン
13. 農村と都市－産業社会と都市
14. 都市化と生活様式(1)
15. 都市化と生活様式(2)
16. 社会階層・階級、ジェンダー、エスニシティ
17. 社会階層・階級と文化(1)
18. 社会階層・階級と文化(2)
19. 社会階層・階級と文化(3)
20. エスニックグループとエスニシティ(1)
21. エスニックグループとエスニシティ(2)
22. エスニックグループとエスニシティ(2)
23. ジェンダーと現代社会(1)
24. ジェンダーと現代社会(2)
25. ジェンダーと現代社会(3)
26. 現代社会と文化(1)
27. 現代社会と文化(2)
28. 現代社会と文化(3)
29. まとめ
30. 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

特になし。
出席状況、授業中のレポート、試験(持込不可)によって評価します。
内容は多岐にわたるので、特に指定しません。
内容は多岐にわたるので、その都度紹介します。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 216201 |
| 科目名 | 社会学〔社会生活を考える〕 |
| 担当者名 | 小畑 和 |

講義のねらい 社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いつながる7つの要因について講義する。

- (1) マクロ的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)
- (2) 誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)
- (3) 幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)
- (4) 家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)
- (5) 消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)
- (6) 会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)
- (7) 老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…) などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。初回の講義で説明する。五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。教科書等初回の講義で説明する。その他初回の講義で説明する。上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 216301 |
| 科目名 | 社会学〔社会生活を考える〕 |
| 担当者名 | 呉 炳三 |

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 社会学の基礎概念：
(1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3~4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本の行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本の集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト

(後期) 現代社会の特徴的な諸相：
(1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害 (9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト

以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点 本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法 出席状況 (遅刻厳禁) と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書等 開講時に説明する。講義中に、その都度紹介する。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 216401 |
| 科目名 | 統計学〔社会現象の統計的分析〕 |
| 担当者名 | たなか まさみつ 田中 正光 |

講義のねらい 現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) 総和記号の使い方、代表値の計算 (5～6) データの散布度の計算 (7～9) 度数分布 (10～11) 相関係数 (12～13) 回帰分析 (14～16) 確率 (17) 確率変数 (18～24) 離散型確率分布、連続型確率分布 (25～26) 標本と標本分布 (27～28) 統計的推定 (29～30) 統計的仮説検定

履修上の留意点 通常の講義では電卓(関数電卓が望ましい)を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法 前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。
教科書 指定なし。

参考書等 稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』(共立出版) 2004年
室淳子・石村貞夫『Excel でやさしく学ぶ統計解析』(東京図書) 2004年
鳥居泰彦『はじめての統計学』(日本経済新聞社) 2003年
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』(東京大学出版会) 1997年
岸野洋久『社会現象の統計学』(朝倉書店) 1992年
森田優三『統計概論』(日本評論社) 1966年

その他 授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を収め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 216501 |
| 科目名 | 統計学〔社会現象の統計的決定〕 |
| 担当者名 | しんぎょうち こうじ 新行内 康慈 |

講義のねらい 統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール
前期
1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習I
9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習II
15まとめ・補足
後期
16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定
22-24その他の推定・検定 25演習III 26散布図と相関係数 27-28回帰分析
29期末試験 30まとめ・補足

履修上の留意点 統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法 以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。

- ①演習I～III：45% (各15%) + 期末試験55%
- ②期末試験：100%

教科書 テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等 石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN4-489-00407-9
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN4-534-03036-3
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN4-8171-0266-7
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN4-13-042065-8

その他 配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。
配布資料・説明資料等は YeStudy に公開します。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 216701 |
| 科目名 | 文化人類学〔文化と人間〕 |
| 担当者名 | 森 雅文 <small>もり まさひみ</small> |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会の比較を通して、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を広げることではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当な理解を探り、そのまなざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、文化の多様性を前提とした他者理解の枠組みについて、代表的なテーマや民族誌的事例とともに解説します。</p> <p>また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在の問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合うという実践の基礎力の養成を目指します。</p> |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>以下の内容は、受講者の関心により変更する場合があります。</p> <p>「文化」概念の基礎と歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座） 人間の社会化と新旧の理論（家族、婚姻、親族、人の一生と通過儀礼、ジェンダー） 環境への適応と文化様式（生業と社会、採集狩猟・牧畜・農耕、開発と社会の変貌） 共同性の構築と構造主義の文化理論（贈与と交換、境界と穢れ） 観念的世界と現実世界の接合（妖術と邪術、呪術、シャーマニズム、儀礼と神話） 人間と社会の存在様式（個人と身体、近代国家と民族、エスニシティ） 文化の現代的理解（土着・混雑・越境、グローバリズム、異文化の理解と翻訳）</p> |
| 履修上の留意点 | 初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。 |
| 成績評価の方法 | 前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。 |
| 教科書 | 特定の教科書は指定しません。 |
| 参考書等 | 一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。 |
| その他 | 各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介します。ビデオ等の視聴覚資料も使用します。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 216801 |
| 科目名 | 文化人類学〔文化と人間〕 |
| 担当者名 | 加藤 之晴 <small>かとう ゆきはる</small> |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そして「フィールドワーク」と呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくなかで、人間存在についての理解を深めることを目指す。</p> <p>本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに言語・身体・宗教・病い・食などのキー・ワードを挙げ、文化人類学の世界ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。</p> |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>I. 文化人類学の「文化」とは？ II. 文化人類学とフィールドワーク III. 食と文化 IV. 人間と境界 V. 人間と「病い」 VI. 信仰と世界観</p> |
| 履修上の留意点 | 授業中・授業後の質問は大歓迎です。積極的な授業態度で臨んでくれると、こちらも張り合いが出ます。 |
| 成績評価の方法 | 基本的には年度末の筆記試験で評価しますが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とするかもしれません。 |
| 教科書 | 特定の教科書は使いません。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布します。 |
| 参考書等 | これに基づいて授業を進めてゆきます。授業時に必要に応じて紹介します。 |

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 216901 |
| 科目名 | 文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 |
| 担当者名 | 杉井 純一 <small>すぎい じゅんいち</small> |

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み（1）
 - 3. 文化人類学の歩み（2）
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間（1）狩猟採集民
 - 6. 環境と人間（2）牧畜民
 - 7. 環境と人間（3）農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

ビデオを見た感想を問うことがあります。
夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。
特に指定しません。適宜、プリントを配布します。
祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）800円
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』（有斐閣）1,700円
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）2,200円
できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

その他の

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 217001 |
| 科目名 | 文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 |
| 担当者名 | 森 雅文 <small>もり まさふみ</small> |

| | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会を比較を通じて、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を広げることではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当な理解を探り、そのまなざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、観念的世界観と現実世界の接合を果たす文化実践に焦点をあてながら、多様性を前提とした他者理解の枠組みを解説します。</p> <p>また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在の問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合う実践の基礎力の養成を目指します。</p> |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>以下の予定は、受講者の関心により内容を変更する場合があります。</p> <p>「文化」概念の歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座） 文化と儀礼の基礎理解（人の一生、通過儀礼、境界と穢れ、贈与と交換） 社会の結合とコスモロジー（妖術と邪術、呪術、神話と儀礼、聖地巡礼） 人間の存在様式（シャーマニズム、個人と身体、伝統医療と近代医療） 文化の現在の理解へ（テクノロジーと世界観、エスニシティ、文化の融合と衝突、異文化の理解と翻訳）</p> |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | <p>初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。</p> <p>前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。</p> |
| 教科書 参考書等 | <p>特定の教科書は指定しません。</p> <p>一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。</p> |
| その他 | <p>各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介します。</p> <p>ビデオ等の視聴覚資料も使用します。</p> |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 217101 |
| 科目名 | 文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 |
| 担当者名 | <small>すずき いづけい</small> 鈴木 一馨 |

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性に基く「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を採り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間の認識、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：

第1部. 文化人類学と民族

I. 「文化」と「文化人類学」(1～3)、II. 「民族」とはなにか(4～6)

第2部. 民族とコスモロジー

I. 「コスモロジー」とはなにか(7～8)、II. 天とひとつのコスモロジー(9～10)、III. 世界の断絶と連続(11～15)

後期：

第3部. 風水のコスモロジー

I. 風水を構成する宇宙論(16～24)、II. 風水による現実空間の意味付け(25～26)、III. 風水と人間社会(27～30)

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないについて行けない。

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

成績評価の方法

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教科書
参考書等

プリントを使用する。

祖父江孝男『文化人類学入門(増補改訂版)』(中公新書560、1990年)840円、ISBN:4121905601

渡邊欣雄『風水思想と東アジア』(人文書院、1990年)1,995円、ISBN:4409410482

鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界』(講談社選書メチエ244、2002年)1,575円、ISBN:4062582449

国立歴史民俗博物館編『異界談義』(光文社知恵の森文庫、2008年)724円、ISBN:9784334785116

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 217201 |
| 科目名 | 文化人類学〔社会変化と価値観〕 |
| 担当者名 | <small>おがわ としゆき</small> 小川 順敬 |

講義のねらい

文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思ひます。

成績評価の方法

評価は原則として、年数回の「小試験」(出席点として処理します)および夏期レポート(前期試験に相当します)、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書
参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書560番 中央公論社)

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 217301・217401 |
| 科目名 | 文化人類学〔社会変化と価値観〕 |
| 担当者名 | 内山 明子 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | グローバル化により、近年、日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展する一方、排外的なナショナリズムの動きも拡大している。このような時代に自分たちと異なる人々どう関係を築いていくのかを考え実践していくうえで、文化人類学は一つの指針になりうる。本講義では、これからますます加速化する多文化状況を様々な局面から柔軟に捉えていくための一助として文化人類学の基礎知識を提供していきたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1)文化人類学とは(2~5)異文化理解のむずかしさ：文化相対主義、ろう文化、文化多元主義と多文化主義(6~9)民族と人種：様々な民族概念、原初主義と道具主義、人種と優生学(10~14)文化人類学の基本的枠組み：「未開」と「文明」、主要学説、フィールドワークと民族誌、オリエンタリズム、近代世界システム(15~18)家族と親族：出自理論、縁組理論、民俗生殖理論、生殖医療の発展と親族・家族研究(19~22)交換と経済：クラとポトラッチ、交換論、資本主義との接合(23~26)儀礼と分類：分類と分類からはずれるもの、通過儀礼、コミュニタス(27~30)宗教：呪術と宗教、大伝統と小伝統、国家と宗教 |
| 成績評価の方法 | 終講後に行う期末試験(筆記試験)を基本に、夏休みの課題レポートを加味して評価します。出席は取りませんが、授業内に行うビデオ鑑賞の感想文提出などを参考にします。 |
| 教科書 | 指定しません。参考文献は授業内で随時紹介します。 |

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 217501 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と社会生活〕 |
| 担当者名 | 長谷川 日出世 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | ①講義に関する全段的説明、②社会秩序と法、③~⑥法概念の本質、⑦~⑩法の成り立ちとその分類、⑪~⑬法の解釈、⑭~⑮日本の裁判制度、⑯憲法とは何か、⑰近代憲法の構成原理、⑱日本の憲法史、⑲~⑳日本国憲法の基本原理、㉑~㉒基本的人権の保障、㉓国会、㉔内閣、㉕司法権、㉖一年間のまとめ |
| 履修上の留意点 | 日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。 |
| 成績評価の方法 | 学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。 |
| 教科書 | 長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 217601 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と社会生活〕 |
| 担当者名 | 和知 恵一 <small>わち けいいち</small> |

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集まり、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。六法を使いこなせるようになることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。また毎回理解確認のための小テストを行う。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで、各項目に2～3時間を割り振ることで進めていく。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などと関連させたい。したがってやらない項目もある。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する（全回出席をとります）。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとすることがある。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。万一遅刻したときは、最前列に着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。理由なく欠席した者は、受験資格を失う。その試験の得点に、小テストなどの平常点を加味して評価する。

教科書

- 小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
 - 六法（例として、『ポケット六法（平成21年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）
- ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

- 茂野隆晴編『プライマリー法学～日本法のシステム～』（芦書房）
- 大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）

その他

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 217701 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と社会生活〕 |
| 担当者名 | 沼田 雅之 <small>ぬまた まさゆき</small> |

講義のねらい

法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識（教養）、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。

例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

講義の内容・授業スケジュール

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、みなさんはそれを語ることはできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していないために、その世界を語ることはできないのです。

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に講義形式で解説をおこないます。ガイダンス（1）、法学の基礎（2～3）、三菱樹脂事件（4～5）、日産自動車事件（6）、マクリン事件（7）、北方ジャーナル事件（8～9）、宇奈月温泉事件（10）、契約の自由と規制（11～12）、駿々堂製パン事件（13）、消費者の保護（14～15）、不法行為（16～17）、会社法を取り巻く問題（18）、朝日訴訟（19～20）、高知放送事件（21）、萬世工業事件（22～23）、電気窃盗事件（24）、徳島県公安条例事件（25）、映画「12人の怒れる男」の上映（26）、東海大学安楽死事件（27）、代理母出産児出生届受理申立事件（28）、予備日（29～30）

履修上の留意点

・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

成績評価の方法

・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。

・試験成績（70%）＋平常点（30%）＝100点。

・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点～80点未満・・・B、60点～70点未満・・・C、60点未満・・・D。

・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。

・平常点は、出席点（50%）と課題点（50%）で構成されます。よって、出席をとります（毎回ではありません）。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書

教科書は指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。

参考書等

詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

・森泉 章編著『法学（第4版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-18332-5）

・西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学（第4版）』（2005年有斐閣）2,200円（ISBN 4-641-18316-3）

・伊藤真『法律学への誘い（第2版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-12510-4）

その他

また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に、大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどが、ここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 217801 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と社会生活〕 |
| 担当者名 | 鶏徳 啓登 |

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後60年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
 (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

- (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
- (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
- (6) 各種基本的人権の内容
- (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
- (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況と試験による。
 小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円
 『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 218101・218201 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と国家〕 |
| 担当者名 | 新田 浩司 |

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実が発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考（リーガル・マインド）を養うことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------|---------------|
| 第1回目 ガイダンス | 第14回目 国家の安全保障 |
| 第2回目 法学の基礎知識① | 第15回目 精神的自由権① |
| 第3回目 法学の基礎知識② | 第16回目 精神的自由権② |
| 第4回目 法学の基礎知識③ | 第17回目 経済的自由権 |
| 第5回目 法学の基礎知識④ | 第18回目 社会権 |
| 第6回目 法学の基礎知識⑤ | 第19回目 参政権 |
| 第7回目 法学の基礎知識⑥ | 第20回目 国務請求権 |
| 第8回目 憲法の基礎知識① | 第21回目 統治機構① |
| 第9回目 憲法の基礎知識② | 第22回目 統治機構② |
| 第10回目 日本国憲法の制定過程 | 第23回目 統治機構③ |
| 第11回目 日本国憲法の基本原理① | 第24回目 統治機構④ |
| 第12回目 日本国憲法の基本原理② | 第25回目 まとめ |
| 第13回目 象徴天皇 | |

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
 なお、適宜、小テスト及び授業の出席確認を予定している。

教科書
参考書等

開講時に指示する。
 小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 218401 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と国家〕 |
| 担当者名 | 織田 晃子 |

講義のねらい 法とは何かに始まり、日本国憲法と人権について講義する。
 講義の内容・授業スケジュール (1) 法とは何か・法の目的(2~10) 立法と司法・法の適用と解釈(11~20) 日本国憲法と人権(21~30) 法と社会生活・契約と損害賠償、不法行為と損害賠償、安全配慮義務等々
 履修上の留意点 六法は必ず持参すること
 成績評価の方法 期末試験の成績による
 教科書 『判例法学』4版(有斐閣ブックス)、ポケット六法(有斐閣)
 その他 プリント配布

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 217901 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と権利〕 |
| 担当者名 | 沼田 雅之 |

講義のねらい 法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで。少なくとも、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識(教養)、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。
 例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、みなさんはそれを語ることができません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していないために、その世界を語ることができないのです。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。基本的に教科書に沿って解説します。また、適宜教科書以外の題材を取り上げます。

履修上の留意点

ガイダンス(1)、「紛争解決と法」(2~4)、「基本的人権と法」(5~8)、「家族関係と法」(9~11)、「財産関係と法」(12~15)、「労働関係と法」(16~17)、「犯罪と法」(18~22)、「国家と法」(23~24)、「国際関係と法」(25~27)、「現代社会の課題と法」(28~30)
 ・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。

成績評価の方法

・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。
 ・試験成績(70%) + 平常点(30%) = 100点。
 ・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点~80点未満・・・B、60点~70点未満・・・C、60点未満・・・D。
 ・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。
 ・平常点は、出席点(50%)と課題点(50%)で構成されます。よって、出席をとります(毎回ではありません)。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書

西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学(第4版)』(2005年有斐閣) 2,200円 (ISBN 4-641-18316-3)。

参考書等

その他適宜プリントを配布する場合があります。その場合、開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます(データはPDF形式で配布予定です)。

その他

詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。
 ・森泉 章編著『法学(第4版)』(2006年有斐閣) 2,500円 (ISBN 4-641-18332-5)
 ・伊藤眞『法律学への誘い(第2版)』(2006年有斐閣) 2,500円 (ISBN 4-641-12510-4)
 また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。
 第1回講義時に大学配布のものとは異なるシラバスを配布します(取り上げるテーマなどがここで記載されたものと異なる場合があります)。それを熟読の上、履修を決定してください。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 218501 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と権利〕 |
| 担当者名 | 茂野 ^{しげの} 隆晴 ^{たかひろ} |

講義のねらい 法を学ぶに当たって、最も肝要なことは、「法」というものがいかようなものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにある。

諸君は、いずれ社会の第一線に立って活躍する人達であるから、自分の立場をよく認識して、「在るべき法」の実現のためにも留意し進んでほしい。自己の使命を自覚され、年間の「法学」の内容の理解に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法を学ぶに当たって
2. 法と社会生活
3. 法と他の社会規範
4. 法の種類
5. 6. 7. 法の生成I・II・III
8. 法の目的
9. 法の効力
10. 法と裁判
11. 法の解釈
12. 国家
13. 14. 憲法とその原理I・II
15. 16. 17. 基本的人権の保障I・II・III
18. 統治機構I(権力分立制)
19. 20. 21. 統治機構II・III・IV(国会)
22. 23. 統治機構V・VI(内閣)
24. 25. 統治機構VII・VIII(裁判所)
26. 各論I(民法・商法)
27. 各論II(刑法・社会法)
28. 各論III(行政法)
29. まとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

学期末試験に加えて平常点としての出席状況を勘案して総合的に評価します。
茂野隆晴編著『プライマリー法学—日本法のシステム—』2008年刊(芦書房)2300円+税
茂野隆晴・新田浩司・和知恵一ほか代表編集『法学資料集』2008年刊(八千代出版)2000円(予定)

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 218601 |
| 科目名 | 法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中) |
| 担当者名 | 池田 ^{いけだ} 実 ^{みのる} |

講義のねらい 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついていくかを明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1) (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2) (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1) (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2) (30) 憲法改正

成績評価の方法
教科書

出席状況その他の平常点による評価を行います。
野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院)2,700円+税
ISBN978-4-7823-0424-2

参考書等
その他

*教科書は年度のはじめに必ず入手しておくこと。
授業時に適宜指示します。
授業日程：7月31日(金)・8月3日(月)～8月7日(金)
(土・日曜日除く)の1～5時限。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 218701 |
| 科目名 | 政治学〔社会生活とデモクラシー〕 |
| 担当者名 | 白鳥 浩 <small>しろとり ひろし</small> |

講義のねらい 「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」とであるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール 以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

- I、序論 政治学の基礎概念（1～4）
- II、古代の政治理論（5～8）
- III、中世の政治理論（9～11）
- IV、近代政治理論の形成（12～15）
- V、近代批判の政治理論（16～18）
- VI、現代の政治理論（19～22）
- VII、国際政治の理論（23）
- VIII、現代の政治過程理論（24～26）
- IX、ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成（27）
- X、現代日本の政治分析（28～30）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

関心を持って、講義に出席してください。
試験を中心とするが、総合的に判断する。
白鳥『都市対地方の政治学：日本政治の構造変動』（芦書房）2004年
眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年
藤原『西洋政治理論史』（早瀬田大学出版部）1985年
授業内で適宜、指示します。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 218801 |
| 科目名 | 政治学〔政治システムと政治参加〕 |
| 担当者名 | 富崎 隆 <small>とみさき たかし</small> |

講義のねらい 「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロの境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性ははっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここにあります。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思ひます。講義全体としては、現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとします。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化の意味についても検討します。

- （1～2）講義のねらいと政治を学ぶ意義
- （3～15）マクロ政治学—国家と自由民主主義体制の枠組み；政治・権力・国家の意味、望ましい国家のあり方（国家の仕事の範囲・国家の運営方法）、自由民主主義体制の意味、国家の展開・民主化と体制変動、自由民主主義体制の比較枠組み
- （16～24）ミクロ政治学—自由民主主義体制の作動メカニズム；政権形態、政党と政党制、有権者の投票行動と選挙、官僚制と議会、利益集団とマスメディア、日本の民主政治
- （25～30）国際政治学；国際政治の意味、国際政治の主要理論潮流、日本の外交政策、冷戦後の世界政治をみる視点

成績評価の方法
教科書
参考書等

テスト及びレポート・出席など総合的に評価
堀江湛編『政治学・行政学の基礎知識編』一藝社 2625円 ISBN-10：4901253913
講義時、適時指示

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 218901 |
| 科目名 | 政治学〔国際社会と日本〕 |
| 担当者名 | 山崎 望 ^{のぞむ} |

講義のねらい 本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール 前期は近代の国際政治の仕組みの形成と、国内政治について論じます。具体的には(1・2)近代社会の形成と変容(3・4)政治、権力(5～8)ウェストファリア秩序、世界大戦1・2、植民地主義(9～11)政治体制論、民主主義論、政党論、(12～15)政治と経済、福祉国家論、格差社会論、グローバル経済論、世界金融恐慌について扱います。

後期はグローバル化時代の民族・宗教問題、世界秩序の再編を中心に扱います。具体的には(16～20)フェミニズム、ナショナリズム、移民、多文化主義、ネオ・ナショナリズム(21～24)「9・11」対米同時多発テロ、アメリカの変容、「イスラーム原理主義」、グローバル・テロリズム、(25～30)フェミニズム、市民社会論、新しい民主主義論1～3を扱います。

履修上の留意点 新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。

成績評価の方法 年度末の試験。

教科書 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12168

参考書等その他 講義中に適宜指摘します。
講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。
講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。
翌週の講義の冒頭に簡易な応答を行います。

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 219001 |
| 科目名 | 経済学〔現代社会と市場経済〕 |
| 担当者名 | 畠中 貴 ^{たかし} |

講義のねらい 諸々の経済現象をよりよく理解するための理論(マイクロ経済学・マクロ経済学)について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール 経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。

後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース(市場の失敗)、政府が行っている経済活動、国内総生産(GDP)、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。

履修上の留意点 講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法 基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書 伊藤元重『入門経済学第2版』日本評論社、3,000円+税、ISBN4-535-55244-4

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 219101 |
| 科目名 | 経済学〔現代経済と人間〕 |
| 担当者名 | 森田 成也 |

| | |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。 <前半> 1、経済学とは何か、2、商品とは何か―商品生産社会と価値法則、3、貨幣とは何か、4、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本、11、利子生み資本と銀行、12、株式会社、13、土地所有と地代、14、競争と独占、15、市民社会と国家、16、外国貿易と多国籍企業と帝国主義 <後半> 17、明治維新から敗戦まで、18、戦後改革と戦後復興、19～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望 |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。 夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください (1) 夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。 (2) 学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。 |
| 教科書 参考書等 | 森田成也『資本と剰余価値の理論』2008年刊(作品社)、2300円 松石勝彦『新版現代経済学入門』2002年刊(青木書店)、2625円 |

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 219201 |
| 科目名 | 経済学〔現代経済理解へのガイド〕 |
| 担当者名 | 松前 龍宜 |

| | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義は、経済学を初めて履修する学生に経済学の基礎を平易に解説するものです。講義では、なるべく数式を使わず、図や具体的な実例を示しながら、直感的に経済学の考え方を理解していただきます。本講義の目的は、学生自らが現実の経済現象を経済学的に解釈する力を身につけていただくことです。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 経済学は、ミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では、この2つの分野をバランスよく、また現実の経済現象あるいは経済政策と絡めながら講義を進めます。前期はマクロ経済学に関するテーマとして、国民所得決定、有効需要と乗数メカニズム(45度線分析)、貨幣の機能、財政政策・金融政策の役割(IS/LMモデル)、開放経済下のモデル(国際金融、IS/LM/BPモデル)について取り上げます。後期はミクロ経済学に関するテーマとして、需要と供給、需要曲線と消費者行動、費用構造と供給行動、市場取引と資源配分、市場の失敗について講義します。 |
| 履修上の留意点 | 数学の知識は特に必要としません。自分で手を使ってグラフの意味を考えることを厭わないことが条件です。授業中の私語は厳禁です。 |
| 成績評価の方法 | 前期：レポート(レポート課題は前期講義終了時まで指示します) 後期：筆記テスト |
| 教科書 参考書等 その他 | 伊藤元重著『入門 経済学 第2版』(日本評論社)、3000円、ISBN4-535-55244-4 適宜指定します。 連絡先 matsumae.t.aa@m.titech.ac.jp |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 219301 |
| 科目名 | 経済学〔現代経済理解へのガイド〕 |
| 担当者名 | 矢野 浩一 <small>やの こういち</small> |

講義のねらい 「なぜカップラーメンは値上げしたのか?」「将来、皆さんは年金をもらえるのか?」「バイト代はなぜ安いのか?」「なぜ世界には貧しい国と豊かな国があるのか?」「なぜ食品偽装は相次ぐのか?」本講義の目的は、それらの疑問を需要と供給、インセンティブの原則、情報の非対称性など経済学の原理を用いて解き明かします。本講義終了後には、学生が自分で様々な現象を経済学的に考えることができることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では身近な出来事や経済問題を解説しながら、経済学の原理を勉強します。前期はミクロ経済学に関するテーマ（経済学とは何か、経済学的な考え方、貿易、需要と供給、完全市場と不完全市場、ゲーム理論など）について講義します。後期はマクロ経済学に関するテーマ（GDP統計、完全競争モデル、好況と不況など短期の景気変動、雇用と失業、インフレとデフレ、政府の経済政策、日本の財政赤字問題など）について取り上げます。

履修上の留意点 積極的に講義に参加してください。また私語は厳しく禁じます。

成績評価の方法 前期：レポート（レポート課題は前期講義終了時まで指示します）
後期：筆記テスト

教科書 講義の中で適宜指定します。

参考書等 講義の中で適宜指定します。

その他 連絡先 koiti.yano@gmail.com

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 219401 |
| 科目名 | 社会科学論〔社会認識の思想〕 |
| 担当者名 | 大石 雄爾 <small>おおいし ゆうじ</small> |

講義のねらい 私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。アメリカに端を発した経済危機のなかで、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域では戦闘の火だねが拡大しています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の発展にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

1 社会科学を始めるにあたって
2～3 思考する楽しみ
4～5 社会科学とは何か
6～12 社会の歴史的発展と社会思想
13～14 社会科学の生誕：ホブスとロック
15～17 資本主義経済の把握：スミスとリスト
18～20 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
21～24 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
25 現代社会の思想的諸潮流

履修上の留意点 なお、現代社会の時事的諸問題については、折に触れてとり上げ解説するつもりです。
【履修制限について】受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。選抜方法については教務部掲示板でお知らせします。1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法 授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行われる定期試験で評価します。

教科書 特に指定しない。

参考書等 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』（白桃書房）

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 219501 |
| 科目名 | 教育学〔デス・エデュケーション〕 |
| 担当者名 | <small>やなぎほり すがこ</small> 柳堀 素雅子 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | バイオエシックスの諸問題を哲学的、心理学的、宗教的視点から分析していく。1960年代にアメリカで始まったバイオエシックスは、「患者の権利」を主張して出発したわけであるが、時を経るにつれてバイオエシックスという学問の全体構造を疑問視する見解も出てきた。それは何が原因なのかを、さまざまな視点から検証していくことが、この講義のねらいである。バイオエシックスは欧米では学問の一分野として認められているが、日本ではその存在すら知られていない場合も多い。単に知識の吸収だけでなく、バイオエシックスの成立の意味を考えながら授業に取り組んでいきたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1～4回 バイオエシックスの意味とその展開を説明する 5～10回 現代の先端医療の個別的な問題 11～15回 討論 16～17回 バイオエシックスの将来と日本における取り組み 18～21回 討論 22～25回 討論によって浮き彫りになった問題を徹底的に分析していく 26～30回 まとめの結論 |
| 履修上の留意点 | 後半は討論中心の授業になっていくと思うので、自分の見解をまとめて他者に理解してもらえる能力を身につけておくこと。そのために講義の内容をじっくり理解しておくための準備が必要である。 |
| 成績評価の方法 | 欠席は6回まで認める。それ以上欠席した場合は不可になる。授業中にレポート課題を与えるので、必ず提出すること。提出したレポートの内容には必ず点数をつけるので、合格点に達するように努力すること。 |
| 教科書 参考書等 | 使用しない。 星野一正『医療の倫理』（岩波書店）780円＋税 ISBN4-00-430201-3 木村利人『自分のいのちは自分で決める』（集英社）1500円＋税 ISBN4-08-781195-6 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 219601 |
| 科目名 | 教育心理〔大学生の心理〕 |
| 担当者名 | <small>いしばし たつや</small> 石橋 達也 |

| | |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本授業では今日の社会的状況における、大学生を主な対象とした青年期の心の在り方の特徴や問題点および課題について、教育心理学や教育臨床の立場を中心に探っていきます。前期の授業では、主に生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題などについて学び、現代社会における青年期の延長やアイデンティティ確立の問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題点について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴および社会的な背景要因などについて検討していきます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。 ・生涯発達における青年期とその発達課題 ・アイデンティティの確立、アイデンティティの地位 ・現代社会と青年期の延長 ・青年期の家族や友人関係の問題 ・青年期のジェンダーや恋愛に関わる問題 ・大学生の学業と就職に関わる問題 ・青年期の文化や社会に関わる問題など |
| 履修上の留意点 | 履修学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。 |
| 成績評価の方法 | 成績の評価は前期末と後期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。 |
| 教科書 参考書等 その他 | 中里至正・松井洋・中村真「自己理解のための青年心理学」（八千代出版）2,100円。 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。 受講学生には、「学ぶ意欲」をしっかりと持ち積極的に取り組むことを期待します。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 220201・220301 |
| 科目名 | 生物学〔生態と進化〕 |
| 担当者名 | 清水 善和 <small>しみず よしかず</small> |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続と続いた進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化（4-6回）、3章：系統と分類（7,8回）、4章：行動と進化（9,10回）、5章：動物の人口論（11,12回）、6章：共生と競争（13,14回）、7章：人類の進化（15-17回）、8章：進化論（18,19回）、9章：生態系（20,21回）、10章：物質の循環（22-24回）、11章：植生遷移（25,26回）、12章：生物多様性（27,28回）、13章：人為と生物（29,30回） |
| 成績評価の方法 | 前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。 |
| 教科書 | 講義内容を文章化した「web 版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。 |
| 参考書等その他 | 上記「web 版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。 講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 220401 |
| 科目名 | 生物学〔生物と環境〕 |
| 担当者名 | 中村 敏枝 <small>なかむら としえ</small> |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 地球上の生き物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然のおきてに逆らい、自分の歴史をつくらうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>（前期）生物の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）地球の歴史と生命の起源 <ul style="list-style-type: none"> ・最初の生命・地球の歴史・極限環境生物 （2）生命誕生 <ul style="list-style-type: none"> ・いまここにいる奇跡・受精と発生 （3）生命の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ食べるか・消化と吸収・排泄物のゆくえ・植物の光合成 （4）生態系の物質循環とエネルギーの流れ <ul style="list-style-type: none"> ・陸と海をめぐるいのちの輪 <p>（後期）化学物質の功罪</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）ゴミ処理とダイオキシン汚染 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ焼却とダイオキシン・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle ・ゼロエミッションという考え方 （2）人工化学物質の功罪 <ul style="list-style-type: none"> ・内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン （3）人工放射性核種 <ul style="list-style-type: none"> ・原発は温暖化を防ぐ救世主か・JCO 臨界事故 （4）まとめ 自然とともに生きる |
| 履修上の留意点 | 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。 |
| 成績評価の方法 | 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。 |
| 教科書 | 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円 |
| 参考書等その他 | 授業時間内に随時紹介します。 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。 |

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 220501 |
| 科目名 | 地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕 |
| 担当者名 | 加藤 潔 <small>かとう きよし</small> |

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>成績評価の方法</p> <p>教科書 参考書 その他</p> | <p>最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。</p> <p>本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。</p> <p>前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。</p> <p>主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいつつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。</p> <p>特に定めなし。適宜プリントを配布。 『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店） プロジェクター、ビデオ等を使用します。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 220601・220801 |
| 科目名 | 地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕 |
| 担当者名 | 山縣 毅 <small>やまがた たけし</small> |

| | |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書 その他</p> | <p>地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の歴史を誕生した46億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。</p> <p>〔地球の現在の姿〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球の大きさ・形（1、2回） 2. 地球の内部構造とプレュームテクトニクス（3～5回） 3. 大陸移動とプレートテクトニクス（6～8回） 4. 火山活動とそのメカニズム（9、10回） 5. 地震とそのメカニズム（11、12回） 6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環（13～15回） <p>〔地球環境の変遷〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球環境の変動要因（16、17回） 2. 地球の形成過程（18、19回） 3. 環境変化と生物進化（20～24回） 4. 生物の大量絶滅（25、26回） 5. 人類の誕生と進化（27～29回） <p>〔未来の地球の姿〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 未来の地球環境の変遷（30回） <p>講義は、板書と併せ、OHPやビデオを使って行っていきます。 成績は、定期試験とレポートにて評価します。 特になし。 講義中に紹介します。 講義にて、資料プリントを配布します。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 220701 |
| 科目名 | 地球科学〔地球システムと人間圏〕 |
| 担当者名 | さわぐち たかし 澤口 隆 |

講義のねらい 宇宙形成から137億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのでしょうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

1. イントロダクション、2. 空間と時間のスケール、3. NHKスペシャル地球大進化、4. 太陽系形成の標準モデル1、5. 太陽系形成の標準モデル2、6. 火星と地球、7. 宇宙開発の歴史、8. 地球と月の始まり、9. 地球の歴史と全球凍結、10. 地球上の生命の誕生、11. 元素の誕生、12. 地球システム、13. 地球温暖化、14. オゾン層の破壊、15. エルニーニョ、16. 火山、17. 地震、18. 地震予知、19. 南極大陸、20. 地球資源問題と環境破壊、21. 原子力発電、22. 放射性廃棄物の地層処分、23. 地熱発電、24. 複雑系、25. 総まとめ

履修上の留意点 毎回独立したトピックについての講義を行う。

それに関連した内容の課題レポートが半期に3-5回程度課される。

成績評価の方法 提出された課題レポートを評価し、その総合点と出席率で成績評価を行う。(代筆・代返などの不正行為が見つかった場合はその場で不合格とする。)

教科書 使用しない。適宜プリントを配布。

参考書等 『岩波講座・地球惑星科学』(全14巻)

その他 毎回出席を取ります。遅刻・途中退回は認めません。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 220901・221001 |
| 科目名 | 地球科学〔自然景観の成り立ち〕 |
| 担当者名 | いちかわ きよし 市川 清士 |

講義のねらい 地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1)地球科学とはどんな学問か？ (2~5)地球の成り立ちと構造について (6~10)大陸の成り立ちや造山運動【プレートテクトニクス】 (11~15)地震および活断層について (16~19)氷期と間氷期【気候変動】(20~24)地球温暖化と我々の生活 (25~30)南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについて

履修上の留意点 日頃から新聞・雑誌・TVなどで地球環境について目を光らせていてください。また、高校で使用した地図帳を用意すること(できれば最新のものが望ましい)。

成績評価の方法 授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書 『地球学入門 一惑星地球と大気・海洋のシステム一』(東海大学出版会) 2,940円

参考書等 参考書はその都度紹介します。

その他 一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオ・DVDによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 221101・221201 |
| 科目名 | 自然環境論〔生命と環境〕 |
| 担当者名 | やまがた たけし 山縣 毅 |

講義のねらい 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 〔地球表層の環境〕
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)
 2. 気候の決定要因 (3~7回)
 3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)
- 〔人間活動による環境変化〕
1. 公害問題の変遷 (9回)
 2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)
 3. 大気汚染 (17回)
 4. 酸性雨 (18回)
 5. 光化学スモッグ (19回)
 6. オゾン層の破壊 (20回)
 7. 海洋汚染 (21, 22回)
 8. 廃棄物問題 (23, 24回)
 9. 資源とエネルギー (25~27回)
- 〔自然災害〕
1. 気候変動 (28回)
 2. 地震とその災害 (29回)
 3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法 成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書 特になし。

参考書等 講義中に紹介します。

その他 講義にて、資料プリントを配布します。

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 221301・221401・221601 |
| 科目名 | 自然環境論〔生命と環境〕 |
| 担当者名 | もちまる まり 持丸 真里 |

講義のねらい 生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げていく。また、これらの事例を通して、生態系の保全や持続可能な人間社会のためにどのような姿勢が要求されるかを考察する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1) 生化学・生態学の導入 (2~3) 生態系の成り立ち (4) 生物とは何か (5~6) 生物の進化と地球環境 (7~10) 地球温暖化 (11~12) 生態系内の物質循環 (13~14) 生産者の働きと生態系 (15) 中間試験 (16~17) 森林破壊 (18) 生物多様性 (19~20) 生態系の浄化作用 (21~22) 化学物質による生態系汚染 (23~24) ダイオキシン問題 (25~26) 環境ホルモン (27~28) オゾン層破壊 (29~30) 近代農業の問題

履修上の留意点 上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。

成績評価の方法 筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。

教科書 なし

参考書等 講義内で随時紹介する。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 221701 |
| 科目名 | 自然環境論〔生命と環境〕 |
| 担当者名 | <small>なかむら としえ</small> 中村 敏枝 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 私たちは今後ますます環境に配慮した行動をとることを要求されるだろう。そのためには、生態系におけるヒトの位置と、生物としての限界を正しく認識して、生活活動、経済活動、経済利益と効率などを長期的な視野で考えることが肝要である。これを本講義のねらいとする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (前期)自然環境の改変 (1-6) 自然のしくみ (7-12) 自然の改変 (後期)人間の活動と地球環境—食をめぐる問題 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物 (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染 |
| 履修上の留意点 | 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。 |
| 成績評価の方法 | 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。 |
| 教科書 | 使用しません。 |
| 参考書等 | 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円 その他については授業時間内に随時紹介します。 |
| その他 | 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 221501 |
| 科目名 | 自然環境論〔地球・太陽系環境〕 |
| 担当者名 | <small>さかのい かずよ</small> 坂野井 和代 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 人間が普段活動している地球環境(陸地、大気、海洋)の基礎的な構造やしくみを学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境(地球磁気圏、太陽系の惑星など)についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 主に地球温暖化についての諸問題と地球・太陽系環境の基礎について触れる。 1. ガイダンス(1回) 2. 地球温暖化について 基礎編(5回) 3. 地球環境システムの構造と原理(個体地球、大気・海洋、地球磁気圏)(9回) 4. 前期の確認・復習(1回) 5. 地球と太陽系惑星との比較(太陽、太陽系)(4回) 6. 地球大気の観測・オーロラについて(2回) 7. 地球温暖化について 応用編(5回) 8. トピックス(3回) |
| 履修上の留意点 | なるべく1つ、1つ説明しますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力が必要です。講義の進度や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて適宜調節します。人数によっては発表形式の講義も検討します。発表形式の場合、詳細は講義で説明します。内容は決して簡単ではありませんので、興味およびやる気のある学生を求めます。 |
| 成績評価の方法 | 評価は授業時間中に出题するテストまたはレポート(口頭発表の場合もあり)によって行う。 |
| 教科書 | 使用しない。適宜資料を配付する。 |
| 参考書等 | ・ 赤祖父俊一、「正しく知る地球温暖化—誤った地球温暖化論に惑わされないために」、誠文堂新光社、¥1470、ISBN 978-4416208182 ・ 丸山茂徳、「地球温暖化論に騙されるな!」、講談社、¥1470、ISBN 978-4062147217 ・ 住明正、「さらに進む地球温暖化」、ウェッジ、¥1470、ISBN 978-4863100015 ・ 江守正多、「地球温暖化の予測は正しいか?」、化学同人、¥1700、ISBN 978-4759813203 |
| その他 | 特に地球温暖化について考える講義をしています。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/ksakanoi/lecture.html |

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 221801・221901・222001 |
| 科目名 | 自然環境論〔生物の集団と環境〕 |
| 担当者名 | 坂巻 義章 |

| | |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期 (1) ガイダンス (2) 地球 (3) 気圏と水圏 (4) 環境とは何か (5) 生物とは何か (6) 生物界の構造 (7) 地球生物の歴史と環境① (8) 地球生物の歴史と環境② (9) 地球生物の歴史と環境③ (10) 生物の進化 (11) 進化説 (12) 環境への適応① (13) 環境への適応② (14) 生物の分布 (15) 前期のまとめと試験 後期 (16) 食物連鎖 (17) エネルギー流 (18) 生態ピラミッド (19) 個体群 (20) 出生と死亡 (21) 競争と住み分け (22) 捕食 (23) 共生と寄生 (24) 土壌と分解者 (25) 物質循環 (26) 里山の生態系 (27) 人口問題と環境問題① (28) 環境問題② (29) 環境問題③ (30) まとめと試験 |
| 履修上の留意点 | スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。 |
| 成績評価の方法 | 出席点と筆記試験(前、後期の最終回を予定)で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。 |
| 教科書 参考書等 その他 | 指定しない。 指定しない。必要な場合にプリントを配布する。 講義形式の授業とする。 |

| | |
|-------|------------------------|
| 履修コード | 222201・222301 |
| 科目名 | 自然誌〔現代の自然像〕 |
| 担当者名 | 清水 善和・篠原 正雄・持丸 真里・山縣 毅 |

| | |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義では自然科学部門の4人の教員(天文学、地質学、生物学、化学)がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄って、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、現在私たちが直面している地球環境問題等についても紹介する。以上の講義を通じて総合的、統一的、現代的な自然像を養う。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | オリエンテーション(1回)；第1講 宇宙の進化と地球の起源(篠原正雄)(1)宇宙の構造と起源(2-3回)、(2)宇宙の進化と物質の進化(4-6回)、(3)太陽系の起源と進化(7-8回)；第2講 地球の進化(山縣毅)(1)大陸と海洋の形成(9-10回)、(2)大陸の漂流(11-12回)、(3)変動する地球(13-14回)、(4)地球と生命の共進化(15-16回)；第3講 生命の起源と進化(清水善和)(1)生命の起源(17-18回)、(2)生物の進化と進化論(19-20回)、(3)人類の進化(21-22回)、(4)生物多様性(23回)；第4講 産業の発達と環境の変化(持丸真里)(1)人口増加とエネルギー消費の歴史(24回)、(2)エネルギー消費と「豊かさ」(25回)、(3)化石燃料の化学(26-27回)、(4)大気環境の変化(古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ)(28-29回)、(5)未来のエネルギー(30回) |
| 履修上の留意点 | 本科目は1年間の講義を通して統一的・総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計4回の評価(テストやレポート等)を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。 |
| 成績評価の方法 | 担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。 |
| 教科書 参考書等 その他 | 特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。 各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。 |

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 222401 |
| 科目名 | 数学〔微積分学入門〕 |
| 担当者名 | 古宇田 悠哉 |

講義のねらい 微積分学の入門的事項を学びます。授業で紹介する一つ一つの例題を理解し、自分の力で練習問題を解けるようにします。その過程で、この微積分が、世の中に現れるさまざまな現象の変化の仕方をとらえる上で不可欠な学問であることを実感でき、同時に、与えられた情報を論理的に素早く理解する能力、問題を解決するための論理的な思考を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール
 (1～4) 1変数関数、今までに学んだ1変数関数、三角関数、逆三角関数、指数関数、対数関数
 (5～9) 微分、微分公式、初等関数の導関数、 n 次導関数
 (10～15) 平均値の定理と不定形の極限、マクローリン展開、関数の増減とグラフの凹凸
 (16～18) 不定積分、初等関数の不定積分
 (19～21) 置換積分
 (22～24) 部分積分
 (25～27) 有理関数の積分
 (28～30) 定積分、面積と回転体の体積

履修上の留意点 毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法 前期と後期の試験の結果を基本に評価します。授業への出席状況も考慮します。
教科書等 石村 園子著『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,100円(税込) ISBN4-320-01633-5
その他の 適宜紹介します。
 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 222501 |
| 科目名 | 数学〔線形代数学入門〕 |
| 担当者名 | 古宇田 悠哉 |

講義のねらい 線形代数学の入門的事項を学びます。授業で紹介する一つ一つの例題を理解し、自分の力で練習問題を解けるようにします。その過程で、世の中には「線形的な現象」が溢れていることを実感でき、同時に、与えられた情報を論理的に素早く理解する能力、問題を解決するための論理的な思考を身につけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール
 (1～4) 行列の定義、行列の演算、正方行列と逆行列
 (5～9) 連立1次方程式、行基本変形、行列の階数、連立1次方程式の解、逆行列の求め方
 (10～15) 行列式の定義、行列式の性質、逆行列の存在条件、クラメールの公式
 (16～19) 空間ベクトル、ベクトル、内積
 (20～25) 線形空間の定義、 n 項列ベクトル空間、線形独立と線形従属、部分空間、基底と次元、線形写像
 (26～30) 内積空間、正規直交基底、固有値と固有ベクトル、行列の対角化、2次曲線の標準形

履修上の留意点 毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法 前期と後期の試験の結果を基本に評価します。授業への出席状況も考慮します。
教科書等 石村 園子著『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込) ISBN4-320-01660-2
その他の 適宜紹介します。
 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 222601 |
| 科目名 | 数学〔現代数学入門〕 |
| 担当者名 | 福田 賢一 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。特に、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期：4回 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、 3回 論理設計・論理回路、 2回 情報、通信機器の理解と数理 2回 ベクトル、行列 2回 線型代数とその応用 2回 まとめと演習 後期：3回 線型計画法、 3回 確率現象と社会現象、保険の数理 2回 微積分とその応用、交通・運輸の数理基礎 3回 多変量の処理と応用 2回 社会・経済現象の数理トピックス 2回 問題演習、討論 |
| 履修上の留意点 | 予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。 |
| 成績評価の方法 | 前後期試験結果を80%、レポート・問題演習20%とし、全出席で1.1倍、9割以上出席で1.0倍。8割出席で0.8倍。8割を下回る場合には0.6倍する。出席不足は0倍。 |
| 教科書 | 教科書は使用しない。教材、資料等を数時限に一回の割合で配布する。 |
| 参考書等その他 | また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。 参考文献等は配布する教材、資料等に明示する。 印刷教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。印刷教材は再配布ができない事があるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。 可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。 |

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 222701 |
| 科目名 | 情報数学〔情報と論理〕 |
| 担当者名 | 坂野井 和代 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れてもらう講義をめざしている。 1. ガイダンス (1回) 2. 記数法とコンピュータにおける情報の表現 (5回) 3. 集合と論理 (7回) 4. 順列・組み合わせ (2回) 5. 確率・統計 (13回) 6. 数学のトピックス (2回) |
| 履修上の留意点 | 予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。数学は積み重ねが大切な分野であるので講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解くこと。レポートは講義に出席して、例題や課題を解いていないと解答することは難しい。 |
| 成績評価の方法 | 評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。また、講義時間中の発言も評価に含める。 |
| 教科書 | 使用しない。適宜資料を配付する。 |
| 参考書等 | ・ 結城浩、「プログラマの数学」、ソフトバンク、¥2200、ISBN 4-797329734 ・ 鑰山 徹、「ソフトウェアのための基礎数学」、工学図書、¥2300、ISBN 4-7692-0430-2 ・ 石原光/小堆光喜、「入門 情報処理数学」、実教出版、¥2200、ISBN 4-407-02347-3 ・ 小島寛之、「完全独習 統計学入門」、ダイヤモンド社、¥1800、ISBN 4-478-82009-0 |
| その他 | コンピュータ応用の講義と連携して受講することをお勧めします。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトにて公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/ksakanoi/lecture.html |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 222801・222901 |
| 科目名 | 物理学〔光と物質〕 |
| 担当者名 | 篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small> |

講義のねらい 「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理学等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1-8)「光は波である 1」(光線 影 鏡 屈折 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色) (9-15)「光は波である 2」(波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色) (16-25)「光は電磁波である」(電気と磁気 電場と磁場 電磁波 さまざまな電磁波) (26-30)「現代物理学と光」(原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光は宇宙を駆け巡る)

履修上の留意点 十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学・物理の予備知識はいらぬ。期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、この点と成績とは一致しない。

教科書 藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社) 1,800円+税

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 223001・223101 |
| 科目名 | 化学〔衣食住の化学〕 |
| 担当者名 | 持丸 真里 <small>もちまる まり</small> |

講義のねらい 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の社会での適用について、正確な知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。前期には、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学・生化学の基礎について説明する。その後、衣食住の化学として、各論の説明を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール (1)有機化学・生化学の導入 (2~4)物質の成り立ち-原子・分子・イオン・化学式・周期表などの解説 (5)水の性質 (6~8)有機化学の基礎 (9~10)繊維 (11)染料 (12~13)洗剤と洗濯のしくみ (14)合成洗剤と水質汚濁 (15)中間試験 (16~17)タンパク質-酵素・免疫を中心に (18~19)遺伝子 (20~21)遺伝子情報の社会への影響 (22)遺伝子組み換え実験とは何か (23~25)遺伝子組み換え食品 (26~27)食品の安全性 (28)化学物質の安全性評価 (29~30)住環境の化学物質汚染

履修上の留意点 「化学」の中には様々な分野があるが、本講義は生化学を中心とする(=生命科学との接点が多い)。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。講義は、化学の基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意して履修すること。

成績評価の方法 筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。

教科書 なし。

参考書等 講義内で随時紹介する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 223201・223301 |
| 科目名 | 宇宙科学〔星と銀河〕 |
| 担当者名 | 篠原 正雄 <small>しのはら まさお</small> |

講義のねらい 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は恒星を取り上げる。(1)イントロダクション (2~4)観測:望遠鏡 スペクトル (5~7)太陽:構造, エネルギー源 (6~15)恒星:年周視差と距離, 分類, 連星と星の質量, 変光星, 星の進化
後期は銀河をとりあげる。(16~17)銀河系の発見 (18~23)銀河系:星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質 (24~26)銀河: 銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造 (27~30)宇宙:宇宙膨張, 暗黒エネルギー, ビッグ・バン

成績評価の方法 中間試験および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 岡村定矩他編『人類の住む宇宙(シリーズ現代の天文学第1巻)』(日本評論社) 2,520円

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

| | |
|-------|-----------------------------------------------|
| 履修コード | 223401・223701・223901・224201 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 |
| 担当者名 | <small>なにもと</small> 谷本 <small>こちひろ</small> 玲大 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。</p> <p>前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。</p> |
| 講義の内容・授業スケジュール | <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス／履修許可／起動～ログオン～終了／画像処理 2 情報倫理概説／検索エンジンとWWW体験 3 電子メールのマナーと実習／添付ファイル 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習 5～8 Word 9～12 Excel 13～15 予備 <p>※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。</p> <p>※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある（★詳しくは「その他」を参照のこと★）。</p> |
| 履修上の留意点 | <p>初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。</p> <p>教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。</p> |
| 成績評価の方法 | <p>初回講義欠席者は単位認定しない。</p> <p>受講態度や出席状況等の平常点（40%）、課題・レポート（60%）。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。</p> <p>遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。</p> <p>パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。</p> <p>講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。</p> <p>他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。</p> |
| 教科書 | <p>小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 （講談社現代新書1603） 2002/04、714円 ISBN：4-061496034</p> |
| その他 | <p>※例年、前期での開講科目は受講生が多いために進度が遅れがちになり、結果として PowerPoint に触れ得ない場合が多い。【PowerPoint の学習を希望する学生】は、★後期に開講する方の科目★で履修申請することを強く勧める。</p> <p>※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。</p> <p>※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。</p> |

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 223501 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 |
| 担当者名 | 山本 博信 |

講義のねらい 現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容・授業スケジュール パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・ Web ページ作成を実習を通して実施します。

アプリケーションソフトウェア（OFFICE2007）を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

第1回 端末の利用方法と履修登録

第2回 ネットワークの歴史と仕組み

第3回 ネットワークの利用と電子メール

第4回 ネットワーク倫理と著作権

第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索

第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索

第7回 情報検索入門(3) データベースの利用と学術論文の検索

第8回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習

第9回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習

第10回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習

第11回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習

第12回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習

第13回 課題2：DATABASE SOFTWARE(ACCESS2007)を用いた実習

第14回 課題2：DATABASE SOFTWARE(ACCESS2007)を用いた実習

第15回 講評・授業評価

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

履修上の留意点 本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法 以下の比率で総合的に評価します。

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験(確認試験として実施) 35%
- ・質問書および出席状況 30%

教科書 授業の中で適宜紹介します。

『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7/8/9』 ¥800 (ISBN9784407307733)

参考書等 『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890 (ISBN4407301147)

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680 (ISBN44894717220)

その他 パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 223601・224101 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 |
| 担当者名 | 小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small> |

講義のねらい インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法 評価は授業時間中に出题する課題によって行う。

その他の 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 223801・224301 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 |
| 担当者名 | 澤口 隆 <small>さわぐち たかし</small> |

講義のねらい DTP (Desk Top Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1.ガイダンス、Adobe Photoshopとは、2.Photoshopの基本操作 1、3.Photoshopの基本操作 2、4.ブラシツールによる描画、5.塗りつぶしとグラデーション、6.選択ツール、7.クイックマスク、8.画像の補正・修正、9.画像の合成、10.ロゴマーク、11.アニメーション、12.Web ページの作成、13.最終課題製作、14.最終課題製作

履修上の留意点 コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること (キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等 同上。

その他の 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 224001 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 |
| 担当者名 | 山本 博信 <small>やまもと ひろのぶ</small> |

講義のねらい

現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容・履修スケジュール

パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・ Web ページ作成を実習を通して行います。

アプリケーションソフトウェア (OFFICE2007) を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

- 第1回 端末の利用方法と履修登録
- 第2回 ネットワークの歴史と仕組み
- 第3回 ネットワークの利用と電子メール
- 第4回 ネットワーク倫理と著作権
- 第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索
- 第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索
- 第7回 情報検索入門(3) データベース(Access 2007)の利用と学術論文の検索
- 第8回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第9回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第10回 課題1：ワードプロセッサソフトウェアを用いた実習
- 第11回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第12回 課題2：表計算ソフトウェアを用いた実習
- 第13回 課題2：DATABASE SOFTWARE(Access2007)を用いた実習
- 第14回 課題2：DATABASE SOFTWARE(Access2007)を用いた実習
- 第15回 講評・授業評価

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

以下の比率で総合的に評価します。

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・質問書および出席状況 30%

教科書

授業の中で適宜紹介します。

『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890 (ISBN4 407301147)、『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7 / 8 / 9』¥800 (ISBN978440 7307733)

参考書等

『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680 (ISBN4894717 220)

その他

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 224401 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) |
| 担当名 | 古宇田 悠哉 |

講義のねらい 授業前半では Web ページを記述するための言語である HTML(Hypertext Markup Language)、文書のレイアウトを定義する規格である CSS(Cascading Style Sheet) の基本事項を学び、ホームページを作成するために最低限必要な知識を身につけます。後半では作成したファイルをネットワークで転送するために使われる FTP(File Transfer Protocol) を利用し、実際に自身のホームページを公開してもらいます。受講することで、コンピュータを自発的に利用する能力が付き、同時にネットワークにおいて決められたテーマを工夫して表現する力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1~8) HTMLの基礎(テキスト・リスト・テーブル・リンク)
(9) 無料ホームページの登録、FTPの使い方
(9~15) CSSの基礎(フォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リスト)

履修上の留意点 毎回授業に出席して下さい。パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。講義の後半には、各自ホームページを作成してもらいますので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法 最終的に作成したホームページの評価を基準にします。授業への出席状況も考慮します。

教科書 プリントを配布し、適時紹介します。

参考書等 適宜紹介します。

その他 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。
授業日程：7月31日(金)・8月3日(月)～6日(木)の4～6時限
予備日：8月7日(金)の4～6時限

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 224601 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) |
| 担当名 | 山本 博信 |

講義のねらい 問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケバピリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。なお、情報の作成および発信に焦点を合わせて授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集(コーディングについて)・インターネットのしくみ・ホームページビルダーによる Web ページの作成を実習を取り込みながら実施します。
アプリケーションソフトウェア (OFFICE 2007)(photoshop)(Homepage builder Ver12.) を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。画像編集のソフトウェアを使う。OFFICE 2007を使う。

履修上の留意点 本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。質問を歓迎します。質疑応答のためのHPを紹介します。

成績評価の方法 ・課題 30%
・授業最終日に実施する確認試験 40%
・出席状況 30%

教科書 授業の中で適宜紹介します。
『XP対応 新基礎コンピュータ演習』、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890)
ISBN4407301147

参考書等 『30時間でマスター ホームページ・ビルダー』実教出版(¥800)ISBN978-4-407-30773-3
『ITリテラシーへの招待』、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、
ISBN4894717220

その他 パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いっとうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。必要に応じてプリントを配布します。
授業日程：7月31日、8月3日～6日 1時限～3時限
予備日：8月7日(金)の1～3時限

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 224701 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) |
| 担当者名 | <small>ながさか ひろふみ</small> 長坂 浩史 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | Web ページ作成 (HTML、CSS入門) と、表計算ソフトを用いた基本的な統計処理 (統計量についての入門) の2つを中心に学ぶ。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | <ul style="list-style-type: none"> ● 最終提出課題 (Web ページ) の説明 … (1) ● Excel の基本操作 … (2、3) ● Excel を用いた簡単な統計処理 (1,2次元データのさまざまな特性値の計算、相関・回帰分析、グラフ作成、曲面片の描画) … (4～6) ● HTML、CSS入門 … (7～9) ● 自由課題 (Web ページ) 作成 … (10～15) |
| 履修上の留意点 | 初心者を対象にしていますが、Windows の基本操作や、テキストファイルの扱いについては軽く触れる程度です。 |
| 成績評価の方法 | 提出課題 (自由テーマによる Web ページ&指定された様式のファイル) を見て評価します。ただし、欠席が1日でもあると 課題を全部こなすのは困難になると思いますので、特別な事情がない限り5日間の全時限に出席すること。 |
| 参考書等その他 | 簡単な説明ファイルを配布します。 授業日程: 7/31(金)、8/3(月)～8/6(木) の 1～3時限 予備日: 8/7(金) 1～3時限 |

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 224801 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) |
| 担当者名 | <small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成 |
| 履修上の留意点 | 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。 |
| 成績評価の方法 | 評価は授業時間中に出席する課題によって行う。 |
| その他 | 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程: 7/31、8/1、8/4～8/6 1時限～3時限 予備日: 8/7 1時限～3時限 |

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 224901 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) |
| 担当者名 | <small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1～3) ガイダンス、PCの基本操作 (4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7～15) HTML文書の作成 |
| 履修上の留意点 | 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。 |
| 成績評価の方法 | 評価は授業時間中に出席する課題によって行う。 |
| その他 | 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程: 7/31、8/1、8/4～8/6 4時限～6時限 予備日: 8/7 4時限～6時限 |

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 履修コード | 225001 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) |
| 担当者名 | ^{たにもと} 谷本 ^{さちひろ} 玲大 |

講義のねらい 課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。

7/31 ガイダンス、起動～終了/情報検索/電子メールとタイピング練習

8/3 日本語入力と Word 演習

8/4 Word 演習・画像処理

8/5～8/6 Excel 演習

8/7 予備日

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある(★詳しくは「その他」を参照のこと★)。

履修上の留意点 初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法 初回講義欠席者は単位認定しない。

受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。

遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。

講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。

他人のパスワードでログインして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。

教科書 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』

(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN:4-061496034

その他の他 ※集中講義は、進度的に厳しい面があるので、【PowerPoint には触れ得ない】。

授業日程:7月31日(金)、8月3日(月)～8月6日(木)1～3時限。

予備日:8月7日(金)の1～3時限。

※なお、★登録されているクラス以外で受講した場合は欠席扱い★とする。

但し、登録されている以外のクラスで受講することそのものについては、座席数に空きがある限りにおいて、各自の自習の一環として認める。

※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。

※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 履修コード | 225201 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中) |
| 担当者名 | ^{たにもと} 谷本 ^{さちひろ} 玲大 |

講義のねらい 課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。

7/31 ガイダンス、起動～終了/情報検索/電子メールとタイピング練習

8/3 日本語入力と Word 演習

8/4 Word 演習・画像処理

8/5～8/6 Excel 演習

8/7 予備日

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある(★詳しくは「その他」を参照のこと★)。

履修上の留意点 初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法 初回講義欠席者は単位認定しない。

受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。

遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。

講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。

他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。

教科書 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』

(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN:4-061496034

その他 ※集中講義は、進度的に厳しい面があるので、【PowerPoint には触れ得ない】。

授業日程:7月31日(金)、8月3日(月)～8月6日(木)4～6時限。

予備日:8月7日(金)の4～6時限。

※なお、★登録されているクラス以外で受講した場合は欠席扱い★とする。

但し、登録されている以外のクラスで受講することそのものについては、座席数に空きがある限りに於いて、各自の自習の一環として認める。

※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。

※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 225601・225701 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕 |
| 担当者名 | 坂野井 和代 |

講義のねらい 主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回)
2. 総合情報センターの利用方法 (2回)
(ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、WindowsPC の基本操作)
3. タイプ練習&日本語入力 (3回)
4. 電子メール (Active ! mail の使い方、公用メールの書き方) (2回)
5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回)
6. WWW ウェブサイト作成 (6回)

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet ID の取得は必須です。

成績評価の方法 評価は授業時間中に出题する2~3回程度の課題によって行う。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等 参考書は必要に応じて紹介する。

その他 実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 225801・225901 |
| 科目名 | コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕 |
| 担当者名 | 坂野井 和代 |

講義のねらい 主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス (1回)
2. KOMAnet の使い方、タイピングについて (2回)
3. 公用電子メールの書き方 (2回)
4. コンピュータの動作原理とプログラミングについて (3回)
5. Visual Basic によるプログラミング (7回)
6. Excel のマクロについて Visual Basic for Application (2回)
7. Excel VBA の実習 (13回)

履修上の留意点 プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作 (ファイル、ウィンドウ操作、電子メール、ウェブの利用など) はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法 評価は授業時間中に出题する3回程度の課題によって行う。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

- ・ 山本信雄、「Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング」、翔泳社、¥1900、ISBN4-88135-718-2
- ・ Michael Halvorson 著・(株)日本ユニテック訳、「VisualBasic.NET 実践講座 Vol.1 基礎編」、日経BPソフトプレス、¥2480、ISBN4-89100-257-3
- ・ 立山秀利、「ExcelVBA のプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本」、秀和システム、¥2310、ISBN 978-4798017976

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 226001・226101 |
| 科目名 | 人類学〔人類の進化〕 |
| 担当者名 | 馬場 ^{ばば} 悠男 ^{ひさお} |

講義のねらい チンパンジーと似ていたはずのヒトの祖先が、いつ、なぜ、どこで、どのような要因で現在の私たちになったかを知り、人間自身の本性を理解し、人類の将来を考える一助とする。楽しく考え、ためになる授業を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 1-5回：ヒトはどこまで動物か、ヒトはなぜゾウに似ているかなど。6-10回：立ち上がった猿人たち、豊かな森林から厳しい草原へなど。11-15回：道具を作った原人と旧人、フロレス島のホビットなど。16-20回：サピエンスの世界戦略、5万年前の革命はあったかなど。21-25回：日本人はどこから来たか、縄文VS弥生など。26-30回：病いの起源、給食を正課にせよなど。

履修上の留意点 人間や動物の形態・機能・行動・心理を観察し考える習慣を付ける。上野の動物園と国立科学博物館に行こう。

成績評価の方法 学期末の試験とともに授業中の小テストさらに出席点も加味して総合的に判断する。授業中、良い質問をすると、プラスアルファ。

教科書参考書等 馬場悠男監修『学研まんが ヒトの進化の秘密』学習研究社880円 ISBN978-4-05-202931-8
馬場悠男編著訳『人間性の進化 700万年の軌跡をたどる』日経サイエンス社1,900円 ISBN4-532-51151-8；馬場悠男解説訳『ホモ・フロレシエンシス上下』NHKブックス・日本放送出版協会 上下各970円 ISBN978-4-14-091112-9C1345；馬場悠男・道方しのぶ訳『人類進化大全』悠書館 12,000円 ISBN978-4-903487-18-2

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 履修コード | 226201 |
| 科目名 | 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 |
| 担当者名 | 高橋 ^{たかはし} 良博 ^{よしひろ} |

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間行動の対人行動やストレス・適応などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供货実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の予定としては、前期では、感覚・知覚・学習などの問題について学び、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各研究領域に焦点をあててゆく。各回ごとの講義予定は以下の通りである。

1 オリエンテーション（講義のねらい・成績の基準・評価履修上の注意など）、2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち、3 心理学研究法、4 感覚（1）、5 感覚（2）、6 感覚（3）、7 感覚（4）、8 感覚（5）、9 知覚（1）、10 知覚（2）、11 知覚（3）、12 知覚（4）、13 学習（1）、14 学習（2）、15 学習（3）、16 学習（4）、17 記憶（1）、18 記憶（2）、19 記憶（3）、20 動機づけ（1）、21 動機づけ（2）、22 感情と情動（1）、23 感情と情動（2）、24 ストレス・適応（1）、25 ストレス・適応（2）、26 ストレス・適応（3）、27 パーソナリティ（1）、28 パーソナリティ（2）、29 パーソナリティ（3）、30 パーソナリティ（4）、31 パーソナリティ（5）、32 まとめ、33 試験

履修上の留意点 履修者は、講義中は私語をつつしむ静粛に講義を受講すること。

成績評価の方法 筆記試験の得点、レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを得点化して総合的に評価を行う。

教科書参考書等 鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別
講義の中で指示する。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 226301 |
| 科目名 | 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 |
| 担当者名 | 本間 ^{ほんま} 美智子 ^{みちこ} |

講義のねらい この授業では、実験心理学・教育心理学・社会心理学・発達心理学・臨床心理学にわたる心理学全般の基礎的知見を概観し、心理学がどのような学問であるかについての理解を深める

講義の内容・授業スケジュール 心理学の目的と方法、心理学の各分野について概説する

成績評価の方法 通常授業の出席ならびに試験により評価する。

教科書参考書等 プリントを使用
「ヒルガードの心理学」内田一成（監訳）ブレーン出版、2005

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 226401 |
| 科目名 | 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 |
| 担当者名 | 加藤 博己 |

講義のねらい この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール
前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）
【記憶】 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）
【学習・思考】 1.レスポナント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習
【動機づけ】 1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起、2.感情の測定

後期

【発達】 1.発達段階、2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論
【心理学論】 1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年 『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円(本体2,400円+税) ISBN4-13-012041-0

参考書等その他 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。
 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 226501 |
| 科目名 | 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 |
| 担当者名 | 杉山 雅美 |

講義のねらい 「心理学」は、その対象が「心」という、人間にとってもっとも身近なものであり、みなさんも日常のヒューマンウォッチングをもとに、各人各様の「心理学」を構築し、応用しているのではないのでしょうか。また、書籍や雑誌、テレビ番組等からの情報を通じて、とりわけ心理テストやカウンセリングなどの側面から、すでに「心理学」に対する何らかのイメージや興味、知識をもっている人も多いことでしょう。

一方、高校までの履修科目には「心理学」がないこともあってか、みなさんのイメージするその内容と、学問としての「心理学」との間には、少なからず違いがあり、それらのなかには科学的裏付けの希薄なものも散見されます。

本講義では、学問としての「心理学」の概念的 content について、身近な具体例を通して紹介していきます。それにより、自分や周囲の他者、ひいては人間の心・行動にまつわる諸現象に対する、科学的視点からの理解を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 年間スケジュールや実際の進捗状況による変更もありますが、概ね以下のように進める予定です。
 (1) ガイダンス・心理学とは何か (1~3回)、(2) 感覚・知覚 (4~6回)、(3) 学習 (7~9回)、(4) 記憶 (10~12回)、(5) 思考・言語 (13~15回)、(6) 情動・動機づけ (16~18回)、(7) パーソナリティ (19~21回)、(8) 発達 (22~24回)、(9) 臨床 (25~27回)、(10) 社会 (28~30回)

履修上の留意点 履修するうえでとくに予習は求めませんが、そのぶん履修者は講義中集中し、私語を慎んで臨むよう心がけて下さい。

成績評価の方法 年度末に行われる筆記試験の成績と出席状況により、総合的に評価します。

教科書 とくに指定しません。適宜プリントを配布します。

参考書等 講義の中で適宜紹介していきます。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 226601 |
| 科目名 | 心理学〔人間関係を考える〕 |
| 担当者名 | <small>たかはし よしひろ</small> 高橋 良博 |

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義スケジュールは以下の通りである。

1 講義についてのオリエンテーション 2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち 3 心理学研究法 4 感覚(1) 5 感覚(2) 6 感覚(3) 7 感覚(4) 8 知覚(1) 9 知覚(2) 10 知覚(3) 11 知覚(4) 12 学習(1) 13 学習(2) 14 学習(3) 15 学習(4) 16 記憶(1) 17 記憶(2) 18 記憶(3) 19 動機づけ(1) 20 動機づけ(2) 21 感情と情動(1) 22 感情と情動(2) 23 ストレス・適応(1) 24 ストレス・適応(2) 25 ストレス・適応(3) 26 パーソナリティ(1) 27 パーソナリティ(2) 28 パーソナリティ(3) 29 パーソナリティ(4) 30 試験

(上記の講義スケジュールは、履修学生の理解度などを確認しながら、若干の時間調整を行う可能性もある。)

履修上の留意点

履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保って受講すること。私語その他の迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめる事もある。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。

**教科書等
参考書等**

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版)2,000円税別
講義中に指示する。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 226701・226901 |
| 科目名 | 心理学〔人間関係を考える〕 |
| 担当者名 | 鈴木 順一 |

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等その他

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）
すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 226801 |
| 科目名 | 心理学〔人間関係を考える〕 |
| 担当者名 | 加藤 博己 |

講義のねらい この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し、130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）
【記憶】 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）、2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）
【学習・思考】 1.レスポデント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習
【動機づけ】 1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起、2.感情の測定

後期

【発達】 1.発達段階、2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論
【心理学論】 1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年 『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-0

参考書等その他 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。
 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 227001 |
| 科目名 | 心理学〔心を科学する〕 |
| 担当者名 | 高橋 良博 |

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義予定は以下の通りに進めてゆく予定。

1講義についてのオリエンテーション 2心理学の定義・心理学も領域・心理学の成り立ち 3心理学研究法 4感覚(1) 5感覚(2) 6感覚(3) 7感覚(4) 8感覚(5) 9知覚(1) 10知覚(2) 11知覚(3) 12知覚(4) 13学習(1) 14学習(2) 15学習(3) 16学習(4) 17記憶(1) 18記憶(2) 19記憶(3) 20動機づけ(1) 21動機づけ(2) 22感情と情動(1) 23感情と情動(2) 24ストレス・適応(1) 25ストレス・適応(2) 26パーソナリティ(1) 27パーソナリティ(2) 28パーソナリティ(3) 29パーソナリティ(4) 30試験

(上記の予定は、履修学生の理解度などを考慮し、時間配分に若干の修正が加わる場合もある。)

履修上の留意点 履修者は、受講中は私語をつつしみ静粛を保つこと。
成績評価の方法 筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合に得点化して、最終的な評価を行う。

教科書 鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別
参考書等 講義中に指示する。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 227101 |
| 科目名 | 心理学〔心を科学する〕 |
| 担当者名 | <small>ほりうち まさひこ</small> 堀内 正彦 |

講義のねらい 人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、それ以外にも、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解することである。

講義の内容・授業スケジュール 心理学の様々な分野を概観できるように、下記の内容、スケジュールで講義を進行する予定である。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2～3回 心理学の視点
- 第4～6回 発達 - 環境と遺伝 -
- 第7～9回 学習
- 第10～11回 記憶
- 第12回 前期末試験
- 第13～15回 感覚・知覚
- 第16～18回 思考・言語
- 第19～21回 動機づけ・情動
- 第22～24回 個人差
- 第25～27回 社会行動
- 第28～30回 行動の基本様式

履修上の留意点 この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

成績評価の方法 試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）による。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫（編）『心理学 第2版』（東京大学出版会）

その他の 私語については、厳格に対応します。授業の初回に行うオリエンテーションで詳細を説明しますので、必ず出席して下さい。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 227201 |
| 科目名 | 心理学〔心を科学する〕 |
| 担当者名 | なかまろ しげる 中丸 茂 |

講義のねらい

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何？
4. 行動分析学I ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学II バナナとリンゴ
6. 行動分析学III 月に向かって吠える
7. 認知心理学I マジカルナンバー
8. 認知心理学II カクテルパーティ
9. 認知心理学III 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学 幽霊は乗り物がお好き？
11. 社会心理学I 他人を好きになる時
12. 社会心理学II 恋、愛、そして、意志決定 その他（リクエスト可）
13. 無意識の心理学 UFOは存在するか？
14. 人格心理学 社交的な人は朝に弱い
15. 占いの心理学 ラッキーカラーは、赤!!
16. 呪いの心理学 呪殺は可能か？
17. 所信の心理学I 知識は人類を駄目にする!!
18. 所信の心理学II マインド・コントロール
19. 宗教の心理学 神社の石段
20. スポーツ心理学 イメージトレーニング
21. プロファイリングモラル・ハラスメント
22. テクノ・コミュニケーション 顔文字は使ったほうがいいのか

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというものではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書理解度UP++）

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999年（北大路書房）
中丸茂『トワイライト・サイコロジ』2000年（北大路書房）
講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚） 年間 40～50枚

参考書等

講義用の配布資料で紹介。

| | |
|-------|-----------------------------------------------|
| 履修コード | 227301 |
| 科目名 | 心理学〔心を科学する〕(夏季集中) |
| 担当者名 | <small>ふかほり</small> 深堀 <small>ともなり</small> 友寛 |

講義のねらい 身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的（心理的）な異質性が認められる。それらを包括し、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

履修上の留意点 パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

成績評価の方法 短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にし
か参加できない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

教科書等 講義最終日に行われる筆記試験と、出席率（3分の2以上）による総合評価。
特に指定しない。授業内にプリントを配布する。

参考書等 重野純『キーワードコレクション 心理学』（新曜社）1994年
中村昭二『心理学概説』（八千代出版）1982年

その他 授業日程：7月31日・8月3日～7日、1～5時限（土、日は除く）

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 228201 |
| 科目名 | 総合I〔仏教と社会〕 |
| 担当者名 | 熊本 英人 |

講義のねらい 日本^{こまもと}の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。
 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 はじめに
- 2～5 仏教と戦争
- 6～13 仏教と差別
- 14～17 仏教と女性
- 18～21 仏教と家族
- 22～29 仏教と生命倫理
- 30 おわりに

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

出席を重視する。
 適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。
 適宜プリントで配布する。
 末木文美士編『現代と仏教』（佼成出版社、2006年）2,625円
 その他、講義の中で随時紹介する。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 228301 |
| 科目名 | 総合I〔仏教と芸術〕 |
| 担当者名 | 村松 哲文 |

講義のねらい 本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 〔前期〕
- 仏教美術の世界（1～2）
 - インドの仏教美術（3～5）
 - 西域の仏教美術（6～8）
 - 初期の敦煌石窟（9～11）
 - 後期の敦煌石窟（12～15）

- 〔後期〕
- 炳靈寺石窟（16～17）
 - 麦積山石窟（18～20）
 - 雲岡石窟（21～23）
 - 龍門石窟（24～27）
 - 朝鮮三国の仏教美術（28～30）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。
 博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。
 出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。
 プリントを配布する。
 講義中に適宜参考書を紹介する。

| | |
|-------|----------------------------------------------------------|
| 履修コード | 228501 |
| 科目名 | 総合II〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕 |
| 担当者名 | 清水 善和・漆原 和子・坂野井 和代・篠原 正雄・須山 聡・出口 宏幸・持丸 真里・ 柳澤 紀夫・山縣 毅 |

| | |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実験することが重要である。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法等を学ぶ。次いで、夏休み（7月下旬）に駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の人と自然をトータルに理解することを試みる。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む） （1）ガイダンス（1回）、（2）自然観察の方法（2回）、（3）植物の観察（3,4回）、（4）バードウォッチング（5,6回）、（5）地球科学的な見方（7-9回）、（6）地球環境の見方（10-12回）、（7）天体観測の方法（13,14回）、（8）富浦実習に向けて（15回） 富浦での講義と実習：7月19日（日）午後-23日（木）午前（4泊5日） 午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。 |
| 履修上の留意点 | 前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加できる人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。 実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。 |
| 成績評価の方法 | 各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。 |
| 教科書 参考書等 | 特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。 各教員が必要に応じて紹介する。 |

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 228801 |
| 科目名 | 総合III〔TOEFL(R)の問題で学ぶ知的教養〕 |
| 担当者名 | 白鳥 義博 |

| | |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | TOEFLは講義や討論などアカデミックな場面での英語運用能力を試すテストであり、出題される英語は、さまざまな学問領域の基礎的な知識を土台としています。この知的で幅広い内容を逆手にとって、学生あるいは社会人として必要な知的教養をTOEFLの問題から学んでみようというのが、本授業のコンセプトです。テキストにはリスニングとリーディングに特化したTOEFL対策用教材を使用します。授業では、知のプラットフォームを固める上で必須なトピックをこの教材からいくつか選び出し、必要に応じてプリントなども使いながら、学習を進めます。（本年度扱う予定のトピックは次のとおり：PTSD（心の傷）、ビジネスの新しい倫理性（sustainability）、動物園と動物の権利の問題、燃料電池とエネルギーの基礎概念、など） |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 前期（1）ガイダンス、（2）～（13）4～5回の授業でひとつのレッスンをカバーして進めてゆく。（14）まとめ（15）期末テスト 後期 前期と同じ |
| 履修上の注意 | 語学と教養とキャリア教育をミックスさせた授業であり、知的好奇心の旺盛で意欲的な学生の履修を望みます（発表やレポート、小テストなどを頻繁に課す予定）。TOEFLテストを受けたことのない学生、受験予定のない学生の履修も大歓迎です。逆に、TOEFLの直前対策や解法テクニックの演習を専門的に行う授業ではないので、注意してください。 |
| 成績評価の方法 | 出席、受講態度、課題へのとりくみ、テストの成績などから総合的に評価する。 |
| 教科書 参考書 | 『戦略的トーフル®テスト対策演習』（南雲堂、2008年） 授業中に随時指示する。 |

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 228901 |
| 科目名 | 総合Ⅲ〔小説と映画で読み解く現代中国〕 |
| 担当者名 | 塩旗 伸一郎 |

講義のねらい 今日、日本人の生活と生存に欠かせない存在でありながら、理解を超えた縁遠い国でもある中国。そのミステリアスな隣人を理解できる日本人が多くなるのが、結局は日本と世界の平和と繁栄の礎となる。本講で採りあげる短編小説と映画は、必ずしもミステリー作品というわけではなく、中国というミステリーを読み解くための素材である。その意味で本講は文学論、映画論である前に、中国論である。

講義の内容・授業スケジュール 解題(1～2)、「暗香」と韓少功(3～5)、映画(6～8)、「太白山記」と賈平凹(9～11)、映画(12～14)、遲子建「霧の月」(15～16)、映画(17～19)、韓東「部屋と風景」(20～21)、映画(22～24)、魏微「鄭さんの女」(25～26)、映画(27～28)

履修上の留意点 映画の表題は、映像を確保できる保証がないため、未定。

成績評価の方法 中国語学習歴がなくても履修できる。

教科書 平常点(作品ごとに感想文を提出、レポートに代える)
釜屋修 監修『同時代の中国文学—ミステリー・イン・チャイナ』(東方書店)1600円+税

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 229001 |
| 科目名 | 総合Ⅳ〔現代アメリカ事情〕 |
| 担当者名 | 林 明人 |

講義のねらい 現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード(abortion,affirmative action,euthanasia,Brady Bill 等)を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

講義の内容・授業スケジュール

| | | | |
|----|-----------------------|----|-------------------------|
| 1 | 世界史の中のアメリカ(1) | 16 | Brady bill(1) |
| 2 | 世界史の中のアメリカ(2) | 17 | Brady bill(2) |
| 3 | 世界史の中のアメリカ(3) | 18 | Brady bill(3) |
| 4 | 世界史の中のアメリカ(4) | 19 | official English law(1) |
| 5 | 世界史の中のアメリカ(5) | 20 | official English law(2) |
| 6 | 世界史の中のアメリカ(6) | 21 | official English law(3) |
| 7 | 世界史の中のアメリカ小テスト | 22 | euthanasia(1) |
| 8 | abortion(1) | 23 | euthanasia(2) |
| 9 | abortion(2) | 24 | euthanasia(3) |
| 10 | abortion(3) | 25 | hate crime(1) |
| 11 | affirmative action(1) | 26 | hate crime(2) |
| 12 | affirmative action(2) | 27 | hate crime(3) |
| 13 | affirmative action(3) | 28 | multiculturalism(1) |
| 14 | political correctness | 29 | multiculturalism(2) |
| 15 | 前期試験 | 30 | 後期試験 |

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めません。

成績評価の方法 ①試験(40%)②レポート(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書 プリントを配布します。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 229101 |
| 科目名 | 総合Ⅳ〔新市民社会論〕 |
| 担当者名 | ^{にしむら} 西村 ^{ゆうこ} 祐子 |

講義のねらい 前期はJICA(国際協力機構)と協力して市民社会と国際協力に関して考える。後期は本学で現在JICA草の根協力プロジェクトとして進行しているバイオトイレプロジェクトを中心に、環境、マイノリティ、被差別問題などを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：

1. 市民社会とNGO、NPO
2. グローバル化現象と国際協力
3. 日本の国際協力と市民社会：JICAスタッフ講義
4. 国際協力の現状と日本：まとめ（1）
5. JICAスタッフ講義：海外協力隊の一員として
6. 草の根協力和開発途上国：まとめ（2）
7. JICAスタッフ講義：グローバル化と国際協力の実情
8. 草の根協力和開発途上国：まとめ（3）
9. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割（1）インド
10. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割（2）インド
11. 途上国社会とマイノリティ（1）インドの場合
12. 途上国社会とマイノリティ（2）インドの場合
13. 前期まとめと国際協力とその課題：草の根支援のレベルから

後期：

1. インド社会の基礎知識
2. クラスとカースト：政治と宗教
3. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
4. インドの市民社会とNGO
5. インド地縁組織とコミュニティ開発
6. 被差別カーストとコミュニティ開発
7. 行政とNPO,NGO：公衆衛生の実情
8. 公衆衛生とバイオトイレ：グローバルな環境問題の観点から
9. 公衆衛生と途上国：グローバルな観点から
10. バイオトイレとリーダーシップトレーニングプロジェクト（1）
11. 同上（2）
12. マイノリティ・被差別・コミュニティ開発を考える
13. まとめと課題

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

出席（25%）、毎回の小レポート内容（30%）、前期、後期それぞれのレポート（45%）。試験はない。

教科書

教場で指定する。

参考書等

JICAに関しては <http://www.jica.go.jp/>
南インドにおけるバイオトイレ事業、
エコサントイレについては以下をみしておく。<http://www.b1b2.org/EcoSan/index.htm>,
<http://jp.youtube.com/watch?v=gPummZRR2Cg>、<http://jp.youtube.com/watch?v=6x-PqyF9CVRE>、<http://www.indiawaterportal.org/blog/category/ecosan/>

その他の

希望者は現在南インドで実施中の海外協力プロジェクトにボランティアとして参加できる。（例年2月下旬実施）

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 229201 |
| 科目名 | 総合Ⅳ〔ポスト・モダンの世界〕 |
| 担当者名 | 丸小 哲雄 |

講義のねらい 急速な科学の発達による携帯電話とインターネットによる個別化への誘導、学問の細分化による「断絶の経験」が起こり、現在さまざまに個別化された経験が<つながり>の必要とする必然性を見出せるかどうかが問われています。

建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などさまざまな分野が、それぞれが別途に関連なく居座って、個別化され、核化され、特化されて、さまざまな意味を込めて解釈されてきています。核家族、コミュニティからの断絶、オタク族の跋扈、いじめや孤立化の経験、被害者と加害者の両義性、しかも過剰な人権が叫ばれ、現代人は「断絶の経験」の悲劇性を、意識的にしろそうでないにしろ、味わっています。このようなコンテキストで現代のグローバリズムが吹聴されていった経緯があります。

そこで本講義の狙いは、1914年から1995年までの歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）し、近代化（モダニゼーション）における合理性に対する啓蒙思想批判と、その近代化批判に対する主体的な批判能力（主体性の確立）を育むことで現代文明の本質を捉え直すことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 総合Ⅳの性格と意義：総合教育と専門との運動性（1～2）
- 2) 現代という時代状況の捉え方（3）
- 3) 「プレモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題及び言語の恣意性（ソシュールの言語観など）（4～5）
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷（6～9）
- 5) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変化：建築・映画・広告・世界万博の変遷・エロスの変遷・ファッション・モードなどのジャンルに見られる思想の変遷（10～15）
- 6) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判（後期）
 - ①プレモダン・モダンという近代史（16～18）
 - ②モダン思想的批判の源泉（19～21）
 - ③合理性と非合理性理の問題（22～23）
 - ④外部の力と内部の力（24～25）
- 7) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題（26～29）
- 8) レビュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判（30）

**履修上の留意点
成績評価の方法**

授業以外に文庫本・新書版を読み込んでいく読書課題があります。
授業での質疑応答による発表と出席率、前期と後期の読書課題、学年末に提出するターム・ペーパー（レポート課題）

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法・提出日・提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、ファイル用具を用意すること

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 229301 |
| 科目名 | 総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕 |
| 担当者名 | 石原 孝哉 |

講義のねらい イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。
講義の内容・授業スケジュール 日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。

履修上の留意点

毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にするのでコンピューターが使えると便利です。

成績評価の方法

レポート、期末試験により評価します。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 229601 |
| 科目名 | 総合VI〔民族とは何か〕 |
| 担当者名 | おおの ゆうじ 大野 祐二 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。 後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。 |
| 履修上の留意点 | 講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。 |
| 成績評価の方法 | 前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。 |
| 教科書 | 詳細については授業中にプリントで伝える予定です。 |
| 参考書 | 原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房） 吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会） 李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社） |

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 229701 |
| 科目名 | 総合VI〔イスラム〕 |
| 担当者名 | よしだ きょうこ 吉田 京子 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、ユダヤ教、キリスト教との関係性を確認しつつ概論的講義を行い、イスラームの知識を通じセム系一神教の世界観理解を促すことを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | ①セム系一神教 ②預言者ムハンマド ③神のことば ④イスラームの世界観 ④イスラームの実践 ⑤イスラームの分派 ⑥イスラーム神秘主義 これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。 |
| 履修上の留意点 | 授業中の疑問点やコメントを毎回提出。 |
| 成績評価の方法 | 毎回提出のコメント用紙を出席確認に使用。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。 |

| | |
|-------|------------------------------------------|
| 履修コード | 229801 |
| 科目名 | 総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕 |
| 担当者名 | 早川 ^{（はやがわ）} 紀代 ^{（のりよ）} |

講義のねらい

男性と女性、あるいは女性と男性との関係は、個人的にも、また社会的にも、この二〇年のあいだに大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時期である。どのように変り、これからどのように変わっていくのか、また変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間の在りかたを考える場にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？

私たちが当たり前と思っていること、たとえば女はやさしい、男はたくましいといった考えは本当なのか、どうかということにメスをいれたのが1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。このジェンダーという理論がどのようにして誕生したかをとりあげ、女性学と男性学と人間学の間を関係を考える。

b 労働とジェンダー

男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげる。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者の運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、どのようにしたら誰でも、働きかつ家族生活を楽しむ、人間としてバランスのとれた生活を送ることができるか考える。

後期 c 家族とジェンダー

私たちが無意識にすごしている家族は形も親子や夫婦の人間関係も家族ひとりひとりの生き方も大きく変化している。恋愛時代の男女、結婚後の夫と妻の関係はジェンダーが深く影響している。またいろいろな人間関係でつくられている家族のかたちもあらわれている。現代の日本社会では家族をめぐる現象は暗いことが多い。家族を共同生活とらえて将来の家族のあり方を模索する。

d セクシュアリティ

この20年間の変化のなかでもっとも深く大きなものが、人間の性にかんする考え方です。買春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい人びとの間の暴力などをとりあげて、性にかんする固定観念から脱出する道を考える。

履修上の留意点
成績評価の方法

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁

前期試験にかわる夏休みの課題レポート 30%、後期試験 40%、講義内容やビデオ内容に関する意見、感想・出席 30%

教科書

使用しない。参考資料を配布する。

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 履修コード | 229901 |
| 科目名 | 総合VII〔トラブルと法的解決〕 |
| 担当者名 | 中濱 義章・井上 健一・北野 かほる・佐藤 多美夫・中田 英幸・向田 正巳 |

講義のねらい 日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール 第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

| | |
|--------|----------------|
| 中濱 義章 | 消費生活と法 |
| 井上 健一 | 現代社会と商法 |
| 北野 かほる | トラブルが法の問題になるとき |
| 佐藤 多美夫 | 犯罪とは何か |
| 中田 英幸 | 金融取引と法 |
| 向田 正巳 | 契約と不法行為 |

履修上の留意点 各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法 各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。

追試験は、講義の形態上、行わない。特に指定しない。

教科書参考書等 各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 230001 |
| 科目名 | 総合VII〔都市論〕 |
| 担当者名 | 早川 純貴・饗庭 伸・浦田 早苗・堀内 康史・村上 暁信 |

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学あるいは社会学や都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々3回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

■早川純貴『都市論』ガイダンス（1回：4月）

■早川純貴「まちづくりと住民参加」（3回：4月・5月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

■浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（3回：5月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

■堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：6月・7月）

都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心にみていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。

■村上暁信「都市のランドスケープ」（6回：9月・10月）

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

■饗庭伸「市街地整備とアーバンデザイン」（6回：11月・12月）

都市のフィジカルな空間を改善するために市街地整備やアーバンデザインが行われる。首都圏を対象に、近年の都市空間の課題を概観したうえで、それぞれの課題に対する取り組み、方法を論じる。

履修上の留意点
成績評価の方法

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを早川が総合して評価する。

3. 外国語科目

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 238001 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | 笹倉 貞夫 |

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1~5) AMAZING ANIMALS、(6~10) YOUR AMAZING BODY、(11~14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16~20) AMAZING FIRSTS、(21~25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26~29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書 M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 238101 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | 田中 靖子 |

講義のねらい 基本的な作文で、口語英語表現に慣れながら、実践的な会話力を高めていくことをねらいとします。前期(1~14)基本的な文法事項を確認しながら、Pair Workなどの会話演習により、英語運用力を高めていく。

講義の内容・授業スケジュール (15) 総括

後期(1~14)グループでの Discussion Presentationなどの活動をとって英語で意思伝達ができる力を養っていく。(15) 総括

履修上の留意点 休まずに出席して、activitiesに参加することが求められます。事前に出した課題を基に授業を展開します。

成績評価の方法 前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。評価は前期、後期のテスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

教科書 Fifty-Fifty (Pearson Longman)

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 238201 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | 本間 俊一 |

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の理解とその応用表現を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。

パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 BBC Documentary: Natural Remedies

「DVDで学ぶ BBCドキュメンタリー」(桐原書店) 2,200円 ISBN4-342-54820-8

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 238301 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | 飯沼 好永 |

講義のねらい 入学時の英語力を基礎とし、より正確な英語表現を身に付けることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 大学生の日常生活に基づいた例文等が取り上げられているので、各自の実状に合った英文も作成できるよう、基本的な英語表現を学びながら、応用的な英語表現の修得も目指します。テキストの各単元とプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書 山村三郎、木下裕昭、小峰和子『Expanding Your Writing Skills』（朝日出版）1,600円 ISBN4-255-15269-1

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 238401 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | 依田 梨花 |

講義のねらい この授業では、文法や構文の基礎を徹底させるとともに、英語特有の言い回しや日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語表現に磨きをかけていきます。TOEIC対策にもなります。

講義の内容・授業スケジュール 初回の授業で説明します。

履修上の留意点

- ・必ず、英和・和英辞書を持参のこと。（電子辞書可）
- ・原則として、全授業数の三分の一以上を欠席すると単位を取得できません。
- ・遅刻3回で1回の欠席になります。

成績評価の方法 授業中の姿勢を重視し、定期試験、授業での発表、提出物等を合わせて総合的に評価します。

教科書等 初回の授業で提示します。

参考書等 適宜、授業中に提示します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 238501 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | 西原 克政 |

講義のねらい 身体部位を使った英語の慣用表現をうまく使いこなせるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 英語の身体表現と日本語の身体表現との相違と類似の文化的背景を考察し、その表現を用いた会話での言いまわしを理解した上で、その表現を自由英作文へと応用していく。

履修上の留意点 授業に際して予習に最も力を入れること。

成績評価の方法 授業回数の3分の2以上の出席が必要となる。授業でのプレゼンテーションを評価しその平均を成績評価の対象とし、総合的に判断評価する。

教科書 稲葉・エリオット・西原（編著）『トーキング・ボディ』（港の人、2008）予価2000円

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 238511 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | はぎわら てる 萩原 輝 |

講義のねらい 入学時の英語力を土台にして、更に上の語学力を身に付ける。様々な文章を読みながら、自分の考えを英語で表現する力を養う。

講義の内容・授業スケジュール
 (前期)
 第1回 インTRODakション
 第2～4回 KIRIN
 第5～7回 EDWIN
 第8～10回 NPC
 第11～13回 KOBAYASHI Pharmaceutical
 第14回 前期のまとめ
 第15回 前期試験
 (後期)
 第1回 ITOUCHU
 第2～4回 KAMEDA SEIKA
 第5～7回 URAWA RED DIAMOND
 第8～10回 TERUMO
 第11～13回 DAISEKI
 第14回 後期のまとめ
 第15回 後期試験

**履修上の留意点
成績評価の方法** 毎時間、英和、和英辞典を持参すること。
出席(全体の2/3以上)、授業態度、課題(レポート、プレゼンテーション等)、前・後期の試験結果等の総合評価。

教科書 Moving ahead in the 21st Century : 12 Forward-looking Companies
Brenda Hayashi 他・著(松柏社)
ISBN978-4-88198-616-5

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 238801 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | ほんま としかず 本間 俊一 |

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の理解とその応用表現を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 『TOEIC TEST: Step by Step』(南雲堂)1,900円
ISBN4-523-17418-0 C0082

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 238901 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | <small>いわはら やすお</small> 岩原 康夫 |

講義のねらい ライティングによる日常的なコミュニケーション能力の向上。
講義の内容・授業スケジュール 一定の基本的な動詞の構文と用法を学習し、その応用力を養う。前期は“be”“go”“come”(2～5)“take”“put”(6～10)“make”“have”(11～15)などを中心に学び、後期は“get”“give”(1～4)“stay”“keep”(5～7)“lose”“find”“do”(8～12)の順で練習し、最後にパラグラフの構成を学ぶ。(13～15)
履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。
成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。
教科書 Shinichiro Torikai, Cultivating Writing Skills (朝日出版) 2000円
 ISBN4-255-15280-2 C1082

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 239001 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | <small>よだ りか</small> 依田 里花 |

講義のねらい この授業では、文法や構文の基礎を徹底させるとともに、英語特有の言い回しや日本語とのニュアンスの違いを具体的に学びながら、英語表現に磨きをかけていきます。
講義の内容・授業スケジュール 初回の授業で説明します。
履修上の留意点 ・必ず、英和・和英辞書を持参のこと。(電子辞書可)
 ・原則として、全授業数の三分の一以上を欠席すると単位を取得できません。
 ・遅刻3回で1回の欠席になります。
成績評価の方法 授業中の姿勢を重視し、定期試験、授業での発表、提出物等を合わせて総合的に評価します。
教科書 初回の授業で提示します。
参考書等 適宜、授業中に提示します。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 239101 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | <small>にしはら かつまさ</small> 西原 克政 |

講義のねらい 身体部位を使った英語の慣用表現をうまく使いこなせるようにする。
講義の内容・授業スケジュール 英語の身体表現と日本語の身体表現との相違と類似の文化的背景を考察し、その表現を用いた会話での言いまわしを理解した上で、その表現を自由英作文へと応用していく。
履修上の留意点 授業に際して予習に最も力を入れること。
成績評価の方法 授業回数の3分の2以上の出席が必要となる。授業でのプレゼンテーションを評価しその平均を成績評価の対象とし、総合的に判断評価する。
教科書 稲葉・エリオット・西原(編著)『トーキング・ボディ』(港の人、2008) 予価2000円

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 239201 |
| 科目名 | 英語ⅠA |
| 担当者名 | 萩原 ^{はぎわら} 輝 ^{てる} |

| | |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 入学時の英語力を土台にして、更に上の語学力を身に付ける。様々な文章を読みながら、自分の考えを英語で表現する力を養う。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (前期) 第1回 インTRODakション 第2～4回 KIRIN 第5～7回 EDWIN 第8～10回 NPC 第11～13回 KOBAYASHI Pharmaceutical 第14回 前期のまとめ 第15回 前期試験 (後期) 第1回 ITOUCHU 第2～4回 KAMEDA SEIKA 第5～7回 URAWA RED DIAMOND 第8～10回 TERUMO 第11～13回 DAISEKI 第14回 後期のまとめ 第15回 後期試験 |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 毎時間、英和、和英辞典を持参すること。 出席(全体の2/3以上)、授業態度、課題(レポート、プレゼンテーション等)、前・後期の試験結果・等の総合評価。 |
| 教科書 | Moving ahead in the 21st Century : 12 Forward-looking Companies Brenda Hayashi 他・著(松柏社) ISBN978-4-88198-616-5 |

| | |
|-------|-----------------------------------------------|
| 履修コード | 240211 |
| 科目名 | 英語IA〔基礎英語特別クラス〕 |
| 担当者名 | 落合 <small>おちあい</small> 和昭 <small>かずあき</small> |

外国語

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の基礎から中級（英検三級、準二級、二級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を、リスニングを通して、学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はリスニングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、二人以上の対話形式の場合もある）。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『基本文型』 Lesson 1
- 第三回 『口語表現』 Chapter 1
- 第四回 『基本文型』 Lesson 2
- 第五回 『口語表現』 Chapter 2
- 第六回 『基本文型』 Lesson 3
- 第七回 『口語表現』 Chapter 3
- 第八回 『基本文型』 Lesson 4
- 第九回 『口語表現』 Chapter 4
- 第十回 『基本文型』 Lesson 5
- 第十一回 『口語表現』 Chapter 5
- 第十二回 『基本文型』 Lesson 6
- 第十三回 『口語表現』 Chapter 6
- 第十四回 『基本文型』 Lesson 7
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『口語表現』 Chapter 7
- 第十七回 『基本文型』 Lesson 8
- 第十八回 『口語表現』 Chapter 8
- 第十九回 『基本文型』 Lesson 9
- 第二十回 『口語表現』 Chapter 9
- 第二十一回 『基本文型』 Lesson 10
- 第二十二回 『口語表現』 Chapter 10
- 第二十三回 『基本文型』 Lesson 11
- 第二十四回 『口語表現』 Chapter 11
- 第二十五回 『基本文型』 Lesson 12
- 第二十六回 『口語表現』 Chapter 12
- 第二十七回 『口語表現』 Chapter 13
- 第二十八回 『口語表現』 Chapter 14
- 第二十九回 『口語表現』 Chapter 15
- 第三十回 後期試験

※上記の『基本文型』は『基本文型からコミュニケーションへ』、『口語表現』は『口語英語の基本的総合演習（改訂版）』。

なお、リスニング及び発音練習は毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の予習を前提にして、徹底した演習形式を取ることで、学生の積極的な参加を求める。「前期試験」、20%、「後期試験」、20%、「授業中の評価（課題・授業中の発表・小テスト等を含む）」、60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『基本文型からコミュニケーションへ』 朝日出版社 1,400円 ISBN978-4-255-15442-8 C108
- 2) 『口語英語の基本的総合演習（改訂版）』 鶴見書店 1,400円
- 3) プリント

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 244701 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 藤井 道行 |

講義のねらい 英文を受身的でなく、アクティブに読むコツを多様な素材から身につけることを目的とした授業です。とにかく、たくさん英文を読み、たくさん問題に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール
 1回目：ガイダンス
 2～6回目：Chapter 1～3
 7回目：試験（1）
 8～14回目：Chapter 4～6
 15回目：試験（2）
 16～22回目：Chapter 7～9
 23回目：試験（3）
 24～29回目：Chapter 10～12
 30回目：試験（4）

成績評価の方法 前・後期各2回実施する4回の試験が、評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書 Cheryl Pavlik “Hot Topics 2” センゲージ ラーニング ¥2,415 ISBN978-1-4130-0706-0

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 244801 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 木元 喜久子 |

講義のねらい 地球規模で深刻化する食料、人口、環境、エネルギーなどの問題を論じたエッセイを読みながら、実践的な英文読解スキルの修得だけでなく、国際的視野や感覚を磨くと共に、学生が自ら考えていく力を養うことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール
 前期— ch.1—6, Information and Misinformation, Saving Tropical Rainforests, Concerning Happiness, Gizma Addiction, Coping with Noise, The Whaling Debate,
 後期— ch.6—12, Food, Sweatshop Labor, Japan’s Declining Population, Poverty, Global Warming, Energy. また、エッセイのトピックスと関連した短いリスニング教材を使った聞き取り練習。

履修上の留意点 十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。毎回、辞書は必携の事。

成績評価の方法 成績は出席率（全授業の2/3以上）、授業中の課題や発表と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書 David Peaty 著、及川正博他編注、『Confronting the Issues —世界と向き合うための12章』（金星堂）ISBN978-4-7647-3886-7

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 244901 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 海琳 泰子 |

講義の内容・授業スケジュール Reading —先端技術がもたらす光と影の両面に目を向け、現代社会で話題になっている科学、医療、環境をテーマにした評論を読む。①微生物②遺伝子③科学の倫理④幹細胞⑤津波⑥⑦人口⑧～⑩石油⑪⑫飢餓⑬ナノテク⑭ハイブリッドカー⑮まとめ⑯サイボーグ⑰ネット犯罪⑱～㉓宇宙⑲進化論⑳自然の再生㉑⑳地表面の再生㉒㉓自然遺産㉔まとめ Listening — BBC World のニュースの聞き取り

成績評価の方法 前後期末試験60%（欠試は不可）ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%

教科書 Bruce Allen 宍戸真著 Imagining Tomorrow 「明日を見つめて—科学・社会・自然—」成美堂1800円 ISBN978-4-7919-1032-8

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 245001 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 亀田 三重子 |

講義のねらい テキストの英文の内容をしっかりと把握させ、関連した実用英語の訓練を行なう。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進め、内容を吟味する。関連した記事も読んでゆく。ビデオ使用。

履修上の留意点 予習を必ずしてくる事。辞書必携、私語厳禁。

成績評価の方法 ①授業への参加度。学習意欲 ②ミニテスト、宿題、前期、後期の試験結果。

教科書 テキストは初回授業で知らせる。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 245101 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 海琳 泰子 |

講義の内容・授業スケジュール Reading 一米国の一般人向け科学週刊誌 Science News より15トピック選んで作られたテキストを読む。①②言語能力③④瞑想⑤⑥ロボット⑦⑧ Cowbirds ⑨⑩E型肝炎⑪⑫フレスコ画修復⑬⑭アリ⑮まとめ⑯重罪⑰エルニーニョ現象⑱パニック⑲⑳南極海㉑㉒惑星㉓㉔ティラノサウルス㉕㉖禁煙㉗㉘ナノ光学㉙まとめ Listening — BBC World のニュースの聞き取り

成績評価の方法 前後期末試験60%（欠試は不可）ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%

教科書 Kevin Cleary 松本和子 野崎嘉信著 Science Speaks「最新科学の贈り物」金星堂1850円 ISBN978-4-7647-3867-6

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 245201 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 藤井 道行 |

講義のねらい 英文を受身的でなく、アクティブに読むコツを多様な素材から身につけることを目的とした授業です。とにかく、たくさんの英文を読み、たくさんの問題に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール 1回目：ガイダンス
2～6回目：Unit 1～2
7回目：試験（1）
8～14回目：Unit 3～4
15回目：試験（2）
16～22回目：Unit 5～6
23回目：試験（3）
23～29回目：Unit 7～8
30回目：試験（4）

成績評価の方法 前・後期各2回実施する4回の試験が、評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書 Natasha Haugnes/Beth Maher NorthStar 2 (Reading and Writing) Third Edition Pearson Longman ¥2,730 ISBN0-13-240991-7

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 245211 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 木元 喜久子 |

講義のねらい 環境、教育、経済、健康・医療などの問題を論じたエッセイを読みながら、実践的な英文読解スキルの修得だけでなく、国際的視野や感覚を磨くと共に、世界情勢への理解を深めることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 前期— Unit 1-7, Gorilla Tourism, Reducing Poverty in India and Bangladesh, The Center for Alternative Technology, Clearing Landmines, An Ethical Bank, Stewardship Programs, Medicine for the Poor,
後期— Unit 8-14, A Computer for Every Child, The Eco-Economy, Buying Paradise, Environment-Friendly Paper, Combating Global Warming, An Ethical Cup of Tea, Organic Farming Can Feed to World. また、エッセイのトピックスと関連した短いリスニング教材を使った聞き取り練習。

履修上の留意点 毎回必ず予習し、辞書は持参すること。また、積極的な授業参加・発表が求められる。

成績評価の方法 成績は出席率（全授業の2/3以上）、授業中の課題や発表と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書 David Peaty・及川正博編著、『Good News book 2』（『続・グッドニュースで読む世界の動き』（桐原書店）ISBN978-4-342-54960-1

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 245501 |
| 科目名 | 英語I B |
| 担当者名 | 木元 喜久子 |

講義のねらい 地球規模で深刻化する食料、人口、環境、エネルギーなどの問題を論じたエッセイを読みながら、実践的な英文読解スキルの修得だけでなく、国際的視野や感覚を磨くと共に、学生が自ら考えていく力を養うことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 前期— ch.1-6, Information and Misinformation, Saving Tropical Rainforests, Concerning Happiness, Gizma Addiction, Copingwith Noise, The Whaling Debate, 後期— ch.6-12, Food, Sweatshop Labor, Japan's Declining Population, Poverty, Global Waming, Energy. また、エッセイのトピックスと関連した短いリスニング教材を使った聞き取り練習。

履修上の留意点 十分な予習と積極的な参加・発表が求められる。毎回、辞書は必携の事。

成績評価の方法 成績は出席率（全授業の2/3以上）、授業中の課題や発表と前・後期試験の結果を総合して評価する。

教科書 David Peaty 著、及川正博他編注、『Confronting the Issues 一世界と向き合うための12章』（金星堂）ISBN978-4-7647-3886-7

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 245601 |
| 科目名 | 英語I B |
| 担当者名 | 藤井 道行 |

講義のねらい 英文を受身的でなく、アクティブに読むコツを多様な素材から身につけることを目的とした授業です。とにかく、たくさん英文を読み、たくさん問題に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール 1回目：ガイダンス
2～6回目：Chapter 1～3
7回目：試験（1）
8～14回目：Chapter 4～6
15回目：試験（2）
16～22回目：Chapter 7～9
23回目：試験（3）
23～29回目：Chapter 10～12
30回目：試験（4）

成績評価の方法 前・後期各2回実施する4回の試験が、評価の決め手となります。また、出席不良の場合は、受験資格を失うので注意すること。

教科書 Chris Gough “Essential Reading 1” マクミラン ランゲージハウス ￥2,499 ISBN978-4-7773-6189-2

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 245701 |
| 科目名 | 英語I B |
| 担当者名 | 海琳 泰子 |

講義の内容・授業スケジュール Reading — 2008年8月、私は鉄道で München, Würzburg, Frankfurt へと移動した。Frankfurt では、Euro Tower 等の高層ビルが印象的であった。ヨーロッパの祭りをビデオでたどる。①②街の基本構造③～⑤レガッタ⑥～⑧ファスナハト⑨⑩ワイン祭り⑪～⑭アルコイの祭り⑮まとめ⑯⑰オメガング⑱～⑳4月祭㉑～㉒オクトーバーフェスト㉓～㉔2007年、2008年のドイツ㉕～㉖ベルヒテン(30)まとめ Listening — BBC World のニュースの聞き取り

成績評価の方法 前後期末試験60%（欠試は不可）ニュースの聞き取り20%授業中の解答10%出席10%

教科書 D.Duly、丸橋良雄、佐川昭子編注 Touring the Great Festivals of Europe「ビデオで周遊・ヨーロッパの祭り」北星堂書店1700円 ISBN4-590-01098-4

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 245801 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 岸本 茂和 <small>きしもと しげかず</small> |

講義のねらい Back-to-Basics! ー基本に帰ることーをこのクラスの最大の標語としたい。かなりの分量の英文を読みながら、英語学習の Basics である「5文型」の徹底的理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール この伝記をさいごまで読了したい。前期で1～5章、後期で6～10章を目標とする。時間の経済のため前期の後半部分と後期の前半部分を夏季休暇中に各人に読むことを要請することになるであろう。各期に1回ずつ《遊び時間》をもうけ、「固有名詞の発音」と「英語慣用句」を学ぶ。前期・後期の最終週にそれぞれ前期・後期試験を実施する。

履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかみならず携行のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

成績評価の方法 前期・後期試験の結果および出席状況等をかみ評価する。

教科書 Russell Freedman-The Wright Brothers : How They Invented the Airplane.(Holiday, USA). 定価2,075円 (2008年12月現在) ISBN: 0-8234-1082-X (pbk)

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 245901 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 亀田 三重子 <small>かめだ みえこ</small> |

講義のねらい テキストの内容を吟味するまでもってゆきたい。応用の実用英語も行う。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進め、内容を深く理解させる。その為、ビデオや関連した新聞記事を見たり読んだりする。

履修上の留意点 必ず予習をする事。辞書必携、私語厳禁。

成績評価の方法 ①出席率。学習意欲②中間テストと前、後期試験の結果を総合的に評価する。

教科書 テキストは初回授業で知らせる。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 246931 |
| 科目名 | 英語IB〔基礎英語特別クラス〕 |
| 担当者名 | 亀田 三重子 <small>かめだ みえこ</small> |

講義のねらい 英語の基礎固めを行い、英語に親しみを持たせたい。

講義の内容・授業スケジュール 文法を中心に、しっかり英文を読めるようにする。又、英会話などを行う。

履修上の留意点 私語厳禁。辞書は必ず持ってくる事。

成績評価の方法 ①授業への参加度、授業態度、②ミニテスト、前、後期の試験結果を総合的に判断する。

教科書 テキストは初回授業で知らせる。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 252201 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | 塚本 利男 <small>つかもと としお</small> |

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につけます。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、社会問題や環境問題などについて自分の意見が書けるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフの書き方として、「列挙」、「原因と結果」、「比較」など(2～14)、さらに「定義」、「意見」、「類推」など(16～25)の展開方法を学び、最後に、パラグラフから発展してエッセイの書き方(26～29)を学ぶ。授業の概要の説明(1)をする。前・後期のテスト(15と30)を実施する。授業の総仕上げとして毎回授業の最後に小論文(約30分)を書き提出してもらいます。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する小論文、前・後期の試験に基づく。

教科書 『大学生の英語ライティングーセンテンスからパラグラフへ』 山村三郎・兼頭満里子他(株)金星堂 1,900円+税 ISBN978-4-7647-3835-5

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 252301 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | にしだ よしかず 西田 義和 |

| | |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文がある程度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。 第1回と2回は文の攻略法について 第3回と4回は動詞の構文攻略法について 第5回と6回は時制の構文攻略法について 第7回と8回は仮定法の構文の攻略法について 第9回と10回は態の構文攻略法について 第11回と12回は不定詞の構文の攻略法について 第13回と14回は動名詞の構文の攻略法について 第15回は中間試験 第16回と17回は分詞、分詞構文の攻略法について 第18回と19回は助動詞の構文攻略法について 第20回と21回は名詞の構文攻略法について 第22回と23回は冠詞の構文攻略法について 第24回と25回は代名詞の構文攻略法について 第26回と27回は形容詞の構文攻略法について 第28回と29回は総復習 第30回は期末試験 *その他時間があったらテープを聞いたりして、listening 力を身につけるようにしたい。 |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。 |
| 教科書 | 現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する |

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 252401 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | わたべ こうじ 渡部 孝治 |

| | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 1年生の時学んだ学習を基にして、英語運用能力の向上を目指す。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | リーディングは（直読直解）、リスニングは（速聴速解）、いわゆる同時通訳方式で行なう。同時に英語表現にも力を入れたい。 前期（15回程度） 前半（7回）は基礎的な文章表現を利用して行なう。後半は前半を基にして、応用表現を学ぶ。 後期（15回程度） 前半（7回）は、前期の文章表現よりもやや難解な文章を使用して授業を進める。後半（7回）は、前半の学習を基にして、応用表現を学ぶ。 |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 授業中でできるだけ多くの人を当てていきます。予習は予め全員がやってくること。3分の2以上の出席と前期・後期の2回のテストの成績、授業の参加度合で成績を評価します。 |
| 教科書 参考書等 | 最初の授業時に指示する。 授業時に指示する。 |

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 252411 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | やまぐち あきら 山口 晃 |

| | |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | IAの勉強を土台にして、英語を使って自分の考えを表現する力にみぎきをかける。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 毎回の授業では、正確な発音と英作文の練習を行なう。毎回、十名前後の学生がかならずこの練習・発表を行なうことになる。 |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 辞書は毎回かならず各自、持ってくる。遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。出席、発表、レポートの三つで成績評価を行なう。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。 |
| 教科書 | 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。毎回プリントを配布する。 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 252501 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | <small>いしはら こうさい</small> 石原 孝哉 |

講義のねらい 平易な英文を読み、内容把握、文法、作文、聴解など英語の総合力の向上を目指します。
 講義の内容・ 前期は教科書を中心に基礎力を養い、後期は新聞によく出る法律用語などのプリントを併用して応
 授業スケジュール 用力を身につけます。
 履修上の留意点 必ず予習して出席すること。小テスト、レポートなども適宜実施するので休まないこと。
 成績評価の方法 中間試験、期末試験、小テスト、レポート、平常点などを総合的に評価します。
 教科書 Looking Backward -- Major Events of the 20th Century
 南雲堂 1800円

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 252601 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | <small>かのう こういち</small> 狩野 晃一 |

講義のねらい 一年次の英語力をもとにリスニング、ライティングの更なるスキルアップを目指す。
 講義の内容・ 簡単なリスニングでウォームアップしてから徐々に聴き取りにくいものへと進む。ライティングも
 授業スケジュール 同様。
 履修上の留意点 辞書を持参すること。電子辞書は可。携帯電話での辞書参照は不可。必ず予習復習のこと。積極的
 な授業への参加を期待する。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席が求められる。平常点と各期末に行われる試験で総合的に判断する。
 教科書 教場にて指定する。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 252701 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | <small>ことみ たけし</small> 古富 猛 |

講義のねらい 今まで学習した、文型を使い、会話できることをめざす。
 講義の内容・ 物語を、読み、更に文型をふやす。
 授業スケジュール
 履修上の留意点 予習をしてくることに、専念すること。
 成績評価の方法 前期、後期、試験と予習の状況。
 教科書 未定。

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 履修コード | 253001 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | 風間 ^{かざま} 則比古 ^{のりひこ} |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語の総合的な習得には聞く、話す、読む、書くの4つが必須であるが、ここでの授業は主に読解力を中心に行ない、練習問題で総合的な学習ができるようにした。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>第1週：授業の概要説明</p> <p>第2週～第3週：Reminiscences of Childhood Readings</p> <p>第4週～第5週：Metabolism : The Key to Energy</p> <p>第6週～第7週：Vegetables from the Sea</p> <p>第8週～第9週：Weight and Health</p> <p>第10週～第11週：Frozen Foods</p> <p>第12週～第13週：Milk : Nature's Miracle Food</p> <p>第14週：Food Additives</p> <p>第15週：前期試験</p> <p>第16週～第17週：Bacteria : Friend or Fiend?</p> <p>第18週～第19週：Stress and Aromatherapy</p> <p>第20週～第21週：Fears of Aging</p> <p>第22週～第23週：Big Bang</p> <p>第24週～第25週：The Backbone of the Japanese Economy</p> <p>第26週～第27週：Better Rice and Blue Flowers : Genetic Engineering</p> <p>第28週～第29週：Local Beer</p> <p>第30週：後期試験</p> |
| 履修上の留意点 | 英文を正確に理解するためには文法の勉強も不可欠です。最低限の説明は授業で行ないませんが、自分でも、もう一度勉強しておいて下さい。 |
| 成績評価の方法 | 成績は前、後期1度ずつの試験の結果と、平常点（出席数や授業態度など）を総合して評価します。 |
| 教科書 | 千葉 剛、'Prosperous Life' (『豊かな生活』)、南雲堂 |

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 253101 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | 古富 ^{ことみ} 猛 ^{たけし} |

| | |
|----------------|---------------------------|
| 講義のねらい | 今まで学習した、文型を使い、会話の力をつけること。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 物語を読むことにより、文型をふやすことにつとめる。 |
| 履修上の留意点 | 予習をしてくること。 |
| 成績評価の方法 | 前期、後期と予習の状況による。 |
| 教科書 | 未定。 |

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 履修コード | 253201 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | 高見 ^{たかみ} 陽子 ^{ようこ} |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 文法・構文に関する知識をひろげながら、それらを英語でのコミュニケーションに活かす能力を伸ばすことを目標とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 自分の意見を述べ、議論するうえで必要な英語表現や話の展開の仕方などに慣れ、簡単なグループ・ディスカッションやプレゼンテーションを通して実践することを課題とします。(1～3) 基本表現について(4～9) テキストを用いた練習(10～11) プレゼンテーション(12～15) フィードバックとまとめ |
| 履修上の留意点 | 毎回、辞書を必ず持参してください。 |
| 成績評価の方法 | 前・後期末の試験の結果とプレゼンテーションの評価をベースとして、小テストや授業への参加姿勢などの平常点を考慮し、総合的に評価します。全授業回数の3分の2以上の出席を基本要件とします。 |
| 教科書 | 未定 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 253301 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | 永野 光一 <small>ながの こういち</small> |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

IAを基礎として、より高度な英語による意志伝達（ライティングとスピーキング）の力を養成。Q&Aやペア／グループ・ワーク、ロール・プレイなどの聞く・話す活動や、パラグラフやより長い作文を書く活動を行う。(1) Orientation (2-8) Talking about Myself, A Day in My Life, My Family, My Town and Neighborhood, My Likes and Interests, Reflection & Writing 1, Oral Presentation 1, (9-15) Educational Issues, The Joy of Shopping, The Environment and Our Life, My Campus Life, Health and Dieting, Reflection & Writing 2, Oral Presentation 2 (16) Summer Vacation (17-23) My Kind of Career, Religions and Customs, Romance, Dating and Marriage, Marketing and Economics, Fashion and Trends, Reflection & Writing 3, Oral Presentation 3 (24-30) Society and Its Problems, Travel and Correspondence, Media and Journalism, Sports and Entertainment, Society in the Future, Reflection & Writing 4, Oral Presentation 4

履修上の留意点
成績評価の方法

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。原則として3分の2以上出席すること。出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。小テストとライティングや発表などの課題の成績を入れて総合的に評価。

教科書

Adachi, Kazumi, Nakauye, Masahiko, Takeda, Akihiko and Umeda, Osamu. (2007), "English Writing for Global Communication" (金星堂) 1950円 ISBN978-4-7647-3834-8 C1082

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 253311 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | 落合 真裕 <small>おちあい まこと</small> |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

英語IAで培った英語力を基礎とし、ライティングによる内容伝達力の向上を目指します。日本語と英語の語順の違いや英文の作り方を学びながら、身近な話題について、自分の意見が書けるようになることを目指します。

(1) オリエンテーション
(2~15) Unit 1 : Pre-writing Activity~Unit 7 : Music and Sports
(16~30) Unit 8 : Japan and the UK~Unit 15 : Writing Your Essay

履修上の留意点
成績評価の方法

毎回必ず予習をし、辞書を持参してください。(電子辞書可)
前期・後期試験、授業時の発表、提出物、出席状況などに基づき総合的に評価します。

教科書

Primary Course on Paragraph Writing (成美堂) 1,900+税 ISBN978-4-7919-4629-7

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 257801 |
| 科目名 | 英語IIB |
| 担当者名 | 町田 成男 <small>まちだ せいお</small> |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

IBを基礎として、さらに多くの量を読めるように、大意の把握を心がけ、読む速度をあげる。

1. テキストと英語の話し、2. Unit 1、3. Unit 2、4. Unit 3、5. Unit 4、6. Unit 5、7. Unit 6、8. Unit 7、9. Unit 8、10. Unit 9、11. Unit 10、12. Unit 11、13. Unit 12、14. Unit 13、15. 試験
16. Unit 14、17. Unit 15、18. Unit 16、19. Unit 17、20. Unit 18、21. Unit 19、22. Unit 20、23. Unit 21、24. Unit 22、25. Unit 23、26. Unit 24、27. Unit 25、28. Unit 26、29. Unit 27、30. 試験

履修上の留意点
成績評価の方法

辞書を持参すること。
出席・発表・試験の総合評価。

教科書

履習人数が不確定のため、第1回の授業で発表。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 257901 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 田中 保 |

講義のねらい 基礎的な構文を正確に理解し、英文の大意を把握する力をつけるとともに、次第に読む量を徐々に多くして、読む速度も速めていく。

講義の内容・授業スケジュール [1]Unit1 Billionaires ~ Unit10 The Nobel Prize(1 ~ 14), Examination(15)
[2]Unit11 A Funny Cure ~ Unit20 Extreme Sports(1 ~ 14), Examination(15)

履修上の留意点 授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。わからない単語の意味を調べて、必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法 授業時の発表、前期・後期の試験、プレゼンテーション、授業態度、出席状況等を総合的に検討して評価します。

教科書 『速読の実践演習』(改訂版) (Intermediate Faster Reading Revised Edition) 成美堂、1785円 ISBN978-4-7919-0545-4

外国語

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 258001 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 三幣 友行 |

講義のねらい 英語IBで学んだことを基礎として、英語を正しく読む力のさらなる向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 予習を前提として授業をすすめる。

- 第1回 lesson 1
- 第2回 lesson 1 Exercise
- 第3回 lesson 2
- 第4回 lesson 2 Exercise
- 第5回 lesson 3
- 第6回 lesson 3 Exercise
- 第7回 lesson 4
- 第8回 lesson 4 Exercise
- 第9回 lesson 5
- 第10回 lesson 5 Exercise
- 第11回 lesson 6
- 第12回 lesson 6 Exercise
- 第13回 lesson 7
- 第14回 lesson 7 Exercise
- 第15回 lesson 8
- 第16回 lesson 8 Exercise
- 第17回 lesson 9
- 第18回 lesson 9 Exercise
- 第19回 lesson 10
- 第20回 lesson 10 Exercise
- 第21回 lesson 11
- 第22回 lesson 11 Exercise
- 第23回 lesson 12
- 第24回 lesson 12 Exercise
- 第25回 lesson 13
- 第26回 lesson 13 Exercise
- 第27回 lesson 14
- 第28回 lesson 14 Exercise
- 第29回 lesson 15
- 第30回 lesson 15 Exercise

履修上の留意点 欠席数が授業全体の1/3を超えたら単位は認めない。

成績評価の方法 前期テスト、後期テスト、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。

教科書その他 未定。開講時に指示する。
授業への積極的な参加を望む。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 258011 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 吉江 正雄 <small>よしえ まさお</small> |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英文の美しさを理解し、また広く、世界史や言語の成り立ちを学ぶ。尚、文法事項や構文についても詳しく説明するので、広い知識を身に付ける事ができるようにする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | H.G.Wells の“A Short History of the World”というテキストを通読する。まず辞書をひきながら丹念に英文を逐語訳することから始める。その後、それを誰が読んでもしっかりとした日本語として理解出来る文章になるように指導する。 |
| | 前期 |
| | 1、2、3、4回、 1章 The Beginning of Cultivation |
| | 5、6、7、8回、 2章 The First American |
| | 9、10、11、12回 3章 Sumeria, Early Egypt, and Writing |
| | 13、14回 4章 Primitive Nomadic Peoples |
| | 15回 試験日 |
| | 後期 |
| | 16、17、18、19回 5章 The First Seagoing peoples |
| | 20、21、22、23回 6章 Egypt, Babylon, and Assyria |
| | 24、25、26回 7章 The Primitive Aryans |
| | 27、28、29回 8章 The Last Babylonian Empire |
| | 30回 試験日 |
| 履修上の留意点 | 予習を必ずし、問題意識をもって授業に参加し、質問するようにして欲しい。また、評価の対象にもなるので、積極的に自ら発表をするよう努めて頂きたい。 |
| 成績評価の方法 | 前・後期試験の結果に、平常点（授業中での発表）を加味して評価する。出席点は無い。すなわち、学生は全時間数の三分の一以上出席して始めて受験資格（単位取得の資格）を得ることになる。追試験は行わない。 |
| 教科書 | H.G.Wells 著 “A Short History of the World”（ウェールズの簡約世界史）（こびあん書房） 教室で販売する。 |
| 参考書等 | 授業中に推薦する。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 258101 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 山口 晃 <small>やまぐち あきら</small> |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | I Bの勉強を土台にして、英語の読解力をさらに深める。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 毎回の授業では、英文を深く理解し、解釈するための練習を行なう。 毎回十名前後の学生がこの練習・発表を行なう。 |
| 履修上の留意点 | 辞書はかならず毎回持ってくること。 遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席、発表、レポートの三つで成績評価を行なう。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。 |
| 教科書 | 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。 毎回プリントを配布する。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 258201 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 安齋 薫 <small>あんさい かおる</small> |

講義のねらい これまでに学んだ基礎を生かしながら、さらに多くの量を読めるようにする。同時に Listening 能力の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回 Introduction
2.3 Kabuki
4.5 Hideki Matsui
6.7 The Beauty of Taiwan
8.9 Plant-based Plastics
10.11 Diet and Well-being
12.13 Natto
14.15 Shoyu
16.17 Instant Ramen
18.19 Genetic Engineering
20.21 Carlos Ghosn
22.23 Blue LED
24.25 CSR
26.27 Piracy
28.29.30 Ubiquitous

履修上の留意点 予習をしていくこと。
成績評価の方法 出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前後期試験、レポートで評価する。
教科書 『Dynamic Business and the Environment』（南雲堂）¥1900
ISBN978-4-523-17532-2

外国語

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 258301 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 高橋 佳江 <small>たかはし よしえ</small> |

講義のねらい 語彙を増やして、日常や旅行の際に使える表現を学び、最終的には辞書を余り引かなくても、案内、表示など速やかに読み取れるよう、学習していく。

講義の内容・
授業スケジュール 聞き取り、ディクテーション、読解、作文の分野をバランス良く学んでいく。最低限の予習と十分な復習が必要になる。辞書は必携。

履修上の留意点 授業1回目はガイダンス、2回目以降、1回につき約1課ずつ進んでいく。前期、後期とも、授業最終時に試験を行う。

成績評価の方法 教科書、ノート、辞書を必ず持参すること。
試験：授業時試験。1/3以上欠席の場合は受験を認めない。欠席は、前期後期合わせて概ね7回まで。遅刻3回につき欠席1回とする。なお、部活、病欠、忌引、電車等の遅延の場合は届けを出すこと。試験の点数が前期後期の試験の得点の平均が60点以上の者を合格とする。出席点はないが、授業時の発言点を成績に加味する。

教科書 初回授業時に指示

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 258601 |
| 科目名 | 英語ⅡB |
| 担当者名 | 大庭 直樹 <small>おおいば なおき</small> |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | このクラスは、できるだけ多くの英文を読むことに主眼を置く。パラグラフの内容理解を中心に、大意を把握する練習を行ないます。難解な文を読みこなすための構文・文法に留意した読解練習と、英語特有の表現などについても言及していくつもりである。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 授業は発表形式で進めていきます。そのため、毎回のクラスでは全員が2、3回は発表することになる。予め発表者が決められているが、受講者全員に内容理解についての様々な質問があるので、各自が徹底的に調べて授業に出席する必要がある。 |
| 履修上の留意点 | 必ず、予習をしてからクラスに出席すること。各クラスでは、受講生がすでに英文を読んできていることを前提に、内容理解について発表してもらう。また、予習の段階でわからない箇所、曖昧な箇所を授業中に積極的な質問・ディスカッションによって明らかにしていく、という進め方をしていきます。 |
| 成績評価の方法 | 成績については、まず、クラスに出席すること、3分の2以上の出席が成績評価を受ける前提である。定期試験を前期と後期にそれぞれ一回行なう。定期試験の結果は成績評価の二分の一を占める。授業中の発表、レポートが残りの半分の評価になります。 |
| 教科書 | 教科書については、クラスの最初に指示をする。このクラスは、身近なニュースを集めたテキストを使用し、そのテーマについていろいろな角度から多読をしていくというアプローチをとる。テキスト以外にかなりの量の英文をプリントで配布する。したがって、英文を読む力を身につけるとい以外、受講者はその分野のテーマについては相当な知識を身につける、ということを目指したい。 |
| 参考書等 | 必ず、辞書を持参すること。英文を読めるようになるためには、語彙力を強化しなければならない。多読をしながら、語彙力を増やす訓練をする。 |
| その他 | 受講についての心構え（例えば、ノートの作り方、辞書の使用方法、予習で調べることなど）、開講時にお話しします。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 258701 |
| 科目名 | 英語ⅡB |
| 担当者名 | 尾形 重政 <small>おがた しげまさ</small> |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語ⅡBを基礎として、さらに多くの量の英文をより早く読めるようにすることを目指す。また、短時間で大意の把握を心がけ読む速度を上げていく。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | I : Obituaries II : Disasters III : The Olympics IV : Wars and Revolutions V : Science and Medicine VI : Trails and Sensations VII : Politics VIII : Technology IX : The Arts X : Business and Environment XI : その他 XII : 前期試験及び後期試験 |
| 履修上の留意点 | 予習して授業に望むこと。英和辞典を持参すること。 |
| 成績評価の方法 | 1. 授業数の3分の2以上出席すること 2. 予習をしてきて積極的・主体的に授業に参加すること 3. 前期・後期の試験で一定以上の得点を得ること 以上3点を基に総合的に判断し評価します。 |
| 教科書 | Looking Backward 事件でたどる20世紀 ISBN4-523-17314-1 南雲堂 (¥1,800) |

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 258801 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 伊勢村 定雄 <small>いせむら さだお</small> |

講義のねらい 国際化の時代の中、グローバリズムの本質をとらえつつ、英文の読みだけでなく、発音やイントネーションの基本にも気を配りながら、英語のほうから英語を読むことを身につけるようにする。

講義の内容・授業スケジュール 4月導入(初回から進む)主に reading Aloud -translation-quiz という順序ですすめるが、初回に詳しく説明する。中身についてはテキストに準ずるので、各自前もって見ておくこと。
5月 2課
6月 3～5課
7月 6課 期末考査
10月 7課
11月 8～9課
12月 10課 + 期末考査

履修上の留意点 予習不可欠！辞書持参のこと！

成績評価の方法 考査結果(7割)+授業参加態度(2割)+出席状況(1割)。大きなテストは原則として年2回ある。

教科書 『グローバル市場における競争戦略』、Charles W. Hill 著他数名注、英宝社、2009年：1900円

参考書 なし

その他 なし

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 258901 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 小泉 和弘 <small>こいずみ かずひろ</small> |

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2) Chapter 1 (3) Chapter 2 (4～5) Chapter 3 (6) Chapter 4 (7) Chapter 5 (8) Chapter 6 (9) Chapter 7 (10～12) Chapter 8 (13～14) Chapter 9 (15) 試験 (16) Chapter 10 (17～18) Chapter 11 (19) Chapter 12 (20) Chapter 13 (21～22) Chapter 14 (23～24) Chapter 15 (25～26) Chapter 16 (27) Chapter 17 (28) Chapter 18 (29) ビデオ (30) 試験

成績評価の方法 試験50%、出席率および授業態度50%

教科書 A Well Of Information (鳳書房)

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 258911 |
| 科目名 | 英語II B |
| 担当者名 | 菅原 典子 <small>すがわら のりこ</small> |

講義のねらい 比較文化論的観点に立ち、日米の文化や考え方の違いについて学びながら、英語の運用能力向上をめざします。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進めながら、練習問題もやっていきます。必要に応じて、プリントも利用します。

履修上の留意点 授業は予習をしてくること。

成績評価の方法 前期後期の試験の結果をベースに、日常の発表、出席状況、態度等を入れて総合的に評価します。

教科書 Jim Knudsen, 石井隆之、金澤順一、木村博是、樋口忠彦、松田聡太郎、村松秀紀、Simply America, Simply Japan 『ちょっと日米比較』南雲堂 定価1470円(税込) ISBN4-523-17308-7

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 260401 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 梅原 敏弘 <small>うめはら としひろ</small> |

講義のねらい 専門書を読むために必要な英文読解力の養成を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 論理的な文章を読みこなすためには正確ではばひろい語彙力と同時にしっかりした構文に対する知識が不可欠です。それと同時に英語の思考方式に慣れることも必要です。授業ではテキストの一字一句をゆるがせにしない精読をしていきます。英語の思考の流れにそって理解していけるよう、できる限り頭から訳していくよう指導していくつもりです。

履修上の留意点 事細かに予習してきてください。

成績評価の方法 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。

教科書 塩野弘明編『POINT OF LAW (法廷百話)』(南雲堂) 1,600円+税

参考書 学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 260501 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | ^{まえだ おさむ} 前田 脩 |
| 講義のねらい | 法律を通じて日本と英米の思考方法の違いを学びます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 章わけにしてあるユニットを一回に一ユニットづつすすみます。英字新聞から法律に関係のある記事を取り上げてプリントにして配布します。 |
| 履修上の留意点 | 毎回授業前にしらべておくこと。 |
| 成績評価の方法 | 日常評価を50%、前期テスト、小テストを20%、後期テストを30%の割合で評価します。 |
| 教科書 | English for law (法律の英語) 三修社 ¥1,800 ISBN978-4-384-33364-0 C1082 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 260601 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | ^{わかもと まこと} 岡本 誠 |
| 講義のねらい | テキストを用意するので、自分の Reading の力をあらためて認識・養成するようにしてほしい。読解力養成のいい最後のチャンスである。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 法学部学生諸君が問題意識を持ちやすいテーマを考えてみた。以下のような記事を読んでいく。いずれも世界が直面している問題であり、ただ読んでいくばかりではなく、問われたときに自分の意見が述べられるように考えながら読んでほしい。 |
| 履修上の留意点 | 1.Information and Misinformation 2.Saving Tropical Rainforests: Creative Approaches 3.Concerning Happiness 4.Gizmo Addiction 5.Coping with Noise 6.The Whaling Debate 7.Food: Not Just a Commodity 8.Sweatshop Labor 9.Japan's Declining Population 10.Poverty: Meeting the Millennium Development Goals 11.Global Warming: Beyond Kyoto 12.Energy: Is Nuclear Power Part of the Solution? 予習してあることを前提に進めていくことは言うまでもない。語学力を高めていくにはこの方法しかない。辞書は携帯のこと。ケータイは不要。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期の試験。発表・プレゼンテーション力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。 |
| 教科書 | Confronting the Issues (金星堂) |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 260701 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | ^{よしざわ せいじろう} 吉沢 栄治郎 |
| 講義のねらい | フランクリンの自伝をよんでゆきます。このクラスでも原文と訳文を対照させながら、よんでゆきます。ノート・テーキングすることによって一層深くよめることに気がつくでしょう。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | テキストを中心に、板書を十分に活かして、講義形式で授業を進めていく予定です。一回の授業について原文では1頁から2頁位を目途に進めてゆきます。なお、後期では「基本英作文を視野に収めながら、授業展開でき得ればと考えています。 |
| 履修上の留意点 | 英和辞典の活用をのぞみます。 |
| 成績評価の方法 | ペーパーテストと出席状況、及び提出物の総合評価とします。 |

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 260801 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>たなか たもつ</small> 田中 保 |

講義のねらい 基礎的な構文を正確に理解した上で、読む量を次第に多くし、大意の把握を心がけ、読む速度も高めていく。

講義の内容・授業スケジュール [1]Case of The Bedazzling Blonde ~ Case of The Burned Baby(1~7),Case of The Heart-broken Hat-Checker ~ Case of The Bellicose Bees(8~14),Examination(15),[2]Case of The Cussed Cousin ~ Case of The Bartered Bridegroom(1~7),Case of The Missing Mariner ~ Case of The Bitter Bargain(8~14),Examination(15)

履修上の留意点 授業はテキストにそって進めるが、予習を前提とした発表形式によって行ないます。わからない単語の意味を必ずしらべて、予習して授業に臨むこと。

成績評価の方法 授業時の発表、前期・後期の試験、授業態度、出席状況等総合的に検討して評価します。

教科書 『法廷百話』(POINT OF LAW 1 by Michel Lipman) 南雲堂、1680円
ISBN 42108-0A-108 106800

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 260901 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>はやし あきと</small> 林 明人 |

講義のねらい 少し難易度の高い英文を読みます。

講義の内容・授業スケジュール

| | | | | | |
|----|----------|--------|----|----------|------------|
| 1 | pp.1-2 | 教科書指示 | 16 | pp.1-2 | プリント(2) 配布 |
| 2 | pp.3-4 | (試訳提出) | 17 | pp.3-4 | (試訳提出) |
| 3 | pp.5-6 | | 18 | pp.5-6 | |
| 4 | pp.7-8 | | 19 | pp.7-8 | |
| 5 | pp.9-10 | | 20 | pp.9-10 | |
| 6 | pp.11-12 | (試訳提出) | 21 | pp.11-12 | (試訳提出) |
| 7 | pp.13-14 | | 22 | pp.13-14 | |
| 8 | pp.15-16 | | 23 | pp.15-16 | |
| 9 | pp.17-18 | | 24 | pp.17-18 | |
| 10 | pp.19-20 | | 25 | pp.19-20 | |
| 11 | pp.21-22 | (試訳提出) | 26 | pp.21-22 | (試訳提出) |
| 12 | pp.23-24 | | 27 | pp.23-24 | |
| 13 | pp.25-26 | | 28 | pp.25-26 | |
| 14 | pp.27-28 | | 29 | pp.27-28 | |
| 15 | 前期試験 | | 30 | 後期試験 | |

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。

成績評価の方法 ①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書 4月の最初の授業で指示します。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 261001 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>しらどり よしひろ</small> 白鳥 義博 |

講義のねらい 社会科学系の原書を読むために役立つ語彙を増やし、正確な速読の力を高めるために、多種多様な時事トピックの英文を多読する訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス(2~14)毎回ひとつのUnitを進める(15)前期末試験、後期:(15~28)テキストを進める(29)総復習(30)後期末試験 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。

履修上の留意点 英文を速く、多く読む訓練なので、はじめのうちはつらいかもしれないが、どうかあきらめないでほしい。

成績評価の方法 課題へのとりくみの熱心さ、受講態度の真面目さ、出席状況、定期試験の結果などから総合的に評価する。

教科書 『メディアで学ぶ日本と世界2009/2010』(成美堂、2009年) ¥1,900

| | |
|-------|--------------------------|
| 履修コード | 261101 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | ^{あきかわ まき} 朝川 真紀 |

講義のねらい 英文を読んで身近な法律知識を習得し、法律に関する専門用語を学びます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを使用して、新聞やニュースで取り上げられた事件の裁判を読んでいきます。また簡単な法律英語を暗記していきます。(1) オリエンテーション (2)～(14) Unit1～5 (15) 前期試験 (16)～(29) Unit6～10 (30) 後期試験

履修上の留意点 授業は休まず、毎回予習をしてください。

成績評価の方法 小テスト、課題提出、普段の発表、前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書 西田晴美『TOEIC(R)テストパワーアップ総合講座』(金星堂) 1,950円 ISBN978-4-7647-3874-4

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 261111 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | ^{かわさき えみか} 川崎 笑佳 |

講義のねらい 1年次の読解能力を基礎として、時事問題に関する長文英語の速読上達および正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じてTOEIC、TOEFLその他の教材を利用する。

講義の内容・授業スケジュール (1) プリント使用の授業 (2) Unit1 (3) Unit2 (4) Unit3 (5) Unit4 (6) Unit5 (7) Unit6 (8) Unit7 (9) Unit8 (10) Unit9 (11) Unit10 (12) Unit11 (13) Unit12 (14) Unit13 (15) 試験 (16) プリント使用の授業 (17) Unit14 (18) Unit15 (19) Unit16 (20) Unit17 (21) Unit18 (22) Unit19 (23) Unit20 (24) Unit21 (25) Unit22 (26) Unit23 (27) Unit24 (28)～(29) プリント使用の授業 (30) 試験

履修上の留意点 学生全員が予習していることを前提として授業を進める。

成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末試験の結果をもとに総合的に評価する。

教科書 若有保彦『Meet the World - English through Newspapers - 2009/2010メディアで学ぶ日本と世界2009/2010』(成美堂) 1995円

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 261501 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>くまざわ かずあき</small> 熊沢 和明 |

| | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 映画の魅力を利用し、現在の生きた社会問題を考えながら、英語文化の理解を深める。文化的な内容のある語学学習を目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 現代英語映画を題材にした総合教科書を使い、映画化された社会問題を多読し、語彙力、読解能力を伸ばします。英語字幕を早読みする能力も身に付けます。 <ol style="list-style-type: none"> Unit 1 Volunteer Unit 1 Volunteer Unit 2 Child Abuse Unit 2 Child Abuse Unit 3 Internet Love Unit 3 Internet Love Unit 4 Women and Jobs Unit 4 Women and Jobs Unit 5 Barrier Free Unit 5 Barrier Free Unit 6 Racial Problems Unit 6 Racial Problems Unit 7 Computer and CG Unit 8 Computer and CG Unit 9 Drugs Unit 9 Drugs Unit 10 Modern Medical Treatment Unit 10 Modern Medical Treatment Unit 11 Mass Media Unit 11 Mass Media |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 映画だけでなくPCゲームを利用した授業も行います。 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。 出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。 |
| 教科書 その他 | PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。 EVERY MOVIE TELLS A STORY 金星堂 PS2、PS3、XBOX360、PCなど各種プラットフォームのゲームソフトも利用します。 |

| | |
|-------|------------------------------------------------|
| 履修コード | 261601 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>たかの ひでお はまぐち まさき</small> 高野 秀夫・濱口 真木 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 現代地球社会を巡る諸問題に関するテーマを取り上げ、テキストを読み進めながら、社会学等の分野で論文を書くための基礎知識を身につける。Information and Misinformation ~ The Whaling Debate(1 ~15)、Food:Not Just a Commodity ~ Energy:Is Nuclear Power Part of the Solution?(16 ~30) |
| 成績評価の方法 | 出席や発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価。 |
| 教科書 | Confronting the Issues (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3886-7C1082 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 261701 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>ひろかわ おさむ</small> 広川 治 |

講義のねらい 映画のシナリオや関連記事, さらには洋楽の歌詞などをテキストとし、文法や表現を確認しながら、リスニング、単語力、読解力を高めていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (4月) 授業の説明・洋楽
(5・6月) 映画
(6・7月) テスト
(9月) 洋楽
(10・11月) 映画
(11・12月) テスト

履修上の留意点 遅刻は欠席扱いとする。授業中の居眠り、私語などは厳しくチェックする。

成績評価の方法 前・後期のテストと平常点で評価する。

教科書 プリントを配布する。

参考書等 授業内で紹介の予定。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 261711 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>ささくら まなむね</small> 笹倉 貞夫 |

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1~5) AMAZING ANIMALS、(6~10) YOUR AMAZING BODY、(11~14) OUR AMAZING UNIVERSE、(15) テスト、(16~20) AMAZING FIRSTS、(21~25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS、(26~29) AMAZING ODDS & ENDS、(30) テスト

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書 M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』(太陽社) ¥1,400

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 261801 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>たなか やすこ</small> 田中 靖子 |

講義のねらい 本授業では世界史に残る名演説の英文を講読しながら、語彙力、文法力、背景知識の習得をめざしていくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期(1~14) リンカーン、マザー テレサ、キング牧師のスピーチとその時代背景を学ぶ。読解力を向上させるために、文法事項や英語の構造を確実に理解する。(15) 総括
後期(1~14) ケネディの就任演説、ヘレン ケラー、アウンサン スーチのスピーチとその時代背景を学ぶ。(15) 総括

履修上の留意点 本授業は事前の予習を前提にして進めていくので、必ず予習をしてから授業に臨んでください。

成績評価の方法 前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。評価は、前期、後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

教科書 心に残る言葉 (Words to Remember) 桐原書店 580円

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 261901 |
| 科目名 | 英語IID 英語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 手島 敬子 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本授業は、法律あるいは政治を題材にした教材を通し、法学や政治学を学ぶ学生にとって必要な語彙や表現の習得を図ると同時に、英語1Bに引き続き、一層の「読解力の向上」を目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 標準的な英文を読む上で必要な語彙、文法などに対する理解に留意しながら、法律あるいは政治に関する英文を正確に読み取る練習を行います。 <授業スケジュール> 前期 第1回 ガイダンス 第2回以降 毎回1課ずつ進めて行く予定です。 前期授業最終日 前期試験 後期 第1回 前期試験答案返却 第2回以降 毎回1課ずつ進めて行く予定です。 後期授業最終日 後期試験 授業は予習、復習が前提となります。教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。 |
| 履修上の留意点 | 最低2/3以上の授業出席が必要となります。 遅刻厳禁（30分以上の遅刻は原則欠席扱い） 課題は必ず期限を守って提出して下さい。 授業時には必ず辞書を持参して下さい。 |
| 成績評価の方法 | 前期試験、後期試験、課題、出席状況、授業への参加度等に基づき、総合的に評価します。 |
| 教科書 | 開講時に指示します。 |
| その他 | 授業、成績等に関する質問、相談は遠慮なく早めにしましょう。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 266901 |
| 科目名 | ドイツ語IA |
| 担当者名 | 河上 和史 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義の内容・授業スケジュール | 近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずで、知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。 |
| 成績評価の方法 | 授業と試験を総合して判断する。 |
| 教科書 | 「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 266911 |
| 科目名 | ドイツ語IA |
| 担当者名 | 井村 行子 |

| | |
|----------------|----------------------------------|
| 講義のねらい | ドイツ語の文法の基礎を学びます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 教科書に沿って進めます。 |
| 成績評価の方法 | 前期と後期の筆記試験の成績によります。 |
| 教科書 | 現在まだ未定ですが、学期初めまでに書店のほうに連絡しておきます。 |

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 267801 |
| 科目名 | ドイツ語IB |
| 担当者名 | まつおか すずむ 松岡 晋 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 文法事項の説明はできるだけ簡略に行い、実際のドイツ語の文章により多く触れることによってドイツ語理解の基礎を築くことを、この授業の目標とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1~2) 文字と発音の原則の説明 (3~4) 第1課 [人称代名詞と動詞の現在人称変化] (5~6) 第2課 [名詞の性と冠詞] (7~9) 第3課 [幹母音の変わる動詞、前置詞] (10~11) 第4課 [複数名詞、男性弱変化名詞、定冠詞類・不定冠詞類] (12~14) 第5課 容詞と副詞 (15~17) 第6課 [分離・非分離動詞、不定代名詞] (18~20) 第7課 [話法の助動詞、未来形] (21~23) 第8課 [再帰動詞、非人称動詞、時刻] (24~26) 第9課 [動詞の三基本形、過去時制、完了時制] (27~29) 第10課 [関係代名詞 (30) まとめ |
| 履修上の留意点 | 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。 |
| 成績評価の方法 | 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。 |
| 教科書 | 須賀洋一ほか著『はじめて学ぶドイツ語文法読本(第二版)』、白水社、¥2,100 ISBN978-4-560-01394-6 |
| 参考書等 | 初回の授業で独和辞典を数種類、紹介いたします。 |

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 267811 |
| 科目名 | ドイツ語IB |
| 担当者名 | ほりうち みえ 堀内 美江 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ヨーロッパのなかで特別な歴史を持ちながら、今でも重要な役割を担うドイツという国を、言葉を勉強しながら体験していきます。実際に使われる会話を練習しながら、文法的な知識を確認し、話す、聞く、書く、読むといった総合的な力を身につけていきましょう。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 教科書に沿って授業を行います。第1回目はオリエンテーションを兼ねます。2回目以降は、前期は1~3課まで、後期は4~7課までを予定しています。 |
| 履修上の留意点 | 言葉を学ぶには、最初はまずできるだけたくさんその言葉に触れることです。出席はそのためにとても大切です。また、新しいことを学ぶのですから、途中でわからなくなることもあるかと思いますが、どんな質問でもよいですから、わからなくなったら何でも尋ねてくださいね。 |
| 成績評価の方法 | それぞれの課の最後に小テストを行い、自分の学習度を確認していただきます。その小テストの合計と、出席、平常点などを含めた総合評価を行います。 |
| 教科書 | 飯田道子/江口直光著『Abfahrt アプファールト スキットで学ぶドイツ語』三修社 2400円(定価) 978-4-384-12249-7 C1084 |
| 参考書等 その他 | 要望に応じて教場でお伝えします。 できるだけドイツの文化などを紹介できるモノや映像をお見せしたいと考えています。また、授業も皆さんの理解度を見ながら、授業を進めていきますので、安心して出席してください。 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 268101・268311 |
| 科目名 | ドイツ語IIA |
| 担当者名 | <small>まつおか すすむ</small> 松岡 晋 |

講義のねらい 一年次に学んだ文法知識を基礎にして、平易なドイツ語の文章を読みます。教科書の各課には文法事項のまとめも記されていますので、文法の復習も行うつもりです。教科書の読章の部分は内容が徐々にレベル・アップしてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール (1)発音の復習、数字の読み方 (2)第1課 Hier wohne ich (3~4)第2課 Ein Sonntag im Park (前置詞など) (5~6)第3課 Hilfst du mir, so helfe ich dir (副文など) (7~8)第4課 Über den Wolken (形容詞の格変化など) (9~10)第5課 Ich habe noch so viel vor (再帰動詞と分離動詞) (11~12)第6課 Eine tolle Überraschung (過去時制、完了時制) (13~14)第7課 Urlaub (命令形など) (15~16)第8課 Meine Lieblingscafe(関係代名詞) (17~19)第9課 Bevölkerungsexplosion (zu 不定詞など) (20~21)第10課 Was kann ich tun (受動態) (22~23)第11課 Immer nur Würstchen mit Sauerkraut?(接続法) (24~25)第12課 Sonderbare Menschen (分詞について) (26~30)復習とまとめ

履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。

成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。

教科書 諏訪功ほか著『ドイツ語の探検』、朝日出版社、¥1,900 ISBN4-255-25168-1

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 268111 |
| 科目名 | ドイツ語IIA |
| 担当者名 | <small>いせいつか きみお</small> 飯塚 公夫 |

講義のねらい ここ1,2年、1年の文法事項がほとんど頭に入っていないように見受けられるので、前期は復習と練習問題をやっていきます。辞書を早く引き、頭をなるべく早く回転させることが目的です。後期は普通のドイツ語の文章を読む予定です。

講義の内容・授業スケジュール 前期：文法の説明を大雑把にやっから、練習問題を順番に当ててやってもらいます。

後期：前期、問題をやりながら、程度を見て考えます。

履修上の留意点 辞書を毎回持って来ること(完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい)。辞書を引く気のない人は出ないでください。

成績評価の方法 前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)。

教科書 前期：松本嘉久著『独検3級・4級受験者のためのチャレンジ・ドイツ語』(同学社)2000円。

後期：未定。

その他 実は、授業で受験勉強みたいなことはやりたくはないのですが、最近、ドイツ語の文章を読んで、内容を把握し、自分の興味を広げていくということが、全くできなくなっているのが、実情です。少なくともこの授業の間は、携帯電話の外の世界で生きてほしいというのが切なる願いです(といっても意味がわからないかもしれませんが)。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 268301 |
| 科目名 | ドイツ語IIA |
| 担当者名 | <small>たけだ としかつ</small> 武田 利勝 |

講義のねらい 前年度に学習した文法の知識を実践的に活用しながら、ドイツ語の長文読解にあたります。さらにテキストの読解を通じて、ドイツのさまざまな文化的背景について、理解を深めます。辞書さえあれば中級程度のテキストを自力で読解できるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション、発音の復習 (2~5)初級レベルの長文読解、基本的な文法事項の復習 (6~15)中級程度の長文読解 (16~30)前期に引き続き、中級以上の長文読解。難易度は皆さんの進捗状況に応じて判断します。

履修上の留意点 本授業では、教員から一方的に教える形態をとりません。読解は基本的にグループ作業で進め、指定時間以内に訳文を作る、という形をとります。チームワーク力を磨くよい機会とも思ってください。また、毎回必ず辞書と文法テキスト(初回授業で指定)を持参のこと。

成績評価の方法 各テキスト終了時に提出してもらおう訳文、また小テストと学期末テスト、そして出席状況を評価の対象とします。また、グループ作業にどれだけ貢献できたかなど、学期末に自己評価してもらいます。

教科書 プリント配布。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 268401 |
| 科目名 | ドイツ語II B |
| 担当者名 | 飯塚 公夫 |

講義のねらい ここ1,2年、1年の文法事項がほとんど頭に入っていないように見受けられるので、前期は復習と練習問題をやっていきます。辞書を早く引き、頭をなるべく早く回転させることが目的です。後期は普通のドイツ語の文章を読む予定です。

講義の内容・授業スケジュール 前期：文法の説明を大雑把にやってから、練習問題を順番に当ててやってもらいます。

履修上の留意点 後期：未定。前期、問題をやりながら、程度を見て考えます。

辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。辞書を引く気のない人は出ないでください。

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書その他 前期：松本嘉久著「独検3級・4級受験者のためのチャレンジ・ドイツ語」（同学社）2000円。

実は、授業で受験勉強みたいなことはやりたくはないのですが、最近では、ドイツ語の文章を読んで、内容を理解し、興味を自分で掘り下げていくということが、まったくできなくなっているのが実情です。少なくともこの授業の間は、携帯電話の外の世界に生きてほしいというのが切なる願いです（といっても意味がわからないかもしれませんが）。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 268501 |
| 科目名 | ドイツ語II B |
| 担当者名 | 藪下 紘一 |

講義のねらい 中級ドイツ語を辞書を引きながら訳す。

履修上の留意点 毎時間指名して1文ずつ読み、訳してもらいます。毎回試験をしているようなものです。出席重視。1回3ページ

成績評価の方法 前・後期各1回50点満点の試験を実施。

教科書 テキスト、A.Raab, T. 石井著、『ドイツ人の一生』、朝日出版（1900円＋税）

参考書等 参考書、辞書等については第1講時に話します。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 268511 |
| 科目名 | ドイツ語II B |
| 担当者名 | 森 公成 |

講義のねらい ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講義中心の授業です。『白雪姫』の初版を、決定版と比べながら読む予定です。ドイツの歌もいくつか紹介します。

最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます。3分の1以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験（年2回）、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書 テキスト（プリント）はこちらで用意します。

| | |
|-------|-----------------------|
| 履修コード | 268701 |
| 科目名 | ドイツ語IID ドイツ語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 志真 斗美恵 |

講義のねらい 1年次に学習したドイツ語の知識を丁寧に総復習しながら、さらにワンランク上の、読む・聞く・話す・書く能力を深めていくことを目標としています。テキストをつうじて、ドイツの日常生活や文化にも触れていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法を復習しながら、現代ドイツの状況をさまざまな側面から取り上げた Lesetext・Dialog を読んだうえで、練習問題に取り組みます。またCDを用いて生きたドイツ語に触れながら、聞き取りや発音練習もおこない、発信するためのドイツ語の表現力を身につけていきます。なお、テキストに加え、教材として適宜プリントを配布します。

履修上の留意点 聞き取り、書き、声に出して言うことを、一人ひとりが積極的に取り組む授業にしたいと思っています。かならず予習をしたうえで、辞書を持って授業に臨んでください。

成績評価の方法 前期・後期の試験および平常点で総合的に評価します。

教科書 荻野蔵平・Andrea Raab 著、『ドイツ暮らしのスケッチ』（新訂版）、朝日出版社、2300円＋税、ISBN978-4-255-25328-2C1084

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 269901 |
| 科目名 | フランス語IA |
| 担当者名 | 伊藤 なお |

講義のねらい 一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・授業スケジュール 1)～3) 受講上の諸注意 / Alphabet と発音の基礎 4)～15) 文法の基礎 (名詞の性と数/冠詞/形容詞/動詞の現在形/近接未来・近接過去/命令形/疑問代名詞など) 16)～29) 文法の発展 (比較級/目的語人称代名詞/動詞の過去形・未来形/関係代名詞など) 30) 復習と今後のフランス語学習について (中級に向けて)

履修上の留意点 ※毎回、発音練習・聴き取り練習問題・文法練習問題に取り組みます。授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる課題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書 太田浩一著『フランス語文法の〈基礎〉』(駿河台出版社) 2,625円

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 269911 |
| 科目名 | フランス語IA |
| 担当者名 | 出口 雅敏 |

講義のねらい この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかり身につけることは、フランス語世界に入ってゆくための大切なプロセスです。この入り口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(4) 発音の基本 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数/冠詞/主語人称代名詞/疑問文・否定文/形容詞/冠詞の縮約/疑問代名詞/比較/動詞の現在時制など) (16)～(29) 文法の発展 (命令文/目的語人称代名詞/代名動詞/中性代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞典やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点 (出席状況・小テストなど) によって評価します。

教科書 藤田裕二『Pascal au Japon (パスカール・オ・ジャポン)』2009年刊 白水社 2,000円+税 ISBN978-4-560-06083-4

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 270901 |
| 科目名 | フランス語IB |
| 担当者名 | 東 辰之介 |

講義のねらい フランス語初級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(3) 発音の基礎 (4)～(15) 基本的表現 (挨拶/自己紹介/好きなものを言う/尋ねる/時間、天候を言うなど) (16)～(29) 発展的表現 (一日を語る/頼む、命令する/未来のことを語る/過去のことを語るなど) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 藤田裕二他著『新・東京一パリ、初飛行』(駿河台出版社) 2,200円+税 ISBN978-4-411-01110-7

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 270911 |
| 科目名 | フランス語I B |
| 担当者名 | <small>とほやま ひろゆき</small> 遠山 博雄 |

講義のねらい 文法の初歩を重ねて学び、それを応用して簡単なスケッチを読み取り、発音すること。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) 授業方針の説明、音の単位の紹介、文法と応用(名詞、冠詞、形容詞、動詞の現在形、疑問文、否定文、所有形容詞等)、(9～15) 同(動詞の現在形のつづき、目的語、命令形等)、(16～24) 同(動詞の未来形、過去形、関係代名詞等)、(25～30) 同(動詞の過去形のつづき、形容詞の比較級、最上級等)。はじめに詳しい説明をします。その後で各自取り組むこと。プリントによる補足もあります。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくる。遅刻をしないこと。声を出すこと。

成績評価の方法 2～3回の筆記試験を予定しています。人数が少なければ口頭試験もあります。

教科書 中村敦子『友だちとフランス語を』白水社、2400円+税、ISBN:4-560-06060-6 C3085

その他 最初の時間に辞書のガイダンスをします。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 271201 |
| 科目名 | フランス語II A |
| 担当者名 | <small>あづま たつゆき</small> 東 辰之介 |

講義のねらい 短い対話文や説明的文章の読解等によって、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(10) 初級文法の復習と未習事項の説明(複合過去、半過去、単純未来、条件法、接続法など) (11)～(20) 対話文の読解(自己紹介、意見を言う、昨日したことを話す、予定、理由、意見を尋ねるなど) (21)～(30) 説明的文章の読解(パリ、カフェ、学生生活、プロヴァンス、政治など)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 澤田直之他著『アミカルマン』(駿河台出版社) 2,500円+税 ISBN978-4-411-01093-3

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 271211・271301 |
| 科目名 | フランス語II A |
| 担当者名 | <small>とほやま ひろゆき</small> 遠山 博雄 |

講義のねらい 1年次の文法事項を復習し、さらに学習を続けながらややまとまった文章やスケッチを読み、発音すること。簡単な会話表現を覚えること。フランスの「今」にふれること。(ビデオ使用)

講義の内容・授業スケジュール (1～5) 1年次の復習、(6～15) 復習から発展へ(動詞の直説法の過去形、未来形、受動態等)、(16～24) 発展学習(動詞の条件法、接続法、現在分詞等)。はじめに文法説明をします。その後各自で取り組むこと。(25～30) 教科書を終了し、プリントで応用読解。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくる。声を出すこと。

成績評価の方法 2回の筆記試験をします。

教科書 中山真彦・杉山利恵子『改訂版ミニ・ボンジュール・パリ』白水社、1900円+税、ISBN978-4-560-06081-0 C3085

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 271401 |
| 科目名 | フランス語II A |
| 担当者名 | <small>いまざき</small> 今関 アン |

講義のねらい 1年次に習得したフランス語の理解を確実にし、仏検4級3級に合格する。

講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス (2～8) 冠詞、動詞の活用、時制、数字0-60 (9～11) 単語配列(12～14) 前置詞 (15) 定期試験
後期:(1～7) 応用問題、数字60-100 (8～11) 聞き取り、会話文 (12～14) 映画鑑賞(15) 定期試験

履修上の留意点 積極的に参加し、仏検合格を目指すこと。

成績評価の方法 平常点40%+定期テスト(60%)

教科書 『ニヴォー・カトル -教室で学ぶ仏検4級-』駿河台出版社

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 271501 |
| 科目名 | フランス語ⅡB |
| 担当者名 | 菅谷 暁 |

講義のねらい フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化についての理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験によります。

教科書 ボームルー著『セレクション・時事フランス語3』（朝日出版社）1,890円

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 271601 |
| 科目名 | フランス語ⅡB |
| 担当者名 | 畑中 千晶 |

講義のねらい 繰り返しCDを聞くことで、語彙や表現を増やし、聞き取り能力を次第に上げていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/詩の暗唱 (2)～(8) 1-1～3-2 (9) 復習、ビデオ視聴 (10)～(12) 4-1/4-2 (13) 会話 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出 (17)～(21) 5-1～7-2 (22) 復習 (23)～(27) 8-1～9-2 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

履修上の留意点 毎回課題を出すので、必ず取り組んでください。課題は提出した分がすべて得点になります(内容を点数化することはありません。参加することに意義がある、というものです)。締切厳守(欠席した場合のみ、次回提出可)。

成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%

教科書 中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』1998年刊(白水社) 1,800円+税

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 271611 |
| 科目名 | フランス語ⅡB |
| 担当者名 | 遠山 博雄 |

講義のねらい 1年次の文法事項を復習しながら学習を継続し、やさしいスケッチや文章を読み、発音すること。簡単な会話表現を覚えること。フランスの「今」にふれること。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) 文法事項と応用(目的語、代名動詞、動詞の直説法の未来形、過去形、関係代名詞、現在分詞等)、(9～15) 同(受動態、動詞の条件法等)、(16～22) 同(動詞の接続法、直接・間接話法等)、はじめに文法説明をします。その後各自で取り組むこと。(23～30)教科書を終了し、プリントで応用読解。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。

成績評価の方法 2回の筆記試験を予定しています。人数が少なければ口頭試験もあります。

教科書 中村敦子・加藤行男著『<改定版> クリケ! クリケ! 2年目のフランス語』第三書房、2,300円+税、ISBN: 978-4-8086-2065-3

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 271801 |
| 科目名 | フランス語IID フランス語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>おのの ひでし</small> 大野 英士 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 少なくとも1年間、フランス文法・会話等フランス語の基礎を学んだ学生を対象に、会話、文法、演習、聞き取りなど、総合的なフランス語能力を養成するクラスです。仏検4級に合格できる実力を養成することを目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音の復習 (3)～(4) 郵便・手紙 (5)～(6) ホテル (7)～(8) ヴァカンス (9)～(10) 失業問題 (11)～(12) 環境問題 (13)中間テスト (14)～(16) 礼儀作法 (17)～(19)ジャーナリズム (20)～(21)教育制度 (22)～(23)フランスから見た日本 (24)～(25)フランス語圏 (26)～(27)文学・思想 (28)総復習 |
| 履修上の留意点 | 語学の授業は、教える側の技術や熱意ばかりでなく、授業の参加者がどの位熱心に授業に取り組むかで大きく効果が違ってきます。教科書にはCDが付属していますので、予習段階から積極的に活用し、スケッチや問題を暗記する位聞きこんで下さい。 |
| 成績評価の方法 | 出席点、前期末中間テスト、定期試験で総合的に評価します。 |
| 教科書 | 藤田裕二著『新訂版・えすかるご2』(朝日出版社) |
| 参考書等 | 授業開始時に教室で指示します。 |
| その他 | 最近、携帯のオンライン辞書を教室内で使用する学生を見かけますが、厳に禁止します。必ず辞書(書籍・電子辞書の別は問いません)を用意し、予習段階から活用すること。 |

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------|
| 履修コード | 274301・276701 |
| 科目名 | 中国語IA 中国語IB |
| 担当者名 | <small>みたむら けいこ</small> <small>りょうん</small> 三田村 圭子・李 雲 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚える。学習1年間終了時には、簡単な会話や文章の基本表現を習得することを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。 ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。 ③文法は教科書の展開に従い、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。 |
| 履修上の留意点 | 出席や授業に積極的に参加しているかは、成績に加味する。欠席の多い学生は単位をとるのが難しい。 |
| 成績評価の方法 | 前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって総合評価する。欠席が4分の1を超える学生は評価対象としない。 |
| 教科書 | 『中国語ポイント55』本間史・孟広学著(白水社)2300円 |
| 参考書等 | 授業開始時に説明する。 |
| その他 | 李雲先生(IB)とのペアであることに注意すること。 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 274401・276801 |
| 科目名 | 中国語IA・中国語IB |
| 担当者名 | <small>いわさき ひろし</small> 岩崎 皇 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。 |
| 履修上の留意点 | 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。 |
| 成績評価の方法 | 4分の3以上の出席を前提とした上で、年間4回以上行う試験で判断します。 |
| 教科書 | 遠藤光暁「北京物語」(朝日出版社)2,500円(本体) |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 277201 |
| 科目名 | 中国語IIA |
| 担当者名 | 吉田 建一郎 <small>よしだ けんいちろう</small> |

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 277301 |
| 科目名 | 中国語IIA |
| 担当者名 | 梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small> |

講義のねらい ・中国語の漢字を読んで意味がわかるようになる。
・ピンインをきれいに発音できるようになる。
・文法項目を使って、自分でオリジナルの文章を作れるようになる。

講義の内容・授業スケジュール 授業の流れ
1：新出単語小テスト(中国語→日本語、日本語→中国語)
2：文法項目(語法)解説
3：文法項目(語法)例文の確認
4：オリジナル文章発表
5：会話確認(日本語の意味)
6：補充短文、意味確認
7：補充短文、発音
8：補充短文、穴埋め(リスニング)
9：補充短文に関するQ&A問題(未定)
10：教科書練習問題
※情景会話は進度によって決める。

履修上の留意点 間違いやすいピンインに注意!
子音：q、x、c
母音：ian (yan)、si の i など

成績評価の方法 前期・後期末試験70パーセント
平常点(出席、小テスト)30パーセント

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

参考書等 日中中日辞典(好文出版)2,000円+税
日本漢字音から引ける機能が付いたものがよい。

その他 授業進捗等で質問がある場合は梅田までメールにて連絡すること。
hanyu555@gmail.com

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 277401 |
| 科目名 | 中国語IIA |
| 担当者名 | 児島 弘一郎 <small>こじま ひろいちろう</small> |

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 277501 |
| 科目名 | 中国語IIA |
| 担当者名 | 弘兼 加奈子 |

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 277601 |
| 科目名 | 中国語IIA |
| 担当者名 | 秋元 翼 |

講義のねらい 1年次で行った会話練習を継続しつつ、中国で日常的に触れるアナウンスや説明文など簡単な文章を読む練習を行います。テキストの内容は本学が上海で実施している夏季中国語セミナーの状況とも一致しており、即活用できる表現を学ぶことができます。

講義の内容・授業スケジュール 全16課(日常生活の16場面)から構成されるテキストを各課1回ないし2回の授業で進めていきます。4課ごとに小テストを行い、学習内容を確認していきます。

履修上の留意点 やむをえない場合を除き、全出席が前提です。欠席が7回を超えた場合は成績評価の対象としません。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、年間4回のテストによって評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 277701 |
| 科目名 | 中国語IIA |
| 担当者名 | 岩崎 皇 |

講義のねらい 一年次の会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習をします。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況と一致しているので、ぜひ実際に中国へ行って、学習したことを使ってもらいたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 授業はテキストに沿って進めていきますが、全16課を一年間で終わらせることが無理な場合があるかもしれません。その時は課の内容を見て取捨選択します。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。毎回の試験では80%が単語や文の聞き取り(書き取り)になります。

教科書 試験は前期2回、後期2回、授業時間内に行います。石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2,000円

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 277801 |
| 科目名 | 中国語IIA |
| 担当者名 | 李 雲 |

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 277811 |
| 科目名 | 中国語IIA |
| 担当者名 | 児島 弘一郎 |

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 278001 |
| 科目名 | 中国語IIB |
| 担当者名 | 吉田 建一郎 |

講義のねらい IA・IBで学んだことを復習しながら、聞く力と話す力を伸ばす。

講義の内容・授業スケジュール 全12課のテキストで、各課平均2回のペースですすめる。

履修上の留意点 大きな声を出して練習に積極的に参加し、地道に努力する意思のある方のみ歓迎。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、平常点と定期試験により評価。

教科書 内田慶市・奥村佳代子・張軼欧『中国語への道 [準中級編] 一浅きより深きへー』金星堂、2300円＋税、978-4-7647-0680-4

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 278101 |
| 科目名 | 中国語II B |
| 担当者名 | 梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small> |

講義のねらい

- ・ばつと中国語が発音できるようになる（反応力）
- ・自分の力で中国語を話せるようになる（自発能力）
- ・教科書にない言い方もできるようになる（応用力）
- ・会話の最中に困ったことがあっても解決できる（問題解決能力）
- ・恥ずかしがらずに話すことができる（積極性）

講義の内容・授業スケジュール

授業の流れ：1課を一回または二回で終わらせる。

- 1：その課の単語小テスト
- 2：ひとこと会話（よく使うフレーズ練習）
- 3：その課で使う単語の発音練習（絵カード・文字カードを使って）
- 4：文型練習（置き換え練習）
- 5：Q&A（ペア練習またはクラス全体で行うグループ練習）
- 6：練習問題

履修上の留意点

- 3 / 4 以上の出席が必要。
- 積極的に練習する。
- 辞書（日中・中日）持参。
- 添付のCDを何度も聞くこと。
- 適宜単語を補充する（教科書の単語がとても少ないため）

★特に学生諸君に求めること

- 1：ばつと中国語で言ってみる（反応力）
- 2：シャイな気持ちを乗り越える（積極性）
- 3：会話中に何か問題が起きても、とにかく何か言うまたは行動を起こす（問題解決能力の育成）
- 4：問いかけには必ず反応する（コミュニケーションの基本です）

成績評価の方法

前期・後期試験70パーセント
平常点（出席・小テストなど）30パーセント

**教科書
参考書等**

『你好中国語』金星堂
日中・中日辞典を持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

その他

- なぜ中国語が話せるようにならないのでしょうか？
 - 1：1課あたりの学習項目（単語・文法）が多く、未消化のまま次の課に進んでいたから。
 - 2：いつも先ず日本語で考えてから中国語に直していたから。
 - 3：いつも先生（またはCD）の後について発音していたから。
 - 4：いつも教科書を見ながら発音していたから。
 - 5：オリジナルの中国語を考える練習が少なかったから。
- ★この授業ではこれらの問題を克服しながら進めていきます。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 278111 |
| 科目名 | 中国語II B |
| 担当者名 | 弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small> |

講義の内容・授業スケジュール

テキストは本文・文法・練習問題から成る。初回は、基本的な文法の確認を行う。

- 第1回 一年の復習。
- 第2回～14回 本文・練習問題等。
（うち1回は中間テスト）
- 第15回 期末テストの予定。
- 第16回～29回 本文・練習問題等。
（うち1回は中間テスト）
- 第30回 学年末テストの予定。

なお、5月連休明けに授業進行予定表を配布する予定。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

尹景春・竹島毅『《新版》中国語さらなる一歩』白水社 2200円 ISBN 4-560-06910-7

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 278301 |
| 科目名 | 中国語II B |
| 担当者名 | 児島 弘一郎 |

講義のねらい 1年次に学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

講義の内容・授業スケジュール 会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正・単語の解説・文法事項の整理・聴き取り・ペアによる対話の実践などを行ないます。全12課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社、2200円、CD付)。

参考書等 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 278401 |
| 科目名 | 中国語II B |
| 担当者名 | 秋元 翼 |

講義の内容・授業スケジュール Iで学んだ内容を復習しながら、実践的に応用ができるよう、ヒアリングと発音を繰り返し練習する。前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで、2回で1課の割合で進む。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。授業中、積極的に声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書 塚本慶一・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』白水社、2200円+税

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 278501 |
| 科目名 | 中国語II B |
| 担当者名 | 李 雲 |

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 内田慶市等「中国語への道」金星堂2380円

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 278511 |
| 科目名 | 中国語II B |
| 担当者名 | 本間 由香利 |

講義のねらい 比較的簡単なテキストを使用します。

朗読目標：単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにすること。

文法目標：必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。

講義の内容・授業スケジュール まずは発音訓練と矯正、1年次既習の単語、フレーズの聞き取り練習をします。次に中国語の基本構文の復習と理解を通じて自分で簡単な会話ができるようにします。

履修上の留意点 必ず出席し、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 授業出席を前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。

教科書 『たのしいの中国語』首都大学東京 中国文学研究室編 金星堂 ¥2,600

参考書等 授業内で指示する。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 278801 |
| 科目名 | 中国語IID 中国語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>しおはた しんいちろう</small> 塩旗 伸一郎 |

講義のねらい 昨年のトピックを紹介した文章を読み、同時代中国への理解を深める。併せて毎週の新聞見出しを解説し、中国語の意味世界において原子と分子の関係にある“字”と“詞”(=単語)の間を往き来しつつ、“詞”から“字”へと原理を掘り下げ、“字”から“詞”を連想する訓練を積む。
1課～5課(1～13)、前期末試験(14)、6課～10課(15～27)、後期末試験(28)

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点 教科書の予習は不可欠。坐っているだけで評価されることはない。

成績評価の方法 試験(35×2)+平常点(30)-欠席点。
「平常点」≠「出席点」。欠席が3回を超えると10点ずつ減点。

教科書 三瀧正道・陳祖焄『セレクト10:時事中国語2009』(朝日出版社) 1600円+税

参考書等 辞書は必携のこと。購入に際しては下記URLが参考になる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho>

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 278901 |
| 科目名 | 中国語IID 中国語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>あまの せつ</small> 天野 節 |

講義のねらい 中国事情、原文読解の基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1)“百度”(2～4) (2)マントウ・チマキ(4～6) (3)祝祭日(7～9) (4)田舎と都会(9～10) (5)地震と羌族(11～12) (6)两岸関係(13～14) (7)外人(15～16) (8)エコ・エコロジー(17～18) (9)中ロ国境(19～21) (10)華南トラ(22～24) (11)中国アニメ(25～27) (12)南海一号(28～30)

履修上の留意点 遅刻早退欠席せず予習する。

成績評価の方法 出席+課題+態度+テスト

教科書 三瀧正道他『2009年版時事中国語の教科書』(朝日出版) 1900円

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 280501 |
| 科目名 | スペイン語IA |
| 担当者名 | <small>さとう まりの</small> 佐藤 麻里乃 |

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。

成績評価の方法 主として前期・後期各1回の試験による。

教科書 ロベス他『スペイン語で行こう!』朝日出版社

辞書については初回授業で指示する。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 280511 |
| 科目名 | スペイン語ⅠA |
| 担当者名 | ^{さいとう あけみ} 齊藤 明美 |

講義のねらい

基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。文法に関しては直説法現在の学習を中心に基本を固めます。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや道を聞くなどの質問、自己紹介が、後期が終わるころには簡単な雑談や自分の意見をスペイン語で言うことができるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1) オリエンテーション スペイン語に親しもう (1)
- (2) ホテルに泊まる (発音、アクセント、あいさつ、ser 動詞など (2-5))
- (3) 入学手続き (estar 動詞の現在形、名詞、冠詞・形容詞、数字0-10など) (6-9)
- (4) 自己紹介 (規則動詞 (ar,er,ir 動詞)、現在形の働き) (10-13)
- (5) これまでのおさらい、中間試験(14、15)

後期

- (6) 学校での会話 (tener, ir,venir, 基数詞 (11-100)、時刻、接続詞、前置詞 (11-100) (16-19))
- (7) 友人との会話(母音変化動詞、いろいろな不規則動詞、目的語の人称代名詞、gustar 動詞など) (20-23)
- (8) サッカーのテレビ観戦 (所有詞、指示詞、比較、最上級など) (24-27)
- (9) これまでのおさらい (28、29)
- (10) まとめ (30)

履修上の留意点

スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

毎回の出席、授業参加(態度、発言等)や各期末の定期試験(年2回)を総合的に評価します。
福嶋(ふくしま)『Español Dinámico』動く!スペイン語』朝日出版社、2600円
講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 280521 |
| 科目名 | スペイン語ⅠA |
| 担当者名 | ^{ましも ゆういち} 真下 祐一 |

講義のねらい

スペイン語の初歩を学ぶ。文法知識および語彙の習得だけではなく、正しい発音、場面に即した会話力の養成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

- (1~5)導入、名詞に関して、動詞直説法現在・規則活用 (6~8) 動詞SERとESTAR、形容詞 (9~14) 直説法現在不規則動詞、目的格人称代名詞 (15)試験 (16~20) GUSTAR型動詞、再帰動詞 (21~25) 現在完了形、受動態 (26~29)無人称文、現在分詞 (30)試験

履修上の留意点

大きな声で練習に参加する。遅刻・欠席をしない。

成績評価の方法
教科書
参考書等

2回の試験の結果60%、出席および授業参加40%
田村さと子、『アニメ!』、白水社、2200円+税
西和辞典を一冊

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 281701 |
| 科目名 | スペイン語IB |
| 担当者名 | <small>うえの かつひろ</small> 上野 勝広 |

講義のねらい スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行いません。
前期（1）導入、アルファベット（2～5）文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など（6～10）動詞 estar、3iまでの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など（11～15）疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
後期（16～20）語根母音も変化する動詞、querer、poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など（21～25）比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など（26～30）100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンの励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法 年間4回のテストの結果（70%）に平常点（30%）を合わせて評価します。

教科書 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円

参考書等 初回の授業で紹介します。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 281711 |
| 科目名 | スペイン語IB |
| 担当者名 | <small>ましも ゆういち</small> 真下 祐一 |

講義のねらい 世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1～3)スペイン語圏について、文字と発音 (4・5)動詞SER (6・7)動詞ESTAR (8・9)動詞 HABER (10・11)指示詞、疑問詞 (12～14)規則動詞 (15)前期試験 (16・17)不規則動詞① (18・19)不規則動詞② (20・21)不規則動詞③ (22・23)所有詞 (24・25)目的語代名詞 (26・27) GUSTAR (28・29)再帰動詞 (30)後期試験

履修上の留意点 初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう平日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあります。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果などで評価します。

教科書 山道佳子・他 『スペイン語でお願いします!』（同学社）

参考書等 西和辞典を一冊。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 281721 |
| 科目名 | スペイン語IB |
| 担当者名 | <small>いしい のぶる</small> 石井 登 |

講義のねらい スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全12課からなっており、前期は1～6課、後期は7～12課を学びます。
前期は（1）オリエンテーション（2～5）名詞、冠詞、ser、estar 動詞、形容詞など、（6～10）直説法現在の規則動詞、不規則動詞など、（11～15）目的語の人称代名詞、gustar 動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
後期は（16～20）点過去、線過去、現在分詞など、（21～25）過去分詞、再帰動詞など、（26～30）関係詞、接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験（50%）と出席や課題提出などの平常点（50%）で評価します。

教科書 福嶋教隆 『動く!スペイン語』 朝日出版社 2600円 978-4-255-55023-7

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 282101 |
| 科目名 | スペイン語IIA |
| 担当者名 | <small>ましも ゆういち</small> 真下 祐一 |

講義のねらい 一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) 一年次の復習 (4~9) 線過去、点過去 (10~12) 完了形、関係詞 (13・14) 前期の復習 (15) 前期試験 (16~19) 未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20~22) 過去未来形 (23・24) 接続法現在 (25・26) 命令 (27~29) 接続法過去 (30) 後期試験

履修上の留意点 予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書 東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』(朝日出版社)

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 282111 |
| 科目名 | スペイン語IIA |
| 担当者名 | <small>いしい のぼる</small> 石井 登 |

講義のねらい すでに学んできたスペイン語文法の復習と平易な文章の読解を通じて、スペイン語力を高めます。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全15課からなっており、前期は1~10課、後期は11~15課を学びます。
前期は(1) オリエンテーション、(2~5) 名詞、冠詞、形容詞などといった品詞と、ser, estar, hay の用法、比較級など、(6~10) 直説法現在の動詞の規則変化、目的語、gustar 動詞など、(10~15) 直説法現在の不規則動詞、再帰動詞、重要な動詞の用法などを学びます。
後期は(16~20) 不定詞、過去分詞、現在分詞、点過去の規則変化、点過去の不規則変化など、(21~25) 線過去、現在完了、過去完了、未来形、過去未来形、(26~27) 接続法現在、名詞節、形容詞節、副詞節、(28~30) 命令文、接続法の用法条件文などを学びます。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書 二村久則、水戸博之、西村秀人『エクセレンテ!』朝日出版社 2300円 978-4-255-55031-2

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 282121 |
| 科目名 | スペイン語IIA |
| 担当者名 | <small>おおいわ いさお</small> 大岩 功 |

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容を発展させ、長文読解能力を身に着けながら、スペイン語圏の生活や文化への理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回 1つの長文を2回~3回の授業で読み進めます。スペイン語Iで学習した文法項目の復習が文法学習の中心となります。
後期15回 文章を読み進める速度は徐々に速くなります。文法は点過去時制、線過去時制、未来時制、完了時制などを学習して行きます。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 他に長文読解用のプリント教材を教室で配布します。

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 282301 |
| 科目名 | スペイン語IIA |
| 担当者名 | 大岩 功 <small>おおいわ いさお</small> |

講義のねらい スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。
後期15回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 参考書等 『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社) 他に長文読解用のプリント教材を使用します。
推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 282401 |
| 科目名 | スペイン語IIA |
| 担当者名 | 上野 勝広 <small>うまの かつひろ</small> |

講義のねらい スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課~7課まで、後期は8課~14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。
またテキスト後半の対話を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。
前期(1)オリエンテーション (2~5)動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など(6~10)重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など(11~15)再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など
後期(16~20)線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など(21~25)接続法の用法、使役および受動構文、など(26~30)直説法未来完了の用法、条件文、など

履修上の留意点 休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法 年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。

教科書 西川 喬 / Ceferino Puebla 『パモス』(同学社) 2,600円

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 282501 |
| 科目名 | スペイン語IIB |
| 担当者名 | 大岩 功 <small>おおいわ いさお</small> |

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回 1つの記事を2回~3回の授業で読み進めます。点過去・線過去の形と用法が文法学習の中心となります。
後期15回 記事を読み進める速度は徐々に速くなります。未来時制、完了時制、命令法、接続法の形と用法が文法学習の中心となります。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 参考書等 国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社
推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 282511 |
| 科目名 | スペイン語II B |
| 担当者名 | 石井 登 |

講義のねらい スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。
 前期は、(1) オリエンテーション、(2～5) 名詞、冠詞、ser, estar などの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6～10) 直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など、(11～15) 点過去、線過去など。
 後期は、(16～20) 現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21～26) 未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27～30) 接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書 福嶋教隆 『生き生きスペイン語』 朝日出版社 2000円 978-4-255-55013-8

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 282601 |
| 科目名 | スペイン語II B |
| 担当者名 | 大岩 功 |

講義のねらい スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。
 後期15回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。
 前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
 (上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5～6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 大岩功著 『やさしいスペイン語文法』(三修社)
 長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。

参考書等 推奨辞書宮城昇編 『現代スペイン語辞典』(白水社)

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 282611 |
| 科目名 | スペイン語II B |
| 担当者名 | 上野 勝広 |

講義のねらい スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～7課まで、後期は8課～14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。
 またテキスト後半の対話文を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。

履修上の留意点 前期(1) オリエンテーション (2～5) 動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など (6～10) 重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など (11～15) 再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など
 後期(16～20) 線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など (21～25) 接続法の用法、使役および受動構文、など (26～30) 直説法未来完了の用法、条件文、など
 休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法 年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。

教科書 西川 喬／ Ceferino Puebla 『バモス』(同学社) 2,600円

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 282621 |
| 科目名 | スペイン語ⅡB |
| 担当者名 | 齋藤 明美 |

講義のねらい 一年次で学習した直説法現在などの基礎文法や単語を復習しながら、本年度は過去形（点過去・線過去）、現在完了形、再帰動詞などの初級文法や日常よく使われる口語表現などをDVD付きの教材やさまざまなプリントを用いて具体的なシチュエーションを通して学びます。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期が終わるころにはスペイン語圏の友人に自分の思い出話を語ったり、簡単なEメールを書いたりすることができるようになります。後期が終わるころには短期語学留学に無理なく参加できる力がついていることでしょう。

前期

- (1) オリエンテーション・自己紹介（一年次の復習）(1)
- (2) 第7課、過去のことを語る1（点過去の活用と用法、疑問詞、住まいについて）(2-5)
- (3) 第8課、過去のことを語る2・買い物（線過去の活用と用法、haber、文の連結、大きな数字(101～一億)、美術館）(6-9)
- (4) 第9課、電子メールの使い方（現在分詞、hacer、季節、月、曜日、不定語、否定語など、居酒屋とタバコ）(10-14)
- (5) 中間試験(15)

後期

- (6) 第10課 パーティー（過去分詞、受動文、現在完了形、再帰動詞、誕生日と聖人）(16-19)
- (7) 第11課 ミニ観光（再帰動詞2、受動文2、命令法、関係詞、不定詞、コウノトリ）(20-23)
- (8) 第12課 テスト（接続法現在、命令文、動詞のまとめ、序数詞など、祭りと闘牛）(24-27)
- (9) 一年間のまとめ(28、29)
- (10) 定期試験(30)

履修上の留意点

スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

毎回の出席、授業参加（態度、発言等）や各期末の定期試験（年2回）を総合的に評価します。
福嶋（ふくしま）『Espanol Dinámico 動く！スペイン語』朝日出版社、2600円
講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

| | |
|-------|-------------------------|
| 履修コード | 282801 |
| 科目名 | スペイン語IID スペイン語IID〔再クラス〕 |
| 担当者名 | モラーレス、ムニョス、S. |

**講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール**

スペイン語の基礎的語彙および文法知識の習得と、場面に即した実際的な活用能力の育成。
(1～3) 自己紹介、動詞SERとESTAR、直説法現在規則動詞、授業中に用いるスペイン語、どこに何があるかを言う。(4～5) 直説法現在不規則動詞、家族のメンバーの名称、人物や物の描写。(6～8) 天候・気候の表現、余暇の過ごし方を言う、動詞GUSTAR。(9～11) 完了した行為の言い表し方、経験の表現、身体部位。(12～14) 進行形、衣類、買い物、比較。(15) 試験(16～18) 依頼、助言、家の各部の名称。(19～21) 再帰動詞、日々の行為、義務の表現、肯定命令、文化的習慣。(22～24) 線過去、子供のころ、自分の町について、習慣。(25～27) 点過去、伝記、歴史上の出来事。(28～29) 未来の表現。(30) 試験

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

教科書の練習問題、自分のことなどを言う口頭の練習に積極的に参加する。宿題は必ずやってくる。口頭試験50%、出席20パーセント、授業参加30パーセント。

Concha Moreno, Victoria Moreno y Piedad Zurita. 『Avance. Nivel elemental.』 SGEL.

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 283601 |
| 科目名 | ロシア語ⅠA |
| 担当者名 | おおすか ふみかず 大須賀 史和 |

- 講義のねらい
- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4-7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
- 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
『露和辞典』
- 講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
- 教科書
参考書等

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 284001 |
| 科目名 | ロシア語ⅠB |
| 担当者名 | きむら ひであき 木村 英明 |

- 講義のねらい
- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
- 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
『露和辞典』
- 講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
- 教科書
参考書等

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 284201 |
| 科目名 | ロシア語IIA |
| 担当者名 | 木村 英明 <small>きむら ひであき</small> |

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。出席と平常点を重視します。

成績評価の方法 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。

教科書 プリント配布。教場にて指示します。

その他の

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 284301 |
| 科目名 | ロシア語IIA |
| 担当者名 | 杉山 秀子 <small>すぎやま ひでこ</small> |

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

4月-7月

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。

9月-12月

- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法 出席と平常点を重視します。

教科書 『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次に渡した文法表。

参考書等 露和辞典

その他の プリント配布。教場にて指示します。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 284401 |
| 科目名 | ロシア語IIB |
| 担当者名 | 木村 英明 <small>きむら ひであき</small> |

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。
- ・4月-7月 基礎文法の復習。9月-12月 中等文法の学習、講読力を高める。平常点で評価します。

成績評価の方法 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

教科書 プリント配布。

その他の

| | |
|-------|-------------------------|
| 履修コード | 284501 |
| 科目名 | ロシア語II B |
| 担当者名 | 佐野 ^{さの あきこ} 朝子 |

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

- 講義の内容・授業スケジュール
- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 - 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 - やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 - かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
 - 中等文法のエッセンスを勉強をします。
 - 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、読解力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価する。
教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。
その他 プリント配布。

| | |
|-------|------------------------|
| 履修コード | 284701 |
| 科目名 | ロシア語IID ロシア語IID (再クラス) |
| 担当者名 | クロチコフ, Y. |

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

- 講義の内容・授業スケジュール
- ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
 - 4-7月 発音、イントネーション
 - 9-12月 文法と会話に力を入れる
- 成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)、その他。プリント配布。
その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

| | |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 291501 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>おあふら としはる</small> 大瀧 利春 |
| 講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール | 英作文能力の向上を目指す。 具体的には、以下のペースでテキストを読み進めていく。Unit1 (1～3)、Unit2 (4～5)、Unit3 (6～7)、Unit4 (8～9)、Unit5 (10～11)、Unit6 (12～13)、Unit7 (14～15)、Unit8 (16～17)、Unit9 (18～19)、Unit10 (20～21)、Unit11 (22～23)、Unit12 (24～25)、Unit13 (26～27)、Unit14 (28～30) |
| 履修上の留意点 | 予習をしてこること。辞書をもってくること。 |
| 成績評価の方法 | 前後期試験50%、日常点(出席率、授業参加度等)50%で評価する。 |
| 教科書 | Keiichiro Fukui『基礎からはじめる英作文』成美堂 1900円 ISBN978-4-7919-1087-8 |

| | |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 291601 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>やまぐち あきら</small> 山口 晃 |
| 講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール | 英語を使って自分の考えを表現するための基本的な練習をめざす。 毎回の授業では、正確な発音と英作文の練習を行なう。毎回十名前後の学生がこの練習を行なう。 |
| 履修上の留意点 | 辞書は毎回かならず持ってくること。 遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席、発表、レポートの三つで成績評価を行う。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。 |
| 教科書 | 毎回、プリントを配布する。 |

| | |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 291701 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>いとう みよこ</small> 伊藤 美代子 |
| 講義のねらい | 文法を中心に、学生の Reading, Writing, Listening, Speaking の四つのスキルを総合的に延ばすことを目的とする。できるだけすべての学生が毎回英語を口にし、エクササイズに参加するよう留意する。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。 |
| 履修上の留意点 | 予習が絶対条件である。半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。 |
| 成績評価の方法 | 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。 |
| 教科書 | 「コミュニケーションのためのベーシック・グラマー」山本厚子他(成美堂、¥1,900) |

| | |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 291801 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>いずみ ひろみ</small> 岩井 洋美 |
| 講義のねらい | 自分のことや身近なことを話したり書いたりできるようにする。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | テキストに沿って毎週1課ずつ進めていきます。あいさつから旅行、会社内の会話など日常やビジネスで用いる語句表現を学びながら最低限必要な文法を確認していきます。 |
| 履修上の留意点 | 欠席遅刻の多い学生や授業参加を好まない学生は単位を得ることができません。就職活動で欠席する学生もその度に必ず連絡のこと。 |
| 成績評価の方法 | 出席授業態度 前期・後期試験 クラス内小テスト スピーキングテスト |
| 教科書 | 津村修志他 GOOD JOB 金星堂 1950円+税 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 291901 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>いいねま よしなが</small> 飯沼 好永 |

講義のねらい 日本語と英語の文章構造の違いを重視しながら、日常生活の様々な事柄を一つの短文から次第に複数の短文で表現できるようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な英語の文法を踏まえ、日本語と英語の基本的な仕組みの違いを理解しながら、英作文の練習を行っていきます。テキストの各 Unit とプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書 登美博之／Gordon Bateson 編著 English Writing Using Everyday Expressions
朝日出版社 1785円 ISBN 978-4-255-15456-5

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 292001 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>まちだ しげお</small> 町田 成男 |

講義のねらい 英語による意思伝達：入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 1. テキストと英語の話し、2. Lesson1、3. Lesson2、4. Lesson3、5. Lesson4、6. Lesson5、7. Lesson6、8. Lesson7、9. Lesson8、10. Lesson9、11. Lesson10、12. Lesson11、13. Lesson12、14. Lesson13、15. 試験
16. Lesson14、17. Lesson15、18. Lesson16、19. Lesson17、20. Lesson18、21. Lesson19、22. Lesson20、23. Lesson21、24. Lesson22、25. Lesson23、26. Lesson24、27. Lesson25、28. Lesson26、29. Lesson27、30. 試験

履修上の留意点 辞書を持参すること。

成績評価の方法 出席・発表・試験の総合評価

教科書 未定

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 292301 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>とのかい かずこ</small> 外池 一子 |

講義のねらい 高校までに学習した英語の知識を復習しながら、現在の世界が直面する問題などに関する英文をたくさん読み、構文を理解する力や語彙力をつけていきます。
また、ニュースになったり話題になったテーマを取り上げますから、自分の意見を英語で表明できるようになることも目指します。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って、毎週1課を終わるようにします。
また、関連する英字新聞の記事なども、適宜取り上げていきます。

履修上の留意点 必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とは認めません。
CALL教室を使用する場合がありますから、最初の授業でユーザーIDとパスワードをできるようにしておくこと。

成績評価の方法 平常点30%、春・秋学期の期末試験70%。(授業内に小テストを行う場合は、期末試験の成績に加味します。)なお、出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書その他 開講時に指示します。
日頃から新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして、日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、考える習慣を身につけて下さい。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 292601 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 太田 由紀子 |

講義のねらい 語彙や構文に対する理解を深め、自らの英語表現力を高めてゆく。言語を通し、英国から米国へ移民した男の自伝を通し、映画を通して、英語圏の文化に親しんで貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞しつつ、その粗筋や関連する自伝（音声テープ付）の一部を読む。聴く、読むの作業を通して、自らこれを再現する能力を身につけたい。前期は「偽牧師」、「黄金狂時代」など、後期は『独裁者』、『殺人狂時代』、『ライムライト』などを鑑賞する。

履修上の留意点 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書 未定

参考書等 安井稔『英文法総覧』（開拓社）江川泰一郎『英文法解説』（金子書房） Charles Chaplin 著 My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction) チャールズ・チャップリン『チャップリン自伝』中野好夫訳（新潮文庫 上・下巻に分冊。下巻は絶版）

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 292701 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 手島 敬子 |

講義のねらい 本授業は、正しい英語力を身につける上で不可欠な基本的な英文法の確認を行いながら、実際の生活の中で活用できる自然で正確な「ライティング」力の習得を図ります。

講義の内容・授業スケジュール 前期
第1回 ガイダンス
第2回以降 Unit1～Unit10 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。
前期授業最終日 前期試験
後期
第1回 前期試験答案返却
第2回以降 Unit11～Unit20 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。
後期授業最終日 後期試験

履修上の留意点 原則として2/3以上授業に出席すること。
遅刻しないこと。(原則として30分以上の遅刻は欠席扱い)
課題は必ず期限を守って提出すること。
辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、課題、出席状況、授業への参加度等に基づき総合的に評価します。

教科書 村田和代 太谷麻美『基本文法からはじめる発信型英作文 改訂新版』 マクミラン ランゲージハウス ¥1,890

その他 授業、成績等に関する質問、相談は遠慮なく早めに。
まずは授業に出席しましょう！

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 293201 |
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 三芳 康義 |

講義のねらい TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は基本的な英文をじっくり読みながら、そこに出てくる文法や語法を確認する。後期はさらにペースを上げながら、英語の速読・多読と共に、多種多様な英文の講読に重点を置いて授業を進める。

履修上の留意点 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書は必ず持参のこと。

成績評価の方法 授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書 Mary Lee Wholey著、Eden Brough編著、New Reading Matters 2、出版社セングージ ラーニング ISBN9784863120488、定価1890円

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 293401 |
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 安齋 薫 |

講義のねらい Reading, Listening 能力向上とともに、バランスよく英語運用能力を習得する。
 講義の内容・授業スケジュール 第1回 Introduction
 その後は2回で1章ずつ進めていく。
 履修上の留意点 予習をしていくこと。
 成績評価の方法 出席状況(2/3以上の出席が原則)前後期試験、レポートで評価
 教科書 English with Hit Songs (成美堂) ¥1700+税 ISBN4-7919-4581-6

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 293601 |
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 濱口 真木 |

講義のねらい 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 文化、社会、政治、経済、教育等の分野のニュースを取り上げてテキストを読みすすめる。Blogging Granny ~ Cat lovers, Unite! (1~14)、Practice Makes Perfect! ~ Food Mileage (15~30)。
 成績評価の方法 出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。
 教科書 Insights 2009 (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3872-0

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 293901 |
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 白鳥 義博 |

講義のねらい せっかくの再履修なので、将来なにか実践的に役立つ勉強をして見ませんか?この講座では、TOEICテスト対策用の問題集を使って、高校までに学習した英語力(読解、文法、聴き取り)を高めるさまざまな練習を行います。TOEICは現代社会のさまざまな分野で求められる英語力をテストするハードな試験ですが、明確な目的意識をもち、発想の転換の転換を図れば、決して恐れるには値しません。
 講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス(2~14)ひとつのUnitに2・3回かけてテキストを進める(15)前期末試験、後期:(15~28)テキストを進める(29)総復習(30)後期末試験 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
 履修上の留意点 テキストの問題をスピーディーに進めますので、慣れない最初のうちは大変かもしれませんが、しかし、そこをなんとか乗り越えてほしいです。実戦的な授業内容になりますので、やる気のない学生に対しては厳しい態度でのぞみます。ご注意ください。
 成績評価の方法 平常点と出席状況、および授業内の試験の結果などから総合的に評価する。受講態度(課題へのとりくみの熱意)と出席状況を特に重く見るつもり。
 教科書 『ステップ式TOEICテスト総合演習』(南雲堂、2009年) ¥1,900+税

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 294001 |
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 川崎 笑佳 |

講義のねらい 入学時の読解能力を基礎として、listening と speed reading の上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じて他の教材を使用することも考慮に入れている。
 講義の内容・授業スケジュール (1)プリント使用の授業(2)~(3)Arts & Amusement(4)~(5)Lunch & parties(6)~(7)Medicine & Health(8)~(9)Traffic & Travel(10)~(11)Ordering & Shipping(12)~(13)Factories & Production(14)プリント使用の授業(15)試験(16)プリント使用の授業(17)~(18)Research & Development(19)~(20)Computers & Technology(21)~(22)Employment & Promotions(23)~(24)Advertisements & Personnel(25)~(26)Telephone & Messages(27)~(28)Banking & Finance(29)プリント使用の授業(30)試験
 履修上の留意点 学生全員が予習していることを前提として授業を進める。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末の試験結果をもとに総合的に評価する。
 教科書 大須賀直子 塚野壽一 山本厚子 Robert VanBenthuyzen 『Essential Approach for the TOEIC Test TOEIC テストへのニューアプローチ』(成美堂) 2100円

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 294101 |
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 岩原 康夫 |

講義のねらい 読解を通して英語特有の論理的な思考と表現を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフを構成する論理性や表現を学び、文脈の中での読解力を養う。前期はテキストの1～3章(2～7)と4～7章(8～15)、後期は8～11章(1～9)と12～15章(10～15)の予定で授業を進める。

履修上の留意点 予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。なおこのクラスは再履修であるので、必要な場合には個々の学生に対応した指導を行う。

成績評価の方法 前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。

教科書 Edward Hoffman, Words of Wisdom for a Successful Life (朝日出版) 1700円 ISBN978-4-255-15467-1 C1082

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 294201 |
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 近藤 真彰 |

講義のねらい 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習

履修上の留意点 授業には必ず辞書を持参してください。

成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。

教科書 ハンドアウトを配布します。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 294211 |
| 科目名 | 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 江田 幸子 |

講義のねらい I (B) の再履修であるこのクラスは、高校終了時までの基礎がしっかりと修得されていないことが考えられます。英文を読解するための基礎を再度確認・学習して、読解の基礎力をつけることがこのクラスの目標です。

講義の内容・授業スケジュール より高度な英文を読むためには、基礎がしっかりと修得されていることが必須条件です。このクラスでは、まず、平易な名文で書かれた比較的短い英文を、余裕を持って楽しく読み、英語の基礎的な文法や表現方法を再学習します。易な英語で書かれていれば、基礎的な構文も理解・修得し易いはず。易しい英語を繰り返すことで英語表現に馴染むようにします。

履修上の留意点 授業の進め方は次のプロセスに従って行います。：(1) 語彙の確認 (2) 読解：音読と内容理解 (3) 必要な文法事項の再学習 (4) 聴解：読解した本文を、音声から理解する。このクラスでは、音読をしっかりと行います。声にだして発音することで、構文の理解がより効率的に促され、言葉も記憶に残りやすくなります。

成績評価の方法 学習する姿勢を整えて(テキストや辞書、ノートなどを持参)授業に臨んで下さい。英語は繰り返し学習することで修得される学科ですので、基礎を固めるためには、休まず授業を受けることが大切です。出席を重要視するクラスになりますが、出席は学習することが前提なので、出席さえすればいい、と言う考えは捨てて下さい。

教科書 前期・後期に定期的に行う筆記試験、クラス内で適宜行う小テストなどの素点評価で平均点60点以上が及第点。平常点を筆記試験と同じ比率で評価します。平常点とは、授業中の発表、努力する姿勢、熱心度など。特に、このクラスは出席率を重要視しますが、出席率を点数としては出しません。出席率が学習意欲と結びついている場合のみ、素点評価とは無関係に平常評価の対象になります。

教科書 未定

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 294601 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | おた 美智子 太田 美智子 |

講義のねらい コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点 1章につき2回で進めてゆく予定であるが、それには予習が欠かせない。

成績評価の方法 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持とう。積極的な授業参加を高く評価する。欠席は年間授業回数の3分の1まで。

教科書 平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書 角山照彦著 Power of Love センゲージラーニング 2100円 ISBN978-4-86312-034-1

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 295001 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | ほな 美智子 埴 美智子 |

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につける。自分の考えを表現するために必要な英語力を読みを通して文章表現、会話表現へとステップアップする。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に英語力を高めることを目標に様々な話題や出来事について関心を抱き、それらに対する意見を英語で表現する術を学んでいく。

履修上の留意点 出席は大切なので重視します。日ごろの学習が欠かせないのでホームワークも大切になります。

成績評価の方法 出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、定期試験の総合点で評価します。

教科書 'What Should We Think About?' - Reading & Writing

参考書等 「表現力を磨くためのリーディング&英作文」

その他 その都度、黒板に板書します。

その他 欠席はなるべく避けましょう。

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 295101 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | こいすみ かずひろ 小泉 和弘 |

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2-3) Chapter 1 (4-5) Chapter 2 (6-7) Chapter 3 (8-9) Chapter 4 (10-11) Chapter 5 (12-13) Chapter 6 (14) ビデオ (15) 試験 (16-17) Chapter 7 (18-19) Chapter 8 (20-21) Chapter 9 (22-23) Chapter 10 (24-25) Chapter 11 (26-27) Chapter 12 (28-29) ビデオ (30) 試験

成績評価の方法 試験50% 出席率および授業態度50%

教科書 Life and Health -生活と健康- (鳳書房)

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 295301 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | かわさき こうたろう 川崎 浩太郎 |

講義のねらい IAを基礎としてさらに高度な英語運用能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習した後で、エッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点 (1)オリエンテーション (2~15) Unit1~6 (15~30) Unit7~13

成績評価の方法 毎時間必ず辞書を持ってくること。

教科書 出席点、発表点50%、授業中のレポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 石谷由美子/エマ・アンドルース『Skills for Better Writing (Revised Edition) -構造で書く英文エッセイ(改訂版)』 南雲堂 ¥1995 ISBN978-4-523-17604-6

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 295401 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 佐藤 江里子 |

講義のねらい IAを基礎とし、より高度な英語（Writing/Speaking）の運用能力を身につける。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2～6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8～12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14～18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20～24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26～30)文法のまとめと自由英作文。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないので注意すること。

成績評価の方法 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

教科書 年2回の定期試験（50%）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50%）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。
『スヌーピーと覚える日常表現』（朝日出版社）1,700円＋税

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 295501 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 梅原 敏弘 |

講義のねらい 英語を読み・書き・話すために必要な実践的な英文法の知識の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて、英語の理解・運用に不可欠な文法項目を勉強します。教科書は練習問題が豊富で、一年間の授業でその全てをこなすことは難しいので、重要と思われる文法項目を取捨選択して取り上げ、学習していくことにします。この教科書は日本人英語学習者を特に念頭において書かれたものではありませんので、日本人学習者が苦手とする文法項目や犯しやすい過ちには特に留意しながら、授業を進めていく予定です。取り上げる文法項目は開講時に指示します。

履修上の留意点 練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してきてください。

成績評価の方法 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。

教科書 Raymond Murphy, *Grammar in Use(Intermediate), second edition*, (Cambridge)

参考書等 江川泰一郎「英文法解説」（金子書房）
正保富三「英語の冠詞がわかる本」（研究社出版）

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 295601 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 笹倉 貞夫 |

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1～5) AMAZING ANIMALS, (6～10) YOUR AMAZING BODY, (11～14) OUR AMAZING UNIVERSE, (15) テスト, (16～20) AMAZING FIRSTS, (21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS, (26～29) AMAZING ODDS & ENDS, (30) テスト

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書 M. Vogel 『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）¥1,400

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 295801 |
| 科目名 | 英語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 濱口 真木 |

講義のねらい 文法・構文を重点的にチェックしつつ、テキストの内容をより速く正確に読みとる能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール 環境問題や文化、教養、ビジネス等をテーマとしてテキストを読みすすめる。Hibari Misora ～ Rice (1～10)、Ecocircle ～ Anti-cancer Diet (11～14)、Postal System Privatization ～ Bioethanol (15～24)、TV Viewer Ratings ～ Pachinko (25～30)。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価。

教科書 ECO-INNOVATION AND PROSPERITY（南雲堂）1900円 ISBN978-4-523-17598-8

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 295901 |
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 行廣 泰三 |

講義のねらい この授業では、総合的な観点から英語の基本的な技能が習得できることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール
 第一回目では、プリテスト
 第二・三回目では、The Polar Bear
 第四・五回目では、The Hippotamaus
 第六回目では、小テスト
 第七・八回目では、How can a plant kill?
 第九・十回目では、How do many Hearing-impaired people talk?
 第十一回目では、小テスト
 第十二・十三回目では、The Date Palm
 第十四回目では、Oranges
 第十五回目では、前期のまとめとテスト
 第十六回目では、前期の復習
 第十七・十八回目では、Blues and Jazz
 第十九・二十回目では、Latin music and Salasa
 第二十一回目では、小テスト
 第二十二・二十三回目では、Work Clothes
 第二十四・二十五回目では、The Ainu of Japan
 第二十六回目では、小テスト
 第二十七・二十八回目では、The Yanomami of the Amazon
 第二十九回目では、The Hopi of Arizona
 第三十回目では、後期のまとめとテスト

履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

復習と予習をしっかりとして下さい。
 小テスト55% 期末30% 出席15%

編著者 柳浦 恭『納得する英文解釈再入門』セнгеージラニング(株) ¥1700+税 ISBN978-4-86312-109-6C3082

外国語

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 296201 |
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 高野 秀夫・甲斐 捷子 |

講義のねらい ニューヨークで収録されたABC放送の定評あるニュース番組をビデオで学び、英語の運用能力を高めることがこの授業の目的です。言葉の面白さはもちろん、人とのコミュニケーションのあり方、また、アメリカ文化についても学べるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール 再履修者のためのやさしい教材を、あえて使わないことで、力をつけていただこうと思っています。全15章の内、7章を前期に、残りの後半8章を後期に学びます。授業のスピードも早いので、履修したら最後、頑張るしかありません。

履修上の留意点 小テストがありますから、まず、授業を休まないことです。一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、中間・定期試験各30%の総合評価とします。

教科書 ABC World News 11 Shigeru Yamane/kathleen Yamane 著 金星堂 ¥2,300 ISBN: 978-4-7647-3869-0

参考書等 特になし。
 その他 特になし。

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 296301 |
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 佐藤 江里子 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | IB (Reading/Listening Comprehension) を基礎として、多読・速読をめざす。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1)小テスト、(2~4)Unit1,2、(5~7)Unit3,4、(8~10)Unit5,6、(11~13)Unit7,8、(14~16)Unit9,10、(17~19)Unit11,12、(20~22)Unit13,14、(23~25)Unit15,16、(26~28)Unit17,18、(29~30)Unit19,20 |
| 履修上の留意点 | 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。 |
| 教科書 | 年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。 『エコイノベーションと繁栄』(南雲堂)1,900円+税 |

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 296501 |
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 丸小 哲雄 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 題材は日本文化論。読みと表現の総合英語。速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力を涵養しながら、語彙を増やし英語のヴァリエーションに留意し、速読の要領も捉えるように目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | ウォーミングアップとしてリスニング・タイム(授業の始めに毎回10分間程度)とし、文構造の作成の仕方に留意し、コメント力を養成していきます。 ・授業スケジュール 第1回 Introduction 第2回~第5回 Smaller Is Better:Four Examples 第6回~第8回 The Fan--Fold It, Hold It, Bring It Closer 第9回~第12回 The Anesama Doll--Take away and pare down 第13回~第15回 The Well--Stuffed Box Lunch--Pack It In 第16回~第18回 Reductionism Today 第19回~第21回 Transistors Reflecting the Japanese Spirit 第22回~第23回 Reductionism and Management 第24回~第25回 The Robot and Pachinko 第26回~第27回 Expansionism and the Japan of Today:The Samurai Merchant 第28回~第29回 A Fear of Open Spaces 第30回 The Handtruck and the Raft |
| 履修上の留意点 | 質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前条件です。 |
| 成績評価の方法 | 出席率、平常テスト、レポート作成課題(開講時に指示)、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。 |
| 教科書 | ・ Listening Time:TOEIC Test Fundamentals 南雲堂 ISBN978-4-523-17533-9 ・ Reading Time:The Compact Culture 英宝社 ISBN978-4-523-17533-9 |
| 参考書等 | 参考資料等を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 296901 |
| 科目名 | 英語II B〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 本間 俊一 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、学習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。 |
| 履修上の留意点 | 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。 |
| 成績評価の方法 | 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。 |
| 教科書 | Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 297101 |
| 科目名 | ドイツ語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 本橋 右京 |
| 講義のねらい | 伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものにします。 |
| 履修上の留意点 | 予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。 |
| 教科書 | 諏訪田 清著『新訂・ドイツ文法18歩』 (同学社) 2004年刊 2300円+税 ISBN8102-0839-7 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 297201 |
| 科目名 | ドイツ語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 志真 斗美恵 |
| 講義のねらい | さまざまな理由でもう一度ドイツ語1Aを再履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | ABCからはじめて、ドイツ語の初級文法を学習します。文法だけでなく、CDを使い、聞き取りや簡単な会話の練習もしながら、初級ドイツ語を習得していきます。前期は、7課分離動詞まで、後期で、14課接続法まで終えます。 |
| 履修上の留意点 | ドイツ語は決して難しくはありません。きちんと法則にしたがって構成されています。積み重ねが大事です。欠席をするとわからなくなるのは当然ですので、必ず出席してください。 |
| 成績評価の方法 | 前期・後期試験および平常点(毎回その日の授業内容の復習練習をし点検します)で総合的に評価します。 |
| 教科書 | 春日正男・松澤淳著、『怖くはないぞドイツ文法』、朝日出版社、2400円+税、ISBN978-4-255-25323-7C1084 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 297401 |
| 科目名 | ドイツ語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 武田 利勝 <small>たけだ としかつ</small> |
| 講義のねらい | 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (20～23) 接続詞、受動文、否定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ |
| 履修上の留意点 | 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること！ とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。 |
| 成績評価の方法 | 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。 |
| 教科書 | 未定 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 297411 |
| 科目名 | ドイツ語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 野島 利彰 <small>のじま としあき</small> |
| 講義のねらい | ドイツ語は英語と比べると覚える文法事項が多いのですが、それを避けている限り、ドイツ語は理解できません。少し努力すれば後が楽です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 練習問題を中心に授業を進めます。 |
| 履修上の留意点 | 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。 |
| 成績評価の方法 | 出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績、および授業中、練習問題や質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。 |
| 教科書 | 大岩信太郎著『快速ドイツ文法』、朝日出版社、2100円。 |
| その他 | 慣れるためにテレビやラジオのドイツ語講座も利用して下さい。 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 297501 |
| 科目名 | ドイツ語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 飯塚 公夫 <small>いづか きみお</small> |
| 講義のねらい | 正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 教科書通り、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていきますが、練習問題に重点が置かれます。 |
| 履修上の留意点 | 語学の勉強は大変日常的な事柄と密着していますが、未知の外国語である以上、自己の日常べったりでは、理解に至りません。辞書の引き方からして、ただ持っていればことばがわかると思っている人が多いようですが、引き方を知らなければ目的の単語に到達しませんし、また到達しても、考えなければ、意味のわかることばにはなりません。大変な作業です。「暗記物」ではありませんので、心してください。辞書必携。 |
| 成績評価の方法 | 前期後期各一回の筆記試験と平常点(=発表点)。 |
| 教科書 | 荻野蔵平他著『ドイツ文法 型から型へ』(朝日出版社) 2,300円 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 297601 |
| 科目名 | ドイツ語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 杉本 正俊 <small>すぎもと まさとし</small> |
| 講義のねらい | ドイツ語に再チャレンジする人々にも、初めて学ぶ人々にも、ドイツ語を学ぶ楽しさを知って頂きたい。基礎的な知識を初めから丁寧に学びつつ、ドイツ語を学ぶ土台を築いて頂きたいと思う。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 所定の教科書に従って一年間の授業を進める。発音を重視し、教科書の文や練習問題は必ず発音してもらい、また添付CDを聴いてネイティブ・スピーカーの発音を確認する。 |
| 履修上の留意点 | 予習は必ずしも必要ではないが、与えられた課題はしっかりと行い、授業を有効に活用して実力を付けて頂きたい。 |
| 成績評価の方法 | きちんと授業に参加しているかどうかを評価します。年度末試験も評価の基準になる。 |
| 教科書 | 関口一郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』 白水社 ¥2200 |

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 297801 |
| 科目名 | ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | やぶした こういち 数下 紘一 |

講義のねらい 困難に思えるドイツ語を、何とか理解してもらいたい。
 講義の内容・授業スケジュール 1 講目第1課～30講目第10課まで、各課に授業3回をかけて、とにかくわかるまで教える。
 履修上の留意点 今年こそ単位をとるぞと頑張ってもらいたい、出席重視。
 成績評価の方法 成績は、前・後期各1回の試験(50点満点)を実施。教わったとおりに答えて下さい。平常点も加味する。
 教科書 佐藤ほか著『新ドイツへ行ってみませんか』郁文堂(2500円+税)
 参考書等 辞書だけは持って来る事。

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 297901 |
| 科目名 | ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | みなみ はるつ |

講義のねらい 会話表現、文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけるとともに、ドイツ文化についても学びます。
 講義の内容・授業スケジュール 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、命令形
 後期：助動詞、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞
 履修上の留意点 出席を重視します。
 成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
 教科書 小野寿美子・中川明博・西巻丈児著『ドイツ語 プラヴォー! プラスアルファ』朝日出版社
 ¥2400+税 ISBN:978-4-255-25310-7 C1084
 参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 298001・298002 |
| 科目名 | ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | もり こうせい 森 公成 |

講義のねらい 文法を最初から学びなおし、ある程度の読解力を身につける。
 講義の内容・授業スケジュール 一年をかけて、下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
 履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます。3分の1以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
 成績評価の方法 定期試験(年2回)、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
 教科書 小塩節著『ドイツ こころの旅』(朝日出版社)2,200円

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 298101・298102 |
| 科目名 | ドイツ語ⅡA〔再クラス〕 ドイツ語ⅡB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | もとほし うきよう 本橋 右京 |

講義のねらい 平易な読章を読みながら、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得して行きます。
 講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
 履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
 成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
 教科書 佐藤和弘・他『新ドイツへ行ってみませんか』(郁文堂)2009年刊 2500円+税、ISBN978-4-261-01232-3

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 298201・298202 |
| 科目名 | ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 荻下 紘一 |

講義のねらい 辞書をひいて、文を読み訳すのは毎回1人1文ずつ、中級ドイツ文が読めるようにする。
 履修上の留意点 1回3ページが目標。ぜひ単語だけでも家で辞書を引いて下さい。出席重視。
 成績評価の方法 前・後期各1回50点満点の試験をする。毎時間の読・訳も考慮に入っている。
 教科書 テキスト、A.Raab、石井著：『こんにちはドイツです』；朝日出版（1900円＋税）
 参考書等 参考書・辞書等については第1講目に口頭で。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 298801 |
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 芦原 春 |

講義のねらい 1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
 講義の内容・授業スケジュール 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
 履修上の留意点 教科書と同時に辞書を持参して下さい。
 成績評価の方法 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
 教科書 中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』（白水社）

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 298901 |
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 大野 英士 |

講義のねらい フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。仏検5級合格の実力を錬成することを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール (1)～(2)受講上の諸注意/綴り字と発音 (3)～(4)自己紹介する (5)～(6) 家族・年齢を言う (7)～(8) 好き嫌いを言う (9)～(10) 所有を言う、指し示す (11)～(12) 人を描写する (13) 中間テスト (14)～(15) 尋ねる (16)～(17) 近い未来・近い過去 (18)～(19) 数量を表す (20)～(21) 時間や天候を言う (22)～(23) 比較する (24)～(25) 比較する (26)～(27) 過去の話をする (28) 定期試験
 履修上の留意点 授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。
 成績評価の方法 出席点、授業中の小テスト、1学期末の中間テスト、定期試験の三つの総合点で評価します。
 教科書 藤田裕二著 『新訂版・えすかるご1』（朝日出版社）
 参考書等 森本 英夫、三野 博司著、『プチット・リュミエール フランス語参考書』（駿河台出版社）
 その他 辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 299001 |
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 芦原 猛 |

講義の内容・授業スケジュール かつて習ったフランス語の初歩をもう一度基礎から学習しなおすクラス。かぎられた授業時間内で毎時間先へ先へと進んでゆきます。
 履修上の留意点 再履修クラスですから出席状況が重視されます。
 成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、毎時間行なう練習問題の結果も評価の対象にします。
 教科書 石上亜紀子他『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法』2007年刊（朝日出版社）2100円＋税

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 299011 |
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 谷川 かおる |

講義のねらい フランス語に親しみながら、基本文法を学び直す。
 講義の内容・授業スケジュール 自己紹介-カフェでの注文-簡単な日常会話などを学ぶ。毎週、簡単なフレーズをいくつか暗記する。
 履修上の留意点 出席重視。なるべく積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 前期・後期の暗唱テスト、筆記テストの点を基準とし、小テストの点を加算し、全体として60点以上を合格とする。
 教科書 伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』、早美出版、2400円。
 参考書等 授業中に指示する。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 299101 |
| 科目名 | フランス語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 菅谷 暁 |

講義のねらい 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
 講義の内容・授業スケジュール 教科書は1課ごと、会話、文法、演習、読解、文化の5つのパートからなっています。全部で12課あるので、1課を2回の授業で終わらせる予定です。
 履修上の留意点 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
 成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。
 教科書 藤田著『新・彼女は食いしん坊!1』(朝日出版社) 2,625円

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 299201 |
| 科目名 | フランス語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 今関 アン |

講義のねらい 1年次に習得できなかった初級フランス語の理解を確実にする。
 講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス、アルファベ (2~7) 発音、数字、名詞、動詞、avoir、être、自己紹介 (10~14) -er 動詞、住所、好きなもの (15) 定期試験
 後期：(1~7) 否定文、数字、所有・指示形容詞、時間表現、非人称構文 (8~11) aller、交通手段、疑問詞、prendre、目的の代名詞 (12~14) 代名動詞、複合過去 (15) 定期試験
 履修上の留意点 2課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。
 成績評価の方法 小テスト40%+定期テスト(60%)
 教科書 『これだけでフランス語!』駿河台出版社

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 299301 |
| 科目名 | フランス語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 伊藤 なお |

講義のねらい フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。
 講義の内容・授業スケジュール 1) ~3) 受講上の諸注意 / Alphabet と発音の基礎 4) ~15) 文法の基礎 (名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去/命令形など) と会話練習 (自分と家族の紹介、何をやる? など) および読解 16) ~29) 文法の発展 (補語人称代名詞/比較級/疑問代名詞/動詞過去形・未来形など) と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について (中級に向けて)
 履修上の留意点 積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。
 成績評価の方法 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。
 教科書 藤田祐二著 『パスカル・オ・ジャボン』(白水社) 本体2,000円

| | |
|-------|------------------------|
| 履修コード | 299501 |
| 科目名 | フランス語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 谷川 ^{たにかわ} かおる |

講義のねらい フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。
 講義の内容・授業スケジュール (1) フランス語の歴史(2-3) 発音(4-8) あいさつ、自己紹介(9-30) 旅行に便利な表現など。
 履修上の留意点 毎回暗記小テストを行う。
 成績評価の方法 前期・後期の期末テストを基本とし、小テストを加算し、60点以上を合格点とする。
 教科書 フランク・デルバール他著『パス・パルトゥ』駿河台出版社、2,625円
 参考書等 参考書は授業中に指示する
 その他 出席重視。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 299601・299602 |
| 科目名 | フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 畑中 ^{はたなか} ^{ちあき} 千晶 |

講義のねらい やさしいフランス語で書かれたお話を読みます。日本語に訳す必要はありません。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。
 講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/L1 (2)～(6) L2-4 (7) 復習 (8)～(13) L5-7 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出/L8 (17)～(21) L9-11 (22) 復習 (23)～(27) L12-14 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験
 履修上の留意点 ①毎回、辞書を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わり宿題を出します(平常点としてカウント)。
 成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%
 教科書 リリアヌス・ラタンジオ/村松定史『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー (CD付)』2004年刊(駿河台出版社) 2,500円+税

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 299701・299702 |
| 科目名 | フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 今関 ^{いませき} アン |

講義のねらい 1年次に習得できなかった初級フランス語の理解を確実にする。
 講義の内容・授業スケジュール 前期：(1) ガイダンス (2～7) 代名動詞、半過去 (8～14) 関係代名詞、単純未来 (15) 定期試験
 後期：(1～7) 比較級、最上級、中性代名詞 (8～14) 条件法、接続法、目的の代名詞 (15) 定期試験
 履修上の留意点 課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。
 成績評価の方法 小テスト40%+定期テスト(60%)
 教科書 『新・彼女は食いしん坊!2』朝日出版社

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 299801・299802 |
| 科目名 | フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 桑田 ^{くわた} ^{のりあき} 禮彰 |

講義のねらい フランス語中級
 講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかり復習した上で、初級文法を再確認しながら簡単なフランス語の文章をゆっくり読んでいきます。できるかぎり分かりやすい解説を心がけます。
 (1) 受講上の諸注意(2) 発音の基本の復習(3)～(15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解(16)～(29) 中級文法解説を中心としたテキスト読解(30) 復習と今後のフランス語学習について
 履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
 成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
 教科書 授業開始時に受講者と相談の上決定。
 参考書等 そのつど授業で指示します。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 300601・300602 |
| 科目名 | 中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 秋元 翼 <small>あきもと たすく</small> |

講義の内容・授業スケジュール 発音の基礎からやり直し、初級文法・表現を学ぶ。全12課を1回1課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。

履修上の留意点 今年度は絶対に単位を落とさないという気持ちで授業に臨んで欲しい。4分の3以上の出席を要する。授業中は積極的に声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書 本間史・孟広学『中国語ポイント42』白水社、2100円＋税

| | |
|-------|----------------------------|
| 履修コード | 301201・301202 |
| 科目名 | 中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 天野 節 <small>あまの せつ</small> |

講義のねらい 中国語の発音、初級文法修得。

講義の内容・授業スケジュール (1)発音(1～4) (2)人称代詞、指代詞(5～7) (3)数詞、時間詞、動詞(8～10) (4)形容詞等(11～13) (5)動態助詞、前置詞(14～17) (6)比較(18～21) (7)助動詞(22～25) (8)動態助詞、補語(25～30)

履修上の留意点 遅刻早退欠席せず、予習をすること。

成績評価の方法 テスト＋課題＋授業態度＋出席

教科書 榎本英雄『おもしろスキット初級中国語』(同学社)2500円

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 301301・301302 |
| 科目名 | 中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 小川 隆 <small>おがわ たかし</small> |

講義の内容・授業スケジュール 発音と文法をゼロからていねいに勉強してゆく。

成績評価の方法 年間4～5回のテスト、出席点、その他の平常点を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が全授業回数4分の1を超えた人などは、その時点で受講をやめてもらう。卒業年次生も特別扱いではないので要注意！必ず初回から出席すること。

教科書 古川裕・盧華岩『話し放題中国語』スリム版(金星堂) ¥2300＋税 ISBN 978-4-7647-0679-8

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 301401・301402 |
| 科目名 | 中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 布施 直子 <small>ほせ なおこ</small> |

講義のねらい 入門初級段階をていねいにゆっくり学習。

講義の内容・授業スケジュール 授業開始から4週は発音。5週から前期終了まで、人称代詞、「是、不是」と基本的動詞。後期に入り、経験、完了、助動詞を用いる表現、前置詞、受身、比較の表現を学習。

履修上の留意点 欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。

成績評価の方法 出席状況、テスト、授業への積極性を評価。

教科書 鄧秀・湯海鵬著『ゆうゆう中国語』郁文堂。価格2500円＋税。ISBN978-4-261-01821-9

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 301501・301502 |
| 科目名 | 中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small> |

講義のねらい 当初は、発音や基本的な文法の確認を行う。テキストは分かり易い文法説明と練習問題、簡単な会話文から成っている。一年を通じ、バランスの取れた学力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 第1回 発音・声調確認 他
第2回～第14回 本文・練習問題等 (うち1回は中間テスト)
第15回 期末テストの予定
第16回～第29回 本文・練習問題等 (うち1回は中間テスト)
第30回 学年末テスト

成績評価の方法 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書 八木章好・廣麗媚『はじめての中国語ぶうとんぼあ』朝日出版社 2200円
ISBN 4-255-45086-2C 1087

| | |
|-------|-------------------------|
| 履修コード | 301511・301512 |
| 科目名 | 中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 曹 泰和 |

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
 講義の内容・授業スケジュール 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
 履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
 教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2100円＋税
 参考書等 開講時に説明する。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 301801・301802 |
| 科目名 | 中国語IIA〔再クラス〕 中国語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 本間 由香利 |

講義のねらい 中国語の基本である発音の訓練と語順を覚えることを重視し、各自が運用できるようにする。
 講義の内容・授業スケジュール 前期は発音訓練、発音矯正を重視します。さらに単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにします。次に難しい文章を読んだり書いたりするのではなく、必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。
 履修上の留意点 必ず出席をし、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 授業に出席していることを前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。
 教科書 『スタンダードチャイニーズ②上海旅行編』朝日出版社
 参考書等 授業内で指示します。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 301901・301902 |
| 科目名 | 中国語IIA〔再クラス〕 中国語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 大久保 明男 |

講義のねらい 中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関するを紹介したり、ビデオを見たりする予定です。
 履修上の留意点 積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 毎回予習、復習すること。
 教科書 出席率、試験の成績、平常点の三項目で総合評価します。
 参考書等 石慧敏・金子真也『上海びより』（好文出版）2000円

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 302001・302002 |
| 科目名 | 中国語IIA〔再クラス〕 中国語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 李 雲 |

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
 講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
 履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。
 成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
 教科書 相原茂等『えんぴつで覚える中国語』朝日出版社 2300円
 その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 302601・302602 |
| 科目名 | スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>おおいわ いさか</small> 大岩 功 |

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。
 前期15回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。
 後期15回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。
 前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
 (上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点
 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法
 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書
 『Aventura』立岩礼子他著 同学社

参考書等
 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
 参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』(三修社)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 302701・302702 |
| 科目名 | スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>さいとう あけみ</small> 齋藤 明美 |

講義のねらい
 直説法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。前期が終わるころには簡単な自己紹介や道を尋ねるなどの基本的な質問が、後期が終わるころにはスペイン料理店などで注文ができた簡単な会話が交わせるようになります。

講義の内容・授業スケジュール
 (1) オリエンテーション(文字、数字、簡単な挨拶など) (1)
 (2) 1課: こんにちは、私はマリアです(名詞の性・数、冠詞、ser 動詞)、2課: 私の母です(estar 動詞の用法)、3課: このあたりに銀行ありますか(存在文、前置詞)(2-9)
 (3) 4課: 君は学生ですか(直説法現在、疑問文、否定文)(10-13)
 (4) 5課: 私のめがねを探しています(所有形容詞、指示形容詞) 6課: 一緒に出かける?(直説法現在2、天候の表現)(14-19)
 (5) 7課: 何にしますか(語根母音変化動詞、関係詞)、8課: ああ残念!(直説法現在3) (20-26)
 (6) 9課: 病院で(目的格人称代名詞、gustar 型動詞)(27-30)

履修上の留意点
 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法
 出席状況、授業参加、各期末の定期試験によります。

教科書
 内田/尾尻/稲森 『Mucho gusto 初めてのスペイン語』同学社 2500円

参考書等
 講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。

その他
 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 302801・302802 |
| 科目名 | スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>いしい のぼる</small> 石井 登 |

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
 スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。
 教科書は全12課からなっており、前期は1~6課、後期は7~12課を学びます。
 前期は(1)オリエンテーション(2~5)名詞、冠詞、ser、estar 動詞、形容詞など、(6~10)直説法現在の規則動詞・不規則動詞など、(11~15)目的語の人称代名詞、gustar 動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
 後期は(16~20)点過去、線過去、現在分詞など、(21~25)過去分詞、再帰動詞など、(26~30)関係詞、接続法など。

履修上の留意点
 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法
 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書
 福島教隆 『動く!スペイン語』 朝日出版社 2600円 978-4-255-55023-7

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 303001・303002 |
| 科目名 | スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 荻野 恵 |

講義のねらい スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって、文法の説明と練習を進める。
前期：名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。
後期：不規則動詞、再帰動詞など。

成績評価の方法 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 303011・303012 |
| 科目名 | スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 佐藤 麻里乃 |

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 テキストと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法 試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、（それを証明できる文書等を提出した場合に限り）後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。

教科書 未定（プリント配布の場合もあり）

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 303101・303102 |
| 科目名 | スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 齊藤 明美 |

講義のねらい スペイン語1などで学習した基礎文法を復習しながら、現在完了、再帰動詞、過去形などの初級文法、および日常よく使われる口語表現などを教科書やプリントなどで具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。映像資料なども積極的に取り入れます。前期が終わるころにはスペイン語圏の友陣と簡単な雑談ができるようになります。後期が終わるころにはスペイン語圏に無理なく短期留学ができる力がつきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- (1) オリエンテーション・自己紹介（基礎の復習）(1)
 - (2) 9課 病院で(人称代名詞、gustar)、10課 映画スターのインタビュー（再帰動詞、時間の表現、人称代名詞2）(2-7)
 - (3) 11課 観光ツアーを探す（不定語、否定語、疑問詞） 12課 トルティージャを食べたことがありますか（過去分詞、現在完了、現在分詞、現在進行形）(7-13)
 - (4) これまでのおさらい (14)
 - (5) 中間試験 (15)
- 後期
- (6) 13課 ショッピング（形容詞、副詞の比較） 14課 世界の偉人たち（点過去1）(16-21)
 - (7) 15課 言い訳はなし！（点過去2、時の経過を表す hace）、 16課 君の青春時代はどうだった？（線過去、点過去と線過去の違いなど）(22-28)
 - (8) まとめ (29)
 - (9) 定期試験 (30)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。毎回の出席、授業参加と各期末の定期試験（年二回）を総合的に判断します。

内田他『Mucho gusto 初めてのスペイン語』（テキスト+CD）同学社、2500円
授業時に推薦する辞書の中から自分に合うものを探し、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 303201・303202 |
| 科目名 | スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | おおいわ いさお 大岩 功 |

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容を発展させ、文法知識と読解力とを深化させることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回 不規則動詞と目的語代名詞の形と用法を復習した後、点過去時制の規則活用、不規則活用を学習。
後期15回 点過去時制の復習の後、線過去時制、完了時制、未来時制、過去未来時制等を学習。
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社)
他に長文読解用のプリント教材を使用します。

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 303301・303302 |
| 科目名 | スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | いしい のぼる 石井 登 |

講義のねらい スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全20課からなっており、前期は1~10課、後期は11~20課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2~5)名詞、冠詞、ser, estar などの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6~10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級、最上級など、(11~15)点過去、線過去など。
後期は(16~20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21~26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27~30)接続法など。
授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

履修上の留意点 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

成績評価の方法 福嶋教隆 『生き活きスペイン語』 朝日出版社 2000円 978-4-255-55013-8

教科書 福嶋教隆 『生き活きスペイン語』 朝日出版社 2000円 978-4-255-55013-8

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 303501・303502 |
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | ひろた ひでやす 廣田 英靖 |

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
4) 基礎的な初等文法を学びます。
5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

講義の内容・授業スケジュール はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

履修上の留意点 4-7月はイントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円
『露和辞典』

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 303601・303602 |
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 佐野 朝子 |

講義のねらい 発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月は、イントネーション、発音に力を入れる。
 9-12月は、やさしい短文のききとり、初級文法を学ぶ

履修上の留意点 予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法 平常点を重視します。

教科書 絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 303701・303702 |
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 木村 英明 |

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。
 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
 2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

成績評価の方法 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税

教科書 『露和辞典』

参考書 等

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 303801・303802 |
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 安徳 ニーナ |

講義のねらい 基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
 4-7月 発音、イントネーション。
 9-12月 読み書きを学ぶ。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書 等 必要に応じてその都度資料を配布する。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 303901・303902 |
| 科目名 | ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | クロチコフ、Y. |

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 発音、会話を学ぶ。
 9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 304001・304002 |
| 科目名 | ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>おとすか ふみかず</small> 大須賀 史和 |

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 基礎文法の復習。
 9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 304101・304102 |
| 科目名 | ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>あんたく</small> 安徳 ニーナ |

講義のねらい 一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
 4-7月 基礎文法の復習。
 9-12月 会話と読解に重点をおく。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書等 必要に応じてその都度資料を配布する。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 284901 |
| 科目名 | 英文講読 |
| 担当者名 | 林 明人 <small>はやし あきと</small> |

講義のねらい 現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

| | | | | | | |
|----------------|----|----------|-----------|----|----------|-----------|
| 講義の内容・授業スケジュール | 1 | pp.1-2 | プリント(1)配布 | 16 | pp.1-2 | プリント(2)配布 |
| | 2 | pp.3-4 | (試訳提出) | 17 | pp.3-4 | (試訳提出) |
| | 3 | pp.5-6 | | 18 | pp.5-6 | |
| | 4 | pp.7-8 | | 19 | pp.7-8 | |
| | 5 | pp.9-10 | | 20 | pp.9-10 | |
| | 6 | pp.11-12 | (試訳提出) | 21 | pp.11-12 | (試訳提出) |
| | 7 | pp.13-14 | | 22 | pp.13-14 | |
| | 8 | pp.15-16 | | 23 | pp.15-16 | |
| | 9 | pp.17-18 | | 24 | pp.17-18 | |
| | 10 | pp.19-20 | | 25 | pp.19-20 | |
| | 11 | pp.21-22 | (試訳提出) | 26 | pp.21-22 | (試訳提出) |
| | 12 | pp.23-24 | | 27 | pp.23-24 | |
| | 13 | pp.25-26 | | 28 | pp.25-26 | |
| | 14 | pp.27-28 | | 29 | pp.27-28 | |
| | 15 | 前期試験 | | 30 | 後期試験 | |

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。

成績評価の方法 ①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書 教員が作成したものを uses。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 285001 |
| 科目名 | 英文講読 |
| 担当者名 | 矢島 直子 <small>やじま なおこ</small> |

講義のねらい 昨夏ロンドンで観たオーストラリア人劇作家の喜劇作品を読みます。現実に近い英語会話と戯曲の読み方を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 戯曲を読んで意味を言ってもらい、こちらで訂正したものを言います。
授業スケジュール 1回目-授業の説明、2～14回目-各回2～4ページずつ進む。15回目-前期末試験。16回目-前期末試験の解説、17～29回目-各回2～4ページずつ進む。慣れれば進度をあげます。30回目-後期末試験。

履修上の留意点 どんどん当てますから、必ず予習をしてください。1回目の授業から出て下さい。

成績評価の方法 平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書 Joanna Murray-Smith, *The Female of the Species*, Nick Hern Books, £ 8-99, ISBN 978-1-85459-522-5.

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 285101 |
| 科目名 | 英文講読 |
| 担当者名 | 前田 脩 <small>まえだ おさむ</small> |

講義のねらい 17世紀のフランス式整形庭園から、それに対立するかのようが登場したイギリス式風景庭園までの過程を英文による庭園史の中で見てゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 一回にテキスト二章ずつ進みます。テキストが終わったのち、*The Formal Garden* の中からプリントを配布します。

履修上の留意点 あくまでも購読の時間ですから予習が重要です。

成績評価の方法 日常評価を60%、前期テストを10%、後期テストを20%の割合で評価します。

教科書 *English Garden* (イギリス庭園) 南雲堂 ¥1,200
ISBN4-523-18506-9

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 285701 |
| 科目名 | 時事英語研究 |
| 担当者名 | <small>おかもと まこと</small> 岡本 誠 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でして言えば“Current English“ということになろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではない。メディアの英語と考えてよいであろう。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終わりに近くなってクライマックスに達する。メディアの英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、次に重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。 かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義でそういった分野の英語、また journalese に親しんでもらう。英字新聞なども気軽に読むようになってほしい。 |
| 履修上の留意点 | 講義の性質上、新鮮な素材を使用する。その素材のソースとするところはイギリスの BBC4、アメリカの npr (national public radio) や VOA (Voice of America)、さらに新聞や雑誌というところ。夏休み前の初夏の頃、秋風が立つ頃、それぞれの時期に一番世界で話題になっているものを追っていく。従って、特定の教科書は使用しない。 |
| 成績評価の方法 | 事前に資料を配布するので、必ず下見をしていくこと。世界の政治・経済の動きにも常に注意を払いフォローしてほしい。その意識が効果を上げることになるし、それが社会の事象に対して問題意識を持つことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノをいう。 |
| 教科書 | 前期・後期の試験、予習の出来具合、出欠・遅刻状況等、総合的に評価する。被りものは脱いでから教場へ入る。ケータイは切っておく。携帯するものは辞書。 上に記したように特定のものは使用しない。 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 285801 |
| 科目名 | 時事英語研究 |
| 担当者名 | <small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 新聞英語・放送英語の特徴を身につけることを目標とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | できる限り現在話題になっている英文記事を英字新聞、英語雑誌、インターネットなどから選び、講読していきます。放送英語にもなれるため、録音されたニュースも教材として使用します。 |
| 履修上の留意点 | 予習は不可欠です。英文記事を理解するためには英語の知識だけではなく背景的知識も欠かせません。普段から時事問題に関心を持つようになしてください。 |
| 成績評価の方法 | 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。 |
| 教科書 | 使用しません。ハンドアウトを配布します。 |
| 参考書等 | 学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 285811 |
| 科目名 | 時事英語研究 |
| 担当者名 | <small>しらとり よしのぶ</small> 白鳥 義博 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 政治を中心とした時事的なトピックの英文を多読し、語彙力と速読力を高める訓練を行う。あわせて、音読の練習を通してリスニング力の向上も図る。英語学習だけではなく、時事的なトピックに対する強い好奇心と意欲をもって受講されたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期：(1) ガイダンス (2~14) 毎回ひとつのチャプターを進めてゆく (15) 前期末試験、 後期：(15~28) テキストを進める (29) 総復習 (30) 後期末試験 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。 |
| 履修上の留意点 | 選択履修の授業であるので不真面目な態度での受講は決して許されない。注意されたい。 |
| 成績評価の方法 | 授業への参加の熱心さ、課題への取り組み、出席状況、テストの結果などから総合的に判断する。 |
| 教科書 | 『NHKワールド・ニュースで学ぶ「聴く英語、読む英語」』(南雲堂、2009年) ¥2,100 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 285901 |
| 科目名 | 時事英語研究 |
| 担当者名 | <small>おちあい かずあき</small> 落合 和昭 |

外国語

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級から上級（英検二級、準一級、一級）程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、リスニングで聞いたニュースの意味を、文字を通して、確認する。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『ライフスタイル』 Chapter1
- 第三回 『ライフスタイル』 Chapter2
- 第四回 『ライフスタイル』 Chapter3
- 第五回 『ライフスタイル』 Chapter4
- 第六回 『ライフスタイル』 Chapter5
- 第七回 『ライフスタイル』 Chapter6
- 第八回 『ライフスタイル』 Chapter7
- 第九回 『ライフスタイル』 Chapter8
- 第十回 『ライフスタイル』 Chapter9
- 第十一回 『ライフスタイル』 Chapter10
- 第十二回 『ライフスタイル』 Chapter12
- 第十三回 『ライフスタイル』 Chapter13
- 第十四回 『ライフスタイル』 Chapter14
- 第十五回 前期試験
- (『ライフスタイル』 Chapter 14,16,17)
- 第十六回 『ライフスタイル』 Chapter18
- 第十七回 『ライフスタイル』 Chapter20
- 第十八回 『ライフスタイル』 Chapter21
- 第十九回 『ライフスタイル』 Chapter22
- 第二十回 『ライフスタイル』 Chapter23
- 第二十一回 『ライフスタイル』 Chapter24
- 第二十二回 『CNN』 UNIT1
- 第二十三回 『CNN』 UNIT2
- 第二十四回 『CNN』 UNIT3
- 第二十五回 『CNN』 UNIT4
- 第二十六回 『CNN』 UNIT5
- 第二十七回 『CNN』 UNIT6
- 第二十八回 『CNN』 UNIT7
- 第二十九回 『CNN』 UNIT8
- 第三十回 後期試験

(『CNN』のUNIT9,10,11,12)

※上記の『ライフスタイル』は『ライフスタイルとニュービジネス』、『CNN』は『CNN：ビデオで見る世界のニュース (10)』

なお、リスニングは毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を求める。前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『ライフスタイルとニュービジネス』成美堂 1,600円 ISBN4-7919-4049-0 C1082
- 2) 『CNN：ビデオで見る世界のニュース (10)』朝日出版社 2,000円 ISBN978-4-225-15461-9 C1082
- 3) プリント

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 285911 |
| 科目名 | 時事英語研究 |
| 担当者名 | 矢島 <small>やじま なおこ</small> 直子 |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

辞書を引いて英米のニュースを読めるようになり、聞き取りにも慣れてもらうこと。

講義内容は、英語の記事を聞き、読んで意味を取ってもらうもの。

授業スケジュール

1回目—授業の説明。2～4回目—Unit 1、5～7回目—U7、8～10回目—U8、11～13回目—U9、14回目—見直し、15回目—前期末試験。16回目—前期末試験解説、17～19回目—U15、20～22回目—U19、23～25回目—U20、26～28回目—U22、29回目—見直し、30回目—後期末試験。

履修上の留意点

どんどん当てて意味を取ってもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法
教科書

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

佐藤公雄『オンラインニュースで学ぶ世界情勢』、成美堂、1,800円、ISBN4-7919-1043-5。

外国語

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 286501 |
| 科目名 | マルチ・メディア |
| 担当者名 | <small>おちあい かづあき</small> 落合 和昭 |

外国語

講義のねらい

このクラスに副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級（二級、準一級、一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、リスニングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、リスニングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『ネイティブ』 UNIT1
- 第三回 『ネイティブ』 UNIT2
- 第四回 『ネイティブ』 UNIT3
- 第五回 『ネイティブ』 UNIT4
- 第六回 『ネイティブ』 UNIT5
- 第七回 『ネイティブ』 UNIT6
- 第八回 『ネイティブ』 UNIT7
- 第九回 『ネイティブ』 UNIT8
- 第十回 『ネイティブ』 UNIT9
- 第十一回 『ネイティブ』 UNIT10
- 第十二回 『ネイティブ』 UNIT11
- 第十三回 『ネイティブ』 UNIT12
- 第十四回 『ネイティブ』 UNIT13
- 第十五回 前期試験
（『ネイティブ』 UNIT14,15,16,17）
- 第十六回 『UNIT18,19,20』
- 第十七回 台本の読み方について
- 第十八回 『映画』 UNIT1～4 （単語、熟語）
- 第十九回 『映画』 UNIT5～8 （単語、熟語）
- 第二十回 『映画』 UNIT9～10 （単語、熟語）
- 第二十一回 『映画』 UNIT1
- 第二十二回 『映画』 UNIT2
- 第二十三回 『映画』 UNIT3
- 第二十四回 『映画』 UNIT4
- 第二十五回 『映画』 UNIT5
- 第二十六回 『映画』 UNIT6
- 第二十七回 『映画』 UNIT7
- 第二十八回 『映画』 UNIT8
- 第二十九回 『映画』 UNIT9
- 第三十回 後期試験
（『映画』 UNIT10,11,12）

※『ネイティブ』は『ネイティブ英語の慣用表現（2）』、『映画』は『映画シナリオ：海辺の家』。なお、リスニングは毎回行う。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、少々、つらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験は20%、その他（課題、小テスト、授業中の発表等）は60%とする。出席率は、前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

教科書

- 1) 『ネイティブ英語の慣用表現（2）』 マクミラン 1,800円 ISBN978-4-89585-333-0 C3082
- 2) 『映画シナリオ：海辺の家』 英宝社 1,900円 ISBN978-4-269-09005-7 C1082
- 3) プリント

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 286601 |
| 科目名 | マルチ・メディア |
| 担当者名 | <small>おおいま なおき</small> 大庭 直樹 |

講義の内容・授業スケジュール このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法 試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。

その他の 受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 286701 |
| 科目名 | マルチ・メディア |
| 担当者名 | <small>うめはら としひろ</small> 梅原 敏弘 |

講義のねらい 映画の英語に慣れることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 1942年に製作されたアメリカ映画 Casa Blanca を教材として使用します。この映画を十分鑑賞するためには、時代背景などの知識が不可欠ですが、まずは各場面で使われている英語がある程度理解できなくてははいけません。授業はリスニング・コンプリヘンションを中心としますが、日常会話で使えるような表現をピックアップし学習することによって、英語での表現力の向上をも目指します。

履修上の留意点 映画の英語の聞き取りは難しいので、途中で give up しないこと。

成績評価の方法 前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心に、出席、授業への積極的参加なども考慮したうえで成績評価をします。

教科書 使用しません。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 286801 |
| 科目名 | マルチ・メディア |
| 担当者名 | <small>おおば 直樹</small> 大庭 直樹 |

| | |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。 後期からは、パワーポイントを使って、テーマを決めてプレゼンテーションをしよう。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点 | 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。 |
| 成績評価の方法 | 試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。 |
| そ の 他 | 受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。 |

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 264201・264301・264601 |
| 科目名 | 英会話I |
| 担当者名 | セイジ, K |

| | |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | Those students who are interested in English conversation - but a little underconfident - should take this course. The course aims to build your interest and confidence in English conversation for the real world. |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | In lessons there will be mainly pair work and some small group work. Each class we will look at different English functions, then you will practice them. The functions will build to reflect a life-like situation of the real world. About 5 situations will be done. |
| 履修上の留意点 | Please come to class willing to try to participate at your best. |
| 成績評価の方法 | 1. Class activities 2. Pair performances × 5 (about) 3. Attendance and attitude 4. YeStudy work and use |
| 教科書 参考書等 | There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one. |

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 264401・264501・264801・265321 |
| 科目名 | 英会話I |
| 担当者名 | ウェルズ, J. K. |

講義のねらい WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

講義の内容・
授業スケジュール

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

履修上の留意点

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.

There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!

Attendance: 50%

Tests: 25% (one test each semester)

Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他の

The first class is VERY important, so please do not be absent!

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun!

SEE YOU IN CLASS SOON!

履修コード

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 264701・265001・265311 |
| 科目名 | 英会話I |
| 担当者名 | ミックエリゴット, J. P. |

外国語

講義のねらい

This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・授業スケジュール

Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

履修上の留意点

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

成績評価の方法
教科書

Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

参考書等

GPA方式
Dale Fuller & Clyde Grimm 著 “New Airwaves Developing Better Listening Skills”
Macmillan Language House \2,100
Bilingual dictionary

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 264901 |
| 科目名 | 英会話I |
| 担当者名 | レーン, C.M. |

講義のねらい

This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール

During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点

As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy then they might find this class difficult.

成績評価の方法

(ア) Attendance 20 %
(イ) Participation during class 50 %
(ウ) Individual presentation 10 %
(エ) Group presentation 20%

教科書

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

A good dictionary
A file to keep work sheets together-A4 size

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 265101・265301 |
| 科目名 | 英会話I |
| 担当者名 | ロンゴ, T. |

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

外国語

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when ... ? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of ... ? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-fifty Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5
Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 265201 |
| 科目名 | 英会話I |
| 担当者名 | レイン, R. V. |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | This course enables students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class. |
| 講義の内容・授業スケジュール | [1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities. |
| 履修上の留意点 | Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of classes will result in a failing grade. |
| 成績評価の方法 | Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation. |
| 教科書 | Steven Molinsky and Bill Bliss <i>Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4</i> Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 287401 |
| 科目名 | 英会話II |
| 担当者名 | セイジ, K |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | If you want to take your English conversation to the next level through discussions, then you should choose this course. The course aims to further build on your English conversation skills and develop your discussion skills as well. The teacher's role will be a facilitator in this class and students will be expected to contribute topics for discussion in class. |
| 講義の内容・授業スケジュール | In lessons, you will do pair work. Individually you will be expected to contribute your own topics of interest for conversation or discussion. The pair work builds to a challenging scenario that you would find in the real world. You will be assessed on your ability to function in these scenarios. |
| 履修上の留意点 | Due to the conversation and discussion focus of this course, you must be prepared to come to every class ready at first to speak and then move on to discussing things in English. |
| 成績評価の方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. Class activities 2. Pair performances 3. Individual contributions 4. Attitude and attendance 5. YeStudy work and use |
| 教科書 参考書等 | There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one. |

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 287501 |
| 科目名 | 英会話II |
| 担当者名 | ロンゴ, T. |

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when ... ?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because ...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8

Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 287601 |
| 科目名 | 英会話II |
| 担当者名 | レイン, R. V. |

外国語

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | This course will enable students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class. |
| 講義の内容・授業スケジュール | [1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities. |
| 履修上の留意点 | Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of the scheduled classes will result in a falling grade. |
| 成績評価の方法 | Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation. |
| 教科書 | Steven Molinsky and Bill Bliss <i>Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4</i> Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3 |

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 287701 |
| 科目名 | 英会話III |
| 担当者名 | ウェルズ, J. K. |

講義のねらい English Conversation III

Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.

講義の内容・
授業スケジュール

First Semester:

Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you.

Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important!

履修上の留意点

Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance.

ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class.

There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.

* It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.

The first class is very important, so please do not be absent!

Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this when we meet.

成績評価の方法

Attendance : 50%

Grading: Class participation evaluation and attendance

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded.

Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used.

その他

Notebooks will be checked in the second class.

I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I.

If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class.

SEE YOU IN CLASS!

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 287801 |
| 科目名 | 英会話III |
| 担当者名 | レーン, C. M. |

外国語

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | This course concentrates on improving communication, discussion and fluency skills in English. During the first semester a different topic will be discussed each week through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel confident when speaking in English, as well as being able to give their opinion on various topics. |
| 講義の内容・授業スケジュール | During the first semester students will be invited to give their opinion on a variety of different issues. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech. Then, during the second semester more time will be spent on more in depth group discussions. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a controversial topic of their choice. |
| 履修上の留意点 | As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Also, students who are not prepared to give their opinions strongly might find this class difficult. |
| 成績評価の方法 | (ア) Attendance 20 % (イ) Participation during class 50 % (ウ) Individual presentation 10 % (エ) Group presentation 20 % As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade. |
| 教科書 | A good dictionary A file to keep work sheets together-A4 size |

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 265401 |
| 科目名 | 英語 L L I |
| 担当者名 | にしむら ゆうこ 西村 祐子 |

講義のねらい 聞き取り、読む力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。TOEIC形式の模擬試験を前期1回後期一回行う。すくなくともスコアで150から300程度のアップをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 小テスト(1)実施(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う)
2. 聞き取り、書き取り訓練(1)
3. 聞き取り、書き取り訓練(2)
4. 聞き取り、書き取り訓練(3)
5. 聞き取り、書き取り訓練(4)
6. 小テスト(2)
7. 英語での自己紹介(1)
8. 英語での自己紹介(2)
9. 英語での自己紹介(3)
10. 聞き取り、書き取り訓練(5)
11. 聞き取り、書き取り訓練(6)
12. 聞き取り、書き取り訓練(7)
13. 小テスト(3)

後期

1. 小テスト(4)
2. 聞き取り、書き取り訓練(8)
3. 聞き取り、書き取り訓練(9)
4. 聞き取り、書き取り訓練(10)
5. 聞き取り、書き取り訓練(11)
6. 小テスト(5)
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語(1)
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語(2)
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語(3)
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語(4)
11. 小テスト(6)
12. 復習とまとめ(1)
13. 復習とまとめ(2)

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。
例年希望者が多いので振り分けテストをおこなう。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、TOEIC形式模擬試験の成績、上昇度などによる。定期試験は実施しない。

**教科書
参考書等
その他**

配布資料、および教場内コンピュータにある教材をつかう。
授業中に提示する。
ウェブ上でおこなう宿題は YeStudy などをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー(USB)、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット(マイクつき)などを用意しておく
と便利。

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 265501 |
| 科目名 | 英語 L L I |
| 担当者名 | きしもと しげかず 岸本 茂和 |

講義のねらい 聴解能力一会話において相手が何を話しているか聞き取れる力一の涵養につとめる。「習うより馴れる」を標語に1年間やってゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

教場のPCに既設のソフトであるPC@LLを利用しながら必要におうじて映画DVDなどの商用ソフトも使用する。授業時にはいわゆる「双方向性」ののっとりIT機器をとおした受講生の自主的参加がもとめられる。

履修上の留意点

出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

成績評価の方法

前期・後期試験の結果および平常点ならびに出席状況等をかながみ評価する。試験形式はセンター入試の Listening Tests とおなじような形になるであろう。

**教科書
その他**

開講時に指示する。
このシラバス(授業内容)作成の時点(平成20年12月)から21年4月の開講時まで担当(岸本)の機器習熟とソフトの研究により一部授業内容が変更することもあることを付記する。

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 265601 |
| 科目名 | 英語 LLI |
| 担当者名 | 井伊 順彦 <small>いゐ のぶひこ</small> |
| 講義のねらい | リスニング、スピーキングの初歩から始まり、最終的には高度なニュースをある程度は聞き取れ、かつ内容のあるスピーチができるところまで実用能力を高めること。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 初心者が少なからず履修する点に留意して発音練習を重視するとともに、書き取りの時間を確保する。ビデオ、DVDも活用するつもり。 |
| 履修上の留意点 | 毎回おそらく一度は指名され、なんらかの問題に解答してもらうことになる。また各自の練習時間もかなり設ける。積極的な姿勢が大事。 |
| 成績評価の方法 | 数回の小テストの成績、ひんばんな質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。 |
| 教科書 | 『話すためのリスニング』南雲堂 1900円(税別) |
| 参考書等 | おりにふれて教室で指示する。 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 265701 |
| 科目名 | 英語 LLI |
| 担当者名 | 川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small> |
| 講義のねらい | 英語の母音、子音、ストレス、単語と単語のリエゾン等の発音を練習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目標とします。 具体的には、日常の様々な場面を再現したスキットをビデオで見ながらリスニング能力の向上をはかりつつ、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1)オリエンテーション (2~5) Unit1~10 (15~30) Unit11~20 |
| 履修上の留意点 | 恥ずかしがらずに大きな声で明瞭に発音することをこころがけてください。 |
| 成績評価の方法 | 平常点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。 |
| 教科書 | 村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』マクミランランゲージハウス ￥2000(税別) ISBN4-89585-304-7 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 265801・265901 |
| 科目名 | 英語 LLI |
| 担当者名 | 外池 一子 <small>とのおいけ かずこ</small> |
| 講義のねらい | リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノローグやダイアログなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1. 前期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。 (a) 個音(母音、子音)の識別 (b) 連結 (c) リダクション(機能語の弱形・縮約形) (d) 脱落・同化 (e) リズム、イントネーション 2. 後期は実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。 (a) ニュース (b) ドキュメンタリー (c) 映画、ドラマ (d) インターネット |
| 履修上の留意点 | 授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。 また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。 |
| 成績評価の方法 | 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。 |
| 教科書 | 開講時に指示します。 |
| その他 | 毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 266001 |
| 科目名 | 英語 LLI |
| 担当者名 | 甲斐 捷子 |

講義のねらい 外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール テキスト各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期後半にはビデオ2本を終了し、American Accent Training へ進み、アメリカ英語の特色であるリエゾンの訓練を通して、リスニング力、スピーキング力の飛躍的なレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点 発音の訓練は早いほど良いので、1、2年次での履修が望ましいと思います。
成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書 Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス 2,100円 ISBN: 978-4-89585-304-0
参考書等 American Accent Training 2nd ed. Barrons. \$39.95
その他 特になし。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 266101 |
| 科目名 | 英語 LLI |
| 担当者名 | 久保 ひさ子 |

講義のねらい 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。

履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点
教科書 マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂 ¥1,200

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 288501 |
| 科目名 | 英語 L LII |
| 担当者名 | セイジ, K |

講義のねらい If you are interested in integrated language skills (reading+speaking+listening+writing - at the same time!) in a multimedia atmosphere, then this course will be a good challenge for you.

講義の内容・授業スケジュール Since this course is in the LL room, we will have access to online authentic sources from websites, including video and audio. In lessons, you will be expected to combine the resources provided by the teacher and/or yourself from the internet, into pairwork activities and real-world scenarios presented to the class. Various activities on YeStudy will also be required.

履修上の留意点 As this course is a little intensive, you must be prepared to have a good attitude and try your best to keep up with the material provided and your YeStudy work.

成績評価の方法 1. Class activities
 2. Pair work and scenario presentations
 3. YeStudy work and use
 4. Attendance and attitude

教科書 There is no textbook. You will need to keep up-to-date with the online material and your YeStudy work.

参考書等 Know of a good online dictionary.

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 288601 |
| 科目名 | 英語L L II |
| 担当者名 | <small>たかほし みさこ</small> 高橋 明子 |

講義のねらい ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるような練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じて映画などの教材やTOEICのリスニング・セクションの問題も取り入れます。テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進め、前期に Unit6 まで、後期に Unit12 までを学びます。

履修上の留意点 毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法 平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書 『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』（朝日出版社）2,000円＋税
ISBN978-4-255-15461-9

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 288701 |
| 科目名 | 英語L L II |
| 担当者名 | <small>かとう さわこ</small> 加藤 佐和子 |

講義のねらい TOEICの高得点を目指して、リスニング強化の訓練する。

講義の内容・授業スケジュール テキストに、Tactics for TOEIC を用い、TOEICの攻略法を研究し、練習問題を解きながら実践的力をつける。テキストの Listening Test Part を1ユニットずつ進む。

履修上の留意点 TOEICの Reading Part は、各自自習すること。

成績評価の方法 授業の参加度 50%
毎回の小テスト 50%

教科書 Tactics for TOEIC Listening and Reading Test, Student Book (Oxford University Press)

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 289301 |
| 科目名 | 英語L L III |
| 担当者名 | <small>てしがわら みほこ</small> 勅使河原 三保子 |

講義のねらい 英語圏の大学に留学するためのリスニング・スピーキング力の養成を目指します。英語圏の大学の授業では、読んだ記事や自分のレポートの口頭での要約が求められることもあります。この授業では、英語でプレゼンテーションを行うための準備、スピーチの仕方を学び、スピーキングの訓練をします。留学希望者でなくても、英語によるプレゼンの練習をしたい学生も歓迎します。

講義の内容・授業スケジュール 授業中に2回プレゼンテーションをしてもらいます（前後期各1回）。授業では英語でプレゼンテーションを行うための準備の仕方と講義の聞き方について学び、学んだスキルを練習します。

成績評価の方法 2回のプレゼンテーション、提出物、平常点

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 289401 |
| 科目名 | 英語 L L III |
| 担当者名 | 西村 祐子 |

講義のねらい 英字新聞を使い、時事問題をつかってディスカッションやプレゼンテーションをしながら読み書き話す英語力をやしなう。1年間の受講の後、すくなくともスコアが50から100程度は上昇することをめざす。授業はすべて英語でおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：
- (1) 自己紹介、The Japan Times の記事にもとづくディスカッション
 - (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
 - (3) The Japan Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
 - (4) TOEIC形式模擬テスト (1)
 - (5) TOEIC形式模擬テスト (2)
 - (6) テーマにそったまとめとディスカッション (1)
 - (7) 小テスト
 - (8) まとめとディスカッション (2)
 - (9) Herald Tribune の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
 - (10) The Japan Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
 - (11) まとめと英語サマリー提出
 - (12) 小テスト
 - (13) プレゼンテーションとディスカッション

後期

- (1) 夏休み課題 のまとめ：ディスカッションとプレゼンテーション
- (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
- (3) The New York Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
- (4) まとめと小テスト
- (5) Herald Tribune より記事を選びプレゼンテーションとディスカッション
- (6) テーマにそったまとめと英語サマリー提出
- (7) 小テスト
- (8) まとめとディスカッション (2)
- (9) The New York Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
- (10) 小テストと英語サマリー提出
- (11) 関連トピックをオンラインで検索、英語でサマリーをする。
- (12) TOEIC形式模擬試験 (1)
- (13) TOEIC形式模擬試験 (2)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

受講者はTOEICで650点以上のレベルであること。受講制限あり。
平常点 (出席点40%)、模擬TOEICテストのスコア40%、小テストスコア (20%) など。
オンラインで入手できる英字新聞 (The Japan Times, Herald Tribune, The New York Times など) および教場にある英語学習ソフト、youtube などのオンラインによるビデオ教材。

参考書等
その他の

教場で指示する。
PC教場にある英語学習ソフトも使用するので持ち帰り用としてUSBメモリースティックや家庭学習用に簡易ヘッドセット (マイクつき) を用意しておくことよ。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 289501 |
| 科目名 | 英語 L L III |
| 担当者名 | 久保 ひさ子 |

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール

英語講演等をおおそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。
テキストを再生、聞きとり、書きとり、解答し、反復練習する。授業後半は、ABC or BBC ニュースのビデオ or DVD を使用します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
前期試験と授業実習の合計点
World Times of Japan, Michigan Action English Step 6 ￥3,000

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 288001 |
| 科目名 | ドイツ語コミュニケーションI |
| 担当者名 | <small>こばやし</small> 小林 ゲアリンデ |

講義のねらい ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

講義の内容・授業スケジュール (1~4) LektionI 今日は私の名前は (5~8) LektionII 家族と友だち (9~12) LektionIII 食物と飲食 (13~16) LektionIV 私の家 (17~20) LektionV 私の一日 (21~24) LektionVI くつろぎの時 (25~29) LektionVII 生涯学習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書 Kursbuch + Arbeitsbuch "Schritte international I" (Hueber)

その他 ビデオ、カセットを使用する。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 288801 |
| 科目名 | ドイツ語コミュニケーションII |
| 担当者名 | <small>こばやし</small> 小林 ゲアリンデ |

講義のねらい ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げること目標とする。
 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) お互いに知り合う (4~6) 電話での会話 (7~9) コーヒーショップで (10~12) ヨーロッパ旅行 (16~19) 買い物 (16~19) 自由時間 (20~23) 家族と親戚 (24~28) 衣服・百貨店 (29) 復習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。当面はプリントを配布する。開講時に指示する。

教科書 ビデオを使用する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 289601 |
| 科目名 | ドイツ語IA (選) |
| 担当者名 | <small>たけが としみつ</small> 武田 利勝 |

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級~5級程度の力を身につけてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2~3) 発音の練習 (4~6) 動詞の変化、その1 (7~10) 名詞の格変化のいろいろ (11~15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16~20) 動詞の変化、その2 (20~23) 接続詞、受動文、否定詞など (24~26) 形容詞、序数 (27~28) 関係代名詞と関係文 (29~30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること! とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 290201 |
| 科目名 | ドイツ語IB (選) |
| 担当者名 | <small>いむら ゆきこ</small> 井村 行子 |

講義のねらい ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。教科書に沿って進めます。少なくとも4課までは終わらせる予定です。

講義の内容・授業スケジュール

成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。

教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 290801 |
| 科目名 | ドイツ語II(選) |
| 担当者名 | 井村 行子 |

講義のねらい ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。
 講義の内容・授業スケジュール 第5課から第8課まで教科書後半を終わらせる予定です。
 成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。
 教科書 『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 288101 |
| 科目名 | フランス語コミュニケーションI |
| 担当者名 | ラリア・三倉, M. |

講義のねらい 教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。
 講義の内容・授業スケジュール あくまで全くの初心者フランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。
 (1) Alphabet /興味を持たせるための簡単な会話と表現/フランス語発音練習 (2)~(4) Leçon 1 (5)~(7) L2 (8)~(10) L3 (11)~(13) L4 (14)~(16) L5 (17)~(19) L6 (20)~(22) L7 (23)~(25) L8 (26)~(28) L9 (29)~(30) L10
 履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。
 成績評価の方法 成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。
 教科書 高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房
 ISBN 4-8086-2136-3

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 288901 |
| 科目名 | フランス語コミュニケーションII |
| 担当者名 | ラリア・三倉, M. |

講義のねらい フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。
 講義の内容・授業スケジュール ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。
 (1) 受講上の諸注意 / à l'Aéroport の1回目 (2)~(4) à l'Aéroport (5)~(7) à l'hôtel (8)~(10) Paris, la nuit (11)~(13) Au café (14)~(16) Le train (17)~(19) Le téléphone (20)~(22) invitations (23)~(25) les courses (26)~(28) Au Restaurant (29)~(30) まとめと復習
 履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。
 成績評価の方法 試験はいたしません。通常評価で採点します。
 教科書 教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 289701 |
| 科目名 | フランス語IA(選) |
| 担当者名 | 東 辰之介 |

講義のねらい フランス語初級文法の習得を目的とします。
 講義の内容・授業スケジュール (1)受講上の諸注意 / Alphabet (2)~(3)発音の基礎 (4)~(15)文法の基礎(主語人称代名詞/動詞の直説法現在/形容詞の性・数/名詞/冠詞など) (16)~(29)文法の発展(疑問代名詞/縮約/補語人称代名詞/比較/動詞の過去・未来時制など) (30)復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)
 履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。
 成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。
 教科書等 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャボン』(白水社) 2,000円+税 ISBN978-4-560-06083-4
 参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 289711 |
| 科目名 | フランス語IA (選) |
| 担当者名 | 出口 雅敏 <small>でぐち まことし</small> |

講義のねらい フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (4) 発音の基礎 (5) ~ (15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 主語人称代名詞 / 冠詞、疑問文・否定文・命令文 / 形容詞 / 冠詞の縮約 / 動詞の現在時制など) (16) ~ (29) 文法の発展 (目的語人称代名詞 / 中性代名詞 / 比較 / 代名動詞 / 関係代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞書やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点 (出席状況・小テストなど) によって評価します。

教科書 仏語1A (選)
石野好一・大久保政憲・山崎吉朗 『O es-tu? (どこにいるの?)』2008年刊 朝日出版社 2,500円+税 ISBN978-4-255-35190-2

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 290301 |
| 科目名 | フランス語IB (選) |
| 担当者名 | 菅原 猛 <small>すがはら たけし</small> |

講義の内容・授業スケジュール 既得の英語力を応用してフランス語の初歩を学びながら外国語で書かれた文章の構造を分析して読解力を高めてゆく。その作業は日本語の文章作法を見直すことにも通じてゆくと思われる。

履修上の留意点 履修した以上、できるだけ最後まで学習する意欲をもちつづけて欲しい。

成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、各課ごとに行なう練習問題の結果も平常試験として評価の対象にします。

教科書 鈴木隆芳・中野茂 『フランス語文法の単位』2007年刊 (駿河台出版社) 2,625円 (税込)

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 290901 |
| 科目名 | フランス語II (選) |
| 担当者名 | 桑田 禮彰 <small>くわた のりあき</small> |

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終った人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

(1) 受講上の諸注意 (2) (3) 豪華帆船と海賊 (4) (5) サン＝テグジュペリ、謎の結末 (6) (7) クリスチャン・ディオール (8) (9) 「パリ海岸」(10) ~ (29) 名所めぐりのパリマラソン、他 (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書 クリスチャン・ボームルー他著 『ヴァリエテ・フランセーズ2009』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35198-8

参考書等 そのつど授業で指示します。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 288201 |
| 科目名 | 中国語コミュニケーションI |
| 担当者名 | 陳 洲挙 <small>ちん しゅうきよ</small> |

講義のねらい 中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話の初歩的な表現を口でスムーズに応答できるように習得する。

講義の内容・授業スケジュール 割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そして今まで憶えた単語や句型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話を行う。

履修上の留意点 学んだ課の本文の録音をよく聞き、まねをして読み、正確に言えるように練習すること。

成績評価の方法 後期のテストの成績によって評価する。

教科書 陳洲挙他著 『中国語耳留学』(隆美出版) 2600円 (CD2枚付き)

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 289001 |
| 科目名 | 中国語コミュニケーションII |
| 担当者名 | <small>おがわ たかし</small> 小川 隆 |

講義の内容・授業スケジュール 「II」とあるが、レベルは「I」と同じ。大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらう。かつて中国語IA・IBを履修した、でも内容が身についているわけではない、という現状の受講生を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。

成績評価の方法 成績は平常点評価。

教科書 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友』トータル版(朝日出版社) ¥2500+税 ISBN978-4-255-45167-1

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 履修コード | 289801 |
| 科目名 | 中国語IA(選) |
| 担当者名 | <small>よしだ たていちろう</small> 吉田 建一郎 |

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール (1~6)四声とピンイン(7~14)代名詞、「是」と「不是」、名前・月日・曜日の言い方、疑問詞疑問文など(15~19)形容詞述語文、比較文、「在」と「有」、「了」など(20~)助動詞、補語、存現文、使役文、受身文など

履修上の留意点 積極的に練習に参加し、自主的に努力する意志のある方のみ歓迎。

成績評価の方法 平常点(出席状況、積極性)と定期試験をもとに総合的に評価。

教科書 内田慶市等『中国語への道—近きより遠きへ—』金星堂、2380円(税別)、ISBN978-4-7647-0659-0

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 289811 |
| 科目名 | 中国語IA(選) |
| 担当者名 | <small>いわさき ひろし</small> 若崎 皇 |

講義のねらい 中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容・授業スケジュール テキスト(全12課)に沿って日常会話を練習していきます。5月の連休までに発音の練習をし、その後はほぼ授業2回で1課進む予定です。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 上記の出席を前提とした上で、年間4回行う試験で判断します。

教科書 劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社)2,200円(本体)

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 290401 |
| 科目名 | 中国語IB(選) |
| 担当者名 | <small>おおくぼ あきお</small> 大久保 明男 |

講義のねらい 中国語の基礎知識(発音、基本的な文法、基本文型、慣用句など)を確実に習得して、会話力や文章読解力を養うとともに、現代中国社会に対する認識や理解を深めていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 発音編から入り、基礎編(基本文型など)を経て、ひねくれた女の子燕燕との会話を学んでいきます。ジョークまじりの中国語を通して中国人の笑いのセンスにも触れてみます。また、授業中に折に触れて現代中国の社会情勢や、学生諸君と同年代の中国若者の生活や文化などを紹介していきたいと思えます。

履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を認識し、意欲を持って授業に臨むこと。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法 出席、試験、平常点(担当時の出来具合や討論への参加、授業に臨む姿勢など)で総合評価します。

教科書 相原茂・郭雲輝『ひねくれ燕燕 ジョークで中国語入門』(朝日出版社、2520円)

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 291001 |
| 科目名 | 中国語II (選) |
| 担当者名 | 三田村 圭子 |

講義のねらい 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。また1年間の学習終了時には、中国語検定3級程度の力を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
②教科書の進度にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書 董燕・遠藤光暁著『話す中国語北京篇2』(朝日出版社)2500円

参考書等 辞典や参考書については、授業開始時に説明する。

その他 辞典を持っていることが望ましい。

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 288301 |
| 科目名 | スペイン語コミュニケーションI |
| 担当者名 | モラーレス, ムニョス, S. |

講義のねらい スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、必須の語彙を蓄えさせ、基礎文法の習得を促す。同時にスペイン語圏についての知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール (1)世界の中のスペイン語・発音とアルファベット (2)自己紹介をする・動詞SERとESTAR (3)自己紹介における形容詞の使い方・所有形容詞 (4)場所と位置関係の表現 (5)直説法現在規則活用動詞 (6~7)曜日と月・数詞 (8~9)再帰動詞 (10)直説法現在不規則活用動詞 (11) HABERとESTAR (12)動詞GUSTAR (13)食事について (14)天候の表現 (15)前期試験 (16)命令法(規則活用) (17)依頼の表現 (18)現在進行形 (19)約束をするときの表現 (20)点過去規則活用 (21)買い物をする (22)目的語代名詞 (23~24)身体各部の名称・病院で・動詞DOLER (25~26)点過去不規則活用 (27)線過去 (28~29)現在および過去の習慣について (30)後期試験

履修上の留意点 積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法 出席(20%)、短い作文、発話(30%)、2回の口頭試験(50%)。

教科書 Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1,A1. (Libro del alumno)』(S.G.E.L.)

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 289101 |
| 科目名 | スペイン語コミュニケーションII |
| 担当者名 | モラーレス, ムニョス, S. |

講義のねらい スペイン語のやさしい言い回しで心情などが表現できるようにする。過去の出来事の語り方や、未来の計画の立て方を学ぶ。現代のテーマについてスペイン語で意見を述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール (1~3)自分について話す(4から6)評伝を読む(7から9)習慣と行事(10~12)未来の事柄(13~14)過去と現在(15)前期試験(16~18)比較(19~21)広告文・求人・買い物(22~24)助言をする(25~27)自由時間・世界のお祭り(28~29)未来の計画(30)後期試験

履修上の留意点 以前に学んだ文法の復習をしっかりとやっておくこと。積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法 出席(20%)、短い作文、発話(30%)、2回の口頭試験(50%)。

教科書 Francisca Castro Viúdez 『Español en marcha 2,A2. (Libro del alumno)』(S.G.E.L.)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 289901 |
| 科目名 | スペイン語IA (選) |
| 担当者名 | <small>なかじま さとこ</small> 中島 聡子 |

講義のねらい スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

前期(1)導入、アルファベット(2～5)文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など(6～10)動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など(11～15)疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など

後期(16～20)語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など(21～25)比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など(26～30)100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点 外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。

成績評価の方法 テスト結果(80%)に平常点(20%)を合わせて評価します。

教科書 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社)2,500円

参考書等 初回の授業で紹介いたします。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 290501 |
| 科目名 | スペイン語IB (選) |
| 担当者名 | <small>さいとう あけみ</small> 齊藤 明美 |

講義のねらい 基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏を安心して旅行できるコミュニケーション能力習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏の友人と簡単なやりとりができるようになります。

- (1) コースの説明、アルファベット、簡単な挨拶(1)
- (2) 1課：あいさつ、カフェで(発音、アクセント、挨拶、数、名詞の性・数、冠詞など)、2課：バス停にて(直説法現在、規則動詞)(2-8)
- (3) 3課：大学で(ser 動詞と estar 動詞(不規則動詞)) 4課：どこ出身?(形容詞の性質と用法)(9-14)
- (4) 中間試験(15)
- (5) 5-7課：バルにて、夏休みの計画、空港にて(直説法現在、不規則動詞など)(16-25)
- (6) 8課：歓迎会にて(gustar 型動詞など)(26-28)
- (7) まとめ(29)
- (8) 定期試験(30)

履修上の留意点 文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法 毎回の出席、授業参加や各期末の達成度チェック(年二回)によります。

教科書 菊田/丹波『Entre dos mundos 二つの世界で』同学社 2700円

参考書等 授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。

その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 291101 |
| 科目名 | スペイン語II (選) |
| 担当者名 | 佐藤 麻里乃 |

講義のねらい 原語でまとまった量の文章を読むことに慣れ、スペイン語の持つ特徴への理解を深める。
 講義の内容・授業スケジュール 受講者はあらかじめテキストの文章を予習しておき、授業時に音読と和訳をする。教員は必要に応じてこれに解説を加える。
 履修上の留意点 毎回必ず予習してくること。
 成績評価の方法 予習の状況と前期末・後期末の試験を総合して評価する。
 教科書 未定

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 288401 |
| 科目名 | ロシア語コミュニケーションI |
| 担当者名 | 安德 ニーナ |

講義のねらい ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
 講義の内容・授業スケジュール 日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。
 成績評価の方法 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
 教科書 安德ニーナ他著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)、「21世紀のロシア語」(大学書林)
 参考書等 必要に応じてその都度資料を配布します。

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 289201 |
| 科目名 | ロシア語コミュニケーションII |
| 担当者名 | 安德 ニーナ |

講義のねらい 日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
 講義の内容・授業スケジュール 資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
 成績評価の方法 講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
 教科書 新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。) 学生のレベルにあわせて、その他の資料を用います。
 その他 講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 290001 |
| 科目名 | ロシア語IA (選) |
| 担当者名 | クロチコフ, Y. |

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) 簡単な挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディークラジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容を聞き取りによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初級文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、受け答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。
 4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。
 講義の内容・授業スケジュール テストは行わず、平常点で評価。
 成績評価の方法 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
 教科書 ビデオ、オーディオ等を使用します。
 参考書等 『露和辞典』

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 290601 |
| 科目名 | ロシア語ⅠB (選) |
| 担当者名 | 木村 英明 |

講義のねらい アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的に大変混乱しましたが、今世紀に入ってからは再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、4-7月では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。9-12月ではビデオ等の映像資料も利用する予定です。

履修上の留意点 外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会えるような能動的な参加を望みます。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 黒田龍之介『ニューエクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

参考書等 学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。
辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 291201 |
| 科目名 | ロシア語Ⅱ (選) |
| 担当者名 | クロチコフ, Y. |

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

講義の内容・授業スケジュール ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
4-7月 発音・会話を学ぶ。
9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等 ビデオ、オーディオ等を使用します。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 290101 |
| 科目名 | 朝鮮語ⅠA (選) |
| 担当者名 | 宋 美玲 |

講義のねらい 朝鮮語Ⅰの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。ⅠAのクラスは会話中心、ⅠBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。テキストに沿って進めていくが、初歩的な学習事項はⅠAとⅠBクラス同様である。後期からⅠAのクラスでは、口頭練習を通じた会話能力の養成に力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 ⅠA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)2,400円+税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 290701 |
| 科目名 | 朝鮮語IB (選) |
| 担当者名 | 宋 美玲 |

講義のねらい 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。テキストに沿って進めていくが、初歩的な学習事項はIAとIBクラス同様である。後期からIBのクラスでは、文法事項による作文や読解に力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円＋税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 291211 |
| 科目名 | 朝鮮語II (選) |
| 担当者名 | 宋 美玲 |

講義のねらい 基本的な文法内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるよう、表現能力を養成する。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、会話文は完全に暗誦する。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を強化し、応用練習を通してより豊かな表現力を強化していく。第1回～第4回は初級の復習を行う。第5回からはテキストを中心に進めていく。

履修上の留意点 韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法 授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 浜之上幸 監修 姜英淑ほか5人共著『楽しく学ぶハングル1』白帝社 2,400円＋税

参考書等 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

4. 保 健 体 育 科 目

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 195101 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（ミニサッカー） |
| 担当者名 | <small>おおいし たけし</small> 大石 武士 |

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10 時限目～14 時限目：ゲーム
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 195101 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（室内球技） |
| 担当者名 | <small>まきの しげる</small> 牧野 茂 |

講義のねらい バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム（1 次リーグ）
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 2、ゲーム（1 次リーグ）
- 5 時限目：ハーフコート 4 対 3、ゲーム（1 次リーグ）
- 6 時限目：フルコート 3 対 2、ゲーム（2 次リーグ）
- 7 時限目：フルコート 4 対 3、ゲーム（2 次リーグ）
- 8 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム（2 次リーグ）
- 9 時限目：ハーフコート 4 対 4、ゲーム（2 次リーグ）（バドミントン）
- 10 時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11 時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12 時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13 時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14 時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15 時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 195101 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（体操・トランポリン） |
| 担当者名 | 竹田 幸夫 |

講義のねらい 「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるので、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他の

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

保健体育

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 195201 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（室内球技） |
| 担当者名 | 山口 良博 <small>やまぐち よしひろ</small> |

| | |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深める。さらには、ゲームを通じてこれらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 （バスケットボール） 2時限目：ボールハンドリング、シュート、ゲーム 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム 4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム 5時限目：ゲーム（リーグ戦） 6時限目：ゲーム（リーグ戦） （バレーボール） 7時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム 8時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム 9時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム 10時限目：ゲーム（リーグ戦） 11時限目：ゲーム（リーグ戦） （バドミントン） 12時限目：ラケットティング、クリアー、スマッシュ、シングルスゲーム 13時限目：ドライブ、ヘアピン、シングルスゲーム 14時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム 15時限目：ダブルスのゲーム |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 195201 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（ミニサッカー） |
| 担当者名 | 大石 武士 <small>おおいし たけし</small> |

| | |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることなどで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目：オリエンテーション 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム 10時限目～14時限目：ゲーム 15時限目：まとめ |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 195201 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（卓球） |
| 担当者名 | 秋田 浩一 <small>あきた こういち</small> |

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の楽しさを知ってもらいたい。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎を築くことを目的としたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：スキルテスト
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 その他 評価は出席点70点、実技点20点、平常点10点とする。実技点は実技テストにて判定する。グループ毎にリーグ戦を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 195301 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（室内球技） |
| 担当者名 | 牧野 茂 <small>まきの しげる</small> |

講義のねらい バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ）
- 6時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ）
- 7時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ）
- 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ）（バドミントン）
- 10時限目：ラケットイング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13時限目：サービス、ロブ、プッシュ、シングルスゲーム
- 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 195301 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（卓球） |
| 担当者名 | <small>やまぐち よしひろ</small> 山口 良博 |

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
 - 2時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
 - 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
 - 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
 - 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
 - 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
 - 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
 - 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
 - 9時限目：シングルスゲーム
 - 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
 - 11時限目：ダブルスゲーム
 - 12時限目：ダブルスゲーム
 - 13時限目：ダブルスゲーム
 - 14時限目：ダブルスゲーム
 - 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点 スポーツウェア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。ラケットは貸与する。

成績評価の方法 授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 195301 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（サッカー） |
| 担当者名 | <small>あきた こういち</small> 秋田 浩一 |

講義のねらい サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
 - 2時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グランダー）
 - 3時限目：インサイドキック、練習ゲーム
 - 4時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1
 - 5時限目：インステップキック、リーグ戦2
 - 6時限目：インフロントキック、リーグ戦3
 - 7時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
 - 8時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5
 - 9～12時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6～9
 - 13時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
 - 14時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
 - 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

その他 雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦（注）運動服装は雨天でも持参すること。

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 195301 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（簡化太極拳） |
| 担当者名 | <small>おおishi たけし</small> 大石 武士 |

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷眩
- 5時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

**履修上の留意点
成績評価の方法**

服装：一般的な運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
出席率70%、総合評価30%で行う。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 196402 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技） |
| 担当者名 | <small>やまぐち よしひら</small> 山口 良博 |

講義のねらい 室内で行われるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主な狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

バスケットボール、バレーボール、フットサルといった室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術を学んだ後は、主にゲームを通じて技術の習得、体力の向上を図る。
1時限目にオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

**履修上の留意点
成績評価の方法**

スポーツウエア（上下）、体育館シューズの着用を厳守すること（土足厳禁）。
授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

| | |
|-------|-------------------------|
| 履修コード | 196402 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（集中授業）（ダブルダッチ） |
| 担当者名 | 末次 美樹 |

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく。縄の回し方、跳び方等を自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1日目 午前：オリエンテーション ターナールの練習・ジャンプの練習
午後：一本縄での応用 5回跳び・10回跳び

2日目 午前：短縄を使って練習 一本縄応用
午後：奇数跳び・偶数跳び

3日目 午前：出方の練習
午後：応用

4日目 午前：ビデオ学習・応用
午後：応用

5日目 午前：応用
午後：応用、まとめ

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。 シューズ（室内用）を用意する

成績評価の方法 出席状況（出欠の確認は午前・午後の二回行う）、授業の参加意欲・態度から総合的に判断する。

その他 再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 196402 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳） |
| 担当者名 | 大石 ^{おおいし} 武士 ^{たけし} |

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分宗・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷杖
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
その他

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
出席率70%、総合評価30%で行う。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

| | |
|-------|-------------------------|
| 履修コード | 196402 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン） |
| 担当者名 | 牧野 茂 |

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基礎的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本（回内・回外）
 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク（1）（スマッシュ、ドロップ）
 コート半面のシングルス・ゲーム
 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）
 サービス、コート半面のシングルス・ゲーム
 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）
 サービス、シングルス・ゲーム
 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク（2）（ロブ、クロス・ネットショット）
 シングルス・ゲーム
 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）
 サービス、シングルス・ゲーム
 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（3）（カット、プッシュ）
 総合練習、ダブルス・ゲーム
 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

ラケットは貸与する。
 服装は、一般的な運動服装とする。
 体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

成績は、出席（70点）と服装・授業態度等（30点）で評価し、60点以上を合格とする。出欠は、午前・午後の二回確認する。

その他の

再クラス 集中授業コース実施について

- （1）実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
 （後期）1月4日（月）～1月8日（金）
 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
 （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 （3）実施場所：玉川校舎
 （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 （5）備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 196402 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球） |
| 担当者名 | 鈴木 淳平 |

保健体育

- 講義のねらい
- 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。
技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技術を身につける。
 - 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。
- 講義の内容・授業スケジュール
- 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム
 - 2日目：サーブとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム
 - 3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム
 - 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
 - 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
- 履修上の留意点
成績評価の方法
- スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。
出席を重視し、評点の80%とします。
出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。
その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。
- そ の 他
- 再クラス 集中授業コース実施について
- （1）実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
 - （2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
 - （3）実施場所：玉川校舎
 - （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - （5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

| | |
|-------|-------------------------|
| 履修コード | 196402 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール） |
| 担当者名 | 高橋 俊介 |

講義のねらい 補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上

第2日目 午前：ゲーム
午後：＼

第3日目 午前：＼
午後：審判法・ゲーム

第4日目 午前：＼
午後：＼

第5日目 午前：＼
午後：＼

履修上の留意点 一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法
その他 出席を重視し、総合的に評価する。

再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）

（後期）1月4日（月）～1月8日（金）

7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

(5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 196402 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（集中授業）（屋外球技） |
| 担当者名 | 岩本 ^{いわもと} 哲也 ^{てつや} |

講義のねらい サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」「フットサル」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・

授業スケジュール

- （サッカー）
- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
 - 2 時限目：リフティング、インサイドキック、トラッピング、ゲーム
 - 3 時限目：浮き球のトラッピング、インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム
 - 4 時限目：インフロントキック、オフサイドルールの理解、ゲーム
 - 5 時限目：基本技術の応用、ゲーム
 - 6 時限目：リーグ戦 1
 - 7 時限目：リーグ戦 2
 - 8 時限目：リーグ戦 3
- （フットサル）
- 9 時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム
 - 10 時限目：パス、トラップ、シュート
 - 11 時限目：基本技術の応用 1、ゲーム
 - 12 時限目：基本技術の応用 2、ゲーム
 - 13 時限目：リーグ戦 1
 - 14 時限目：リーグ戦 2
 - 15 時限目：リーグ戦 3

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。

シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること（取替え式スパイクは不可）。

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点30点とする。実技点は、授業中に行われるゲーム成果、授業態度を加味して評価する。また、個人の実技テストは行わない。

そ の 他

雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。30分以上の遅刻は認めない。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものが後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

| | |
|-------|-----------------------|
| 履修コード | 196402 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技） |
| 担当者名 | まつむら まこと 村松 誠 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | バスケットボール、バレーボールのゲームを通して、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1月4日午前：オリエンテーションと班分け 午後：バスケットボールのパス・キャッチとシュート 5日午前：ボールハンドリングとリーグ戦 午後：対人技術とリーグ戦 6日午前：コンビネーションプレートリーグ戦 午後：バレーボールの基礎技術 7日午前：スパイクとリーグ戦 午後：サーブ・レシーブとリーグ戦 8日午前：総合練習とリーグ戦 午後：リーグ戦とまとめ |
| 履修上の留意点 | スポーツ服装と室内用スポーツシューズを用意すること。冬期のため、風邪を引かないよう防寒に留意すること。 |
| 成績評価の方法その他 | 出席点を重視する。全体の3分の2以上の出席者に対して評価点をつけることとする。 再クラス集中授業実施について (1) 実施期間：後期；1月4日（月）～1月8日（金） 1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合 (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30 (3) 実施場所：玉川校舎 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期のものか後期のものか確認すること。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照 |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 196501・196502・196503・196504 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技） |
| 担当者名 | わたなべ いろいろ 渡辺 一郎 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム |
| 履修上の留意点 | 1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点70点、実技点20点、態度点10点 |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 196601・196602・196603・196604 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技) |
| 担当者名 | <small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等) 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス) 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等) 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム |
| 履修上の留意点 | 1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点70点、実技点20点、態度点10点 |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 196701・196702・196703・196704 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技) |
| 担当者名 | <small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等) 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス) 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等) 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム |
| 履修上の留意点 | 1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点70点、実技点20点、態度点10点 |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 196801・196802・196803・196804 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技） |
| 担当者名 | <small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎 |

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
- 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 196901・196902・196903・196904 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技） |
| 担当者名 | <small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎 |

講義のねらい 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
- 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 197001・197002・197003・197004 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技) |
| 担当者名 | ^{わたなべ いちろう} 渡辺 一郎 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル(ストローク、ドライブ、カット、サーブ等) 3時限目～4時限目：ゲーム(シングルス、ダブルス) 5時限目：バレーボールの基本スキル(パス、スパイク、サーブ等) 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル(パス、ドリブル、シュート等) 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム |
| 履修上の留意点 | 1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点70点、実技点20点、態度点10点 |

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 197101・197102・197103・197104 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(ミニサッカー) |
| 担当者名 | ^{おおいし たけし} 大石 武士 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目：オリエンテーション 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム 10時限目～14時限目：ゲーム 15時限目：まとめ |
| 履修上の留意点 | (1) 定員：35名 (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。 (3) 教場：体育館 |
| 成績評価の方法 | 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。 |

| | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 197201・197202・197203・197204 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ミニサッカー) |
| 担当者名 | おおいし たけし 大石 武士 |

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目: ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目: 基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目: ゲーム
 15時限目: まとめ

履修上の留意点
 (1) 定員: 35名
 (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
 (3) 教場: 体育館

成績評価の方法 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

| | |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 197301・197302・197303・197304 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳) |
| 担当者名 | おおいし たけし 大石 武士 |

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛練するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返して稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: 重心の移動・腹式呼吸運動
 3時限目: 第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
 4時限目: 第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷膝
 5時限目: 第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
 6時限目: 第四組 単鞭・雲手・単鞭
 7時限目: 第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
 8時限目: 第六組 左下勢独立・右下勢独立
 9時限目: 第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
 10時限目: 第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
 11時限目: 総合
 12時限目: 総合
 13時限目: 総合
 14時限目: 総合
 15時限目: テスト

履修上の留意点
 1) 定員: 45名
 2) 服装: 一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
 3) 教場: 体育館

成績評価の方法 出席率70%、総合評価30%で行う。

| | | | |
|-------|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 履修コード | 197401・197402・197403・197404 | | |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(簡化太極拳) | 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(簡化太極拳) | 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(簡化太極拳) |
| 担当者名 | おおいし たくし 大石 武士 | | |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目:オリエンテーション 2時限目:重心の移動・腹式呼吸運動 3時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅 4時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷膝 5時限目:第三組 左攬雀尾・右攬雀尾 6時限目:第四組 単鞭・雲手・単鞭 7時限目:第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚 8時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立 9時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂 10時限目:第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢 11時限目:総合 12時限目:総合 13時限目:総合 14時限目:総合 15時限目:テスト |
| 履修上の留意点 | 1) 定員:45名 2) 服装:一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。 3) 教場:体育館 |
| 成績評価の方法 | 出席率70%、総合評価30%で行う。 |

| | | | |
|-------|-----------------------------|------------------------|------------------------|
| 履修コード | 197501・197502・197503・197504 | | |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(室内球技) | 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(室内球技) | 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(室内球技) |
| 担当者名 | しもやま かつとし 下谷内 勝利 | | |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目:オリエンテーション(バスケットボール) 2時限目:基本技術の学習(ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど) 3時限目:ハーフコート2対1、3対2、5対5など 4時限目:ゲーム 5時限目:ゲーム 6時限目:ゲーム(バレーボール) 7時限目:基本技術の学習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど) 8時限目:サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム 9時限目:ゲーム 10時限目:ゲーム 11時限目:ゲーム(バドミントン) 12時限目:基本技術の学習(ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど) 13時限目:スマッシュの練習およびシングルのゲーム 14時限目:サービスの練習およびダブルスのゲーム 15時限目:ダブルスのゲーム |
| 履修上の留意点 | 服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。 |
| 成績評価の方法 | |
| 教科書 | 特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。 |
| その他 | グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。 |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 197601・197602・197603・197604 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（室内球技） |
| 担当者名 | <small>しもやち かつとし</small> 下谷内 勝利 |

| | |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1時限目：オリエンテーション （バスケットボール） 2時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど） 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など 4時限目：ゲーム 5時限目：ゲーム 6時限目：ゲーム （バレーボール） 7時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど） 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム 9時限目：ゲーム 10時限目：ゲーム 11時限目：ゲーム （バドミントン） 12時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど） 13時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム 14時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム 15時限目：ダブルスのゲーム |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。 |
| 教科書 その他の | 特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。 グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。 |

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 197701・197702・197703・197704 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技） |
| 担当者名 | <small>しもやま かつし</small> 下谷内 勝利 |

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
（バスケットボール）
- 2時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど）
- 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4時限目：ゲーム
- 5時限目：ゲーム
- 6時限目：ゲーム
（バレーボール）
- 7時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど）
- 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9時限目：ゲーム
- 10時限目：ゲーム
- 11時限目：ゲーム
（バドミントン）
- 12時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど）
- 13時限目：スマッシュの練習およびシングルスゲーム
- 14時限目：サーブの練習およびダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他

グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 197801・197802・197803・197804 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技) |
| 担当者名 | <small>しもやち かつとし</small> 下谷内 勝利 |

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
(バスケットボール)
- 2時限目：基本技術の学習(ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど)
- 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4時限目：ゲーム
- 5時限目：ゲーム
- 6時限目：ゲーム
(バレーボール)
- 7時限目：基本技術の学習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど)
- 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9時限目：ゲーム
- 10時限目：ゲーム
- 11時限目：ゲーム
(バドミントン)
- 12時限目：基本技術の学習(ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど)
- 13時限目：スマッシュの練習およびシングルスゲーム
- 14時限目：サーブの練習およびダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書 特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他 グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 197901・197902・197903・197904 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(卓球) |
| 担当者名 | <small>まつたけ まこと</small> 村松 誠 |

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 198001・198002・198003・198004 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(卓球) |
| 担当者名 | 村松 誠 |

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットिंग、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 198101・198102・198103・198104 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(ダブルダッチ) |
| 担当者名 | 末次 美樹 |

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付き、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 12時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

履修上の留意点

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

| | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 198201・198202・198203・198204 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(ダブルダッチ) |
| 担当者名 | <small>すえつみ みき</small> 末次 美樹 |

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
 - 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
 - 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
 - 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
 - 6 時限目：5回跳び・10回跳び
 - 7 時限目：ターナーの回転・スピード
 - 8 時限目：ビデオ学習
 - 9 時限目：連続跳び
 - 10時限目：応用
 - 11時限目：応用
 - 12時限目：応用
 - 13時限目：応用
 - 14時限目：応用
 - 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。
成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 198301・198302・198303・198304 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技) |
| 担当者名 | <small>すえつみ みき</small> 末次 美樹 |

講義のねらい 室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時間目：オリエンテーション
 - 2 時間目：<バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術・応用
 - 3 時間目：ゲーム
 - 4 時間目：ゲーム
 - 5 時間目：<バレーボール>サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
 - 6 時間目：ゲーム
 - 7 時間目：ゲーム
 - 8 時間目：<ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
 - 9 時間目：ボールコントロール、ゲーム
 - 10時間目：ゲーム(リーグ戦)
 - 11時間目：ゲーム(リーグ戦)
 - 12時間目：<バドミントン>基本的な説明
 - 13時間目：ゲーム
 - 14時間目：ゲーム
 - 15時間目：まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては(出席者人数)、種目を変更する場合もある。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 198401・198402・198403・198404 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技) |
| 担当者名 | 末次 美樹 |

講義のねらい 室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時間目: オリエンテーション
 2時間目: <バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術・応用
 3時間目: ゲーム
 4時間目: ゲーム
 5時間目: <バレーボール>サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
 6時間目: ゲーム
 7時間目: ゲーム
 8時間目: <ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
 9時間目: ボールコントロール、ゲーム
 10時間目: ゲーム(リーグ戦)
 11時間目: ゲーム(リーグ戦)
 12時間目: <バドミントン>基本的な説明
 13時間目: ゲーム
 14時間目: ゲーム
 15時間目: まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては(出席者人数)、種目を変更する場合もある。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 198701・198702・198703・198704 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(バスケットボール) |
| 担当者名 | 牧野 茂 |

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
 3時限目: 2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
 4時限目: 2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
 5時限目: 3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
 6時限目: 4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
 7時限目: マンツーマン・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
 8時限目: マンツーマン・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 9時限目: マンツーマン・オフense(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 10時限目: モーション・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
 11時限目: モーション・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 12時限目: モーション・オフense(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
 13時限目: 総合練習、ゲーム
 14時限目: 総合練習、ゲーム
 15時限目: 実技テスト、ゲーム

履修上の留意点
 (1) 定員は50名とする。
 (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。
 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 198801・198802・198803・198804 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(バスケットボール) |
| 担当者名 | 牧野 茂 |

- 講義のねらい** バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
 - 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
 - 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
 - 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
 - 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
 - 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
 - 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 - 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 - 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
 - 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 - 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
 - 13時限目：総合練習、ゲーム
 - 14時限目：総合練習、ゲーム
 - 15時限目：実技テスト、ゲーム
- 履修上の留意点**
- (1) 定員は50名とする。
 - (2) 駅沢キャンパス第1体育館で実施する。
 - (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 198901・198902・198903・198904 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(バスケットボール) |
| 担当者名 | 牧野 茂 |

- 講義のねらい** バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
 - 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
 - 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
 - 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
 - 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
 - 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
 - 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 - 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 - 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
 - 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
 - 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
 - 13時限目：総合練習、ゲーム
 - 14時限目：総合練習、ゲーム
 - 15時限目：実技テスト、ゲーム
- 履修上の留意点**
- (1) 定員は50名とする。
 - (2) 駅沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
 - (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 199001・199002・199003・199004 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(バスケットボール) |
| 担当者名 | <small>まさの しげる</small> 牧野 茂 |

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目：総合練習、ゲーム
- 14時限目：総合練習、ゲーム
- 15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

| | |
|-------|-----------------------------------------------|
| 履修コード | 199301・199302 |
| 科目名 | 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用）（ゴルフ） |
| 担当者名 | 三幣 晴三 他 |

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。
ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研一209教場
 - 2回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研一209教場

*本オリエンテーションにて、受講許可書を発行します。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月21日（火）13：00～16：10 2研一209教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月7日（月）

講義：9：00～12：10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎（玉川校舎教場）
実技：13：00～17：30 打撃練習

*注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月8日（火） 実技・講義：11：00～18：00 打撃練習・ゴルフの規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月9日（水） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則Ⅱ
 - 4日目 9月10日（木） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月11日（金） 実技・講義：8：30～13：30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程：平成21年9月7日（玉川校舎）・9月8日～11日（現地：3泊4日）
 - 場所：

宿泊：マロードインターナショナルホテル成田
〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習コース：ダイナミックゴルフ成田
〒289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
 - 定員：40名
 - 集合解散：
 - （1）集合 9月7日（月）午前9時 玉川校舎 305教場
9月8日（火）午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - （2）解散 9月11日（金）午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
 - 受講料：37,600円（左記金額には、交通費は含まれない。）
 - 納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
 - 服装・用具
 - （1）一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
 - （2）ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - （3）グローブは、必ず各自で用意すること。
 - （4）ゴルフクラブ・キャディーバックは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- 出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。
都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

成績評価の方法
その他の

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 199401・199402 |
| 科目名 | 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（スキー・スノーボード） |
| 担当者名 | ^{すずき じゅんぺい} 鈴木 淳平 他 |

保健体育

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研-209教場
2 回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研-209教場

※本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。

1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。

2. 事前授業 1月8日（金）13：00～16：00 2研-209教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義

1 日目 1月28日（木）

午前：駒澤大学駒沢校舎から貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 正午到着予定

午後：開講式 班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」

2 日目 1月29日（金）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」

3 日目 1月30日（土）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」

4 日目 1月31日（日）

午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省まとめ」

5 日目 2月1日（月）

午前：班別実習 閉講式

午後：駒澤大学駒沢校舎へ貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 到着後解散予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認してください。

1) 実習日程：平成22年1月28日（木）～2月1日（月）の4泊5日（現地集合解散）

2) 実習場所：セントレジャー舞子スノーリゾート

宿泊）セントレジャー舞子ホテル 電話（025）783-3511

〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108

3) 定員：スキー20名

スノーボード30名（但し、初心者・初級者に限る）

4) 受講料：50,000円（内訳：往復交通費・宿泊費・食費・傷害保険・その他雑費として）

※リフト券、レンタル代は別途料金がかかります。

証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）

5) 用具：用具は現地レンタル可能（有料）。

6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加修了し、2単位が認められる。成績評価方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

| | |
|-------|-----------------------------------------------|
| 履修コード | 199501・199502 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス） |
| 担当者名 | <small>えぐち じゅんいち</small> 江口 淳一 |

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。
（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）

3日目午後：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

（1）履修者の技術レベルは問わない。

（2）服装は一般的な運動服装とする。

（3）テニスシューズを必ず用意すること。

（4）ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況（出欠は午前午後の日二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

（1）実施期間：7月18日（土）～22日（水）

7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合

（2）実施時間：午前10：00～12：00

午後13：00～15：30

（3）実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

（4）定員：40名とする。

（5）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限（前期）

| | |
|-------|-----------------------------------------------|
| 履修コード | 199701・199702 |
| 科目名 | 生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ） |
| 担当者名 | ^{みゆさ} 三幣 ^{はるみ} 晴三 |

保健
体育

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士のコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）

講義：スイングの基本

2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）

講義：マナーとエチケット

3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）

講義：ゴルフルール

4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）

講義：ゴルフコースとラウンドについて

5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

(1) 服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）

(2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

成績評価の方法
その他

(1) 実施期間：1月4日（月）～8日（金）

1月4日午前10時に玉川校舎集合

(2) 実施時間：10：00～12：00

13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎グラウンド

(4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。

(5) 定員：40名

(6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限（後期）

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 200501 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 1 |
| 担当者名 | たけだ ゆきお 竹田 幸夫 |

講義のねらい 健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行う。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりを考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期である。講義の内容から自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方について理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目 オリエンテーション
- 2時限目 人間と健康（心と体：生活習慣病）
- 3時限目 “ （心と体：ストレス）
- 4時限目 “ （心と体：肥満とダイエット）
- 5時限目 体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6時限目 “ （体力要素の特徴）
- 7時限目 “ （トレーニング方法）
- 8時限目 スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9時限目 “ （運動の上達、習熟）
- 10時限目 “ （運動発達）
- 11時限目 “ （スポーツにおける右と左）
- 12時限目 “ （イメージトレーニング）
- 13時限目 “ （メンタルトレーニング）
- 14時限目 まとめ
- 15時限目 筆記試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を知識として聞くだけではなく、自分の身近な問題として考えながら講義を聴いてほしい。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席状況と授業の最後に行う筆記試験で評価する。
特に指定しない。資料を配布。
葦原 陸著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）
授業は、主に講義形式で進めるがテーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 200601 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 1 |
| 担当者名 | あきた こういち 秋田 浩一 |

講義のねらい 健康を保持することは、人間の願望である。健康は心と体の両面が大切である。現代社会において心の問題は深刻である。学生時代は、生涯の健康的な生活を築くチャンスである。心の悩みや体の悩みを解決する方法を考え、自己を確立し自立できる環境（人的、物的）を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：健康の成立条件
- 3時限目：人間の健康（心と体）
- 4時限目：人間の健康（心の問題）
- 5時限目：学生の健康（心の問題）
- 6時限目：学生の健康（日常生活）
- 7時限目：学生の健康（栄養と食事）
- 8時限目：学生の健康（栄養と食事）
- 9時限目：学生の健康（エイズと性的問題）
- 10時限目：学生の健康（酒とたばこ）
- 11時限目：学生の健康（酒とたばこ）
- 12時限目：学生の健康（精神的自立）
- 13時限目：学生の健康（自立について）
- 14時限目：運動障害と救急法（突き指、捻挫、脱臼、骨折等）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

- ①「小テスト、レポート」を3、4回講義中に実施提出する。
- ②「レポート」提出

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。
特に指定しない。
駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』
『学生の健康学』小学館
授業は主に講義形式で行うが、ビデオ等も活用する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 20111 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 1 |
| 担当者名 | 佐藤 政之 <small>さとう まさゆき</small> |

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に生活習慣病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 " : 現代生活と健康 (食生活と健康)
- 3 " : " (食生活と栄養)
- 4 " : " (")
- 5 " : " (運動不足と生活習慣病)
- 6 " : " (栄養と生活習慣病)
- 7 " : " (平均余命と寿命の伸び)
- 8 " : " (健康のための生活習慣)
- 9 " : " (喫煙・飲酒)
- 10 " : " (ストレス社会と健康障害)
- 11 " : " (ストレスと健康度測定)
- 12 " : 現代生活と運動 (健康づくり運動)
- 13 " : " (スポーツマンのトレーニング)
- 14 " : " (スポーツマンの運動処方)
- 15 " : (スポーツ医学の一般知識)

成績評価の方法
教科書

学期末試験と授業内に提出を求める2回の課題レポート中心に評価します。
教科書は使用しない。適時に配布プリントにて授業を進める。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 201201 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 2 |
| 担当者名 | 大石 武士 <small>おおいし たけし</small> |

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつでも、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならぬ処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等

日頃から新聞・雑誌等の応急手当に関連する記事に目を通しておくこと。
出席・実習および学期末試験で評価する。

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』(カヅサ出版) 1,700円
- 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引き』(小学館) 700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 201401 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 2 |
| 担当者名 | <small>しもやち かつとし</small> 下谷内 勝利 |

講義のねらい 「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、スポーツ科学が教える基礎知識を理解することを目的としたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 授業内容の説明
 2. 健康とは
 3. スポーツとは
 4. 健康・スポーツを究明するスポーツ科学とは
 5. からだと環境 1 適応について
 6. " 2 生活習慣病について
 7. " 3 運動の必要性について（日常生活と運動）
 8. 骨の構造と機能（骨格、関節の種類、関節の働きなど）
 9. 身体構造に規制される動き
 10. 筋肉（骨格筋の種類、筋収縮の仕組みなど）
 11. 筋収縮エネルギー（ATP-PC機構、乳酸性機構、非乳酸性機構、スポーツ競技との関連など）
 12. 有酸素運動
 13. 無酸素運動
 14. ワークショップ
 15. まとめ

履修上の留意点 配布プリントに沿って板書することが多くあることから、ノート整理が重要である。
成績評価の方法 小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。
教科書 特に指定はしない（授業において、プリントを配布する）
参考書等 配布プリントに記載されている参考文献参照のこと。
その他 基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行う。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 201601 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 2 |
| 担当者名 | <small>むらまつ まこと</small> 村松 誠 |

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：健康観の変遷
 - 3 時限目：現代の健康観
 - 4 時限目：健康の成立要因
 - 5 時限目：健康の成立条件
 - 6 時限目：病気の原因
 - 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
 - 8 時限目：現代の感染症
 - 9 時限目：喫煙と健康
 - 10 時限目：飲酒と健康
 - 11 時限目：ストレスと健康
 - 12 時限目：食べ物と健康
 - 13 時限目：運動と健康
 - 14 時限目：環境と健康
 - 15 時限目：まとめ

成績評価の方法 数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
教科書 特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 201801 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 2 |
| 担当者名 | <small>まきの しげる</small> 牧野 茂 |

保健体育

| | |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 1 時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格 3 時限目：健康とは何か（2） 身体的健康、精神的健康 4 時限目：健康とは何か（3） 社会的健康 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説 6 時限目：健康の成立条件 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得 9 時限目：WHOの総合健康指標 10時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養 11時限目：日常生活と健康（2） 休養・睡眠 12時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康 13時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核 14時限目：感染症について（2） 性行為感染症 15時限目：筆記試験 |
| 成績評価の方法 教科書 | 数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。 教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。 |
| 参考書等 | 「健康科学ー知っておきたい予防医学ー」（丸善） 「ライフスタイルと健康の科学」（不味堂出版） 他は、講義のなかで紹介する。 |

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

1. 法律学科フレックスA

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 114411・114412 |
| 科目名 | 法学概論 法学概論A |
| 担当者名 | ^{たかはし ひろき} 高橋 洋城 |

講義のねらい

法学部に入っはじめて法学を学ぶひとに、法学科目履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の種類
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。
伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣双書52）有斐閣
竹下・福井編『はじめての法学』成文堂

その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

| | |
|-------|-----------------------|
| 履修コード | 114421・114422 |
| 科目名 | 法学概論 法学概論A |
| 担当者名 | 北野 ^{きたの} かほる |

講義のねらい 法学部に入ってはじめて法学を学ぶひとに、法学科履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はとまどうかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の種類と解決の種類
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法
教科書
参考書等

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。
伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』(有斐閣双書52) 有斐閣
竹下・福井編『はじめての法学』成文堂
その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

| | |
|-------|--------------------------------------------|
| 履修コード | 114511・114512 |
| 科目名 | 公法入門 法学概論B |
| 担当者名 | 山口 ^{やまぐち} 邦夫・金子 ^{かねこ} 昇平 |

講義のねらい 平成16年度から、法学概論・公法入門・私法入門と3分していたものを、従前の法学概論にもどした。しかし、単位未取得者のために残されている公法入門である。出来るかぎり本年度に履修を終えることを希望する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前半(山口)
1. 公法と私法とを区別する意味
 2. いわゆる明治憲法と最高法規としての憲法
 3. 1945年8月15日の政変を、法的にどのように把握すべきか(憲法の連続性と非連続)
 4. 国家刑罰権について
 5. 罪刑の法定の意義
 6. 試験
- 後半(金子)
1. 行政法とは何か
 2. 行政法の法源
 3. 行政法の領域
 4. 法治行政
 5. 行政作用と法
 6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、1回の欠席もゆるがせにできない。さもないと試験の成績にひびくことになる。

成績評価の方法

成績は、前半と後半の各試験を合計して評価するが、試験はそれぞれの担当者の講義最終時間とする(計2回)。どちらか一方が不可となれば単位を取得することが難しくなるので注意すること。

教科書
参考書等

前半・後半ともに教科書は使用しない。
参考書はその都度、紹介するので積極的に読書するようにすること。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 114531・114532 |
| 科目名 | 私法入門 法学概論 B |
| 担当者名 | 中田 <small>なかた ひでゆき</small> 英幸 |

講義のねらい

この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味を持てるように講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原理
 - (1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条理
4. 私法の効力
 - (1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

法
律

成績評価の方法

半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になる。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書
参考書等

担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。
講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 114601 |
| 科目名 | 憲法 |
| 担当者名 | 高畑 英一郎 |

講義のねらい すでに中学の「公民」や高等学校の「現代社会」「政治・経済」などで学んできたように、憲法は国家の根本原則、すなわち国家の統治組織・統治作用や権利保障のあり方について定めた基本となる法である。憲法をよく理解した上で、よりよい社会を作り出していくことは、国民としての必須の事柄と思う。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、立憲主義という近代国家に不可欠な視点から、日本国憲法の意義や内容その問題点などについて、判例・学説を素材に平易かつ具体的に解説していくことを目的とする。

1 オリエンテーション、2 国家について・憲法とは何か、立憲主義、3 国民主権、4 天皇制、5 平和主義、6 人権総論（人権の享有主体・人権制約原理）、7 私人間効力、8 法の下での平等、9 幸福追求権、10 思想良心の自由、11 信教の自由、12 学問の自由、13 表現の自由、14 表現の自由の限界、集会・結社の自由、16 身体の自由・適正手続、17 刑事手続の保障、18 職業選択の自由、19 財産権、20 社会権一般・生存権、21 教育を受ける権利、労働権、22 国務請求権・参政権、23 統治の原理、24立法権（国会）、25 行政権（内閣）、26、司法権（裁判所）、27 違憲審査制、28 地方自治、29 財政、30 憲法史

履修上の留意点

憲法の問題は、案外身近に起こる出来事と関係することが多いので、つね日頃から新聞やニュースの政治問題、社会問題に関心を持つようにすること。

成績評価の方法教科書

学年末試験による。なお受講態度も考慮の対象とする場合がある。

参考書等

配布プリントにそって講義を行うため、教科書は指定しない。ただ、参考書にあげる判例集と憲法概説書の1冊は必要である。

（判例集）

戸松秀典・初宿正典『憲法判例〔第5版〕』有斐閣、2900円、ISBN:9784641130227
（憲法概説書）

【初級者用】

渋谷・赤坂『憲法1・2〔第3版〕』有斐閣、2000円・2100円、ISBN:9784641123083/9784641123090

【中級者用】

松井茂記『日本国憲法〔第2版〕』有斐閣、4200円、ISBN:9784641129096

高橋和之『立憲主義と日本国憲法』有斐閣、2900円、ISBN:9784641129827

【上級者用】

大石真『憲法講義I・II』有斐閣、各2000円、ISBN:9784641129568/9784641130135

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 114701 |
| 科目名 | 憲法 |
| 担当者名 | 西 修 |

講義のねらい 憲法はいうまでもなく国の最高法規であり、かつ基本法である。憲法に関する基礎的知識を養い、さらに理解を深めるよう、ビデオ、書画カメラ、コピーの配布など、さまざまな工夫をこらして講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

取り扱う主な項目は、以下のとおり。

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 日本国憲法の制定過程 | (9) 社会権 |
| (2) 憲法の改正と限界 | (10) 身体の自由 |
| (3) 国民主権と象徴天皇制 | (11) 国会の組織と機能 |
| (4) 基本的人権の歴史と意義 | (12) 内閣の機能、議院内閣制 |
| (5) 日本国憲法と平和主義 | (13) 司法の構造と権限 |
| (6) 法の下での平等 | (14) 憲法の保障 |
| (7) 精神的自由権 | (15) 財政・地方自治 |
| (8) 経済的自由権 | |

履修上の留意点

履修上の留意点 あらかじめ次週の講義内容を告知するので、予習をしておくように。また講義中に配布した資料についてじっくり復習すること。

成績評価の方法

試験結果にもとづき評価する。授業中試験をする可能性があるので注意すること。とくに授業中試験は追試験を実施しないので要注意。

教科書参考書等

西 修編著『エレメンタリ憲法』（成文堂）2008年（価格は未定）

(1)西 修著『日本国憲法成立過程の研究』（成文堂）2004年 6,000円＋税

(2)各種六法全書など最新の法令集。

その他

私語、途中からの入退室は厳禁。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 114801 |
| 科目名 | 民法総則 |
| 担当者名 | むかいだ まさみ 向田 正巳 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義では民法典第1編総則編についての解説を行います。民法とはいかなる法律か、その概要を述べた後、総則に関わる制定法と判例について具体的に検討を行います。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 本講義ではまず民法の体系のなかで、民法の占める位置について検討します。次に民法の体系について検討し、近代市民社会における商品交換法としての民法の性質について考えます。これらの基礎的作業を経た後、総則の各条文と関連する制定法、判例について検討するということにします。検討の中心となるのは第5章の法律行為の規定と、第2章、第3章の人、法人についての規定です。 |
| 履修上の留意点 | 民法総則は必修科目とされており、法学部で開設されている科目のなかでも特に重要な科目です。授業の無断欠席や私語などは厳に慎み、これからの4年間の法律学習の基礎を作ってください。 |
| 成績評価の方法 | 小テスト、期末テストにより評価します。 |
| 教科書 | 我妻栄ほか『民法1 総則・物権法(第2版)』勁草書房 |
| 参考書等 | 『民法判例百選I 総則・物権 第5版新法対応補正版』有斐閣 |

法
律

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 114901 |
| 科目名 | 民法総則 |
| 担当者名 | くまがい しづい 熊谷 芝青 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 市民生活と密接な民法全体の総論的講義を行う。民法の基本的な原理や原則を基礎にした体系的知識が得られることを目的とする。民法典の条文を中心とした規範が実際の事案に適用されることを念頭に置きながら講義を進めていく。学修後、判例でどのように実際の法条文が適用されているかを理解し、発展的学習のための基礎固めができるようにしたい。併せて民法総則を学ぶことで、法律学の考え方を習得することをも目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1: 民法学の基礎 法的三段論法と民法の適用・法律解釈の種類 2: 私的自治の原則 私的自治の原則・意思能力・無効 3: 行為能力制度 制限行為能力者・制限能力者の行為・取消 4: 法律行為 成立要件・有効要件(公序良俗違反・強行法規違反) 5: 意思の不存在 心裡留保・虚偽表示・錯誤 6: 意思の瑕疵 詐欺・強迫・消費者契約法 7: 代理と代理権濫用 8: 表見代理 110条の表見代理・109条の表見代理・112条の表見代理・表見代理の重畳適用 9: 無権代理 無権代理と相続・利益相反行為 10: 時効総則 時効の援用・時効の利益の放棄・時効の中断 11: 取得時効 12: 消滅時効 |
| 履修上の留意点 | 教科書と六法は必ず持参すること。出席を毎回とることはしないが、数回不定期にとるので注意されたい。また当然のことであるが、受講中の飲食・携帯電話の使用は禁止であり、それに違反した場合、その時点で落第とする場合がある。 また板書を多用するので、ノートと筆記道具は必携である。 |
| 成績評価の方法 | 期末試験の成績を中心にして行う。出席点を加味する。 また飲食・携帯電話使用の場合にはその時点で落第とする場合がある |
| 教科書 | 近江幸治『民法講義I総則(第5版)』(成文堂、2005) |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 115001 |
| 科目名 | 刑法総論 |
| 担当者名 | 山口 邦夫 <small>やまぐち くにお</small> |

法
律

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 一年次の専門科目として、高校時代の学習あるいは予備校時代の勉強方法から、一日も早くぬけ出し、大学における真の学問を学ぶ姿勢になってもらうことを主眼に講義をする。大学生の自覚をもって、講義や読書を通じて、みづから積極的に研究する態度を身につけるように諸君も努力してほしい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 一年間を次の4期に分けⅠ期(4・5月)、Ⅱ期(6・7月)、Ⅲ期(9・10月)、Ⅳ期(11・12月)、講義をする。 Ⅰ期。学問とは何か。特に学問の限界について考える。それから、法律学とは何か。法律学の体系における刑法学の位置づけへと進む。 Ⅱ期。刑法における刑罰と犯罪概念を中心に、法治国家の原則として罪刑を法定しておくことの意味を検討する。 Ⅲ期。刑法学の構成要件論を手がかりに、犯罪論の構築の仕方について、数種のパターンを考えて講義をする。その際、違法と責任との区別を唆別する立場から解説をする。 Ⅳ期。犯罪の既遂・未遂について、昔の学派の対立をひきあいしながら、未遂処罰の根拠、さらに過失犯に実行行為があるか否かを考えながら、故意犯と過失犯との区別について検討する。最後に二人以上の犯罪者が加わるいわゆる共犯の問題について論究し、刑法学の概説を終る。 |
| 履修上の留意点 | 年間を通じて、出席はとらない。ただし、上記の各期ごとのまとめとして、小テストを時間内に行う予定である。 質問時間は、研究室2719号に掲示してある。毎週2～3時間は、毎年確保しているので、この時間内は、自由に質疑が可能である。 |
| 成績評価の方法 | 上記の小テストが実行できれば、その結果を、年一回の期末試験の成績と一緒に評価し、単位を認定する。 |
| 教科書 | 教科書は、原則として使用せずに講義をすすめ、参考書はその度に紹介するので、積極的に読書してほしい。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 115101 |
| 科目名 | 刑法総論 |
| 担当者名 | 佐藤 多美夫 |

講義のねらい

本講義では刑法総論の分野を扱います。刑法総論は刑法各論のように殺人罪、窃盗罪といった個々の犯罪を扱うのではなく、それらの犯罪の共通にもっている性格を明らかにしようとする。そこで、犯罪の基本的、重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめ、体系的に刑法総論を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

I 序説

- 1 はじめに
- 2 犯罪論の基礎
- 3 罪刑法定主義と刑法の解釈

II 構成要件

- 1 総説
- 2 結果
- 3 実行行為
- 4 因果関係

III 違法性

- 1 総説
- 2 正当業務行為
- 3 正当防衛
- 4 緊急避難

IV 責任

- 1 総説
- 2 責任能力
- 3 故意
- 4 過失
- 5 期待可能性

V 共犯

- 1 総説
- 2 共同正犯、共謀共同正犯、承継的共同正犯、過失の共同正犯
- 3 教唆犯
- 4 幫助犯

VI 共犯の諸問題

- 1 共犯と身分
- 2 不作為と共犯
- 3 共犯と錯誤
- 4 共犯の中止、離脱

VII 罪数論

VIII 刑罰論

予習及び復習は必要です。
筆記試験が中心であるがその他を考慮する場合もある。
学内指定書店の指示を受けて下さい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

法
律

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 115301 |
| 科目名 | 会社法 |
| 担当者名 | 荒木 ^{あらか} 正孝 ^{まさたか} |

講義のねらい 【注意】 この講義を選択できるのは、法律学科の2年生で学生番号LK8001番からLK8200番の学生および法律学科の3年生以上の学生です。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義では、会社法（株式会社、持分会社く合名会社、合資会社、合同会社）の重要かつ基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済活動を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、また実務の対応なども検討し、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成18年5月1日に「会社法」が施行された。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体にしてひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われてきた法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものである。今年はこの新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関係者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・無償割当、単元株制度などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法の財産法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度説明するつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。ただし、教場には、必ず最新の六法を持参する必要がある。

成績評価の方法
教科書
参考書等

成績は、年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。
教科書は、授業の初めに指示します。
江頭・岩原・神作・藤田編『会社法判例百選（別冊ジュリストNO.180）』（有斐閣）

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 履修コード | 134411 |
| 科目名 | 会社法 |
| 担当者名 | 井上 ^{いのうえ} 健一 ^{けんいち} |

講義のねらい 【注意】 この講義を選択できるのは、法律学科2年生で学生番号LN8201番以降の学生、法律学科3年生以上の学生、政治学科2年生以上の学生である。

講義の内容・
授業スケジュール

企業活動の内部的な規整である会社組織に関する法規整（いわゆる形式的な意味での会社法）について講義する。単なる制度の紹介にとどまらず、なぜそのような制度が存在するのかという「制度の存在理由」を、近時の敵対的買収と対抗策の問題などに代表されるような現実の会社実務との関係で理解することを心がける。前期は主としてコーポレートガバナンスに関する規整、後期は企業金融および組織再編に関する規整を中心に講義する。商法総則についても適宜会社法との関連部分について触れていく。

前期 1 会社法総論：商法の体系および会社法の存在意義 2 会社の機関と法：コーポレートガバナンスに関する法規整（株主総会、取締役会・代表取締役、監査役等）

後期 3 会社の資金調達と法規整（設立時の資金調達、設立後の資金調達：新株発行、社債等）
4 会社の組織再編（M&A等） 5 企業会計

履修上の留意点

少なくとも民法（総則・債権各論）を履修済か、履修中であることが望ましい。日経などの新聞・雑誌の経済記事についてもアンテナを張っておくこと。

成績評価の方法

原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で質疑応答形式によるケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

教科書
参考書等

平出・山本・田澤編『会社法概論』（青林書院）3780円 4-417-01404-3
江頭憲治郎『株式会社法』（有斐閣）、神田秀樹『会社法』（弘文堂）。その他、適宜授業内で紹介する。

その他

授業情報は<http://homepage3.nifty.com/inoue-k/>も参照のこと。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 115701 |
| 科目名 | 債権総論 |
| 担当者名 | なかた ひでゆき 中田 英幸 |

講義のねらい 本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)序論(1)
 - ①債権総論とは何か②債権とは何か
- (2)債権の「目的」(2-3)
 - ①債権の「目的」の意味②債権の種類
- (3)債権の効力(4-13)
 - ①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者遅滞
- (4)債権債務の移転(14-18)
 - ①債権譲渡②債務引受
- (5)債権の消滅(19-24)
 - ①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同
- (6)多数当事者の債権関係(25-30)
 - ①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務

履修上の留意点

債権総論と債権各論が合わさって債権法を構成するので、債権各論も同時に履修することが望ましい。

最新の六法は必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

期末試験により評価する。
野村豊弘ほか著『民法III－債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）
星野英一ほか編『民法判例百選II債権（第5版新法対応版）』（有斐閣、2005年）（来年度までに第6版が出版された場合には、第6版）
他の文献は講義中に指示する。

法
律

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 115601 |
| 科目名 | 物権法 |
| 担当者名 | やまだ そういち 山田 創一 |

講義のねらい

受講生は、売買契約を日常行っているであろうし、下宿をしている人は賃貸借契約を結んでいるであろう。さらに、将来結婚をしたり、相続の問題に直面することになるであろう。こうした例からもわかるように、財産法と家族法で構成される民法は、受講生の生活と密接に関わっているといえる。

ところで、財産法は総則編・物権編・債権編よりなるが、物権編のうち物権法でとりあげるのは、総則・占有権・所有権・地上権・永小作権・地役権の6章である。こうした物を直接排他的に支配する権利である物権の基礎を理解させることを講義の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

物権の意義、物権法定主義、物権の効力、物権的請求権、公示の原則と公信の原則、物権変動を生ずる法律行為（1～5回）。不動産物権変動の對抗要件、177条の「第三者」の範囲、取消し・解除・時効・相続と登記、動産物権変動の對抗要件（6～10回）。動産の即時取得、明認方法（11～15回）。占有権（16～20回）。所有権（21～25回）。地上権、永小作権、地役権、入会権（26～30回）

履修上の留意点

授業は、テキストを用いて講義を進めていくので、テキストと六法は持参して下さい。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

中間試験および学年末試験の成績による。
白羽祐三・山田創一『物権法講義』駿河台出版社、2800円
『民法判例百選I』有斐閣
『民法の争点』有斐閣

その他

民法の勉強を通じて、リーガルマインドを養成し、紛争解決能力を培ってもらいたい。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 115401・115402 |
| 科目名 | 行政法 行政法総論 |
| 担当者名 | 金子 昇平 <small>かねこ しょうへい</small> |

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に掲示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1) 行政法の基礎(1~5)

①行政と法の一般的関係(行政の概念と分類、行政法の成立、行政法の特性) ②日本行政法の基本構造(公法・私法二元論とその有用性、行政法学のあり方) ③行政法の法源(成文法源、不文法源、行政法の効力) ④日本行政法の基本原理(法律による行政の原理、法治主義、行政のコントロール・システムの充実、法の一般原理)

2) 行政過程論(6~15)

①行政の行為形成論(行政立法・法規命令と行政規則) ②行政行為(行政行為の意義、行政行為と法の拘束、行政行為の種類、行政行為と裁量、行政行為の効力、行政行為の瑕疵、行政行為と法律関係、行政行為の附款) ③行政上の契約(問題の所在、行政上の契約の問題点) ④行政指導(意義、行政指導と法の拘束、行政指導と救済制度) ⑤行政計画(意義、計画と法の拘束、計画と救済制度)

3) 行政上の一般的制度(16~25)

①行政上の義務履行確保(行政上の強制執行、行政代執行、直接強制、執行罰) ②即時強制 ③行政調査(行政調査の意義及び問題点) ④行政手続(行政手続の意義と機能、適正手続の基本的内容、行政手続法の法源、行政手続法、命令・計画策定手続、手続の瑕疵と処分の効力) ⑤行政情報管理(情報公開、情報公開の理念・意義・展開、情報公開法、行政機関個人情報保護、行政スタイルの変革)

4) 行政過程における私人(26~30)

①行政過程における私人の地位 ②行政過程における私人の行為

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

期末試験の成績により評価する。

塩野宏『行政法I』(行政法総論)[第四版]有斐閣

塩野宏他編『行政判例百選I、II』(第五版)(有斐閣)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 115801 |
| 科目名 | 刑法各論 |
| 担当者名 | まつむら いたる 松村 格 |

講義のねらい 刑法各論は、刑法定各則の個別構成要件の解釈を主流とします。それぞれの構成要件が、犯罪を構成する要素を規定しているわけですが、それぞれの構成要件が何らかの法益を保護しているわけですから、その法益保護と人権保障という刑法の使命を念頭におきながら、どのように構成要件要素を解釈すれば最も妥当性があるのかを学びます。また、他の構成要件との関連性をも見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール 刑法定各則は、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順序で規定されていますが、われわれの最も身近な個人的法益に対する罪から学習します。そして、個人的法益に対する罪も、生命に対する犯罪・身体ないし健康に対する犯罪・自由または名誉に対する犯罪・財産に対する犯罪の順序で学習していきます。時間的余裕があれば、社会的法益と国家的法益に対する罪についても一部扱います。

履修上の留意点 刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、法益保護はもちろんのこと、人権保障のためにも、謙抑性を念頭におきながら構成要件の解釈をするように努めてください。そして、そのためにも、例えば、行為無価値論による解釈と結果無価値論に基づく解釈を比較検討することも必要です。その点を注意して、講義中の先生の話をよく聞いてノートをとる必要があります。なお、構成要件の解釈を主流とする刑法各論ですから、六法全書を携帯しないで授業に参加することは無意味ですので、六法全書を忘れた場合には、図書館で借りるなりしてでも携帯してください。さもなければ、受講を拒絶します。なお、刑法各論は、刑法総論の上に成り立っていますので、刑法総論の単位を取得していなければ履修する意义がありません。

成績評価の方法 年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをしてGPA評価に算入します。年度末試験は論文式です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要です。作文力を養ってください。必要に応じて、刑法総論における基本事項について質問することがあります。履修者が少人数の場合には、出欠をとります。

教科書 松村格著『日本刑法各論教科書』(八千代出版)
 参考書等 指定図書・松村他著『刑法各論』(ミネルヴァ書房)
 参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅱ・各論〔第六版〕』(有斐閣) 2, 200円
 曾根・日高編『基本判例5 刑法各論第2版』(法学書院) 2, 000円

その他 毎回出席をとります。総論の知識について質問をします。

法
律

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 116001 |
| 科目名 | 裁判法 |
| 担当者名 | いほだ としはる 五百田 俊治 |

講義の内容・授業スケジュール 民事・刑事・行政裁判手続について、基本理念・概念を示しつつ、実務家の観点から、実際の手続の特色・流れを講義します。

民事・刑事・行政裁判手続の授業割合は、民事6割、刑事3割、行政1割を目安にしています。希望者に、講義中質問し、解答を求めることにより、講義にアクセントをつけることを実施する予定です。

履修上の留意点 講義中の私語や携帯電話の使用は厳禁します。講義開始時の遅刻も極力避けて下さい。

成績評価の方法 学年末試験のみで評価します。持ち込みは一切不可で、追試も行いません。

教科書 五百田俊治「裁判法」2007年刊 DTP出版 3300円

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 115501 |
| 科目名 | 国際法 |
| 担当者名 | おう しあん 王 志安 |

講義のねらい
講義の内容
授業スケジュール

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。
国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規則、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書
参考書等

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版）2006年
大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて講義方式で行い、適宜に参考資料を配付し、power point を利用した講義を行いません。簡潔な聴講ノートは、Yestudy から入手できます。

法
律

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 115901 |
| 科目名 | 有価証券法 |
| 担当者名 | なかほま ししあき 中濱 義章 |

講義のねらい 手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無償代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡及
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点 六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『セレクト六法』（岩波書店）、『ディリー六法』（三省堂）など。

成績評価の方法 民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書等 濱田惟道『手形法小切手法』（文眞堂）
開講時に指示します。

- 『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第3版）』（有斐閣）

法
律

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 117101 |
| 科目名 | 商法総則・商行為法 |
| 担当者名 | かわぐち さきみ 川口 幸美 |

講義のねらい 民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール ①～⑥は商法総則、⑦～⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ①商法総則（商法の意義） | ②商法の適用（商行為概念・商人概念） |
| ③営業譲渡（商号の保護） | ④商号 |
| ⑤商業使用人（支配人・その他） | ⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力） |
| ⑦商事売買取引（国際売買取引契約） | ⑧運送契約 |
| ⑨仲立人・取次人・商事代理 | ⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ） |
| ⑪交互計算 | |

履修上の留意点 教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権）を同時履修するか、履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法 試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。開講時に指示する。

教科書等 鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
別冊ジュリスト 商法総則・商行為法判例百選（第4版）
小塚荘一郎「ケース商行為法」（商事法務）

その他 （当然のことですが）授業中に私語・携帯電話の使用は厳しく注意します。場合によっては退室を命ずる。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 116701 |
| 科目名 | 担保物権法 |
| 担当者名 | 山田 創一 <small>やまだ そういち</small> |

講義のねらい

受講生は、売買契約を日常行っているであろうし、下宿をしている人は賃貸借契約を結んでいるであろう。さらに、将来結婚をしたり、相続の問題に直面することになるであろう。こうした例からもわかるように、財産法と家族法で構成される民法は、受講生の生活と密接に関わっているといえる。

講義の内容・授業スケジュール

ところで、財産法は総則編・物権編・債権編よりなるが、物権編のうち担保物権法でとりあげるのは、留置権・先取特権・質権・抵当権の4章である。債権の履行を確保するために認められるこれらの担保物権の基礎を理解させることを講義の目的とする。

担保物権の意義、担保物権の種類、担保物権の性質・効力、抵当権の意義、抵当権の法的性質、抵当権の設定、抵当権侵害の損害賠償、抵当権に基づく妨害排除請求（1～5回）。物上代位、法定地上権（6～10回）。一括競売、抵当権に後れる賃貸借の処遇、抵当権の実行、代価弁済、抵当権消滅請求、共同抵当、抵当権の処分、抵当権の消滅、根抵当権（11～15回）。質権、動産質、不動産質、権利質（16～20回）。留置権、先取特権（21～25回）。仮登記担保権、譲渡担保、所有権留保（26～30回）。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

授業は、テキストを用いて講義を進めていくので、テキストと六法は持参して下さい。
中間試験および学年末試験の成績による。
清水元『プログレッシブ民法 [担保物権法]』成文堂、2500円
『民法判例百選Ⅰ』『民法の争点』有斐閣
民法の勉強を通じて、リーガルマインドを養成し、紛争解決能力を培ってもらいたい。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 117001・117002 |
| 科目名 | 家族法 相続法 |
| 担当者名 | 竹中 智香 <small>たけなか ちか</small> |

講義のねらい

民法第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期]
- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
 - (2) 氏と戸籍、親族
 - (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
 - (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
 - (7) 婚姻解消
 - (8・9) 親子：実親子関係
 - (10・11) 親子：養親子関係
 - (12) 後見・保佐・補助、扶養
- [後期]
- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
 - (2) 相続人
 - (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
 - (6) 相続の効力：相続分
 - (7) 相続の効力：遺産の共有
 - (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
 - (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
 - (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法
教科書
参考書等

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も加味します。
川井健『民法概論 5 親族・相続』有斐閣 2,800円
六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第7版]』（有斐閣）
『法律学小辞典 [第4版]』（有斐閣）

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 116901 |
| 科目名 | 保険・海商法 |
| 担当者名 | 井上 健一 |

講義のねらい 商法のうち、保険取引および海商を含めた国際取引に関する法規整を概観する。この分野は、商法典の条文、もしくは判例の理解のみならず、約款や条約、あるいは商慣習なども含めた実務慣行に注意を払う必要がある。いわば実務との関係で「生きている法」を扱うという意味で、意欲を持って取り組めば非常に面白い内容である。前期は保険法を、特に保険契約法を中心に扱い、後期は海商法およびそれに関連した国際取引に関する契約に対する法規整を扱う。保険会社や商社などの実務に興味がある者は是非参加してほしい。

講義の内容・授業スケジュール
 I 保険法
 1. 保険法総論・保険契約法総論 2. 損害保険契約 3. 生命保険契約 4. 傷害保険
 II 海商法・国際取引法
 1. 海商法・国際取引法総論 2. 海上企業者 3. 海上運送契約・国際取引契約 4. 海上危険・海上保険 5. 国際取引における紛争解決

履修上の留意点
成績評価の方法 民法(総則・債権各論)および商法総則・商行為法を履修済か、履修中であることが望ましい。原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で対話式のケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

教科書 山下・竹濱・洲崎・山本「保険法」(第2版)(有斐閣)1900円 4-641-12233-4
参考書等 レジュメで随時紹介する。
その他 授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

法
律

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 116101 |
| 科目名 | 民事訴訟法 |
| 担当者名 | 間瀬 清史 |

講義のねらい この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続のみならず、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民訴手続の全体像と民訴理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール (1~2) 民事紛争の解決制度、(3) 民事訴訟制度の現代的課題、(4) 訴え、(5) 裁判所、(6) 当事者、(7) 第三者による訴訟進行、(8~9) 本案と訴訟要件、(10~11) 当事者と裁判所の役割、(12) 口頭弁論の諸原則、(13) 口頭弁論の準備、(14) 証明と証拠、(15) 証明責任、(16) 当事者の行為による訴訟の終了、(17~19) 終局判決とその効力、(20~21) 複数請求、(22~24) 共同訴訟、(25~26) 訴訟参加、(27) 当事者の変動、(28~29) 上訴・再審、(30) 簡略な手続

履修上の留意点 民事実体法の基本事項について一応の理解を有することが履修の前提となります。
成績評価の方法 日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書 名津井吉裕ほか著『民事訴訟法』(法学書院)2007年、3200円(税別)。
参考書等 小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』(悠々社)2001年、3500円+税。
 小林秀之編『法学講義 民事訴訟法』(悠々社)2006年、4000円+税。
 『民事訴訟法の争点』(有斐閣)2009年予定。
 『民事訴訟法判例百選 [第3版]』(有斐閣)2003年、2800円+税。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 116201 |
| 科目名 | 刑事訴訟法 |
| 担当者名 | 田中 優企 <small>たなか ゆうき</small> |

講義のねらい 今年5月開始の裁判員制度は、国民が裁判員として刑事裁判に参加する制度ですが、裁判員に刑事手続に関する知識は求められません。ですが、法制度を学ぶ法学部生としては、その一角をなす刑事訴訟法の基本原理、その法運用と問題点を学ぶことは不可欠でしょう。

そこで、この講義では、現行刑事訴訟法施行60年を迎えた我が国の刑事手続を規律する基本原理、これに基づく法運用の実際を理解してもらい、そこで生じている問題点の解決方法について、みなさんと共に考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目は、ガイダンスとして講義全般について、第2回目以降から、次の各項目を1回または複数回に分けて順番にお話します。

①刑事手続の概要、刑事裁判のかたち、②刑事手続に関与する機関・人とその役割、③強制捜査と任意捜査、④職務質問、所持品検査、自動車検問、⑤逮捕・勾留、⑥捜索・押収、⑦取調べ、接見交通権、⑧公訴、起訴状一本主義、⑨公判手続、裁判員制度、⑩訴因制度、⑪自白法則、補強法則、⑫排除法則、⑬伝聞法則、⑭裁判の効力、⑮上訴、再審

教科書及び六法を必ず持参してください。

学年末試験の成績により評価します。

椎橋隆幸編『ブリッジブック刑事裁判法』（信山社出版、2007年）2000円

井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第8版）』（有斐閣、2005年）2200円

参 考 書 等

（購入する必要はありません）

渥美東洋『全訂刑事訴訟法』（有斐閣、2006年）5300円

椎橋隆幸編『プライマリー刑事訴訟法（第2版）』（不磨書房、2008年）2900円

そ の 他

授業に関する質問は遠慮なくどうぞ。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 116801 |
| 科目名 | 労働法 |
| 担当者名 | ふじもと しげる 藤本 茂 |

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。特に、労働時間法、労働契約法、雇用平等法などです。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。

以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本の雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席は当然のことと考えています。そして、授業のマナーは守ること。途中での退席は認めません。非常の場合は申し出ること。

授業は、教科書はもとより、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要ですし、教科書は予習復習には欠かせません。

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましいと考えています。

成績評価の方法

学年末試験（論述式）がメインで、受験をしていないと評価は出しません。気をつけてください。また、レポート、中間試験や出席も評価対象です。これらを総合的に評価して、成績を決めます。

追試験は実施します。

教科書

教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所2009）。物足りなさを感じる受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。

参考書等

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものがが必要です。参考書や六法については、第1回目の授業であらためて紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 116301 |
| 科目名 | 社会保障法 |
| 担当者名 | 橋爪 幸代 |

講義のねらい 社会保障法制度の基本的内容について理解した上で、社会における社会保障法制度の果たす役割について検討する。また、社会保障制度における法的論点について考察する。

社会保障法制度の成り立ち、概要について示した上で、法学的な視点から社会保障について検討する。必要に応じて、判例を参照する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 社会保障法のご概念と体系
- 2 児童福祉
- 3 家庭福祉
- 4 障害者福祉
- 5 介護
- 6 医療
- 7 年金
- 8 労災保険
- 9 雇用保険
- 10 生活保護
- 11 社会保障法制度の理論と課題

成績評価の方法
教科書

- 筆記試験によって、評価する。
- ・本沢巳代子編著『トピック社会保障法』（第3版）不磨書房
 - ・労働調査会出版局編、『社会保障法令便覧』、労働調査会

法
律

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 116501・116502 |
| 科目名 | 行政救済法 行政法各論 |
| 担当者名 | 金子 昇平 |

講義のねらい 現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。

また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手段として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような行政上の不服申立て、行政事件、国家賠償事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 行政救済法の観念(1)
- 2) 行政争訟法(2~16)
 - ①行政過程における行政争訟(行政上の不服申立て、行政不服審査法、行政審判・苦情処理、オンブズマン)
 - ②行政事件訴訟法(行政事件訴訟法の特徴、抗告訴訟、取消訴訟、取消訴訟の審理、取消訴訟の終了、取消訴訟における仮の救済、無効確認訴訟、争点訴訟、当事者訴訟、不作為の違法確認訴訟、義務付け訴訟、差止訴訟、法定外抗告訴訟、民衆訴訟、機関訴訟、司法審査権の限界)
 - 3) 国家賠償法(17~25)

国家賠償(国家賠償法の位置づけと概要、公権力の行使にかかる賠償責任—国家賠償法一条、営造物の設置管理にかかる賠償責任—国家賠償法二条、賠償責任者、民法の通用)
 - 4) 損失補償(26~30)
 - ①意義(損失補償の要否)
 - ②憲法上の補償請求権の要否(補償の内容、財産に対する補償、その他の補償項目)
 - ③国家補償の谷間(違法、無過失の場合、設置・管理無瑕疵の場合、正当行為の結果に関する責任、危険状態にかかる責任)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。
期末試験の成績により評価する。

- 塩野宏『行政法II』(行政救済法)〔第四版〕有斐閣
- 塩野宏他編『行政判例百選I・II』第五版(有斐閣)

| | |
|-------|----------------------------|
| 履修コード | 116601 |
| 科目名 | 国際紛争解決法 |
| 担当者名 | 王 志安 <small>おう しあん</small> |

講義のねらい 国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール 国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点 参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかりと取ってもらいたい。

成績評価の方法 power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、Yestudy から入手できる。学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書 大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円
参考書等 市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。
その他 授業は Power Point を使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。

法
律

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 116401 |
| 科目名 | 国際私法 |
| 担当者名 | 佐々木 彩 <small>ささき さい</small> |

講義のねらい 法律関係の構成要素に外国に関連する要素が一つでも含まれる場合を、一般に渉外的法律関係と呼ぶ。そして、渉外的法律関係に適用すべき法律を指定する規定を定めているのが国際私法である。国際私法は、渉外的法律関係によって生じる紛争を円滑に解決に導く手段のみならず、予めどの国の法律を適用することとなるのか等の予測可能性を高めてくれることにも役立つ。わが国では「法の適用に関する通則法」という法律を中心に国際私法が形成されている。国際私法は、民法や商法のような実質法のように私法問題の半断基準となる法律とは規律する領域を異にしており、異なる次に位置づけられるものとして、上位規範等と呼ばれることがある。このような他の分野と異なる国際私法的センスを習得できるように講義を進めたいと考えている。国際私法は時として難解な科目であると捉えられがちであるが、国際結婚・離婚、国際養子縁組、国際契約等に関する身近な問題を具体例として取り上げ、できる限り分かり易いものとなるように工夫を試みたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の内容及びスケジュールについては、以下のように予定している。
ガイダンス（1）総説（2～3）国際私法の構造（4～5）準拠法の指定（6～7）準拠法の適用（8～9）総論まとめ（10）婚姻の成立（11～12）婚姻の効果（13）離婚（14～15）親子関係の成立（16～17）親子間の法律関係（18～19）後見及び保佐（20）扶養（21）氏名（22）相続（23～24）遺言（25）不法行為（26）物権（27）国際裁判管轄権（28～29）1年間のまとめ（30）

履修上の留意点 基礎となる他の科目（特に家族法）について基礎知識を有することが望ましい。
成績評価の方法 原則として学年末の筆記試験による。
教科書 笠原俊宏著『国際家族法新論』文真堂
参考書等 いずれかの六法を常に携帯すること。
その他 授業は講義によって進行するが、随時、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

| | |
|-------|--------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 121611・121621・121631・121641・121651・121661 |
| 科目名 | 新入生演習 |
| 担当者名 | 大宮 隆・荒木 正孝・井上 健一・王 志安・金子 昇平・川口 幸美・北野 かほる・高橋 洋城・ 竹中 智香・中濱 義章・藤本 茂・松村 格 |

講義のねらい この科目は、法学部に入學してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新入生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を習得することを期待します。

授業は、一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発していったいって欲しいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール 学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせて、全体としてこれらの基本的なスキルが身につけていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートの取り方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点 一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。

成績評価の方法 出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

教科書 指定教科書はありません。

参考書 参考書、課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 117701 |
| 科目名 | 比較憲法 |
| 担当者名 | 西 修 |

講義のねらい 比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは(研究の意義、比較の対象、方法、限界など)(2) 欧米主要諸国の憲法(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリアなど)の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法(中国、韓国、北朝鮮、タイ、カンボジアなど)の概要、(4) 項目別の比較(平和主義、家族条項など)。

履修上の留意点 毎回配布するであろう資料を熟読すること。何回か出席をとるかもしれない。

成績評価の方法 試験結果にもとづき評価する。授業中試験の可能性あり。授業中試験の場合は追試験をおこなわないのでとくに要注意。

教科書 『世界地図でわかる日本国憲法』(講談社、1500円+税)

参考書 (1) 西修著『憲法体系の類型的研究』(成文堂)1997年

(2) 取り扱う内容に応じて指定する。

その他 私語、途中からの入退室は厳禁。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 117801 |
| 科目名 | 日本法制史 |
| 担当者名 | しげの たかはる 茂野 隆晴 |

講義のねらい

全ての学問には史学がある。法を学ぶものにとって、もっとも身近にある史学が法制史である。われわれは来し方を回想するときのみならず、未来に進もうとするとき、何らかの形で過去の知識（歴史）を知ろうとしよう。

現代の社会知識を知ろうとするとき、その手がかりを過去の社会生活に求めるのは自然であるといつてよい。そうした意味からも、日本法の歴史の本質的なものを身につけてほしい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 日本法制史とその時代区分
2. 上古（氏族法時代）I
3. 上古（氏族法時代）II
4. 中古（律令法時代）I
5. 中古（律令法時代）II
6. 中世（武家法時代前期、鎌倉・室町時代）I
7. 中世（武家法時代前期、鎌倉・室町時代）II
8. 近世（武家法時代後期、戦国・江戸時代）公法・刑事編I
9. 近世（武家法時代後期、戦国・江戸時代）公法・刑事編II
10. 近世（武家法時代後期、戦国・江戸時代）公法・刑事編III
11. 近世（武家法時代後期、戦国・江戸時代）私法・民事編I
12. 近世（武家法時代後期、戦国・江戸時代）私法・民事編II
13. 近代（含む幕末）I
14. 近代（含む幕末）II
15. 婚姻関係（ことわざと川柳等による）

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

上記は1. と15. を除き、それぞれの項目ごとに2週を割当てることを目安としています。学期末試験と平常点としての出席状況を総合して評価す。

大久保治男・茂野隆晴『日本法制史史料60選－史資料へのいざない－』1998年刊（芦書房）

2,300円

| | |
|-------|-----------------------|
| 履修コード | 117901 |
| 科目名 | 西洋法制史 |
| 担当者名 | 北野 ^{ミチノ} かほる |

講義のねらい イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造と法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等
その他の

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。
論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）
特に指定しない。
年度当初に指示する。
一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 117301 |
| 科目名 | 政治学原論 |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 |

講義のねらい

I自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならずひろく隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と説明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A政治学の課題と対象、ならびに方法（1）

B政治の原理的究明

（1）政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

（2）共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

（3）イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）（2～15）

C政治の実体論的究明

（1）制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制（16～22）

（2）機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化（23～30）

成績評価の方法

V成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。教科書、授業の理解度を重視し採点します。

なお、追試験も実施します。

教科書

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にある参考文献を参照のこと。

その他の

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）、大塚編『日本の政治学』（法律文化社）等を参考にしてください。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 117401 |
| 科目名 | 政治史 |
| 担当者名 | 村井 良太 |

講義のねらい 政治は広く私達の生活に関係しており、また私達は主に選挙を通じて政治を形作っていく立場にもあります。したがって政治を知ることは社会人の大事なたしなみといえます。本講義は、法律学科の1・2年生を対象としていますので、社会人の素養としての活きた政治史を心がけ、政治史上の基本的な知識を修めるとともに、歴史的な分析を通じて現在への政治的理解を深めることを目的としています。

本年度の「政治史」では、現代日本にとって大変重要である日米関係を軸に、戦前、戦後の政治史を俯瞰します。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容は、以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。

前期：(1)はじめに (2～4)日米の遭遇と世界史への登場 (5～7)日露戦争と日米台頭の時代 (8～10)ワシントン体制 (11～13)日本の戦争と米国の不承認 (14～15)戦前日本のまとめ

後期：(16～18)日米戦争と日本占領 (19～21)パクス・アメリカーナの中の戦後日本 (22～24)日米協調の果実 (25～27)危機の中の日米関係 (28～29)新自由主義の時代 (30)おわりに

履修上の留意点 履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法 成績は、随時おこなう出席調査と、中間試験、学年末試験によって評価します。追試験は実施する予定です。初回の授業で詳しい説明を受けてください。

教科書 五百頭旗真編『日米関係史』有斐閣、2008年、税込2520円、ISBN:9784641183575。

参考書等 参考図書は、講義のなかで随時紹介していきます。

法
律

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 117501 |
| 科目名 | 経済原論 |
| 担当者名 | 村松 幹二 |

講義のねらい 経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、ミクロ経済学について、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割を解説する。

1. ミクロ経済学とは：需要と供給 (1～2)
2. 消費者行動の理論 (3～5)
3. 企業行動の理論 (6～8)
4. 市場競争 (9～10)
5. 市場の失敗と政府の役割 (11～13)
6. 不完全情報の経済学 (14～15)

後期は、マクロ経済学について、マクロ経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。

1. マクロ経済学とは：国民経済計算 (1～2)
2. 有効需要と乗数メカニズム (3～4)
3. 貨幣の機能 (5～6)
4. インフレと失業 (7～8)
5. マクロ経済政策とIS=LM分析 (9～11)
6. 経済成長 (12～13)
7. 国際マクロ経済学 (14～15)

成績評価の方法 成績評価は、授業内試験および定期試験による。

教科書 「入門経済学」第3版、伊藤元重、日本評論社、2009年

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 127001 |
| 科目名 | 行政学 |
| 担当者名 | 田丸 大 |

講義のねらい 例えば、ゴミの収集、建物や食品の安全性のチェック、今般の金融危機における経済政策など、我々の日常生活は「行政」と密接に関わっている。そういった行政の活動や政策とはどのようなものか、また具体的にどのように世の中や我々の生活に関わっているのかといった点について理解を深めることが講義の狙いである。ニュース番組を初めとした視聴覚教材も時々用いながら、行政学の理論（考え方・法則）と実際の事例（ニュースなど）との関連に特に注意を払う予定である。

講義の内容・授業スケジュール 行政学とは（1～2）行政・政策を見る視点（3～6）国家観の変遷（7～11）行政国家、福祉国家（12～16）行政改革（17～19）民営化と規制緩和（20～24）政策過程（25～27）地方自治と地方分権改革（28～30）。○内の数字は、講義の大まかな回数です。

履修上の留意点 現実の行政や政策と理論を結びつけて考えることが狙いであるので、新聞などに目を通す習慣をつけて欲しい。

成績評価の方法 学年末試験1回と、授業内の複数回の小テスト（小テストの回数や方法は、受講生の人数や教場によって決めるので、4月の開講時なるべく速やかに具体的に示します。）による。

教科書等 使用しない予定である。適宜、参考書の該当ページ・箇所を指摘する。

参考書等 森田朗『現代の行政（改訂版）』放送大学教育振興会、2000年、2,100円、ISBN9784595830846
早川純貴、内海麻利、田丸大、大山礼子『政策過程論—「政策科学」への招待』学陽書房、2004年、2,730円、ISBN9784313320352

法
律

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 118101 |
| 科目名 | 法律時事英語 |
| 担当者名 | 井上 健一 |

講義のねらい 法律英語と言った場合、大別して2つの形態のものに習熟する必要があるように思われる。一つは、法律について書かれた論文や記事であり、もう一つは法律そのものや契約書の規定である。日本法を勉強していても実感できると思うが、「議論されること」を前提にして説明しようとする動機に基づいて書かれる前者と、さまざまな事実を大きくくりで抽象化しようとする後者とは相当異なる。本講義は、基本的に前者を素材として扱いつつ、後者についても必要な限り触れようと思う。

講義の内容・授業スケジュール 簡単なオリエンテーションの後、配布文献の輪読。前後期通じて、特に発表者は指定せず、ランダムに授業内で指名した者に翻訳をしてもらう。よって、参加者は常に準備が必要である。英語の習熟レベルは英検2級以上あることが望ましいが、ただ、熱意でカバーは十分可能である。法的な知識は前提としないが、あるに越したことはない。英語のトレーニングである以上に、「法」を理解することが最大の目的であることをお互い（履修者も私も）忘れないようにしたい。

履修上の留意点 前年度とは担当者が異なっており、まったく進め方は異なるということに注意して欲しい。深く物事を考えたいという意欲を持つこと。単位合わせのための履修というスタンスでの参加はご遠慮願いたい。

成績評価の方法 出席と授業での翻訳・議論への貢献による。レポート等は課さない。テストも実施しない。

教科書 Keith Culver(eds.), Readings in the Philosophy of Law (1st. ed.) より適宜コピー配布。他にも適宜教材を「拾って」くる予定。

参考書等 適宜紹介する。

その他 授業情報は<http://homepage3.nifty.com/inoue-k/>も参照のこと。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 118001 |
| 科目名 | 刑事政策 |
| 担当者名 | 覚正 豊和 |

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探究していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 受講のガイダンス
刑事政策の意義と課題 刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。
- 第2回 犯罪学の歴史と展開 その起源から近代学説までを学ぶ。
- 第3回 現代犯罪学の課題
ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。
- 第4回 犯罪の理念
犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。
- 第5回 刑事政策と暗数
犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。
- 第6回 犯罪の原因(1) 身体的・生理的要因について学ぶ。
- 第7回 犯罪の原因(2) 個人環境的要因について学ぶ。
- 第8回 犯罪の原因(3) 社会環境的要因について学ぶ。
- 第9回 刑罰の意義・機能・沿革
意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。
- 第10回 死刑 憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。
- 第11回 自由刑
意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。
- 第12回 財産刑 罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。
- 第13回 保安処分 意義、種類、要件などについて学ぶ。
- 第14回 少年保護手続
家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。
- 第15回 定期試験(予定)
- 第16回 犯罪者の処遇 意義、原則、動向について学ぶ。
- 第17回 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察
微罰処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。
- 第18回 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察 起訴猶予などについて学ぶ。
- 第19回 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判
量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。
- 第20回 矯正の意義・目的
矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。
- 第21回 受刑者の処遇
法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。
- 第22回 犯罪の予防
意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。
- 第23回 更生保護 意義、措置、概況などについて学ぶ。
- 第24回 恩赦・資格制度
恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策 少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策 薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ 討論及び質疑
- 第30回 定期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

初回の授業において指示する。
定期試験および平常点
斉藤・覚正「刑事政策論(2007年)」(八千代出版) 3,500円 ISBN978-4-8429-1421-3
授業において指示する。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 117601 |
| 科目名 | 法思想史 |
| 担当者名 | たかはし ひろき 高橋 洋城 |

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 118701 |
| 科目名 | 債権各論 |
| 担当者名 | あおの ひろゆき 青野 博之 |

講義のねらい 債権各論とは、民法典のうち、第3編「債権」の第2章「契約」、第3章「事務管理」、第4章「不当利得」および第5章「不法行為」をいう。

たとえば、Aが自己所有の土地をBに売却する契約をBとの間で締結した場合には、Aは、Bに対して代金を払うように請求することができる。つまり、代金債権が発生する。また、Cの家にDの運転する車がぶつかって、家が壊れた場合には、Cは、Dに対して賠償金を払うように請求することができる。つまり、損害賠償債権が発生する。このように、債権は、契約、不法行為など、さまざまな理由によって発生する。このような債権発生原因について考察するのが、債権各論である。具体的には、たとえば不法行為では、どんな場合に損害の賠償を求めることができるか、どのような損害の賠償を求めることができるかが問題となる。

なお、債権の発生原因のうち、債権各論で学ぶのは、契約、事務管理、不当利得および不法行為だけであるが、これらが債権発生原因の主要なものである。

講義の内容・授業スケジュール

契約の成立（申込、承諾）
 契約の効力（同時履行の抗弁権、危険負担）
 契約の解除
 所有権移転型の契約（贈与、売買、交換）
 貸借型の契約（消費貸借、使用貸借、質貸借）
 労務提供型の契約（雇傭、請負、委任、寄託）
 その他の契約
 事務管理
 不当利得
 不法行為の要件
 不法行為の効果
 特殊な不法行為

履修上の留意点

できるだけ債権総論も受講してほしい。債権各論を理解するために重要な科目だからである。また、これ以外の民法の科目も受講すると、民法全体の理解につながる。

質問は大歓迎である。講義の中では、私からも質問するので、答えてほしい。双方向の講義を目指している。

成績評価の方法

質問した回数および私からの質問に対する解答の回数を重視する。解答が正しいかどうかではなく、考えて解答することに意味がある。安心して答えてほしい。

受講者がそれほど多くなければ、質問と応答による平常点だけで成績を評価する。しかし、平常点で成績を評価することができないほど受講生が多ければ、年度末の試験を行う。試験を行う際には、いっさいの持ち込みを不可とする。

教科書

大島俊之ほか著『プリメール民法4・債権各論（第3版）』（法律文化社）2005年 2,700円（税別）、ISBN4-589-02876-X

教科書は上記のものを使うが、自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

参考書等
その他の

講義に際して紹介する。

出席し、質問し、私からの質問に答える、積極的な学生であってほしい。

KOMSY及び YeStudy を利用する。原則として、その内容は同じであるが、KOMSYには字数制限があるため、YeStudy の方が多くの内容を記載している場合がある。しかし、重要なポイントはそれぞれに記載しておくので、復習する際には、どちらを利用していても違いはないと思う。

| | |
|-------|-----------------------|
| 履修コード | 118401 |
| 科目名 | 英米法 |
| 担当者名 | 北野 ^{さたの} かほる |

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
- 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

法
律

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。
論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）
特に指定しない。
年度当初に指示する。
試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 118601 |
| 科目名 | 仏法 |
| 担当者名 | 上井 長久 |

講義のねらい

本講義は、フランス法のうち、とくにフランス私法の根幹をなす諸問題を対象として、フランス私法の基底を理解することを目的とする。近現代の私法の基本的問題ばかりでなく、古代フランク時代と封建制度下の中世の法とにわけられる古法の時代、および自由と平等を旗印とした大革命に始まる革命期の法すなわち中間法の時代の私法をも本講義の課題としているのはそのためである。フランスの近現代法は、19世紀初頭に統一的な成文法により樹立され発展したが、それまでの法を基礎として統一・整備されたものである。フランスの近現代の私法を深く理解するためには、古法、中間法をも学ぶ必要がある。本講義は、そのようなフランスでいわゆるフランス私法の序論と歴史と称する領域を原典資料（法文、判例、学説、一般論述等）により理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は、まず、近現代のフランス公・私法の基礎であるフランス人権宣言と19世紀におけるその開化を学び、次いでフランスの革命期および近現代の私法の基本的問題を検討し、後に、その基本的問題さらには近現代の私法の個別的問題と出来るだけ関係づけながら古法における私法の歴史を考察する。講義の内容は、具体的には以下の通りであるが、その各項目について原典資料を解説しながら講義を進める。なお、フランスの革命期から今日までの政治、行政、裁判制度についても、適宜折り込み説明する。

法
律

I. 革命期および近現代の私法の基本的問題……（前期）

1. 人権宣言と自由の確立

(1) 人権宣言の着想の背景・精神・性質・効力・趨勢

(2) 人権宣言の内容——基本的人権、各種自由権、法の下での平等、法律の支配、政治組織の

原理（国民主権、権力分立）

(3) 公的自由と私的自由

2. 法典編纂とその後の私法の変遷

(1) 法典化の意義・目的 (2) ナポレオンの5法典と王令・中間法

(3) 法典編纂の経緯と問題点 (4) 近現代における私法の変遷

3. 判例の効力

(1) 判決の構造と判例 (2) 判例観の変遷（古法、中間法）

(3) 判決の既判力、判例の拘束力と創造力

(4) 法律の解釈と法学の法律学化（注釈学派、科学学派）

II. 私法の歴史……（後期）

1. フランク王国の法

(1) 法源（法の属人性） (2) 社会経済制度—一人の身分、土地（個人、共同）所有形態、形式主義的契約、教会と家族財産（相続、贈与、遺贈）、フランクの家族共同体とローマの個人的家族制度 (3) 訴訟制度

2. 高期中世（制限王政期）の法

(1) 法源（法の属地性、ローマ法の再生、教会法の編纂、慣習法） (2) 社会経済制度—階級制、封建的土地所有（分割所有権）と自由地、形式主義的契約と合意主義的契約、家族制度（教会婚、自由処分と家族遺留分、夫婦財産共有制）

(3) 都市の社会経済制度—ブルジュア身分大市・市の組織と取引、同業組合の組織と規約

3. 絶対君主制（旧体制）の法

(1) 法源（慣習法の編纂、ローマ法の第二の再生、王令）

(2) 社会経済制度—階級制の変遷、封建的土地所有制度の変遷

フランス法とフランス語に興味があれば、楽しく受講してもらえます。

成績評価は、学年末の定期試験で行う。

上井長久著プリント版「Introduction au droit privé」、「Introduction au droit public」及び「Histoire du droit privé」（最初の講義の時に配付する予定）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

参考書等

ジャン・アンベール著三井哲夫＝菅野一彦訳『フランス法制史』（白水社文庫クセジュ）、山口俊夫『概説フランス法 上』（東大出版会）、滝沢正「フランス法」（三省堂）

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 118501 |
| 科目名 | 独法 |
| 担当者名 | 山口 邦夫 <small>やまぐち くにお</small> |

講義のねらい 外国法のひとつとしてドイツ法全般について一年間で講義をすることは不可能なので、日本が明治以降、政治上の理由から、先進国の外国法を多数継受してきたなかで、ドイツ法のはたした役割が大きかったので、その点を中心に講義をする。したがって、ドイツ法の歴史も近世以降に限定し、特に19世紀以降の立法と日本が継受する際に最も強く影響を受けたドイツの法律を中心とする。明治期の仏法・英法の影響については、各自学習することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール 一年を次の4期に分けて講義をする。
 I期 4/5月、II期 6/7月、III期 9/10月、IV期 11/12月。
 I期 プロイセン憲法と明治憲法との関連、特に König と天皇との比較。次にドイツ民法第一草案と日本民法との関連。パンデクテンシステムの導入。行政法の分野について。
 II期 一般ドイツ商法典と日本の商法との関連。民商統一論。社会法、経済法など。
 III期 刑法及び手続法（特に民事訴訟法と刑事訴訟法）の分野において、ドイツ法が日本法に与えた影響について。

IV期 ドイツの法思想家のうち、I期からIII期において対象とした分野で影響を与えた法学者の思想をドイツの原書を参考に解説する。

履修上の留意点 当然ドイツ語を履修した2年生以上の学生を念頭において講義をする。授業中にドイツ語の条文などが登場するので、他の外国語の履修者には不相当と考えるが、単位取得を目的としなければ聴講可能である。

成績評価の方法 毎年10人前後の小クラスなので、毎回出席をとり、平常点に、年2回のレポート提出によって単位の認定を行う。いわゆる学年末試験は行わない。

参考書等 Gerd Kleinheyder/Jan Schröder, Deutsche und Europäische Juristen aus neun Jahrhunderten. 4. Aufl. 1996. (初版の和訳あり)

法
律

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 121801 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 池田 実 <small>いけだ みのる</small> |

講義のねらい 3年次からのゼミに備え、演習形式での研究発表や討論の方法を習得することを目的としています。憲法に関するさまざまな学説・判例に広く接し、基礎的知識を確認するとともに、担当教員の与える課題や学生から提起された問題について、全員が調べ、まとめ、報告し、討論することを通じて、憲法に対する多角的な視点と広い問題関心を育てていきます。

講義の内容・授業スケジュール [前期] (1)～(2) 授業案内・入門的講義、(3)～(13) 日本国憲法に関する演習（研究発表および討論）
 [後期] (14)～(26) 日本国憲法に関する演習（研究発表および討論）

履修上の留意点 演習は、教員と学生が一体となってつくりあげる授業ですから、遅刻や無断欠席は厳に慎んでください。

成績評価の方法 出席、研究報告、発言を総合的に評価します。(定期試験は実施しません。)
教科書 野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院) 2,700円+税 ISBN978-4-7823-0424-2

*教科書は毎回の授業に必ず持参すること。

参考書等 授業時に適宜指示します。

その他 法令や判例を緻密にフォローする生真面目さと、若者らしい柔軟かつ大胆な発想で憲法を科学する遊び心とを兼ね備えた、バイタリティあふれる学生諸君の履修を期待します。

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 122201・122301 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | いまお まこと 今尾 真 |

法
律

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 具体的事例(判例・教室説例)を素材として、民法の知識および経験則を総動員して、紛争を解決する際の法的なものの考え方(法的思考法)を身につけ、その考え方を実際に紛争に当てはめ妥当な結論を導く(法解釈学の技術的訓練)という能力を養成する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 本演習は、民法の考え方、文献の読み方、討論の仕方、文章の書き方の訓練を行う。参加者は、教科書の指定されたテーマに関する諸文献を検索・熟読すること(読む)、法的争点を抽出してこれをめぐる判例・学説の解決策の当否を自分の頭で考えること(考える)、自分の考えを明快に展開して他人と討論できること(論ずる)、レポートにまとめること(書く)等が要求される。前期は、(1回)イントロダクション、(2~8回)民法総則の重要判例、(9~14回)物権法の重要判例(part 1)、後期は、(1回~7回)物権法の重要判例(Part 2)、(8~14回)債権総論の重要判例を素材として演習を行う。なお、授業スケジュールについては4月に詳細情報を確認のこと。 |
| 履修上の留意点 | ①ゼミはわたくし今尾とゼミ員との高度な信頼関係のもとに運営されるので、ゼミに休まず出席すること。②サブゼミ(事前学習会)は自覚と責任感をもって行うこと。これができない者は単位認定が困難である。③毎回のゼミで必ず発言することを心がける。④高い理想をもって、日々精進すること。 |
| 成績評価の方法 | 出席点・演習での発言内容等を総合評価。特に、判例報告における質の高いプレゼンや予習や普段の勉強に裏打ちされたレベルの高い発言を重視する。なお、レポート課題を課すかどうかについては、初回演習時に話し合いで決める。 |
| 教科書 | 中田康裕・潮見義男・道垣内弘人『民法判例百選I [第6版]』有斐閣(2009年)を基本テキストとして、適宜重要判例を補足する。 |
| 参考書等 | (1)星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I総則・物権 [第五版]』(有斐閣)別冊ジュリスト159号2001年。(2)内田賞、大村敦志/編『民法の争点I(総則・物権・親族・相続)』(有斐閣)ジュリスト増刊2007年。(3)川井健・鎌田薫・平野裕之編『新判例マニュアル民法I [総則]』(三省堂)2000年。 |
| その他 | 各種国家試験・資格試験等を受験する者には、任意提出によるレポート・答案添削も行う。また、前期・後期の最終授業では、4時限と5時限の合同ゼミ発表会(対抗ゼミ)を行う予定である。とにかく、積極的・主体的にゼミに臨みたいと思う学生は参加されたし。 |

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 122601 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | かくしやう とよかず 覚正 豊和 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この演習は刑事法における基礎的な問題の考察を通じて、法的知識を修得するとともに法的思考を形成することを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 犯罪の成立要件である構成要件該当性、違法性、責任についての基本的な問題は勿論、死刑、保安処分、児童虐待、家庭内暴力、ストーカー、少年犯罪や各種犯罪および犯罪被害者補償などについて扱っていきたいと思っている。おおむね以下のような進行予定である。 (1) ガイダンス (2) 演習の運営について (3) 刑事法学の研究手法、文献、判例の調べ方 (4) ~ (10) 各自発表テーマの設定と準備の仕方(レジメの書き方) ・テーマ設定の理由、・テーマの関する争点や問題点、・テーマの関する学説の検討、・テーマの関する判例の検討、・テーマの関する諸外国の実態、・テーマの関する自分の意見 (11) ~ (25) 個別報告 (26) 総括 |
| 履修上の留意点 | 演習は講義科目と異なり、ゼミナリス滕の主体的、積極的な参加により成り立つものであることを心がけて欲しい。 |
| 成績評価の方法 | 出席状況と平常点で総合評価する。 |
| 教科書 | 斎藤・覚正「刑法への招待(総論)2007年」(創成社)800円 ISBN978-4-7944-5015-9 |
| 参考書等 | 斎藤・覚正「刑法への招待(各論)2007年」(創成社)800円 ISBN978-4-7944-5016-6 |
| その他 | 参考書は授業時に適宜指示する 時間の許す限りにおいて、刑事裁判の傍聴や刑事施設の見学等を行いたい。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 121701 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small> |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 憲法の基本事項を習得するとともに、憲法判例の読み方を会得する。教科書の熟読、判例の熟読、報告と討論を通じて、難解な憲法の理論を自分の肉とするとともに、公務員試験等の憲法の問題を解けるまでの実力を養成することをめざす。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 教科書等のあらかじめ指定した箇所と判例を熟読した上で、受講生間で順番に報告し、それをもとに討論する。受講生主体で授業は運営され、教員は時々質問をしてきさやかに演習に参加する。教科書の理論を受講生同士の討論で確認し、関連する判例を検討して、憲法の理解を深めていく。前期は、憲法の基本原理と統治機構（国会、内閣、裁判所）について勉強する。後期は人権（自由権、社会権、平等権、国務請求権、新しい人権）をカバーする。前後期それぞれ最終授業時に試験を行う。 |
| 履修上の留意点 | 演習なので出席しなければ意味がない。通年で5回欠席すれば、その時点で単位認定の資格を失うものとする。遅刻の扱いについては開講時に決める。十分な事前の準備と予習をし、演習には積極的に参加する。演習での発言の内容は問わないので臆することなく議論に参加してほしい。ただし、明らかに予習してこなかったと認められるときは減点の対象となる。 |
| 成績評価の方法 | 平常点（出席と演習での Academic Performance（演習での積極性）と、前期と後期のテストで評価する。割合は平常点が50%、前期テストが20%、後期テストが30%とする。 |
| 教科書 | 教科書として、芦部信喜・高橋和之補訂『憲法』（岩波書店）と、憲法判例百選I・II（第5版）を使用する。 |
| その他 | 公務員や法科大学院進学希望者を主な対象とするが、そうでなくても憲法に関心がある者も歓迎する。1年間ゼミに参加しつづける強固な意志を持ち続けること。 |

法
律

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 122001 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 向田 正巳 <small>むかいだ まさみ</small> |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この基礎演習では、3年次以降に民法や憲法などの専門演習に参加することを希望する学生を念頭において、私の専門である民法を中心に、民法、憲法などの近代法の基礎を学び、さらに近代法成立の基礎となった近代市民社会がいかに成立したかを検討していきます。民法、憲法などの近代法の基礎を学んで3年次以降の専門演習に備えること、さらにそれらの法律が生まれる基礎となった近代市民社会の政治的、経済的、思想的な特質を理解することが目標です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | まず演習参加者全員で民法の基礎について書かれた文献などをあらかじめ読み、報告者を決めてその内容について発表をしてもらい、それをもとに全員で議論をします。これらの課程を通じて文献の探し方、レポートの作り方、発表や議論の仕方を学びます。これが基本となりますが、さらに演習中には高校時代に学んだ日本史、世界史などの社会科学の知識を確認したり、大学入ってから学ぶ経済学や政治学などの法律学以外の社会科学にも言及したりして、法と歴史、法と経済、法と政治などの関係について基礎的な理解を深めたいと思います。これにより大学の法学部における学習の体系化を図り、より実り豊かなものにしていければと思います。 |
| 履修上の留意点 | 民法など法律学の基礎をしっかりと学び、法律学の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。 |
| 成績評価の方法 | 出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。 |
| 教科書 | 演習の始めに指示します。 |
| その他 | コンパ、合宿を予定しています。 |

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 122401・122501 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 村木 保久 |

| | |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>教えてもらう勉強でなく、自分で学ぶ勉強することを目的とする。</p> <p>刑法総論（さらに法律一般）の基本的な知識を確認し、専門ゼミに備え、基本的な研究方法（文献や判例の調べ方・読み方、レジュメの作成方法）および法的・論理的な思考方法を、研究テーマの報告と議論を通じて学びます。</p> |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>刑法総論の基本的な論点について、担当したグループがレジュメを作成し報告します。そののち、その報告について全員で質疑を行います。</p> <p>第1回授業にあたっての注意を述べ、課題の分配などを予定しています。</p> <p>第2回学派の争い（レジュメおよび報告の例を示しゼミの進め方を学ぶ）</p> <p>第3回以降のテーマ（予定）：因果関係、行為と不作為の要件、緊急避難の法的性格、被害者の承諾、安楽死、結果的加重犯、責任能力、原因において自由な行為、故意の内容、過失の構造、事実の錯誤と法律の錯誤、未遂と中止、共犯の概要、共謀共同正犯</p> |
| 履修上の留意点 | <p>演習なので報告者以外の者も積極的に参加することを期待します。</p> <p>報告者は報告1週間前にレジュメを作成し提出すること。前期と後期でそれぞれ一回、年間2回報告を担当します（予定）。</p> |
| 成績評価の方法 | <p>平常点で評価します。</p> <p>出席および演習への参加の態度－レジュメ、報告内容および講義時間における質疑－などにより評価します。</p> |
| 教科書 参考書 その他 | <p>とくに指定しません。</p> <p>講義時間内に必要に応じて指示します。</p> <p>ゼミ形式でレジュメを配付します。</p> |

法
律

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 122101 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 和知 恵一 |

| | |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>本演習は、三年次以降における民法の専門演習に参加するために必要な基礎知識を整理・確認し、より高度な研究に対する準備を行うことを目的とします。判例や関連文献の収集方法および利用の仕方、レポート・論文の作成方法、報告（プレゼンテーション）・討論の仕方などを修得することに努めてもらいます。コンピュータリテラシーの向上も目的としております。</p> |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>前期は、最初に民法総則に関する基本的なテーマで、レポートを作成してもらいます。その後数回は、民法の基礎知識の確認を行ないながら、必要な範囲でレクチャーします。確認がすんだ時点で、事例問題を出題します。全員に夏期休暇を利用してレポートを作成してもらい、後期開始時に提出してもらいます。その際、全員をいくつかのグループに割り当てますので、数名のグループごとに報告を行っていただきます。その報告を基に、全員で議論をし、理解を深めます。</p> <p>その後はパソコン室に移動します。毎回各人に課題を与えますので、コンピュータを利用して報告をしてもらいます。さらに各自が興味・関心を持った具体的問題について、それぞれがレポートし、全員で議論する場を持ちます。最終的には、ゼミ論を提出してもらいます。</p> |
| 履修上の留意点 | <p>全員がレポート作成・発表・討論に参加することが義務付けられます。したがって、自主性・積極性・責任感を持った、意欲有る学生の参加を期待します。又コンピュータを利用して、インターネットにアクセスし、判例や文献の検索を行ないますので、多少コンピュータの知識があることを希望します。受講前に必ず学内コンピュータ使用のIDを取得し、パスワードを確認しておいてください。コンピュータが得意でない人も丁寧に指導はいたします。</p> |
| 成績評価の方法 | <p>受講態度、提出レポート、報告内容（プレゼンテーションの出来）、ゼミ論などを総合的に評価します。出席することは当たり前のものであり欠席や遅刻は減点とします。適切な理由があるときは、届け出ることで、減点はしません。</p> |
| 教科書 参考書 その他 | <p>法令集（六法）を必ず持参すること。その他については、授業中に適宜指示します。</p> <p>理由のない欠席があった場合は退ゼミしていただきます。年に数回のコンパを行う予定です。</p> |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 132201・132202 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>あいだ としひこ</small> 相田 敏彦 |

講義のねらい 一言でいえば、マスコミ、広告・広報、情報化がゼミのテーマである。マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。

講義の内容・授業スケジュール メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。合宿やふだんの授業で友人との親しきが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高め〈ゆったり・楽しく・着実に〉進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。

成績評価の方法 当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろさプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

＜基礎演習＞に記載の内容を参照。それをいっそう高度化したい。
前期：レポートを書く力、口頭発表力を2年次以上のレベルにまで高める(3年生)。ゼミ論文のテーマを決める(4年生)。後期：ロール・プレイングにもウェイト(3年生)。ゼミ論文の書き方を学び、執筆・完成して1冊のゼミ論文集を作る(4年生)。
平常点。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 124201・124202 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>あおの ひろゆき</small> 青野 博之 |

講義のねらい 民法に関する判例や事例を用いて、具体的な判断能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 演習受講者をグループに分けて、そのグループ毎に、テーマを自由に選択する。テーマは民法に関するものであれば、分野は問わない。テーマは、判例から取り上げられることが多いが、マス・メディアで報道されたばかりのものでもよい。

履修上の留意点 担当グループは、テーマに関する資料の要旨(レジュメ)を少なくとも1週間前に配布すること。演習をどのように進めていくかは、それぞれの担当グループにゆだねる。担当者が報告し、(指名しながら?) 質疑応答する場合、担当者が裁判官の役割を果たし、他の者を原告・被告に分けて議論する場合などが考えられる。

成績評価の方法 出席して、しっかり発言をしたか、担当者として十分な準備をしたかなど総合して判断する。ゼミは、発言することがポイントである。そのことを基準として、成績を評価する。

教科書 指定しない。

参考書等 判例を扱うときは、民集(最高裁判所民事判例集)などの判例集を丁寧に読んでくること。

その他 議論に積極的に参加し、たくさん発言する学生であってほしい。
希望者は、できれば、事前に先輩または私に演習の内容や進行方法を聞いておくとよい。その意味でも、履修前の見学はよい機会である。見学を歓迎する。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 124701・124702 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 荒木 正孝 |

講義のねらい 会社法や手形・小切手法の講義、またはこれらを理解するのに必要な民法総則、物権法および債権法など各種の講義で聞いた個々の知識や考え方が本当に学生諸君の血となり肉となったかどうかは、実際に具体的な問題に取り組み、多くの人々が納得するような妥当な解決を導き出すことができるか否かにかかっている。この演習では、講義で修得した個別の知識を総合し、それをより深く理解し、十分に応用できる力をつけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール この演習では、基礎的知識を確認する作業を常に心掛けながら、具体的には、会社法に関する裁判例の中から参加者が希望するテーマや課題について発表してもらい、そのレポートを中心に活発な議論を展開するという方法で進めます。

履修上の留意点 参加者は、自分が発表を担当しないときでも毎時限必ず質問したり、問題提起をするつもりで予習し、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席と発表を重視します。夏季と冬季（学年末試験終了後）に合宿を予定しています。必ず参加して教場では望めない参加者間の全人格的な触れ合いを実現したいと思っています。

成績評価の方法 出席と平常の発言やゼミでの活動を考慮して評価します。

参考書等 神作・藤田・江頭・岩原編『会社法判例百選』（有斐閣）などを予定していますが、その他の文献や資料については必要な都度指示します。

法
律

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 123401・123402 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 井上 健一 |

講義のねらい 条文や判例あるいは学説の理解のみならず、紛争解決のために具体的な事実をどのように法律の議論にあてはめるかという観点から、商法判例のうち、特に実際の取引実態が判決・決定の結論に影響を及ぼしている——言い換えれば事実から離れた法律論だけでは勝負がつかない——ものを選んで報告・議論する。会社法・商行為法・保険法・証券取引法を主として取り上げる。いわゆるビジネスローに興味がある学生諸君の参加を希望する。

講義の内容・授業スケジュール 指定教科書に掲げられた判例を演習参加者の人数に応じてピックアップし、報告者に紹介してもらおう。その際、参考文献として掲げられている判例評釈および参照論文を各1本ずつ読んだ上で、どのような論点が報告判例にはあるのかを明らかにすることが報告者の義務である。報告者はレジュームを作成し、報告後の議論をやりやすいようにすること。

履修上の留意点 会社法、商法総則・商行為法、保険・海商法を履修済か、履修中であることが望ましい。最低限、会社法だけは履修済であること。

成績評価の方法 出席、報告、議論への参加・貢献によって評価する。出席点は基本的に減点法（欠席・遅刻の都度、点数をマイナスしていく）による。

教科書 山下友信・神田秀樹編「商法判例集」（第3版）（有斐閣）2900円

参考書等 教科書に記載されているもの他は適宜紹介する。

その他 授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。アフターゼミは必要に応じて。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 124801・124802 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 王 志安 |

講義のねらい 国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていきたい。また、夏休みでは、原文（英文）の国際判例を読み解くための合宿を行う。

履修上の留意点 出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。

成績評価の方法 演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。

教科書 『判例百選国際法』（有斐閣）2001年

その他 ゼミに関する情報などは、Yestudy から入手できる。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 133501・133502 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>おおつか かつら</small> 大塚 桂 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 政治学における基礎的・原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | I政治学の基本文献を輪読する。 II共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。 IIIゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。 |
| 履修上の留意点 | 一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい！ |
| 成績評価の方法 | 平常点 |
| 教科書 | 教員が準備し提供します。 |
| 参考書等 | 参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）、同『明治国家と岩倉具視』（信山社）、同『明治維新の思想』（成文堂）、同『ヨーロッパ政治理念の展開』（信山社）、『大東亜戦争期の政治学』（成文堂）。 |
| その他 | 4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事会を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。 |

法
律

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 124901・124902 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>おおみや たかし</small> 大宮 隆 |

| | |
|----------------|----------------------------------|
| 講義の内容・授業スケジュール | 家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。 |
| 履修上の留意点 | 予習が必要である。 |
| 成績評価の方法 | 年間を通して、総合的に評価する。 |
| 教科書 | 泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円 |

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 123901・123902 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 金子 昇平 |

講義のねらい

本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組及び複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究及び、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

①環境の問題

東京大気汚染事件、熊本水俣病事件、田子の浦ヘドロ事件、大阪空港事件、名古屋新幹線事件、横田基地・厚木基地事件、国道43号線事件、武蔵野マンション事件、国立マンション事件

②教育の問題

学問の自由と学生の自活、ポポロ事件、教育を受ける権利と教育権、私立大学における学生の思想、表現の自由、校則の問題、いじめ事件、学生処分と教育的裁量権、学校事件

③公務員の問題

公務員関係の法的性質、公務員における不利益処分と救済、職員の措置要求権、職員の財産上の権利、安全配慮義務、公務傷病等に対する補償を受ける権利、服務・職務命令と服従義務、職務上の秘密の意義、公務員の労働基本権

④地方自治の問題

地方公共団体の情報公開・直接請求、住民投票、青少年保護育成条例、公安条例、要綱による開発負担金、公営住宅の使用関係、議会と政務調査費、議員の研修旅行、教育委員会の公開原則、住民監査請求、住民訴訟、国民健康保険

⑤租税の問題

租税法主義の意義、サラリーマン税金訴訟、租税回避行為の否認、所得控除の意義、固定資産税訴訟、消費税、輸入禁止措置と検閲、租税訴訟における文書の提出の申立て

⑥医療の問題

診療記録閲覧請求、予防接種事件、ハンセン病事件、健康食品と医薬品の意義

⑦高齢者の問題

高齢者虐待防止法、高齢者の在宅介護、特別養護老人ホーム、老人保健施設

⑧福祉の問題

生存権と生活保護基準、福祉法にかかる問題

年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。

年二回、公的施設の見学会を行う。

履修上の留意点

ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。

判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に外向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法

出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教科書

適宜指示する。

その他

発表者は、レジュメを作成し、論点及び、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 123301 |
| 科目名 | 演習I |
| 担当者名 | 川口 幸美 |

講義のねらい

会社法の重要問題を中心に、判例・学説を検討することで、会社法制度についての基本的な理解を深めると同時に、事実から法的問題を発見し、問題を法的に分析して法的論理を展開する基礎的な力を身につけることを目的とします。そのため、判例研究と事例研究を取り混ぜながら、研究する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容とスケジュールは学期開始時に学生と相談します。基本的には、前期は、会社法総論、株式会社の設立、株式を、後期には、株主総会、取締役・取締役会を研究する予定です。夏は、合宿を行い、株式会社法に関する法律討論会や、最新判例の研究を行います。そして、2月にはゼミ論集を刊行します。

履修上の留意点

ゼミの議論に積極的に参加して下さい。また、裁判所見学も行います。

成績評価の方法

報告内容と質疑応答の状況を見て、平常点で評価します。

教科書

江頭憲治郎・岩原紳作・神作裕之・藤田友敬編「会社判例百選」(有斐閣)

江頭憲治郎・山下友信編「商法総則・商行為法判例百選」〔第4編〕(有斐閣)

小塚荘一郎「ケース商行為法」(商事法務)

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 123311 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | 川口 幸美 <small>かわぐち ゆきみ</small> |

講義のねらい 演習1と基本的に同じ。ただし、ゼミ論を作成してもらい、それを通じて演習1で培った会社法の知識をさらに深めることを目的にしています。

講義の内容・授業スケジュール 夏休みにゼミ論のテーマを決めてもらい、後期はその中間報告が主となります。1月中旬に完成原稿を提出してもらいます。

成績評価の方法 ゼミ論で評価します。提出できなければ単位は認定しません。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 124601・124602 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 北野 かほる <small>きたの</small> |

講義のねらい 英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。

成績評価の方法 演習II（四年次生）は毎回出席してテキストの指定された箇所の購読に参加した平常点のほか、卒業研究発表と卒業レポートにより評価。

教科書等 提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。

参考書等 随時適宜紹介する。

その他 十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。
英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 132101・132102 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 小堀 訓男 <small>こほり のりお</small> |

講義のねらい 国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなリアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないかと、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかという問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

講義の内容・授業スケジュール 第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点 問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法 講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等 授業中に適宜紹介する。

その他 ゼミ生は、テーマ別の研究班に分かれて研究会をおこないます。（例）アメリカ研究班、中東研究班、東南アジア研究班、EU研究班、理論研究班等。よって、積極的に参加する者の応募を望みます。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 125001・125002 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 佐藤 ^{きとう たみお} 多美夫 |

講義のねらい 刑法を知るためには、犯罪について刑法総論及び各論で修得した基礎的知識を具体的に当てはめてみるのが有用である。しかし具体的事実を刑法の立場から眺めてみることは意外と難しいと思われるので、ひとつ一つ、理解を得ながら進めることにする。

講義の内容・授業スケジュール 本演習の目標は結局のところ、具体的な事実を刑法を適用して解決することにある。この目標を達成するためには、事実に含まれている刑法上の論点を抽出してその論点について自己の立場から態度決定して結論を提示することが必要である。一般的に結論には多角的・多面的な見方があり得るので相手の立場・考え方にも耳を傾けそれに対して自己の見解を論理的に主張し説得力のある反批判ができることが必要である。これにより自らの結論の妥当性を検証することができる。

履修上の留意点 判例、事例を素材にして罪刑法定主義、因果関係、不作為犯、違法性、正当防衛、緊急避難、故意と事実の錯誤、過失犯、違法性の意識、責任能力、未遂、共犯、傷害罪、窃盗罪、強盗罪、詐欺罪などを扱う。

成績評価の方法 レポート、発言、出席等を総合評価

教科書その他 刑法の基本書・判例集等 演習時間に適宜紹介する。
「見えざる刑法」が見えてくれば幸いである。

法
律

| | |
|-------|------------------------|
| 履修コード | 133101・133102 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 塩入 ^{しおいら} みほも |

講義のねらい 行政法上の諸問題をとり上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 当演習は、学生の主体性を重視しているため、毎年度、ゼミの運営方針・内容はゼミ生と話し合っていて決めています。但し、取り扱うテーマは、基本的には行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野からの選択になります。

履修上の留意点 公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

成績評価の方法 平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。

教科書等 未定
初回授業の際に紹介します。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 124501・124502 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 高橋 ^{たかはし} 洋城 ^{ひろぎ} |

講義のねらい

この演習は、法律の解釈論や政策論の基礎となる原理的な議論に関心を持つ学生のために「法学演習」として開講するものである。「法学の学習の中で培った知見を応用する」と同時に、それを「哲学や社会科学その他を含む広い文脈のなかで捉えなおすこと」、この両方が本演習の目標であるが、さらに社会科学的文章の扱い方に慣れることや、報告や討論の中で問題を掘り下げる能力の養成も本演習の中で心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

＜基本方針＞1年間を通じて扱う統一テーマを設定して演習を進めていく。とりあげる内容は、現代の法的问题のいくつかをいっつかえらんで検討していく場合と、古典的文献精読を中心に進める場合と、年度ごとに重点の置き方を変えていく。

本年度の具体的なテーマは演習開始時に相談の上決定するので未定であるが、参考までに過去にとりあげた題材やテーマを紹介しておく。

テーマの一例：配分的正義と福祉国家 公正の概念 平等論 格差社会 所有権論
民主主義 私法の意義

購読文献の一例：ミル『自由論』、ロック『統治論』、ドゥオーキン『権利論』

ルソー『社会契約論』

＜年間スケジュール＞ 前期は、選定した文献についての報告を軸にし、テーマに関する議論を参加者全員が共有することを目指す。後半は、そこから発展したテーマやさらに議論を深めるための文献を割り当て、より各参加者の関心に引きつけた報告を行なってもらう予定。

＜運営方法＞ 毎回の演習は、報告・質疑・討論の形式で運営する。報告者の他、あらかじめコメントーターを指定する。

履修上の留意点

常に積極的に発言すること、おそれずに聞くこと、調べる手間を厭わないことを、演習参加者の姿勢として求める。

成績評価の方法

平常点（出席、報告および討論における発言を勘案して評価）と全日程終了後提出のレポートにより総合評価する。

教科書

特に指定しない。

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 履修コード | 124101・124102 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 竹中 ^{たけなか} 智香 ^{ちか} |

講義のねらい

民法第4編の「親族」と第5編の「相続」は私たちの生活に最も身近な家族生活を規制する法律です。私たちの家庭生活を取り巻く環境は、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、少子化・超高齢化、女性の社会進出、戦前の家督相続から庶子均分共同相続への変遷、近年増加してきた遺言制度の利用等々に対して、日々刻々と変化しつつあります。このような変化に対して親族法、相続法がどのように対応しているか、どのような限界があり、どのように改善を図るべきなのかについて、判例を題材にして、毎回学生諸君に報告をしてもらい、その報告をもとに参加者全員で検討・考察します。こうした作業を通して報告の仕方、議論の仕方、法的考察力等の取得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕親族法における問題点

〔後期〕相続法における問題点

履修上の留意点

講義とは違い、少人数で行う演習は、ゼミ生同士あるいはゼミ生と教員との議論が可能です。こうした議論をするためには、十分な準備とともに、毎回の出席することが大変重要となります。

成績評価の方法

報告の内容の評価以外に、毎回の出席と、出席時の参加の様子等を考慮して、総合的に評価します。

教科書

『家族法判例百選 [第7版]』（有斐閣）

大村敦志『もうひとつの基本民法I』（有斐閣）

参考書等

内田 貴『民法IV 親族・相続』（東京大学出版会）

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 125711・125712 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 田中 優企 |

講義のねらい

演習テーマ：「刑事訴訟法基本判例研究」

実際に裁判で争われた具体的なケースの研究を通じて、抽象的な理解になりがちな刑事訴訟法をより深く掘り下げた形で理解してもらうこと及び判例の分析と授業での報告を通じて「問題解決のプロセス」の一つを学んでもらうことがこの演習のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、私が指定した判例について、それぞれ各1名が担当して、1つの判例を2回に分けて報告してもらいます。1回目は担当判例の報告を、2回目は、授業での討論を通じて明らかになった問題点や私が指摘した問題点等についてさらに分析した上で、これを報告してもらうスタイルを予定しています。

履修上の留意点

その他、具体的な報告方法など授業全般については、第1回目の時にもお話します。「刑事訴訟法」を履修済みであること又は履修中であることが望ましいですが、これにこだわりません。刑事訴訟法に興味のある方であれば、どなたでも歓迎します。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況、報告内容及び討論内容を総合的に考慮して評価します。
教科書は指定しません。
(購入する必要はありません)

その他

井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第8版）』（有斐閣、2005年）2200円
各年度に出版される『ジュリスト臨時増刊・平成〇年度重要判例解説』（有斐閣）、『平成〇年度最高裁判所判例解説』（法曹会）

素朴な疑問が実は重要な問題であったということとはよくあることです。また、この演習は、みなさんの意見と疑問があって初めて成立します。みなさんの主体的な参加を期待しています。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 132001 |
| 科目名 | 演習I |
| 担当者名 | 田丸 大 |

講義のねらい

行政の活動や政策は、世の中の我々の生活とも密接に関わっている。そういった行政活動について、ディベートや研究発表を行ってもらう。なるべくグループでの作業を多くし、チームワークを重視する予定である。過去に扱ったテーマは、サマータイムの導入の是非、消費税の引き上げの是非、駅前の放置自転車対策、官僚の天下り、振り込め詐欺などバラエティに富む。自分たちの興味を持った事柄を自主的に調べ、それをもとに議論を深めて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

年間の演習を5回ずつ程度に分けて、ディベートや研究発表を繰り返していききたい。例えば、夏休み前にディベートを2回くらい、研究発表1回くらいできれば十分と考えている。

履修上の留意点

大学生の間に、アルバイトやサークル以外に勉強つなぐりの友人も作り、グループでの作業によってチームで物事を達成する充実感を味わってほしいというのが、担当教官の願いです。演習は、就職活動や社会人になってから必要とされる能力を間接的に養う機会だと思えます。

成績評価の方法
教科書

OB会の準備などをお願いする予定です。
平常点による。
特に使用しない。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 132011 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | 田丸 大 |

講義のねらい

行政の活動や政策は、世の中の我々の生活とも密接に関わっている。そういった行政活動について、各自でテーマを設定し、発表及び短めの論文を作成してもらおう。可能であれば、2年生の基礎演習、3年生の演習との交流の機会も持ちたい。なるべくグループでの作業を多くし、チームワークを重視する予定である。過去に扱ったテーマは、サマータイムの導入の是非、消費税の引き上げの是非、駅前の放置自転車対策、官僚の天下り、振り込め詐欺などバラエティに富む。

講義の内容・授業スケジュール

前期にテーマの選定と骨子の作成、後期に発表及び論文の作成を行えばと考えている。

履修上の留意点

大学生の間に、アルバイトやサークル以外に勉強つなぐりの友人も作ってほしいというのが、担当教官の願いです。

成績評価の方法
教科書

OB会の準備などをお願いする予定です。
平常点による。就職活動期間中については、考慮します。
特に使用しない。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 122701・122702 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>なかつ ひでゆき</small> 中田 英幸 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本演習の目的は、財産法(民法総則・物権・債権)に関する判例を素材として、民法の解釈を学習することにある。紛争が発生した経緯を理解し、望ましい結論(法的判断)を考えることにより、法の運用を学び、法的思考を養う。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (3年生)前期は、財産法に関する基本判例を演習の素材とする。演習参加者は、初回到報告する判例を選び、報告前にレジュメの配布・参考文献の指定をすること。後期は、最近の判例を演習の素材として前期と同じく報告をする。演習の進め方は前期と同様である。なお、報告者は、演習での質疑応答を踏まえたレポートを作成する。 前期・後期ともに、適宜基礎知識の確認を行う。 (4年生) 卒業レポートの作成を目標とする。自ら法的課題を見出し、検討を加え、結論を導く。演習において卒業レポートの中間報告を行う。 以上の内容は、演習参加者の希望や参加人数によって変更することがある。 |
| 履修上の留意点 | 民法に興味を持ち、勉強する意欲があることが大前提である。 |
| 成績評価の方法 | 必ず毎回出席し、積極的に発言すること。 報告内容、演習での発言、レポートにより評価する。発言は、結論よりも、結論に至るまでの理由づけや思考過程を重視する。 |
| 参考書等 | 演習にて適時指示する。 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 124401・124402 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>なかつ まさよし</small> 中濱 義章 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 商法の重要問題を検討することを通じて、法制度の理解を深めると同時に、社会的事実から法的問題を抽出し、法的に分析し論理展開するための基礎的な力を身につけることを目的とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 商法、会社法、手形法・小切手法に関する重要判例研究または事例研究として毎回一つのテーマを取り上げ、報告者による報告の後、全員で討議します。 なお、参加者の希望によっては、前期に基礎的理解のための簡単な問題演習を行います。 |
| 履修上の留意点 | 参加者は、自分が発表を担当しないときでも、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席を重視します。 |
| 成績評価の方法 | 出席と議論への参加態度、報告の内容で評価します。 |
| 教科書 | 必要に応じて資料を配付するほか、適宜指示します。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 125701・125702 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>にし おさむ</small> 西 修 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切に、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけたす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。 (1)ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。 (2)とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。 (3)ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1)日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2)憲法第9条をめぐる諸問題、(3)世界の憲法トレンド、(4)人権の現代的意味などを考えています。その他、年に1回は合宿を行います。 「講義のねらい」で記述した方針でのぞみますので毎回出席すること。 |
| 履修上の留意点 | 出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。 |
| 成績評価の方法 | 開講時に指示する。 |
| 教科書 | 適宜紹介する。 |
| 参考書等 | 合宿中に私の落語を聴かされることがあります。 |
| その他 | |

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 132701 |
| 科目名 | 演習I |
| 担当者名 | はやかわ よしき 早川 純貴 |

講義のねらい 当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール 当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成21年度の前期・統一テーマは「政策、アクター、アリーナ」である。国の法律や地方自治体の条例などが成立する背景とその成立過程の解明、政策の立案、決定、執行の各段階で登場する政治アクターの行動や目的の分析、アクターたちが行動し競合する場であるアリーナの特徴の抽出、などに取り組んでみよう。ある政策にかかわるアクターが誰であり、どのような場で政策案が決定に至るのか。その場は開放的か閉鎖的か、あるいはその場に参加するアクターたちはどのようなイデオロギーや利害を有しているのか。こうした問題を解き明かすことで日本の政策決定の本質に迫ることができるであろう。

履修上の留意点 当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法 個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。
教科書 教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

法
律

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 133001 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | はやかわ よしき 早川 純貴 |

講義のねらい 当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール 当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらう。平成21年度の前期・統一テーマは「政策、アクター、アリーナ」である。国の法律や地方自治体の条例などが成立する背景とその成立過程の解明、政策の立案、決定、執行の各段階で登場する政治アクターの行動や目的の分析、アクターたちが行動し競合する場であるアリーナの特徴の抽出、などに取り組んでみよう。ある政策にかかわるアクターが誰であり、どのような場で政策案が決定に至るのか。その場は開放的か閉鎖的か、あるいはその場に参加するアクターたちはどのようなイデオロギーや利害を有しているのか。こうした問題を解き明かすことで日本の政策決定の本質に迫ることができるであろう。

履修上の留意点 当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、ここではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法 個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。
教科書 教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 123601・123602 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 藤本 茂 |

- 講義のねらい** わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。
- 講義の内容・授業スケジュール** 本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。夏季には研究合宿を行いません。
- 履修上の留意点** 演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。講義科目として、労働法はもとよりのこと、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。
- 成績評価の方法** 出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追試はありません。
- 教科書** 金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所 2009）。菅野和夫著『労働法』（弘文堂）
労働判例百選
労働法の争点
- 参考書等** 必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探すことが勉強の第一歩と思っています。

法
律

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 125031・125032 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 松村 格 |

- 講義のねらい** 刑法総論の講義で学習したことを基礎にして、具体的な事例をどのように解決すれば、刑法の基本原則に反することなく刑法の使命（法益保護・人権保障・秩序維持）に適うかを考えることを目的とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期の前半に、刑法総論の基本的事項について総復習します。毎回全員に質問することによって、刑法総論の理解度を確認します。前期の後半以降は、各人が最も関心のある問題点ないし争点を選び、それについて研究したことを発表し、各人の質疑応答によって研究を深めていきます。
- 履修上の留意点** 刑法総論の単位を取得していなければ履修することはできません。毎週、基本書・参考書・判例解説書・六法全書・ノートを携帯して出席してください。参加することが不可欠ですから、理由なき欠席は許しません。毎回必ず何らかの意見を（その是非・妥当性は別として）主張することを義務とします。
- 成績評価の方法** 普段の授業における予習・復習の内容、質疑応答回数と内容、研究発表の内容によって評価します。試験はしません。
- 教科書** 松村ほか『刑法総論』ミネルヴァ書房（3800円）
別冊ジュリスト『刑法判例百選I総論【第五版】』有斐閣
- 参考書等** 参考書は予定しない。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 123701・123702 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>まつもと ひでとし</small> 松本 英俊 |

講義のねらい 演習I・IIでは、刑事手続全体を概観した上で、捜査および公判段階における問題を扱う。判例を中心に具体的事例に則して、捜査・公判段階の主要な論点について、問題の所在や学説などを検討し、解決の展望を探る。

講義の内容・授業スケジュール テキストや基本書の輪読を中心に行い、刑事訴訟法の基礎的な知識を身につける。判例百選や判例集掲載の主要判例や比較的最近の判例を素材に、事例を作成し、討論形式で事例研究を行う。

履修上の留意点 刑事訴訟法、刑法、刑事法関連科目を履修していることが望ましい。
グループ分けをして、全員で議論するので、自分の見解を持った上で参加し、議論に際しては積極的に発言すること。

成績評価の方法 授業での報告および発言などにより、総合的に評価する。適宜、レポートを課し、その結果も参考とする。

教科書 未定
参考書等 松尾浩也・井上正仁編『刑事訴訟法判例百選（第七版）』（有斐閣）2,100円
その他 授業では、報告者の報告に基づいて、全員で討論を行う。

法
律

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 124301・124302 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>まぶち さとし</small> 間瀬 清史 |

講義のねらい この演習は、参加者が民事訴訟法の講義で修得した基礎的な知識の幅を広げ且つその理解度をより一層深めることを目的とします。民事訴訟理論の緻密さとダイナミックさとを体得してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール 民事訴訟法に関する重要判例の中から毎回1～2を選んで、報告者による報告と参加者全員での討論を行うことを予定しています。検討の対象とされる判例は各報告者の希望を尊重したうえで決定されることとなります。例えば、(1)当事者能力、(2)法律上の争訟、(3～4)当事者適格、(5)土地管轄と移送、(6)国際裁判管轄、(7)外国判決の承認・執行、(8)重複訴訟の禁止、(9)国際的重複訴訟、(10～11)訴えの利益、(12)処分権主義、(13～14)弁論主義、(15～17)裁判上の自白、(18～19)証明責任、(20～21)既判力の時的限界、(22～23)既判力の客観的範囲および争点効、(24～25)既判力の主観的範囲、(26～27)共同訴訟、(28～30)参加および訴訟告知等が考えられます。

履修上の留意点 また、実際の法廷見学にも行きたいと考えています。
演習参加者には、毎回予習のうえ出席すること、主体的に演習に参加すること、および積極的に発言することを期待します。

成績評価の方法 演習参加度（出席態度、報告内容、主体性、積極性等）に基づいて行います。

教科書 小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』（悠々社）2001年、3500円＋税。
参考書等 名津井吉裕ほか著『民事訴訟法』（法学書院）2007年、3200円（税別）。
『民事訴訟法の争点』（有斐閣）2009年予定。

『民事訴訟法判例百選 [第3版]』（有斐閣）2003年、2800円＋税。

『法学講義 民事訴訟法』（悠々社）2006年、4000円＋税。

その他 この演習を履修しようとする者は、民事訴訟法の講義をすでに履修した者であるか、または並行的に履修する者であることが望ましいです。

また、民事実体法、とりわけ民法についてある程度の理解に達していることが履修の前提となります。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 132401・132402 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 三竹 直哉 |

講義のねらい

比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。せっかく大学に来たのだから、中学校や高校の自由研究レベルのものではなく、自分の問題意識で本格的に卒業研究をやってみたいという人向けです。小学校以来受けてきた教育の集大成であり、自分の〈作品〉となる卒業論文を作成します。たくさん書き、本や論文にたくさん接し、いろいろな人に会い、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

講義の内容・授業スケジュール

お互いに助け合いながら個人研究を行います。やり方や内容は年によって参加者によってかなり異なります。卒業してからどんな分野に進んでも役に立つよう、知的な仕事をする上での基本的な訓練、練習は3年次に必ず行います。簡潔で論理的な文章の書き方のトレーニング、ノートの取り方、自己分析、プレゼンテーションのしかた、スケジュール管理のしかた等々を、かなり細かくやります。原則として、研究テーマは、比較政治学やその他三竹担当の授業内容に関連したものを自分で設定することになります。

履修上の留意点

応募する前に必ずメールで相談してください。向いていないゼミに応募してしまうと、ゼミを履修するチャンスを失ってしまう可能性があります。

4年次にもしっかり勉強し、よい卒業研究をしたい人のためのゼミです。4年次は出席しなくてもよいなどという方針はとっておりません。その他にも条件がありますので、応募前に相談してください。法律学科から応募する方は特に注意が必要です。必ず応募前に相談してください。

成績評価の方法
教科書
その他

詳しい案内は、YeStudy に掲示してありますので、そちらを参照してください。また、在籍中のゼミ生やゼミ卒業生に直接話を聞きたいければ、紹介します。見学も歓迎します。
自己評価を基本とします。
たくさんあります。その都度、指示します。(買わなければいけないものは多くありません。)
mitake@komazawa-u.ac.jp
最新の情報は YeStudy で確認してください。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 124001・124002 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 向田 正巳 |

講義のねらい

本演習では、判例研究を通じて、民法を基礎から学びます。民法の基本判例を読みながら民法における基本的なものの考え方、法的思考の基本を学び、演習参加者が裁判実務、ビジネス法務実務、行政実務等それぞれの進路においてその知識を活かす術を学ぶことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

まず判例百選等でとりあげられるような基本判例を読みながら民法の基礎的な論点を学習し、それを通して判例の読み方、教科書のまとめ方、本文などの資料調査と研究報告の方法について学びます。次に10月くらいからになると思いますが、最高裁判所民事判例集等から最新の判例をゼミのグループ単位で選び、判例のなかから民法解釈論上の論点を抽出し、従来の学説、判例に照らし合わせながら検討するという作業を行います。最後に時間があれば参加者が各自、関心のあるテーマにつき個別に報告、レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点

民法の基礎をしっかりと学び、民法の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

成績評価の方法
教科書
その他

出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。
演習の始めに指示します。
コンパ、合宿を予定しています。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 125601 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | 山口 邦夫 <small>やまぐち くにお</small> |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。 第I期(4・5月) 罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。 第II期(6・7月) 刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。 第III期(9・10月) 生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。 第IV期(11・12月) いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。 |
| 履修上の留意点 | 毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。 |
| 成績評価の方法 | 演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。 |
| 教科書 | 判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。 |

法
律

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 120401・120402 |
| 科目名 | 外書講読I(英書) 外書講読II(英書) |
| 担当者名 | 北野 かほる <small>きたの</small> |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英語で書かれた、イギリス法の入門書を使って、英語の読解力の向上をはかると同時に、英米法についての理解を深める。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 演習形式で行う。履修生は、あらかじめ指定された箇所を全員が読んで訳文案を作成し、毎回あらかじめ指定する担当者の訳を素材に、全員がその内容を検討する。進行度は履修生の英語読解力によって異なるので、年間の細かいスケジュールを立てることはせず、読解力と理解力の深化に応じて、一回ごとに読み進む分量を増やすようにする。 |
| 履修上の留意点 | 十分な準備が必要になる。毎回、自分が報告担当者になるつもりで、十分な準備をすること。 |
| 成績評価の方法 | 毎回の出席および討論参加をもとにした平常点と、11月末に課する共通課題英文の翻訳レポート成績をあわせて判定する。 |
| 教科書 | あらかじめ指定することはせず、年度当初に複数呈示する入門書のなかから、履修生の希望によって、用いるテキストおよびその該当箇所を決定する。決定したテキストはコピーで配布するので、履修生が購入する必要はない。 |
| 参考書等 | 『英米法辞典』編集代表田中英夫 東京大学出版会 図書館にあるものを随時用いて良い。必要だと判断した時点で購入すれば良い。 |

| | |
|-------|----------------------------|
| 履修コード | 120501・120502 |
| 科目名 | 外書講読I(英書) 外書講読II(英書) |
| 担当者名 | 王 志安 <small>おう しあん</small> |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 国際法にかかわる入門的英文教科書、国内・国際裁判の判決原文を講読することを通して、法律文書によく使われる基礎的な表現法、専門用語および英米や国際裁判判例の基本構造を習得する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期では主に入門的教科書を中心に、専門知識を表現する英文になれることに重点を置き、文書の翻訳、解説を通して英語と専門知識を習得してゆく。後半では前期の勉学を踏まえて、英米の国内裁判の判決および国際司法裁判所の判決を選定し、翻訳を通して判決文の基本構造、専門用語および特徴を勉強する。 |
| 履修上の留意点 | 国際法にかかわる外書の講読となるので、国際法の講義を習得したことが不可欠です。また、英文の新聞紙をだいたい読める程度のレベル英語能力をもつことが望ましい。 |
| 成績評価の方法 | 尚、少人数の教育となるので、興味をもって必ず参加するという積極性をもつ学生が期待される。講義への出席状況、担当された翻訳作業の完成度、講義における参加の積極性を中心に、総合的に判断する。 |
| 教科書 | 開講時にプリントを配布する。 |
| 参考書等 | 開講時に指定する。 |

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 120601・120602 |
| 科目名 | 外書講読I(英書) 外書講読II(英書) |
| 担当者名 | 川口 幸美 |

講義のねらい この講義では、まずは法律に関する英文に慣れ、法律用語等の基礎知識の習得から始めて、最終的には初歩的な英語の学術論文を読みこなすことを目的とする。また、法と経済学の視点から見た日本の法制度の矛盾や問題点について議論し、それを通じて日本の法制度について理解を深めることも期待する。

講義の内容・授業スケジュール 複数の著書あるいは論文から、受講者の希望を参考に、いくつかのテーマをとりあげて、毎回担当を決めて、翻訳と解説をしてもらう。

履修上の留意点 基礎的な英文読解力に加え、報告担当者は担当部分の全訳と内容について補足説明できるように調べをしてもらうこと。報告内容が不十分であればやり直しさせることもあるので気をつけること。また他の受講生も内容について必ず予習をし、質問および感想を提示できるよう準備しておくこと。

成績評価の方法 出席と報告内容および質問・意見等、平常時の受講態度で評価する。2/3以上の出席がないと、単位は認定しません。

教科書 Curtis J. Milhaupt & Mark D. West, Economic Organizations and Corporate Governance in Japan (Oxford, 2004).
Ramseyer, J. Mark/ Nakazato, Minoru, Corporate Governance in Japan Japanese Law: An Economic Approach (University of Chicago Press, 2001).

参考書等その他 辞書、参考書、辞典等については随時指示する。
受講生が多い場合は、初回に簡単な読解テストを行い、選抜することも予定しています。

法
律

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 120701・120702 |
| 科目名 | 外書講読I(独書) 外書講読II(独書) |
| 担当者名 | 松村 格 |

講義のねらい ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることが目的とします。

講義の内容・授業スケジュール ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することになります。
そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。

履修上の留意点 毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。

成績評価の方法 普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。

教科書 未定。第1回目の授業に配布します。

参考書等 未定。

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 120801・120802 |
| 科目名 | 外書講読I(仏書) 外書講読II(仏書) |
| 担当者名 | 荒木 正孝 |

講義のねらい わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度に多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える法的・政治的枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、経済的、政治的背景のもとに発展してきたのかについて、フランス語の原書の講読を通して母国法の思考や事情を学び、わが国の制度をより広い観点から深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点 履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法 成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書 教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等 参考書は、授業の内容に応じてその都度紹介する。

| | |
|-------|--------------------------|
| 履修コード | 120901・120902 |
| 科目名 | 外書講読I (中国書) 外書講読II (中国書) |
| 担当者名 | 岩崎 皇 |

講義のねらい 中国の今を知るために、時事的文章を読みます。
 講義の内容・授業スケジュール 文章の訳読を中心に授業を進めます。
 履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。
 なお、就職活動を行う学生はそのつど状況を報告してください。場合により上記の制限を多少緩和することがあります。
 また、これまで中国語を勉強したことのない人は履修できません。
 成績評価の方法 履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、課題提出、テスト等で評価します。
 教科書 受講者の状況を見た上で決めます。

法
律

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 118801 |
| 科目名 | 登記法 |
| 担当者名 | 田沼 浩 |

講義のねらい 初めて登記法を学ぶ者にも、以前勉強したことのある者にも、民法・会社法・商法の手続法としての「不動産登記法・商業登記法」が現在の取引社会においてどのような役割を担っているのか、両法より深い理解を図ります。また、登記簿等のオンライン閲覧や今後予想されるオンライン登記申請に伴う情報リテラシー(活用)能力を養います。
 講義の内容・授業スケジュール (前期)(1・2)登記法概論(3)不動産登記法総則・商業登記法総則(4~6)民法典物権編総則にかかる不動産登記(7)所有権にかかる不動産登記(8~10)民法典相続編にかかる不動産登記(11~13)担保物権にかかる不動産登記(後期)(14~16)会社法第四章登記、商法第三章商業登記(17~25)会社法にかかる商業登記(26)まとめ
 履修上の留意点 不動産に関する取引全体の流れに対して、情報として重要な役割を果たす不動産登記を理解することを目指し、会社法と関連させることによって会社の起業や取引先の情報収集に役立つ商業登記法の知識を最低限習得できるように努めます。受講者は民法典第二編物権、第三編債権、第五編相続、会社法の履修を望みます。また、この講義を受講することが望ましい者として、将来、企業の法務部・総務部に配属されることを考えている者、不動産・金融関係の会社に就職を希望する者、起業して自営業を目指す者、そして司法書士試験を受験したいと考えている者など、広く対象とします。
 成績評価の方法 学年末試験の結果と提出物(前期レポート)の内容に依拠して行います。問題作成及び成績評価にあたっては、教科書等から問題を作成し、講義に積極的に参加した人が有利になるように成績評価を配慮します。
 教科書 『窓口の相談事例にみる事項別不動産登記のQ&A200選』(日本法令 不動産登記研究会編)2,200円
 『定款の実務』(オンブック 田沼浩著) なお、アマゾン及び指定書店で購入可能。
 参考書等 法務省民事局編『不動産登記実務[五訂版]』(法曹会)4,000円 判例六法 有斐閣 5,250円

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 118901 |
| 科目名 | 税法 |
| 担当者名 | なかえ ひろゆき 中江 博行 |

| | |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代生活においては、我々は租税に無関心であることはできない。なぜならば、日常生活では取引・契約は必ず発生し、そこには、通常、課税関係が生じる。 そこで、本講義では、租税の機能・役割から、租税法上の考え方を身につけてもらう。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (前期) 1. 租税の目的・意義 2. 租税法律主義の原則と租税回避について 3. 所得概念と所得税の基本構造 4. 消費税法のしくみ (後期) 1. 相続税法の基本構造 2. 法人税の課税根拠と企業利益 3. 税務調査(質問検査権) |
| 履修上の留意点 | 会計学、財政学、簿記学等の科目の履修が望ましい。またアンケート及びレポートの提出を随時求めるが、提出がない場合には期末試験の受験資格を失うこともあるので注意すること。 |
| 成績評価の方法 | レポート、講義時アンケート及び期末試験の結果を総合して評価する。(定期試験70%、レポート20%、講義時のアンケート及び講義の参加意識10%) |
| 教科書 参考書等 その他の | 中江博行『法人税法講座四訂版』税務経理協会 六法(税法掲載のもの)、別冊ジュリスト『租税判例百選』(第4版・有斐閣) 毎回の講義時の連絡事項及びレジュメは、本学サイト内“Yestudy”にアップしておくので講義開始時には、プリントアウトして持参すること。質問は、原則、講義終了時に行うが、E-mail(p5@p-five.com)でも受け付ける。 |

法
律

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 127501 |
| 科目名 | 地方自治法 |
| 担当者名 | とみい ゆきお 富井 幸雄 |

| | |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。 |
| 成績評価の方法 | 前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。 |
| 教科書 参考書等 その他の | 富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定(内外出版) 『地方自治判例百選(第3版)』(別冊ジュリスト)。 講義では頻りに法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 120301 |
| 科目名 | 環境法 |
| 担当者名 | <small>なかに たかひと</small> 仲田 孝仁 |

法
律

講義のねらい 本講義の目的は、受講者に広く環境問題に関心を持たせることは言うまでもなく、「環境法」の法的枠組みを理解させ、「法」という道具を用いることで、各人が環境問題への具体的解決策を導くための糸口を与えることにある。履修者諸君には、本講義の履修後に、環境問題を一步踏み込んで解釈・分析する視点を持つことが期待される。

講義の内容・授業スケジュール 環境法に係る共通的な法理論・原則を概説した後に、個別的な実定環境法へと講義内容を展開する。1. 開講の辞、2～3. 環境法の歴史（四大公害訴訟について）、4. 環境法の諸原則（持続可能な開発、環境権、拡大生産者責任）、5～6. 公害対策基本法から環境基本法へ、7～12. 廃棄物・リサイクルと法（（1）～（4））（循環型社会の形成について）、廃棄物処理法および個別リサイクル法について）、13. 化学物質管理と法（化審法、PRTR法）、14～19. 大気・水・土壌環境保全と法（（1）～（3））（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と法）、20～22. 自然環境保全と法（外来生物法、種の保存法について）、23. 環境影響評価と法（環境アセスメントについて）、24. 環境紛争と私法的・行政的解決（環境民事訴訟・行政訴訟の動向・課題について）、25. 道路公害訴訟の現状と課題（東京大気汚染訴訟、ディーゼル車規制について）、26. 環境行政組織／公害紛争処理と環境ADR（環境省および地方環境行政組織、公調委）、27～28. 地球温暖化対策と法（京都議定書、地球温暖化対策推進法、排出枠取引などについて）、29. 環境法における市民の役割、30. 最終講－環境法の未来（まとめ）

履修上の留意点 学生諸君との対話を重視し、頻繁に発言やメモの提出を求める。講義自体はパワーポイントやビデオ等を用い、視覚に訴えることで分かりやすさを心がけたい。講義内容は基礎的な事項を中心に進めるが、最新判例や理論の動向も加味していく。また、具体的な事例を取り上げ、それらの問題の所有や解決策を諸君とともに模索していく。

成績評価の方法 期末試験の成績（80%）及び平常点（出席点・発言点・レポート、20%）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書 使用しない。
参考書等 別冊ジュリスト『環境法判例百選』（有斐閣）2004年等。
その他は授業時に指示する。

その他 講義においては、レジュメおよび環境法令を配布する。

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 119701 |
| 科目名 | 経済法 |
| 担当者名 | <small>わかばやし ありさ</small> 若林 亜理紗 |

講義のねらい 経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール 以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法 期末試験により評価を行う。
教科書 丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）
参考書等 別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）
その他 授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 120101 |
| 科目名 | 消費者法 |
| 担当者名 | <small>むかいだ まさみ</small> 向田 正巳 |

講義のねらい

本講義では、民法の特別法としての消費者法についての概説を行います。消費者法という法典があるわけではありませんが、消費者を保護し、その権利を守るための法としてはさまざまなものがあります。私たちは消費者として生活に必要な商品を購入しながら暮らしていく中で、さまざまな法的トラブルに直面します。消費者を保護する法として、どのようなものがあるかを知ることは、健全な社会生活をおくる上で、とても大切なことです。本講義では民法についての基本的な知識を確認しながら、商品を買うときにだまされたとき、欠陥商品を買ってしまったときなど、消費生活上のさまざまな法的トラブルにいかに対処すべきか、事例を用いながら学んでいくことにします。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では前期に主に製造物責任法を、後期に主に消費者契約法を検討します。基本的な授業の進め方は以下の通りです。

前期：製造物責任法について

- 1 民法と製造物責任法
- 2 民法における不法行為責任についての確認
- 3 製造物責任法についての各論点の検討

後期：消費者契約法について

- 1 民法と消費者契約法
- 2 民法における契約責任についての確認
- 3 消費者契約法についての各論点の検討

履修上の留意点

消費者法は民法の特別法ですから、本講義の履修者には当然のことながら民法の基礎知識が必要となります。履修者は消費者法の各論点を検討する際には、必ず民法の体系を念頭においた考察をするように心がけてください。

成績評価の方法

期末試験と小テストによって評価します。

教科書

未定。授業の始めに指示します。

法
律

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 119601 |
| 科目名 | 知的財産権法 |
| 担当者名 | <small>もりおか かずお</small> 盛岡 一夫 |

講義のねらい

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるようになることを目的とし、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関連する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール

知的財産権法概説（1～3）、特許要件、職務発明（4～6）、特許権の効力・救済方法、実施契約、審決取消訴訟（7～12）、実用新案法、意匠法、商標法（16～19）、不正競争防止法（20～23）、著作物、著作者人格権、著作権、著作権の制限（24～30）

成績評価の方法

後期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。

教科書

盛岡一夫『知的財産法概説〔第4版〕』（法学書院）2,600円＋税

参考書等

中山・相沢・大淵編『特許判例百選〔第3版〕』（有斐閣） 齊藤・半田編『著作権判例百選〔第3版〕』（有斐閣）

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 119301 |
| 科目名 | 民事執行・保全法 |
| 担当者名 | 福永 清貴 |

講義のねらい 本講義では、民事執行・民事保全の両手続のうち、とくに民事執行手続を中心に、その解釈上の重要問題と全体構造の理解を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、まず総論として、判決手続・執行手続・保全手続の概要や執行手続の種類・態様、民事執行手続の理念・基本構造等について説明する。その後、各論として、強制執行手続（債務名義・執行文・執行関係訴訟等）と担保権実行手続とを比較しながら講義する。後期後半には、民事保全手続（保全命令の発令手続・保全執行手続）について講義する予定である。

履修上の留意点 民法（特に債権法・担保物権法）および民事訴訟法を履修していることが望ましい。

成績評価の方法 後期の期末試験の成績および小テストによって評価する。受講生が少ない場合は、出席状況を評価に加えることもある。

教科書 『わかりやすい民事執行法・民事保全法』 生熊長幸 著 成文堂 3,300円＋税
ISBN4-7923-2500-5

参考書等 「民事執行法判例百選」。その他適宜紹介する。

その他 授業方法は、講義形式である。但し、受講生が少数の場合は、ゼミ形式で行うこともある。適宜、プリントや資料を配布し、毎回具体的な事例を題材として講義する予定である。

法
律

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 119501 |
| 科目名 | 倒産処理法 |
| 担当者名 | 鈴木 貴博 |

講義のねらい 破産法を中心に倒産処理法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 倒産処理手続は、債務者・債権者・担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜し、債権者の平等な取扱いや、破産者の再起更生、社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、実体法の規定に配慮しつつ、手続の基準として多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような様々な実体的法律関係の修正・処理のための法制度の特徴と概要を学んでいく。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産手続開始申立てとその効果
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 破産管財人の法的地位
7. 財団債権・取戻権
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪
10. 消費者倒産

履修上の留意点 民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みか履修中であることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法 簡単なレポートと学期末試験により評価される。

教科書 徳田和幸『プレップ破産法』（弘文堂、第4版、2008年）¥1,260 ISBN978-4-335-31309-7

- 参考書等
- ①伊藤眞『破産法・民事再生法』（有斐閣、2007年）¥6,615 978-4-641-13498-0
 - ②山本和彦・中西正・笠井正俊・沖野眞巳・水元宏典『倒産法概説』（弘文堂、2006年）¥4,725 978-4-335-35373-4 C3032
 - ③山本和彦『倒産処理法入門』（有斐閣、第3版、2008年）¥2,205 978-4-641-13534-5
 - ④青山善充・伊藤眞・松下淳一『倒産判例百選』（有斐閣、第4版、2006）¥2,520 978-4-641-11484-6

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 119401 |
| 科目名 | 法哲学 |
| 担当者名 | たかはし ひろき 高橋 洋城 |

講義のねらい

本講義では、近現代法の仕組・思考方法の基礎について検討するために必要な様々な分析枠組、原理や概念等々を学び、批判的思考のツールとして、他の法律学の学習や日常的な法との関わりの中で使えるものにしていくことを第一の目標とする。その過程では、しばしば「当然だと思っていたことがかえってわからなくなる」こともある。しかし「あらためて考え直してみる」という過程で、様々な思想や思考法に触れ理解を深めることは、将来、自らの力であらためて根本的な問題を考えてゆくための手がかり・突破口を得ることにもつながるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

法理論史において繰り返し論じられてきた諸トピックの中からいくつかの論点をとりあげ、それぞれ別の項目ごとに、理論的分析、思想史的背景、さらに現代の具体的な諸問題を念頭に置いた検討を加えていく。項目によって扱いは異なるが、できるだけ具体的な諸問題と法哲学的問題の関連が理解できるような授業の進行を心がけるつもりである。

授業で扱う具体的テーマは、おおむね以下を予定しているが、受講者の反応・理解に応じて修正する可能性もある。

- 1 自然法論と法実証主義
 - ・古典的自然法論を中心とした自然法論の基礎的理解
 - ・近代自然法論、および18世紀以降の自然法論の展開についての概観
 - ・法実証主義の基礎的理解、およびその現代における展開の概観
 - ・法と道徳の問題等、自然法論と法実証主義にかかわる諸問題の批判的検討
- 2 正義論
 - ・アリストテレスの正義論を軸に、法と正義の問題の基礎的理解
 - ・平等と自由の問題
 - ・正義論の現代的展開および、現代の諸問題との関連
- 3 法解釈と法の客観性
 - ・法解釈の性質について
 - ・概念法学とそれに対する批判的諸潮流の検討
 - ・日本における戦後法解釈学論争の意義
 - ・法解釈に関する諸理論の現代的展開

履修上の留意点

講義に際しては、受講者において、少なくとも本講義履修対象年次までの必修科目についてその基本的・原理的部分の理解があることを前提に進める。その点に不安がある場合には、受講にあたって十分な自助努力が必要となることを了解しておいてほしい。

成績評価の方法

年度末の定期試験を主とし、平常点を加味して評価する。平常点は、授業時間内の小テスト・レポートを予定しているが、その他、受講者の人数によっては出席点を加味する場合もある。以上についての詳細やその他の評価基準・方針は第1回の講義において伝えるので、必ず出席すること。

教科書

深田三徳・濱真一郎(編)『よくわかる法哲学・法思想』(ミネルヴァ書房)、¥2,730 講義の資料としても、また自習・予習の指示のためにも用いるので、必ず授業に持参すること。

参考書等

開講時に紹介する。

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 119001 |
| 科目名 | 財政学 |
| 担当者名 | つかもと まさふみ 塚本 正文 |

講義のねらい

私たちは、様々なサービスなどを国や地方自治体から受け、反対に租税を納めている。これだけ身近な問題でありながら、その仕組みは複雑で専門用語だらけのように見える。そこで、私たちはなぜ租税を納めなければならないのか、納めた租税はどのように使途が決定されるのか、どのような租税や公共サービスが存在するのかなど生活に密着した話題をテーマに、財政の仕組みや問題点を学び、税や政府について理解を深めることを目的として講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

(第1～2回目) 財政の枠組みとはどういうものなのか、(第3～4回目) 政府のお金の使い道はどの様に決まるのか～予算について～、(第5～7回目) 政府が集めたお金は何に使っているのか～政府支出について～、(第8～11回目) 政府はどの様にお金を集めているのか～租税について～、(第12～14回目) 政府の借金とは何か～公債について～、(第15回目) 前期の総括、(第16～18回目) まちと財政問題～地方財政について～、(第19回目) 財政のもつ機能について、(第20～22回目) 資源配分～財政の機能I～、(第23～25回目) 所得再分配～財政の機能II～、(第26～28回目) 景気政策～財政の機能III～、(第29回目) 地球環境と財政、(第30回目) 後期の総括

履修上の留意点

できるだけ指定した教科書に沿ってすすめるので、当日の講義内容を予め読んでおくこと。また、日頃から新聞の政治および経済欄を読んでおくこと。

成績評価の方法

学期末試験の結果をもとに成績を決定する。ただし、授業時に指示する提出物(レポート)の提出状況も考慮に入れる。

教科書

里中恒志・八巻節夫編著『新財政学』文真堂 ¥3,300 ISBN:4-8309-4546-X

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 128101 |
| 科目名 | 国際関係論 |
| 担当者名 | 三船 恵美 |

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを本講義の目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
1. 国際関係を学ぶ
 2. アクター
 3. 国益とパワー
 4. 日本の領域と日韓関係
 5. 日本の領域と日中関係
 6. 安全保障（1）：安全保障の概念と類型
 7. 安全保障（2）人道的介入
 8. 安全保障（3）大量破壊兵器の拡散
 9. 安全保障（4）テロリズム
 10. グローバリズムとリージョナリズム
 11. EU
 12. 東アジア共同体の構想とその課題
 13. 地球環境レジームの形成
 14. 前期まとめ
 15. 試験

- 後期
1. 「人間の安全保障」と人権
 2. 国際開発と国際援助
 3. 難民保護とUNHCR、
 4. 国際関係を分析する4つの見方
 5. 勢力均衡とバンドワゴン
 6. 同盟の力学
 7. 覇権による安定
 8. リベラリズム
 9. ネオ・リベラリズム
 10. ゲーム理論と国際関係
 11. 南北問題と構造的暴力
 12. コンストラクティヴィズム
 13. 国際政治と国際経済の連動
 14. 後期まとめ
 15. 試験

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

試験（前期40%＋後期60%）。

山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
授業中に紹介します。

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 119101 |
| 科目名 | 経済政策 |
| 担当者名 | もりおか じん 森岡 仁 |

講義のねらい 市場を中心とした自由主義経済の中に、国が運営する経済政策を導入するようになってかなりの時間が経過したが、今や国民は経済政策を抜きに安定した経済生活を送ることはできない。本講義では経済政策の基礎を構成する諸概念の理解を深めることによって、日々展開される実践的経済政策を的確に判断する力を高めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) 経済政策の概念、経済政策の目標、経済政策の手段、経済政策学、(5～8) 重商主義の経済政策思想、自由主義の経済政策思想、価値判断論争と経済政策学、現代経済政策学の方向、(9～12) 政策課題としての福祉問題、政策課題としての秩序問題、政策課題としての社会問題、現代政策課題の総括、(13～16) 経済成長の意義、古典派の経済成長論、完全雇用と現代の成長政策、経済成長と資本・労働、(17～20) 安定と成長の問題、経済変動とその安定政策、物価変動のメカニズム、現代インフレーションの対策、(21～24) 経済均衡と市場機構、独占と寡占、寡占の本質と作用、産業組織政策の展開、(25～28) 社会的公正と社会均衡化政策、国民所得の分配と再分配、公害問題の発生、福祉国家への道、(28～30) 現代の人口問題、人口政策の課題、経済政策と人口政策。

履修上の留意点 経済政策の根底には経済理論があるが、少しでも経済理論に触れておくことが好ましい。

成績評価の方法 学年末の定期試験。追試験も実施する。

教科書 森岡他著『現代経済政策』(千倉書房)1975年 2,520円。4-8051-0842-8

参考書等 特に指定せず。

その他 授業方法は講義。

法
律

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 119201 |
| 科目名 | 社会政策 |
| 担当者名 | ねがしただし 根岸 忠 |

講義のねらい 社会政策は、国民の生活の安定と向上を図ることを目的とする学問領域である。本講義では、社会政策のなかでも中心となる労働と社会保障に関する政策を取り上げることとし、これら各政策の現状を見た後に、政策上の論点について検討していくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール 社会政策の概念(2)、労働時間(3～4)、賃金(5)、労災補償(6)、仕事と家庭の調和(7)、雇用平等(8)、失業対策(9～10)、非正規労働者(11～13)、障害者雇用・高齢者雇用(14～15)、医療保障(16～18)、年金保険(19～21)、介護保険(22～24)、社会福祉(25～27)、生活保護(28～29)、社会政策の課題(30)

履修上の留意点 この授業では、労働や社会保障に関する政策上の論点を取り上げて、授業を進めていく。そのため、できれば労働法や社会保障法をすでに履修しているか、並行して履修することが望ましい。

成績評価の方法 学年末試験で評価する。

教科書 玉井金五、大森真紀編『三訂 社会政策を学ぶ人のために』(世界思想社、平成19年)2,205円

参考書等 開講時に指示する。

その他 制度の理解のために適宜映像を用いることとしたい。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 121411 |
| 科目名 | ※ 実務演習I |
| 担当者名 | なかの たつひさ 中野 辰久 |

講義のねらい 本演習は、従前応用憲法演習として実施されていた経過を踏まえ、憲法を中心に演習を行っていきます。特徴としては、弁護士が担当することで実務における法の適用のされ方を踏まえた、憲法の諸論点の理解並びに法解釈能力を養うことを目的とし、あわせて種々の国家試験や法科大学院への進学も念頭に置いていきたいと思っています。また、法律実務に関する諸問題についても適宜ご紹介していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール 憲法の中でも基本的人権論を中心に提起し、それに関連する形で統治機構論・憲法訴訟論を加味していく予定です。基本的には近年問題となった実際の事件・判決を題材にしていきたいと思っています。

検討テーマの一例を挙げると下記のとおりです（括弧内はこの数年において取り上げた事例です）。

- 1 基本的人権総論
- 2 基本的人権の限界－公共の福祉論
（死刑の合憲性をめぐる問題）
- 3 基本的人権の享有主体
（外国人の公務就任権の可否）
- 4 精神的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
表現の自由・検閲の禁止・事前抑制の原則的禁止の法理とプライバシー権（週刊文春事件）
表現の自由・明確性の基準
（青少年保護育成条例事件）
報道の自由（「あるある大事典」事件）
集会の自由・集団行動の自由
信教の自由・政教分離原則
（内閣総理大臣靖国神社公式参拝訴訟）
- 5 経済的自由権を規制する法律の合憲性審査基準
職業選択の自由・営業の自由
（プロ野球のドラフト制度の是非）
- 6 社会権を巡る問題
生存権（生活保護費貯蓄容認判決）
教育を受ける権利・特別権力関係論・部分社会の法理（校則）
- 7 法の下での平等（議員定数不均衡事件判決、尊属殺重罰規定違憲判決、国籍法違憲判決）
- 8 その他

履修上の留意点 出席を成績評価の1要素としますので、出席を取ります。また、本演習を受講した後の復習をしていただきたいと思っています。

成績評価の方法 出席とレポートで評価する予定です。レポートは講義中に課題をお知らせし、後期最終講義終了時に提出してもらう予定です。

教科書 芦部信喜・高橋和之補訂『憲法第四版』（岩波書店）

参考書等 高橋和之・長谷部恭男・石川健治編『別冊ジュリスト 憲法判例百選I・II（第5版）』（有斐閣）
演習の都度、レジュメを配布する予定です。

その他、参考となる書籍として下記の書籍を掲記します。

『立憲主義と日本国憲法』高橋和之著（有斐閣）

『憲法I第4版』『憲法II第4版』野中俊彦他共著（有斐閣）

その他 前記のとおり、弁護士の業務内容その他の法律実務の話や日々生起する憲法問題についての紹介等も適宜行っていきたいと思っています。

| | |
|-------|------------------------|
| 履修コード | 121511 |
| 科目名 | ※ 実務演習II |
| 担当者名 | 中田 英幸・上野 雅祥・小林 覚・杉山 真一 |

| | |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本演習は、民法の領域を中心に行っていきます。その特徴は、①法科大学院への準備段階として、専門領域について精通している経験豊かな弁護士を中心に、双方向授業を行うこと、②法曹になるための前提として、大学院試験等を念頭に入れ、単なる知識をつめこむという演習ではなく、柔軟なものの考え方をすることができる頭の訓練をすること、の2点である。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 演習内容は、3人の弁護士と相談して決定するが、基礎民法演習で学んできたことを前提として、ケース・スタディーなど実践的な内容の比重が大きくなると思われる。具体的事案の解決にあたって、今まで学んできた民法の基本原則をどのように活用し、法律的に構成して妥当な結論を導くかという、理論的思考を重視した演習になる。そのため、積極的に議論に参加できることを希望する。検討するテーマは、受講者決定後にプリントにより連絡する予定である。 |
| 履修上の留意点 | 本演習の性質上、民法総則・物権・債権等を履修していることが必要である。なお、受講者が多数の場合には、最初の演習の時間に選択を行う予定であるので、最初の講義時には、全員が成績証明書を持参すること。 |
| 成績評価の方法 参考書等 | 出席状況と平常点によって総合的に評価する。 演習の都度、適宜指示する。 |

法
律

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 121521 |
| 科目名 | ※ 実務演習III |
| 担当者名 | 木村 美隆 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 刑法の基本的な論点を含む判例を、事実関係から分析検討することを通じ、実務の現場における法適用の一端にふれることを、目的とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 判例を毎回1件ずつテーマに取り上げます。分野別に分類すると、おおむね次のとおりの予定です。 |
| 履修上の留意点 | ①総論分野 a 構成要件該当性(4件)、b 違法性(3件)、c 責任(2件)、d 未遂(1件)、e 共犯(6件) ②各論分野 a 財産犯(3件)、b その他(2件) 判旨の結論をそのまま記憶しようというのではなく、常に批判的な視点で検討する姿勢を期待したいと思います。 |
| 成績評価の方法 教科書 | 学期末に提出するレポートの内容により、評価します。 教科書は特に指定しません。判例を学習するのにふさわしい学生向けの判例集を、学期はじめに紹介します。ただし、一度は判例の原典を読み込んでほしいと考えています。 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 101202 |
| 科目名 | 現代企業論 |
| 担当者名 | 王 ^{おう} 志安 ^{しあん} |

講義のねらい 野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール 以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 経済情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターン
- 第4回 ポートフォリオ・マネジメント
- 第5回 企業とCSR
- 第6回 債権市場の役割と投資の基礎知識
- 第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識（1）
- 第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識（2）
- 第9回 投資信託の役割とその仕組み
- 第10回 日本の株式市場の歴史
- 第11回 経済成長と金融資本市場
- 第12回 資本市場における投資家心理
- 第13回 資産運用とライフ・プランニング
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

履修上の留意点 定期試験および追試験は実施しない。

成績評価の方法 出席点とレポート点で評価する。

教科書 毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。

参考書等

野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。

氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。

その他

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

II 專 門 教 育 科 目

2. 政 治 学 科

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 125901 |
| 科目名 | 政治学概論 |
| 担当者名 | 浦田 早苗・早川 純貴 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい |
| 講義の内容・授業スケジュール | 【前期】(早川) ①行動論政治学とDNモデル(2回) ②権力と影響力(4回) ③権力多元論とエリート論(4回) ④福祉国家論(4回) 【後期】(浦田) ①日本の政治システム(3回) ②政治と経済(3回) ③日本社会の特異性(2回) ④自由・権利・公共(2回) ⑤第二次大戦後の国際政治(2回) ⑥西欧の政治制度(2回) |
| 履修上の留意点 | 政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。 |
| 成績評価の方法 教科書 | 前後期に試験(各50点)を実施する。その合計点で成績評価を行う。 前期は、早川、他『政策過程論』2004年(学陽書房)、2,600円。 後期は使用しない。 |
| 参考書等 | 参考文献については講義の中で随時紹介する。 |

政治

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 126001 |
| 科目名 | 政治学概論 |
| 担当者名 | 早川 純貴・浦田 早苗 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 【前期】(浦田) ①日本の政治システム(3回) ②政治と経済(3回) ③日本社会の特異性(2回) ④自由・権利・公共(2回) ⑤第二次大戦後の国際政治(2回) ⑥西欧の政治制度(2回) 【後期】(早川) ①行動論政治学とDNモデル(2回) ②権力と影響力(4回) ③権力多元論とエリート論(4回) ④福祉国家論(4回) |
| 履修上の留意点 | 政治学は権力の形成・行使・監視にかかわる事象を扱う科学であり、権力は悪魔的魅力を有する存在でもある。権力への評価は常に価値の対立を内在する。つまり政治学とはさまざまな価値が交錯する学問であり、薄っぺらな理想論者ではなく、冷徹な現実主義者が学ぶ学問でもある。 |
| 成績評価の方法 教科書 | 前後期に試験(各50点)を実施する。その合計点で成績評価を行う。 前期は使用しない。 後期は、早川、他『政策過程論』2004年(学陽書房)、2,600円。 |
| 参考書等 | 参考文献については講義の中で随時紹介する。 |

| | |
|-------|-----------------------------------------------|
| 履修コード | 126011 |
| 科目名 | 政治学概論 |
| 担当者名 | <small>みたけ なおや なかの ゆうじ</small> 三竹 直哉・中野 裕二 |

講義のねらい 本講義は3コース(=専門課程)に向けて最初のステップとして、各コースの基本的知識を習得し、各自の政治に対する問題関心を養っていくために設けられている。専門用語や理論の講義に際しては、できるだけ具体的事例に即して説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】
指定したテキストの内容にそって、政治学の全体を概観する。
- 序 政治学を勉強してみませんか——政治学の視点
- 1 えっ!! 投票するの? 誰に投票するの?——選挙を科学する, 投票行動の研究
 - 2 テレビが政治をつくる?——マスメディアと政治意識
 - 3 政治家ってどんな人?——野心と理念
 - 4 思想と理念の絡み合い——政党, 自民党長期政権の終わり
 - 5 官僚ってどんな人?——官僚制
 - 6 変わる「コネ」社会 日本——ネットワーク社会の政治と利益団体
 - 7 政策のつくられ方——政策過程
 - 8 目立たない最高権力者——孤独な首相
 - 9 自立の気概——日本に地方自治はあるの?
 - 10 世界はどこへ行く?——国際政治
 - 11 役に立つ(?) 内政干渉——相互依存下の国際関係
 - 12 21世紀の試練——政治改革と構造改革

【後期】
YeStudy の利用を前提とする(使い方は総合情報センターに問い合わせること)。
政治学の基本的概念が身につくよう、グループ活動等を多く行う。前期の政治学概論や一年次に取ることができる政治学科の授業ではあまり扱われないいくつかのトピックをとりあげる。映像教材を多く使用する予定。ただし、教場の条件、参加者の人数や「やる気」などによって、授業のやり方は変わってくる。また、取りあげるトピックは、日本の政治状況や世界情勢の変化にあわせて決めるので、下記はあくまで参考である。

- 1 政治とは何か
- 2 政治現象を観察する練習
- 3 価値観を考え集会的決定の難しさを実感する練習
- 4 日本の政治の対立軸を知り自分と仲間の政策選好について議論
- 5 日本の政党を知り自分が支持・投票する政党を考える
- 6 国家について考える
- 7 社会的起業の世界としくみを知る
- 8 世界とのつながりについて考える
- 9 国際社会に目を向ける: ケニアに対するODAを通じて考える
- 10 期末試験対策
- 11 日本と日本人について考える

履修上の留意点

- ・前後期を通じてきちんと出席すること。
- ・出された課題は必ずやること。
- ・新聞を読むこと。

後期は課題をやらずに教室に来た場合、グループ活動に参加できない。また、平常点も取ることができないので、必ずやったうえで教室に来るように。

成績評価の方法

前期と後期の得点を、前期50%後期50%の割合で合計して素点とする。
【前期】前期の最終回に中間試験を実施する。その他、授業時間中に実施するミニテストと夏休みの課題レポートなどを総合的に評価する。

教科書

【後期】平常点と期末テストによる。
前期は教科書を使用する。伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め(第3版)』(有斐閣) 2009年予定。

その他

後期に必要なものは、中学校の社会科教科書(公民、歴史、地理)、および、新聞。教科書も新聞も、どこのものでもよい。中学校教科書は自ら復習すること。新聞はいわゆる五大紙と東京新聞のいずれかひとつの朝刊を毎回必ず持参。
後期は YeStudy を必ず使うこと。後期の授業の最新情報は YeStudy で確認してください。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 126101 |
| 科目名 | 憲法 |
| 担当者名 | <small>たかはた えいいちろう</small> 高畑 英一郎 |

講義のねらい

本講義は、憲法とは何か、憲法はどうあらねばならないかといった視点からの考察を中心に、日本国憲法の存在性格を明らかにすることを目的としている。すなわち、日本国憲法が、どのようにして存在するにいたったのか（憲法の成立過程）、日本国憲法は、どのような憲法として存在しているのか（憲法の性格と特色）、日本国憲法の存在が、どのような結果を生ぜしめているのか（憲法の施行状況）といったことを明らかにしようというのである。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、全体を二つに分け、前半は総論的講義、後半は各論的講義を行う。前半の総論的講義は、次のような章節から構成される。

第一章 憲法概念と歴史

(一) 憲法とは (二) 憲法の種類 (三) 憲法の歴史

第二章 日本国憲法成立の経緯と法理

(一) 日本国憲法成立の経緯 (二) 日本国憲法成立の法理

第三章 日本国憲法の特質

(一) 日本国憲法の基本原理 (二) 日本国憲法の特異性

各章節の内容は、それぞれの表題からほぼ明らかなものと思われるが、第一章では、憲法とはどのような規範か、憲法にはどのような種類があるのか、成文の憲法はどのようにして生まれ、どのような発展をとげて今日にいたっているのかについて述べる。なお、我が国における憲法の歩みということで、明治憲法の成立過程、同憲法の主な内容、成立後の展開についても概説する。

第二章では、現行日本国憲法が、どのようなプロセスをへて成立するにいたったのか（アメリカの対日政策、極東委員会の動き、日本政府の対応、GHQ民政局の役割、第九〇帝国議会での審議状況等）、日本国憲法の成立を法理上どのように説明したらよいか（明治憲法との関係、占領下の改憲をどう考えるか、八月革命説、改正憲法説、無効論の是非等）を論じる。

第三章では、憲法の分類上から認められる日本国憲法の特異性（例えば、民定憲法なのか、欽定憲法なのか、協約憲法なのか、はたまた占領憲法とよぶべき憲法なのかといった、憲法を成立せしめた主体をめぐって争いがある点等）を指摘し、そのような日本国憲法が、どのような基本原理に依って立っているのか（国民主権の原理、象徴天皇制の原理、平和主義の原理、基本的人権尊重主義の原理）を明らかにする。

一方、後半の各論的講義は、本来なら、日本国憲法の逐条（日本国憲法は世界でも有数の簡略な憲法であるが、それでも全体で、前文と本文十一章103カ条に及ぶ）解説ということであろう。しかし、限られた時間内では、それは、ほとんど不可能に近い。そこで、とりあえず、各章ごとに規定内容や問題点を整理し、一部に立法論的指摘（どこにどのような不都合があり、それをどのように改めたらよいかといった指摘）も加味しつつ、全体として、日本国憲法の性格と特色が理解できるような講義としたい。

もちろん、第九条をはじめ、解釈上の対立が大きい条項や多くの問題を抱えている条項については、判例の紹介をはじめ、比較憲法的な考察を行うなど、特別に時間を割きたいと考えている。

履修上の留意点

講義は教科書を用いて進めるが、時事的な憲法問題をとり上げ解説するなど立体的な講義を心がける予定であり、「教科書を読む」ような講義ではまったくないので、でき得る限り講義に出席することが望まれる。

成績評価の方法

成績評価は、論述型（「について述べよ」ないし「について論じよ」といったタイプの問題）のペーパーテストによって行う。評価に際しては、問いに答えているか（出題された問題に関係のないことを書いた場合は大幅な減点とする）、必要なことが書き込まれているか（簡にして要を得た内容であること、余計なことを多く書いても加点されない）、論理展開に説得力があるか（単なる箇条書きでは論述型の問題に対する解答とはいえない、全体として一つの小論文となっていること）、誤字、脱字がどの程度か（専門用語の誤りは大幅な減点となる）などをチェックする。

教科書等その他

授業内で指示する。

必要に応じて、参考書の紹介、資料の配布等も考えている。

いずれにしても、学生諸君が、憲法に関心をもち、憲法問題を積極的に考えていくよすがとなるような講義を心がけるつもりである。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 126201 |
| 科目名 | 政治学原論 |
| 担当者名 | おおつが かつら 大塚 桂 |

講義のねらい I自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

A政治学の課題と対象、ならびに方法（1）

B政治の原理的究明

（1） 政治的なるもの

～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従

（2） 共同体的なるもの

～国家、社会、主権、法

（3） イデオロギー的なるもの

～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）（2～15）

C政治の実体論的究明

（1） 制度論的究明

～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制（16～22）

（2） 機能論的究明

～政党、圧力団体、市民参加、マスコミ、政治教育、政治的社会化（23～30）

成績評価の方法

V成績評価

単位の認定は、ペーパー試験を中心におこないます。

成績評価は、

中間試験：50%

学年末試験：50%

以上の割合によるものとします。教科書、授業の理解度を重視し採点します。

なお、追試験も実施します。

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

学習にあたっては、大塚編「補章オリエンテーション政治学」『政治学へのいざない』（成文堂）、大塚編『日本の政治学』（法律文化社）等を参考にしてください。

政
治

講義の内容・
授業スケジュール

教 科 書

参 考 書 等
そ の 他

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 126401 |
| 科目名 | 現代政治理論 |
| 担当者名 | やまざき ひろむ 山崎 望 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | わたしたちが生きている現代社会がはらむ様々な問題について、現代政治理論の観点から把握し、どのようにそれらの問題に対峙していくのか、それを考える習慣を身につけることが目的です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 概ね、以下の論点について順次、講義をしていきます (1～6) 現代世界の変容1・2、政治、権力、格差社会論1・2、(7～10) 自由論1・2、グローバル経済論、世界金融恐慌(11～15) 国民国家、ナショナリズム、多文化主義、移民、脱植民地主義(16～21) グローバル政治論、「9・11」対米同時多発テロ、アメリカの帝国化、「イスラーム原理主義」、グローバルテロリズム、人道的介入(22・23)「テロ」を考える(24～30) 自由民主主義、民主主義の変容、フェミニズム、市民社会論、新しい民主主義論1・2、国境を越える民主主義 |
| 履修上の留意点 | 自分が生きてく上で直面せざるを得ないであろう問題について、考える習慣を身につけることが目的なので、毎回出席することを勧める。 |
| 成績評価の方法 | 学年末の試験。 |
| 教科書 | 杉田敦・川崎修編2006『現代政治理論』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12269-5 |
| 参考書等 | 有賀誠・伊藤恭彦・松井暁編2007『ポストリベラリズムの対抗軸』ナカニシヤ出版 ISBN978-4-7795-0195-1 |
| その他 | 講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定。 講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。 翌週の冒頭に簡易な応答を行います。 |

政
治

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 126301 |
| 科目名 | 日本政治論 |
| 担当者名 | ました 英二 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この講義における最大のねらいは、日本政治の何が問題であり、これをどのように変えていけばよいのかを探るための基本的な知識を修得することにあります。その際、日本の政治システムがどのような歴史的経緯を経て現在のようになつたのか、他国と比較したときにどのような特徴があるのかといった点など、より広い視点から日本の政治を俯瞰することを目指していきます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1)～(15) 近現代の日本政治史 <ul style="list-style-type: none"> ・「明治維新」とは何だったのか。 ・大正デモクラシーの意味は何か。 ・戦前の政党政治はなぜ崩壊したのか。 ・「1940年体制」とは何か。 ・占領統治によって何が変わり、何が変わらなかったのか。 ・いわゆる「55年体制」がなぜ成立し、長期にわたって存続したのか。 (16)～(30) <ul style="list-style-type: none"> ・国会の制度と運営の実態について。 ・内閣の実態について。 ・現在の選挙制度の概要とその実際について。 ・官僚制が日本政治の中で果たす影響力について。 ・地方分権が議論されるに至った経緯と現状について。 |
| 履修上の留意点 | 最低限、日本政治についての基本的な知識と関心を持っていることを要求します。 なお、当然のことですが、授業時におけるマナーを遵守することも、あわせて要求します。 |
| 成績評価の方法 | 学年末テストでの成績のみを基本として採点します。ただし、自主的にレポート等をまとめて提出することは妨げません。その場合、内容に応じて点数が加算されます。 |
| 教科書 | 特に指定しません。 |
| 参考書等 | 授業時間内に適宜指示します。 |
| その他 | 特になし。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 127101 |
| 科目名 | 政治思想史 |
| 担当者名 | 清滝 仁志 |

講義のねらい

この講義では、ヨーロッパの政治思想史を歴史上の出来事との関連から著述家の視点を通して、具体的に論じます。変動期に生きた人々が同時代をどのように眺め、いかなる心配をし、解決策を考えていったかを明らかにします。

この授業で論じる「思想」とは抽象的概念でなく、現実の政治状況に対応して生まれ、実際の制度・政策と結びつく性格のもので、講義では、代表的人物の考えを題材に、

- (1) 現在の政治現象を自分で判断する知的能力を身につけていく、
- (2) 欧米の政治・社会・文化を基礎づける知的背景を理解する、ことを目的にします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

政治思想史入門 (1)、プラトンとアリストテレス (2)、マキアヴェッリと近代政治学の誕生 (3～5)、モアのユートピア (6)、宗教改革とルター (7)、カルヴァンとプロテスタンティズム (8～9)、ホップズとリヴァイアサン (10～12)、ロックと市民社会 (13～15)

後期

ルソーと平等社会 (1～3)、アダム・スミスにおける経済と政治 (4)、パークと保守主義 (5)、トクヴィルのアメリカ・デモクラシー (6～8)、シュンペーターのエリート主義民主主義 (9)、ダールの大衆民主主義 (10)、ハイエクと自由社会 (11)、バーリンの二つの自由 (12)、ロールズにおける正義 (13)、アーレントの全体主義批判 (14)、戦後日本の政治思想研究 (15)

履修上の留意点

本講義では次のことをおこないます。

- 1 授業に関する時事問題を取り上げながら、そのポイントを解説
- 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答えて、復習
- 3 授業中、文章の表現能力を身に付けるための練習

さらに公務員試験やその他の資格試験の関係箇所にも配慮します。

成績評価の方法

授業にきちんと出席し、課題をこなすことで自分の考える力が身についたかを重視します。

- ① 定期試験 (25%) 2010年1月実施
- ② 3回の課題レポート (35%)、6月 (10%)・9月 (15%)・11月 (10%)
- ③ コメント・ペーパー (40%) 授業での意見・質問等を5段階評価

※評価のポイント

- ・授業で取り上げた基礎的知識を理解しているか?
- ・授業で取り上げた話題を自発的・積極的に考え、自分で判断できるか?
- ・自分の考えを明確にまとめ、相手にわかりやすく表現できるか?

なお、欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。

教科書
参考書等

文献は講義・Yestudyを通じて随時紹介。

毎回、レジュメと資料を配布。レジュメはYestudyを通じても入手可。

講義で取り上げる古典の解説については、佐々木毅『政治学の名著30』(ちくま新書)を参照してください。

一般的な入門書として、佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』(ちくま新書)をお勧めします。

その他の

授業その他の質問は、Eメール (kiyotaki@komazawa-u.ac.jp) でも受け付けます。

Yestudy (<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>) に授業ページを設置します。パスワードは授業で連絡します。

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 127001 |
| 科目名 | 行政学 |
| 担当者名 | たまる だい 田丸 大 |

講義のねらい

例えば、ゴミの収集、建物や食品の安全性のチェック、今般の金融危機における経済政策など、我々の日常生活は「行政」と密接に関わっている。そういった行政の活動や政策とはどのようなものか、また具体的にどのように世の中や我々の生活に関わっているのかといった点について理解を深めることが講義の狙いである。ニュース番組を初めとした視聴覚教材も時々用いながら、行政学の理論（考え方・法則）と実際の事例（ニュースなど）との関連に特に注意を払う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

行政学とは（1～2）行政・政策を見る視点（3～6）国家観の変遷（7～11）行政国家、福祉国家（12～16）行政改革（17～19）民営化と規制緩和（20～24）政策過程（25～27）地方自治と地方分権改革（28～30）。（）内の数字は、講義の大まかな回数です。

履修上の留意点

現実の行政や政策と理論を結びつけて考えることが狙いであるので、新聞などに目を通す習慣をつけて欲しい。

成績評価の方法

学年末試験1回と、授業内の複数回の小テスト（小テストの回数や方法は、受講生の人数や教場によって決めるので、4月の開講時なるべく速やかに具体的に示します。）による。

教科書
参考書等

使用しない予定である。適宜、参考書の該当ページ・箇所を指摘する。
森田朗『現代の行政（改訂版）』放送大学教育振興会、2000年、2,100円、ISBN9784595830846
早川純貴、内海麻利、田丸大、大山礼子『政策過程論—「政策科学」への招待』学陽書房、2004年、2,730円、ISBN9784313320352

政
治

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 126601 |
| 科目名 | 国際政治学 |
| 担当者名 | こぼりのりお 小堀 訓男 |

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。

後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。

履修上の留意点

授業スケジュールは、（1～5）政治学の基礎的知識の整理、（6～8）国家、権力、民族、階級、（9～11）近代国家の特質、（12～15）国際社会の特質、（16～17）国際政治と国内政治、（18～22）国際政治の本質、（23～26）国家の行動基準、（27～30）冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。授業中に読むべき本を紹介しますので本を読むこと、TV・新聞・雑誌の報道に日頃から留意すること。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書
参考書等

使用しません
必要に応じて講義のなかで紹介いたします。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 126501 |
| 科目名 | 政治制度論 |
| 担当者名 | 田中 嘉彦 <small>たなか よしひこ</small> |

講義のねらい 民主主義国家において、政治制度の究極の目的は、いかにして国民の民意を正確に反映する政治を実現するかにあるとよいでしょう。この講義では、政治制度の発展史をたどるとともに、様々な制度の有する現代的な意義を検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール 次のテーマごとに、順次講義を進める予定です。ただし、時事問題の解説を織り込むなど変更する場合があります。

**履修上の留意点
成績評価の方法**

(1) 政治制度とは、(2～3) デモクラシーとは何か、(4) 議院内閣制と大統領制、(5～14) 政治制度の発展：イギリス・フランス・ドイツ・アメリカ・日本、(15) 小括、(16) 二院制、(17～18) 議会と政策決定過程、(19) 首相・大統領、(20～21) 政党、(22～24) 選挙制度、(25) 政治資金、(26～28) 中央地方関係、(29) 司法審査制、(30) 総括

積極的な授業参加を求めます。

学年度末に実施する定期試験によります。なお、授業内で実施する小テストの結果により、加点します。

**教科書
参考書等**

基本的な概説書等を講義開始時に紹介します。

参考文献は、講義のテーマごとに適宜紹介しますので、積極的に読んでください。参考になりそうな記事は、必要に応じてコピーを配布します。

その他

質問は、適時受け付けます。

政
治

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 126801 |
| 科目名 | 政治過程論 |
| 担当者名 | 早川 純貴 <small>はやかわ よしき</small> |

講義のねらい 本年度の政治過程論は、前決定過程から決定過程までを検討する。講義では、サンプルとしていくつかの政策決定過程を織り交ぜながら、決定に関する理論研究とその応用について論じていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期《前決定・決定の理論》14回
- 1 前決定の概念と理論について（5回）
アジェンダ・セッティング
ゴミ箱モデル・政策の窓モデル
グループダイナミックス理論
 - 2 決定の一般モデル（4回）
アリソンの3モデル
増分主義モデル
 - 3 外交政策決定モデル（3回）
2レベルゲームモデル・福井モデル
 - 4 組織内決定モデル（2回）
- 後期《日本の決定事例と分析》14回
- 1 自党内決定過程（3回）
 - 2 国鉄の分割民営化過程（3回）
 - 3 日本の農業政策過程（3回）
 - 4 日本の社会保障政策過程（3回）
 - 5 日本の外交政策過程（2回）

履修上の留意点

講義では理論の解説に多くの時間をかける。理論の話は継続して聞かないと理解できない。きちんと出席することが肝要である。分からないときは遠慮せず質問すること。質問は学生の権利であり、教員はそれに答える義務がある。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

中間試験と定期試験、および数回実施する小テストの合計点数により評価する。

早川純貴、他『政策過程論』2004年（学陽書房）2、600円

講義の中で随時紹介する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 126901 |
| 科目名 | 日本政治史 |
| 担当者名 | 村井 良太 |

講義のねらい 政治を理解するには、思想分析、比較、一般化など様々な方法がありますが、歴史という経験に学ぶのが政治史です。本講義の目的は、日本政治史を学ぶことを通じて、日本の置かれてきた立場、選択とその結果について基本的な理解と知識を得ることです。さらに、歴史を学ぶことを通じて、政治を知り、現代を相対化してみる視点を養ってもらいたいと思います。

本年度の「日本政治史」では、現代日本に息づいている民主政の政治的伝統を、明治維新から第二次世界大戦後の1955年までの政治的経験に求め、なかでも1920年代の政党政治を中心に論じます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。
前期：(1)はじめに (2～4)開国と維新 (5～7)日清・日露戦争 (8～10)相次ぐ動乱と日本 (11～12)原内閣と憲政会 (13～14)原以後の試行錯誤 (15)前期まとめ
後期：(16～17)1924年憲政危機と西園寺 (18～19)憲政会の体制内化 (20～21)政党内閣制の成立 (22～24)政党内閣制の展開 (25～27)危機と戦争の時代の政党政治 (28～29)戦後政党政治の出發 (30)おわりに

**履修上の留意点
成績評価の方法**

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。
成績は、随時おこなう出席調査と、中間試験、学年末試験によって評価します。追試験は実施する予定です。初回の講義で詳しい説明を受けてください。

教科書

村井良太『政党内閣制の成立』有斐閣、税込6,300円、ISBN:464107688X。教科書の利用については、必ず初回の授業で説明を受けてください。

参考書等

参考図書は、講義の中で随時紹介していきます。

政
治

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 126701 |
| 科目名 | ヨーロッパ政治史 |
| 担当者名 | 浦田 早苗 |

講義のねらい 現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 127601 |
| 科目名 | 地方行政 |
| 担当者名 | 野口 暢子 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 「地方行政」の歴史、制度、事例等を紹介し、解説することにより、「地方行政」の仕組みや課題に関する知識を定着させ、理解を深めることを目的とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p><前期> 1 「地方行政」の講義について 2～4 歴史（明治期～第二次世界大戦中、戦後改革期、地方分権改革の時代） 5～7 機構・制度（「中央」と「地方」、都道府県と市区町村、コミュニティ） 8～11 政策（福祉、産業、環境、教育・文化） 12～14 住民参加（選挙、住民投票、その他） 15 前期のまとめ</p> <p><後期> 1～5 諸外国の制度（ヨーロッパ①②、アメリカ、アジア、比較類型） 6～9 制度改革をめぐる議論（地方分権、市町村合併、道州制、都区制度） 10～13 日本の自治体における取り組み・事例研究（自治基本条例、まちづくり、行財政改革、その他） 14 「地方行政」の課題 15 後期のまとめ</p> |
| 履修上の留意点 | 日頃から、「地方行政」に関する情報・報道等にふれること、住んでいる自治体の行政に関心を持つことを心がけてください。 |
| 成績評価の方法 | 学期末に行う筆記試験（70%）、提出していただく年に2回のレポート（20%）、授業内に実施する小テスト（10%）で評価します。 |
| 教科書 | 磯崎初仁・金井利之・伊藤正次著『ホーンブック 地方自治』北樹出版、2007年、2,700円＋税 ISBN 978-4-7793-0047-9 |
| 参考書等 | 阿部・今村・岩崎・大久保・澤井・辻山・山本・寄本著『地方自治の現代用語 第2次改訂版』学陽書房、2005年、3,000円＋税、ISBN 4-313-16632-7 村松岐夫編『テキストブック 地方自治』東洋経済新報社、2006年、2,800円＋税、ISBN 978-4-492-21159-5 竹下譲監修・著『よくわかる 世界の地方自治制度』イマジン出版、2008年、3,500円＋税、978-4-87299-493-3 |
| その他 | その他、毎回の授業でレジュメを配布するとともに、関連する文献を紹介いたします。 授業の内容についてのわからないことや疑問はそのままにせず、授業後に質問したり、調べたりする姿勢を大切にしてください。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 127701 |
| 科目名 | 政策決定論 |
| 担当者名 | 井上 拓也 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 政策科学は、公共政策を対象とする学際的な学問分野であり、法学、政治学、経済学、経営学など、社会科学の様々な分野から成り立っている。そこでこの講義では、公共政策と政策決定の問題を、とくに政治学の立場から検討していく。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 講義の内容としては、まず「政策科学と政治学」で、社会科学、政策科学、政治学の基礎的な知識を再検討する。「公共政策」では、公共政策を規制政策と助成政策に分類して検討する。「政策主体と政策過程」では、公共政策に関連する様々な主体とその関係について検討する。「公共政策をめぐる制度」では、政治、行政、営利企業、非営利組織（NPO）を法的側面から検討する。「政府と行政の論理」では、ガバメントからガバナンスへの変化を背景とした管理の方法の変化を検討する。「公共政策の諸相」では、以上の内容を環境政策や社会保障を事例として再検討する。 （1）序論（2～5）政策科学と政治学①②③④（6～9）公共政策①②③④（10～14）政策主体と政策過程①②③④⑤（15）前期試験（16～19）公共政策をめぐる制度①②③④（20～23）政府と行政の論理①②③④（24～28）公共政策の諸相①②③④⑤（29）結論（30）後期試験 |
| 履修上の留意点 | あらゆる社会科学の対象と同様に、公共政策や政策決定も多面的な視点から検討することが重要である。したがって受講者には、教員による説明以外にどのような説明が成立しうるかを意識しながら講義に臨んでほしい。 |
| 成績評価の方法 | 前期試験50%＋後期試験50%＝100% |
| 教科書 | とくに指定しない |
| 参考書等 | とくに指定しない。 |
| その他 | パワーポイントをプロジェクターで映写する方式で講義を行う。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 127201 |
| 科目名 | 行政法総論 |
| 担当者名 | 塩入 みほも |

講義のねらい 存在する法の約9割は行政法です。この講義では、その行政法の基本的な仕組と理論一般について学びます。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感ぜられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法/違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なき事があります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法的実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが当講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール

(1)～(2)行政法とは何か：行政法の成立、行政の定義、行政法の領域
(3)～(5)行政法の基本構造：現代日本行政法の特徴、法治行政の原理
(6)～(8)行政法の法源：成文法源、不文法源
(9)～(11)行政作用の様々な分類論
(12)行政立法
(13)行政計画
(14)行政指導
(15)行政契約
(16)～(20)行政行為論：特徴、成立と消滅、効力、行為類型論
(21)～(22)行政裁量論
(23)～(24)行政行為の瑕疵
(25)～(26)職権取消しと撤回
(27)～(29)行政上の強制制度
(30)まとめ

履修上の留意点 行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解り易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員や行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題はその都度指摘します。

成績評価の方法 試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点（不定期に確認する出欠）の総合判断により行ないます。

教科書参考書等 特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。最初の講義の際に紹介します。

政治

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 127401 |
| 科目名 | 行政法各論 |
| 担当者名 | 塩入 みほも |

講義のねらい 行政活動に対する国民の権利救済に関する法制度（＝行政救済法）について講義します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 行政救済法総説
(2)～(4) 損失補償制度
(5)～(9) 国家賠償制度
(10)～(12) 行政不服申立制度：意義と特徴、不服申立手続の種類・具体的要件・原理等、「公権力の行使」と「処分」の概念
(13)～(14) 行政事件訴訟法総説：意義と特徴、行政事件と民事事件の区別基準、司法審査の要件と限界（法律上の争訟・紛争成熟性・統治行為論）等
(15)～(19) 抗告訴訟論：処分及び裁決の取消訴訟・不作為の違法確認訴訟・無効等確認訴訟・義務付け訴訟・差止訴訟
(20)～(26) 取消訴訟の訴訟要件論：処分性、原告適格、狭義の訴えの利益、被告適格、裁判管轄、出訴期間、不服申立前置主義、その他の形式要件
(27) 取消訴訟の本案審理：訴訟物と本案要件、違法判断の基準時、違法の主張制限、実質的証拠法則等
(28) 取消判決の効力
(29)～(30) 仮の権利保護制度

履修上の留意点 行政法の基礎知識を前提とするので、基本的には行政法総論を履修済みであることが望ましいです。ただし、努力次第では、総論との並行又は単独履修も可能です。特に公務員、行政書士等の国家試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題、論点についてはその都度指摘します。

成績評価の方法 定期試験（年度末一回）及び不定期に確認する出欠の総合判断により評価します。

教科書参考書等 特定の教科書は使用しません。初回講義の際に紹介します。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 127501 |
| 科目名 | 地方自治法 |
| 担当者名 | 富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small> |

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は大意以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）

参考書等

『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

政治

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 127801 |
| 科目名 | 民法（総則・物権法） |
| 担当者名 | 須賀 昭徳 <small>すが あきのり</small> |

講義のねらい

われわれの日常生活は民法に支配されている。したがって、この社会で活動するには民法についてひとつひとつの知識がなければならない。市民の社会生活には財貨の生産、交換、消費、配分などを目的とする経済生活の面（これを規律する法が財産法）と種族保存を目的とする保族生活の面（これを規律する法が家族法）とがある。この財産法の領域の法が物権法と債権法である。これらの通則として総則がおかれている。本講義では民法第一編総則と第二編物権法について、基本となる知識を持てるようにしたい。なお、時間の関係で総則を中心として詳しく講義をし、物権についてはひとつひとつの知識を持てるようにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期（民法総則）

①民法とは何か、民法の歴史 ②民法の基本原則 ③権利の主体（自然人） ④法人（社団法人、財団法人） ⑤権利の客体（物とは） ⑥法律行為（意思の欠缺、瑕疵ある意思表示） ⑦無効と取消 ⑧条件および期限・期間 ⑨時効（取得時効、消滅時効）

後期（物権法）

①物権の意義、種類 ②物権の効力 ③物権の変動 ④占有権 ⑤所有権 ⑥用益物権 ⑦担保物権（法定担保物権） ⑧約定担保物権 ⑨非典型担保（譲渡担保、仮登記担保）

履修上の留意点

講義にはかならず六法を持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

我妻栄・有泉亨・川井健『民法』第三版①総則・物権（勁草書房）2200円

参考書等

講義の中で指示する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 127901 |
| 科目名 | 刑法総論 |
| 担当者名 | 佐藤 多美夫 |

講義のねらい

本講義では刑法総論の分野を扱います。刑法総論は刑法各論のように殺人罪、窃盗罪といった個々の犯罪を扱うのではなく、それらの犯罪の共通にもっている性格を明らかにしようとする。そこで、犯罪の基本的、重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめ、体系的に刑法総論を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

I 序説

- 1 はじめに
- 2 刑法とはなにか
- 3 犯罪論の基礎
- 4 罪刑法定主義と刑法の解釈

II 構成要件

- 1 総説
- 2 結果
- 3 実行行為
①未遂②不能犯③中止犯
- 4 因果関係

III 違法性

- 1 総説
- 2 正当業務行為
- 3 正当防衛
- 4 緊急避難

IV 責任

- 1 総説
- 2 責任能力
- 3 故意
- 4 過失
- 5 期待可能性

V 共犯

- 1 総説
- 2 共同正犯、共謀共同正犯、承継的共同正犯、過失の共同正犯
- 3 教唆犯
- 4 幫助犯

VI 共犯の諸問題

- 1 共犯と身分
- 2 不作為と共犯
- 3 共犯と錯誤
- 4 共犯の中止、離脱

予習及び復習は必要です。

筆記試験が中心であるがその他を考慮する場合もある。

学内指定書店の指示を受けて下さい。

「ポケット六法」有斐閣、「ディリー六法」三省堂等でよい。

その他適宜紹介します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等

政
治

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 116801 |
| 科目名 | 労働法 |
| 担当者名 | ふじもと しげる 藤本 茂 |

講義のねらい

今日、労働法の対象である雇用社会は、リストラ、解雇や能力主義人事管理の導入などが行われ、日本型雇用システムの見直しがなされています。

労働法は、この雇用社会において生じる紛争を法的解決方法を検討する法領域です。この変化に無関係ではられません。

この変化は労働法の領域でも雇用関係法領域に大きく関わってきます。特に、労働時間法、労働契約法、雇用平等法などです。

講義では、雇用関係法領域を中心に、雇用社会の変化を頭の隅に置きつつ、これまで形成定着した労働法理の基礎を学びます。また、変化する法制度をまなびます。こうして、主に雇用関係法領域を概観し現代的課題に対して自ら考える視座を身につけてもらうことをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、下記事項について、基礎的知識をまなぶとともに、現代的課題に触れます。

以下に、アウトラインを示します。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本の雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 労働条件の変更
- (8) 雇用の入りロー採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席は当然のことと考えています。そして、授業のマナーは守ること。途中での退席は認めません。非常の場合は申し出ること。

授業は、教科書はもとより、配布するレジュメと資料を使って行います。レジュメには取り上げる項目が挙げられているだけです。内容は授業で埋められていきます。ノートをとることが必要でずし、教科書は予習復習には欠かせません。

成績評価の方法

また、憲法、民法総則、債権総論、債権各論、社会保障法、社会政策といった近接した専門科目や労働経済なども履修すること（あるいは履修済みであること）が望ましいと考えています。

学年末試験（論述式）がメインで、受験をしていないと評価は出しません。気をつけてください。また、レポート、中間試験や出席も評価対象です。これらを総合的に評価して、成績を決めます。

教科書

追試験は実施します。

参考書

教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所2009）。物足りなさを感じる受講生は、労働法（菅野和夫著・弘文堂）がいいでしょう。

労働判例百選第7版（別冊ジュリスト）、六法は用意してください。六法は、法改正がありますから、最新のものを用意する必要があります。また、労基法施行規則の載っているものがが必要です。参考書や六法については、第1回目の授業であらためて紹介します。

その他

各項目についてイメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 118001 |
| 科目名 | 刑事政策 |
| 担当者名 | 覚正 豊和 |

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探究していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 受講のガイダンス
刑事政策の意義と課題 刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。
- 第2回 犯罪学の歴史と展開 その起源から近代学説までを学ぶ。
- 第3回 現代犯罪学の課題
ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。
- 第4回 犯罪の理念
犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。
- 第5回 刑事政策と暗数
犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。
- 第6回 犯罪の原因(1) 身体的・生理的要因について学ぶ。
- 第7回 犯罪の原因(2) 個人環境的要因について学ぶ。
- 第8回 犯罪の原因(3) 社会環境的要因について学ぶ。
- 第9回 刑罰の意義・機能・沿革
意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。
- 第10回 死刑 憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。
- 第11回 自由刑
意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。
- 第12回 財産刑 罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。
- 第13回 保安処分 意義、種類、要件などについて学ぶ。
- 第14回 少年保護手続
家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。
- 第15回 定期試験(予定)
- 第16回 犯罪者の処遇 意義、原則、動向について学ぶ。
- 第17回 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察
微罰処分、ダイヴァーションなどについて学ぶ。
- 第18回 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察 起訴猶予などについて学ぶ。
- 第19回 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判
量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。
- 第20回 矯正の意義・目的
矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。
- 第21回 受刑者の処遇
法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。
- 第22回 犯罪の予防
意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。
- 第23回 更生保護 意義、措置、概況などについて学ぶ。
- 第24回 恩赦・資格制度
恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策 少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策 薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ 討論及び質疑
- 第30回 定期試験
初回の授業において指示する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

定期試験および平常点
斉藤・覚正「刑事政策論(2007年)」(八千代出版) 3,500円 ISBN978-4-8429-1421-3
授業において指示する。

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 119201 |
| 科目名 | 社会政策 |
| 担当者名 | ねがし ただし 根岸 忠 |

講義のねらい 社会政策は、国民の生活の安定と向上を図ることを目的とする学問領域である。本講義では、社会政策のなかでも中心となる労働と社会保障に関する政策を取り上げることとし、これら各政策の現状を見た後に、政策上の論点について検討していくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール 社会政策の概念（2）、労働時間（3～4）、賃金（5）、労災補償（6）、仕事と家庭の調和（7）、雇用平等（8）、失業対策（9～10）、非正規労働者（11～13）、障害者雇用・高齢者雇用（14～15）、医療保障（16～18）、年金保険（19～21）、介護保険（22～24）、社会福祉（25～27）、生活保護（28～29）、社会政策の課題（30）

履修上の留意点 この授業では、労働や社会保障に関する政策上の論点を取り上げて、授業を進めていく。そのため、できれば労働法や社会保障法をすでに履修しているか、並行して履修することが望ましい。

成績評価の方法 学年末試験で成績評価する。

教科書等 玉井金五、大森真紀編『三訂 社会政策を学ぶ人のために』（世界思想社、平成19年）2,205円

その他の他 開講時に指示する。
制度の理解のために適宜映像を用いることとしたい。

政
治

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 127301 |
| 科目名 | 環境政策 |
| 担当者名 | 横田 匡紀 |

講義のねらい

環境問題は現代世界の将来にかかわります。従って環境政策は将来の世代の生活にかかわる選択をする営みといえましょう。この講義では、多様化、複雑化、グローバル化している環境問題の状況を踏まえて、環境政策のメカニズムを理解していきます。日本、世界各国、国際社会における環境政策の具体例に言及しながら、行政の視点、企業の視点、市民の視点が交錯する諸相を明らかにします。公務員志望者、マスコミや民間企業志望者あるいは環境問題関連の資格試験なども念頭に置き、有益な情報の提供をこころがけたい。また現代社会の一市民として環境政策をみる視座、問題解決への視座を育成することが期待されます。

講義の内容・授業スケジュール

*前期は「グローバリゼーションと環境問題への対応」と題して、環境政策がグローバルな性質を持つことを理解します。後期は「持続可能な社会のガバナンス」と題して環境問題に対応する社会のあり方を考えます。

前期テーマ「グローバリゼーションと環境問題への対応」

序—将来の世代のための選択：政策科学の視点(2-4)

・環境政策の射程と担い手—ローカルからグローバルへ

・環境政策のキーワード

持続可能な発展 予防原則 共通だが差異のある責任原則 等

1. ストックホルムからヨハネスブルクへ(5-9)

—持続可能な発展をめぐるガバナンスの軌跡

・環境のグローバリゼーション

・国連人間環境会議と地球サミット

・ヨハネスブルク・サミットと制度改革

2. 新しい政策課題(10-15)

・「人間の安全保障」と環境問題

・淡水資源のガバナンス

・ジェンダー／人権と環境問題

・反グローバリゼーションと環境問題

後期テーマ「持続可能な社会のガバナンス」

序—持続可能な社会のキーワード(16-18)

ガバナンス コモンズ 社会関係資本と環境 政策手法の変質 等

1. 持続可能な社会の政策課題(19-22)

オゾン層保護

再生可能エネルギー 等

2. 政策統合の諸相(23-26)

環境経営

貿易と環境

エコツーリズム

持続可能な交通政策 等

3. 京都議定書と日本の課題(27-30)

地球温暖化のメカニズム

京都議定書の国際制度

京都メカニズム

環境政策の展望

*受講生の関心や授業の進捗に応じて優先順位を変更したり、トピックを選別することがある。

*時事問題を随時とりあげる予定である。

*新聞記事やビデオなどを多用し、理解の深化に努める予定である。

履修上の留意点

講義中は私語厳禁とする。

出席点はないが、出席しないことで生じる不利益は各自の責任となることに注意してください。

KOMSYの詳細情報にも講義情報のエッセンス、試験情報を掲載する予定であり、出席できなかった学生は確認するように心がけてください。

成績評価の方法

定期試験の点数を基本とし、成績を評価します。ただし任意のレポートや平常点なども考慮します。

参考書等

宮脇・庄司編『グローバル公共政策』(晃洋書房)

横田匡紀『地球環境政策過程』(ミネルヴァ書房)(第2刷)

その他

環境問題に少しでも関心を持つ学生の履修を歓迎します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 128101 |
| 科目名 | 国際関係論 |
| 担当者名 | 三船 恵美 |

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを本講義の目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 国際関係を学ぶ
2. アクター
3. 国益とパワー
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 安全保障（1）：安全保障の概念と類型
7. 安全保障（2）人道的介入
8. 安全保障（3）大量破壊兵器の拡散
9. 安全保障（4）テロリズム
10. グローバリズムとリージョナリズム
11. EU
12. 東アジア共同体の構想とその課題
13. 地球環境レジームの形成
14. 前期まとめ
15. 試験

後期

1. 「人間の安全保障」と人権
2. 国際開発と国際援助
3. 難民保護とUNHCR、
4. 国際関係を分析する4つの見方
5. 勢力均衡とバンドワゴン
6. 同盟の力学
7. 覇権による安定
8. リベラリズム
9. ネオ・リベラリズム
10. ゲーム理論と国際関係
11. 南北問題と構造的暴力
12. コンストラクティヴィズム
13. 国際政治と国際経済の連動
14. 後期まとめ
15. 試験

履修上の留意点

テストを欠席した場合にレポートは課しません。就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

試験（前期40%+後期60%）。

山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
授業中に紹介します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 128201 |
| 科目名 | 比較政治学 |
| 担当者名 | 三竹 直哉 |

講義のねらい 比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール この文章は2008年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2008年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2009年度も2008年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。以下はあくまで参考です。

前期

第1回 ガイダンス

第2回～第6回 民主化を考える（ビルマ、ブータン、南アフリカ、日本）

第7回～第13回 ネイションを考える（チベット、クルディスタン、沖縄とアイヌ民族、ベルギー、スリランカ、オーストラリアの先住民、日本の移民政策）

第14回 ワークショップ（多文化主義）

後期

第15回～第21回 比較の方法を学ぶ（比較方法の基礎、質的比較、ブル代数を使った比較のグループ作業）

第22回～第25回 国際社会に目を向ける（社会的起業による支援、ODA等）

第26回～第27回 日本の難民政策

第28回～第29回 個人発表（希望があれば）・ワークショップ

履修上の留意点

他の多くの授業とやり方が違いますので、一回目のガイダンス授業には必ず出席してください。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。基本的に勉強の大半は自分で文献を読むことによるものです。教室には必ず課題を読んでくることが条件です。毎週こつこつやると興味深く感じるが増えていきます。YeStudy を必ず利用します。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞（特に国際面）をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。

欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いはありません。（病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。）

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。

教科書 参考書等 その他

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。

その都度紹介します。

この文章は2008年12月時点で書いています。変更もあり得ます。最新の情報は YeStudy で確認してください。YeStudy に、前年度に履修した学生さんの感想やアドバイス、授業評価結果を載せますので、参考にしてください。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 091202 |
| 科目名 | 国際経済学 |
| 担当者名 | 徳永 俊明 |

講義のねらい 世界経済は、今日、世界社会・日本社会のあり方の〈土台〉をなしているものです。世界の姿・日本の姿を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。

講義の内容・授業スケジュール [前期]
(1・2) 講義のテーマ・趣旨の説明、(3・4) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制、(5・6) 産業革命と自由貿易植民地体制、(7) 小括、(8・9) 帝国主義植民地体制、(10・11) 第1次世界大戦と世界経済、(12・13) 戦間期の世界経済、(14) 小括、(15) 予備日
[後期]
(1・2) 第2次世界大戦と世界経済、(3・4) 「アメリカ中心体制」、(5) 貿易：GATT/WTO、(6) 国際通貨制度：IMF、(7・8) 「援助」、(9・10) 多国籍企業、(11) 小括、(12・13) 〈南北問題〉、(14) 新国際経済秩序、(15) 小括

成績評価の方法 ミニ・レポート(2回予定、各20点)と学年末レポート(60点)で評価します。世界経済の”枝葉”ではなく、”幹”の理解度を重視します。(追試験は行いません。)

教科書 とくにありません。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 128001 |
| 科目名 | 国際法 |
| 担当者名 | 橋本 靖明 |

講義のねらい 私達は今、国際社会の中で生きています。国際社会の動きとその行動を規律する法体系である国際法を無視しては、社会のさまざまな構成員間の関係を良好に保つことができないのです。本講義では、皆さんとともに国際社会の現状と展望を概観しつつ、その社会を規律する国際法とは何か、について学んでゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 大きく、以下の三つのパートに分けて進めてゆく予定です。
①国際法の全体像を概観する。(2～5)
②領域(陸、海、空、宇宙等)に関する国際法を考える。(6～25)
③領域を越えるさまざまな今日的課題(人権、環境、テロ等)に関する国際法を考える。(26～30)

履修上の留意点 事前の準備は基本的に不要とする予定ですが、その分、授業への出席が求められます。

成績評価の方法 受講生の出席状況と筆記試験の回答内容から総合的に成績評価を行います。

教科書 編者：広部和也、杉原高嶺(代表)
署名：『解説条約集2009』
出版社名：三省堂
価格：3045円(税込み：2008版参考)
ISBN:978-4-385-15913-3(参考：2008版)

参考書等 特に指定する予定はありません。

その他 (講義形式)・・・講義は、必要に応じて資料等を参照しながら行います。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 128501 |
| 科目名 | 北米政治論(1) |
| 担当者名 | 小堀 訓男 |

講義のねらい この講義は、“不思議な国アメリカ”を理解することが目的である。アメリカは、世界中から集まった、多種多様な人種によって形成された国家である。その不思議な国家を理解するためには、たった一度の戦争(アメリカ革命)で国家が成立してしまった様子、アメリカの国家理念、アメリカの政党と政治を理解する必要がある。

講義の内容・授業スケジュール (1～5) 市民革命と近代国家の成立(イギリス、フランス、アメリカの比較)、(6～8) アメリカ国家の成立過程、(9～10) ピューリタンとアメリカ政治、(11～12) アメリカの国家理念、(13～15) アメリカ政治の特質

履修上の留意点 この講義では、アメリカ政治の総論を概説するが、政治学の基礎的な知識を必要とする。基本的な事項は、その都度明示し解説するが、理解出来ない点は積極的に質問して欲しい。

成績評価の方法 定期試験70%、授業中の小テスト30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とします。

教科書 特定のテキストは使用しない。

参考書等 読むべき本、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介します。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 128601 |
| 科目名 | 北米政治論（2） |
| 担当者名 | 小堀 訓男 |

講義のねらい この講義のねらいは、“アメリカ政治の特質”を理解することにある。そのため、ルーズベルト大統領のニューディール政策からブッシュ大統領のイラク戦争までの歴代の大統領の内政と外交を概観する。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) ニューディール体制(ニューディール政策の内容を理解し、政策前と政策後のアメリカの政治の変化を考える。)
(4～5) 第2次大戦後の政治と社会(軍産複合体と人種差別問題を考える。)
(6～7) 激動の1960年代(ベトナム戦争とアメリカの行動基準を考える。)
(8) 社会変動と政治の対応(反戦運動とアメリカの国家理念、共和党ニクソン政権の成立を考える。)
(9) 1970年代後半の保守化への動き、(ウォーター事件とかカーター政権の外交を考える。)
(10～11) レーガン政権、I期、II期(レーガノミクスと共和党のソ連政策を考える。)
(12) ブッシュ政権と社会主義諸国との関係(冷戦の終結と国際政治の構造的変化について考える)
(13～15) 冷戦終結後のアメリカと国際政治(湾岸戦争からイラク戦争までのアメリカの外交と新保守主義を考える)

履修上の留意点 上記のテーマのなかから受講生は各自好きなテーマを選択し研究をおこなう。希望者があれば授業中に研究発表をおこない、全員で討論しながら理解を深めていきたい。積極的に発表に参加することを望みます。

成績評価の方法 定期試験70%、研究発表30%、授業中の積極的な発言も評価の対象とします。

教科書 特定のテキストは使用しない。

参考書等 参考書、雑誌、論文など、講義のなかでその都度紹介します。

政治

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 128701 |
| 科目名 | 東南アジア政治論（1） |
| 担当者名 | 深尾 康夫 |

講義のねらい 東南アジアの特徴として域内各国における民族、宗教、言語、文化などの多様性が指摘されます。本講義では、このような多様性が東南アジア諸国の政治にどのように影響しているのかという側面を学びます。

講義の内容・授業スケジュール 講義の前半では東南アジアの歴史をさかのぼり、この地域に多様な文化、宗教が域外から流入した背景とそのプロセスを見るとともに、欧米諸国による植民地化を経て第二次大戦後、多くの新興国家が誕生した経緯について学びます。授業の後半ではインドネシア、マレーシア、シンガポールなどを主な事例として、どのような政治システムが構築され、機能してきたかを学びます。

履修上の留意点 東南アジア関連のニュース報道に注意してください。

成績評価の方法 期末試験ないし最終レポート60%、小レポート30%、出欠10%に基づいて評価します。

教科書 教科書は特に指定しません。

参考書等 毎回授業時に参考文献リストを配布します。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 128801 |
| 科目名 | 東南アジア政治論（2） |
| 担当者名 | 深尾 康夫 |

講義のねらい 東南アジアは古来文化的・民族的に多様な社会を発展させてきました。第2次大戦後独立を果たし、国造りを始めた大部分の国にとって、国内の多様性を尊重しながらいかに統一国家を維持するのかという問題は、今日に至るまで大きな政治的課題です。本講義では海域部の大国インドネシアを中心に、中央・地方関係の視点からこの課題への対応を探ります。

講義の内容・授業スケジュール 先ず集権化・分権化など基本的認識について確認後、1970年代以降、今日までの中央・地方関係を事務(仕事)、財政(カネ)、人事(ポスト)における権限がどう変化してきたのかという文脈から学びます。さらにスマトラ島アチェ、ニューギニア島パプア、東ティモール(2002年独立)など国際化してきた国内の分離独立運動との関連からも見ていきます。

履修上の留意点 インドネシアを中心とする東南アジア関連のニュース報道に注意してください。

成績評価の方法 期末試験ないし最終レポート60%、小レポート30%、出欠10%に基づいて評価します。

教科書 教科書は特に指定しません。

参考書等 毎回授業時に参考文献リストを配布します。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 128901 |
| 科目名 | 中国政治論（1） |
| 担当者名 | 三船 恵美 |

講義のねらい 地域研究を学ぶ意義は、単に1地域の情勢について詳しくなることだけではありません。トックヴィルが「1つの国のことしか知らない人は、実はその国についても知らない」と言ったように、他国との比較なしには1国についても知り得ません。また同時に、国際関係や外交政策を検討する場合、その国の政策決定者ならびに政策決定者に影響を与えるであろう人々のイメージを検討しなければいけません。イメージ・ギャップは、文化的距離、環境や支配目標の差異などによって生じます。現代の国際社会が極めて異質な成員の集合体であることから、国際関係の研究と地域研究は切り離せません。ここに地域研究を学ぶ意義があります。

本講義の目的は、現代中国の政治や外交の基本的な知識を学ぶことです。前半は現代中国政治史のおおまかな流れを、後半は現代中国政治の主な特徴と課題を講義します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代中国政治を視る眼
2. 中華人民共和国の成立
3. 朝鮮戦争～大躍進
4. 文化大革命～対外政策の転換
5. 鄧小平と改革開放
6. 江沢民の政治
7. 胡錦濤体制（1）
8. 胡錦濤体制（2）
9. 現代中国の政治体制と政治変容：党・国家・軍
10. 市場化・分権化と中国－地方関係
11. 都市政治と農村政治
12. 少数民族
13. 台湾の民主化・台湾化
14. まとめ
15. 試験

履修上の留意点

時事的な話題も取り上げるつもりですので、受講期間中は、新聞に掲載された国際面の中国関連記事にざっと目を通して下さい。

就職活動や部活で欠席した人を特別扱いしません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

期末試験（約50％）＋数回の教場レポート（約50％）を総合的に評価します。

天兒慧・浅野亮『中国・台湾』ミネルヴァ書房、2008年。

天兒慧『巨龍の胎動』講談社、2004年。

霞山会『中国総覧』ぎょうせい、2008年。

政
治

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 129001 |
| 科目名 | 中国政治論（2） |
| 担当者名 | 三船 ^{みつね} 恵美 ^{えみ} |

講義のねらい 地域研究を学ぶ意義は、単に1地域の情勢について詳しくなることだけではありません。トックヴィルが「1つの国のことしか知らない人は、実はその国についても知らない」と言ったように、他国との比較なしには1国についても知り得ません。また同時に、国際関係や外交政策を検討する場合、その国の政策決定者ならびに政策決定者に影響を与えるであろう人々のイメージを検討しなければいけません。イメージ・ギャップは、文化的距離、環境や支配目標の差異などによって生じます。現代の国際社会が極めて異質な成員の集合体であることから、国際関係の研究と地域研究は切り離せません。ここに地域研究を学ぶ意義があります。

本講義の目的は、現代中国の政治や外交の基本的な知識を学ぶことです。中国政治は複雑かつ極めて不透明なものです。それについて学び、分析し、理解することは難しいことですが、現在の中国の台頭を考えると、とても重要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

1. 中国の政治と外交を視る眼
2. 対外政策の構造と決定
3. 米中関係
4. 日米中関係
5. 米台中関係
6. 日中関係
7. 中国と国連
8. 中国とロシア・中央アジア
9. 中国と朝鮮半島
10. 中国とインド
11. 中国と東南アジア
12. 中国とアフリカ・中東
13. 中国とEU
14. まとめ
15. 試験

時事的な話題も取り上げるつもりですので、受講期間中は、新聞に掲載された国際面の中国関連記事にざっと目を通して置いて下さい。

履修上の留意点

就職活動や部活で欠席した人を特別扱いしません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

期末試験（50％）＋教場レポート（約50％）を総合的に評価します。

天兒慧・浅野亮『中国・台湾』ミネルヴァ書房、2008年。

天兒慧『巨龍の胎動』講談社、2004年。

霞山会『中国総覧』ぎょうせい、2008年。

平和安全保障研究所『アジアの安全保障』朝雲新聞社、各年。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 129101 |
| 科目名 | ヨーロッパ政治論(1) |
| 担当者名 | ^{なかの ゆうじ} 中野 裕二 |

講義のねらい 本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」は「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。基礎となる学問的傾向は政治社会学です。フランスは人種、文化、宗教の面で多様な人々をどのような理念・制度に基づいて社会に統合し、彼らと共存しようとしているのか。実際に移民・外国人の抱える困難は何か。政府や政治勢力は移民・外国人問題にどのように対応しているのか。こうした点の検討をとおして「国民とは何か?」「多様な人々との共存はどのように可能か?」を考えます。

講義の内容・授業スケジュール イントロダクション(1)
 1. 社会編成原理としてのフランスの「共和制モデル」(2~4)
 2. 外国人労働者から市民へ(5・6)
 3. 移民・外国人の直面する問題(7~9)
 4. 移民・外国人排斥の論理(10・11)
 5. 移民・外国人に対する施策(12~14)
 おわりに 「共和制モデル」は有効か?(15)

履修上の留意点 「政治制度論」を受講済みであることを前提に授業を進めます。

フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」「日本の共存理念は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法 期末試験と授業時間中の小テストなどを総合的に評価します(ただし、受講生が少ない場合は期末試験に代えてレポートを課します。第1回目の授業でいずれかに決めます)。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書 教科書は用いません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。

参考書等 フランソワ・エラン『移民の時代』明石書店、2008年
 宮島喬『移民社会フランスの危機』岩波書店、2006年
 宮島喬・若松邦弘・小森宏美編『地域のヨーロッパ』人文書院、2007年
 大山礼子『フランスの政治制度』東信堂、2006年
 田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
 中野裕二『フランス国家とマイノリティ』国際書院、1996年

政
治

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 129201 |
| 科目名 | ヨーロッパ政治論（2） |
| 担当者名 | 中野 裕二 <small>なかの ゆうじ</small> |

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論（2）」は「地域のヨーロッパ」と題して講義します。この講義は、先進諸国に今日生じている社会変化の特徴を、国際化を含む多層化、そして分権化あるいは地域化を基調とする再編成にもとめ、これをヨーロッパの事例に即して検証することを目的とします。この講義のキーワードは、民主主義、参加、自治、ガバナンス、トランスナショナル化、文化、言語、マイノリティ、排除、再開発などです。

従来、社会的組織化の基盤として絶対的であった国民国家の地位が揺らぎ、一方では国際制度などの長国家空間、他方では地域・地方空間の意味が増大しています。この講義では、後者の側面、つまり領域的には国民国家より下位レベルの空間に焦点をあて、地域・地方空間を準拠枠として生じている社会の再編を検討します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、上記の問題関心から書かれたテキストに沿って進みます。

- ・イントロダクションと理論枠組み（1～3）
- ・自治州国家スペインにおける「歴史的諸法」（4）
- ・橋はまた架かるか（ボスニア）（5）
- ・新しい場所と土地の記憶（イングランド）（6）
- ・シティズンシップとマイノリティ（エストニア）（7）
- ・北アイルランドにおけるコミュニティの重層化と多層化（8）
- ・ケルト語圏における地域的言語文化の振興（フランス、イギリス）（9）
- ・ユーロリージョンの「限界」（ポーランド）（10）
- ・越境労働と国民国家（フランス）（11）
- ・ローカルガバナンスの台頭と調整（イギリス）（12）
- ・まとめ（13～15）

履修上の留意点

この講義では各国各地域を専門に研究している人々の論文を素材とするので、講義内容はヨーロッパ政治の「入門」ではないことに留意してください。ヨーロッパもしくは先進社会の変化に高い関心をもって授業に臨んでもらいたいと考えています。

また、教科書を指定するので予習復習を習慣づけてください。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストなどを総合的に評価します（ただし、受講生が少ない場合は期末試験に代えてレポートを課します。第1回目の授業でいずれかに決めます）。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

宮島喬・若松邦弘・小森宏美編『地域のヨーロッパ』人文書院、2007年（2200円、ISBN978-4-409-23044-2）

政
治

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 129301 |
| 科目名 | ヨーロッパ政治論（3） |
| 担当者名 | 浅見 政江 <small>あさみ まさえ</small> |

講義のねらい

今期は欧州連合（EU:European Union）の政治について講義します。周知のように2007年1月にブルガリアとルーマニアがEUに加盟を果たし、EUの構成国は27カ国となりました。欧州のほとんどの国がEUに加盟しています。現代欧州の政治を語る時、このEUの存在抜きには語り尽くせなくなりました。つまり、EUの権限がここ半世紀の間の徐々に強化され、特に通商政策や農業政策においては、構成国の主権が一部制限され、EUが独占的に権限を行使することができます。もちろん、構成国の主権がすべてに優先される政策領域も当然のことながら存在します。EUとは、複雑怪奇、摩訶不思議な存在だといえます。講義では、このEUの起源を歴史的に遡り、現在のEUの政治のダイナミズムを検証することにします。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1クール：ガイダンス+欧州とはなにか？（2回）
- 第2クール：EUの歴史 その起源～現代（4回）
- 第3クール：EUとはなにか？ 政治構造と政策領域（4回）
- 第4クール：EUの構成国（2回）
- 第5クール：総括

成績評価の方法

学期末の試験と日常点（出席他）

教科書

特定のテキストは使用しませんが、毎回レジュメを用意します。参考文献講義中適宜紹介します。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 129401 |
| 科目名 | ヨーロッパ政治論（４） |
| 担当者名 | 浅見 政江 |

講義のねらい 本講座ではドイツ連邦共和国を素材に欧州の政治に関する理解を深めていきます。周知のように「ドイツ」は欧州を代表する主要国のひとつです。その「ドイツ」の誕生から現在に至る歴史を概観し、現在のドイツの政治制度、社会、経済について解説します。さらに欧州連合（EU）の中核的存在である「ドイツ」を欧州統合の文脈で評価してみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 第1クール：「ドイツ」とは何か・「ドイツ」歴史（5回）
第2クール：現代ドイツの政治制度（4回）
第3クール：現代ドイツの課題（3回）

履修上の留意点 ドイツを対象に講義を行います。特段ドイツ語の知識は必要ありません。ただ、講義内容を正確に理解し、理解を深めるためには講義中提示した参考文献の手助けが必要です。講義に欠かさず出席することはもちろんのこと、講義を発展的に活用する意気込みのある人の履修を期待します。

成績評価の方法 平常点で評価します。3つのクールの最終回に小テストを実施し、その合計点と出席点で成績評価を行います。

教科書 特定のテキストは使用しませんが、講義中適宜参考文献を提示します。また、随時講義内容に関連するレジュメを配布する予定です。

政
治

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 129501 |
| 科目名 | アラブ・イスラム政治論 |
| 担当者名 | 中島 勇 |

講義のねらい 現代中東の政治問題を中心に扱う。開講中に発生する事件や紛争を手がかりに、その背景にある民族問題、宗教問題を整理する。中心的テーマは、アラブ・イスラエル紛争、イラク問題、イスラム系組織のテロ問題となる。また一神教の成立など、現在の事件の背景を理解するために必要な歴史にもふれる。

講義の内容・授業スケジュール 1回-7回は、中東の基礎を扱う。地理、気候、言語、宗教、歴史などを整理する。8回-15回は、第一次世界大戦ころから現在までの時間枠で、政治的な流れを整理する。大枠では、オスマン・トルコ帝国の解体後におきた政治的な変化を中心に、2009年までの動きにふれる。

履修上の留意点 ニュースを扱うので、国際報道に関心があることが望ましい。

成績評価の方法 評価は、レポートの提出で行う。

その他 講義では、映像資料（ニュース、記録映像、映画）などを多様する。中東に関する映画も紹介したい。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 129601 |
| 科目名 | 中南米政治論 |
| 担当者名 | 岸川 毅 |

講義のねらい 中南米諸国の政治体制の基本構造と変動のメカニズムを、比較政治学的観点から解説する。

講義の内容・授業スケジュール 独立後の政治史を概観したのち、軍、政党、労組、市民社会、ゲリラ組織など主要アクターの役割に焦点を当てながら、中南米地域一般にみられる政治過程の特徴や各国の独自性を明らかにしていく。さらに、民主化後に各国が直面している新たな課題について検討する。
（1～2）中南米政治の歴史的背景、（3～6）主要なアクター、（7～9）革命、（10～11）民主化、（12～14）民主化後の新たな課題、（15）まとめ

履修上の留意点 積極的な質問を期待する。本講義は概説的性格のものであるが、さらに知識を深めたい学生に対しては個別に専門文献や研究方法を紹介する。

成績評価の方法 学期末に実施する論述式の試験によって評価する（追試験は実施しない）。出席点も若干加味する。

教科書 松下洋・乗浩子編『ラテンアメリカ 政治と社会 [全面改訂版]』（新評論）3,200円、ISBN4-7948-0631-0

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 128401 |
| 科目名 | 比較都市論 |
| 担当者名 | <small>むらかみ あきのぶ</small> 村上 暁信 |

講義のねらい 経済成長を目的に都市開発を進めた時代から、地域管理や経営という視点を含む持続的発展を目指した都市づくりが要請される時代へと移行しつつある。このような変化に対し今日の都市づくりは、経済のグローバル化に伴い国内外にわたる地域間競争にさらされ、持続可能性をもって地域ポテンシャルを高めることが期待されている。一方、地方分権改革により各都市独自の政策に基づき、固有の環境や景観、歴史や文化・産業などの資源を活かした個性豊かな都市のあり方が問われている。本講義では持続可能で個性豊かな都市づくりという観点から、諸外国と日本、日本における各都市について比較し、また、先進的な事例をとおして今後の都市政策における学生諸君の専門知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、各回毎に今日的なテーマを設定し、様々な都市のデータ及び都市づくりに関する計画や政策、実践的な取り組み等を提示しながら下記のテーマを中心に講義を行う。詳しい授業スケジュールについては、第1回目のガイダンスで提示する。

【前期】

- ・ガイダンス
- ・景観・風景町並み
- ・環境と共生した都市づくり
- ・中心市街地の活性化と都市再生

【後期】

- ・都市づくりの仕組みと都市計画制度
- ・都市づくりと政策課題
- ・協働によるまちづくり

履修上の留意点 授業時に紹介する教科書や参考書を読み理解を深めるよう努力を払ってほしい。

成績評価の方法 授業への出席及びレポート、学期末試験の成績を中心に評価する。

教科書 特に教科書は指定しない。

参考書等 授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

政
治

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 129801 |
| 科目名 | マス・コミュニケーション論 |
| 担当者名 | <small>あいだ としのこ</small> 相田 敏彦 |

講義のねらい マス・メディア、とりわけテレビは、いわば空気のように、身近で、かつ、なくてはならないものというのが、私達大部分の実感とってようと思います。しかしその身近さやおもしろさ、有用性などによって、メディアは実は気づかれない形で私達のもの見方や考え方を、さらには感じ方までも形づくる大きな力の一つになっています。

この問題を掘り下げて考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 前期：「カメラはウソをつかない」か。

新聞記者の「ペンがウソをつき得る」が、報道のカメラは事実をありのままに伝えてくれるのかどうか。

(1) 原理的検討 (1～7)

記号論やカルチュラル・スタディーズに基づいて、この問題を掘り下げます。

(2) 具体的検討 (8～15)

新聞の具体的写真によって考えてゆきます。

後期：テレビニュースやドラマをめぐる。

(1) ニュースによる「よびかけ」(16～18)

私達はニュースによって「よびかけ」られて、気がつかないうちに「国民」や「消費者」に仕立てられます。このことを具体的にかつ論理的に追求します。

(2) 視覚的・言語的言説としてのテレビ (19～21)

「現実性効果」、「埋めこまれた前提」について、構造主義の方法を参考に検討します。

(3) メディアと権力 (22～26)

権力についての新しいとらえ方を学びます。

(4) ドラマの視聴者への影響 (27～30)

テレビドラマの深い影響力を調べます。

レポートと学年末試験の成績を中心に評価します。

成績評価の方法 使用しません。

教科書 U. エーコ『記号論』I、II (岩波書店)

参考書等 児島和人『マス・コミュニケーション受容理論の展開』(東京大学出版会)

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 130101 |
| 科目名 | 数量政治学 |
| 担当者名 | とみさき たかし 富崎 隆 |

講義のねらい

「数字」と聞くだけで怖がる学生諸君も多いかもしれませんが、数量的手法は今日の政治学において大変重要かつ不可欠の分析ツールとなっています。本講義では、数量的政治的分析が政治学全般にその適用範囲を広げてきたことに注目し、それを「マクロ政治学」「ミクロ政治学」「国際政治学」に分けて議論し、それが政治的現実をどのように明らかにしたか、またその可能性をもつかについて検討します。本講義を受講する際、特別な数学素養は必要ありません。政治現象を論理一貫した形で「説明」し、政治現象が「そうである」ことを実証することの面白さと難しさを追体験し、理解することによって、受講生自らが政治を分析し、理解することへ進む足がかりを提供することが本講義の主要な目的です。

講義の内容・授業スケジュール

(1～2) 講義のねらいと数量的分析の基礎

(3～12) 「マクロ政治学 (国家と自由民主主義体制のマクロ動態解明)」における数量分析; 政治・権力・国家の意味、近現代国家システムの展開、自由民主主義体制・民主化、自由民主主義体制の比較枠組み、政治と経済のマクロ的運動関係

(13～23) 「ミクロ政治学 (自由民主主義体制の作動メカニズム解明)」における数量分析; 政党と有権者の投票行動、政権形成、議会立法過程、官僚制と政策決定、利益集団政治、中央地方関係
(24～30) 「国際政治学」における数量分析; 国際政治の意味、国際政治の主要理論潮流、戦争・紛争の数量分析

成績評価の方法
教科書
参考書等

テスト及びレポート・出席などを総合的に評価

特に指定しない

河野勝『制度』東京大学出版会 2940円 ISBN-10: 4130341421

D.ウィットマン『デモクラシーの経済学』東洋経済新報社 3465円 ISBN-10: 4492313133

小林良彰編『叢書・社会科学の理論とモデル(全II巻)』東京大学出版会

増山 幹高他『計量政治分析入門』東京大学出版会 2520円 ISBN-10: 4130322095

河野勝他『社会科学の実験アプローチ』勁草書房 3150円 ISBN-10: 4326502924

政
治

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 130001 |
| 科目名 | メディア社会論 |
| 担当者名 | あいだ としひこ 相田 敏彦 |

講義のねらい

記号論、情報理論、メディア・コミュニケーション論からメディア社会を論じる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 記号論

ことばや映像はいうまでもなく、世の中の森羅万象が記号たり得るとというのが、現代記号論の基本的視角の一つである。常識的な記号の考え方をくつがえすこの視角について述べ(1～7)、記号論の基本的タームにも言及する(8～15)。

2. 情報理論

通信理論における情報概念は、日常の用語法とはかなり異なる。そこでは情報は確率的な量として定義される(16～18)。

3. 媒介的関係性・コミュニケーション

情報社会の基本的特性は、ケータイ、パソコンなどさまざまな情報メディア(機器)によって媒介された(mediated)関係性・コミュニケーションである。多角的にこの問題を論じる。(19～24)。

4. 「メディアはメッセージ」

マクルーハンのこの命題を理解かつ批判し(25～27)、さらに、オングの声の文化論に注目する(28～30)。

成績評価の方法
教科書
参考書等

課題レポートと学年末試験の予定だが、受講者の人数により、最終的に決定したい。

池上嘉彦『記号論への招待』(岩波書店)、780円

児島和人(編著)『講座社会学8. 社会情報』(東京大学出版会)

竹内郁郎(編著)『メディア・コミュニケーション論』(北樹出版)

ラッシュ『情報批判論』(NTT出版)

その他、授業中に指示する。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 129901 |
| 科目名 | 政治心理学 |
| 担当者名 | <small>とみさき たかし</small> 富崎 隆 |

講義のねらい 民主政治において、国民がどのように政治に参加するかは決定的に重要です。そして、政治心理学は、政治に参加・関与する人々の心理と行動様式を、個々の市民（や政治家）のミクロ的視点から体系的にとらえようとする研究アプローチです。本講義では、政治心理学の中でも、特に投票行動に関する理論と実証を中心に検討します。有権者の投票行動や政治意識を検討していくことを通じ、現代における政治・社会変動を視野にいれつつ、自由民主主義体制の作動メカニズムの重要な側面を明らかにしていくことを目指したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 講義のねらいと政治心理学・投票行動
(2～15) 投票行動の理論モデルと研究の展開；投票行動理論の全体像、社会的属性、政党帰属意識、争点態度、イデオロギー、政府業績評価、党首評価、個人投票の理論と実証、政治参加
(16～24) 現代日本における選挙と投票行動・政治意識
(25～29) 政治心理学の諸アプローチの理論と実証；政治文化論、社会関係資本論、テロリズムの政治心理、インターネットと政治空間

成績評価の方法 テスト及びレポート・出席などを総合的に評価

教科書 小林良彰『選挙・投票行動』東京大学出版会 2625円 ISBN-10: 4130341316

参考書等 浦島郁夫『戦後政治の軌跡』岩波書店 3990円 ISBN-10: 400023644X
加藤秀治郎 他編『政治社会学』一藝社 2415円 ISBN-10: 490125345X
オフェル フェルドマン『政治心理学』ミネルヴァ書房 3360円 ISBN-10: 4623044998

政
治

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 129701 |
| 科目名 | 政治社会学 |
| 担当者名 | <small>なかの ゆうじ</small> 中野 裕二 |

講義のねらい 本年度の「政治社会学」の長期的目標は次の二点にあります。第一に、現代社会を分析し、理解し、説明する力を身につけること、第二に、現代社会の諸問題を解決する理論を模索することです。しかし、直ちに現代社会の現状分析を行うことは不可能です。それは、分析道具である概念や理論を持たないからです。そこで、この講義では、19世紀の社会学者たちが、19世紀社会をいかに分析し、理解し、説明したか？彼らが19世紀社会の諸問題をいかに理論的に解決し、乗り越えようとしたのか？を学びます。

それでは、なぜ19世紀なのか？理由は二つあります。第一に、19世紀社会は、産業革命と市民革命を経た大変動期であり、われわれの現代社会が抱える問題が初期形態として登場した時代であるからです。第二に、それゆえ、19世紀の社会学者たちの理論的営みは、現代政治学の基礎になっているからです。彼らを抜きにして現代政治学を理解することはできません。

講義の内容・授業スケジュール

イントロダクション (1)
1. 政治社会学について (2～5)
2. トクヴィル (6～9)
3. マルクス (10～13)
4. コント (14・15)
5. デュルケム (16～20)
6. ヴェーバー (21～25)
7. 20世紀の政治社会学 (26～30)

履修上の留意点 上記のように、社会学者ごとに項目を設けて講義を進めます。しかし、この講義は「学説史」に重点を置くものではありません。それぞれの社会学者たちが、自分の生きた時代の何を問題視し、それをいかに理論的に乗り越えようとしたのか、という知的営みに焦点を当てます。受講生はつねに、現代社会への応用を念頭に置いて、「自分ならばこういう理論を立てる」という心構えをもって望んで欲しいと思います。

成績評価の方法 期末試験と授業時間中の小テストなどを総合的に評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書 教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって授業を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 130301 |
| 科目名 | 政治経済学 |
| 担当者名 | 白鳥 浩 |

講義のねらい

政治と経済は、現代においては社会の両輪にも例えられています。また、積極政治の進展とともに、政治と経済をマクロに理解する視座の重要性が叫ばれています。本講義においては、政治経済学の全体像を学んでもらいます。特に、先進国におけるデモクテシーのあり方は、政治と経済に関する政策的なスタンスの違いに起因することを検討することを目的とします。最終的には、国民国家の発展の到達点といわれる福祉国家を理解することにつなげていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

1. 政治と経済 (1~4)
2. 戦後政治経済 (5~8)
3. システム論とレジーム論 (9~12)
4. コーポラティズム (13~15)
5. 福祉国家論「白鳥・ローズの混合福祉論」(16~18)
6. 福祉国家論「福祉国家の三つの世界論」(19~22)
7. 経済と文化の間の政治「ヨーロッパの福祉国家」(23~25)
8. 北欧の福祉国家の変容 (26~27)
9. 福祉国家としての日本 (28~29)
10. 脱工業化社会に向かうのか? (30)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

関心を持って、講義に出席してください。

試験を中心とするが、総合的に判断する。

新川・井戸・宮元・真柄『比較政治経済学』(有斐閣)2004年

井戸『経済危機の比較政治学』(新評論)1998年

真柄『体制移行の政治学』(早稲田大学出版部)1998年

白鳥編『福祉国家の再検討』(新評論)2000年

授業内で適宜、指示します。

政治

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 130201 |
| 科目名 | 比較メディア論 |
| 担当者名 | 島中 誠・岩崎 宇雄 |

講義のねらい

(前期)現代のメディアが置かれている状況と現代社会との関わりについて、広範囲な視点から、最近のITの発展と情報ネットワーク社会化が既存のメディア構造をどう変化させるか、その社会へのインパクトについて日本、欧米、アジアのモデルを比較し、考察する。(後期)新聞業界の現況、多種多様なメディアが抱える諸問題、職業としての新聞記者のあり方などを、実体験したエピソードをまじえつつ紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)現代メディアの構造、IT革命とメディア、メディアと政治システム、メディアとグローバルズム、テレビ・メディア論、メディアと文化摩擦、電子メディアと選挙システム。(後期)(1-2)新聞の歴史と将来(3-4)ニュースの定義・分類(5-7)記者の資質・職業倫理・心得(8)記事の発掘・取材から紙面掲載まで(9)誤報とスクープ(10)国際報道と国際記者の哀歎(11)新聞ジャーナリズムへの批判(12)活字メディアと映像メディア(13)戦争報道などを予定している。

履修上の留意点

(前期)自分自身のメディア・リテラシー度を採点してみる。(後期)日ごろ、一定の時間を新聞熟読にあてること。一つのテーマを連続してしつこく追いかける姿勢が必要。

成績評価の方法
教科書
その他

(前・後期)試験・レポート内容で総合的に評価する。

(前・後期)教科書は使わない。毎回プリント・資料を配布する。

(後期)毎回出席を取る。出席回数が三分の二以下だと成績評価の対象にならないので要注意。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 131401 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | <small>あいだ としひこ</small> 相田 敏彦 |

講義のねらい

マスコミ、広告、パソコン・インターネット普及などの情報化をめぐる広い領域から各自好きな内容を選んでテーマとする。どの領域も研究の蓄積がなされていると同時に、広告・広報や情報化は、非常に多くの仕事・企業とかがわりをもつ意味で、実践性・実用性が一層顕著になりつつある。テーマの実践性に加え、卒業後も射程に入れて、人前での発言・発表力、報告書・レポートを書く力などの基礎体力のABCからはじめる。討論、ディベート、合宿などゼミ生同士の交流も深め、大学生活の真の燃焼の場として〈ゆったり・楽しく・着実に〉活動する出発点としたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. テレビニュース・ドキュメンタリー、2. テレビドラマ、3. ケータイ・パソコン、4. 広告・広報、5. メディアと政治、6. その他、の中から、各自が一番興味の持てるテーマを選び、卒業後の進路も一部考慮に入れながら、自主的に（個々に、あるいはグループで）勉強を進めよう。資料としては、図書、雑誌のほか、テレビ、ラジオ、映画、ビデオ・DVD・ネット資料等々を駆使して、アピール力のある発表（プレゼンテーション）をめざそう。

興味を持って調べたことを人前で発表し、かつ、議論することに徐々になれよう（その力をやがて就活にも生かせるよう指導もしたい）。

調整がつけば、ドラマ撮影の見学、プロデューサー・アナウンサー（経験者）（できれば駒大出身の）との接触もほかりたい。前期：上記の基礎体力のABCを中心とする。後期：討論（ディベート）にもウェイト。

履修上の留意点
成績評価の方法

ゼミの主役はゼミ生自身であり、運営も大幅に任せられる。
平常点

政
治

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 131611 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | <small>うらた さなえ</small> 浦田 早苗 |

講義のねらい

これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粋かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール

2009年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究を行う。

履修上の留意点

オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならぬ。

成績評価の方法
その他

発表内容と各自の持つ勉学意欲（発表に対する質問・意見等）によって評価する。

研究発表では、学生諸君各自が興味あるテーマを自由に選択することができる。年3～4回のコンパと夏合宿が7月にある。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 131641 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 清滝 仁志 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本演習では、政治学科の諸科目を履修するのに必要な政治学の基礎知識を学ぶとともに、自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を身につけることを目的にしています。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1年をかけて、「多数の前で話す」ことに慣れてもらいます。 前期・「文書で自分の意見を発表できるようにする」 政治学の文献を担当者が報告し、議論をする方式をとります。これによって、テキストを論理的にまとめ、報告する能力をつけます。 後期・「いろいろな話題について意見をすぐに発言できるようにする」 毎回テーマを設定して、グループで討論し(通称・ポストイット・ツリー)、全体で報告する方式をとります。就職面接等での集団討論を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得していきます。 |
| 履修上の留意点 | 演習での課題は次のとおり。 ①資料等を毎回熟読 ②口頭発表 ③レポート、ゼミ論文集の作成 ④グループ討論(議論するだけでなく、司会、報告等の技術も練習) |
| 成績評価の方法 | 出席状況、演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度、ゼミ論文 |
| 教科書 | なお、欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。 前期…政治学関係の文庫、新書を選択 後期…資料を適宜配布 |
| その他 | ゼミの行事…合宿(夏)、都内の諸施設見学(新聞社、日本銀行、皇居、東証、国会など) 質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。 Yestudy (https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/) に基礎演習のページを設置 |

政
治

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 131201 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 小堀 訓男 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 政治学と国際政治学の基礎的な知識を整理しながら理解すると同時に、受講者各自が興味をもっている問題を研究する方法と、発表する能力を訓練する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期は、政治学と国際政治学の基礎的な知識を受講者全員で討議しながら、講義形式で授業をおこなう。同時に並行して、受講者各自に自分が興味をもっているテーマを提出させ、それをもとに、各自に研究資料や研究方法を指導する。 後期は、それまで指導を受けた各自の研究テーマを各自が発表し、その内容について全員で討論する。討論することによって、研究発表の方法や研究内容・問題点の所在を明らかにし、本格的な演習を受講する能力を身につけたい。 |
| 履修上の留意点 | 問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。研究したい、ということ、研究出来るということとは別であるが、まず、研究テーマを明確にして研究したいという情熱をもつことが先決である。あとは、この講座で研究するための方法や能力を身につける訓練をしてほしい。 |
| 成績評価の方法 | 講義中の発言、研究発表の内容で評価する。 |
| 参考書等 | 授業中に適宜紹介する。 |
| その他 | 活発な授業参加と発言を求める。講義に関連したビデオ(各種の国際事象の実録など)を見る予定である。 |

| | |
|-------|----------------------------|
| 履修コード | 131001 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 塩入 <small>しおいら</small> みほも |

講義のねらい 三、四年次においていずれかのゼミに所属を希望する者の為に、演習を行える基礎的能力を修得させることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール 毎回各自に特定のテーマについて研究・報告をしてもらい、報告後には全員でディスカッションを行います。後期は、ディベートや模擬裁判の方式を取り入れていきます。テーマは、主として行政法（国家と国民の関係を規制する法）に関する問題をとり上げます。具体的テーマの割り当ては、学生各自の希望を踏まえて決定する予定です。

履修上の留意点 公務員、行政書士等の国家試験の受験を考えている学生には、特に有意義であると思われます。

成績評価の方法 成績評価は、平常点（出席・報告・発言回数等）により行います。

参考書等 適宜必要により指示します。

その他 授業はゼミナール形式で行います。研究・調査方法、報告の仕方、レジュメの書き方等のノウハウは、初回に指導すると共に、その都度必要に応じて教示します。

| | |
|-------|-------------------------------------------|
| 履修コード | 131631 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 田丸 <small>たまる</small> 大 <small>だい</small> |

講義のねらい 行政の活動や政策は、世の中の我々の生活とも密接に関わっている。そういった行政活動について、ディベートや研究発表を行ってもらう。なるべくグループでの作業を多くし、チームワークを重視する予定である。過去に扱ったテーマは、サマータイムの導入の是非、消費税の引き上げの是非、駅前の放置自転車対策、官僚の天下り、振り込め詐欺などバラエティに富む。自分たちの興味を持った事柄を自主的に調べ、それをもとに議論を深めて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール 年間の演習を5回ずつ程度に分けて、ディベートや研究発表を繰り返していきたい。例えば、夏休み前にディベートを2回くらい、研究発表1回くらいできれば十分と考えている。

履修上の留意点 大学生の間に、アルバイトやサークル以外に勉強つながりの友人も作り、グループでの作業によってチームで物事を達成する充実感を味わってほしいというのが、担当教官の願いです。演習は、就職活動や社会人になってから必要とされる能力を間接的に養う機会だと思います。

成績評価の方法 平常点による。

教科書 特に使用しない。

| | |
|-------|---------------------------------------------|
| 履修コード | 131501 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 富崎 <small>とみさき</small> 隆 <small>たかし</small> |

講義のねらい 3年次からの演習に向け、様々な政治課題に関する問題意識、政治学的分析をおこなうための資料収集能力、論理構築能力、プレゼンテーション能力等を養うことを目的とします。

具体的には、前期にグループ対抗のディベートを中心におこない、後期に班毎の共同研究リサーチとプレゼンテーションを中心におこなっていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 日本および世界で議論されている具体的政策課題をディベートのテーマとして取り上げます。ディベートとは、ある問題を取り上げ、是非の2チームに分かれ一定の形式に沿って、一種のゲームのように（勝敗を決める形で）討論をおこなうものです。基礎演習での、ディベート実施の目的は、具体的政策課題を採りあげることで、広く政治問題への問題意識をもつと同時に、ディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらいたいと思います。

前期議論した政策問題を中心に統一テーマを決め、後期に班毎にリサーチを行い、プレゼンテーションをおこなってもらいます。さらに、全体で論集をつくることを目標としたいと思います。

受講生の希望や場合によっては、3・4年の演習にも参加してもらいたいと思います。

履修上の留意点 積極的・主体的参加を期待したいと思います。

成績評価の方法 受講生と相談の上、総合的に評価します。

教科書 特に定めません

参考書等 特に定めません

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 131301 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 中野 裕二 <small>なかの ゆうじ</small> |

| | | |
|----|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 政治 | 講義のねらい | 基礎演習の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・本を読むことに慣れる ・自らの主張を説得的に述べる方法を身につける ・報告の仕方、討論の仕方を身につける <p>2009年（平成21年）度の基礎演習では、政治学またはひろく社会科学に関連する本を読みます。事前に分担を決め、報告者は、担当章を自分なりに要約・再構成し、発表します。発表とその後の質疑応答を通して、その部分を読んでいない人にも内容の要点が理解できるようにすることが報告者の目標となります。</p> <p>具体的には、日本の政治を扱った本を読みます。日本の政治において、今日、何が中心的に議論されているのか、その論点は何か、などを議論します。日本の政治に詳しくなるだけでなく、筆者が自分の主張をより説得的に表現する手法として、どのような「道具立て」をしているのかを読み取ることを、さらなる目標としたいと思います。</p> <p>以下のような本を読もうと考えていますが、あくまでも予定です。受講生が読みたい本があれば紹介してもらうなどして、何を読むかは全員で決めます。</p> <p>首藤信彦『政治参加で未来をまもろう』（岩波ジュニア新書） 新藤宗幸『新版 行政ってなんだろう』（岩波ジュニア新書） 新藤宗幸『政治とは、なんだろうか』（岩波書店） など</p> |
| | 講義の内容・授業スケジュール | 以下のような本を読もうと考えていますが、あくまでも予定です。受講生が読みたい本があれば紹介してもらうなどして、何を読むかは全員で決めます。 |
| | 履修上の留意点 | 本を読むゼミです。グループ研究やディベートはやりません。 読書に関して、私と同じ考えを持つ人の言葉を書いておきます。この考えに賛同する人の受講を期待します。 「インターネットなどによる情報収集と読書とはまるで性格の違うことなのである。私たちは偉大な作家や思想家の書いた一冊の本を読み通すことによって、深く感じることを学ぶのであって、情報を収集しているだけではないのだ」（木田元『猿飛佐助からハイデガーへ』岩波書店、2003年、「はじめに」より） |
| | 成績評価の方法 | 毎回の出席、報告内容、発言回数・内容などを総合的に判断し、評価します。 |

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 130801 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 早川 純貴 <small>はやかわ じゆんき</small> |

| | | |
|----|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 政治 | 講義のねらい | 基礎演習は3年次からの演習に向け、政治学の基礎的知識を養い、多面的な観察力と深い分析力、さらには資料収集方法を身につけることを目的としている。とりわけ当演習ではこうした能力を、グループ対抗のディベートおよび班毎のリサーチ（フィールドワークを含む）を通して涵養していきたい。 |
| | 講義の内容・授業スケジュール | ディベートで扱うテーマは日本の政治・社会・経済の諸問題（特に賛否両論が際立つ問題）に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが是側・非側の立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の目標であり総括でもある。リサーチは地方政治が抱えるさまざまな課題について、それぞれ担当の班がフィールドワークを行い、その成果を発表する。また担当したリサーチについてはレポートを提出をしてもらう。ディベートは前・後期それぞれ2回ずつ行う。 |
| | 履修上の留意点 | 当基礎演習で鍛えて欲しいのは、自分の考えをきちんと言葉で表現できる力、あるいは自分たちの主張を効果的に相手（聞き手）に伝え、十分に納得させる力である。そのためには学生諸君の議論とフィールドワークへの積極的参加を求めたい。 |
| | 成績評価の方法 | 議論や調査への参加度、発表の充実度、レポートの内容などを総合して評価する。 教科書は用いない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 130901 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 三竹 直哉 |

講義のねらい

やる気がある少人数の参加者で、政治学科らしい大学レベルの勉強をするための授業です。三竹担当の基礎演習に応募することを考えている人は、YeStudy 内にある基礎演習と演習の説明も必ずよく読んでください。

講義の内容・授業スケジュール

基礎演習は毎年顔ぶれによってやるのが全然違います。政治学概論や比較政治学でやったことを深める練習をすることもあります。扱う本などは事前に決めていません。集まった人の興味関心に応じます。

ふだんから新聞の国際面を読んで興味もてる人、世界史が面白いと思えた人など、外国のことにも興味関心がある人のほうが三竹担当の基礎演習には向いていると思います。

将来のための目標設定や自己分析、スケジュール管理、勉強の仕方、整理の仕方などについて、細かいアドバイスをします。

基礎学力が足りない傾向にはとても懸念をいんでいますので、下記のことは強調します。

- ・言われなくても新聞を読む。
- ・中学校社会科程度の学力は確実に身につけておく。

履修上の留意点

3年生の演習は、2年生のときに入った基礎演習の先生の演習に行くことが多くなっています。担当教員の演習の方針を知った上で、基礎演習の応募先を決めたほうがよいです。三竹担当の基礎演習については、演習について書いた注意書きのほとんどがそのままではあまりです。

三竹担当の基礎演習に入った人は、二年度に必ず比較政治学を履修登録する必要があります。比較政治学のところにある説明も読んでおいたほうがよいでしょう。

**成績評価の方法
教科書
その他**

応募前にメールで相談することをすすめます。

平常点と期末テストによります。

その都度指示します。一冊から二冊は買うものがある可能性があります。

mitake@komazawa-u.ac.jp

最新の情報は YeStudy で確認してください。

政
治

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 131651 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 三船 恵美 |

講義のねらい

現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲良し関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところ是对立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異質なものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

講義の内容・授業スケジュール

前期：前期第一回目のゼミで、ゼミ生自身がつくりあげることからはじめましょう。

最初のヶ月くらいは、大学でのレポートの書き方、ゼミの進め方、司会や報告の方法などについて、担当教授が作成するオリジナル教材を使いながら講義します。その後は、ゼミ生が中心となってゼミを作り上げていきます。

後期：前期最終ゼミで、ゼミ生が決定します。

履修上の留意点

国際関係論ゼミの受講生には、基本的な概念を取得してほしいので、「国際関係論」の履修を勧めます。

講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう。

**成績評価の方法
教科書**

出席や発言などの総合評価です。

共通の教科書を使うかどうかは、授業開始後、受講生の問題関心を考慮しながら、受講生と相談して決めます。

参考書等

適宜紹介します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 131621 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 村井 良太 |

講義のねらい この講義は、政治学を学び、政治への理解を深める上での基礎的な技術を身につけることをねらいとしています。教材を読み、レジュメをまとめ、報告し、議論し、レポートを書くなど一通りのことをします。教材には、日本政治史を始め、現代政治、さらにアメリカやアジアなど他の国々のものも使って、「世界のなかの日本」という広い視座を身につけてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、図書館ツアーや、簡単な論文や新書などを使って教材の読み方やレジュメのまとめ方、報告やコメントの仕方、レポートの書き方などを広範に学びます。後期は、輪読とともにレポート発表などを行い、最終的に簡単なゼミ・レポートを提出してもらいます。なお受講生と相談しながら、合宿やディベートなど様々なことに挑戦していきたいと思っています。

履修上の留意点 演習は他の講義以上に、教員、学生ともに参加者全員でつくりあげていくものです。積極的な参加を求めます。

成績評価の方法 成績は、授業への出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断します。

教科書その他 テキストはこちらから指定するものもありますが、おむね話し合いながら決めていきます。授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつかって報告します。それ以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。他にもいろいろと取り入れていきたいと思っていますので、一緒にゼミを創りあげていきましょう。

政
治

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 131601 |
| 科目名 | 基礎演習 |
| 担当者名 | 山崎 望 |

講義のねらい 三年次からの演習に向けて、基礎的な知識の習得・問題意識の形成と同時に、文献や資料の収集・分析方法、報告（プレゼンテーション）の技術、レジュメ（要約）の作り方など実践的なスキルの習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 現代世界の変容を多角的に分析し、世界秩序の変容が生み出す問題にどのように対応するのか、考えていきます。国内政治／国際政治、公／私の区別など既存の区別が揺らぐ中で噴出している多様な問題について考えます。

具体的には前期は国内／国際的な格差、フリーター、貧困、福祉、新自由主義的グローバル化をめぐる問題と代替的な社会構想の模索を、後期はナショナリズム、多文化主義、グローバルテロリズムをめぐる問題、および民主主義や市民社会をめぐる問題を中心に扱います。課題文献の報告・発表と討論、加えて履修者の問題意識に照らして、グループを作り、年に数回のグループ討論を行いたいと思います。

履修上の留意点 文献や資料が指定された場合は、課題文献・資料を読んでからゼミに臨んでください。討論においては積極的に発言してください。詳細は初回に説明するので、履修希望者は必ず出席してください。「現代政治理論」を履修していることが望ましいです。

成績評価の方法 基本的には平常点で評価します。（出席・報告・討論への貢献など総合的に評価）。

教科書 特に指定しませんが、文献については、履修者と相談の上指定します。

参考書 特に無し。

その他 新書や論文の輪読と議論という、ゼミ形式を予定しています。毎回報告者を指名するので、報告者は自分の関心のあるテーマに即した課題文献（こちらからも提示します）を要約・報告し、自分で調べたことを付け加え、私見を述べ論点を提起してください。その後参加者グループ単位で討論します。希望があれば、特定のテーマについてグループ研究やグループ対抗のディベートも行います。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 134001 |
| 科目名 | 比較憲法 |
| 担当者名 | 武市 周作 <small>たけいち しゅうさく</small> |

講義のねらい 各国の憲法を概観することを通じて、日本国憲法の理解を深める。主に比較の対象とするのは、イギリス・アメリカ・フランス・ドイツの憲法とする。その際、各国を縦割りに学ぶだけでなく、統治機構の分野毎、人権論のテーマ毎に各国を比較して学んでいく。積極的に諸外国の判例もみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール ①各国憲法史(1～8)：中世以降のヨーロッパ憲法史。②立法府(11～13)：議会制度、選挙、政党。③行政府(14～17)：議院内閣制、大統領制、半大統領制。④司法府(18～20)：裁判所組織、審級、裁判官、陪審制・参審制・裁判員制度。⑤違憲審査(21～24)：具体的審査制、抽象的審査制、事前審査制。⑥地方制度(25)：連邦制、道州制。⑦自由権(26～28)：宗教の自由、政教分離、表現の自由。⑧社会権(29)：各国の福祉制度。⑨自己決定権(30)：プライバシー権、リプロダクションの権利。

履修上の留意点 日本国憲法の知識は前提として求められる。予習する際には、各範囲について、わが国の憲法の知識を確認しておくこと。また、世界の政治状況に関心を持って情報を得ておくように。

成績評価の方法 学年末のレポートか試験で評価を行う。
教科書 辻村みよ子『比較憲法』(岩波書店、2003) 2,625円
参考書等 樋口陽一『比較憲法〔全訂第三版〕』(青林書院、1992)

政
治

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 133801 |
| 科目名 | 現代国家論 |
| 担当者名 | 大塚 桂 <small>おおつか かつら</small> |

講義のねらい 本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造(前期)であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題(後期)をとりあげます。

講義の内容・授業スケジュール I 前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験
 II 後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験

成績評価の方法 授業内における中間試験(50%)と期末試験(50%)により評価します。
教科書 大塚桂『明治国家の基本構造』(法律文化社) 3200円
 大塚桂『日本の政治文化』(勁草書房) 2800円
参考書等 上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。
その他 私の研究室は、第二研究館八階(2835)です。電話は、3418-9377(直)です。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 133701 |
| 科目名 | 国家安全保障論 |
| 担当者名 | こぼり のりお 小堀 訓男 |

講義のねらい カントがその著、『永遠平和のために』において「相共に生活する人々間の平和状態は、決して自然状態なのではない。自然状態はむしろ戦争状態である。すなわち、たとえつねに敵対行為が勃発してはならないにしても、絶えずそれによって脅かされているのである。だから平和状態は樹立されなければならない」と述べているごとく、人間が、その長い歴史のうちで不断に希求してきたものは永遠平和であって、戦争それではなかったのである。カントによって提起された「永遠平和」という、この哲学的命題は、皮肉にも彼の夢想曲に終始してきたのが現実の歴史過程の常態である。本講では、「人は何故集団社会を形成するのか、集団を単位とした闘争と、個人レベルでの闘争は何処がどのように違うのか」をテーマに、国家の安全保障を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

国家の究極的利益は確実な生存である。個人の究極的利益も同様に確実に生存しつづけることである。国家は、国民の社会的生存権を保障している。しかし、国家は、国家の生存のために国民に戦うことを命令することもある。この論理が何故成立するのかを、以下のテーマで考察する。

(1～2)人は何故集団社会を形成するのか、(3～5)近代国家の特質、(6～8)国家安全保障の意味、(9～15)国家安全保障の機能、(16～23)国家安全保障の手段、(24～26)国家安全保障に関する諸見解、(27～30)国家安全保障に関する理念と現代的課題

「人はなぜ闘争するのか」ということに興味をもっている学生への積極的な参加を望む。

定期試験70%、授業中の小テスト30%授業中の積極的な発言も評価の対象とします。

特定のテキストは使用しない。

授業中にその都度紹介しますので、出きるだけ本を買って読むこと。

政
治

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 133601 |
| 科目名 | 外交史 |
| 担当者名 | むらい りょうた 村井 良太 |

講義のねらい 現在の国際政治は混迷と模索の中にあります。そのような中で、過去の経験から学び、未来への糧としようとするのが、外交史です。日本のような民主主義国家では、外交は国民を離れては成り立ちません。また、相互依存の時代にあつて、外交は生活の中にまで深い影響を及ぼしています。本講義を通じて、社会人の一つの素養としての外交理解を身につけてほしいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度の「外交史」では、戦前・戦後の遺産を踏まえた上で、戦後外交史を中心に講義します。

講義内容は以下を予定しています。スケジュールなど詳細は開講後にお知らせします。

前期：(1)はじめに (2～4)「帝国」日本の遺産 (5～7)敗戦と占領 (8～10)占領改革 (11～13)吉田政権と講和 (14～15)鳩山政権と五五年体制の成立

後期：(16～18)岸政権と日米安保条約の改定 (19～21)池田政権と高度経済成長 (22～24)佐藤政権と沖縄返還 (25～27)危機の七〇年 (28～29)八〇年代からの日本 (30)おわりに

履修上の留意点
成績評価の方法

履修する学生には、出席と積極的な授業参加を求めます。

成績は、随時行う出席調査と、中間試験、学年末試験によって評価します。追試験は実施する予定です。初回の説明を必ず聞いてください。

教科書
参考書等

五百頭旗真編『〔新版〕戦後日本外交史』有斐閣、税込2100円、ISBN:464112258X。

参考図書は講義の中で随時紹介していきます。

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 117801 |
| 科目名 | 日本法制史 |
| 担当者名 | 茂野 ^{しげの たかはる} 隆晴 |

講義のねらい

全ての学問には史学がある。法を学ぶものにとって、もっとも身近にある史学が法制史である。われわれは来し方を回想するときのみならず、未来に進もうとするとき、何らかの形で過去の知識(歴史)を知ろうとしよう。

現代の社会知識を知ろうとするとき、その手がかりを過去の社会生活に求めるのは自然であるといつてよい。そうした意味からも、日本法の歴史の本質的なものを身につけてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 日本法制史とその時代区分
2. 上古(氏族法時代) I
3. 上古(氏族法時代) II
4. 中古(律令法時代) I
5. 中古(律令法時代) II
6. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代) I
7. 中世(武家法時代前期、鎌倉・室町時代) II
8. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編I
9. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編II
10. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 公法・刑事編III
11. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 私法・民事編I
12. 近世(武家法時代後期、戦国・江戸時代) 私法・民事編II
13. 近代(含む幕末) I
14. 近代(含む幕末) II
15. 婚姻関係(ことわざと川柳等による)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

上記は1. と15. を除き、それぞれの項目ごとに2週を割当ててを目安としています。学期末試験と平常点としての出席状況を総合して評価す。

大久保治男・茂野隆晴『日本法制史史料60選－史資料へのいぎない－』1998年刊(芦書房)

2,300円

政
治

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 117901 |
| 科目名 | 西洋法制史 |
| 担当者名 | 北野 <small>きたの</small> かほる |

講義のねらい イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造と法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等
その他の

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。
論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）
特に指定しない。
年度当初に指示する。
一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

政
治

| | |
|-------|-----------------------|
| 履修コード | 118401 |
| 科目名 | 英米法 |
| 担当者名 | 北野 ^{またの} かほる |

講義のねらい 近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論
 - 第4章 裁判所制度
 - 第1節 イギリスの裁判所制度
 - 第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度
- 講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。
 論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）
 特に指定しない。
 年度当初に指示する。
 試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他の

政
治

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 134411 |
| 科目名 | 会社法 |
| 担当者名 | <small>いのうえ けんいち</small> 井上 健一 |

講義のねらい 【注意】この講義を選択できるのは、法律学科2年生で学生番号LN8201番以降の学生、法律学科3年生以上の学生、政治学科2年生以上の学生である。

企業活動の内部的な規整である会社組織に関する法規整（いわゆる形式的な意味での会社法）について講義する。単なる制度の紹介にとどまらず、なぜそのような制度が存在するのかという「制度の存在理由」を、近時の敵対的買収と対抗策の問題などに代表されるような現実の会社実務との関係で理解することを心がける。前期は主としてコーポレートガバナンスに関する規整、後期は企業金融および組織再編に関する規整を中心に講義する。商法総則についても適宜会社法との関連部分について触れていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1 会社法総論：商法の体系および会社法の存在意義 2 会社の機関と法：コーポレートガバナンスに関する法規整（株主総会、取締役会・代表取締役、監査役等）

後期 3 会社の資金調達と法規整（設立時の資金調達、設立後の資金調達：新株発行、社債等）
4 会社の組織再編（M&A等） 5 企業会計

履修上の留意点

少なくとも民法（総則・債権各論）を履修済みか、履修中であることが望ましい。日経などの新聞・雑誌の経済記事についてもアンテナを張っておくこと。

成績評価の方法

原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で質疑応答形式によるケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

教科書

平出・山本・田澤編『会社法概論』（青林書院）3780円 4-417-01404-3

参考書等

江頭憲治郎「株式会社法」（有斐閣）、神田秀樹「会社法」（弘文堂）。その他、適宜授業内で紹介する。

その他

授業情報は<http://homepage3.nifty.com/inoue-k/>も参照のこと。

政治

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 119701 |
| 科目名 | 経済法 |
| 担当者名 | <small>わかばやし ありさ</small> 若林 亜理砂 |

講義のねらい 経済法の中心をなす独占禁止法を理解をすることを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 116601 |
| 科目名 | 国際紛争解決法 |
| 担当者名 | おうしあん 王 志安 |

講義のねらい 国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界および適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール 国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能および事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決および世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査および調停といった制度の展開および適用、国連における紛争処理の制度的展開および現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続きおよび制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判および国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立およびその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点 参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかりとり取ってもらいたい。

成績評価の方法 power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、YeStudy から入手できる。学年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書参考書等その他 大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002年 2,000円
市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。
授業は Power Point を使って講義方式で行うが、判例の分析につき学生のみまとめ報告を求めることもある。

政治

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 115801 |
| 科目名 | 刑法各論 |
| 担当者名 | まつむら いさる 松村 格 |

講義のねらい 刑法各論は、刑法定各則の個別構成要件の解釈を主流とします。それぞれの構成要件が、犯罪を構成する要素を規定しているわけですが、それぞれの構成要件が何らかの法益を保護しているわけですから、その法益保護と人権保障という刑法の使命を念頭におきながら、どのように構成要件要素を解釈すれば最も妥当性があるのかを学びます。また、他の構成要件との関連性をも見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール 刑法典の各則は、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順序で規定されていますが、われわれの最も身近な個人的法益に対する罪から学習します。そして、個人的法益に対する罪も、生命に対する犯罪・身体ないし健康に対する犯罪・自由または名誉に対する犯罪・財産に対する犯罪の順序で学習していきます。時間的余裕があれば、社会的法益と国家的法益に対する罪についても一部扱います。

履修上の留意点 刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、法益保護はもちろんのこと、人権保障のためにも、謙抑性を念頭におきながら構成要件の解釈をするように努めてください。そして、そのためにも、例えば、行為無価値論による解釈と結果無価値論に基づく解釈を比較検討することも必要です。その点を注意して、講義中の先生の話をよく聞いてノートをとる必要があります。なお、構成要件の解釈を主流とする刑法各論ですから、六法全書を携帯しないで授業に参加することは無意味ですので、六法全書を忘れた場合には、図書館で借りるなりしてでも携帯してください。さもなければ、受講を拒絶します。なお、刑法各論は、刑法総論の上に成り立っていますので、刑法総論の単位を取得していなければ履修する意味がありません。

成績評価の方法 年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをしてGPA評価に算入します。年度末試験は論文式です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要です。作文力を養ってください。必要に応じて、刑法総論における基本事項について質問することがあります。履修者が少人数の場合には、出欠をとります。

教科書参考書等その他 松村格著『日本刑法各論教科書』（八千代出版）
指定図書・松村他著『刑法各論』（ミネルヴァ書房）
参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅱ・各論〔第六版〕』（有斐閣）2,200円
曾根・日高編『基本判例5 刑法各論第2版』（法学書院）2,000円
毎回出席をとります。総論の知識について質問をします。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 143802 |
| 科目名 | 民法(債権) |
| 担当者名 | 上井 長久 |

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

(1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系(前期)(第1回)、(2) 債権の目的・内容(第2回)、(3) 債権の効力——債務と責任、履行強制(第3回)、(4) 債務不履行責任(第4、5回)、(5) 債権の対外的効力——債権者代位権(第6回)、(6) 詐害行為取消権(債権者取消権)(第7回)、(7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権(第8回)、(8) 連帯債務、保証債務(第9、10回)、(9) 債権の譲渡、債務の引受(第11、12回)、(10) 債権の消滅(第13、14回)、(11) 契約総論——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類(後期)(第15回)、(12) 契約の成立(第16回)、(13) 契約の効力——同時履行の抗弁権(第17回)、(14) 危険負担(第18回)、(15) 第三者のためにする契約(第19回)、(16) 契約の解除(第20回)、(17) 贈与、売買、交換(第21、22回)、(18) 消費貸借、使用貸借、質貸借(第23回)、(19) 雇傭、請負、委任等の契約(第24回)、(20) 事務管理、不当利得(第25回)、(21) 不法行為(第26、27、28回)

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総論などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

学年末の定期試験で行う。

我妻栄・有泉亨・川井健著『民法2 債権法』(勁草書房)

遠藤浩・川井健他編『民法(4)～(7)』(有斐閣双書) および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』(有斐閣大学双書)

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 116301 |
| 科目名 | 社会保障法 |
| 担当者名 | 橋爪 幸代 |

講義のねらい

社会保障法制度の基本的内容について理解した上で、社会における社会保障法制度の果たす役割について検討する。また、社会保障制度における法的論点について考察する。

社会保障法制度の成り立ち、概要について示した上で、法学的な視点から社会保障について検討する。必要に応じて、判例を参照する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 社会保障法概念と体系
- 2 児童福祉
- 3 家庭福祉
- 4 障害者福祉
- 5 介護
- 6 医療
- 7 年金
- 8 労災保険
- 9 雇用保険
- 10 生活保護
- 11 社会保障法制度の理論と課題

成績評価の方法
教科書

筆記試験によって、評価する。

・本沢巳代子編著『トピック社会保障法』(第3版)不磨書房

・労働調査会出版局編、『社会保障法令便覧』、労働調査会

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 133901 |
| 科目名 | 社会学原理 |
| 担当者名 | 奥 炳三 <small>おく ひょうさん</small> |

講義のねらい

社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす社会問題を分析する手法として、社会学の基礎的な概念や理論の使い方を学ぶこと。またはその身近な社会問題を認識、理解することを通じて、現代社会を展望する視点を養ってもらうことを本講義の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は以下の内容について概念や理論を中心に講義を行う。
 (1)はじめに、(2)社会学とは、(3~4)個人と社会(社会的行為、社会化と人間形成、パーソナリティ・社会的自我)、(5~6)現代家族論(配偶者選択、結婚、家族の構造と機能、家族の現代的課題)、(7~8)組織論、官僚制(専門職)、(9~10)職業、労働(職場や人間関係、就職・転職・リストラ、フリーター・ニート)、(11~12)若者の犯罪(ラベリング理論、加害者と被害者の関係、犯罪の原因)、(13~14)自殺と社会(自殺の歴史、自殺の背景、自殺の最近の情報)、(15)社会階層など
 後期は以下のテーマについて受講生の発表およびディベートを行う。

(1)教員免許更新制度、(2)教育基本法の改正、(3)少年法改正、(4)メタボ(医療化社会)、(5)自殺といじめ、(6)家族の変容、(7)高齢者虐待、(8)格差社会、(9)特殊法人の存続、(10)消えた年金の責任(個人か組織か)、(11)ペットは家族の一員か、(12)個人の銃所持許可制度、(13~15)まとめ

以上、講義を予定しているが、受講生の人数などによっては、講義内容を変更することがある。積極的にノートをとること。

履修上の留意点
成績評価の方法

出席状況(遅刻厳禁)、発表やディベートの内容と態度、簡単なレポートなどを総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書
参考書等

特に指定しない。
講義中に、その都度紹介する。

政
治

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 119001 |
| 科目名 | 財政学 |
| 担当者名 | 塚本 正文 <small>つかもと まさふみ</small> |

講義のねらい

私たちは、様々なサービスなどを国や地方自治体から受け、反対に租税を納めている。これだけ身近な問題でありながら、その仕組みは複雑で専門用語だらけのように見える。そこで、私たちはなぜ租税を納めなければならないのか、納めた租税はどのように用途が決定されるのか、どのような租税や公共サービスが存在するのかなど生活に密着した話題をテーマに、財政の仕組みや問題点を学び、税や政府について理解を深めることを目的として講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

(第1~2回目)財政の枠組みとはどういうものなのか、(第3~4回目)政府のお金の使い道はどの様に決まるのか~予算について~、(第5~7回目)政府が集めたお金は何に使っているのか~政府支出について~、(第8~11回目)政府はどの様にお金を集めているのか~租税について~、(第12~14回目)政府の借金とは何か~公債について~、(第15回目)前期の総括、(第16~18回目)まちと財政問題~地方財政について~、(第19回目)財政のもつ機能について、(第20~22回目)資源配分~財政の機能I~、(第23~25回目)所得再分配~財政の機能II~、(第26~28回目)景気政策~財政の機能III~、(第29回目)地球環境と財政、(第30回目)後期の総括

履修上の留意点

できるだけ指定した教科書に沿ってすすめるので、当日の講義内容を予め読んでおくこと。また、日頃から新聞の政治および経済欄を読んでおくこと。

成績評価の方法

学期末試験の結果をもとに成績を決定する。ただし、授業時に指示する提出物(レポート)の提出状況も考慮に入れる。

教科書

里中恒志・八巻節夫編著『新財政学』文真堂 ¥3,300 ISBN:4-8309-4546-X

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 117501 |
| 科目名 | 経済原論 |
| 担当者名 | むらまつ かんじ 村松 幹二 |

| | |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール | <p>経済学の基礎概念を学び、現代経済への理解を深めることを目的とする。</p> <p>前期は、ミクロ経済学について、消費者行動、企業行動、市場競争と政府の役割を解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学とは：需要と供給（1～2） 2. 消費者行動の理論（3～5） 3. 企業行動の理論（6～8） 4. 市場競争（9～10） 5. 市場の失敗と政府の役割（11～13） 6. 不完全情報の経済学（14～15） <p>後期は、マクロ経済学について、マクロ経済学の考え方と日本経済の現状、国際経済について解説する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マクロ経済学とは：国民経済計算（1～2） 2. 有効需要と乗数メカニズム（3～4） 3. 貨幣の機能（5～6） 4. インフレと失業（7～8） 5. マクロ経済政策とIS=LM分析（9～11） 6. 経済成長（12～13） 7. 国際マクロ経済学（14～15） |
| 成績評価の方法 教科書 | <p>成績評価は、授業内試験および定期試験による。</p> <p>「入門経済学」第3版、伊藤元重、日本評論社、2009年</p> |

政
治

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 119101 |
| 科目名 | 経済政策 |
| 担当者名 | もりおか じん 森岡 仁 |

| | |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>市場を中心とした自由主義経済の中に、国が運営する経済政策を導入するようになってかなりの時間が経過したが、今や国民は経済政策を抜きに安定した経済生活を送ることはできない。本講義では経済政策の基礎を構成する諸概念の理解を深めることによって、日々展開される実践的経済政策を的確に判断する力を高めることを目的としている。</p> |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | <p>（1～4）経済政策の概念、経済政策の目標、経済政策の手段、経済政策学、（5～8）重商主義の経済政策思想、自由主義の経済政策思想、価値判断論争と経済政策学、現代経済政策学の方角、（9～12）政策課題としての福祉問題、政策課題としての秩序問題、政策課題としての社会問題、現代政策課題の総括、（13～16）経済成長の意義、古典派の経済成長論、完全雇用と現代の成長政策、経済成長と資本・労働、（17～20）安定と成長の問題、経済変動とその安定政策、物価変動のメカニズム、現代インフレーションの対策、（21～24）経済均衡と市場機構、独占と寡占、寡占の本質と作用、産業組織政策の展開、（25～28）社会的公正と社会均衡化政策、国民所得の分配と再分配、公害問題の発生、福祉国家への道、（28～30）現代の人口問題、人口政策の課題、経済政策と人口政策。</p> |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等 その他 | <p>経済政策の根底には経済理論があるが、少しでも経済理論に触れておくことが好ましい。</p> <p>学年末の定期試験。追試験も実施する。</p> <p>森岡他著『現代経済政策』（千倉書房）1975年 2,520円。4-8051-0842-8</p> <p>特に指定せず。</p> <p>授業方法は講義。</p> |

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 093501 |
| 科目名 | 農業政策 |
| 担当者名 | みぎて よしかず 溝手 芳計 |

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していく必要があります。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（1回）
2. 食料問題と食料政策（6回程度）
3. 農業の特質と現代農業（4回程度）
4. 戦後日本の農業問題と農業政策（6回程度）
5. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
6. グローバリゼーション下における世界の農業（5～8回）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験（年度末）を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6
中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参考書等

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。
大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0
加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

政
治

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 093601 |
| 科目名 | 工業政策 |
| 担当者名 | 奥山 雅之 <small>おくやま まさゆき</small> |

講義のねらい わが国の工業（「ものづくり」産業）は、その技術力を背景に高い国際競争力を有しており、産業全体を支える重要な存在です。

この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、ものづくり産業の特徴を確認しながら、産業の「過去」「現在」そして「将来」を考察します。また、ものづくり産業に対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性についても検討を加えていきます。

前期では、ものづくり産業の現状をさまざまな角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、産学連携、知的財産、環境問題、CSR（企業の社会的責任）など、ものづくり産業をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期（1～3）工業の意義と役割
（4～6）工業の発展と工業政策の歩み
（7～9）産業構造とものづくり産業
（10～13）工業の立地問題
（14～15）ものづくり中小企業と政策
後期（16～19）ものづくり産業の業種別動向（自動車産業、繊維産業ほか）
（20～21）「ソフトなものづくり」産業（映画産業、アニメーション産業ほか）
（22～23）ものづくりを支える人材の確保・育成
（24～25）イノベーションと産学連携
（26）知的財産の創造・保護・活用
（27）創業・ベンチャー支援策
（28～29）工業振興と環境問題
（30）工業振興とCSR（企業の社会的責任）

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身に付けてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することを望みます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を実施します。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

政
治

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 091701 |
| 科目名 | 商業政策 |
| 担当者名 | 番場 博之 <small>ばんば ひろゆき</small> |

講義のねらい 経済活動としての流通活動は、単なる競争ではなくルールにもとづく競争である。そして、このような流通や商業に関わる方針やルール（公共政策）のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- （1）流通・商業問題と流通・商業政策の考え方
（2～5）流通・商業の基礎知識
（6～9）流通・商業政策の枠組み
（10～15）競争政策
（16～21）振興政策と調整政策
（22～27）まちづくり政策
（28～30）海外における商業に関わる政策

履修上の留意点

詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

定期試験によって評価する。ただし、若干の平常点を加味することもある。

教科書

加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編『現代流通入門』有斐閣 978-4-641-18351-3

参考書等

渡辺達朗『流通政策入門 第2版』中央経済社、2007年。

岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店、2007年。

番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房、2003年。

その他の

現在注目されている流通に関わる新しいトピックをテーマとした「トピック講義」を何回かおこなう予定である。「トピック講義」では、ゲストを講師にお願いすることも検討している。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 094101 |
| 科目名 | 地方財政論 |
| 担当者名 | しのはら あきら 篠原 章 |

講義のねらい

「分権の時代」といわれて久しいが、本講義では、地方自治体（地方政府）の財政（収入と支出）に関する制度的・理論的な知識を身につけると同時に、地方分権に関わるさまざまな問題点を理解・分析し、その解決策を見いだす能力を涵養することが目標である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 前期オリエンテーション（講義の進め方・注意点）
- 2 財政・地方財政と経済（1）
- 3 財政・地方財政と経済（2）
- 4 中央政府と地方政府（1）
- 5 中央政府と地方政府（2）
- 6 財政の三つの機能と地方財政支出（1）資源配分
- 7 財政の三つの機能と地方財政支出（2）資源配分
- 8 財政の三つの機能と地方財政支出（3）所得再分配
- 9 財政の三つの機能と地方財政支出（4）所得再分配
- 10 財政の三つの機能と地方財政支出（5）経済安定
- 11 地方財政の現状と課題（1）合併と道州制
- 12 地方財政の現状と課題（2）合併と道州制
- 13 地方財政の現状と課題（3）地方分権の課題
- 14 地方財政の現状と課題（4）地方分権の課題
- 15 中間総括（前期総括）
- 16 後期オリエンテーション（講義のポイント）
- 17 地方税の理論（1）
- 18 地方税の理論（2）
- 19 地方税の現状と課題（1）
- 20 地方税の現状と課題（2）
- 21 地方税の現状と課題（3）
- 22 社会保障と地方財政（1）年金
- 23 社会保障と地方財政（2）年金
- 24 社会保障と地方財政（3）医療
- 25 社会保障と地方財政（4）医療
- 26 社会保障と地方財政（5）福祉
- 27 社会保障と地方財政（6）福祉
- 28 ケーススタディ：沖縄県の財政（1）
- 29 ケーススタディ：沖縄県の財政（2）
- 30 総括講義

履修上の留意点
成績評価の方法

経済学・財政学に関する基礎的な知識が身につけていることが望ましいが、必要条件ではない。平常点（レポート）と定期試験（後期）の総合評価。前期と後期に各1～2回のレポート提出を義務づける。

教科書
参考書等
その他

特に指定せず。
必要に応じて指定する。
shino.hara@nifty.com（篠原章）

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 096401 |
| 科目名 | 交通論 |
| 担当者名 | 金 兎奎 |

講義のねらい 我々の日常生活において欠かせない交通サービス及び交通産業の概念・特徴・現状あるいは分析アプローチなどについて具体的かつ体系的に理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①交通論の概略：交通論を学ぶ目的、交通論の対象
- ②交通サービスの需要と供給の特性（2回）
- ③交通サービスへの規制（2回）
- ④運賃理論（2回）
- ⑤運賃政策（3回）
- ⑥社会資本整備の効果（2回）
- ⑦前記のまとめ
- ⑧公共投資の社会経済的評価（3回）
- ⑨道路整備事業（2回）
- ⑩道路政策及び道路公団の民営化
- ⑪鉄道政策及び鉄道運送事業の特徴（2回）
- ⑫国鉄の分割民営化、JR・民鉄の現状
- ⑬空港整備制度（2回）
- ⑭航空輸送事業における規制緩和及びローコストキャリアの新規参入
- ⑮後期のまとめ

履修上の留意点

交通の様々な側面を正確に理解するためには、ミクロ経済の知識を必要とする。受講者は基礎的なミクロ経済学を理解していることが望まれる。

成績評価の方法
参考書等

平常点（出席、小テストなど）と試験の成績による総合評価
藤井彌太郎・中条潮編『現代交通政策』東京大学出版会、1992年
山内弘隆・竹内健蔵『交通経済学』有斐閣アルマ、2002年
杉山雅洋他編著『明日の都市交通政策』成文堂、2003年

その他

授業は、パワーポイントを使って進めるが、補助のプリントを配布する予定である。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 038701 |
| 科目名 | 地域計画論 |
| 担当者名 | 原 昭夫 |

講義のねらい

地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などにより多様な姿を持ち多種の課題を表出している。そうした地域を見る眼を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 前期：
 - i) 4～5月／地域を知る：地域や都市の姿、成り立ち、現況、動態等を把握する。
 - ii) 6～7月／課題を発見する：地域や都市がどのような課題を抱えているか発見し考察する。
- 2) 後期：
 - i) 9～10月／課題を考える：それらの課題がどのような原因を持つか考える。
 - ii) 11～12月／地域を計画する：地域の課題を解決する方策を考え、将来像を描き提案する。

履修上の留意点

現代日本および世界の地域や都市全般の動向について幅広い関心を持ち、そこでの課題や困難の改善や克服について強い意欲を有し、その解決案を「計画」として提示できること。

成績評価の方法

出席（授業への積極性の評価）およびレポート（年数回、折々の社会や環境について自己の意見・論評・提案等の独自性の評価）。

教科書
参考書等

原昭夫著『自治体まちづくり』（学芸出版社）2,800円＋税
『都市計画』（共立出版）3,800円＋税
『都市計画論』（NHK出版）2,400円＋税
その他授業の都度に提示する。

その他

講義形式を基本とし、テーマによってはスライドも使用。聴講人数によっては共同作業型演習（「地域計画作成ワークショップ」）なども考えたい。（前年度は実施した。）

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 134101 |
| 科目名 | 政治学特殊講義（1） |
| 担当者名 | 浦田 早苗 |

講義のねらい 古代ギリシャに誕生し西欧で育まれてきた『公共』の概念について、歴史の変遷の中でどういった意味を持ってきたのか眺めていく。また、授業の中では適宜、時事問題も取り上げる。

- 講義の内容・授業スケジュール
- アクロポリスとアゴラ
 - 全ての道はローマに通ず
 - 中世ヨーロッパのブルク
 - 鷲の巣村
 - ルネサンスと寄進
 - ジャコバイト軍
 - フランス革命軍
 - 鉄血政策
 - 選挙法改正
 - パブリック・スクール

成績評価の方法 授業内で行う小テスト、及び学期末試験—あらかじめ提示した2題を出題する。（ノートの持ち込みは不可）

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 134201 |
| 科目名 | 政治学特殊講義（2） |
| 担当者名 | 山崎 望 |

講義のねらい 近代以降の政治は、主に主権国家の間の秩序が問題となる「国際政治」と、主権国家内部の秩序が問題となる「国内政治」とに分かれて論じられてきました。しかし国境を越えて人、モノ、資本、情報、文化などが時間的にも、空間的にも大規模に展開するグローバル化によって、国内政治と国際政治の境界線は以前ほど明確なものではなくなりつつあります。それによって、どのような危機と可能性が出てきたのか、そして、いかにそれらに対処していくかを「現代民主主義論」の観点から考えます。世界秩序の在り方をめぐる最新の政治理論を紹介しつつ、事例を検討する事で、参加者と共に考察を深めていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

（1）世界秩序の変動と民主主義の変容（2・3）国内政治と国際政治の変容（4）再帰的近代化論（5）主体と統治アリーナの変容（6～10）民主主義の現代的位相（11～14）リベラルナショナリズム、熟議民主主義、ポストマルクス主義、「帝国」における民主主義（15）現代民主主義論の再配置

履修上の留意点 極めて専門性の高い、いわば「現代政治理論の最前線」ともいうべき講義となりますので、当該問題に強い関心を持ち、難解な専門書を読み（場合によっては英語を含む）、随時レポートの提出や研究報告をする意思と能力を持っていることが求められます。担当者（山崎）の「現代政治理論」の単位を取得済みである事が強く望まれます。

成績評価の方法 レポート提出と平常点。

教科書 特になし。

参考書等 講義の進行に応じて、適宜指定します。

その他 受講生の人数によりますが、少人数ならば受講生による政治理論の論文の報告の機会とそれとは別に事例の紹介、意見の発表の機会を設ける予定です。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 134301 |
| 科目名 | 政治学特殊講義（3） |
| 担当者名 | 早川 純貴 |

講義のねらい 本講義では日本の労働政治の変遷を辿り、労働勢力の政治的役割、とりわけ「公労協」運動が日本労働運動史に残した意義と限界について論じていきたい。さらに、労働者を守る立場の労組の力が、他の先進諸国と比べ、日本が著しく弱い原因をも考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

①戦後労働運動の概要—権力資源論の視点から（2回）、②公労協の特色と社会党（2回）、③75年スト権ストをめぐる公労協と自民党（3回）、④国労の分裂（2回）、⑤全通の路線転換（3回）、⑥総評の崩壊と連合への合流—労働戦線統一に向けて（2回）

履修上の留意点 講義では労働組合運動の解説のみならず、自民党や（旧）社会党にも言及する。日本の現代政治を労働勢力と政府・自民党との対立と妥協の視点から論じることになるが、労働政治に関心のある学生の聴講を歓迎する。

成績評価の方法 定期試験、および回数実施する小テストの合計点数により評価する。

教科書 使用しない。

参考書等 講義の中で随時紹介する。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 134401 |
| 科目名 | 政治学特殊講義(4) |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 |

講義のねらい 日本の政治学のあゆみも百数十年の歴史をかぞえます。われわれは先人たちの業績の上に、政治学研究をおこなっています。本講義では、「日本政治学の展開」をテーマに定めます。具体的には、幕末期から明治期、大正期、昭和前期、昭和後期、それぞれの段階でどのような政治学的な取り組みがされてきたのかを回顧してみたいと思います。本年度のみの開講科目となりますので、多くの学生の受講をのぞみます。

講義の内容・授業スケジュール

- I はじめに(1)
- II 幕末期～公議政体論、大政奉還論、御委の論理など(2～4)
- III 明治期～官立アカデミズムの形成、私学アカデミズムの形成、フェノロサ、ラートゲン、小野塚喜平次など(6～8)
- IV 大正期～大正デモクラシー、吉野作造、美濃部達吉、大山郁夫、岩崎卯一など(8～9)
- V 昭和前期～大東亜戦争と政治学者たち(10～12)
- VI 昭和後期～大衆社会論、天皇制ファシズム論、丸山真男論など(13～14)
- VII まとめ(15)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

教科書ならびに参考書等で予習をしておいてください。
平常点(授業内試験をおこないません)。
大塚桂『近代日本の政治学者群像』(勁草書房)3800円
大塚編著『日本の政治学』(法律文化社)2700円
大塚『大東亜戦争期の政治学』(成文堂)3800円

政
治

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 130501・130502 |
| 科目名 | 外書講読I(英書) 外書講読II(英書) |
| 担当者名 | みたけ なおや 三竹 直哉 |

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール

英語で政治学を勉強します。また、興味がある内容を通じて英語力を高めることも目的とします。参加者の希望や人数によって、内容もやり方も変わってきます。扱う文献は、参加する人の関心や希望に応じて決めます。比較政治学に関連した内容を原則としますので、比較政治学の授業内容をよく確認して参考にしてください。

履修上の留意点

2008年度は、日本語訳がある英語文献を毎週少しずつ各自で読み進め、授業でわからないところや重要なポイントを討論するかたちで授業を行いました。

あくまでも政治学科の専門科目です。「英語の授業」ではありません。政治学科の3年次もしくは4年次生として、当然持っているべき知識は前提として授業を進めます。

成績評価の方法

授業に関連する新聞記事などを課題として指定することがあります。授業で扱った事柄について自ら調べたり勉強したりする課題も出る可能性があります。自分の将来のために真剣に勉強している人向けの授業です。

教科書
参考書等

期末テストと小テストを行い、平常点を加味して採点します。一般に外書講読ではテストをやりませんが、テストを行った方がみなさんの力がつくのは明らかですので、みなさんの力をつけるためにこの授業では小テスト等を行います。ただし、小テストと平常点で十分な場合には、期末テストは行わない場合があります。詳細は授業開始時に説明します。

その他

英文の本を指定するかもしれませんが、その場合、授業中に案内します。辞書は中辞典以上の大きさのものを毎回持参してください。電子辞書も可です。学習用英英辞典の“Cobuild English Dictionary”はおすすめてです。電子辞書も、この辞書が入っているものをすすめます(必ず買わなければいけないわけではありません)。

最新の情報は YeStudy で確認してください。

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 130601・130602 |
| 科目名 | 外書講読I(英書) 外書講読II(英書) |
| 担当者名 | 清滝 仁志 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この講義では、政治に関する英文に慣れ親しむことから始めて、比較的視野で政治問題・国際問題を学ぶ方法を身につけることを目的にします。「比較は頭脳を明晰にする」(フランスの政治思想家トクヴィルの言葉)のであり、政治学科で学んだ知識をさまざまな分野に活用しようという場合、比較的視点は不可欠です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | さらに新聞・雑誌を読みこなすことのできる基礎的な英文読解能力を身につけます。TOEIC、公務員試験の各種試験における英文読解に対処できるだけの実力をつけることを期待しています。さらに英文読解を通じて、日本語における論理的思考(ロジカルシンキング)、論文・レポートの作成能力の向上にもつながるように配慮します。 |
| 履修上の留意点 | 英字新聞・雑誌等に掲載された政治関連の最新の記事を毎週、読んでいきながら、同時に記事に関連した政治学の基礎知識を講義で説明します。とくに後期では、日本の新聞とは違った視点で政治を分析している外国の文献をとりあげ、政治に関する多角的な知識を身につけていただきます。やさしく解説を加えた、たくさん英文を授業で読んでいくことによって、長文に慣れていきます。 |
| 成績評価の方法 | 辞書を何度も引きながら、ゆっくりと英文を読んでいくのではなく、説明をつけた英文をたくさん読んでいきます。1年間かけて授業で「たくさん読む」ことが目標です。英文読解に加え、国際事情・時事問題について理解・関心を深めることを期待しています。とくに国際問題において、日本のメディアを通してだけでは得られない情報をとりあげ、紹介していきますので、それらを生かし、皆さんの政治を論じる能力を向上させてください。 |
| 教科書 | 授業の参加状況・課題の提出などで判断します。評価では、講義を受けることでのいかに力をつけたか、を重視します。定期試験は実施せず、平常点で評価します。 |
| 参考書等 | *欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。 |
| その他 | 解説を加えた資料を毎回配布します。英字新聞は朝の短い時間に一般人が読む媒体であり、日本の高校生レベルの英語で書かれていますので、1年かけて慣れ親しむことによってかなり読みこなすことができます。授業と並行して取り組むことをお勧めします。「毎日1分!英字新聞」 http://www.ka-net.com/magazine.html 英字新聞を読むための参考書として伊藤サム『第一線の記者が教える英文記事の読み方』(ジャパントイムズ) 同じ著者の『伊藤サムのこれであなたも英文記者』(ジャパントイムズ)もお勧めします。授業を通じて、身の回りの情報に自発的・積極的に関心を抱く知的習慣が身につくことを期待します。授業の性格上、大学院受験等で英語を勉強される場合、別の担当者の授業をお勧めします。質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。Yestudy (https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/) に授業ページを設置します。パスワードは授業で連絡します。 |

政治

| | |
|-------|----------------------|
| 履修コード | 130701・130702 |
| 科目名 | 外書講読I(英書) 外書講読II(英書) |
| 担当者名 | 相田 敏彦 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------|
| 講義のねらい | メディア、メディア研究関連の英文読解。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 資料(McQuail's Mass Communication Theory)はコピー配付する。 |
| 履修上の留意点 | 英語が得意科目であることが望ましい。 |
| 成績評価の方法 | 平常点 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 120701・120702 |
| 科目名 | 外書講読I (独書) 外書講読II (独書) |
| 担当者名 | <small>まつむら いたる</small> 松村 格 |

講義のねらい ドイツ語の法学文献を読むことを通して、ドイツ人の法的感覚・法意識・法理論の構成を学習し、日本人のそれらと比較することによって、日本と日本人の法意識についての長短を知ることが目的とします。

講義の内容・授業スケジュール ドイツ語の法学文献を逐条解釈していきます。私が毎週指定した範囲の文章について、受講生が予習してきて全員が順番で翻訳発表することになります。そして、解釈の是非を相互に指摘しながら読み進めます。

履修上の留意点 毎週出席して参加することが不可欠です。日本の法学・法哲学・法理論の基本書を参考にしながら、講読すると理解しやすいです。ドイツ語の文法書と独和辞典を常に携帯してください。ノートに原文と訳文を筆記することも良策です。

成績評価の方法 普段の予習・復習の態度と講読力および出席回数によって評価します。

教科書 未定。第1回目の授業に配布します。

参考書等 未定。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 120801・120802 |
| 科目名 | 外書講読I (仏書) 外書講読II (仏書) |
| 担当者名 | <small>あらかき まさたか</small> 荒木 正孝 |

講義のねらい わが国が近代国家として出発するとき、ヨーロッパ諸国の法制度や政治制度に多くを学んだ。そして、その諸制度は基本的に現在もわが国を支える法的・政治的枠組みとなっている。これらの諸制度が、本来どのような考え方を基礎として生まれ、どのような社会的、経済的、政治的背景のもとに発展してきたのかについて、フランス語の原書の講読を通して母国語の思考や事情を学び、わが国の制度をより広い観点から深く理解する力をつけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール 教材は、受講生の語学力に合わせ、公法や私法の基本的な考えや政治の仕組みをやさしく解説した文献を選ぶつもりである。

履修上の留意点 履修にあたっては、基礎的なフランス語の力が必要であるが、なによりも継続して文献の解説に取り組む熱意のあることが求められる。

成績評価の方法 成績は、出席の回数と平常の努力を評価して行う。ペーパーテストは行わない。

教科書 教材については、必要に応じてプリントを配布する。

参考書等 参考書は、授業の内容に応じてその都度紹介する。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 120901・120902 |
| 科目名 | 外書講読I (中国書) 外書講読II (中国書) |
| 担当者名 | <small>いわさき ひろし</small> 岩崎 皇 |

講義のねらい 中国の今を知るために、時事的文章を読みます。

講義の内容・授業スケジュール 文章の訳読を中心に授業を進めます。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。なお、就職活動を行う学生はそのつど状況を報告してください。場合により上記の制限を多少緩和することがあります。また、これまで中国語を勉強したことのない人は履修できません。

成績評価の方法 履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、課題提出、テスト等で評価します。

教科書 受講者の状況を見た上で決めます。

政
治

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 101202 |
| 科目名 | 現代企業論 |
| 担当者名 | おう しゅん 王 志安 |

講義のねらい

野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 経済情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターン
- 第4回 ポートフォリオ・マネジメント
- 第5回 企業とCSR
- 第6回 債権市場の役割と投資の基礎知識
- 第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識（1）
- 第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識（2）
- 第9回 投資信託の役割とその仕組み
- 第10回 日本の株式市場の歴史
- 第11回 経済成長と金融資本市場
- 第12回 資本市場における投資家心理
- 第13回 資産運用とライフ・プランニング
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

定期試験および追試験は実施しない。
出席点とレポート点で評価する。
毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。
野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。
氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。

その他

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 133651 |
| 科目名 | 時事英語講座 |
| 担当者名 | よこやま しげる 横山 滋 |

講義のねらい

英語の新聞に親しみ、英語で書かれた時事問題の記述を読み解くための基礎的な知識と技能の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

読売新聞社発行の英字新聞、The Daily Yomiuri に掲載された各種の記事を読みながら、新聞記事における見出し、リード、本文などの構造とそれらについての約束ごとなどを、具体的に学んでゆきます。

履修上の留意点

原則として、予め定められた記事について、翌週の授業で履修者の理解した内容を発表してもらい、それについて質疑を行ないながら勉強をしてゆくことにしますから、そのための予習が不可欠で、それがないと学習の効果は期待できません。真面目に努力する諸君の参加を期待します。

成績評価の方法
教科書

主として学期末に行う試験によりますが、日常の活動状況も考慮に入れます。
上記の The Daily Yomiuri 紙を用います。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 132201・132202 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>あいだ としひこ</small> 相田 敏彦 |

講義のねらい 一言でいえば、マスコミ、広告・広報、情報化がゼミのテーマである。マスコミは興味深いだけでなく、政治学の根底にかかわる領域である。テレビCMを含め、広告・広報はどんな企業・組織体にとっても重要な問題であり、実社会とつながりの深い実践的テーマである。パソコン・ケータイ・インターネットに象徴される情報化の急速な進行も、身近な生活から企業内にまでおよんでいる。メディア・広告・情報化の3領域のなかから、各自に、またグループ単位に好きなテーマを選択し、資料調べ・発表・討論などを行ないながらまとめてゆく。合宿やふだんの授業で友人との親しきが増すだけでなく、人前での発言・発表能力、ものを書きまとめる能力を2年次より一層高め〈ゆったり・楽しく・着実に〉進展・燃焼する場としてのゼミにしたい。

当ゼミの特徴を一言でいえば、おもしろきプラス実践性の高い役に立つ知識の習得プラスコミュニケーション能力の向上である。

講義の内容・授業スケジュール <基礎演習>に記載の内容を参照。それをいっそう高度化したい。

成績評価の方法 前期：レポートを書く力、口頭発表力を2年次以上のレベルにまで高める(3年生)。ゼミ論文のテーマを決める(4年生)。後期：ロール・プレイングにもウェイト(3年生)。ゼミ論文の書き方を学び、執筆・完成して1冊のゼミ論文集を作る(4年生)。平常点。

政治

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 131701 |
| 科目名 | 演習I |
| 担当者名 | <small>うらた さなえ</small> 浦田 早苗 |

講義のねらい これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール 2009年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行う。

履修上の留意点 オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならぬ。

成績評価の方法その他 発表内容と各自の持つ勉学意欲(発表に対する質問・意見等)によって評価する。学内のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 132511 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | <small>うらた さなえ</small> 浦田 早苗 |

講義のねらい これまでわれわれが直面してきた、そしてこれからも直面し続ける様々な政治・社会現象について、純粹かつ鋭い視点から問題を喚起し、幅広い柔軟な発想をもって解決策を導きだせる人材を育成することに主眼をおいている。

講義の内容・授業スケジュール 2009年度は共通テーマとして「混乱の世界と日本」とし、内外の重要課題について個人研究及びグループ研究が行う。

履修上の留意点 オリジナリティ溢れる問題解決策・プランニングの作成にはかなりの時間を費やさなければならぬ。

成績評価の方法その他 発表内容と各自の持つ勉学意欲(発表に対する質問・意見等)によって評価する。学内のディベート戦に積極的に参加すること、及び年2回の合宿とゼミ論集の刊行を励行している。

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 124801・124802 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | おう しあん 王 志安 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 国際裁判および国内裁判の判例の分析を通して、現代国際法の適用過程を検証する。具体的に、慣習国際法が裁判においてどのように確認され、適用されるか、また条約がどのように適用されるかを実際の判例において分析する。そして演習を通して国際法に関する知識だけでなく、判例分析や報告書又は小論文の作成に関する知識および能力をも養っていただきたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | テーマとして国家の領域紛争、国際法における承認および人権問題にかかわる判例を選定し、判例の読解および関連の参考資料の学習を通して国際法の適用における実情および問題点を明らかにしていく。前期において特定の中心テーマを基準に選定された事例の勉強となるが、後半において参加者の関心を尊重して個別の判例の分析を中心に演習を行っていきたい。また、夏休みでは、原文（英文）の国際判例を読み解くための合宿を行う。 |
| 履修上の留意点 | 出席および配布された資料を事前に読むことを要求する。 |
| 成績評価の方法 | 演習への参加状況および報告に望む態度や積極性を考慮して評価する。 |
| 教科書 | 『判例百選国際法』（有斐閣）2001年 |
| その他 | ゼミに関する情報などは、Yestudy から入手できる。 |

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 133501・133502 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | おがつか かづら 大塚 桂 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 政治学における基礎的的原理的研究をおこないます。基礎研究にあたっては、古典的文献の取り組みが不可欠です。政治原理・哲学・国家論に関心のある学生の参加を期待します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | I政治学の基本文献を輪読する。 II共通テーマを設定し、共同研究をおこなう（例えば、明治の政治家たち、自由主義の系譜）。 IIIゼミ生各自が定めた個人研究の発表とそれに対する指導をおこなう。 |
| 履修上の留意点 | 一定の読書と思索をつみかさねてきた学生の参加を切望します。政治学原論か現代国家論を履修し、私の政治学に対する姿勢を理解してくれる学生さん、いらっしやい！ |
| 成績評価の方法 | 平常点 |
| 教科書 | 教員が準備し提供します。 |
| 参考書等 | 参考書として、拙著をあげておきます。図書館等で目を通しておいてください。大塚『フランスの社会連帯主義』（成文堂）、同『ラスキとホップハウス』（勁草書房）、同『多元的国家論の展開』（法律文化社）、同『多元的国家論の周辺』（信山社）、同『近代日本の政治学者群像』（勁草書房）、同『明治国家と岩倉具視』（信山社）、同『明治維新の思想』（成文堂）、同『ヨーロッパ政治理念の展開』（信山社）、『大東亜戦争期の政治学』（成文堂）。 |
| その他 | 4年次生は就職活動を最優先させます。金銭的負担（OB会・合宿等）、規則、束縛は一切ありません。年1～2回のお食事を開催しますが、教員がゼミ生をご招待いたします。 |

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 124601・124602 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | きたの かほる 北野 かほる |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 英米法の諸特徴について具体的に理解を深める。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | ゼミ員全員で検討のうえ選んだテキストを輪読形式で読み進める。毎回担当者を決め、テキスト内容のほか関連事項を調査・報告させ、それにつき全員で討論する。 |
| 成績評価の方法 | 演習II（四年次生）は毎回出席してテキストの指定された箇所の購読に参加した平常点のほか、卒業研究発表と卒業レポートにより評価。 |
| 教科書 | 提示する候補の中からゼミ員全員が検討して決定する。 |
| 参考書等 | 随時適宜紹介する。 |
| その他 | 十分な事前学習が要求される。受け身の出席はしないこと。 英米法の講義を受講済か、受講中であることが要求される（単位は修得していなくても構わない）。 |

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 133301 |
| 科目名 | 演習I |
| 担当者名 | きよたき ひとし 清滝 仁志 |

講義のねらい

本演習では、現在の社会における変化を政治学の観点を通じて考えていくことを目的としています。皆さんの生きている現在は、かつてない規模と速さで社会が変化し、今までになく将来が見えない時代となっています。演習では、同時代の状況を理解し、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざしていきます。

演習を通じて、自分で未来を切り開くための基礎的知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

さらに、文章の表現能力を身につけるための練習や報告の仕方について、演習という特性を生かしながら具体的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 講義の内容

①テーマを設定しグループで討論

就職面接等を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得。

前期は、ボードを整理しながら、皆で意見を集約する集団討論(通称・ポストイット・ツリー)をおこないます。

後期は、実践的に相互評価をしながら、皆の前で討論し、的確な意見をその場ですぐに話す訓練(通称・金魚鉢)をおこないます。

②グループごとに順番にニュース解説

最近の事件をとりあげ、コメントを加えながら背景等の説明。

後期は、グループごとに就活面接のポイントを学びます。

(2) 講義の目的

①政治・経済・社会の基本的問題について理解

②自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を習得

③さまざまな情報を自分で的確に判断できる知的能力を習得

さらに公務員試験、就職活動に対応できるように配慮します。

履修上の留意点

演習での課題は、次のとおりです。

①資料等を毎回熟読

②口頭発表

③レポート、ゼミ論文集の作成

④グループ討論(議論するだけでなく、司会・報告の技術を訓練)

成績評価の方法

演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度、出席状況

なお、欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。

教科書その他

資料を適宜配布します。

ゼミの行事…コンパ、合宿(夏)、都内の諸施設見学(新聞社、日本銀行、皇居、東証、国会等)

授業中に4年生の就職活動報告などを適宜おこないます。

質問があれば、kiyotaki@komazawa-u.ac.jp まで。

Yestudy (<https://yestudy.komazawa-u.ac.jp/>) に演習のページを設置します。パスワードは授業で連絡します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 133511 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | 清滝 仁志 |

講義のねらい

本演習では、現在の社会における変化を政治学の観点を通じて考えていくことを目的としています。皆さんの生きている現在は、かつてない規模と速さで社会が変化し、今までになく将来が見えない時代となっています。演習では、同時代の状況を理解し、将来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざしていきます。

演習を通じて、自分で未来を切り開くための基礎的知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

さらに、文章の表現能力を身につけるための練習や報告の仕方について、演習という特性を生かしながら具体的に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 講義の内容

①テーマを設定しグループで討論

就職面接等を念頭におきながら、議事進行・意見集約・建設的討論の技術を習得。

前期は、ボードを整理しながら、皆で意見を集約する練習(通称・ポストイット・ツリー)をします。

後期は、実践的に相互評価をしながら皆の前での確かな意見をすぐに話す討論の練習(通称・金魚鉢)をします。

②グループごとに順番にニュース解説

最近の事件をとりあげ、コメントを加えながら背景等の説明。

後期は、グループごとに就活面接のポイントを学びます。

4年生には、集団討論の下級生への指導等もおこなってもらいます。

(2) 講義の目的

①政治・経済・社会の基本的問題について理解

②自分の考えを的確にまとめ、相手にわかりやすく表現する技術を習得

③さまざまな情報を自分で的確に判断できる知的能力を習得

さらに公務員試験、就職活動に対応できるように配慮します。

演習での課題は、次のとおりです。

①資料等を毎回熟読

②口頭発表

③レポート、ゼミ論文集の作成

④グループ討論(議論するだけでなく、司会等の技術も学ぶ)

出席状況、演習での報告内容、議論の参加状況、グループでの協力の程度、ゼミ論文提出

なお、欠席・遅刻が目立つ場合、履修中止を適宜、勧告します。

資料を適宜配布します。

ゼミの行事…コンパ、合宿(夏)、都内の諸施設見学(新聞社、日本銀行、皇居、東証、国会等)

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書その他

政治

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 132101・132102 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 小堀 訓男 |

講義のねらい

国家は国際社会にあって、外部から受けるインパクトに対し、さまざまなアクションを引起す。これを国家の行動と呼ぶならば、国家は国際社会のなかで行動するための何らかの基準があるのではないかと、という素朴な疑問をもって、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などを研究の素材としてとりあげ、それらの事象を分析する。つまり、この演習では、国家には何らかの行動基準があるのではないかと問題意識をもって、諸種の国際事象を分析、考察する。

第1回から第4回までの演習では、“国際政治とは、いかなるものか”をテーマに討論し全員が国際政治について共通の認識をもてるようにする。

第5回から第8回までの演習では、国家についての基礎的知識を得るために、国家論の諸説を整理する。殊に、国家・民族・階級について、各自研究し討論する。

第9回からの演習では、戦争・紛争・国家間の経済問題・国家の統合などの具体的な事象について、興味あるテーマを各自が選び、その現象を分析しながら、国家の内部に包含されている民族や階級が、その国家の行動にどのように作用しているかを考察し、国家の行動基準の法則性の有無を検討する。

履修上の留意点

問題意識を明確にもった学生の受講を希望する。殊に国家の政策決定について興味をもっている学生の受講をのぞむ。

成績評価の方法

講義中の発言、研究発表の内容で評価する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他の

ゼミ生は、テーマ別の研究班に分かれて研究会をおこないます。(例)アメリカ研究班、中東研究班、東南アジア研究班、EU研究班、理論研究班等。よって、積極的に参加する者の応募を望みます。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 125001・125002 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 佐藤 多美夫 |

講義のねらい 刑法を知るためには、犯罪について刑法総論及び各論で修得した基礎的知識を具体的に当てはめてみるのが有用である。しかし具体的事実を刑法の立場から眺めてみることは意外と難しいと思われるので、ひとつ一つ、理解を得ながら進めることにする。

本演習の目標は結局のところ、具体的な事実を刑法を適用して解決することにある。この目標を達成するためには、事実に含まれている刑法上の論点を抽出してその論点について自己の立場から態度決定して結論を提示することが必要である。一般的に結論には多角的・多面的な見方があり得るので相手の立場・考え方にも耳を傾けそれに対して自己の見解を論理的に主張し説得力のある反批判ができる必要がある。これにより自らの結論の妥当性を検証することができる。

講義の内容・授業スケジュール 判例、事例を素材にして罪刑法定主義、因果関係、不作為犯、違法性、正当防衛、緊急避難、故意と事実の錯誤、過失犯、違法性の意識、責任能力、未遂、共犯、傷害罪、窃盗罪、強盗罪、詐欺罪などを扱う。

履修上の留意点 刑法に興味がある。
刑法がわかりたい。
刑法がしりたい。
刑法がつかいたい。
刑法をたのしむ。

成績評価の方法 レポート、発言、出席等を総合評価
教科書 刑法の基本書・判例集等 演習時間に適宜紹介する。
その他 「見えざる刑法」が見えてくれば幸いである。

政
治

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 133101・133102 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 塩入 みほ |

講義のねらい 行政法上の諸問題をとり上げて、演習を行います。他から教授されるだけの受動的な学問ではなく、判例及び学説を自分なりに分析・検討する作業を通じて能動的に研究し、報告し、且つ他の者と法律学的討論を行えるための能力を鍛錬することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 当演習は、学生の主体性を重視しているため、毎年度、ゼミの運営方針・内容はゼミ生と話し合っていて決めています。但し、取り扱うテーマは、基本的には行政法総則一般、行政訴訟法、行政手続法、情報公開法などの各分野からの選択になります。

履修上の留意点 公務員、行政書士等の国家試験受験者には特に有意義であると思われませんが、それ以外の者でも無論履修可能です。

成績評価の方法 平常点（出席・報告・発言等）により成績評価を行います。
教科書 未定
参考書等 初回授業の際に紹介します。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 124501・124502 |
| 科目名 | 演習I・演習II |
| 担当者名 | たかはし ひろき 高橋 洋城 |

講義のねらい

この演習は、法律の解釈論や政策論の基礎となる原理的な議論に関心を持つ学生のために「法哲学演習」として開講するものである。「法学の学習の中で培った知見を応用する」と同時に、それを「哲学や社会科学その他を含む広い文脈のなかで捉えなおすこと」、この両方が本演習の目標であるが、さらに社会科学的文章の扱い方に慣れることや、報告や討論の中で問題を掘り下げる能力の養成も本演習の中で心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

<基本方針> 1年間を通じて扱う統一テーマを設定して演習を進めていく。とりあげる内容は、現代の法的問題をいくつかえらんで検討していく場合と、古典的文献精読を中心に進める場合と、年度ごとに重点の置き方を変えていく。

本年度の具体的なテーマは演習開始時に相談の上決定するので未定であるが、参考までに過去にとりあげた題材やテーマを紹介しておく。

テーマの一例：配分的正義と福祉国家 公正の概念 平等論 格差社会 所有権論

民主主義 私法の意義

購読文献の一例：ミル『自由論』、ロック『統治論』、ドゥオーキン『権利論』

ルソー『社会契約論』

<年間スケジュール> 前期は、選定した文献についての報告を軸にし、テーマに関する議論を参加者全員が共有することを目指す。後半は、そこから発展したテーマやさらに議論を深めるための文献を割り当て、より各参加者の関心に引きつけた報告を行なってもらう予定。

<運営方法> 毎回の演習は、報告・質疑・討論の形式で運営する。報告者の他、あらかじめコメントーターを指定する。

履修上の留意点

常に積極的に発言すること、おそれずに聞くこと、調べる手間を厭わないことを、演習参加者の姿勢として求める。

成績評価の方法

平常点（出席、報告および討論における発言を勘案して評価）と全日程終了後提出のレポートにより総合評価する。

教科書

特に指定しない。

政治

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 132001 |
| 科目名 | 演習I |
| 担当者名 | たまる だい 田丸 大 |

講義のねらい

行政の活動や政策は、世の中の我々の生活とも密接に関わっている。そういった行政活動について、ディベートや研究発表を行ってもらう。なるべくグループでの作業を多くし、チームワークを重視する予定である。過去に扱ったテーマは、サマータイムの導入の是非、消費税の引き上げの是非、駅前の放置自転車対策、官僚の天下り、振り込め詐欺などバラエティに富む。自分たちの興味を持った事柄を自主的に調べ、それをもとに議論を深めて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

年間の演習を5回ずつ程度に分けて、ディベートや研究発表を繰り返していきたい。例えば、夏休み前にディベートを2回くらい、研究発表1回くらいできれば十分と考えている。

履修上の留意点

大学生の間に、アルバイトやサークル以外に勉強つながりの友人も作り、グループでの作業によってチームで物事を達成する充実感を味わってほしいというのが、担当教官の願いです。演習は、就職活動や社会人になってから必要とされる能力を間接的に養う機会だと思います。

成績評価の方法

OB会の準備などをお願いする予定です。

教科書

平常点による。
特に使用しない。

| | |
|-------|------------------------|
| 履修コード | 132011 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | 田丸 大 ^{たまる だい} |

講義のねらい 行政の活動や政策は、世の中の我々の生活とも密接に関わっている。そういった行政活動について、各自でテーマを設定し、発表及び短めの論文を作成してもらおう。可能であれば、2年生の基礎演習、3年生の演習との交流の機会も持ちたい。なるべくグループでの作業を多くし、チームワークを重視する予定である。過去に扱ったテーマは、サマータイムの導入の是非、消費税の引き上げの是非、駅前の放置自転車対策、官僚の天下り、振り込み詐欺などバラエティに富む。
前期にテーマの選定と骨子の作成、後期に発表及び論文の作成を行えばと考えている。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点 大学生の間に、アルバイトやサークル以外に勉強つなぐりの友人も作ってほしいというのが、担当教官の願いです。
OB会の準備などをお願いする予定です。

成績評価の方法 平常点による。就職活動期間中については、考慮します。
教科書 特に使用しない。

| | |
|-------|--------------------------|
| 履修コード | 132501 |
| 科目名 | 演習I |
| 担当者名 | 富崎 隆 ^{とみさき たかし} |

政治

講義のねらい 全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思ひます。演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思ひます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加していく中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール 演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中で誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

第2に、具体的な、みなさんの毎週の研究会での中心活動は、当面ディベート（模擬討論）になると思ひます。毎週のディベートを通じて、政治学における基本問題に対する理解と問題発見してもらひます。研究会でのディベート実施の目的は、政治学の従来議論の意義と問題点を探ることにあります。しかし、同時にディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらひたいと思ひます。

第3に、研究会としてインターカレッジ・セミナーに参加していきたいと思ひます。他の参加ゼミとしては、明治大学・小西ゼミ、慶応義塾大学・河野ゼミ、拓殖大学・大谷ゼミなど（予定）があります。このセミナーでは、年1回の共同合宿や講演会、大学対抗のディベート大会などを行なっていく予定です。

履修上の留意点 積極的・主体的参加を期待します
成績評価の方法 受講生と相談の上、総合的に評価します
教科書 特に定めません
参考書等 特に定めません

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 133051 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | とみさき たかし 富崎 隆 |

講義のねらい

全体としては、現代政治学の理論的・実証研究（特に数量的研究）を「体験すること」を演習の主たる目的としていきたいと思ひます。演習の雰囲気自体は、学生諸君と「創りあげていく」ものだとも思ひます。そして、共同（及び個々に）で研究活動やその他の活動に参加して行く中で、「現代政治をみる視点」を養って欲しいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

演習の第1の活動は、3年次における共同研究、4年次における卒業論文の作成です。ここでいう「研究」とは、本を読んでまとめることとは基本的に異なります。それは単なる「お勉強」です。本研究会における研究とは、従来世界中で誰も「知らなかった」「そうであるといえなかった」政治現象を「そうである」と確認・発見する作業です。もちろん、そのためには多くの努力と創造性が必要です。

第2に、具体的な、みなさんの毎週の研究会での中心活動は、当面ディベート（模擬討論）になると思ひます。毎週のディベートを通じて、政治学における基本問題に対する理解と問題発見をしてもらひます。研究会でのディベート実施の目的は、政治学の従来の議論の意義と問題点を探ることにあります。しかし、同時にディベートを通じ諸君の論理・実証・思考・討論能力を向上させてもらひたいと思ひます。

第3に、研究会としてインターカレッジ・セミナーに参加していきたくと思ひます。他の参加ゼミとしては、明治大学・小西ゼミ、慶応義塾大学・河野ゼミ、拓殖大学・大谷ゼミなど（予定）があります。このセミナーでは、年1回の共同合宿や講演会、大学対抗のディベート大会などを行なっていく予定です。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

積極的・主体的参加を期待します
受講生と相談の上、総合的に評価します
特に定めません
特に定めません

政
治

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 132301・132302 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | なかの ゆうじ 中野 裕二 |

講義のねらい

自分で研究テーマを決め、年度末にゼミ論文として提出することを目標とします。研究テーマは、受講生の問題関心に即して決定します。「自分はどうしてこの事に関心を抱いているのか？」を自問することも大切なことだと考えます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回の演習の時間は、ゼミ論文の中間報告、または、論文作成のために必要な文献の内容紹介にあてます。毎回1人または2人の報告を行い、内容の発表と質疑応答を通して論文作成上の問題点を洗い直し、または自分の問題関心の再確認を行います。

履修上の留意点
成績評価の方法

自発的に研究し、論文をまとめる意志のある学生のみ受講してください。
出席、ゼミ論文の提出、報告内容・質疑応答の内容などを総合的に判断し、成績評価とします。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 125701・125702 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | にし おさむ 西 修 |

講義のねらい

私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉学ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけ出す場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思ひています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・授業スケジュール

前記と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1) 日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2) 憲法第9条をめぐる諸問題、(3) 世界の憲法トレンド、(4) 人権の現代の意味などを考えています。その他、年に1回は合宿を行います。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

「講義のねらい」で記述した方針でのぞみますので毎回出席すること。
出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。
開講時に指示する。
適宜紹介する。
合宿中に私の落語を聴かされることがあります。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 132701 |
| 科目名 | 演習I |
| 担当者名 | <small>はやかわ よしき</small> 早川 純貴 |

講義のねらい 当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール 当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらおう。平成21年度の前期・統一テーマは「政策、アクター、アリーナ」である。国の法律や地方自治体の条例などが成立する背景とその成立過程の解明、政策の立案、決定、執行の各段階で登場する政治アクターの行動や目的の分析、アクターたちが行動し競合する場であるアリーナの特徴の抽出、などに取り組んでみよう。ある政策にかかわるアクターが誰であり、どのような場で政策案が決定に至るのか。その場は開放的か閉鎖的か、あるいはその場に参加するアクターたちはどのようなイデオロギーや利害を有しているのか。こうした問題を解き明かすことで日本の政策決定の本質に迫ることができるであろう。

履修上の留意点 当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法 個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。
教科書 教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

政
治

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 133001 |
| 科目名 | 演習II |
| 担当者名 | <small>はやかわ よしき</small> 早川 純貴 |

講義のねらい 当演習の基本目的は現代日本政治の特質を理解し、その問題点を探り出すこと、あるいはそれらの問題をいかに克服できるかを考えることである。特に当演習では研究対象を政策形成・施行過程に置く。具体的には、いくつかの政策が成立する背景と過程を明らかにしつつ、それらがいかに施行されたか、その過程でどんな問題が生じたのか、あるいはそれらの政策が日本の経済や社会、国際関係にどのような意味・影響を持ったのかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール 当ゼミは前期が統一テーマによるグループ研究であり、後期は学生自身が選択したテーマで個人発表を行い、あわせてゼミ論を執筆してもらおう。平成21年度の前期・統一テーマは「政策、アクター、アリーナ」である。国の法律や地方自治体の条例などが成立する背景とその成立過程の解明、政策の立案、決定、執行の各段階で登場する政治アクターの行動や目的の分析、アクターたちが行動し競合する場であるアリーナの特徴の抽出、などに取り組んでみよう。ある政策にかかわるアクターが誰であり、どのような場で政策案が決定に至るのか。その場は開放的か閉鎖的か、あるいはその場に参加するアクターたちはどのようなイデオロギーや利害を有しているのか。こうした問題を解き明かすことで日本の政策決定の本質に迫ることができるであろう。

履修上の留意点 当演習は法律学科の学生にも開講する。政治学科の学生はもとより、政策の形成・執行に関心のある法律学科学生諸君の参加を大いに歓迎する。また当演習は春と夏に合宿を行うが、そこではディベートやパネル・ディスカッションなど、通常の演習ではあまりできないことを企画している。

成績評価の方法 個々人の発表・報告の充実度、レポート・ゼミ論の内容などを総合的に判断して評価する。
教科書 教科書は使用しない。参考文献は演習の過程で随時紹介する。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 123601・123602 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 藤本 茂 |

講義のねらい わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。夏季には研究合宿を行いません。

履修上の留意点 演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。講義科目として、労働法はもとよりのこと、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

成績評価の方法 出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追試はありません。

教科書 金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所 2009）。菅野和夫著『労働法』（弘文堂）
労働判例百選
労働法の争点

参考書等 必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探すことが勉強の第一歩と思っています。

政
治

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 132401・132402 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | 三竹 直哉 |

講義のねらい 比較政治学的な研究を自らやってみる演習です。せっかく大学に来たのだから、中学校や高校の自由研究レベルのものではなく、自分の問題意識で本格的に卒業研究をやってみたいという人向けです。小学校以来受けてきた教育の集大成であり、自分の〈作品〉となる卒業論文を作成します。たくさん書き、本や論文にたくさん接し、いろいろな人に会い、図書館にたくさん行ってもらいます。そういうことが「楽しい」と思う人向けの演習です。

講義の内容・授業スケジュール お互いに助け合いながら個人研究を行います。やり方や内容は年によって参加者によってかなり異なります。卒業してからどんな分野に進んでも役に立つよう、知的な仕事をする上での基本的な訓練、練習は三年次に必ず行います。簡潔で論理的な文章の書き方のトレーニング、ノートの取り方、自己分析、プレゼンテーションのしかた、スケジュール管理のしかた等々を、かなり細かくやります。原則として、研究テーマは、比較政治学やその他三竹担当の授業内容に関連したものを自分で設定することになります。

履修上の留意点 応募する前に必ずメールで相談してください。向いていないゼミに応募してしまうと、ゼミを履修するチャンスを失ってしまう可能性があります。

4年次にもしっかり勉強し、よい卒業研究をしたい人のためのゼミです。4年次は出席しなくてもよいなどという方針はとっておりません。その他にも条件がありますので、応募前に相談してください。法律学科から応募する方は特に注意が必要です。必ず応募前に相談してください。

成績評価の方法 詳しい案内は、YeStudy に掲示してありますので、そちらを参照してください。また、在籍中のゼミ生やゼミ卒業生に直接話を聞き取れば、紹介します。見学も歓迎します。

教科書その他 自己評価を基本とします。たくさんあります。その都度、指示します。（買わなければいけないものは多くありません。）
mitake@komazawa-u.ac.jp
最新の情報は YeStudy で確認してください。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 133401・133402 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 三船 恵美 |

講義のねらい 現代の国際関係について自分自身の視角を形成し、それを報告しながら討論することを学ぶのが、本ゼミの目的です。複数の学生全員が同じ考え方をすることはあり得ません。異なる考え方の学生が集まり、異なる価値観に対して排他的になることなく、しかも単なる「仲良し関係」では終わらない知的緊張関係の中で、対立するところでは対立し、評価できるところは評価しあうことを学びましょう。自分の意見を単純に主張するだけではゼミに参加する意義がありません。議論は言い争うことと本質的に異なるものです。議論することで自分の意見を主張したり異なる意見を受け入れ、自分の考え方を鍛えるためにゼミは存在します。

講義の内容・授業スケジュール 前期の第一日目で前半のスケジュールを、前期最終ゼミで後半のスケジュールを、ゼミ生が作成します。

履修上の留意点 座っているだけの学生を出席とは認めません。講義と異なり、ゼミは学生が主体になって運営します。緊張感を失わないで、でも、楽しい、笑顔の絶えないゼミを目指しましょう。

成績評価の方法 報告・討論・レジュメの質、議論に対する貢献などの総合評価です。

教科書 なし

政治

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 132601・132602 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 村井 良太 |

講義のねらい この講義は、良書を輪読し、議論することを通じて政治への理解を深めることをねらいとしています。そこでは、「世界のなかの日本」という大きな視点に立って、学び、考えてほしいと思います。加えて、読む・書く・話すという基本的な技術を身につけてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール テキストは、論文を用いたり、本を指定したり、学生とも話し合いながら決めていきます。テーマは日本政治史を軸に、おおむね政治・外交・国際関係などに関するものと考えています。始めは論文など簡単なものを使い、次第に内容の濃いものを読みます。加えて、前期に合宿と課題レポート、後期に各自の報告とゼミ論文を予定しています。また、受講生の意欲によってディベートにも挑戦したいと考えています。

履修上の留意点 演習は、他の講義以上に、教員、学生が一緒になって創りあげていくものです。積極的な参加を求めます。

成績評価の方法 成績は、授業への出席、報告、発言、レポートなどから総合的に判断されます。

教科書 テキストは話し合いながら決めていきます。

その他 授業の方法は、基本的には、毎回、テキストを指定して、それを輪読しながら議論することになります。報告者はレジュメをつくって報告します。報告者以外の学生も、毎回、少なくとも一分間程度の発言を求められます。レポートも書き、時にはディベートも行います。なお、昨秋の一次募集時にもお知らせしましたとおり、平成22年度に在外研究を予定しています。その場合、来年度演習Ⅱは開講されませんので、このことを踏まえた上で受講登録を行ってください。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 125601 |
| 科目名 | 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 山口 邦夫 |

講義のねらい 1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール 1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
第I期（4・5月）罪刑の法定をする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
第II期（6・7月）刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
第III期（9・10月）生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
第IV期（11・12月）いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点 毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法 演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジュメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書 判例を中心に、法解釈を考えるので判例集そのものが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 132211・132212 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | 山崎 望 |

講義のねらい

本演習では、国民国家から成り立つ現代世界の変容を多様な観点から分析します。その上で、世界秩序の変容が生み出す問題にどのように対応するのか、考えていきます。演習を通じて「あたり前」と思っている事が「あたり前」ではなく、テロやナショナリズム、グローバル経済といった「大きな問題」が「他人事」ではなく「自分の問題」である事について学んでもらうことが目的です。今年はフェミニズムをめぐる議論についても検討します。

講義の内容・授業スケジュール

(1) イントロダクション
 (2~10) 国内/国際的な格差の増大、格差社会、貧困問題、世界金融恐慌、不安定雇用問題、社会の分断、福祉国家の再編、ベーシックインカム論、共産主義再考 (11~18) 「9・11」対米同時多発テロ、アメリカ極秩序の動揺、「新しい戦争」、人道的介入、治安社会、グローバル・テロリズム、イスラム原理主義、ネオ・ナショナリズム (19・20) 集団討論 (21~24) 市民社会論、新しい民主主義、多文化主義、フェミニズム (25・26) 集団討論 (27~30) 研究報告

履修上の留意点

毎回、課題とされた文献をしっかり読んでからゼミに臨んでください。討論においては積極的に発言してください。詳細はゼミの一回目に説明するので、履修希望者は必ず出席してください。平常点(出席・報告・討論への貢献など総合的に評価)。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

報告者・参加者と議論の上、適宜指定します。
 彼の文献については、ゼミの進行に応じて適宜指定します。
 ゼミ形式。毎回報告者を指名するので、報告者は課題文献を要約し、レジュメを作成し、それを報告し、かつ新聞や課題文献以外の資料、本を用いて私見を作成することが求められます。その後参加者をグループに分けて、集団討論を行います。希望があれば個人研究報告やグループ対抗のディベートも行います。

政
治

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 133681 |
| 科目名 | 実務者講座 |
| 担当者名 | 田丸 大 |

講義のねらい

政治学科あるいは法学部で扱う内容に関連した仕事をしている外部の実務者をゲストに招き講義をしてもらい、実務についての理解を深めてもらうことがねらいである。講義や演習などで触れる「政治」や「法律」が現実の世の中とどのように関わっているのか、どのように動いているのかといった点について、現場に携わっている実務者の話を伺うことは、大学での自らの学びを総括し、また将来の進路や、自身と社会との接点を考える上で有意義と考える。

講義の内容・授業スケジュール

ゲストに招く実務者は、公務員、地方議員、シンクタンク職員、マスメディア関係者などを予定しているが、担当教官の専門(行政学)からして、行政や政策に関連したゲストが多くなる点を了解してもらいたい。
 駒澤の政治学科出身のゲストも招きたいと思う。自分たちの先輩の姿とおして、実務をより一層リアルに感じる機会となることを願っている。
 ガイダンス・履修にあたっての注意事項(1)、担当教員による若干の講義(2~3)、実務者による講義(4~15)。その間に、複数回の授業内でのレポート作成を予定している。ゲストに招く具体的な実務者については、開講時に示す予定であるが、現在のところ、例えば、区議会議員、地方公務員(都庁職員、県庁職員、市役所職員など)、国家公務員、専門職の公務員(警察官、消防官)、NPO関係者、マスメディア関係者などを考えている。

履修上の留意点

双方向の議論となって招いた実務者の方々も楽しむことができるよう、授業中の質問や感想・意見などの発言を歓迎します。それをきっかけとして、思いがけなく興味深い話が聞けることもあると思うので。

成績評価の方法
教科書
その他

平常点および授業内に作成するレポートによる。学年末試験は行わない。
 特に使用しない。
 ①スケジュール調整の都合上、割り当てられた曜日・時間帯以外に行われる可能性もあること、
 ②仕事の都合による突然のキャンセルもありうることを了解してください。①の場合にはプラスアルファの出席点を、②の場合には視聴覚教材などを用いての講義を考えている。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 007411 |
| 科目名 | 日本哲学史 |
| 担当者名 | 久保 陽一 <small>くぼ よういち</small> |

講義のねらい

「哲学」は明治初めに西洋から導入されたが、その際日本の伝統的思想との関連が問題にされた。儒教が近代化の障害として批判されたり、仏教が近代化の限界の克服の拠所と考えられもした。最近「グローバル化」と「文明の多元化」が語られる状況の中で、日本の哲学があらためて問い直されている。そこで近代日本の代表的な哲学の思想を紹介し、その流れを捉えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

福澤諭吉、西周、内村鑑三、新渡戸稲造、井上哲次郎、西田幾太郎、鈴木大拙、和辻哲郎、九鬼周造、三木清、戸坂潤、丸山真男を取り上げ、彼らが日本の近代化にどのように関わり、西洋哲学との関連でどのように独自の思索を展開したか、またそれは今日どのような意味を持つかを考えることにする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義を手掛かりに、自分でさらにテキストなどを読むことが望ましい。
試験（前期と後期）と出席によって評価する。
個々の哲学者の文章を資料として配布する。
開講時に指示する。

| | |
|-------|----------------------------|
| 履修コード | 058331 |
| 科目名 | 社会心理学A |
| 担当者名 | 坪井 健 <small>つばい けん</small> |

講義のねらい

この授業は、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この社会心理学A（前期）では、対人関係、集団的影響などの具体的なテーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて、身近な日常テーマの役立つ授業を展開したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに ー講義の方針と受講の仕方ー
2. 対人認知と印象形成 ー未知の人をどう認知するかー
3. 対人関係と自己開示 ーオタクと日本人の自己開示ー
4. 日本人の対人関係戦略 ー安心社会から信頼社会へー
5. 自信の社会心理学 ーあなたは自分に自信がありますかー
6. 対人関係と対人魅力 ー対人魅力の条件とは何かー
7. 恋愛の社会心理学 ー恋愛と友情に違うのかー
8. 援助行動抑制要因の研究 ー何故、人は見て見ぬふりをするのかー
9. 社会的な手抜きと社会的促進の研究 ーみんなと一緒なら食事もはずむー
10. 同調行動と集団的意志決定 ー集団の意志決定とその危険性ー
11. カウラ事件とその社会心理学的考察 ー集団脱走はなぜ起こったかー
12. 同調行動と頻度依存行動 ーいじめの心理ー

履修上の留意点

ビデオ視聴が追加されるので、上記予定は変更する場合がある。授業では資料を配布する。興味を持ったテーマは、紹介文献を参考に各自の関心を深めてもらいたい。リアクションペーパーを配布するので、しっかり記入すること。

成績評価の方法
教科書
参考書等

平常点（出席＋リアクションペーパーの内容＋参加度）50%、課題レポート50%
授業中、プリントを配布する。
その都度指示する。

他学部
履修科目

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 058371 |
| 科目名 | 産業と変動の社会学 |
| 担当者名 | 山田 信行 <small>やまだ のぶゆき</small> |

講義のねらい 社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。授業の内容は、以下のとおり。

1. 近代化・産業化・資本主義—労使関係の成立
2. 労使関係と生産システム
 - (1) テーラー主義とその限界 (2) フォード主義とその意味
3. ポスト・フォード主義
 - (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界 (2) 雇主の戦略と新国際分業 (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化 (4) 日本の生産システム
4. グローバル化と日本の生産システム
 - (1) グローバル化の原因と日本企業 (2) 国際移転と普遍性
5. グローバル化とサービス経済化
 - (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化 (2) 世界都市と移民労働者の流入
6. インフォーマル化の進展
 - (1) インフォーマル・セクターの拡大 (2) インフォーマル化の概念と意味

履修上の留意点 継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 特になし。

参考書等 山田信行 1998『階級・国家・世界システム—産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房
後期に開講する雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履他
修学
科目部

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 058381 |
| 科目名 | 雇用と労働の社会学 |
| 担当者名 | 山田 信行 <small>やまだ のぶゆき</small> |

講義のねらい 社会学の観点から雇用と労働に関する基本的な理解を深めるとともに、非典型雇用、ワーキング・プア、および外国人労働者などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、雇用という関係について基礎的な事項を確認したうえで、主として日本を事例として、雇用をめぐる基本的な制度とその現代的な変容について、パート労働や有期雇用の拡大、および外国人労働者の利用に象徴される雇用の多様化とそれに伴う労使関係の変化に言及しながら概説する。講義の内容は、以下のとおり。

1. 雇用という関係—雇用の発生と労使関係の本質
2. 労使関係の歴史的展開—労使関係モデルの変遷とグローバル化
3. 現代日本の産業・労働
 - (1) 年功賃金と終身雇用 (2) フレキシビリティと非典型雇用 (3) フリーター問題 (4) 自主管理活動 (5) 企業別組合と春闘 (6) ユニオンと新しい労働運動 (7) ME革命と技術革新 (8) 日本型コーポラティズム
4. 外国人労働者と看護・ケア労働
 - (1) 日本における外国人労働者 (2) 再生産労働のグローバル化 (3) 外国人看護労働の現状と課題

履修上の留意点 講義の内容を的確に理解するためには、継続的に出席することが重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 とくになし。

参考書等 山田信行 1996『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房
前期に開講される産業と変動の社会学もあわせて履修することが望ましい。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 063901 |
| 科目名 | 社会福祉発達史 |
| 担当者名 | 堀 千鶴子 |

講義のねらい 我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。

| | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 講義の内容・授業スケジュール | 1 社会福祉の歴史と人物史 1 | 13 人物史 4 |
| | 2 " 2 | 14 " 4 |
| | 3 慈善・救済の時代 | 15 " 4 |
| | 4 人物史 1 | 16 社会事業・社会福祉の時代 |
| | 5 " 1 | 17 人物史 5 |
| | 6 " 1 | 18 " 5 |
| | 7 " 2 | 19 " 5 |
| | 8 " 2 | 20 " 6 |
| | 9 " 2 | 21 " 6 |
| | 10 " 3 | 22 " 6 |
| | 11 " 3 | 23 社会事業に生きた女性 |
| | 12 " 3 | 24 地域の歴史 |

履修上の留意点 出席を重視する。テキスト必ず持参。

成績評価の方法 出席(40%)、レポート(60%)

教科書 室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 091101 |
| 科目名 | 日本経済論 |
| 担当者名 | 沼田 郷 |

講義のねらい 日本経済を様々な角度から多面的に学習する。第二次世界大戦後の解説を中心とするが、日本経済のより深い理解には、それ以前(明治、大正)についての理解も重要であるため、必要に応じてふれてみたいと考えている。本講義の特徴は、戦後日本経済を支えてきた日本型システムに注目し、その変化を詳細に検討することにある。さらに、日本と諸外国(とりわけ米国と東アジア)との関係についても詳細に検討する。

講義の内容・授業スケジュール おおまかなスケジュールは以下の通り。
可能な限り学生諸君の要望を取り入れた講義を行いたいと考えています。

- 1 イントロダクション
- 2～3 第二次大戦以前の日本経済
- 4～8 戦後復興期
- 9～12 高度経済成長期
- 13～14 二つのショック
- 15～16 低成長期
- 17～18 バブル経済の発生とその要因
- 19～21 1990年代不況
- 22～25 日本経済の現代的課題
- 26～29 日本と東アジア諸国における工業化の諸特徴
- 30 総括

履修上の留意点 本講義では日本経済のみではなく、広く社会全般に興味と関心をもつみなさんの履修を期待します。そのためには、現在起こっていることに目を向け、日々のニュースに接してください。講義では必要に応じて初歩的な理論を扱いますが、高等数学などを必要とするものではありませんのでご安心ください。

成績評価の方法 本講義では学生のみなさんの強い要望がない限り定期試験は行わず、レポートの提出を求めます。テーマ、書式等は講義中にお知らせします。また、講義終了時に小論文を書いてもらいます。これと学期末のレポートを合算して成績評価を行います。

教科書 特に指定しない。

参考書等 参考書に関しては適時紹介する。

その他 本講義では質問を歓迎します。講義に関することはもちろんのこと、それ以外のことがらであっても、遠慮せず質問しにきてください。なお、他人に迷惑をかける行為に関しては厳しく対応します。念のため。

他
学
部
履
修
科
目

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 092401 |
| 科目名 | 財務会計論 |
| 担当者名 | 寺坪 修 |

講義のねらい 財務会計は、企業活動の実態を投資者などの利害関係者へ報告するための「みせる会計」です。そのための開示手段の中心となるのが財務諸表ですが、その作成方法に関しては統一的な制度として、会社法や金融商品取引法などの法令および会計基準が制定されています。会計基準は、現在、グローバル化の進展に伴ないグローバル・スタンダード（世界標準）との調和が進められています。本講義では、日本における財務諸表制度の変遷と動向を踏まえて、会計上の主要なテーマについて具体的にみていきます。

講義の内容・授業スケジュール おおむね次の構成で進めていきます。

(1) オリエンテーション、(2～5) 財務会計の意義・会計の構造、(6～9) 財務諸表の仕組み・企業会計制度、(10～13) 企業会計原則、(14～26) 新会計基準：会計ビックバン・リース会計・退職給付会計・税効果会計・キャッシュフロー会計・連結財務諸表、(27～29) 財務諸表の活用、(30) 会計の国際化。

履修上の留意点 会計は積み重ねの学習によって理解が深まりますので、休まずに受講してください。私語は厳禁とします。

成績評価の方法 学年末試験（60%）、出席率（25%）、宿題・レポート提出（15%）の総合評価。ただし、S・Aの評価はGPA評価ガイドラインによる調整を行うことがあります。

教科書 寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』2004年刊（創成社）3,990円

参考書等 寺坪修『英文会計論〔基本編〕第2版』2007年刊（五紘舎）1,575円

他学部
履修科目

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 093301 |
| 科目名 | 日本経済史 |
| 担当者名 | 渡邊 恵一 |

講義のねらい 経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望

履修上の留意点 毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がつかなくなることを意味するので、くれぐれも注意されたい。

成績評価の方法 定期試験（年度末）の成績をベースとして、授業中に随時配布する「リアクション・ペーパー」の提出状況、記載内容などを平常点として加味し、総合的に判断して評価する。

教科書 老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史一太閤検地から戦後復興まで一』（税務経理協会、2940円、ISBN4-419-04025-4）。あらかじめ指示したページ範囲に目を通していただくことを前提に授業を行う。

参考書等 その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

その他の 上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

日本史の知識不問（挫折者歓迎!）。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみてください。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 094701 |
| 科目名 | 中国経済論 |
| 担当者名 | 小杉 修二 |

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

第1～3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。
第4週～10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週～15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期に6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年～）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週～25週：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26週～30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

前期レポート、後期試験（30%、70%）。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ、2002年、周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等

他学部
履修科目

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 094801 |
| 科目名 | アメリカ経済論 |
| 担当者名 | <small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘 |

講義のねらい 現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向。◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点 この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

成績評価の方法 随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、

瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社、2005年）

グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』（青木書店、1994年）

瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店、2003年）

をおすすめします。

| | |
|-------|----------------------------|
| 履修コード | 095001 |
| 科目名 | E U統合論 |
| 担当者名 | 藤田 憲 <small>よした けん</small> |

講義のねらい 本講義は、域内において通貨統合を実現したEUの国際金融史的特色を、固定相場制が有する「為替変動リスク回避機能」という金融政策的観点から、実証的・理論的に論じる。

本講義の具体的目的は、「国際的通貨当局者間協力」、「中央銀行政策に対する信託」、「裁定取引を含めた国際資本移動」を鍵概念とした、第一次大戦前国際金本位制における「金」と21世紀初頭世界経済において存在感を増す「ユーロ」の相対化である。

講義の内容・授業スケジュール I. EUにおける通貨統合から何を学ぶのか？(①-②)

II. 国際金本位制(③-⑥)

III. 再建金本位制(⑦)

IV. プレトンウッズシステム(⑧)

V. 欧州決済同盟から欧州通貨同盟へ(⑨-⑫)

VI. 為替変動リスク回避機能から観る「金」と「ユーロ」(⑬-⑭)

履修上の留意点 国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU統合関連のショート・ライティングを課すほか、ユーロ圏経済の現状を示す指標に関する小テスト、および発表予定の経済指標を予想するとともにその根拠を明示するレポートを課すことを検討している。「マネー」のダイナミズムに日ごろから接するよう努めること。

成績評価の方法 出席点(1~2割)、講義への参加姿勢およびショート・ライティング(2~3割)、前期講義最終回に実施する中間テスト(5~7割)

教科書 特に指定しない。

参考書等 金井雄一(1989)『イングランド銀行金融政策の形成』名古屋大学出版会

ジョン・ウィリアムソン(須田美矢子・奥村隆平・柳田辰雄訳)(1990)『世界経済とマクロ理論』多賀出版

金井雄一(1994)『ポンドの苦闘—金本位制とは何だったのか』名古屋大学出版会

藤瀬浩司(2004)『改定新版 欧米経済史』放送大学教育振興会

木畑洋一編(2005)『ヨーロッパ統合と国際関係』日本経済評論社

小野塚知二・沼尻晃伸編著(2007)『大家久雄『共同体の基礎理論』を読み直す』日本経済評論社

遠藤乾編(2008)『ヨーロッパ統合史』名古屋大学出版会

他
学
部
履
修
科
目

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 095101 |
| 科目名 | 現代西欧経済論 |
| 担当者名 | 工藤 芽衣 <small>くどう めい</small> |

講義のねらい 本講義では、欧州通貨統合の基礎となった欧州通貨制度(European Monetary System)のメカニズムの基礎を学びつつ、EMSへの参加やユーロ導入が、各国の国内経済社会政策とどのような点で問題となり、そして今後どのような問題が起り得るのかを勉強していきます。個別の焦点としては、独仏英米の政策に焦点をあてることになります。

講義の内容・授業スケジュール 第1回~第3回 プレトンウッズ固定相場制とその崩壊

① プレトンウッズ体制の設立 ② ドル過剰とプレトンウッズ体制の崩壊

第4回~第5回 スネークの発足と挫折

① スネーク発足の背景とメカニズム ② スネークの挫折

第6回~第9回 欧州通貨制度(EMS)の展開

①EMSの設立 ②フランスとEMS—強いフラン政策への転換 ③ドイツ統一とEMS危機

第10~14回ユーロをめぐる諸問題

① 財政安定協定と各国経済 ② イギリスの参加問題 ③ グローバル経済の中のユーロ

第15回 予備日

成績評価の方法 授業中に行われる小テスト、中間テストによる。

教科書 山下英次『ヨーロッパ通貨統合』勁草書房、2002年。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 095201 |
| 科目名 | ロシア・東欧経済論 |
| 担当者名 | <small>やまがた ひろし</small> 山縣 弘志 |

講義のねらい

外国経済研究の課題は、その経済事情に通じることではない。むしろ、我々にとっては、日本経済の進むべき方向を考える上でのヒントをそこから引き出すことである。ロシア・東欧経済を研究する場合、異なる文化に基づく人々の行動様式の違い、経済体制の違いの基礎となる思想、体制転換によって露になった経済と人々の生活との関わり、これらのことが特に大きな関心と呼ぶテーマになるだろう。ロシアとソ連の歴史は常に価値判断を伴って語られてきた。多くの場合、証明されるべき結論が前提とされて議論された。そのため、議論はすれ違わざるを得なかった。こうした不毛を終わらせるためには、事実を前提として考えなければならない。事実はいしばしば諸君の常識を覆すはずである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では主としてロシアを取り上げる。前期は、ロシア経済の現状分析と将来展望、問題点を明らかにする内容とし、全体として問題提起を狙いとする講義になる。後期は、歴史的なアプローチによって、問題に答えるためのいくつかの視点を示す。最終的に問題に答えるのは諸君である。

前期

- 1 ペレストロイカと体制転換
 - (1) 経済改革と停滞の時代 (2) ペレストロイカとその挫折 (3) 体制転換
- 2 ロシア・東欧経済の現状
 - (1) 市場経済化のショック療法 (2) 金融危機 (3) プーチンの時代
- 3 BRICs の発展と限界

後期

- 4 社会主義論とロシア革命
 - (1) マルクスの社会主義論 (2) ロシア革命とレーニン時代
- 5 ソ連型社会主義の確立と行きづまり
 - (1) 1930年代とスターリン (2) ソ連型社会主義の特質 (3) 計画経済のフィクション
- 6 ロシア経済の独自性

履修上の留意点

(1) 帝政ロシアの資本主義発展 (2) ロシアと日本 ——比較経済の視点——
常に現状に留意しそこから問題意識を喚起していきたいので、必ずしも授業計画通りに進まない。配布資料は必要最小限にとどめ、授業中にノートを取ることを推奨する。ウェブ時代にはむしろそれが学習能力を高めるために必要と考えるためである。

成績評価の方法

成績評価はレポート(9月提出, 40点配点)と定期試験(自筆ノート持ち込み可, 60点配点)によって行う。ダウンロードしただけのレポートは認めない。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書その他

教科書は存在しない。参考書は適宜指示する。
板書には注意を払うが、時間の関係で読みづらくなることもあり得るので、許していただきたい。聞きながら書く習慣を身につけて対応できるものと期待する。

他
学
部
履
修
科
目

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 097001 |
| 科目名 | 会計監査論 |
| 担当者名 | 森田 佳宏 |

講義のねらい 会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 会計監査の意義と概要 (2~5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6~10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11~15) ディスクローチャー制度 (金融商品取引法・会社法)、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16~20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21~25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26~30) 監査証拠、継続企業の前提、監査意見、監査報告書

履修上の留意点 本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法 原則としてレポート (後期の最初の授業で回収) および定期試験 (年度末) により評価する。

教科書 指定しない。必要に応じて資料を配付する。

参考書等 山浦久司『監査論テキスト (第5版)』(中央経済社)

盛田良久、蟹江章、友杉芳正、長吉真一、山浦久司編著『スタンダードテキスト監査論』(中央経済社)

日本公認会計士協会編『監査小六法 (平成20年版)』(中央経済社)

日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック (平成20年版)』(中央経済社)

他学部
履修科目

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 097111 |
| 科目名 | 管理会計論 a |
| 担当者名 | 石川 祐二 |

講義のねらい 本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス、(2~4) 管理会計論をとらえる視点、(5~8) 管理会計上の基礎概念、(9~12) 設備投資の意思決定、(13~15) 製品関連の意思決定

履修上の留意点 会計学基礎 (総論) および簿記論を履修済みであることが好ましい。

また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法 定期試験 (前期末) により評価する。

教科書 毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等 必要に応じて紹介する。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 097121 |
| 科目名 | 管理会計論 b |
| 担当者名 | 石川 祐二 |

講義のねらい 本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることにする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス、(2~3) リスク・マネジメントと法律規定：リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4~5) ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6~7) 企業内部のリスク・マネジメント・システム：会計報告との関連性、(8) リスク・マネジメントと状況報告書、(9) リスク・マネジメントと引当金、(10~11) リスク・マネジメントとバランスシート・スコアカード、(12~13) リスク・マネジメントと監査制度の新展開、(14~15) リスク・マネジメントとチャンスの記載：リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

履修上の留意点 会計学基礎 (総論) および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法 中間レポート (30%) および定期試験 (後期末：70%) により評価する。

教科書 石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』(森山書店)

参考書等 必要に応じて紹介する。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 097601 |
| 科目名 | 貿易論 |
| 担当者名 | 古沢 紘造 <small>ふるさわ こうぞう</small> |

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易（4～5回）
2. 水産物と貿易（1～2回）
3. 林産物と貿易（1～2回）
4. 鉱物資源と貿易（1～2回）
5. エネルギーと貿易（1～2回）
6. 工業製品と貿易（4～5回）

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 自由貿易とその問題点（3～4回）
2. 開発援助と貿易（1～2回）
3. 軍事と貿易（1～2回）
4. 環境と貿易（1～2回）
5. WTOと貿易（2～3回）
6. グローバリゼーションと貿易（3～4回）
7. 持続可能な発展と貿易（1～2回）

成績評価の方法

本試験を基本とするが、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期のまとめ）などを総合して評価を行う。答案やまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

他
学
部
目
部

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 126601 |
| 科目名 | 国際政治学 |
| 担当者名 | 小堀 訓男 <small>こほり のりお</small> |

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。

後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。

履修上の留意点

授業スケジュールは、(1～5) 政治学の基礎的知識の整理、(6～8) 国家、権力、民族、階級、(9～11) 近代国家の特質、(12～15) 国際社会の特質、(16～17) 国際政治と国内政治、(18～22) 国際政治の本質、(23～26) 国家の行動基準、(27～30) 冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。

成績評価の方法

授業中に読むべき本を紹介するので本を読むこと、TV・新聞・雑誌の報道に日頃から留意すること。

教科書

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

参考書等

使用しません
必要に応じて講義のなかで紹介します。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 126701 |
| 科目名 | ヨーロッパ政治史 |
| 担当者名 | 浦田 早苗 |

講義のねらい 現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

他
学
部
履
修
科
目

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 128201 |
| 科目名 | 比較政治学 |
| 担当者名 | 三竹 直哉 <small>みちけ なおや</small> |

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究するのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2008年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2008年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2009年度も2008年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。以下はあくまで参考です。

前期

第1回 ガイダンス

第2回～第6回 民主化を考える（ビルマ、ブータン、南アフリカ、日本）

第7回～第13回 ネイションを考える（チベット、クルディスタン、沖縄とアイヌ民族、ベルギー、スリランカ、オーストラリアの先住民、日本の移民政策）

第14回 ワークショップ（多文化主義）

後期

第15回～第21回 比較の方法を学ぶ（比較方法の基礎、質的比較、ブール代数を使った比較のグループ作業）

第22回～第25回 国際社会に目を向ける（社会的起業による支援、ODA等）

第26回～第27回 日本の難民政策

第28回～第29回 個人発表（希望があれば）・ワークショップ

履修上の留意点

他の多くの授業とやり方が違いますので、一回目のガイダンス授業には必ず出席してください。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。基本的に勉強の大半は自分で文献を読むことによるものです。教室には必ず課題を読んでもくることが条件です。毎週こつこつやると興味深く感じるが増えていきます。YeStudy を必ず利用します。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞（特に国際面）をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。

欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。（病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。）

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。

教科書
参考書等
その他の

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。

その都度紹介します。

この文章は2008年12月時点に書いています。変更もあり得ます。最新の情報は YeStudy で確認してください。YeStudy に、前年度に履修した学生さんの感想やアドバイス、授業評価結果を載せますので、参考にしてください。

他
学
部
履
修
科
目

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 133801 |
| 科目名 | 現代国家論 |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 |

講義のねらい 本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造（前期）であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題（後期）をとりあげます。

講義の内容・授業スケジュール
 I 前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験
 II 後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験

成績評価の方法 授業内における中間試験（50％）と期末試験（50％）により評価します。

教科書 大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3200円
大塚桂『日本の政治文化』（勁草書房）2800円

参考書等その他 上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。
私の研究室は、第二研究館八階（2835）です。電話は、3418-9377（直）です。

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 139501 |
| 科目名 | 経営学史 |
| 担当者名 | なかがわ じゆんぺい 中川 淳平 |

講義のねらい この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説を、その問題意識に着目し、現代企業経営の諸問題を解決するための技法として解説を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

1. コーポレートガバナンスのための問題解決技法（制度学派など、1-7）
2. リストラクチャリングへの問題解決技法（経営戦略論など、8-15）
3. イノベーションへの問題解決技法（生産管理論など、16-20）
4. コミュニケーションへの問題解決技法（人間関係論など、21-23）
5. セクショナリズムへの問題解決技法（経営組織論など、24-30）

履修上の留意点 講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法 定期試験100％。但し講義中などで必要に応じレポートの提出を求めることがあり、内容いかんによってこれを評定に加えることがある。

教科書 中川淳平『問題解決のための経営学』泉文堂、2007年。

参考書等 授業毎に配布するプリントに適宜指示する。

他学部
履修科目

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 139601 |
| 科目名 | 経営史 |
| 担当者名 | <small>まえだ かずとし</small> 前田 和利 |

講義のねらい 経営史を学ぶことによって企業経営における進化のプロセスを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型型をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて進化モデルを提示し、日本の企業経営の特質を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史の学び方（1回）
- II. 経営史研究の課題と方法（4回）
伝統的経営史、企業者史、組織総合理論、新動向
- III. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成（4回）
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立（3回）
産業革命、工場制度
 3. 確立期企業経営の諸様相（5回）
企業経営者と行動原理、企業形態と企業金融、労務管理、流通・販売組織
 4. 企業経営の発展（7回）
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 5. 企業経営の変容（3回）
大企業体制の動揺と新動向（経営戦略と経営組織の変遷）
 6. 日本における企業経営の進化（3回）
進化の特質、歴史的ケース

履修上の留意点

教科書は使用しないので、配布するレジュメおよび下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に4～5回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。

成績評価の方法

学年末試験による評価を90%、出席時に提出した回答を10%とする。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』新版（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、鈴木良隆ほか『ビジネスの歴史』（有斐閣）、経営史学会編『外国経営史の基礎知識』（有斐閣）、橘川武郎ほか編『進化の経営史』（有斐閣）。その他随時紹介する。

他
修
学
科
目

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 141301 |
| 科目名 | 経営分析論 |
| 担当者名 | <small>かたまり のぶお</small> 片桐 伸夫 |

講義のねらい 経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

（1）経営分析について、（2-6）経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、（7-12）収益性・安定性分析、製造業-製造原価報告書、（13-15）貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、（16-20）生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、（21-26）キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、（27-30）税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、

後期レポート40%、後期小テスト10%、

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 141701 |
| 科目名 | 国際経済論 |
| 担当者名 | ながは ともり 永田 智則 |

- 講義のねらい** 本講義の目的は、現実が生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。
- 分析道具が習得できれば、それを利用することによって現実の国際経済現象を自ら解明できるようになるはずです。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1) 国際経済学の意義、(2～7) 国際分業論、(8～12) 貿易政策、(13～15) 経済成長と貿易、(16～22) 国際マクロ経済学、(23～25) 外国為替と国際収支、(26～30) 資本の国際移動
- 履修上の留意点** 現実の世界経済の動きを題材にしますので、新聞等で報道される関連ニュースに接しておいてください。
- 成績評価の方法** 原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。定期試験だけを受けて、要領よく単位をとりたいと考えている人は、受講を遠慮して下さい。
- 教科書** 下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。
- 参考書等** 仙頭佳樹著「最もやさしい国際経済学」多賀出版、2800円＋税、ISBN4-8115-6491-X
随時必要に応じて紹介します。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 141901 |
| 科目名 | 税務会計論 |
| 担当者名 | たかさ かづみ 高木 克己 |

- 講義のねらい** 今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人(株式会社等)を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。
- 税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定(いわゆる別段の定め)が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。
- 講義の内容・授業スケジュール** 講義内容の概要は次のとおりである。
- (1～2) 税務会計の制度的基礎、(3～5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6～8) 事業年度、同族会社、(9～12) 課税所得計算の基礎、(13～16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17～21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22～24) 税額の計算、申告、納付等、(25～28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29～30) 国際課税、不服申立・訴訟等
- 履修上の留意点** 「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。
- 成績評価の方法** 原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。
- 教科書** 開講時に指示する。
- 参考書等** 開講時に指示する。

他学部
履修科目

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 履修コード | 142351 |
| 科目名 | リスクマネジメント論 |
| 担当者名 | <small>いしなざか くにあき</small> 石名坂 邦昭 |

講義のねらい 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容・授業スケジュール リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。
①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30

履修上の留意点 ノートをしっかりととること

成績評価の方法 定期試験の成績と平常点

教科書 特になし

参考書等 リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房

その他 授業にまじめに出席すること

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 143231 |
| 科目名 | 消費者行動論 |
| 担当者名 | <small>かんの さおり</small> 菅野 佐織 |

講義のねらい この授業では、人の消費場面における心理的作用と、それらと企業のマーケティング活動の相互作用について考え、理解することを目的としています。今日の企業のマーケティング活動においては、消費者のインサイトを掴むことが欠かせません。この授業では、身近な事例や企業ケースを用いて、消費者の心理を学ぶだけでなく、企業のマーケティング活動と消費者行動分析のリンクについて考えていきたいと思います。また、企業の方をお招きしての講義も予定しています。

講義の内容・授業スケジュール 1. 授業計画の説明とイントロダクション
2～5. マーケティング戦略と消費者行動
6～10. 消費者行動研究の歴史
11～18. 消費者の購買意思決定過程
19. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
20～24. 消費者行動の影響要因
25～28. 企業のマーケティング戦略と消費者行動のリンク
29. 実務家を招いてのゲストスピーカー講義
30. 講義のまとめ

履修上の留意点 授業中に学生の皆さんに意見を求めるので積極的に参加してください。なお、この授業を履修するにあたっては、マーケティングの基礎的な知識が必要となります。そのため、マーケティング論を履修していない者の場合には、独学でマーケティングを勉強する必要がありますのでご注意ください。

成績評価の方法 出席点(数回)、レポート課題、定期試験によって評価します。

教科書 授業時に資料を配布します。理解を深めるために下記の参考書を予習・復習の参考にしてください。

参考書等 杉本徹雄編『消費者理解のための心理学』1997年(福村出版)2730円
清水聡『新しい消費者行動』1999年(千倉書房)3360円

| | |
|-------|---------------------------------------------|
| 履修コード | 143241 |
| 科目名 | マーケティング・コミュニケーション論 |
| 担当者名 | 中野 <small>なかの</small> 香織 <small>かおり</small> |

講義のねらい

近年は、マーケティングそのものがマーケティング・コミュニケーション (MC) だと認識され始めてきた。その背景には、マス広告が効かなくなってきたことに加え、様々な手段によって消費者との関係性を構築する必要がうまれてきたことなどがある。このような背景のもと、日常生活で接するもの全てをコミュニケーションのためのメディアと捉える統合型マーケティング・コミュニケーション (IMC) が、今後重要になってくるだろう。そこで本講義ではIMCを包括的に理解してもらおうことを目的とし、理論的な説明に加えて事例紹介やゲスト (実務担当者) による講義等、実践的な説明も行う。

講義の内容・授業スケジュール

講義は3段階に分けて行う。初めにマーケティング・コミュニケーション (MC) の全体構造を説明する。次にMCを構成する具体的な戦略を説明し、最後に各MC戦略がどのように統合されるのかを説明する。

(1～5) マーケティング・コミュニケーション (MC) の全体構造、(6～9) 広告戦略、(10～12) 販売促進戦略、(13) ゲストスピーカー、(14) 商品コミュニケーション戦略、(15～17) 店頭MC戦略、(18～19) PR戦略、(20～21) パーソナル・コミュニケーション戦略、(22～23) ダイレクトマーケティング戦略、(24～25) インタラクティブマーケティング戦略、(26～27) IMC戦略、(28～30) ケース研究とまとめ

成績評価の方法
教科書
参考書等

平常点20%、中間試験30%、学期末試験50%で評価する。

教科書は使わず、レジュメを配布する。

亀井昭宏・疋田聰編『新広告論』2005年刊 (日本経済新聞社) 1,800円、嶋村和恵監修『新しい広告』2006年刊 (電通) 2,000円、岸志津江・田中洋・嶋村和恵『現代広告論』2000年刊 (有斐閣) 2,000円、上条典夫監修・内藤敏夫責任編集『実践マーケティング・コミュニケーションズ』2005年刊 (電通) 2,200円

他
履修
科目
部

| | |
|-------|---------------------------------------------|
| 履修コード | 143251 |
| 科目名 | マーケティング・チャネル論 |
| 担当者名 | 青木 <small>あおき</small> 茂樹 <small>しげき</small> |

講義のねらい

我々が手にしている商品、とくにブランドとして認知されている商品は、ある一企業の戦略目的に基づき、他の流通パートナーをコントロールしながら成果を挙げていくために形成されたマーケティング・チャネルを経由してきている。

従来はメーカーがチャネル・リーダーとなって、これらが形成され、卸売業、小売業がこれによりコントロールされてきた。近年は従来、被支配的な立場とされてきた卸売業や小売業が、主体的にチャネル・リーダーとなって、自社のブランドを強めていく例も増えてきた。また新しいツールとしてのインターネットにおいて、チャネル構築を試みる中小企業や農林水産業者も出てきている。

本稿では、これまでの中心であったメーカーの国内マーケティング・チャネル戦略から、情報化・国際化の中で形成されていく新たなマーケティング・チャネルまでを考察していく。将来、マーケティングや営業を志向する学生にとっては必須の科目となろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) メーカーによる垂直的マーケティング・チャネル
- 2) マーケティング・チャネル構築・管理の諸理論
- 3) プライベート・ブランドに見られるマーケティング・チャネル戦略
- 4) 国際マーケティングにおけるマーケティング・チャネル戦略
- 5) 農林水産物におけるマーケティング戦略とチャネル管理
- 6) インターネットにおけるマーケティング・チャネル管理
- 7) 生産財マーケティングにおけるマーケティング・チャネル管理

履修上の留意点

流通システム論を既習していることが望ましい。講義形式ではあるが、学生・教員相互に名札を付けるなどして、学生の主体的な発言と双方向のコミュニケーションを促す。

成績評価の方法

毎回の小テストと、個人レポート (またはテスト) の評価をベースとする。場合によっては、グループレポートおよびその発表を評価に加えることもある。また、講義内の自主的発言1回に対して1点以上のボーナス点が与えられる。

教科書
参考書等

小林哲・南知恵子 (2004) 『流通・営業戦略』有斐閣アルマ。

日経MJ編 (2008) 『日経MJトレンド情報 マーケティング・ハンドブック、〈2009年版〉』日本経済新聞社。

Erin Anderson, Louis W. Stern, Adel I. El-Ansary, Anne T. Coughlan (2001) *Marketing Channels*, The Prentice Hall, 978-0130127723.

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 432001 |
| 科目名 | 情報メディア産業論I |
| 担当者名 | 福家 秀紀 <small>ふけ ひでのり</small> |

- 講義のねらい** インターネットをはじめとした様々なネットワークの特性を理解するとともに、ブロードバンド・インターネットの急速な普及により大きく変化している、日本の情報メディア産業の現状と課題を理解することを目的とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1) 情報メディア産業とは、(2)～(3) 情報メディア産業を理解するためのキーワード、(4) 電気通信、(5) 放送、(6) 携帯電話、(7)～(8) インターネット、(9) 新聞、(10) 出版、(11) 広告、(12) 映像コンテンツ、(13) 音楽、(14)～(15) まとめ
- 履修上の留意点** 情報メディア産業の変化のスピードは極めて速いので、日頃から新聞、雑誌などの情報メディア関連の記事を読む習慣を身につけておいて下さい。また、レジュメは事前に授業支援システムに掲載しますので、予習をしてから受講して下さい。
- 成績評価の方法** 各授業時間終了時に作成する講義概要、レポート、定期試験、および出席状況を総合的に評価します。
- 教科書** 特に指定しません。
- 参考書等** ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4
・湯淺正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7
・その他講義の中で適宜紹介します。
- その他** レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用します。

履修科目

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 432401 |
| 科目名 | 比較メディア制度論 |
| 担当者名 | 西岡 洋子 <small>にしおか ようこ</small> |

- 講義のねらい** 放送の世界的な競争の歴史を理解するとともに、日本、米国、EU主要国、韓国などの放送制度とその変化の方向性について、特徴および制度形成の背景を理解する。また、適宜、日本との比較を行うことで、各国の制度が互いに影響し合っていることを理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール** (1) 本講義のアプローチ
(2) 世界の放送の歴史
(3) 日本の放送制度
放送制度の概要と意義
通信と放送の融合に対応した制度改革
(4) 米国の放送制度
(5) EU主要国の放送制度
(6) 韓国の放送制度
(7) まとめ
- 履修上の留意点** メディア政策論または同様の講義を受講していることが望ましい。
- 成績評価の方法** テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。
- 教科書** 講義中に指示する。
- 参考書等** 講義中に指示する。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 432601 |
| 科目名 | グローバルアート政策論 |
| 担当者名 | <small>かわさき けんいち</small> 川崎 賢一 |

講義のねらい

現代文化システムの特徴・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

〈スケジュール〉

1. イントロダクション
2. 文化政策とは何か？その期限と展開の概略
3. ファインアートカルチャーとポピュラーカルチャー
4. 文化階層と文化政策
5. 文化政策の3タイプ：アメリカ型
6. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その1))
7. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その2))
8. 文化政策の3タイプ：中間型 (イギリス)
9. 文化政策の3タイプ:(中間型(フランスとイタリア))
10. 文化政策の3タイプ:中間型(他のヨーロッパ諸国)
11. 文化政策の3タイプ：中間型(日本)
12. 文化政策と国際文化交流
13. 文化政策と文化産業のシナジー
14. 文化政策の限界と可能性
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。

学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。

授業の中で指示する。

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年

佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2009年

他学部
履修科目

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 432701 |
| 科目名 | グローバル創造都市論 |
| 担当者名 | かわさき けんいち 川崎 賢一 |

講義のねらい

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市（Creative Cities）ないし創造産業（Creative Industries）である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例（ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など）を例にとって、紹介・説明する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

〈授業スケジュール〉

1. イントロダクション：予備的考察とキー概念
2. 何のためのグローバル創造都市か？なぜ、グローバル創造都市が生まれたのか？：グローバリゼーションとグローバルシティ、創造都市
3. 誰がグローバル創造都市を造るのか？：文化階層と文化資本
4. ロンドン
5. ニューヨーク
6. 東京
7. シンガポールと東南アジアの主要都市
8. 中国都市圏
9. 東京と京都
10. 日本のグローバル創造都市：金沢・横浜・大阪
11. ローカルとネイティブ
12. トランスナショナルの重要性：EUとASEAN
13. 新しいコスモポリタニズムと中間層
14. グローバル創造都市の限界と可能性
15. グローバル創造都市論：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。

学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。

授業の中で指示する。

川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年

佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年

J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 434301 |
| 科目名 | 情報保護と社会 |
| 担当者名 | 苗村 憲司 <small>なえむら けんじ</small> |

講義のねらい 社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- ②知的財産権の保護に関する政策と技術（1. 知的財産戦略）
- ③知的財産権の保護に関する政策と技術（2. 著作権制度）
- ④知的財産権の保護に関する政策と技術（3. 著作権保護技術）
- ⑤知的財産権の保護に関する政策と技術（4. 産業財産権の保護と課題）
- ⑥知的財産権の保護に関する政策と技術（5. 営業秘密の保護と課題）
- ⑦情報セキュリティに関する政策と技術（1. 個人情報保護政策）
- ⑧情報セキュリティに関する政策と技術（2. 情報セキュリティ政策）
- ⑨情報セキュリティに関する政策と技術（3. 情報セキュリティ・マネジメント）
- ⑩情報セキュリティに関する政策と技術（4. 暗号技術）
- ⑪情報セキュリティに関する政策と技術（5. 情報セキュリティ技術の高度化と応用）
- ⑫グローバル環境における情報保護の課題（1. 国際機関の果たす役割）
- ⑬グローバル環境における情報保護の課題（2. 有害情報からの児童の保護）
- ⑭グローバル環境における情報保護の課題（3. 情報保護の新たな展望）
- ⑮まとめ

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績（合計30点）
 2. 期末試験の成績（70点）

**教科書
参考書等**

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/> 上に電子教材を提供する。
電子教材の中で参考書を紹介する。

他
学
部
履
修
科
目

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 437101 |
| 科目名 | メディアと知識論 |
| 担当者名 | 齋藤 信男 <small>いとう のぶお</small> |

講義のねらい メディアは人間の知識の表現と言えるが、その作成、操作、管理などをより効率的、効果的に行う事を支援する知的な処理の基本的な考え方をまず理解する。知識処理の具体例としてセマンティックWEBを取り上げ、メタデータを利用したインテリジェントなWEBの操作を体験する。更に、メタデータの作成、その操作、基本的な辞書構築、自然言語処理機能の利用など知識表現やその処理に関連する課題について理解し考えていく。メタデータが、高度なコミュニケーション環境や社会システムの実現に寄与し、今後のWEB利用における種々のイノベーションに発展していく可能性を探る。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の具体的な項目を学んでいく。
- (1) この講義の目的
 - (2-4) 知識表現、知識獲得、知識管理など従来の手法の概括とその課題を考える。
 - (5-7) 論理と推論 命題論理、述語論理の基礎、推論の意味
 - (8-11) セマンティックWEBについて、その基本的機能、構造を学ぶ。メタデータ記述言語 RDF(Resource Description Framework)、オントロジーとその記述言語 OWL、RDFに対する検索言語 SPARCLについて、その概要を学び、具体的な演習を行う。また、セマンティックWEBの応用例をいくつか取り上げ、その効果、メタデータによる種々のWEBの統合化、RSSへの適用などを学ぶ。
 - (12-14) コンテンツマネジメントシステムについて、その意味付け、知識処理との関係、具体例などを学ぶ。
 - (15) まとめ、将来に実現すると思われる知識社会への展望などを学び、講義全体のまとめとする。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

実際のシステムをなるべく体験できるような演習を行う。
いくつかの課題レポート、総合課題、および出席の総合評価により判定する。
特に指定しない。
講義の内容に応じて、その都度紹介する。
WEBシステムについて、その基礎的理解をしておくことが望ましい。

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 230511 |
| 科目名 | 日本語入門Ia |
| 担当者名 | 鈴木 美希 |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。短い文章を読みながら、文法、語彙、文字の学習をする。

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門IIa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ia」と「日本語入門IIa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法

平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書
その他

授業時に指定する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 230521 |
| 科目名 | 日本語入門Ib |
| 担当者名 | 鈴木 美希 |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。「日本語入門Ia」の続きとして講義を行う。短めの文章を読みながら文法、語彙、文字の学習をする。

- ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ia」「日本語入門IIa」を受講した学生を前提とするが、日本語のレベルが適当であれば受講を認める。
- ◆「日本語入門IIb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ib」と「日本語入門IIb」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法

平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書
その他

授業時に指定する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 230531 |
| 科目名 | 日本語入門IIa |
| 担当者名 | 鈴木 美希 |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、「日本語入門Ia」で学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。身近なトピックによる作文とスピーチの練習を繰り返す。また、他の人の作文を読んだり、スピーチを聞いたりした後、質疑応答・意見交換を行う。

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ia」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ia」と「日本語入門IIa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法

平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書
その他

必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 230541 |
| 科目名 | 日本語入門II b |
| 担当者名 | 鈴木 美希 |

講義のねらい 日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 簡単なアンケート調査を実施し、結果をクラスで発表することが最終課題であり、アンケート用紙の作成の仕方、アンケートの仕方、結果のまとめ方、発表の仕方等の練習をする。

履修上の留意点 ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
◆「日本語入門Ia」「日本語入門IIa」を受講した学生を前提とする。
◆「日本語入門Ib」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ib」と「日本語入門IIb」は同時に受講することが望ましい。
◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書その他 必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 230611 |
| 科目名 | 日本語Ia |
| 担当者名 | 佐野 典子 |

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 230621 |
| 科目名 | 日本語Ib |
| 担当者名 | 佐野 典子 |

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 230631 |
| 科目名 | 日本語Ia |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 |

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 衣③・食①・住②・学生生活④⑤など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、生の文章を読む、書くなどを通して実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 230641 |
| 科目名 | 日本語I b |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 |

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 日本語Iaに続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め、ニュースを見る、読む、自分の考えを述べるなどを通してより深く理解できるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持っていくこと。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 230711 |
| 科目名 | 日本語II a |
| 担当者名 | 佐野 典子 |

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 230721 |
| 科目名 | 日本語II a |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 |

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
人前で話すことに慣れ、言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・話し方等の練習をする。

履修上の留意点 授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 230811 |
| 科目名 | 日本語II b |
| 担当者名 | 佐野 典子 |

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 230821 |
| 科目名 | 日本語II b |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 |

講義のねらい 話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
自分の考えを、正しく適切な表現を用いて効果的に説得力を持って相手に伝えることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
意見表明や提言のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、最後に自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。

履修上の留意点 テープで、自分が話した日本語を聞く。
授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 230911 |
| 科目名 | 日本語III a |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 |

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
まず内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい話し言葉の使い方を知る。
次に話し言葉と書き言葉の違いを知り、レポートを書く練習の第一歩とする。

講義の内容・授業スケジュール ビデオでドラマ・講演などを聞き取り、敬語、くだけた表現、改まった表現など場面・立場・相手によって使い分ける自然な話しかたに慣れ、スピードにも慣れる。語彙表を使って聞き取った内容を文章にまとめることで豊かな表現を身につけ、書き言葉で書く練習もする。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 230921 |
| 科目名 | 日本語III a |
| 担当者名 | 湯村 礼子 |

講義のねらい これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。

履修上の留意点 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べてくる宿題が出る。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 小レポート、小テスト、授業活動50%
期末試験50%

教科書 最初の授業時に指定する。

日本語
事情

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 231011 |
| 科目名 | 日本語III b |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 |

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
前期をふまえ、さらに聞きとりの強化とレポートを書くための文章力の強化をする。

講義の内容・授業スケジュール ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容等をまとめながら、レポートの書き方の練習をする。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 231021 |
| 科目名 | 日本語III b |
| 担当者名 | 湯村 礼子 |

講義のねらい 日本語III aの続きとして、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 教材を辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。

履修上の留意点 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べて来て発表することがある。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 小レポート、小テスト、授業活動50%
期末試験50%

教科書 最初の授業時に指定する。

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 231111 |
| 科目名 | 日本語IV a |
| 担当者名 | 鈴木 美希 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。 |
| 履修上の留意点 | ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。 |
| 成績評価の方法 | 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。 |
| 教科書 その他の | 必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。 |

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 231121 |
| 科目名 | 日本語IV a |
| 担当者名 | 湯村 礼子 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。 (1～5)文章の基本—文・段落・構成—(6～10)レポートの方法—主題・材料・アウトライン等—(11～15)レポートの形式—表紙・序論・本論・結論・参考文献— |
| 履修上の留意点 | 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1・第2週の授業を続けて欠席した者は、履修を許可しない場合があるので注意すること。 |
| 成績評価の方法 | 提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50% 期末テスト50% |
| 教科書 その他の | 教科書は授業時に指定する。 |

「日本語」
「日本事情」

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 231211 |
| 科目名 | 日本語IV b |
| 担当者名 | 鈴木 美希 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。 |
| 履修上の留意点 | ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。 |
| 成績評価の方法 | 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。 |
| 教科書 その他の | 必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 231221 |
| 科目名 | 日本語Ⅳb |
| 担当者名 | 湯村 礼子 |

講義のねらい 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。(1～7)レポートを書く(8～15)意見文の書き方、実践

履修上の留意点 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 作文(3～4回) 50%

教科書 提出物・小テスト・授業活動(授業での発言、授業態度など) 50%

教科書 教科書は授業時に指定する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 231311 |
| 科目名 | 日本語Ⅴa |
| 担当者名 | 石川 守 |

講義のねらい しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などから始めます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人におすすめします。

講義の内容・授業スケジュール 日本語の話し言葉や書き言葉の文体から、会話や基礎文法が復習ができるように構成されています。まず会話特有の表現から始まり、呼称、指示詞、存在や場所関係の表現、数詞、形容詞など日本語コミュニケーションの基本的なものを学んでいきます。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めないことがあります。

成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他 受講態度を重視しています。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 231321 |
| 科目名 | 日本語Ⅴa |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 |

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。

講義の内容・授業スケジュール レポートを書くための基礎を学ぶ。各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。見出しから内容を推測したりわかる言葉から概要をつかむ練習をし、さらに自分で調べながら細部まで読み、内容について説明したり、意見発表を行う。

成績評価の方法 それらを文章にまとめる。平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリント配布する。辞書を持ってくること。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 231411 |
| 科目名 | 日本語Ⅴb |
| 担当者名 | 石川 守 |

講義のねらい 日本語Ⅴaに続けて、日本語コミュニケーションの会話に必要な基本的な文法について学んでいきます。特に日本語の基礎を固めたい人におすすめです。

講義の内容・授業スケジュール 日本語Ⅴaの続きをやっていきます。

履修上の留意点 日本語Ⅴaに準じますので、そちらを参照してください。

成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等 辞書を持ってきて下さい。

その他 受講態度を重視しています。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 231421 |
| 科目名 | 日本語Vb |
| 担当者名 | <small>たたら あきこ</small> 多田羅 哲子 |

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事の問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法 平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 231511 |
| 科目名 | 日本語VI a |
| 担当者名 | <small>いしかわ まもる</small> 石川 守 |

講義のねらい 日本語の中上級の文法を話し言葉、書き言葉、コミュニケーションの観点からテキストを使いながらやっていきます。

講義の内容・授業スケジュール 授業は中上級の文型に関するもの、特に型の似ているものの用法や意味の違い、類義的な表現の用法の違いなどを中心に、用例に出てくる語句の意味の分析、発音やアクセントなどもやっていきたいと思っています。スケジュールはテキストの初めから順次やっていきたいと思っています。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は履修を認めません。ご注意ください。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 使用するテキストは、授業中にプリントで配ります。

参考書等その他 辞書を持ってきてください。
授業態度を重視しています。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 231521 |
| 科目名 | 日本語VI a |
| 担当者名 | <small>たたら あきこ</small> 多田羅 哲子 |

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。
現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 231611 |
| 科目名 | 日本語VIb |
| 担当者名 | <small>いしかわ まもる</small> 石川 守 |

講義のねらい 日本語 VIa の続きをやっていきますので、基本的に変更はありません。日本語 VIa を参照してください。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 VIa の続きをやっていくため、日本語 VIa を参照してください。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で必ず教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めません。ご注意ください。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとって、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 授業中にテキストのプリントを配ります。

参考書等その他 辞書を持ってきてください。
受講態度を重視しています。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 231621 |
| 科目名 | 日本語VIb |
| 担当者名 | 多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small> |

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。
講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。
成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。
教科書 プリントを配布する。
 辞書を持つてくること。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 231701 |
| 科目名 | 日本事情I〔地理〕 |
| 担当者名 | 高橋 健太郎 <small>たかはし けんたろう</small> |

講義のねらい 人々の生活や地域社会の特徴と変化を、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。その後、受講生2～3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらう。また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行なう。
履修上の留意点 第1回目に授業の案内を行なうので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。
成績評価の方法 頻りに教場で作成してもらう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。
教科書 使用しない。授業中にプリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 231801 |
| 科目名 | 日本事情II〔自然〕 |
| 担当者名 | 清水 善和 <small>しみず よしかず</small> |

講義のねらい 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海が多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。また、日本の自然と日本人の文化・生活との関連についても取り上げる。
講義の内容・授業スケジュール 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震、自然災害；8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回）
成績評価の方法 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。
教科書 講義内容を文章化した「web版テキスト（日本語版と英語版）」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。
参考書等その他 講義とweb版テキストの中で適宜紹介する。
 講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web版テキスト（English version）」を用意する。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 231901 |
| 科目名 | 日本事情III〔歴史〕 |
| 担当者名 | 井上 桂子 |

講義のねらい 本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 19世紀－鎖国政策の中での日本の他国関係
 2. 中国商人の「唐風説書」の役割
 3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
 4. 日米和親条約と中国
 5. 明治維新と中国の反応
 6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
 7. 清末の改革維新と日本との関係
 8. 孫中山と日本
 9. 民間交流と日中関係
 10. 戦争中中国大陸で反戦活動
 11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点 第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法 出席回数と課題レポートで評価します。

教科書 必要に応じてプリントを配布します。

参考書等 授業のなかで適宜紹介します。

その他 希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 232001 |
| 科目名 | 日本事情IV〔思想〕 |
| 担当者名 | 佐藤 美奈子 |

講義のねらい 明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。この大きな転換期に日本では何が起こったのでしょうか。そして、その変化を当時の思想家達はどのように受けとめたのでしょうか。本授業では、幕末から明治末期にかけての歴史と思想について学びます。この時代の日本に何が起こったのか。当時の思想家達は、何を問題だと考えていたのか。その問題をどのように解決しようとしていたのか。こういった問いを明らかにしていくことが本授業の目的です。この作業を行うことにより、学生の皆さんは近代日本（ひいては現代日本）がどのように成立したかを知る手がかりを得ることができるでしょう。なお、授業を理解する上では、常識レベルでの日本史の知識が必須です。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

講義の内容・授業スケジュール オリエンテーション(1)、儒教思想(2～3)、福沢諭吉(4～5)、明六社(6～7)、自由民権(8～9)、中江兆民(10～11)、徳富蘇峰(12～13)、社会主義(14～15)。

履修上の留意点 毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。授業を履修する場合は、4月中に必ず一度授業に出席して上記の点について確認をしてください。また可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法 出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書 特に指定しません。

参考書等 授業時に適宜、紹介します。

その他 講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 232101 |
| 科目名 | 日本事情V〔社会〕 |
| 担当者名 | 坪井 健 |

講義のねらい この講義は、外国人学生のために現代の日本社会への理解を深めるための講義です。基本的には、日本人が何を考えているか、「日本人の意識」を外国人と比較しながら考えていきます。外国人はあなたの意識でもありますので、授業中は、集団としての日本人の平均的な考え方とあなた自身の意見と比較してみてください。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、「生活価値観」「仕事」「家庭」「教育」「ナショナリズム」「生活満足度」などです。こうした問題について討論しながら進めたいと思います。

1. はじめに 講義の方針と受講の仕方
2. 戦後日本の生活変動 一概要一
3. 日本人の生活価値観 一講義一
4. 教育と学校 一講義とビデオ一
5. 政治とナショナリズム 一講義一
6. 仕事と余暇 一講義とビデオ一
7. 家族とジェンダー 一講義一
8. 高齢化社会と老後 一講義一
9. 若者の意識 一講義とビデオ一
10. 戦後日本人の意識の動向
11. まとめ 一現代日本の社会問題一

履修上の留意点

この授業では、対話型授業を行うので、皆さんの意見を積極的に述べること。また、毎回リアクション・ペーパーを配布するので、意見や感想などを必ず記入すること。ビデオによる映像教材や1回程度は、社会見学をすることがあるので遅刻・欠席しないこと。授業内容はすべてプリントにして配布する。特別、英語による補足説明はしないが、プリントと映像教材で、外国人にも理解しやすい工夫をする。

成績評価の方法

この授業は、平常点（出席＋リアクションペーパー＋受講態度等）40％と課題レポート（2～3回提出）60％で評価する。

教科書

1. NHK放送文化研究所編『現代日本人の意識構造』（第六版）NHKブックス ¥1020＋税

「日本語」
「日本事情」

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 232201 |
| 科目名 | 日本事情VI〔政治・法律〕 |
| 担当者名 | 三竹 直哉 |

講義のねらい

日本の政治について知り、みんなで意見交換します。

講義の内容・授業スケジュール

下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎日本のマイノリティ
- ◎日本の移民政策

履修上の留意点

日本の政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぼうがない学生は履修すべきではありません。

授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。

成績評価の方法

平常点と期末テストによります。

教科書

指定する予定はありません。

その他の

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

最新の情報は YeStudy で確認してください。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 232301 |
| 科目名 | 日本事情VII〔文学〕 |
| 担当者名 | 坂口 博規 <small>さかぐち ひろき</small> |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生 2、古代前期の歌謡 3、日本神話・伝説・説話 4、古代前期の詩歌 5、古代後期の文学とその美意識（1） 6、古代後期の文学とその美意識（2） 7、中世の文学とその美意識（1） 8、中世の文学とその美意識（2） 9、中世の文学とその美意識（3） 10、近世の文学とその美意識（1） 11、近世の文学とその美意識（2） 12、近世の文学とその美意識（3） 13、日本文学の特質（1） 14、日本文学の特質（2） 15、日本文学の特質（3） |
| 履修上の留意点 | 第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。 |
| 成績評価の方法 | レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。 |
| 教科書 参考書等 | 必要に応じて適宜プリントを配布する。 授業内で紹介する。 |

「日本語」
「日本事情」

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 232401 |
| 科目名 | 日本事情VIII〔文化・芸術〕 |
| 担当者名 | 佐藤 美奈子 <small>さとう みなこ</small> |

| | |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのかについて、身近なもの（食文化など）を例にあげながら、学んでいきたいと思えます。特定の「日本文化」に注目し明らかにするというよりも、通史的に日本文化史を学ぶ形になります。そのため、日本の中学生レベルの日本史について学ぶことも、授業の目的の一つとなります。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2～4)、中世日本の文化(5～8)、近代日本の文化(9～14)、まとめ(15)。 |
| 履修上の留意点 | 毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須とと考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。 |
| 成績評価の方法 | 出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。 |
| 教科書 参考書等 その他 | 特に指定しません。 授業時に適宜、紹介します。 講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。 |

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 232501 |
| 科目名 | 日本事情IX〔経済〕 |
| 担当者名 | 福原 好喜 |

講義のねらい 特別のことがない限り、これ以降日本経済、世界経済は大不況（デフレーション）へと突入して行くが、やさしい日本語で「福原経済学」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール 拙著『総理、お間違えではありませんか？—銀八教授内閣への直言—』、『熱血教授心の教育一駒大経済銀八ゼミナール—』等を使い、デフレーションからどのように脱出するのか？福原のユニークな考えを述べる。ノーベル賞を受賞した Mr. Paul Krugman 等他のエコノミストの主張にも言及する。（Krugman の経済学はこれから起こる大不況に対しては useless）

履修上の留意点 テキストを前もって読んでおくこと。分からない単語は辞書を引いておく。

成績評価の方法 出席とペーパーテストで成績評価。

教科書 前述の拙著の他、その時々々の新聞及び雑誌等の経済記事を教材として利用する。

その他 受講者が少ない場合、ロールプレイング等学生参加型の授業にしたい。複数回レポートを課す。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 232601 |
| 科目名 | 日本事情X〔経営〕 |
| 担当者名 | 中野 香織 |

講義のねらい 本講義は留学生の方々を対象としている。主な目的は、日本の企業について学ぶことである。特に広告会社を事例にして、企業をとりまく環境、部署の構造、業務内容などについて説明する。さらに、本講義では受講生が授業で議論できる能力をつけることも目指したい。教員と受講生間のコミュニケーション、および受講生同士のコミュニケーションを密にすることによって、授業で積極的に発言しやすい場を作り、日本で議論することに慣れてもらいたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール 講義の前半では、広告会社を事例とした企業活動の説明をする。講義の中盤では、受講生の関心が高いテーマを選び、その解説をする。同時に、それらのテーマについて各自で調べてもらい、発表をしてもらう。講義の後半では、テーマについてグループで議論し、資料にまとめ、発表をしてもらう。

履修上の留意点 (1) イントロダクション：本講義の概要説明、(2) 教員・受講者の自己紹介を兼ねた発表、(3～6) 広告会社を事例とした企業活動の説明：市場をとりまく環境、市場構造、各部署の役割、個人の業務内容など、(7～12) 受講者の関心が高いテーマについての解説、および受講生による発表、(13～14) グループ作業および発表、(15) 試験

成績評価の方法 留学生の皆さんに、日本の企業に興味を持ってもらいたいと思っているので、質問は積極的にしてほしい。

教科書 出席点・授業への取組み方70%、試験30%で評価する。特になし。

V 随 意 科 目

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | — |
| 科目名 | 英語（海外演習） |
| 担当者名 | — |

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法
その他

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | — |
| 科目名 | フランス語（海外演習） |
| 担当者名 | — |

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | — |
| 科目名 | 中国語（海外演習） |
| 担当者名 | — |

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

随意科目

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 233501 |
| 科目名 | 比較思想特講 |
| 担当者名 | 小川 順敬 |

講義のねらい 本科目は、宗教的視点の講義と哲学的視点の講義を隔年で開講している。今年度は宗教的視点の講義である。

この講義では、仏教やキリスト教、また日本の民俗宗教などに見られる生命観、人間観（人格概念）について考察したい。

今日、脳死・臓器移植問題の中で、生命の意味が問い直されているが、そういった議論の理解を深めるためにも、宗教的生命観・身体観・人格概念などを整理しておきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は仏教・キリスト教の生命観に関する主要な議論のいくつかを概観しておきたい。その際、教義レベルの観念的な議論だけでなく、仏教文化圏やキリスト教文化圏の社会で実際に行なわれている様々な宗教儀礼などを取り上げ、これらを通して生命観の具体的諸相を比較しておきたい。

後期は日本の民俗宗教に見られるアニミズム的生命観の今日的評価について、いくつかの議論を紹介、概観することとしたい。

また、オセアニアを対象とする人間観、人格概念の具体的な研究を取りあげ、文化人類学、宗教人類学で議論されてきたアニミズム的生命観および人格概念を検討することとしたい。

成績評価の方法 原則としてレポートで評価します。

教科書 教科書は用いません。

参考書等 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。また、関連資料はその都度コピーで配布します。

法律学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 341601 |
| 科目名 | 仏教と人間〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>こまがみわ のりこ</small> 駒ヶ嶺 法子 |

講義のねらい

駒澤大学の設立の目的は「仏教教義並びに曹洞宗立宗の精神に則り学校教育を行うこと」です。本校ではこの目的に基づき「仏教と人間」という科目を全学部学科に開講しています。本講義もこの目的に則って行います。その為本講義では仏教と曹洞宗の基礎知識を身につけて貰うために、仏教の教主釈尊と曹洞宗の両祖道元禪師・瑩山禪師の伝記とその教えを中心に取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、主に①釈尊の伝記と悟りの内容、②仏教の日本への伝播、③日本に仏教を伝えた人物の一人である道元禪師、そしてその教えを広く伝えることに努めた瑩山禪師の伝記を概観します。
 (1) 授業の説明(2～5) 釈尊の伝記(6～9) 釈尊の教え(10～13) 釈尊入滅後の仏教(14～17) 中国の仏教(18～22) 日本の仏教(23～26) 道元禪師の伝記(27～30) 瑩山禪師の伝記
 ※スケジュールはあくまで目安としてください。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

配布プリントを保存してください。
 出席状況と学年末の定期試験で評価します。
 プリントを配布します
 中村元他編『岩波仏教辞典』岩波書店 7350円 4-00-080205-4
 石川力山編著『禅宗小事典』法蔵館 2520円 4-8318-7064-1

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 341801 |
| 科目名 | 仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>まつもと しろう</small> 松本 史朗 |

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

講義は、内容は、次の通り。(1～2) 仏教以前のインド思想、(3～10) 釈尊と原始仏教、(11～20) 大乘經典の思想、(21～28) チベット・中国・日本の仏教
 年度末の試験によって、成績を評価する。
 松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 1,400円

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 履修コード | 341901 |
| 科目名 | 仏教と人間 仏教と人間〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 四津谷 ^{とつや} 孝道 ^{こうどう} |

講義のねらい 受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 仏教が誕生するまで（古代インドの社会と宗教）
- 第3回 宗教とは、仏教とは
- 第4回 インドの宗教思想の基本概念 — 輪廻と解脱
- 第5回 仏陀の生涯（1）：概観（人間仏陀と神格化された仏陀）
- 第6回 仏陀の生涯（2）：誕生 / 出家 — 四住期との関係で
- 第7回 仏陀の生涯（3）：成道 — 仏陀の悟りの内容
- 第8回 仏陀の生涯（4）：仏陀の最後の食事
- 第9回 仏陀の生涯（5）：仏陀の死（涅槃） — 仏陀の葬儀を中心に
- 第10回 仏教史の概観 — インド仏教から日本仏教まで
- 第11回 経典について — 原始経典と大乘経典とは何か
- 第12回 原始仏教の経典：スッタニパータ、ダンマパダ等
- 第13回 大乘仏教の経典：維摩経
- 第14回 大乘仏教の経典：法華経
- 第15回 大乘仏教の経典：如来蔵経
- 第16回 大乘仏教の経典：涅槃経
- 第17回 日本仏教について — 葬式仏教とは
- 第18回 仏教と神道（1）— 仏教の伝来
- 第19回 仏教と神道（2）— 神仏習合
- 第20回 奈良仏教（1）— 国家仏教の成立
- 第21回 奈良仏教（2）— 表の仏教（官僧）と裏の仏教（聖）
- 第22回 平安仏教（1）— 密教と浄土仏教
- 第23回 平安仏教（2）— 最澄
- 第24回 平安仏教（3）— 空海
- 第25回 鎌倉仏教（1）— 親鸞
- 第26回 鎌倉仏教（2）— 道元
- 第27回 鎌倉仏教（3）— 日蓮
- 第28回 明治期以降の仏教

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
その他の

特になし。
出席点、小テスト、そして年度末の試験に基づいて評価する。とりわけ出席点を重視する。
授業において指示する。
授業において適宜に言及する。
特になし。

2. 教養教育科目

| | |
|-------|---------------------------|
| 履修コード | 342401 |
| 科目名 | 宗教学〔比較宗教文化〕 |
| 担当者名 | 田中 <small>たなか</small> かのこ |

講義のねらい 人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などというと、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール 講義担当者の生活体験をともなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期（1～15）は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期（16～30）は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。

履修上の留意点 板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

成績評価の方法 出席状況、創意工夫や日本語の表現力を評価する課題レポート、学年末試験（追試なし）。

教科書 拙著『比較宗教学―「いのち」の探究―』（北樹出版）2008年、改版（第4刷発行）

参考書等 「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

| | |
|-------|--------------------------|
| 履修コード | 342501 |
| 科目名 | 文学〔日本文学「古典」〕 |
| 担当者名 | 池田 <small>いけだ</small> 大輔 |

講義のねらい 土佐日記、蜻蛉日記といった平安時代に輩出した日記文学作品を扱います。それらの作品を通して（原文に触れ）作者たちの心情を感じ取ることを目的とすると同時に、作品の時代背景などを確認しながらそれぞれの日記の世界観、作者たちの置かれていた立場などについても学んでもらいたい。また、作品に見られる風土や儀礼・年中行事などの知識を身に付けることを中心に進めます。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1) ガイダンス
 - 2) 平安時代の日記
 - 3) 蜻蛉日記
 - 4) 和泉式部日記
 - 5) 紫式部日記
 - 6) 更級日記
 - 7) 成尋阿闍梨母集
 - 8) 讃岐典侍日記

履修上の留意点 現代語訳のものでよいので、事前に作品を読んでおく和良好的。学期末には試験（披見可）を行うので、ノートはきちんと取り、配布プリントも整理しておいて下さい。出席重視。

成績評価の方法 出席状況（60％）と試験（40％）などにより評価します。

教科書 毎時間、プリントを配布します。

参考書等 宮崎荘平『王朝女流日記文学案内』（朝文社）

石原昭平、津本信博、西沢正史編『女流日記文学講座』第1巻～第4巻（勉誠社）

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 342601 |
| 科目名 | 文学〔日本文学「近代」〕 |
| 担当者名 | 中西 亮太 |

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の短歌作品を読み、論じていきます。日ごろ短歌を読み慣れていない人にとって、短歌の内容を読み解くのは、なかなか難しいことです。しかも、短歌は内容を読み解くだけでなく、言葉の音楽性まで味わうべきものです。そこでまず、受講生が短歌の読み解き方の基本を身に付けられるよう、訓練します。次いで、短歌の響きとリズムの味わい方について話を進めます。そして、その上で、受講生が近代歌人の表現世界に対する関心と理解を深めることを目指します。講義で取り上げる作品を一首紹介しておきます。「白い手紙がとどいて明日は春となるうすいがらすも磨いて待たう」(斎藤史『魚歌』)

講義の内容・授業スケジュール

原則として、毎回一人の歌人の作品を読んでいきます。取り上げる歌人は、与謝野晶子、石川啄木、北原白秋、斎藤茂吉、前川佐美雄、斎藤史、塚本邦雄、中城ふみ子などです。前期が明治期と大正前半の歌人たち、後期が大正後半と昭和期の歌人たちです。なお、講義をより効果的なものにするために、前後期に一度ずつ、実習として短歌を作り歌会をします。また、現代の歌人を教室に招いて話を聴くことも予定しています。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。
学年末に試験を実施します。また、授業中に課題を出すことがあります。
なし。授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。
高野公彦編『現代の短歌』講談社学術文庫、1,450円、ISBN4-06-158974-1。この本は、明治から昭和までの代表的な歌人の作品を収録しています。

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 342701 |
| 科目名 | 文学〔日本文学「古典」〕 |
| 担当者名 | 伊藤 達氏 |

講義のねらい

本講義では芭蕉の『おくのほそ道』以前の紀行文である、『野ざらし紀行』『鹿島詣』『笈の小文』『更科紀行』を読むことにより、芭蕉の表現の様相・芭蕉にとって旅とはどのような意義を持っていたのかという問題を探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 本講義のガイダンス
- 2) 俳諧連歌について
- 3) 談林時代の芭蕉
- 4) 深川隠棲時代の芭蕉
- 5) 最初の旅へ(『野ざらし紀行』出立前の芭蕉の動向)
- 6) 『野ざらし紀行』(以下、順次上記の紀行文を読み進める。なお同時代の俳人・芭蕉の門人・蕉風俳論・当時の社会状況なども適宜参照する。)

履修上の留意点

指定したテキストを購入し、授業の前には該当箇所を読んでおくこと。欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問点があれば積極的に授業中、時間後に質問して下さい。

成績評価の方法

年度末のレポートを主とする。前期・後期の最終日に小テストを行う。出席状況・聴講態度も加味する。

教科書
参考書等

中村俊定校注『芭蕉紀行文集 付嵯峨日記』(岩波文庫)、500円 (ISBN-00-302061-8)
授業中に適宜紹介する。プリントで配布する場合もある。

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 342801 |
| 科目名 | 歴史学〔日本近代史〕 |
| 担当者名 | はやし あきら 林 彰 |

講義のねらい

幕末のペリー来航後の通商条約により、世界資本主義体制の一環に組み込まれていく我が国は、明治維新期を経て確立する明治憲法体制・教育勅語体制により、ほぼ近代国民国家の成り立ちが整備される。この体制は、アジア太平洋戦争の敗戦により幕を閉じることになるが、講義では近代を通じて支配する体制側の動向と民衆側の歩みを中心にたどってみたい。そのさい、体制側の思想動向や体制側に抵抗しないしは同調しようとする民衆側の思想動向の把握、国内における衛生や病気などにより「隔離」される民衆の問題、アジア民衆への蔑視・差別の問題にも言及していくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、現在の日本に残存するかこの歴史の問題を取り上げ、その要因が日本の近代にあることを検討する。次に、近代史の概説を体制側と民衆の動向をふまえて、敗戦までたどる。次に時間に余裕があれば、個人の人物を取り上げて、近代史のなかで果たした役割をみていきたい。

成績評価の方法

前期はレポート提出。後期は定期試験。レポートを提出しない学生には単位はなし。定期試験は、追試験も実施する。

教科書

大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史（上）』、大月書店、2002年。1800円＋税
ISBN4-272-52068-7C0021

参考書等

講義中に適宜紹介する。

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 342901 |
| 科目名 | 歴史学〔中国史概観〕 |
| 担当者名 | こばやし そういち 小林 惣八 |

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他の

出席を重視する。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 343001 |
| 科目名 | 歴史学〔アジア史概観〕 |
| 担当者名 | やまぐち ひろし 山口 洋 |

講義のねらい

アジア史の事例を通して、歴史学的なものの見方を知る。また日本とアジアとの関係を歴史上に考えることができるようになる。

講義の内容・授業スケジュール

アジア史の中でも、古くから記録の残された中国史を基軸に、アジアと日本の歴史を考える。具体的には以下のスケジュールで講述する。

- 第1回：ガイダンス
- 【歴史学の基礎】第2回：アジアの風土、第3回：紀年法、第4回-第5回：歴史記録とは何か、第6回-第7回：紙と印刷の歴史
- 【中国史の基礎】第8回：伝説の古代、第9回-第11回：皇帝の登場、第12回-第13回：官僚制と科挙
- 【交通の歴史】第14回：中国人の世界観、第15回-第17回：中国と西域、第18回-第19回：駅伝制、第20回-第22回：遣隋使遣唐使、第23回-第24回：鄭和の遠征

履修上の留意点

出席不良者の単位修得は認めない
数回のレポートと平常点（出席など）、筆記試験の結果を総合して判定する

教科書

史料をプリントで配布する

参考書等

寺田隆信著『中国の歴史』（中公新書）

他は、授業内で適宜紹介する

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 343101 |
| 科目名 | 哲学〔西洋思想の源流〕 |
| 担当者名 | 滝沢 正之 |

講義のねらい 西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心を紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。

ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないのに、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。

本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール 下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。適宜プリントで補足を行う。

最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。おおまかな目安としては、前期にタレスからプラトンまで、後期にアリストテレスからベーコンまでを検討することになると思われる。

履修上の留意点 教科書を必ず入手しておくこと。

成績評価の方法 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等 講義中に適宜指示する。

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 343201 |
| 科目名 | 哲学〔近代の人間観と世界観〕 |
| 担当者名 | 佐藤 暁 |

講義のねらい 科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。（1）概論：人間と人間観、世界と世界観（2）～（13）イギリス経験論（ロック・パークリ・ヒューム）（14）～（22）大陸合理論（デカルト、スピノザ、ライプニッツ）（23）～（30）カントとドイツ観念論（カント・ヘーゲル）

成績評価の方法 学期末にレポートを提出してもらいます。

教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | 343301 |
| 科目名 | 哲学〔現代文明と人間〕 |
| 担当者名 | 鈴木 聡 |

講義のねらい 本講義のねらいは、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題について徹底的に考え抜くという態度を受講者に身につけさせることである。

講義の内容・授業スケジュール （1）プロローグ・（2）問いの構造・（3・4）懐疑論・（5・6）意識・（7）誤謬推理・（8・9）他人の心・（10）ロボットと人間・（11）意味・（12）生命倫理・（13）性・（14・15）道徳と宗教・（16・17）道徳に関する2つの見方・（18）芸術の定義・（19）知識・（20）帰納法・（21・22）時間・（23・24）自由意志と決定論・（25・26）功利主義・（27・28）人格の同一性・（29・30）パラドクス

履修上の留意点 欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習をして講義に出席すること。

成績評価の方法 成績は、出席状況・講義中の発表によって評価する。

教科書 開講時に指定する。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 343401 |
| 科目名 | 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 |
| 担当者名 | 伊古田 理 <small>いこた まさる</small> |

講義のねらい 現代論理学の内容を、「ことばの正しき」のうちで「推論の正しき」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
 具体的には、「推論の正しき」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1)論理とはなにか (2)～(6)三段論法 (7)～(12)命題論理(1)－命題論理の意味論 (13)夏期中間試験 (14)～(19)命題論理の「証明」 (20)～(25)述語論理(1)－述語論理の記号表記 (26)～(30)述語論理(2)－述語論理の「推論」

成績評価の方法 年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題（年間通して計3回）を出す。これらによって総合的に評価する。

教科書 野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 343501 |
| 科目名 | 論理学〔科学方法論と現代論理学〕 |
| 担当者名 | 麻生 享志 <small>あさお たかし</small> |

講義のねらい 西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（1）論理とは何かを考え、（2）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（3）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。

講義の内容・授業スケジュール (1-7) 概説・文献・古代・ゼノン・歴史・推理小説・日常性 (8-13) 逆接・クイズ・数理・パズル・記号・真理関数 (14-22) 原理・充足理由・矛盾・排中・演繹・背理・推理・偽・逆 (23-30) 後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・まとめ

履修上の留意点 大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法 平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60％）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書等その他 特になし。講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。
 多数。講義内にて詳細に説明します。
 講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。

初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。（その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

教養教育

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 343601 |
| 科目名 | 倫理学〔現代と倫理〕 |
| 担当者名 | <small>ふるた ともあき</small> 古田 知章 |

講義のねらい 今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上で、現代においての倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 倫理的原理についての検討

- (1) ガイダンス
- (2～5) 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
- (6～9) 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
- (10～12) 中世における宗教的倫理観
- (13～15) ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕 前期からの続きと応用倫理学の諸問題への基礎的な検討

- (1) 前期のまとめ
- (2～5) 近世の転換期における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- (6～8) 現代に生きる我々と倫理 —他者との共存—
- (9～11) 生命の尊厳と人生の質
- (12～13) 人間と環境との関係
- (14～15) 情報と倫理

成績評価の方法 二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）
参考書等 講義の際にその都度紹介する。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 343701 |
| 科目名 | 倫理学〔人生と倫理〕 |
| 担当者名 | <small>すゑき やすひこ</small> 末木 恭彦 |

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学の基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎を取り上げ、その倫理学を紹介する。彼が「倫理学の意義と方法」を述べたとする『人間の学としての倫理学』をテキストとして、和辻の描く倫理学の見取図を描き出す。(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

履修上の留意点 ノートをしっかり取る。
成績評価の方法 各学期末の試験と夏期休暇のリポートによって成績をつける。追試あり。
教科書 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）
参考書等 和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）
湯浅泰雄『和辻哲郎——近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）
坂部恵『和辻哲郎——異文化共生の形』（岩波現代文庫）
苅部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 344201 |
| 科目名 | 社会学〔現代社会を考える〕 |
| 担当者名 | 南後 由和 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとします。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す〈まなざし〉を養い、〈社会学する〉実践感覚をつかむことを目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (1) イントロダクション、新しい社会学のために(2~4) 親密性と公共性、相互行為と自己(5~7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(8~11) メディアとコミュニケーション(12~16) 歴史と記憶、空間と場所(17~19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション(20~21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ(22~23) エスニシティと境界、格差と段層化(24~27) 文化と再生産、社会運動と社会構想(28) 総括 |
| 履修上の留意点 | 授業の順序および配分は、多少変更の可能性があります。 教科書をベースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。 講義中に挙手・発言をするなど、受講者の積極的な〈参加〉を求めます。 |
| 成績評価の方法 | 平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。 |
| 教科書 参考書等 | 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣)3,500円 授業中に随時紹介します。 |

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 344301 |
| 科目名 | 社会学〔現代文化を考える〕 |
| 担当者名 | 橋爪 敏 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。 前期1)~8) 社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学9)~15) 歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書社会学、マルクス主義の影響。 後期16)~20) フランスにおける現代社会学への歩み21)~25) ドイツにおける現代社会学への歩み26)~30) 現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。 |
| 成績評価の方法 | 成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。 |
| 教科書 参考書等 | 安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社) 高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房) R. ニスベット『現代社会学入門1~4』(講談社学術文庫) その他授業中に適宜指示したい。 |

| | |
|-------|--------------|
| 履修コード | 344401 |
| 科目名 | 文化人類学〔文化と人間〕 |
| 担当者名 | 川上 新二 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 文化人類学は世界のさまざまな民族や社会の理解を通じて、究極的には人間とは何かを考えようとする学問です。この授業では、さまざまな民族や社会、さらには人間を理解するために文化人類学が提出してきた見方、考え方を学びながら、今後も地球規模でさまざまな社会の人々と交流しながら生活していくことになるであろう私たちにとって有効と考えられる視座を養うことを目的とします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (前期)(1~2) 文化人類学とは、(3~4) 異文化と自文化、(5~6) 人間と文化、(7~8) 文化についての進化論と伝播論、(9~10) 文化についての機能主義と構造主義、(11~12) 文化と言語、(13~14) 経済生活、など。 (後期)(1~2) 婚姻、(3~4) 家族、(5~6) 祖先とのつながり、(7~8) 呪術、(9~10) 妖術と邪術、(11~12) 憑依、(13~14) 文化的性差と文化の型、など。 |
| 成績評価の方法 | 学期末試験、年3回(前期1回、夏休み、後期1回)のレポート、出席状況で評価します。 |
| 教科書 | 祖父江孝男『文化人類学入門』増補改訂版、中央公論社(中公新書) |

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 344501 |
| 科目名 | 文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕 |
| 担当者名 | すざい じゆんいち 杉井 純一 |

講義のねらい さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か、2. 文化人類学の歩み(1)、3. 文化人類学の歩み(2)、4. 文化とコミュニケーション、5. 環境と人間(1) 狩猟採集民、6. 環境と人間(2) 牧畜民、7. 環境と人間(3) 農耕民、8. ジェンダー、9. セクシュアリティ、10. 婚姻の形態、11. 家族の多様性、12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教、2. アニミズム、3. シャーマニズム、4. シンクレティズム、5. 儀礼の構造、6. コスモロジー、7. 神話、8. 政治組織、9. 民族とエスニシティ、10. 民族紛争と戦争、11. 開発と文化、12. 移動の民族誌

ビデオを見た感想を問うことがあります。

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書)800円

山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣)1,700円

佐々木大幹・村武精一編『宗教学人類学』(新曜社)2,200円

できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

その他

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 344801 |
| 科目名 | 政治学〔政治システムと政治参加〕 |
| 担当者名 | ました えいじ 真下 英二 |

講義のねらい そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか? 政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。

講義の内容・授業スケジュール

春学期: 政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。

秋学期: より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。

履修上の留意点

この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。

また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。

成績評価の方法

成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。

教科書

参考書等

特に指定しない。

加藤秀治郎他『政治学の基礎』(一藝社)2002年

加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』(芦書房)1999年

他は追って指示する。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 344901 |
| 科目名 | 政治学〔国際社会と日本〕 |
| 担当者名 | 山村 ^{やまむら} 恒雄 ^{つねお} |

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点
成績評価の方法

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。
夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書
参考書等

特定の教科書は使用しない。
授業中、随時指定。

| | |
|-------|----------------------------------------|
| 履修コード | 345001 |
| 科目名 | 経済学〔現代経済と人間〕 |
| 担当者名 | 沼田 ^{ぬまた} さとし ^{さとし} 郷 |

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・授業スケジュール

・経済学の歴史（古典派～新古典派）・地球環境問題・大量消費社会の実態とその起源・世界の経済格差・世界の貿易と投資・東アジア地域の成長と課題・経済成長と諸資源・開発論の検討・多国籍企業とその理論・雇用問題

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

履修上の留意点

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバルイゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日の課題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

成績評価の方法

学期末試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、レポートの作成を求めます。また、出席カードの提出にかえて、講義終了時に書いていただく講義内容についての小レポートも成績に反映させます。

教科書

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考文献、資料等に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

その他

授業方法は講義形式で行います。板書形式での授業を基本としますが、必要に応じてパワーポイントなどを使用します。

| | |
|-------|----------------|
| 履修コード | 345101 |
| 科目名 | 社会科学論〔社会認識の思想〕 |
| 担当者名 | 枝松 正行 |

講義のねらい

社会科学論とは社会科学の方法についての学である。講義では、社会科学史を学び、社会科学の方法を代表する二つの立場を統一的に理解して、1929年以来的世界金融危機にあえぐ現代社会の構造と変動の全体的把握の方法を探究する。同時に社会科学としての未来社会論についても考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会科学論は個々の個別社会科学の成果と方法を分析・総合し、一つの総体としての生きた現実社会の運動・発展法則を解明する。この法則は、取り除くことも法令で禁止することもできないが、それを認識することによって、未来社会への分娩の苦痛を緩和することはできるからである。

前期講義と後期の前半までは、社会発展の全体的把握に不可欠な社会科学史上の方法理論を概説する。後期の後半からは、資本主義の発展諸段階のなかでこれを検証し、現代グローバル金融資本の「新世界秩序」と日本の「構造改革」や「世界金融危機」の現実を必然性の科学と合理性の科学という複眼思考で総括する。併せて、21世紀の国際社会と日本が直面する人類史的課題としての科学的な未来社会論の展望も試みる。

(1) ガイダンス (2) 社会科学論とはどういう学問か (3) 形而上学と論理学 (4~5) 形式論理学の三大原則と矛盾 (6) アフォリズムと弁証法 (7~9) 弁証法論理学の基本法則 (10) 経済的社会構成体の歴史理論と経済学批判 (11~13) 生産力・生産関係の弁証法と唯物史観 (14) 必然性の社会科学と土台・上部構造の社会論理 (15) 中間試験 (16) 宗教社会学と理解社会学 (17~18) 理念と利害状況の複眼思考的歴史観 (19) 動機理解の社会理論と合理性の社会科学 (20) 必然性の社会科学と合理性の社会科学の総合 (21~25) 世界資本主義の発展諸段階と20世紀革命史・虚構の検証 (26~28) 「新世界秩序」と「構造改革」の破綻としての「世界金融危機」 (29) アソシエーション社会への転換 (30) 期末試験

履修上の留意点

本講義は、前半が理論編、後半が検証・応用編である。精励出席が前提であり、毎回出席を取る。社会科学論の真の教科書は常に生成しつつある全体としての現実社会そのものであるから、現実社会の最新状況について日頃から自分自身の意見や考えをまとめておくことが本講義の予習となる。講義は常に現実社会の動向を分析の俎上にのせながら進めるので質問や意見・要望があればカード等で積極的に提出すること。次回授業の冒頭に匿名で紹介・応答し、可能な限り講義内容にも反映させていく。必ずノートを取り、復習すること。専門用語については確認テストも随時行う。

成績評価の方法

出席・平常点 (20%) と前・後期末 (計2回) の授業内試験 (80%) 等により総合的に評価する。

教科書

大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書

参考書等

本山美彦・萱野稔人『金融危機の資本論』青土社
関岡英之『拒否できない日本』文春新書、同『奪われる日本』講談社現代新書

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 345201 |
| 科目名 | 統計学〔社会現象の統計的決定〕 |
| 担当者名 | 新行内 康慈 |

教養教育

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の基本的な考え方を理解し、諸手法を修得することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

前期
1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習I
9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習II
15まとめ・補足

後期
16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定
22-24その他の推定・検定 25演習III 26散布図と相関係数 27-28回帰分析
29期末試験 30まとめ・補足

履修上の留意点

統計学は積み重ねの学習が要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。

①演習I~III: 45%(各15%) + 期末試験55%

②期末試験: 100%

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN 4-489-00407-9
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN 4-534-03036-3
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN 4-8171-0266-7
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN 4-13-042065-8
配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。
配布資料・説明資料等は YeStudy に公開します。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 345301 |
| 科目名 | 心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕 |
| 担当者名 | 鈴木 順一 |

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

その他の

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 345401 |
| 科目名 | 心理学〔人間関係を考える〕 |
| 担当者名 | 鈴木 順一 |

講義のねらい 講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

講義の内容・授業スケジュール 学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

履修上の留意点 しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

成績評価の方法 番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

教科書 【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

参考書等 【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

その他の 最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

講義の内容・授業スケジュール 単独・聴講学習ではなく、グループによる協同学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法 出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書 使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等 蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）
すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

教養教育

| | |
|-------|------------|
| 履修コード | 345501 |
| 科目名 | 生物学〔生態と進化〕 |
| 担当者名 | 清水 善和 |

講義のねらい 地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続と続いた進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。

講義の内容・授業スケジュール 1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化（4-6回）、3章：系統と分類（7,8回）、4章：行動と進化（9,10回）、5章：動物の人口論（11,12回）、6章：共生と競争（13,14回）、7章：人類の進化（15-17回）、8章：進化論（18,19回）、9章：生態系（20,21回）、10章：物質の循環（22-24回）、11章：植生遷移（25,26回）、12章：生物多様性（27,28回）、13章：人為と生物（29,30回）

成績評価の方法 前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書 講義内容を文章化した「web 版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。

参考書等 上記「web 版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。
講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 履修コード | 345601 |
| 科目名 | 生物学〔生物と環境〕 |
| 担当者名 | 中村 ^{なかもら} 敏枝 ^{としえ} |

講義のねらい 地球上の生物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然の掟に逆らい、自らの歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 生物の生活
 (1-5) 地球の歴史と生命の起源
 (6-13) 生態系のしくみ
 (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
 (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 (22-23) 水銀汚染と水俣病
 (24-25) 人工放射線物質汚染

履修上の留意点 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
 参考書等 授業時間内に随時紹介します。
 その他 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 履修コード | 345701・345901 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕 |
| 担当者名 | 澤口 ^{さわぐち} 隆 ^{たかし} |

講義のねらい DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス(CG)を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ロゴマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作

履修上の留意点 コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。
 教科書 使用しない。適宜資料を配付する。
 参考書等 同上
 その他 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 345801・346001 |
| 科目名 | コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕 |
| 担当者名 | 坂野井 和代 |

講義のねらい 主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回)
2. 総合情報センターの利用方法 (2回)
(ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、WindowsPC の基本操作)
3. タイプ練習&日本語入力 (3回)
4. 電子メール (Active ! mail の使い方、公用メールの書き方) (2回)
5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回)
6. WWW ウェブサイト作成 (6回)

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet ID の取得は必須です。

成績評価の方法 評価は授業時間中に出题する2～3回程度の課題によって行う。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等 参考書は必要に応じて紹介する。

その他 実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 346101・346201 |
| 科目名 | 地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕 |
| 担当者名 | 加藤 潔 |

講義のねらい 最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール 前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法 主に期末試験で評価されます。また前・後期に3回ぐらいつつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。

教科書 特に定めなし。適宜プリントを配布。

参考書等 『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店）

その他 プロジェクター、ビデオ等を使用します。

教養教育

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 346301 |
| 科目名 | 自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕 |
| 担当者名 | <small>しのはら まさひ</small> 篠原 正雄 |

講義のねらい 現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義する。個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1~10) 宇宙と地球環境：(自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成) (11~15) 地球環境の変動：(宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動) (16~25) 地球環境問題：(オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題) (26~30) 宇宙と地球の未来：(文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI：地球外文明探査)

成績評価の方法 学年末に行う筆記試験の結果により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、試験の点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』(東京教学社) 2,300円+税

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 「宇宙」に関する映像を使うことがある。教科書外の事項については適宜プリント等を配布する。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 346401 |
| 科目名 | 自然環境論〔生命と環境〕 |
| 担当者名 | <small>やまがた なほし</small> 山縣 毅 |

講義のねらい 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール 〔地球表層の環境〕

1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)、2. 気候の決定要因 (3~7回)、3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)

〔人間活動による環境変化〕

1. 公害問題の変遷 (9回)、2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)、3. 大気汚染 (17回)、4. 酸性雨 (18回)、5. 光化学スモッグ (19回)、6. オゾン層の破壊 (20回)、7. 海洋汚染 (21, 22回)、8. 廃棄物問題 (23, 24回)、9. 資源とエネルギー (25~27回)

〔自然災害〕：

1. 気候変動 (28回)、2. 地震とその災害 (29回)、3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法 成績は、定期試験とレポートにて評価します。

参考書等 講義中に紹介します。

その他 講義にて、資料プリントを配布します。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 346501 |
| 科目名 | 情報数学〔情報と論理〕 |
| 担当者名 | 鳥居 竜三 <small>とりい りゅうぞう</small> |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に付けることを目標とする。
教科書に従って以下の項目を解説する。
各節を2～3回かけて授業を行う。

- 第1章 集合と論理
 - §1 集合
 - §2 論理
- 第2章 関係と写像
 - §1 関係
 - §2 写像
- 第3章 代数系
 - §1 代数系
 - §2 半群と群
 - §3 環と体
- 第4章 順序集合と束
 - §1 順序
 - §2 束とブール代数
- 第5章 グラフ
 - §1 グラフ
 - §2 平面グラフ
 - §3 有限オートマトン

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他の

毎回出席すること。
前期・後期の期末試験の結果で評価する。
石村園子「やさしく学べる離散数学」 共立出版 2,100円（税込）
適宜紹介する。
数学が苦手である人を想定して講義を進めていくので、解らないときは質問して下さい。全ての受
講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外国語科目

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 346901 |
| 科目名 | 英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕 |
| 担当者名 | 濱口 真木 |

講義のねらい 基本的な文法や構文を重点的に確認しながら英文を正確にとらえる練習を行なう。
 講義の内容・ テキストを進め文法やリスニングの向上を目指す。前期は文法に重点を置く。Lesson1挨拶～
 授業スケジュール Lesson12不同意。後期はリスニングが中心。Lesson1音の弱変化～Lesson12音声変化。
 成績評価の方法 出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価。
 教科書 前期はFocus on Communication1（朝日出版社）1400円 ISBN 978-4-255-15442-8 後期はFocus
 on Communication2（朝日出版社）1400円 ISBN 978-4-255-15443-5

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 347001 |
| 科目名 | 英語ⅠA |
| 担当者名 | 今井 夏彦 |

講義のねらい 基礎的な文法・語彙、口頭でのコミュニケーションに必要な基本的な表現法を再確認します。
 講義の内容・ 1回の授業で1章進むことを目標にします。
 授業スケジュール
 履修上の留意点 授業は予習をしてくること。
 成績評価の方法 平常点を重視し、前・後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。
 教科書 『英会話のためのコミュニケーション英作文』松柏社 ￥1,500
 ISBN 4-88198-511-6

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 347101 |
| 科目名 | 英語ⅠA |
| 担当者名 | 荻野 一成 |

講義のねらい 中学高校時代に英語で苦労した人は多いが、まさしくそういう「辛酸をなめた」人に、英文の内容
 が分かった時の喜びを味わってもらうためのクラスである。
 講義の内容・ 前期は、パンフレットや広告など様々な媒体を材料に、いかに日本の日常生活を英語抜きで過ご
 せんないかを実感してもらい、素早く必要な情報をつかむコツを習得する。後期は実践として短編ミ
 ステリーを読み通す。
 履修上の留意点 予復習はもとより、関心を持って積極的に授業参加する姿勢が求められる。
 成績評価の方法 平常授業時の出席を重視する。その上で小プレゼンテーションや前後期のレポート・試験等を総
 合的に評価する。
 教科書 開講時に指示する。
 参考書等 辞書必携（電子辞書含む）
 その他 主に講義形式だが、小グループによる活動も多い。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 347201 |
| 科目名 | 英語ⅠA |
| 担当者名 | 照山 雄彦 |

講義のねらい 日本人と英米人の間には、概念の相違による思考、意志の表現に違いがあり、またそれぞれの生
 得の語感に異なった部分がある。本授業では英語を正しく理解するための基礎とその運用能力をめ
 ぎず。
 講義の内容・ (1) 講義の内容説明（2～15）主語、動詞、目的語、補語、句、節、基本文型と重要構文（16
 授業スケジュール ～24）注意すべき文型、It を含む文型、to -不定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否
 定、名詞を中心とした構文
 履修上の留意点 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること、疑問点を留意し、辞書は必ず持参するこ
 と
 成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。
 教科書 授業の第1日めに教場にて紹介する。
 参考書等 授業の第1日めに教場にて紹介する。

外国語

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 347211 |
| 科目名 | 英語IA |
| 担当者名 | 芝田 興太郎 |

講義のねらい 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら、基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく。

講義の内容・授業スケジュール a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課。
b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表。

履修上の留意点 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。

成績評価の方法 エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。

教科書 日常英語ライティング入門
登美博之他著 成美堂 1800円

| | |
|-------|-----------------|
| 履修コード | 348001 |
| 科目名 | 英語IB〔基礎英語特別クラス〕 |
| 担当者名 | 大瀧 利春 |

講義のねらい 英語のリーディング、リスニング能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール テキストの英文を読み、リーディングの練習を行う。具体的には Unit1 (1～3)、Unit2 (4～5)、Unit3 (6～7)、Unit4 (8～9)、Unit5 (10～11)、Unit6 (12～13)、Unit7 (14～15)、Unit8 (16～18)、Unit9 (19～20)、Unit10 (21～22)、Unit11 (23～24)、Unit12 (25～26)、Unit13 (27～28)、Unit14 (29～30) のペースで進める。また、毎時間15分程度リスニングの練習も行なう。

履修上の留意点 予習を行なうこと。辞書をもってくること。

成績評価の方法 前、後期定期試験50%、平常点(出席率、授業参加度等)50%で評価する。

教科書 Paul Stapleton 『Keywords for Japan』センゲージラーニング 1700円 ISBN 978-4-86312-043-3

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 348101 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 佐々木 隆 |

講義のねらい 入学時の英語力をさらにアップさせるため、Listening Comprehension を中心に、大意を把握する能力を身に付けさせる。

講義の内容・授業スケジュール 1 オリエンテーション、2 補助教材+ Lesson 1、3 補助教材+ Lesson 1～2、4 補助教材+ Lesson 2～3、5 補助教材+ Lesson 3、6 補助教材+ Lesson 3～4、7 補助教材+ Lesson 4、8 補助教材+ Lesson 5、9 補助教材+ Lesson 5～6、10 補助教材+ Lesson 6、11 補助教材+ Lesson 6～7、12 補助教材+ Lesson 7、13 中間試験、14 補助教材+ Lesson 8、15 補助教材+ Lesson 8～9、16 補助教材+ Lesson 9、17 補助教材+ Lesson10、18 補助教材+ Lesson10～11、19 補助教材+ Lesson11、20 補助教材+ Lesson11～12、21 補助教材+ Lesson12、22 まとめテスト、23 まとめテスト、24 補助教材、25 補助教材、26 補助教材、27 補助教材、28 補助教材、29 補助教材、30 補助教材

履修上の留意点 辞書等は必携。

成績評価の方法 3分の2以上の出席(原則)と試験で平均60点以上を規準とする。出席は重視する。

教科書 ブルスミス『Active Communication』南雲堂、1300円+税、ISBN4-523-17424-5 C0082

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 348201 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 杉本 誠 |

講義のねらい 21世紀をどのような時代にするかを考え、議論し、行動するには20世紀から引き継がれた問題を丹念に検討する必要があります。授業ではこれらの諸問題を11の読みやすい評論文の形で提示した総合英語のテキストから学ぶこととします。特に情報、文化、教育、環境、政治経済などの問題から重点的に学びます。

講義の内容・授業スケジュール 経済、環境、医療、福祉などの日常生活に密接な関わりのある記事を多く読み、大意を把握し、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。授業は Lesson 1～6を前期でおこない、Lesson7～11を後期でおこなう。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法 前・後期試験、小テスト、日常の発表、出席率などを総合して評価する。

教科書 『World Events』(オセアニア出版) 1,500円
ISBN4-87203-089-3 C1082

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 348301 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 林 孝憲 |
| 講義のねらい | 近年英字新聞で取り上げられる頻度が高いビジネスや社会問題を中心とする時事的な内容を取り扱い、正確に構文を理解して読むべく。リスニングはプリントを配布して行う。 特に精読を心掛けて進めてゆき、英字新聞を読む準備としたい。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | |
| 履修上の留意点 | 単語の意味調べなどの予習が必要になる。 |
| 成績評価の方法 | 平常での発表・出席および前後期の試験結果を含め総合的に評価する。 |
| 教科書 | 『エコイノベーションと繁栄』(南雲堂) 1900円+税 ISBN978-4-523-17598-8 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------|
| 履修コード | 348401 |
| 科目名 | 英語IB |
| 担当者名 | 佐藤 アヤ子 |
| 講義のねらい | 英語のパラグラフの読み方を学びます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 毎回プリントを配り、そのプリントに沿って授業を進めます。授業前に前回行った授業の単語テストを行います。 |
| 履修上の留意点 | 毎回単語テストがありますので復習が必然です。従って欠席すると総合点が減ります。 |
| 成績評価の方法 | 日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。 |
| 教科書 | プリントを使用します。 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 354601・354602 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 前田 脩 |
| 講義のねらい | 英語を学んで日本と英米の思考過程、文化の違いを学びます。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 一回に一章ずつ進みます。英字新聞からのプリントも使用します。前期に二度、後期に二度自由英作文を行います。 |
| 履修上の留意点 | 必ず毎回予習してくる。 |
| 成績評価の方法 | 日常評価を60%、前期テスト10%、後期テスト、小テストを30%の割合で評価します。 |
| 教科書 | To Be Continued(連続ミステリー：もうひとりの自分)朝日出版 ISBN978-4-255-15445-9 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 354701・354702 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 近藤 真彰 |
| 講義のねらい | 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習 |
| 履修上の留意点 | 授業には必ず辞書を持参してください。 |
| 成績評価の方法 | 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。 |
| 教科書 | ハンドアウトを配布します。 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 354901・354902 |
| 科目名 | 英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 増田 恵子 |
| 講義のねらい | 英語の総合的な運用能力を身につける。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。また英語の基礎も固めていく。(第1回～第15回)文のしくみ(第16回～第30回)構文とその特徴 |
| 履修上の留意点 | 3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。 |
| 成績評価の方法 | 出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。 |
| 教科書 | 宍戸真他著『Reading Expert 1』(成美堂) 1,800円 ISBN978-4-7919-1084-7 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 349201 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | <small>おちあい かずあき</small> 落合 和昭 |

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はリスニングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『コミュニケーション』 Lesson1
- 第三回 『口語英語』 UNIT1
- 第四回 『コミュニケーション』 Lesson2
- 第五回 『口語英語』 UNIT2
- 第六回 『コミュニケーション』 Lesson3
- 第七回 『口語英語』 UNIT3
- 第八回 『コミュニケーション』 Lesson4
- 第九回 『口語英語』 UNIT4
- 第十回 『コミュニケーション』 Lesson5
- 第十一回 『口語英語』 UNIT5
- 第十二回 『コミュニケーション』 Lesson6
- 第十三回 『口語英語』 UNIT6
- 第十四回 『コミュニケーション』 Lesson7
- 第十五回 前期試験
- 第十六回 『口語英語』 UNIT7
- 第十七回 『コミュニケーション』 Lesson8
- 第十八回 『口語英語』 UNIT8
- 第十九回 『コミュニケーション』 Lesson9
- 第二十回 『口語英語』 UNIT9
- 第二十一回 『コミュニケーション』 Lesson10
- 第二十二回 『口語英語』 UNIT10
- 第二十三回 『コミュニケーション』 Lesson11
- 第二十四回 『口語英語』 UNIT12
- 第二十五回 『コミュニケーション』 Lesson12
- 第二十六回 『口語英語』 UNIT13
- 第二十七回 『コミュニケーション』 Lesson13
- 第二十八回 『口語英語』 UNIT14
- 第二十九回 『コミュニケーション』 Lesson14
- 第三十回 後期試験

※『コミュニケーション』は『コミュニケーションの英語チェックブック』、『口語表現』は『話すための口語英語リスニング』

なお、ヒアリング及び発音練習は毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は、一回の量は少ないが、ほぼ毎日提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『コミュニケーションの英語チェックブック』南雲堂 1,260円
- 2) 『話すための口語英語リスニング』成美堂 1,800円 ISBN4-7919-4560-3 C1082
- 3) プリント

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 349301 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | いまい なつひこ 今井 夏彦 |

講義のねらい 留学・環境問題・マルチメディアなど様々なテーマを取り上げ、各々の場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーション能力を同時に養成します。

講義の内容・授業スケジュール 1回の授業で1章進むことを目標にします。

履修上の留意点 授業は予習をしてください。

成績評価の方法 平常点を重視し、前・後期の試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書 『日常会話英作文』成美堂 ¥1,600, ISBN 4-7919-5035-6

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 349401 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | おかもと まこと 岡本 誠 |

講義のねらい Writing and Speaking をねらいとするが、まず前提として重要なのが聴く力である。聴く力なくして話すことにはならない。これは真理である。Listening Comprehension を備えて話す段階へつなげてほしい。

講義の内容・授業スケジュール こちらで用意したものを聴いて英語で書いてもらう。これは意外と大変な作業で、たちどころにその人の英語力がわかる。用意する予定の話題は以下のとおり。

- 1.To Raise Cain
- 2.Hotdog
- 3.Rain
- 4.Maritime Expressions
- 5.Sequoia
- 6.OK
- 7.Maverick

履修上の留意点 辞書の携帯は必須。ケータイは必須に非ず。授業中は外へ出ない。被り物は取ってから教場へ入る。実力がつくように厳しくやるので、それがいやだったら最初から履修しないこと。

成績評価の方法 前期・後期の試験。出席・欠席・遅刻状況。授業への参加状況・発表状況。

教科書 特定のものは使用しない。

| | |
|-------|---------------------|
| 履修コード | 349411 |
| 科目名 | 英語IIA |
| 担当者名 | しばた こうたろう 芝田 興太郎 |

講義のねらい 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら、基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく。

講義の内容・授業スケジュール a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課。
b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表。

履修上の留意点 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。

成績評価の方法 エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。

教科書 日常英語ライティング入門 登美博之他著 成美堂 1800円

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 350301 |
| 科目名 | 英語IIB |
| 担当者名 | はやし たかのり 林 孝憲 |

講義のねらい 速読の訓練を行うと同時に、正確に構文を理解して読んでゆく。パラグラフリーディングのスキルを身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 初めにパラグラフごとに要約し、その後、必要に応じて精読も行う。内容は時事的な自然科学である。

履修上の留意点 単語の意味調べなどの予習が必要となる。

成績評価の方法 平常での発表・出席及び前後期の試験の結果を含め、総合的に評価する。

教科書 『Outlook on Science and Technology』(南雲堂) 1700円+税 ISBN978-4-523-17535-3

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 350401 |
| 科目名 | 英語ⅡB |
| 担当者名 | 杉本 誠 |

講義のねらい 世界の文化、政治経済、情報、教育、科学、環境、娯楽、スポーツなどのあらゆる分野のニュースを通して Reading, Listening, Speaking, Writing のバランスのとれた英語運用力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業では英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主眼をおきます。さらに、練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目指します。授業は Lesson 1～6を前期でおこない、Lesson 7～12を後期でおこないます。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法 前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書 『1/2版：ニュースメディアの英語2009年度版』（朝日出版）1,100円
ISBN978-4-255-15464-0

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 350501 |
| 科目名 | 英語ⅡB |
| 担当者名 | 佐藤 アヤ子 |

講義のねらい 英語のパラグラフの読み方・速読の仕方を学びます。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフの構造、基本構造を理解し、速読の技術を身につける訓練を英文読解を通して行います。授業前に前回は行った授業の単語テストを行います。

履修上の留意点 毎回単語テストがありますので復習が必然です。従って欠席すると総合点が減ります。

成績評価の方法 日常の小テスト、及び前後期の試験結果を入れて総合的に判断します。

教科書 『効果的なパラグラフの書き方』、南雲堂 2100円、ISBN:978-4-523-17593-3

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 350511 |
| 科目名 | 英語ⅡB |
| 担当者名 | 佐々木 隆 |

講義のねらい 一年次の英語力をさらに向上させ、英文の大意をつかめるようにすること、速読を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 1～5. リーディングと解釈、6～10. 総合理解と解釈、11～15. テクニカル・タームと解釈、16～20. リーディングと解釈、21～25. リスニングと解釈、26～30. テクニカル・タームと解釈

履修上の留意点 辞書は必携。

成績評価の方法 3分の2以上の出席（原則）と試験で平均60点以上を規準とする。出席は重視する。

教科書 プリント教材を配布する。授業中に配布する。

| | |
|-------|-----------------------|
| 履修コード | 355201・355202 |
| 科目名 | 英語ⅡA〔再クラス〕 英語ⅡB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 照山 雄彦 |

講義のねらい この授業で扱う英文は、文法を中心とした日常会話を中心として行う。初めに基本となる表現が文法的にどのようなになっているのか解説をする。その英文一つ一つを実際の日常会話で役立つために暗記、応用して行く。

講義の内容・授業スケジュール (1) 授業の内容説明、(2～15) 基本文型と重要構文、注意すべき文型、It を含む文型、to 不定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文

履修上の留意点 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること。また疑問点を用意し、辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。

教科書 授業の第1日めに教場にて紹介する。

参考書等 授業の第1日めに教場にて紹介する。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 355301・355302 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>きしもと しげかず</small> 岸本 茂和 |

講義のねらい Back-to-Basics! ー基本に帰ることーをこのクラスの最大の標語としたい。英語学習の Basics である「5文型」の徹底的理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)基本的に1時限1章(全22章)を目標とする。計22週。(2)《遊び時間》として前期と後期にそれぞれ「英語固有名詞」および「英語慣用句」について学習する。計2週。プリントを配布する。(3)前期・後期試験が各1週で計2週。合計年間26週。残りの週は適宜そのつど指示する。

履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携帯すること。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

成績評価の方法 前期・後期試験の結果および出席状況等をかながみ評価する。

教科書 『基礎文法からはじめる大学英語学習』 松柏社 定価 1,600円(本体)

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 355401・355402 |
| 科目名 | 英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>ほんま としかず</small> 本間 俊一 |

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 Anne of Green Gables(講談社インターナショナル)693円
ISBN4-06-186057-7

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 351401 |
| 科目名 | ドイツ語IA |
| 担当者名 | <small>しみず おさむ</small> 清水 修 |

講義のねらい ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点 必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法 普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書 早川東三著『完全ドイツ文法(改訂版)』(朝日出版社)
ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

外国語

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 351601 |
| 科目名 | ドイツ語ⅡB |
| 担当者名 | <small>しのはら としあき</small> 篠原 敏昭 |

講義のねらい 簡単なドイツ語を耳で聞き、目で見、口に出して言うことを通じて、語彙や文法の基礎的な知識とドイツ語による表現の習得をねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用い、DVD教材を使った授業をおこないます。ドイツ人の生活や考え方もテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点 欠かさず出席すること、予習・課題を確実にやってくること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法 毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書 『モデル1 問題発見のドイツ語(改訂版)』(三修社) 2,600円

参考書等 辞書・参考書は授業の中で指示します。

その他 DVDを活用した授業をおこなう予定です。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 351801 |
| 科目名 | ドイツ語ⅡA |
| 担当者名 | <small>しみず おさむ</small> 清水 修 |

講義のねらい ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。テキストには日本のマンガのドイツ語訳やグリム童話、料理のレシピなどを使用する予定です。

履修上の留意点 ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法 主に平常点で評価します。

教科書 プリントを用意します。

参考書等 授業中に指示します。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 351901 |
| 科目名 | ドイツ語ⅡB |
| 担当者名 | <small>しのはら としあき</small> 篠原 敏昭 |

講義のねらい 1年次で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の理解、聞き取り、ドイツ語による表現ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを用い、DVD教材を使って授業をおこないますが、ドイツ人の行動様式や考え方も学んでいきたいと思っています。ドイツ語検定試験(4級)の受験も勧めています。後期には検定試験対策の教材も授業に採り入れる予定です。

履修上の留意点 課題を必ずこなしてこること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法 毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。ドイツ語検定試験合格者および受験者には相応の評価の追加を行う予定です。

教科書 『CD付き モデル2』(三修社) 2,700円

参考書等 授業の中で指示します。

その他 DVDを活用する授業をおこなう予定です。

外国語

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 355601・355602 |
| 科目名 | ドイツ語ⅠA〔再クラス〕 ドイツ語ⅠB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>のじま としあき</small> 野島 利彰 |

講義のねらい 簡単な練習を積み重ね、さまざまな角度からドイツ語を学びます

講義の内容・授業スケジュール 文法的な説明は少なくし、練習問題でドイツ語を教える方法で授業を進めます。

履修上の留意点 理解できるためには予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績、および授業中、練習問題や質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

教科書 佐藤・Pinnau・中村著『新ドイツに行ってみませんか』、郁文堂、2500円

その他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

| | |
|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 355701・355702 |
| 科目名 | ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 本橋 右京 |
| 講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 | <p>初級文法の配列に則った読章を読み、基本的なドイツ語の語彙や構造を習得して行きます。初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。</p> <p>テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。</p> <p>前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。</p> <p>山本淳著『新マ・じゃあ、またあした!』（同学社）2006年刊 2500円＋税 ISBN8102-0723-4</p> |

| | |
|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 352001 |
| 科目名 | フランス語IA |
| 担当者名 | 高橋 明美 |
| 講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 | <p>初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。</p> <p>前期：（1）発音と読み方のルール（2）名詞の性・数（3）基本動詞（4）形容詞（5）否定文・疑問文（6）近接未来・近接過去（7）疑問詞</p> <p>後期：（1）比較級・最上級（2）さまざまな不規則動詞（3）命令法（4）非人称構文（5）複合過去（6）目的語人称代名詞（7）関係代名詞（8）代名動詞</p> <p>積極的に講義に参加すること。極力欠席を避けること。宿題と復習を怠らないこと。</p> <p>期末に行う試験のほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。</p> <p>『アベセデ フランセ』（改訂版）佐藤久美子・佐藤領時 著 2300円 白水社</p> |

| | |
|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 352201 |
| 科目名 | フランス語IB |
| 担当者名 | 木下 雄介 |
| 講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール 履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等 | <p>フランス語の基本文法を習得する。</p> <p>おおむね教科書の章立てにそって授業を進めます。</p> <p>第1回 全般的な説明、辞書の紹介、発音。</p> <p>第2回以降 2回で1課のペースで授業を進める。</p> <p>初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもありません。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりだから、予習・復習を怠らなければ、修得が難しいわけではない。学生諸君の努力に期待します。</p> <p>期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。</p> <p>石川・清水・須長・中川『新・ゆっくりいそげフランス語』（弘学社、2400円、ISBN4-7681-1319-2 C1085）</p> <p>仏和辞典として、以下のものからどれか一つを選んで購入して下さい。電子辞典や小型の辞書は初心者には向かないので使用しないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『ジュネス仏和辞典』（大修館） ・『新スタンダード仏和辞典』（大修館） ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社） ・『ロワイヤル仏和中辞典』（旺文社） ・『クラウン仏和辞典』（三省堂） |

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 352401 |
| 科目名 | フランス語IIA |
| 担当者名 | 高橋 明美 |

講義のねらい 初級文法をひとつおし学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

講義の内容・授業スケジュール 前期：1年次の文法の復習、代名動詞、不規則動詞の活用、中性代名詞、半過去、受動態、現在分詞とジェロンディフ、条件法
後期：接続法、文章読解

成績評価の方法 出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書 『マ・グラメール』小野ゆりこ著 白水社 2300円
この教科書は昨年度で絶版なので1年次にこの教科書を購入しなかった学生は授業開始時に担当教員に相談のこと。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 352501 |
| 科目名 | フランス語IIB |
| 担当者名 | 木下 雄介 |

講義のねらい 1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール 平易な文章で書かれた読み物をテキストに用います。
第1回 テキストの紹介・一般的な説明。
第2回以降 説明をまじえながら、テキストを読み進める。

履修上の留意点 予習復習が必要なことは言うまでもありません。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法をきちんと確認し、ノートにとった上で授業にのぞむこと。

成績評価の方法 平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点します。かならず予習をして出席すること。

教科書 最初の授業のときにプリントを配布します。

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 355801・355802 |
| 科目名 | フランス語IA〔再クラス〕 フランス語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 長谷川 光明 |

講義のねらい 初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を習得することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意/アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 人称代名詞・基本動詞の活用・名詞の性・数詞/冠詞・形容詞/第一群規則動詞の活用・所有形容詞・否定文/指示代名詞/疑問代名詞・中性代名詞/部分冠詞・数量の表現/命令形・非人称構文/比較級/代名動詞/複合過去/未来形
*毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書 伊勢晃他『ヴワラ!』(早美出版社) 2,100円
石野好一『フランス語の入門』(白水社) 2,200円

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 355901・355902 |
| 科目名 | フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 長谷川 光明 |

講義のねらい ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意/つづり字の読み方の復習 (2-30) 文法(複合過去・代名動詞/半過去・大過去/関係代名詞・命令形・補語人称代名詞/現在分詞・ジェロンディフ・疑問代名詞/受動態/強調構文・中性代名詞/条件法/接続法/間接話法・時制の一致
*毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期試験及び平常点。

教科書 中山真彦、杉山利恵子『ボンジュール・パリ』(白水社) 2,200円
石野好一『フランス語の入門』(白水社) 2,200円

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 352601・352801 |
| 科目名 | 中国語ⅠA 中国語ⅠB |
| 担当者名 | 秋元 翼・王 聡 |

講義の内容・
授業スケジュール
ピンイン（中国式ローマ字表記）で発音の基礎を学んでから、簡単な文法や基本的な表現を学ぶ。主に秋元が文法を、王が応用練習を担当する。各課を文法、応用練習各一回の割合で進む。また、後期の後半にはプリントで文法の補充を行う。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
4分の3以上の出席を要する。授業中積極的に声を出して発音練習をすること。
平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。
尹景春・竹島毅『《最新版》中国語初めの一步』白水社、2200円＋税

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 353001 |
| 科目名 | 中国語ⅡA |
| 担当者名 | 秋元 翼 |

講義のねらい
一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。
授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。
4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。
石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 353111 |
| 科目名 | 中国語ⅡB |
| 担当者名 | 王 聡 |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
1年次に習得した内容を復習しながら、中国語の実用会話・基本文法を学んでいく。

〈前期〉
第1回 ガイダンス・復習
第2回～第13回 会話：中国人の姓・中国人の呼び方・中国人の金銭感覚・中国人同士の付き合い方・中国の地名・中華料理・中国人の時間感覚・中国人のお土産習慣・春節のいろいろ
文法：形容詞述語文・修飾語いろいろ・連動文・動詞の重ね形・助動詞「想」・所在文・方位詞・時刻と時間量・前置詞・副詞
第14回～第15回 復習と前期テスト

〈後期〉
第1回 復習・練習問題
第2回～第13回 会話：中国の一人っ子政策・中国の台所事情・中国の住宅事情・中国の交通事情・中国人の休暇の過ごし方・中国人昼寝の習慣・中国人の褒め方・中国の列車事情
文法：アスペクト助詞「了」・助動詞「会」「能」・語気助詞「了」・助動詞「可以」・結果補語・アスペクトの未然相と経験相・動作の進行・動量補語・様態補語・程度補語・方向補語・アスペクト助詞「着」
第14回～第15回 復習と後期テスト
辞書を用意し、予習・復習をちゃんとする事。
前期テスト40%、後期テスト40%、平常点（出欠席状況・授業態度など）20%。
三瀧正道・楊光俊『たのしく話そう中国語』（CD付）（朝日出版社）2205円

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

| | |
|-------|-------------------------|
| 履修コード | 356001・356002 |
| 科目名 | 中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 大久保 明男 |

講義のねらい 正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定です。

履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価します。

教科書 南雲智・趙暉『はじめよう！ 中国語』（白水社、2205円）

| | |
|-------|-------------------------|
| 履修コード | 356201・356202 |
| 科目名 | 中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 弘兼 加奈子 |

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円+税

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 353401 |
| 科目名 | スペイン語ⅠA |
| 担当者名 | 大岩 功 |

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。後期15回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。（上記スケジュールは場合により変動することがある）

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験（計2回）の得点=70、小テスト（5～6回程度）の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『AVENTURA』 立岩礼子他著 同学社

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
『やさしいスペイン語文法』大岩功著、三修社

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 353601 |
| 科目名 | スペイン語I B |
| 担当者名 | 横藤田 稔泰 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | スペイン語の基礎を学んでいきます。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるといふ物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地（マドリード、セビーリャ、バルセローナなど）を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。スペインに関するDVDなども鑑賞する予定です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | スペイン語の基本文法を教科書に沿って学習していきます。習得した文法知識や表現を用いて会話の練習もする予定です。授業内容の目安は次のようになります。 前期：マドリードとセビーリャ（アルファベット・発音、名詞・形容詞の性と数、ser と estar、基数と時刻の表現、基本動詞の活用など） 後期：セビーリャとバルセローナ（語根母音変化動詞、目的格人称代名詞、gustar 型動詞、再帰動詞、点過去と線過去など） |
| 履修上の留意点 | 授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。 |
| 成績評価の方法 | 試験70%（前期と後期の二回実施）出席等30% |
| 教科書 | 福嶋教隆『スペインの宝』同学社、2500円 |
| 参考書等 | 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） |

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 353701 |
| 科目名 | スペイン語II A |
| 担当者名 | 大岩 功 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期15回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。 後期15回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。 前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 （上記スケジュールは場合により変動することがある） |
| 履修上の留意点 | 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。 |
| 成績評価の方法 | 前期末、後期末の試験（計2回）の得点=70、小テスト（5～6回程度）の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。 |
| 教科書 | 『やさしいスペイン語文法』大岩功著（三修社）他に長文読解用のプリント教材を使用します。 |
| 参考書等 | 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） |

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 353801 |
| 科目名 | スペイン語II B |
| 担当者名 | 横藤田 稔泰 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 1年時に学習した内容の復習と新しい文法事項（再帰動詞、点過去・線過去、現在完了、接続法現在）の習得をめざします。教科書は、日本の若者が古い地図を片手に宝探しの旅に出かけるといふ物語風で、比較的親しみやすいと思います。主人公はスペイン各地（マドリード、セビーリャ、バルセローナなど）を訪れることとなりますが、みなさんもいっしょに楽しくスペイン語を学んでいきましょう。スペインに関するDVDなども鑑賞する予定です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 前期は1年時の文法項目の復習が中心となります。後期は新しい文法事項を中心に学習していきます。もちろん、受講者のみなさんの習得度、理解度に応じて、柔軟に進度を変えていきますが、目安としては次のようになります。 前期：バルセローナとパンプローナ（不規則動詞、gustar 型動詞、再帰動詞、現在完了） 後期：サン・セバステアンとラ・コルーニャ（点過去、線過去、未来形、接続法現在） |
| 履修上の留意点 | 授業には積極的な姿勢で臨んでください。予習と辞書持参は必須です。語学は継続することが大切なので出席も重視します。 |
| 成績評価の方法 | 試験70%（前期と後期の二回実施）出席等30% |
| 教科書 | 福嶋教隆『スペインの宝』同学社、2500円 |
| 参考書等 | 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社） |

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 356401・356402 |
| 科目名 | スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>くりばやし ゆきえ</small> 栗林 ゆき絵 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に活用できることを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は文字と発音(1)、主語・名詞句(2)、現在形(3-15)、後期は過去形(1-10)、再帰動詞(11-13)、復習と会話表現(14-15)を中心に学習する予定。毎回時間の初めに小テスト(活用・単語・作文)を実施。 |
| 履修上の留意点 | 少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。 |
| 成績評価の方法 | 平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。 |
| 教科書 参考書等 | 初回の授業の授業で指示(プリント教材配布予定)。初回は必ず出席のこと。 『ポケットプログレッシブ西和・和西語辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。 |

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 356501・356502 |
| 科目名 | スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>くりばやし ゆきえ</small> 栗林 ゆき絵 |

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。 前期はスペイン語Iで扱わなかった活用形を中心に文法説明とその応用の練習問題を行う。現在・点過去・線過去の復習(1回)、再帰動詞(2-3回)、現在完了(4-5回)、分詞(6-7回)、未来と過去未来(8-9回)、接続法(10-11回)、命令文(12-13回)、復習(14-15回)、の予定。 後期は、スペインや中南米に関する新聞記事等の購読を行う。(1-15回) 最終授業時は和訳提出の課題を実施する。 |
| 履修上の留意点 | 最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。平常点の配分を高くしているので日々の授業で地道に力をつけていってほしい。 辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。 |
| 成績評価の方法 | 平常点80%、前期試験10%、後期課題10% |
| 教科書 参考書等 | プリント配布予定(初回授業で指示します)。 〈辞書〉『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 353901 |
| 科目名 | ロシア語ⅠA |
| 担当者名 | <small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖 |

- 講義のねらい**
- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
- 4-9月はイントネーションや発音に力点を置き、10-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
- PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。
- 講義の内容・授業スケジュール**
履修上の留意点
- 成績評価の方法**
教科書
参考書等
- 試験は行わず、平常点で評価します。
杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円
『露和辞典』

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 354001 |
| 科目名 | ロシア語ⅠB |
| 担当者名 | <small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖 |

- 講義のねらい**
- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
- 4-7月はイントネーションや発音に力点を置き、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
- PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。
- 講義の内容・授業スケジュール**
履修上の留意点
- 成績評価の方法**
教科書
参考書等
- 試験は行わず、平常点で評価します。
杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円
『露和辞典』

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 354101 |
| 科目名 | ロシア語II A |
| 担当者名 | <small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ロシア語IAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。 授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 4月、5月、6月、7月—パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、 9月、10月、11月、12月—インターネットによるニュースなどから平易で、興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。 |
| 履修上の留意点 | PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 |
| 成績評価の方法 | 出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。 |
| 教科書 | 教場にてプリントを配布。 |
| 参考書等 | 『露和辞書』 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 354201 |
| 科目名 | ロシア語II B |
| 担当者名 | <small>ひろた ひでやす</small> 廣田 英靖 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ロシア語IBで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。 授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 4月、5月、6月、7月—パソコンを使用し、発音、基礎文法の復習、 9月、10月、11月、12月—インターネットによるニュースなどから平易で、興味を持てるロシア語の文章を選び解説、発音、露訳など。 |
| 履修上の留意点 | PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。 |
| 成績評価の方法 | 出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。 |
| 教科書 | 教場にてプリントを配布。 |
| 参考書等 | 『露和辞書』 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 356601・356602 |
| 科目名 | ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕 |
| 担当者名 | <small>すぎやま ひでこ</small> 杉山 秀子 |

| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 4-7月はイントネーションや発音に重点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。 |
| 成績評価の方法 | 試験は行わず、平常点で評価します。 |
| 教科書 | 『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円+税 |
| 参考書等 | 『露和辞書』 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 356701・356702 |
| 科目名 | ロシア語II A〔再クラス〕 ロシア語II B〔再クラス〕 |
| 担当者名 | 杉山 秀子 |

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

- 講義の内容・
授業スケジュール
- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 - 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 - やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 - かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
 - 中等文法のエッセンスを勉強をします。
 - 4-7月 基礎文法の復習
 - 9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。

成績評価の方法
教科書等
その他

出席と平常点を重視します。
既習の教科書と文法表。
『露和辞書』
プリント配布。教場にて指示します。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 351201 |
| 科目名 | 英会話I |
| 担当者名 | ロビン、G. F. |

講義のねらい This topic-based course will develop speaking skills in English for students through interactive controlled pair and group communication projects. A variety of topic-oriented discussion, role-playing, dialogue, and drill activities will be used to enhance the students' ability to express themselves. A basic text will be used for warm-up speaking and other materials will be provided by the teacher to extend oral skill development. Students will be graded on classroom participation, homework assignments, and a speaking test at the end of term.

講義の内容・授業スケジュール
Lesson 1 and 2: Abilities
Lesson 3 and 4: Time and Date
Lesson 5 and 6: Daily Routine
Lesson 7 and 8: Location and Moving Things
Lesson 9 and 10: Directions
Lesson 11 and 12: Personal Information
Lesson 13 Speaking test
Lesson 14 and 15: Family
Lesson 16 and 17: Likes and Dislikes
Lesson 18 and 19: About Tomorrow
Lesson 20 and 21: The Past
Lesson 22 and 23: Describing People
Lesson 24 and 25: In a Restaurant
Lesson 26 and 27: Making comparisons
Lesson 28 Review
Lesson 29: Rehearsal for speaking test
Lesson 30: Speaking test

成績評価の方法 40% attendance and participation in class
40% speaking tests

教科書 20% homework assignments
Fifty-Fifty, Book 1
by Warren Wilson and Roger Bernard
Longmans

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 351301 |
| 科目名 | 英語LLI |
| 担当者名 | <small>にしむら ゆうこ</small> 西村 祐子 |

講義のねらい 聞き取り、読心力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。TOEIC形式の模擬試験を前期1回後期1回行う。すくなくともスコアで150から300程度のアップをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 前期
 1. 小テスト(1)実施(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う)
 2. 聞き取り、書き取り訓練(1)
 3. 聞き取り、書き取り訓練(2)
 4. 聞き取り、書き取り訓練(3)
 5. 聞き取り、書き取り訓練(4)
 6. 小テスト(2)
 7. 英語での自己紹介(1)
 8. 英語での自己紹介(2)
 9. 英語での自己紹介(3)
 10. 聞き取り、書き取り訓練(5)
 11. 聞き取り、書き取り訓練(6)
 12. 聞き取り、書き取り訓練(7)
 13. 小テスト(3)

後期
 1. 小テスト(4)
 2. 聞き取り、書き取り訓練(8)
 3. 聞き取り、書き取り訓練(9)
 4. 聞き取り、書き取り訓練(10)
 5. 聞き取り、書き取り訓練(11)
 6. 小テスト(5)
 7. 英語でおこなうペアワークと書く英語(1)
 8. 英語でおこなうペアワークと書く英語(2)
 9. 英語でおこなうペアワークと書く英語(3)
 10. 英語でおこなうペアワークと書く英語(4)
 11. 小テスト(6)
 12. 復習とまとめ(1)
 13. 復習とまとめ(2)

履修上の留意点 全員コンピュータIDを習得しておくこと。

成績評価の方法 平常点、出席点：30%
 小テスト、課題提出：30%
 TOEIC模擬試験：40%

定期試験は実施しない。
 教場にあるPCソフト教材をつかう。
 教場で指示。

教科書その他

ウェブ上でおこなう宿題は Yestudy などをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー(USB)、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット(マイクつき)などを用意しておく
 と便利。

外国語

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 354301 |
| 科目名 | 英会話II |
| 担当者名 | ロビン、G. F. |

講義のねらい This class is for everyone. Not only experienced speakers, but beginners as well, are encouraged to participate. Even if you have difficulty, making an effort will get you a good grade. This class will emphasize conversation, public speaking and discussion. This is not an information course, but a participation course. Therefore good attendance is necessary to get a passing grade. The course will focus on improving grammar, vocabulary, and fluency in speaking through topic-oriented materials. Various kinds of activities will be used to enhance your conversational skills, such as pair work, information gap, group discussion, language games, story-building, dictation and so on. As your conversation skills develop, you will then use them for the purpose of making a speech later in the course. Some work sheets will be given at that time to enhance your speech-making skills. A few homework assignments will also be given relating to your speaking projects. Enjoy and Learn!

講義の内容・授業スケジュール 1 unit every 2 weeks from the texts and other activities using other materials.
Week

- 1 Introduction
- 2 Asking Question
- 3 Unit 1
- 4 Unit 1
- 5 Unit 2
- 6 Unit 2
- 7 Unit 3
- 8 Unit 3
- 9 Unit 4
- 10 Unit 4
- 11 Unit 5
- 12 Unit 5
- 13 Review
- 14 Rehearsal for Speaking Test
- 15 Test
- 16 Unit 6
- 17 Unit 6
- 18 Unit 7
- 19 Unit 7
- 20 Unit 8
- 21 Unit 8
- 22 Unit 9
- 23 Unit 9
- 24 Unit 10
- 25 Unit 10
- 26 Review
- 27 Review
- 28 Conversation activities
- 29 Rehearsal
- 30 Test

履修上の留意点 1) Speak English whenever possible.
2) Do homework if assigned.
3) Attend all classes. If absent, bring a stamped note.
4) Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary.

成績評価の方法 40% attendance and participation in class
40% speaking tests
20% homework assignments

教科書 1) Inside English, High Beginner Student Book, Susan Kay et.al., (Longmans)

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 354401 |
| 科目名 | 英語 L L II |
| 担当者名 | 林 明人 <small>はやし あきと</small> |

講義のねらい リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

| | | | | | | |
|--------------------|----|-------|----------|----|--------|----------|
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 1 | ユニット1 | (問題1, 2) | 16 | ユニット5 | (問題5, 6) |
| | 2 | ユニット1 | (問題3, 4) | 17 | ユニット6 | (問題1, 2) |
| | 3 | ユニット1 | (問題5, 6) | 18 | ユニット6 | (問題3, 4) |
| | 4 | ユニット2 | (問題1, 2) | 19 | ユニット6 | (問題5, 6) |
| | 5 | ユニット2 | (問題3, 4) | 20 | ユニット7 | (問題1, 2) |
| | 6 | ユニット2 | (問題5, 6) | 21 | ユニット7 | (問題3, 4) |
| | 7 | ユニット3 | (問題1, 2) | 22 | ユニット7 | (問題5, 6) |
| | 8 | ユニット3 | (問題3, 4) | 23 | ユニット8 | (問題1, 2) |
| | 9 | ユニット3 | (問題5, 6) | 24 | ユニット8 | (問題3, 4) |
| | 10 | ユニット4 | (問題1, 2) | 25 | ユニット8 | (問題5, 6) |
| | 11 | ユニット4 | (問題3, 4) | 26 | ユニット9 | (問題1, 2) |
| | 12 | ユニット4 | (問題5, 6) | 27 | ユニット9 | (問題3, 4) |
| | 13 | ユニット5 | (問題1, 2) | 28 | ユニット9 | (問題5, 6) |
| | 14 | ユニット5 | (問題3, 4) | 29 | ユニット10 | (問題1, 2) |
| | 15 | 前期試験 | | 30 | 後期試験 | |

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。

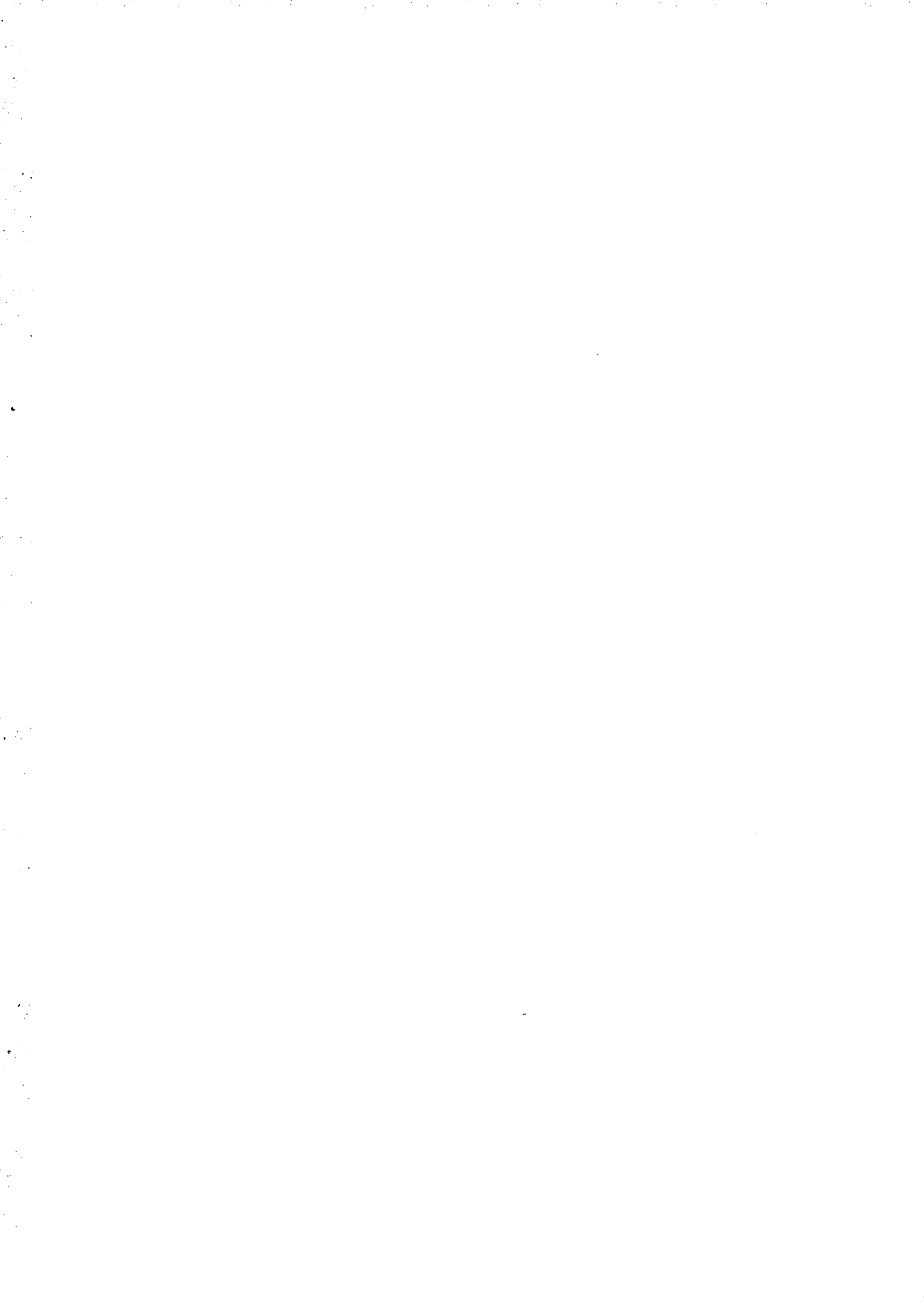
成績評価の方法

試験(30%)②発表(40%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書

4月に教場で指示します。

4. 保 健 体 育 科 目



| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 341201 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 |
| 担当者名 | 村松 誠 |

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ（テスト）

成績評価の方法
教科書

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | 341301 |
| 科目名 | 健康・スポーツ論 |
| 担当者名 | 三幣 晴三 |

講義のねらい

健康の概念はあまりにも固定観念や独善的な考え方に支配されている。この講義ではそうした考え方にメスを入れてどうしたら本当の健康を手に入れることができるかを検証する。また日常生活で行うことができる「マイエクササイズ」を実技をしながら説明する。スポーツは現在話題になっているスポーツについて説明し、スポーツの持つ意義をどうしたら自身自身の人生に生かすことができるかを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1限：講義のオリエンテーション<講義の進め方の説明>
- 2限：健康概念の変遷
- 3限：健康と固定観念 1
- 4限：＃ 2
- 5限：健康と生き方 1
- 6限：＃ 2
- 7限：日常生活での留意点 1
- 8限：＃ 2
- 9限：小テスト<健康>
- 10限：スポーツ概念の変遷
- 11限：オリンピック 1
- 12限：＃ 2
- 13限：ワールドカップ
- 14限：小テスト<スポーツ>
- 15限：総合テスト

履修上の留意点
成績評価の方法

出席は毎時限とる。教科書などはないが、配布するプリントを中心に授業を進める。
出席点と小テスト・総合テストを総合的に評価する。特に総合テストは必ず受けなければならない。

教科書
参考書等

指定なし
指定なし

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 340301 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（ミニサッカー） |
| 担当者名 | <small>おおいし なげし</small> 大石 武士 |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1 時限目：オリエンテーション 2 時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム 3 時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム 4 時限目～9 時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム 10 時限目～14 時限目：ゲーム 15 時限目：まとめ ※受講者数によっては、他の球技（バドミントン・卓球など）に変更する。 |
| 履修上の留意点 | 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。 |
| 成績評価の方法 | 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 340501 |
| 科目名 | 健康・スポーツ実習（バドミントン） |
| 担当者名 | <small>まつむら まこと</small> 村松 誠 |

| | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | バドミントンをはじめとして、室内球技のゲームを通して、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の参加者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1 時限目：オリエンテーション 2 時限目：バドミントンの基礎技術 3 時限目：バドミントン1次リーグ戦 4 時限目：バドミントン2次リーグ戦 5 時限目：バドミントン3次リーグ戦 6 時限目：バドミントンダブルス1次リーグ戦 7 時限目：バドミントンダブルス2次リーグ戦 8 時限目：バドミントンダブルス3次リーグ戦 9 時限目：その他の球技の基礎技術 10 時限目：その他の球技1次リーグ戦 11 時限目：その他の球技2次リーグ戦 12 時限目：その他の球技3次リーグ戦 13 時限目：その他の球技4次リーグ戦 14 時限目：その他の球技5次リーグ戦 15 時限目：まとめ |
| 履修上の留意点 | 動きやすいスポーツ服装と室内専用のスポーツシューズ。バドミントンをはじめとして、バスケットボール、バレーボール、卓球、フットサルなど、季節性、受講者のレディネスも加味して実施する。 |
| 成績評価の方法 | 出席点を重視する。全授業回数の3分の2以上の出席者に単位を認定する。 |

| | |
|-------|-----------------------------------------------|
| 履修コード | 199301・199302 |
| 科目名 | 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（ゴルフ） |
| 担当者名 | 三幣 晴三 他 |

講義のねらい 「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。
ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション：
 - 1回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研→209教場
 - 2回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研→209教場
*本オリエンテーションにて、受講許可書を発行します。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業：7月21日（火）13：00～16：10 2研→209教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月7日（月）
講義：9：00～12：10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎（玉川校舎教場）
実技：13：00～17：30 打撃練習
*注意：1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月8日（火） 実技・講義：11：00～18：00 打撃練習・ゴルフの規則Ⅰ、その他
 - 3日目 9月9日（水） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則Ⅱ
 - 4日目 9月10日（木） 実技・講義：8：30～17：00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括
 - 5日目 9月11日（金） 実技・講義：8：30～13：30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎・シーズン応用）を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程：平成21年9月7日（玉川校舎）・9月8日～11日（現地：3泊4日）
 - 場所：

宿泊：マロードインターナショナルホテル成田
〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1
電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習コース：ダイナミックゴルフ成田
〒289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040
電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785
 - 定員：40名
 - 集合解散：
 - (1) 集合 9月7日（月）午前9時 玉川校舎 305教場
9月8日（火）午前11時 ダイナミックゴルフ成田
 - (2) 解散 9月11日（金）午後12時30分：予定 ダイナミックゴルフ成田
 - 受講料：37,600円（左記金額には、交通費は含まれない。）
 - 納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
 - 服装・用具
 - (1) 一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
 - (2) ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - (3) グローブは、必ず各自で用意すること。
 - (4) ゴルフクラブ・キャディーバックは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法その他

出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。
都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

| | |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 199401・199402 |
| 科目名 | 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（スキー・スノーボード） |
| 担当者名 | 鈴木 淳平 他 |

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研-209教場
2 回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研-209教場

※本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。

1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。

2. 事前授業 1月8日（金）13：00～16：00 2研-209教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義

1 日目 1月28日（木）

午前：駒澤大学駒沢校舎から貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 正午到着予定

午後：開講式 班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」

2 日目 1月29日（金）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」

3 日目 1月30日（土）

午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」

4 日目 1月31日（日）

午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省まとめ」

5 日目 2月1日（月）

午前：班別実習 閉講式

午後：駒澤大学駒沢校舎へ貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 到着後解散予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習Ⅱシーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認してください。

1) 実習日程：平成22年1月28日（木）～2月1日（月）の4泊5日（現地集合解散）

2) 実習場所：セントレジャー舞子スノーリゾート

宿泊）セントレジャー舞子ホテル 電話（025）783-3511

〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108

3) 定員：スキー20名

スノーボード30名（但し、初心者・初級者に限る）

4) 受講料：50,000円（内訳：往復交通費・宿泊費・食費・傷害保険・その他雑費として）

※リフト券、レンタル代は別途料金がかかります。

証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。

納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）

5) 用具：用具は現地レンタル可能（有料）。

6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加修了し、2単位が認められる。成績評価方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

Ⅱ 専門教育科目
法律学科フレックス B

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 履修コード | 323031・323032 |
| 科目名 | 法学概論 法学概論 A |
| 担当者名 | 高橋 ^{たかはし} 洋城 ^{ひろさき} |

講義のねらい

法学部に入っはじめて法学を学ぶひとに、法学科履修の前提となるような知識を身につけてもらうことが、第1のねらいです。法学学習の上で必要になる、現実をイメージしながらその法的構造を読みとる力の基礎的感覚を開発することが、第2のねらいです。はじめてのことばかりで、最初はどうなるかもしれませんが、休まずに学習するよう心がけてください。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法のイメージと法学部の講義科目
 - (1) 法とは何か
 - (2) 法学部ではどう学ぶか
2. 法の一般的分類
 - (1) 法の分類
 - (2) 法令の種類
3. 近代日本法とその社会
 - (1) 国家と社会
 - (2) 近代日本が受け継いだ法
 - (3) 近代法の変容
4. 立法の角度からの法
 - (1) 制定法主義とその法源
 - (2) 法の体系性
5. 司法の角度からの法
 - (1) 紛争解決の仕組みと機構
 - (2) 紛争の類型と解決の類型
6. 法令の解釈
 - (1) 事実の法的再構成
 - (2) 事実への法令のあてはめ

履修上の留意点

半期科目で集中的に多くのことを学びます。継続的に出席することが必要です。授業中に小テストを実施することもありますので、休まないようにしてください。

成績評価の方法
教科書
参考書等

前期授業最終時間の試験。小テストやレポートなどが課される場合は、その評価を加味します。
伊藤正己・加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』(有斐閣双書52) 有斐閣
竹下・福井編『はじめての法学』成文堂
その他の参考書は随時紹介します。授業中に参考資料を配ることもあります。配付資料は原則として研究室などでの追加請求には応じませんので、必ず出席して受け取るようにしてください。

| | |
|-------|--------------------------------------------------------------|
| 履修コード | 323011・323012 |
| 科目名 | 公法入門 法学概論 B |
| 担当者名 | 佐藤 ^{さとう} 多美夫 ^{たみお} ・塩入 ^{しおいう} みほも |

講義のねらい

平成16年度から、従来の法学概論を区別して、法学概論・公法入門・私法入門とし、それぞれ2単位ずつ、計6単位とした。今年度は、公法入門を2名で6回ずつ担当する。内容は、前半を刑法入門、後半を行政法入門とし、それぞれ最終回に試験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 前半(刑法入門)
1. 刑法とはどのような法律か
 2. 刑罰について
 3. 犯罪が成立するための要件
 4. いわゆる罪刑法定主義について(1)
 5. いわゆる罪刑法定主義について(2)
 6. 試験
- 後半(行政法入門)
1. 行政法とは何か
 2. 行政法の法源
 3. 行政法の領域
 4. 法治行政
 5. 行政作用と法
 6. 試験

履修上の留意点

前半と後半で担当者も講義内容も異なるため、各担当者の話は、5回しかない。したがって、欠席しないように留意してください。

成績評価の方法
教科書
参考書等

成績は、刑法入門と行政法入門の各試験を総合して評価する。
前半・後半ともに教科書は使用しない。
参考書はその都度紹介するので、積極的に読書するようにしてほしい。

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 323021・323022 |
| 科目名 | 私法入門 法学概論 B |
| 担当者名 | 竹中 智香 |

講義のねらい この科目は、法律学科の新入生がこれから私法分野の科目を学んでいく上で、必要な基礎的な知識を身につけていくために設けられているものです。

本来、「私法」は個人の日常生活に密接に関連した問題を扱い、身近な分野であるはずですが、「公法（憲法や刑法）」に比べると近寄りにくい。その理由は、登記簿・契約書・手形・小切手など一般の学生にとって必ずしも親しみのわかないものが次々に出てくるし、少なくとも、学生の日常生活からかけ離れ、具体的問題としてイメージすることができないことにあります。そこで、現実の社会生活における身近な問題や具体的事案を多く取り上げ、興味が持てるように講義を進めます。

講義の内容・授業スケジュール 学習の順番や方法は、それぞれの先生が工夫して、講義を進めていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。

1. 法の分類と私法の意義
 - (1) 公法と私法 (2) 私法 (3) 公私混合法 (4) 新たな法領域
2. 私法の基本原理
 - (1) 序説 (2) 近代私法の基本原理 (3) 現代における近代私法原理の修正
3. 私法の法源
 - (1) 序説 (2) 制定法 (3) 慣習法 (4) 判例 (5) 条理
4. 私法の効力
 - (1) 序説 (2) 時に関する効力 (3) 人に関する効力 (4) 場所に関する効力
5. 私法の適用と解釈
 - (1) 序説 (2) 裁判外の紛争解決 (3) 裁判による紛争解決 (4) 私法の適用と解釈
6. 私法上の権利
 - (1) 権利とは何か (2) 私権の種類 (3) 私権の社会性
7. 財産法と家族法

成績評価の方法 半期科目であるため、前期末・授業時間内に行う試験による評価が中心になります。しかし、先生によっては、出席点や質疑と応答による平常点を加味することもあります。

教科書 担当の先生から指示があった場合には、それに従ってください。
参考書等 講義の際に紹介するので、積極的に読書するようにしてください。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 323101 |
| 科目名 | 憲法 |
| 担当者名 | 竹中 周作 |

講義のねらい 憲法は、国家のあり方・国家と国民の関係の基本を定めた最高法規であり、人権を保障し、人権を保障するための国家の組織を定めている。性質上、憲法に拘束されるのは国家である。本講義では、このような憲法について、基本判例の検討や制度の理解を踏まえながら、憲法上の問題を考察する基本的な力を養うことを目的とする。他の科目の知識も関連づけ、法学の体系性と、憲法が持つ最高法規性を味わってほしい。

講義の内容・授業スケジュール ①憲法とは何か (1)、②基本的人権と違憲審査制 (2～3)、③精神的自由権 (4～8)、④経済的自由権 (9～11)、⑤社会権 (12～13)、⑥幸福追求権 (14)、⑦法の下での平等 (15)、⑧人権総論 (16)、⑨国会 (17～18)、⑩内閣 (19～20)、⑪裁判所 (21～22)、⑫憲法の保障 (23～25)、⑬財政・地方自治 (26)、⑭国民主権 (27～28)、⑮平和主義 (29)、⑯憲法改正 (30)

履修上の留意点 教科書に基づいて授業を進めるので用意すること。毎回授業で扱う教科書のページ数を指示するのでその項目を読んでおくこと。それだけで授業の理解は大幅に異なる。授業中の私語・携帯電話の使用（メールも含む）は厳禁であり、酷い場合には受講を認めないこともある。

成績評価の方法 年度末試験によって評価する。また年度途中で小テストを実施し、それを評価に加えることも予定している。講義に関連する質問を加点していくことも考える。

教科書 工藤達朗編『よくわかる憲法』ミネルヴァ書房、2,500円＋税、ISBN:978-4623044320
最新の小型学習用六法を必ず用意すること。

参考書等 必要に応じてプリント等で補足する。
『憲法判例百選I〔第5版〕』有斐閣、2,200円（税込）、ISBN:978-4641114869
『憲法判例百選II〔第5版〕』有斐閣、2,200円（税込）、ISBN:978-4641114876

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 323201 |
| 科目名 | 民法総則 |
| 担当者名 | <small>おしみや たかし</small> 大宮 隆 |

講義のねらい

民法は、個人相互間の私的生活関係の基本法として、財産（物の所有や契約など）と家族（夫婦・親子や相続など）に関する事項を規律する法律である。日本の民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の配列で、五編より構成されているが、本講義の対象は、総則編である。総則には、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定が集められている。民法の学習にあたっては、条文数が多いことや、内容が複雑で技術的な構成をとっているため、親しみ難い面があるので、実際の社会生活から遊離することのないように、例示をできるだけ多くして説明することを心がけている。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 民法典の沿革・構成 (1回)
- (2) 権利の主体 (2回—10回)
自然人・法人
- (3) 権利の客体 (11—12回)
物
- (4) 権利の変動原因 (13回—)
法律行為・意思表示・代理・無効及び取消・条件及び期限・時効

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

教科書をしっかり読んで、出席してもらいたい。
数回のテストを予定している。その結果と、学期末試験の成績を総合して、評価する。
開講時に指示します。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 323301 |
| 科目名 | 刑法総論 |
| 担当者名 | 佐藤 多美夫 <small>さとう たみお</small> |

講義のねらい 本講義では刑法総論の分野を扱います。刑法総論は刑法各論のように殺人罪、窃盗罪といった個々の犯罪を扱うのではなく、それらの犯罪の共通にもっている性格を明らかにしようとする。そこで、犯罪の基本的、重要な課題について、その意義と問題点を学説や判例をふまえながらすすめ、体系的に刑法総論を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 序説
 - 1 はじめに
 - 2 犯罪論の基礎
 - 3 罪刑法定主義と刑法の解釈
- II 構成要件
 - 1 総説
 - 2 結果
 - 3 実行行為
 - 4 因果関係
- III 違法性
 - 1 総説
 - 2 正当業務行為
 - 3 正当防衛
 - 4 緊急避難
- IV 責任
 - 1 総説
 - 2 責任能力
 - 3 故意
 - 4 過失
 - 5 期待可能性
- V 共犯
 - 1 総説
 - 2 共同正犯、共謀共同正犯、承継的共同正犯、過失の共同正犯
 - 3 教唆犯
 - 4 幫助犯
- VI 共犯の諸問題
 - 1 共犯と身分
 - 2 不作為と共犯
 - 3 共犯と錯誤
 - 4 共犯の中止、離脱
- VII 罪数論
- VIII 刑罰論

履修上の留意点 予習及び復習は必要です。
成績評価の方法 筆記試験が中心であるがその他を考慮する場合もある。
教科書 学内指定書店の指示を受けて下さい。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 323501 |
| 科目名 | 会社法 |
| 担当者名 | あらき まさたか 荒木 正孝 |

講義のねらい

この講義では、会社法（株式会社、持分会社〈合名会社、合資会社、合同会社〉）の重要かつ基礎的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において最も大きな役割を果たしている株式会社の法規制について一年の大半の時間を割くつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

大企業から零細企業まで多くの企業が株式会社の形態をとり、株式会社が現代の経済活動を担い、多数の人々に商品やサービスを提供し、労働の場を提供するという社会的な機能を通して国民の生活に計り知れない影響を与えている。この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などに関する私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこにおける基本的かつ重要な問題を取り上げて解説し、また実務の対応なども検討して、会社法の基本的な考え方を理解してもらうことを目的とする。

平成18年5月1日に「会社法」が施行された。この会社法は、従来片仮名文語体で表記されていた商法第二編、有限会社法、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律について平仮名口語体化してひとつの法典にまとめたものであり、かつ近年、毎年のように行われて来た法改正を全体的に調整し、社会情勢の変化に対応するために各種制度の見直しを行うものである。今年、新会社法について、株式会社の設立の概要、設立の手続き、発起人の意義、設立中の法律関係、設立の無効、設立の登記、設立関与者の責任などについて説明し、株式制度においては、株式の意義、株式の内容・種類、株式の流通、株主の権利、自己株式、株式の併合・分割・無償割当、単元株制度などに触れ、会社の管理・運営については、機関の意義、株主総会、会社役員を選任・解任、取締役、取締役会、代表取締役、監査役・監査役会、委員会設置会社、役員損害賠償責任などについて解説する。

履修上の留意点

会社法は、民法を前提としているから、民法総則、物権法、債権法などの知識があると理解が容易である。ただ、これらの知識がなくても、講義の内容を理解するために必要な民法の規定や基本概念については、その都度必要な説明をするつもりであるから、民法＝財産法について十分な知識がなくても受講には差し支えない。ただし、教場には、必ず最新の六法を持参する必要がある。

成績評価の方法
教科書
参考書等

成績は、年度末に行なわれるペーパーテストの点数で評価します。

教科書は、授業の初めに指示します。

江頭・岩原・神作・藤田編 会社法判例百選（別冊ジュリスト No.180）（有斐閣）

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 323602・323601 |
| 科目名 | 行政法 行政法総論 |
| 担当者名 | 金子 昇平 |

講義のねらい 現代の行政法は、従来、対象とされていない新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に掲示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手段を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政法の基礎 (1~5)
 - ①行政と法の一般的関係(行政の概念と分類、行政法の成立、行政法の特性) ②日本行政法の基本構造(公法・私法二元論とその有用性、行政法学のあり方) ③行政法の法源(成分法源、不文法源、行政法の効力) ④日本行政法の基本原理(法律による行政の原理、法治主義、行政のコントロール・システムの充実、法の一般原理)
- 2) 行政過程論 (6~15)
 - ①行政の行為形成論(行政立法・法規命令と行政規則) ②行政行為(行政行為の意義、行政行為と法の拘束、行政行為の種類、行政行為と裁量、行政行為の効力、行政行為の瑕疵、行政行為と法律関係、行政行為の附款) ③行政上の契約(問題の所在、行政上の契約の問題点) ④行政指導(意義、行政指導と法の拘束、行政指導と救済制度) ⑤行政計画(意義、計画と法の拘束、計画と救済制度)
- 3) 行政上の一般的制度 (16~25)
 - ①行政上の義務履行確保(行政上の強制執行、行政代執行、直接強制、執行罰) ②即時強制 ③行政調査(行政調査の意義及び問題点) ④行政手続(行政手続の意義と機能、適正手続の基本的内容、行政手続法の法源、行政手続法、命令・計画策定手続、手続の瑕疵と処分効力) ⑤行政情報管理(情報公開、情報公開の理念・意義・展開、情報公開法、行政機関個人情報保護、行政スタイルの改革)
- 4) 行政過程における私人 (26~30)
 - ①行政過程における私人の地位 ②行政過程における私人の行為

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。期末試験の成績により評価する。

塩野宏『行政法Ⅰ』(行政法総論)〔第四版〕有斐閣
塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ、Ⅱ』(第五版)(有斐閣)

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 323701 |
| 科目名 | 裁判法 |
| 担当者名 | 五百田 俊治 |

講義の内容・授業スケジュール 民事・刑事・行政裁判手続について、基本理念・概念を示しつつ、実務家の観点から、実際の手続の特色・流れを講義します。

民事・刑事・行政裁判手続の授業割合は、民事6割、刑事3割、行政1割を目安にしています。希望者に、講義中質問し、解答を求めることにより、講義にアクセントをつけることを実施する予定です。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

講義中の私語や携帯電話の使用は厳禁します。講義開始時の遅刻も極力避けて下さい。学年末試験のみで評価します。持ち込みは一切不可で、追試も行いません。

五百田俊治「裁判法」2007年刊、DTP出版 3300円

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 323401 |
| 科目名 | 国際法 |
| 担当者名 | 王 ^{おう} 志安 ^{しあん} |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。
国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。

前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのぼすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意識をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書
参考書等

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版 2006年）
大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートは、Yestudyから入手できる。

| | |
|-------|------------------------------------|
| 履修コード | 327011・327021・327031 |
| 科目名 | 新入生演習 |
| 担当者名 | 向田 正巳・西 修・佐藤 多美夫・中田 英幸・山口 邦夫・田中 優企 |

講義のねらい

この科目は、法学部に入学してはじめて法律学を学ぶ法律学科の新入生が、これから法律学を学んでいく上で必要な基礎的な勉学の方法を身につけていくために設けるものです。選択科目ですが、できる限り多くの学生が積極的に履修し、4年間の法律学の学修を効果的に行うための基本を修得することを期待します。

授業は、原則として一週おきに、教室と研究室での指導による学習を組み合わせた形態で行います。教室で教わったり体験したりしたさまざまな知識や学習方法を、次の週に研究室で先生と相談したり、指導に従って自習したりしながら、発展させて、自分なりに最も適切な勉学方法を探し当て、開発して行って欲しいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

学習の順番や指導の方法はそれぞれの先生が工夫して、学生のみなさんの習熟度を見ながら組み立てていきますが、共通して学ぶ項目は以下の通りです。数字の順番の通りにすべて学習していくというよりも、いろいろな項目を組み合わせて、全体としてこれらの基本的なスキルが身につけていくものとして、考えられています。

1. 基本的な学習施設
 - ・図書館や情報センターの利用方法と文献の探し方・調べ方
 - ・教室での講義の受け方とノートのとり方
2. 基本的な書籍の利用方法
 - ・六法全書の読み方と使い方
 - ・法学用語集や辞書の活用方法
 - ・法律学的な文章の読み方とまとめ方
3. 発展的な書籍の活用
 - ・法学文献以外の書籍から法についての感覚を学ぶ
 - ・注のある文献の読み方と注の使い方
4. 法学学習に必要な文の書き方と書くための作業
 - ・レジュメ・レポート・答案のまとめ方と書き方
 - ・ゼミなどでの発表のし方
5. 将来設計と学修
 - ・卒業後の進路をどう考え、法律学科での学修をどう生かすか

履修上の留意点

一週おきの教室での一斉授業への出席は当然ですが、研究室での指導に課題を課されたり面接があったりする場合には、担当の先生の指示に従って学習してください。国民の休日などの関係で、次回授業日がずれることがあります。毎回出席して、次回授業日を確認してください。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

出席点および課題提出評価点を総合して成績評価します。

指定教科書はありません。

参考書、課題図書は、各クラス担当の先生がその都度指示します。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 325001 |
| 科目名 | 債権総論 |
| 担当者名 | 中田 英幸 |

講義のねらい

本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実際的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)序論(1)
 - (①債権総論とは何か②債権とは何か)
- (2)債権の「目的」(2-3)
 - (①債権の「目的」の意味②債権の種類)
- (3)債権の効力(4-13)
 - (①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者滞滞)
- (4)債権債務の移転(14-18)
 - (①債権譲渡②債務引受)
- (5)債権の消滅(19-24)
 - (①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同)
- (6)多数当事者の債権関係(25-30)
 - (①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務)

履修上の留意点

債権総論と債権各論が合わさって債権法を構成するので、債権各論も同時に履修することが望ましい。

最新の六法は必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

期末試験により評価する。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

野村豊弘ほか著『民法III－債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）

星野英一ほか編『民法判例百選II債権（第5版新法対応版）』（有斐閣、2005年）（来年度までに第6版が出版された場合には第6版）

他の文献は講義中に指示する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 324601 |
| 科目名 | 物権法 |
| 担当者名 | 今尾 真 |

講義のねらい

民法総則講義において、民法全般の仕組みと基本的概念や制度を一通り学習した学生を対象に、債権とともに二大財産権の一つである物権（担保物権を除く）について、人と物の関わり・各物権の特質・各制度の特徴・隣接諸制度等を、より深く、より詳細に理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

物権の意義・性質・効力・物権変動のメカニズムといった物権法総論部分の学習をした上で、各種物権（占有権から用益物権まで）を個別的に細かく学習する。前期は、(1回)イントロダクション・物権法序論、(2～3回)物権の意義・客体・種類、(4～5回)物権の効力、(6～11回)物権変動、(12～14回)即時取得・物権の消滅。後期は、(1～5回)占有権、(6～10回)所有権、(10～14回)用益物権。上記のスケジュールのもと、特に物権取引の安全と公示・公信の要請という理念を反映する物権変動論につき、これらの理念をどこまで貫徹できるかの観点から各種物権および他の諸制度との関連で検討する。

**履修上の留意点
成績評価の方法**

民法総則は、履修済みまたは最低限同時履修の上、本講義に出席することが望ましい。

講義の出席回数と前・後期各一回の定期試験の結果を総合判断して評価する。ちなみに、テスト形式は、択一式の問題（5択）を3問、論述式の問題を1問という出題形式で行う。

宮本健蔵編『マルシェ物権法・担保物権法〔改訂第2版〕』（嵯峨野書院）2005年

(1) 中田裕康・潮見佳男・道垣内弘人編『民法判例百選I〔第6版〕』（有斐閣）2009年。

(2) 星野英一・平井宜雄・能見善久編『民法判例百選I総則・物権〔第五版新法対応補正版〕』（有斐閣）別冊ジュリスト159号、2005年

その他

多人数を想定した講義科目であるが、授業中、随時受講生に質問しながら、大規模なゼミ形式を念頭において講義を行う予定である。積極的に発言することを希望する。

| | |
|-------|-----------------------|
| 履修コード | 324101 |
| 科目名 | 西洋法制史 |
| 担当者名 | 北野 ^{ミナト} かほる |

講義のねらい イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造と法構造
 - 第2章 中世（1066-1350）
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第3章 近世（1350-1650）
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書
その他

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

特に指定しない。

年度当初に指示する。

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 324301 |
| 科目名 | 政治学原論 |
| 担当者名 | おおつか かつら 大塚 桂 |

講義のねらい

I 自己紹介

私は、いままでイギリスの政治的多元主義・新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれません。政治学のみならず隣接領域にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第二研究館八階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377（直）です。

II 講義の目的

政治学原論はカリキュラム上、基礎的部門に属しています。政治学原論は政治学の総論であるとともに、基礎理論としての意味合いをもつものです。講義の目的の第一は、現代政治学の体系的な理解を深めることにあります。目的の第二は、政治現象の理論的説明と解明ができるように基礎的的原理的知識を修得することです。目的の第三は、近い将来履修するであろう他の専門学科目を研究する上で必要な知識を提供することです。

III 講義のすすめかた

現代政治学のアウト・ラインを理解してもらうために、一回一テーマ主義でかなり広範囲な問題にふれていきます。それだけに、授業のペースは少しばかりはやくなります。講義はテキストに準拠しつつすすめます。学生諸君は授業に出席することはもちろんのこと、予習・復習・自主研究などの研鑽をつんでください。教員と学生、それぞれの努力によって学習効果をあげていきたいと考えています。

IV 講義の内容

おおよそ、以下の諸問題を取り上げる予定です。

- A 政治学の課題と対象、および方法（1）
- B 政治の原理的究明
 - （1）政治的なるもの
 - ～政治的空間、政治権力、正当性、権威、政治倫理、抵抗と不服従
 - （2）共同体的なるもの
 - ～国家、社会、主権、法
 - （3）イデオロギー的なるもの
 - ～イデオロギー、正義、自由、平等、人権（シティズンシップ）（2～15）
- C 政治の思想（史）的究明（15～18）
- D 政治の実体論的究明
 - （1）制度論的究明
 - ～権力分立、議会、選挙、地方自治、官僚制
 - （2）機能論的究明
 - ～政党、圧力団体（19～30）

成績評価の方法

試験による単位認定

中間・学年末試験により、成績を評価します。評価基準は、中間試験50%、学年末試験50%です。なお試験は通常の授業時間を利用して実施します。欠試者に対しては、レポートを課します。

※追試験は実施しません。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

参考書等

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 324401 |
| 科目名 | 経済原論 |
| 担当者名 | <small>よじわら ひろのり</small> 藤原 碩宣 |

| | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 経済学の基礎理論および概念の理解 現代日本経済の実状とその背景、および展望の理解 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 前期：主としてマクロ経済学を中心として行います。 経済学の規範、経済学の流れ－A. スミスとJ. M. ケインズ－、国民経済の循環過程、国民所得決定理論－消費と投資はどのように決まるのか、 後半では、経済政策の体系、目的、手段、主体の話を通じて、わが国の実状の理解を深めます。 後期：主としてミクロ経済学を中心として行います。 個別経済主体の行動理論－消費者選択、生産者行動、寡占経済理論－屈折需要曲線の理論、フルコスト原則、参入阻止価格論によって現代社会の実態を理解します。 後半では、財政・金融、社会保障といった日本の実状を理解する事を中心に応用経済学のお話をします。 |
| 履修上の留意点 成績評価の方法 | 授業に出席しノートをよくとって下さい。 定期試験による。前期、後期の範囲から各1問づつ出題、論述式。 レポート等の自助努力の成果物を提出した場合は、それも加点する。 |
| 教科書 | 藤原碩宣他著『経済と経済学』実教出版（授業では、テキストに従って説明するのではなく、より詳しく理解してもらうために使用する） |
| その他の | 参考資料等は適宜指示する。数回毎に質疑応答の時間を設ける。 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 324501 |
| 科目名 | 行政学 |
| 担当者名 | <small>たまる だい</small> 田丸 大 |

| | |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 例えば、ゴミの収集、建物や食品の安全性のチェック、今般の金融危機における経済政策など、我々の日常生活は「行政」と密接に関わっている。そういった行政の活動や政策とはどのようなものか、また具体的にどのように世の中や我々の生活に関わっているかといった点について理解を深めることが講義の狙いである。ニュース番組を初めとした視聴覚教材も時々用いながら、行政学の理論（考え方・法則）と実際の事例（ニュースなど）との関連に特に注意を払う予定である。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 行政学とは（1～2）行政・政策を見る視点（3～6）国家観の変遷（7～11）行政国家、福祉国家（12～16）行政改革（17～19）民営化と規制緩和（20～24）政策過程（25～27）地方自治と地方分権改革（28～30）。○内の数字は、講義のたまかな回数です。 |
| 履修上の留意点 | 現実の行政や政策と理論を結びつけて考えることが狙いであるので、各自でも新聞などに目を通す習慣をつけて欲しい。 |
| 成績評価の方法 | 授業内の複数回の小テストによる（小テストの回数や方法は、受講生の人数や教場によって決めるので、4月の開講時に具体的に示します）。学年末試験は行いません。 |
| 教科書 参考書等 | 使用しない予定である。適宜、参考書の該当ページ・箇所を指摘する。 森田朋『現代の行政（改訂版）』放送大学教育振興会、2000年、2,100円、ISBN9784595830846 早川純貴、内海麻利、田丸大、大山礼子『政策過程論－「政策科学」への招待』学陽書房、2004年、2,730円、ISBN9784313320352 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 325501 |
| 科目名 | 商法総則・商行為法 |
| 担当者名 | 川口 幸美 <small>かわぐち ゆきみ</small> |

講義のねらい 民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール ①-⑥は商法総則、⑦-⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。

- ①商法総則（商法の意義）
- ②商法の適用（商行為概念・商人概念）
- ③営業譲渡（商号の保護）
- ④商号
- ⑤商業使用人（支配人・その他）
- ⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力）
- ⑦商事売買取引（国際売買取引契約）
- ⑧運送契約
- ⑨仲立人・取次人・商事代理
- ⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ）

履修上の留意点 教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権法）を同時履修するか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法 試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。すなわち、就職活動・部活動および病欠等についても、特にこれらの者を優遇することはないので、ご理解いただきたい。

教科書参考書等 開講時に指定する。
 鴻常夫著「商法総則」（弘文堂）
 江頭憲治郎著「商取引法（第三版）」（弘文堂）
 鴻常夫、竹内昭夫、江頭憲治郎／編
 別冊ジュリスト「商法総則・商行為法判例百選（第4版）」

その他 （当然のことだが）授業中の私語・携帯電話の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 324701 |
| 科目名 | 刑法各論 |
| 担当者名 | 松村 格 <small>まつむら いたる</small> |

講義のねらい 刑法各論は、刑法典各則の個別構成要件の解釈を主流とします。それぞれの構成要件が、犯罪を構成する要素を規定しているわけですが、それぞれの構成要件が何らかの法益を保護しているわけですから、その法益保護と人権保障という刑法の使命を念頭におきながら、どのように構成要件要素を解釈すれば最も妥当性があるのかを学びます。また、他の構成要件との関連性をも見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール 刑法典の各則は、国家的法益に対する罪・社会的法益に対する罪・個人的法益に対する罪の順序で規定されていますが、われわれの最も身近な個人的法益に対する罪から学習します。そして、個人的法益に対する罪も、生命に対する犯罪・身体ないし健康に対する犯罪・自由または名誉に対する犯罪・財産に対する犯罪の順序で学習していきます。時間的余裕があれば、社会的法益と国家的法益に対する罪についても一部扱います。

履修上の留意点 刑法は、生命・自由・財産を剥奪する強力な制裁を有する法律ですから、法益保護はもちろんのこと、人権保障のためにも、謙抑性を念頭におきながら構成要件の解釈をするように努めてください。そして、そのためにも、例えば、行為無価値論による解釈と結果無価値論に基づく解釈を比較検討することも必要です。その点に注意して、講義中の先生の話をよく聞いてノートをとる必要があります。なお、構成要件の解釈を主流とする刑法各論ですから、六法全書を携帯しないで授業に参加することは無意味ですので、六法全書を忘れた場合には、図書館で借りるなりしてでも携帯してください。さもなければ、受講を拒絶します。なお、刑法各論は、刑法総論の上に成り立っていますので、刑法総論の単位を取得していなければ履修する意味がありません。

成績評価の方法 年度末の試験によって評価します。必要に応じて小テストをしてGPA評価に算入します。年度末試験は論文式です。論文式試験では、「なぜか」ということを採点者に納得させる論証が必要です。作文力を養ってください。必要に応じて、刑法総論における基本事項について質問することがあります。履修者が小人数の場合には、出欠をとります。

教科書参考書等 松村格著『日本刑法各論教科書』（八千代出版）
 指定図書・松村他著『刑法各論』（ミネルヴァ書房）
 参考文献・別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅱ・各論〔第六版〕』（有斐閣）2,200円
 首根・日高編『基本判例5 刑法各論第2版』（法学書院）2,000円

その他 授業の進め方
 毎回出席をとります。総論の知識について質問をします。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 323901 |
| 科目名 | 刑事政策 |
| 担当者名 | 覚正 豊和 |

講義のねらい

犯罪とは何か、刑罰とは何か、非収容者の処遇の実態、犯罪者をどのように再社会化させるかなどについて単なる犯罪対策にとどまるのではなく、その社会的・文化的要因や身体的要因、犯罪学仮説、警察機構、刑事司法対策等の諸問題にわたり比較犯罪学的展開を踏まえた上で理解させていきたい。そして、犯罪学における基本理念をわが国の理論的現状をも対比しつつ、国際的動向との関係から正しく捉え犯罪を防衛するための合理的、合目的な手段・方法を探索していくことを目的とする。今日、とうとうと流れる国際社会において、犯罪者という社会のもっとも片隅においやられた人権の在り方を考えるということは、ますます重要な問題になってくるはずである。講義を通じてそれを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 受講のガイダンス
刑事政策の意義と課題 刑事政策、犯罪学と規範学の相違について学ぶ。
- 第2回 犯罪学の歴史と展開 その起源から近代学説までを学ぶ。
- 第3回 現代犯罪学の課題
ラベリング理論、非犯罪化、非刑罰化、社会的統制理論などについて学ぶ。
- 第4回 犯罪の理念
犯罪とはなにか。日常わたしたちが用いるよりも広義なものであることを学ぶ。
- 第5回 刑事政策と暗数
犯罪統計と暗数の意味、被害調査、事故報告調査などについて学ぶ。
- 第6回 犯罪の原因(1) 身体的・生理的要因について学ぶ。
- 第7回 犯罪の原因(2) 個人環境的要因について学ぶ。
- 第8回 犯罪の原因(3) 社会環境的要因について学ぶ。
- 第9回 刑罰の意義・機能・沿革
意義機能はもちろん一般予防、特別予防、抑制主義、処罰の種類などについて学ぶ。
- 第10回 死刑 憲法と死刑、存廃論、代替刑について学ぶ。
- 第11回 自由刑
意義、歴史的考察、短期自由刑、不定期刑などについて学ぶ。
- 第12回 財産刑 罰金の意義、特質、罰金と科料などについて学ぶ。
- 第13回 保安処分 意義、種類、要件などについて学ぶ。
- 第14回 少年保護手続
家庭裁判所と少年審判、少年法改正問題について学ぶ。
- 第15回 定期試験(予定)
- 第16回 犯罪者の処遇 意義、原則、動向について学ぶ。
- 第17回 犯罪者の刑事司法政策(1) 警察
微罰処分、ダイヴァージョンなどについて学ぶ。
- 第18回 犯罪者の刑事司法政策(2) 検察 起訴猶予などについて学ぶ。
- 第19回 犯罪者の刑事司法政策(3) 裁判
量刑基準、宣告猶予、執行猶予、判決前調査などについて学ぶ。
- 第20回 矯正の意義・目的
矯正処遇の意義、目的、観念、矯正処遇の原則などについて学ぶ。
- 第21回 受刑者の処遇
法的地位、処遇原則、分類処遇、死刑確定者の処遇などについて学ぶ。
- 第22回 犯罪の予防
意義、予防、予防活動、予測、問題点などについて学ぶ。
- 第23回 更生保護 意義、措置、概況などについて学ぶ。
- 第24回 恩赦・資格制度
恩赦の種類、効力、存在理由などについて学ぶ。
- 第25回 被害者補償
意義、歴史、必要性、法的性質などについて学ぶ。
- 第26回 各犯罪と対策 少年非行、女性犯罪などについて学ぶ。
- 第27回 各種犯罪と対策
組織犯罪、ホワイトカラー犯罪などについて学ぶ。
- 第28回 各種犯罪と対策 薬物、アルコール犯罪などについて学ぶ。
- 第29回 まとめ 討論及び質疑
- 第30回 定期試験
初回の授業において指示する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

定期試験および平常点
斉藤・覚正「刑事政策論(2007年)」(八千代出版)3,500円 ISBN978-4-8429-1421-3
授業において指示する。

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 324801 |
| 科目名 | 債権各論 |
| 担当者名 | <small>すが あきのり</small> 須賀 昭徳 |

講義のねらい

民法は財産法と家族法とに分類される。そして財産法は総則編・物権編・債権編よりなっている。家族法は親族編・相続編よりなっています。そして債権編は総論と各論に分かれている。本講義では債権各論と称される分野を講義するものである。

ところで現代社会は契約を中心とする取引社会である。債権各論ではこの契約法を中心として講義するものである。そして事務管理不当利益・不法行為についても概略・説明するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期

①契約総論序説 ②契約自由の原則とその修正 ③契約の種類 ④契約の成立 ⑤同時履行の抗弁権・危険負担 ⑥契約の解除(1)(2) ⑦贈与 ⑧売買(1)(2)(3) ⑨交換・消費貸借 ⑩使用貸借

後期

①賃貸借(1)(2)(3) ②借地借家法 ③雇用 ④請負 ⑤委任 ⑥寄託 ⑦組合・和解 ⑧不法原因給付 ⑨不当利得 ⑩不法行為(1)(2)(3)

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等**

講義にはかならず六法を持参すること。

期末試験の成績により評価する。

甲斐道太郎・乾昭三・椿寿夫編『新民法概説(2)第3版』(有斐閣) 2,000円

講義の中で指示する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 324201 |
| 科目名 | 法思想史 |
| 担当者名 | 高橋 洋城 <small>たかはし ひろき</small> |

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだとことを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホブズスの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 327601・327602 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | あらき まさたか 荒木 正孝 |

講義のねらい 会社法を理解するのに必要な民法総則、物権法および債権法などの講義で聞いた個々の知識や考え方が本当に学生諸君の血となり肉となっているかどうかは、実際に具体的な問題に取り組み、多くの人々が納得するような妥当な解決を導き出すことができるか否かにかかっている。この演習では、講義で修得した個別の知識を総合し、それをより深く理解し、十分に応用できる力をつけることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール この演習では、基礎的知識を確認する作業を常に心掛けながら、具体的には、会社法に関する裁判例の中から参加者が希望するテーマや課題について発表してもらい、そのレポートを中心に活発な議論を展開するという方法で進めます。

履修上の留意点 参加者は、自分が発表を担当しないときでも毎時限必ず質問したり、問題提起をするつもりで予習し、積極的に発言するようにして下さい。演習では出席の回数と発表の内容を重視します。夏季・冬季（学年末試験終了後）に合宿を予定しています。必ず参加して教場では望めない参加者間の全人格的な触れ合いを実現したいと思います。

成績評価の方法 出席と平常の発言やゼミでの活動を考慮して評価します。

参考書等 神作・藤田・江頭・岩原編『会社法批判百選』（有斐閣）などを予定していますが、その他の文献や資料については必要な都度指示します。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 327901・327902 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | おおみや たかし 大宮 隆 |

講義の内容・授業スケジュール 家族法の研究上、知っておいてほしいと思われる裁判例をとりあげる。

履修上の留意点 予習が必要である。

成績評価の方法 年間を通して、総合的に評価する。

教科書 泉久雄他編『家族法基本判例32選』（信山社）2,500円

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 327201・327202 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | かねこ しょうへい 金子 昇平 |

講義のねらい 本演習においては、行政上の諸制度、行政法規の仕組および複雑多様な法現象を広範囲にとりあげ、現代のあるべき行政法理論について理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール ゼミ生の関心のあるテーマについて、判例研究および、学術論文の書評を行い、参加者全員と共に、議論をつくしたいと思っている。演習の内容については、例えば、環境の問題、教育の問題、公務員の問題、地方自治の問題、租税の問題、医療の問題、高齢者の問題、福祉の問題等である。

①環境の問題 東京大気汚染事件、熊本水俣病事件、田子の浦ヘドロ事件、大阪空港事件、名古屋新幹線事件、横田基地、厚木基地事件、国道43号線事件、武蔵野マンション事件、国立マンション事件。②教育の問題 学問の自由と学生の自活、ポポロ事件、教育を受ける権利と教育権・私立大学における学生の思想、表現の自由、校則の問題、いじめ事件、学生処分と教育的裁量権・学校事故③公務員の問題 公務員関係の法的性質、公務員における不利益処分と救済、職員の措置要求権、職員の財産上の権利、安全配慮義務、公務傷病等に対する補償を受ける権利・服務・職務命令と服従義務、職務上の秘密の意義、公務員の労働基本権④地方自治の問題 地方公共団体の情報公開、直接請求、住民投票、青少年保護育成条例、公安条例、要綱による開発負担金、公営住宅の使用関係、議会と政務調査費、議員の研修旅行、教育委員会の公開原則、住民監査請求、住民訴訟、国民健康保険⑤租税の問題 租税法律主義の意義、サラリーマン税金訴訟、租税回避行為の否認、所得控除の意義、固定資産税訴訟、消費税、輸入禁止措置と検閲、租税訴訟における文書の提出の申し立て⑥医療の問題 診療記録閲覧請求、予防接種事件、ハンセン病事件、健康食品と医薬品の定義⑦高齢者の問題 高齢者虐待防止法、高齢者の在宅介護、特別養護老人ホーム、老人保健施設⑧福祉の問題 生有権と生活保護基準、福祉法にかかるとの問題

履修上の留意点 年二回、七月、二月にゼミ合宿を行い、研究の成果を発表し、討論を行う。
年二回、公的施設の見学会を行う。
ゼミ生は、あらかじめ該当する判例、法令等を読みこなして欲しい。六法を持参すること。
判例、論文、法律を知ることだけではなく、現実の社会の実態についても、調査し、国・地方公共団体に向いて、担当者と面会し、取材してもらいたい。

成績評価の方法 出席（ゼミ、見学会、合宿等）により評価する。

教科書 適宜指示する。

その他 発表者は、レジュメを作成し、論点および、自分の意見を発表する。全員が、議論に参加出来ることを望む。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 327701・327702 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>たなか けん</small> 田中 優企 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 演習テーマ：「刑事訴訟法基本判例研究」 実際に裁判で争われた具体的なケースの研究を通じて、抽象的な理解になりがちな刑事訴訟法をより深く掘り下げた形で理解してもらおうこと及び判例の分析と授業での報告を通じて「問題解決のプロセス」の一つを学んでもらうことがこの演習のねらいです。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 授業では、私が指定した判例について、それぞれ各1名が担当して、1つの判例を2回に分けて報告してもらいます。1回目は担当判例の報告を、2回目は、授業での討論を通じて明らかになった問題点や私が指摘した問題点等についてさらに分析した上で、これを報告してもらおうスタイルを予定しています。 |
| 履修上の留意点 | その他、具体的な報告方法など授業全般については、第1回目の時にもお話しします。 「刑事訴訟法」を履修済みであること又は履修中であることが望ましいですが、これにこだわりません。刑事訴訟法に興味のある方であれば、どなたでも歓迎します。 |
| 成績評価の方法 | 出席状況、報告内容及び討論内容を総合的に考慮して評価します。 |
| 教科書 | 教科書は指定しません。 |
| 参考書等 | (購入する必要はありません) 井上正仁編『刑事訴訟法判例百選(第8版)』(有斐閣、2005年) 2200円 各年度に出版される『ジュリスト臨時増刊・平成〇年度重要判例解説』(有斐閣)、『平成〇年度最高裁判所判例解説』(法曹会) |
| その他 | 素朴な疑問が実は重要な問題であったということはよくあることです。また、この演習は、みなさんの意見と疑問があって初めて成立します。みなさんの主体的な参加を期待しています。 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 326901・326902 |
| 科目名 | 演習I 演習II |
| 担当者名 | <small>なかた ひでゆき</small> 中田 英幸 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 本演習の目的は、財産法(民法総則・物権・債権)に関する判例を素材として、民法の解釈を学習することにある。紛争が発生した経緯を理解し、望ましい結論(法的判断)を考えることにより、法の運用を学び、法的思考を養う。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (3年生)前期は、財産法に関する基本判例を演習の素材とする。演習参加者は、初回に報告する判例を選び、報告前にレジュメの配布・参考文献の指定をすること。後期は、最近の判例を演習の素材として前期と同じく報告をする。演習の進め方は前期と同様である。なお、報告者は、演習での質疑応答を踏まえたレポートを作成する。 前期・後期ともに、適宜基礎知識の確認を行う。 (4年生)卒業レポートの作成を目標とする。自ら法的課題を見出し、検討を加え、結論を導く。演習において卒業レポートの中間報告を行う。 以上の内容は、演習参加者の希望や参加人数によって変更することがある。 |
| 履修上の留意点 | 民法に興味を持ち、勉強する意欲があることが大前提である。 |
| 成績評価の方法 | 必ず毎回出席し、積極的に発言すること。 |
| 参考書等 | 報告内容、演習での発言、レポートにより評価する。発言は、結論よりも、結論に至るまでの理由づけや思考過程を重視する。 演習にて適宜指示する。 |

| | |
|-------|---------------|
| 履修コード | 327301・327302 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | にし おさむ 西 修 |

講義のねらい 私は、演習をつぎのように位置づけたいと考えます。すなわち、マスプロ教育に陥りがちな一方通行を補うべく、双方向性を大切にし、履修生と教師、履修生同士のディスカッションを多用して、みずからを磨きあげる場であると。そしてそれは、たんに勉強ばかりでなく、合宿などを通じて、心のふれあいのなかから、あらたな自分を見つけだす場でもあると。こんな場にするために、私はつぎのような方針でのぞみたいと思っています。

- (1) ゼミのモットーは「出会い、学び合い、そして人間愛」です。
- (2) とくに少人数の場合、日々のふれあいが大切なので、毎回、出席すること。
- (3) ディスカッションには、積極的に参加し、かならず発言すること。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期に分け、前期は1、2冊の本を精読し、それについてディスカッションをします。共通に読む本は開講時に指定。またディスカッションの内容としては、(1) 日本国憲法の成立過程とその法的問題点、(2) 憲法第9条をめぐる諸問題、(3) 世界の憲法トレンド、(4) 人権の現代的意味などを考えています。その他、年に1回は合宿を行います。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

「講義のねらい」で記述した方針でのぞみますので、毎日出席すること。

出席、発言、課題論文などを総合的に判断する。

開講時に指示する。

適宜紹介する。

合宿中に私の落語を聴かされることがあります。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 327101・327102 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | ふじもと しげる 藤本 茂 |

講義のねらい わが国雇用社会は、経済構造の変化に伴う雇用システムの変容、少子高齢社会の到来、労働者意識の多様化などにより大きく変わろうとしています。最近の労働基準法改正、労働契約法制、個別労働紛争処理制度などに関する議論はその表われです。この現代労働法の対象である雇用社会を知り、今までの労働法理の基礎を自ら学びとる場が演習だと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、テーマを各自受講生が関心のあるところから、自ら選択し勉強し、理解を深めたところで発表し、議論をする方法をとっています。特に発表し議論するところに重点を置いています。今年度は1年間の演習です。2年続けての受講はありません。

履修上の留意点

演習のいいところは、大いに勉強し、恥をかくところにあります。出席は大前提。評価はそのあと。

ゼミ運営に積極的に関わることも大切だと考えています。

講義科目として、労働法はもとよりのこと、憲法、民法総則、債権総論・各論、社会保障法、社会政策は、ぜひとも、履修してください。

成績評価の方法

出席、積極的発言、ゼミ運営への積極的参加など。平常時の積極的な姿勢で評価します。追試はありません。

教科書

金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』(エイデル研究所 2009)。

労働判例百選

労働法の争点

参考書等

必要に応じて、〈調べ方〉を教えます。参考書というより法律雑誌の論文等が重要になります。自分で探ることが勉強の第一歩と思っています。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 327911・327912 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | むかいだ まさみ 向田 正巳 |

講義のねらい 本演習では、判例研究を通じて、民法を基礎から学びます。民法の基本判例を読みながら民法における基本的なものの考え方、法的思考の基本を学び、演習参加者が裁判実務、ビジネス法務実務、行政実務等それぞれの進路においてその知識を活かす術を学ぶことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール まず判例百選等でとりあげられるような基本判例を読みながら民法の基礎的な論点を学習し、それを通して判例の読み方、教科書のまとめ方、論文などの資料調査と研究報告の方法について学びます。次に10月くらいからになると思いますが、最高裁判所民事判例集等から最新の判例をゼミのグループ単位で選び、判例のなかから民法解釈論上の論点を抽出し、従来の学説、判例に照らし合わせながら検討するという作業を行います。最後に時間があれば参加者が各自、関心のあるテーマにつき個別に報告、レポートを提出してもらいます。

履修上の留意点 民法の基礎をしっかりと学び、民法の学習を将来の自己の進路希望に役立てることを真剣に考えている学生の演習参加を希望します。

成績評価の方法 出席、発表、議論参加などから総合的に評価します。無断欠席は厳に慎んでください。

教科書その他 演習の始めに指示します。
コンパ、合宿を予定しています。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 327501・327502 |
| 科目名 | 演習Ⅰ 演習Ⅱ |
| 担当者名 | やまぐち くにお 山口 邦夫 |

講義のねらい 1・2年次において、刑法総論及び刑法各論ともに履修済みの3年生を中心に進める刑事法演習である。当然、少年法をも含む、刑事政策的な問題意識を持つことが望まれる。

講義の内容・授業スケジュール 1年間を下記の4期に分けて、討論の問題を考えている。
第I期(4・5月) 罪刑の法定をとする政治的意味及び犯罪不成立の事由について。
第II期(6・7月) 刑事責任のとらせ方と少年事件における、いわゆる保護処分について。
第III期(9・10月) 生命・身体に対する侵害犯罪と財産犯の諸問題について。
第IV期(11・12月) いわゆるセクハラ問題と性犯罪との関連と峻別について。

履修上の留意点 毎時間出席し、討論に積極的に参加できる者が望ましい。また年4回ぐらい発表の機会があるので、自分の意見を発表する能力が必要である。

成績評価の方法 演習の成績評価は、講義科目と違い試験は行わない。毎回発表する際のレジメの作成及びその発表内容、さらに他人の発表に対しての討論の仕方・内容などを総合して評価する。したがって、一ヶ年、出席すれば、単位取得については問題はない。

教科書 判例を中心に、法解釈を考えるのが教材になる。判例を解説した書物なども参考になるが、毎時間、資料については、注意するので、あらかじめ指定する書物はない。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 326301 |
| 科目名 | 担保物権法 |
| 担当者名 | くまがい しげい 熊谷 芝青 |

講義のねらい 企業等に就職した際に、取引先との決済としての手形、その手形債務を含めた、取引先の債務を担保するための担保物権、そしていよいよ取引先が危なくなったときの破産手続きという法的知識が特に求められます。これらの重要な法的知識の中で、担保物権に関する講義を行います。また債権法と物権法の両領域にまたがる法分野ですので、債権法と物権法の関連知識の復習にも心がけることにします。

講義の内容・授業スケジュール 1. 担保物権法概論, 2. 留置権, 3. 先取特権, 4. 質権, 5. 抵当権総論, 6. 抵当権の目的の範囲, 7. 抵当権の効力, 8. 法定地上権, 9. 抵当権の処分, 10. 共同抵当, 11. 根抵当, 12. 仮登記担保, 13. 譲渡担保, 14. 所有権留保, 15. 権利質, 16. 債権の譲渡担保

履修上の留意点 担保物権を学習するには、債権法と物権法の知識を必要とします。この両法を学習していることを期待します。ただし、債権法と物権法の必要な知識はその都度確認するつもりです。

成績評価の方法 学年末の筆記試験を中心に総合的に評価します。

教科書 近江幸治『民法講義III 担保物権(第2版)』(成文堂)

| | |
|-------|---------------------------------|
| 履修コード | 326411 |
| 科目名 | 家族法 |
| 担当者名 | <small>たけなか ちか</small> 竹中 智香 |

講義のねらい

民法典のうち、第四編「親族」と第五編「相続」の講義を行います。前期に取り上げる親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、戦前の家督相続が、第二次大戦の敗戦後、庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

**講義の内容・
授業スケジュール**

[前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

[後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。
川井健『民法概論5 親族・相続』有斐閣 2,800円
六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第7版]』(有斐閣)
『法律学小辞典 [第4版]』(有斐閣)

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 324901 |
| 科目名 | 有価証券法 |
| 担当者名 | なかほま よしあき 中濱 義章 |

講義のねらい 手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡求
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点

六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『セレクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。

民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

成績評価の方法
教科書
参考書等

濱田惟道『手形法小切手法』（文真堂）

開講時に指示します。

『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）

山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第3版）』（有斐閣）

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 326501 |
| 科目名 | 保険・海商法 |
| 担当者名 | いのうえ けんいち 井上 健一 |

講義のねらい 商法のうち、保険取引および海商を含めた国際取引に関する法規整を概観する。この分野は、商法典の条文、もしくは判例の理解のみならず、約款や条約、あるいは商慣習なども含めた実務慣行に注意を払う必要がある。いわば実務との関係で「生きている法」を扱うという意味で、意欲を持って取り組めば非常に面白い内容である。前期は保険法を、特に保険契約法を中心に扱い、後期は海商法およびそれに関連した国際取引に関する契約に対する法規整を扱う。保険会社や商社などの実務に興味がある者は是非参加してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 保険法
1. 保険法総論・保険契約法総論
 2. 損害保険契約
 3. 生命保険契約
 4. 傷害保険

II 海商法・国際取引法

1. 海商法・国際取引法総論
2. 海上企業者
3. 海上運送契約・国際取引契約
4. 海上危険・海上保険
5. 国際取引における紛争解決

履修上の留意点
成績評価の方法

民法（総則・債権各論）および商法総則・商行為法を履修済みか、履修中であることが望ましい。原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で対話式のケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

教科書
参考書等
その他

山下・竹濱・洲崎・山本「保険法」（第2版）（有斐閣）1900円 4-641-12233-4

レジュメで随時紹介する

授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 326601 |
| 科目名 | 民事訴訟法 |
| 担当者名 | 間瀬 清史 |

講義のねらい この講義では、民法など民事実体法についての一応の学習を終えた人を対象として、民事訴訟手続の概説を行います。ここに民事訴訟手続とは、私人間の権利義務ないし法律関係の存否を巡って生じた紛争の解決を目指し、そのための基準を提示する手続のことをいいます。判決手続のみならず、和解、調停および仲裁などの訴訟以外の民事紛争解決手続についても講ずる予定です。受講者に民事訴訟の全体像と民事理論の基本を体得してもらうのがこの講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) 民事紛争の解決制度、(3) 民事訴訟制度の現代的課題、(4) 訴え、(5) 裁判所、(6) 当事者、(7) 第三者による訴訟追行、(8～9) 本案と訴訟要件、(10～11) 当事者と裁判所の役割、(12) 口頭弁論の諸原則、(13) 口頭弁論の準備、(14) 証明と証拠、(15) 証明責任、(16) 当事者の行為による訴訟の終了、(17～19) 終局判決とその効力、(20～21) 複数請求、(22～24) 共同訴訟、(25～26) 訴訟参加、(27) 当事者の変動、(28～29) 上訴・再審、(30) 簡略な手続

履修上の留意点 民事実体法の基本事項について一応の理解を有することが履修の前提となります。
成績評価の方法 日常の授業参加態度、学年末試験の結果及び受講者の提出物の内容等に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書 名津井吉裕ほか著『民事訴訟法』(法学書院)2007年、3200円(税別)。
参考書等 小林秀之編『判例講義 民事訴訟法』(悠々社)2001年、3500円+税。
 小林秀之編『法学講義 民事訴訟法』(悠々社)2006年、4000円+税。
 『民事訴訟法の争点』(有斐閣)2009年予定。
 『民事訴訟法判例百選 [第3版]』2003年、2800円+税。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 327001 |
| 科目名 | 刑事訴訟法 |
| 担当者名 | 田中 優企 |

講義のねらい 今年5月開始の裁判員制度は、国民が裁判員として刑事裁判に参加する制度ですが、裁判員に刑事手続に関する知識は求められません。ですが、法制度を学ぶ法学部生としては、その一角をなす刑訴法の基本原理、その法運用と問題点を学ぶことは不可欠でしょう。

そこで、この講義では、現行刑訴法施行60年を迎えた我が国の刑事手続を規律する基本原理、これに基づく法運用の実際を理解してもらい、そこで生じている問題点の解決方法について、みなさんと共に考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 第1回目は、ガイダンスとして講義全般について、第2回目以降から、次の各項目を1回または複数回に分けて順番にお話します。

①刑事手続の概要、刑事裁判のかたち、②刑事手続に關与する機関・人とその役割、③強制捜査と任意捜査、④職務質問、所持品検査、自動車検問、⑤逮捕・勾留、⑥捜索・押収、⑦取調べ、接見交通権、⑧公訴、起訴状一本主義、⑨公判手続、裁判員制度、⑩訴因制度、⑪自白法則、補強法則、⑫排除法則、⑬伝聞法則、⑭裁判の効力、⑮上訴、再審

履修上の留意点 教科書及び六法を必ず持参してください。
成績評価の方法 学期末試験の成績により評価します。
教科書 椎橋隆幸編『ブリッジブック刑事裁判法』(信山社出版、2007年)2000円
 井上正仁編『刑事訴訟法判例百選 (第8版)』(有斐閣、2005年)2200円
参考書等 (購入する必要はありません)
 渥美東洋『全訂刑事訴訟法』(有斐閣、2006年)5300円
 椎橋隆幸編『プライマリー刑事訴訟法 (第2版)』(不磨書房、2008年)2900円
その他 授業に関する質問は遠慮なくどうぞ。

| | |
|-------|------------------|
| 履修コード | 325101 |
| 科目名 | 労働法 |
| 担当者名 | ふじもと しげる 藤本 茂 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。</p> <p>この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法や男女雇用平等などです。</p> <p>本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。</p> |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>授業では、下記事項について、行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 労働法の基礎的考え方 (2) 日本型雇用システムの変化と労働法 (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合 (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴 (5) 雇用における男女平等 (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約 (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間 (8) 人事異動－配転、出向、転籍 (9) 賃金、賞与、退職金 (10) 労働時間、時間外・休日労働 (11) 休憩、休日、休暇 (12) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇 (13) 労働災害など |
| 履修上の留意点 | <p>出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No、そして無断で席を立つことは No。いわゆる授業のマナーは守ってください。</p> <p>適宜、項目を列挙したレジюмеや資料を配りますが、それでは十分ではありません。教科書を使って有意義な勉強を心がけてください。</p> <p>憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。</p> |
| 成績評価の方法 | <p>成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価はつきません。前期試験、レポートや出席を含めて、総合的に評価します。</p> <p>追試験は実施します。</p> |
| 教科書等 | <p>金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所 2009）。第1回目の授業で、プリントで紹介します。</p> <p>六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、これも1回目の授業で話します。</p> |
| その他 | <p>皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。</p> |

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 325301 |
| 科目名 | 社会保障法 |
| 担当者名 | <small>ねがし ただし</small> 根岸 忠 |

| | |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | <p>社会保障は、現在、国民の大きな関心事となっており、これからも重要な法改正がなされていくであろうことは疑いようがない。</p> <p>本講義では、まず、社会保障の定義やその歴史を概観した上で、各制度を見ていくこととする。その後、近時、重要な問題となっている社会保障の財源や外国人と社会保障等についても法的に検討していくこととしたい。</p> |
| 講義の内容・授業スケジュール | <p>社会保障の概念・社会保障の歴史（2～3）、医療保障（4～7）、年金保険（8～11）、労災補償（12～15）、雇用保険（16～18）、介護保険（19～20）、社会福祉（21～23）、生活保護（24～25）、社会保障における手続的保障（26）、社会保障の財源（27）、国際基準・外国人と社会保障法（28）、社会保障法と憲法（29）、社会保障法の課題（30）</p> |
| 履修上の留意点 | <p>社会保障法はさまざまな法領域と接点をもつ。とりわけ、憲法、行政法、民法、労働法をすでに履修しているか、並行して履修することが望ましい。</p> <p>本講義においては各制度の内容に関する説明を行った後に、法解釈を中心に授業を展開していきたいと考えている。政策上の問題については、社会政策で扱うこととする。そのため、できれば社会政策も履修してもらいたい。</p> |
| 成績評価の方法 | <p>学年末試験で成績評価する。</p> |
| 教科書 | <p>本沢巳代子・新田秀樹編著『トピック社会保障法 第3版』（不磨書房、平成21年）2,520円 労働調査会出版局編『社会保障法令便覧』（労働調査会）1,470円</p> |
| 参考書等 その他 | <p>開講時に指示する。 制度の理解のために適宜映像を用いることとしたい。</p> |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 326911 |
| 科目名 | 行政救済法 |
| 担当者名 | 仲田 孝仁 |

講義のねらい 「行政救済法」とは、違法・不当な行政活動に対する事後的な権利利益の救済制度を指す。本講義では、行政救済制度の概要について説明し、次に行政自身に対して、行政活動の適否を判断してもらう仕組みである、「行政不服申立て（行政不服審査法）」および行政による権利利益の侵害に対し、行政活動そのものに関する救済制度としての、「行政訴訟（行政事件訴訟）」、さらに金銭的解決の制度として民法上の損害賠償制度に対応する「国家賠償」ならびに国・公共団体の適法な活動によって生じた損失の填補である「損失補償」（以上、国家補償）といった法制度を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

<春学期>

- 第1回 行政救済法概説（行政救済法とは、行政争訟法と国家補償法の違いについて。）
- 第2回 行政争訟法概説（1）－行政事件訴訟概説（行政事件訴訟法について。）
- 第3回 行政争訟法概説（2）－行政不服申立て概説（行政不服審査法について。）
- 第4～5回 国家補償法概説（1）－損失補償概説（損失補償とはいかなる仕組みか。憲法上の根拠は。）
- 第6～7回 国家補償法概説（2）－国家賠償概説（国家賠償法とはいかなる法律か。）
- 第8回 行政不服申立て（1）－行政不服審査法の基本構造
- 第9回 行政不服申立て（2）－不服審査の審理の仕組み
- 第10回 行政不服申立て（3）－具体例について学ぶ
- 第11回 行政不服申立て（4）－（1）から（3）のまとめ
- 第12回 行政審判
- 第13回 苦情処理
- 第14回 オンブズマン
- 第15回 授業のまとめ・問題演習

<秋学期>

- 第1回 行政事件訴訟法概説（主観訴訟と客観訴訟の違い。抗告訴訟と当事者訴訟の違いなど。）
- 第2回 取消訴訟の基本構造（取消訴訟とはいかなる訴訟か。）
- 第3回 取消訴訟の対象・審理（取消訴訟の対象は。）
- 第4回 訴訟要件（1）－処分性
- 第5回 訴訟要件（2）－原告適格（取消訴訟は誰が提起することができるのか。）
- 第6回 取消訴訟における仮の救済－執行停止（取消判決が下される以前の行政処分の効力は。）
- 第7回 取消訴訟以外の抗告訴訟、客観訴訟（取消訴訟以外の訴訟類型について。）
- 第8回 国家賠償法概説（国家賠償とはいかなる仕組みか。）
- 第9～10回 1条責任－公権力責任（違法な公権力の行使を争う方法について。）
- 第11～12回 2条責任－営造物責任（道路に構造上の欠陥があり、被害を受けた場合どのように争えばよいか。）
- 第13回 損失補償法概説
- 第14回 国家賠償と損失補償の谷間－予防接種訴訟を例として
- 第15回 授業のまとめ・問題演習

履修上の留意点

講義では、履修者諸君との対話を重視する。また、パワーポイントのスライド等を用いて、視覚に訴えることでより分かりやすい授業となるよう常に心がけたい。諸君には、問題発見・解決能力、さらにはリーガル・マインドを養っていただく。

履修上の留意点としては、行政法総論を履修中か、既習であることが望ましい。

本講義では、抽象的な理論や学説の説明に終始するのではなく、履修者諸君が実生活をおくる上で、生きた素材を与え、考えさせることを主眼とする。もちろん、これらの知識や考え方は、公務員試験対策や各種国家試験対策にも生かされることとなる。

成績評価の方法

学年末試験（7割）および平常点（3割）の合計により評価する。平常点には小テスト、授業中に課す問題演習、レポートが含まれる。出席は原則とらないが、授業中の発言については、平常点として加点する予定である。

教科書

芝池義一『行政救済法講義 第3版』（有斐閣、2006年） 定価（本体2,500円＋税） ISBN4-641-12994-0

参考書等

- 今村成和著・畠山武道補訂『行政法入門〔第8版補訂版〕』（有斐閣、2007年）
- 石川敏行他著『はじめての行政法』（有斐閣アルマ、2007年）
- 宇賀克也編『ブリッジブック行政法』（信山社、2007年）
- 塩野宏『行政法II〔第四版〕』（有斐閣、2005年）
- 宇賀克也『行政法概説II 行政救済法』（有斐閣、2006年）
- 宇賀克也『改正・行政事件訴訟法【補訂版】』（青林書院、2006年）

※いづれも、図書館で参照して下さい。

その他

本講義はつまみ食いの出席では理解することが困難である。しっかりと、出席できる学生諸君のみ履修されたい。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 325801 |
| 科目名 | 税法 |
| 担当者名 | 中江 博行 <small>なかえ ひろゆき</small> |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 現代生活においては、我々は租税に無関心であることはできない。なぜならば、日常生活では取引・契約は必ず発生し、そこには、通常、課税関係が生じる。 そこで、本講義では、租税の機能・役割から、租税法上の考え方を身につけてもらう。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | (前期) 1. 租税の目的・意義 2. 租税法主義の原則と租税回避について 3. 所得概念と所得税の基本構造 4. 消費税法のしくみ (後期) 1. 相続税法の基本構造 2. 法人税の課税根拠と企業利益 3. 税務調査(質問検査権) |
| 履修上の留意点 | 会計学、財政学、簿記学等の科目の履修が望ましい。またアンケート及びレポートの提出を随時求めるが、提出がない場合には期末試験の受験資格を失うこともあるので注意すること。 |
| 成績評価の方法 | レポート、講義時アンケート及び期末試験の結果を総合して評価する。(定期試験70%、レポート20%、講義時のアンケート及び講義の参加意識10%) |
| 教科書等その他 | 中江博行『法人税法講座四訂版』税務経理協会 六法(税法掲載のもの)、別冊ジュリスト『租税判例百選』(第4版・有斐閣) 毎回の講義時の連絡事項及びレジュメは、本学サイト内“YeStudy”にアップしておくので講義開始時には、プリントアウトして持参すること。質問は、原則、講義終了時に行うが、E-mail(p5@p-five.com)でも受け付ける。 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 履修コード | 326001 |
| 科目名 | 地方自治法 |
| 担当者名 | 富井 幸雄 <small>とみい ゆきお</small> |

| | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。 |
| 成績評価の方法 | 前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。 |
| 教科書等その他 | 富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定(内外出版) 『地方自治判例百選(第3版)』(別冊ジュリスト)。 講義では頻りに法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。 |

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 325901 |
| 科目名 | 国際私法 |
| 担当者名 | 佐々木 彩 |

講義のねらい

法律関係の構成要素に外国に関連する要素が一つでも含まれる場合を、一般に渉外的法律関係と呼ぶ。そして、渉外的法律関係に適用すべき法律を指定する規定を定めているのが国際私法である。国際私法は、渉外的法律関係によって生じる紛争を円滑に解決に導く手段のみならず、予めどの国の法律を適用することとなるのか等の予測可能性を高めてくれることにも役立つ。わが国では「法の適用に関する通則法」という法律を中心に国際私法が形成されている。国際私法は、民法や商法のような実質法のように私法問題の判断基準となる法律とは規律する領域を異にしており、異なる次元に位置づけられるものとして、上位規範等と呼ばれることがある。このような他の分野と異なる国際私法的センスを習得できるように講義を進めたいと考えている。国際私法は時として難解な科目であると捉えられがちであるが、国際結婚・離婚、国際養子縁組、国際契約等に関する身近な問題を具体例として取り上げ、できる限り分かり易いものとなるように工夫を試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容及びスケジュールについては、以下のように予定している。
ガイダンス（1）総説（2～3）国際私法の構造（4～5）準拠法の指定（6～7）準拠法の適用（8～9）総論まとめ（10）婚姻の成立（11～12）婚姻の効果（13）離婚（14～15）親子関係の成立（16～17）親子間の法律関係（18～19）後見及び保佐（20）扶養（21）氏名（22）相続（23～24）遺言（25）不法行為（26）物権（27）国際裁判管轄権（28～29）1年間のまとめ（30）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

基礎となる他の科目（特に家族法）について基礎知識を有することが望ましい。
原則として学年末の筆記試験による。
笠原俊宏著『国際家族法新論』文真堂
いずれかの六法を常に携帯すること。
授業は講義によって進行するが、随時、事例を設定して、皆で一緒に考えることも予定している。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 325601 |
| 科目名 | 環境法 |
| 担当者名 | 仲田 孝仁 |

講義のねらい

本講義の目的は、受講者に広く環境問題に関心を持たせることは言うまでもなく、「環境法」の法的枠組みを理解させ、「法」という道具を用いることで、各人が環境問題への具体的解決策を導くための糸口を与えることにある。履修者諸君には、本講義の履修後に、環境問題を一步踏み込んで解釈・分析する視点を持つことが期待される。

講義の内容・授業スケジュール

環境法に係る共通的な法理論・原則を概説した後に、個別的な実定環境法へと講義内容を展開する。1. オリエンテーション（環境法とは？対象）、2～3. 環境法の歴史（四大公害訴訟について）、4. 環境法の諸原則（持続可能な開発、環境権）、5～6. 環境基本法について、7～11. 廃棄物・リサイクルと法（循環型社会の形成について、廃棄物処理法および個別リサイクル法）、12. 化学物質管理と法（化審法、PRTR法）、13～18. 大気・水質・土壌環境保全と法（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と法）、19. 外来生物と法（外来生物法について）、20. 自然環境保全・種の保存と法、21～22. 環境影響評価と法（環境アセスメントについて）、23～24. 環境紛争と民事的・行政的解決、25. 道路公害訴訟について、26. 国・自治体におけるディーゼル車規制、27～28. 地球温暖化対策と法、29. 環境リスク管理と予防原則、30. 最終講一環境法の現在・過去・未来

履修上の留意点

学生諸君との対話を重視した双方向型の授業とする。よって諸君には頻繁に発言やメモの提出を求める。講義自体はパワーポイントやビデオ等を用い、視覚に訴えることで分かりやすさを心がけたい。講義内容は基礎的な事項を中心に進めるが、最新判例や理論の動向も加味していく。また、具体的な事例を取り上げ、それらの問題の所存や解決策を諸君とともに模索していく。

成績評価の方法

期末試験の成績（70%）及び平常点（出席点・発言点、レポート、30%）を総合的に評価する。詳しくは、開講時に説明する。

教科書
参考書等

使用しない。インターネット上や新聞、ニュース等が生きた教材となる。
別冊ジュリスト『環境法判例百選』（有斐閣）2004年等。

その他

その他は授業時に指示する。
講義においては、レジュメを配布する。また、必要な範囲で環境法令も配布する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 325201 |
| 科目名 | 経済法 |
| 担当者名 | 荒井 登志夫 <small>あらい としお</small> |

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール

1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不公正な取引方法 15～17 景品表示法・下請法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。
成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。
「経済法」(第5版・岸井大太郎・向田直範)ほか・有斐閣アルマ
「独占禁止法(第2版)」(金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂)
根岸哲・杉浦市郎『経済法』(法律文化社)
根岸哲・舟田正之『経済法概説』(有斐閣)
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』(法律文化社)
「経済法」(鈴木満・深雪・尚学社)

その他

レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 325701 |
| 科目名 | 知的財産権法 |
| 担当者名 | 盛岡 一夫 <small>もりおか かずお</small> |

講義のねらい

知的財産権法全般についての基礎理論を理解できるようになることを目的とし、わかりやすく講義したいと考えている。学説・判例の対立している点については、これに関する学説・判例を紹介し、問題点の所在をあきらかにしたい。

特許法においては、発明の定義、特許を受けるための要件、従業者が発明をした場合の法律関係、特許権の侵害に対する救済方法、実施契約等について、実用新案法においては、特許法との相違について、商標法については、商標登録要件および類似商標について詳しく解説する。著作権法および不正競争防止法についても講義する。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

知的財産権法概説(1～3)、特許法(4～12)、実用新案法、意匠法(13～15)、商標法(16～19)、不正競争防止法(20～23)、著作権法(24～30)
前期に行なう平常試験および学年末試験によって評価する。
盛岡一夫『知的財産法概説〔第4版〕』(法学書院)2600円+税
中山・相沢・大淵編『特許判例百選〔第3版〕』(有斐閣)、斉藤・半田編『著作権判例百選〔第3版〕』(有斐閣)

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 326701 |
| 科目名 | 民事執行・保全法 |
| 担当者名 | 福永 清貴 <small>ふくなが きよたか</small> |

講義のねらい

本講義では、民事執行・民事保全の両手続のうち、とくに民事執行手続を中心に、その解釈上の重要問題と全体構造の理解を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、まず総論として、判決手続・執行手続・保全手続の概要や執行手続の種類・態様、民事執行手続の理念・基本構造等について説明する。その後、各論として、強制執行手続(債務名義・執行文・執行関係訴訟等)と担保権実行手続とを比較しながら講義する。後期後半には、民事保全手続(保全命令の発令手続・保全執行手続)について講義する予定である。

履修上の留意点
成績評価の方法

民法(特に債権法・担保物権法)および民事訴訟法を履修していることが望ましい。
後期の期末試験および小テストの成績によって評価する。受講生が少ない場合は、出席状況を評価に加えることもある。

教科書

『わかりやすい民事執行法・民事保全法』生熊長幸 著(成文堂)3,300円+税
ISBN4-7923-2500-5

参考書等

「民事執行法判例百選」。その他、適宜紹介する。

その他

授業方法は、講義形式である。但し、受講生が少数の場合は、ゼミ形式で行うこともある。適宜、プリントや資料を配布し、毎回具体的な事例を題材として講義する予定である。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 326801 |
| 科目名 | 倒産処理法 |
| 担当者名 | 鈴木 貴博 |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

破産法を中心に倒産処理法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。
倒産処理手続は、債務者・債権者・担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜し、債権者の平等な取扱いや、破産者の再起更生、社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、実体法の規定に配慮しつつ、手続の基準として多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような様々な実体的法律関係の修正・処理のための法制度の特徴と概要を学んでいく。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産手続開始申立てとその効果
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 破産管財人の法的地位
7. 財団債権・取戻権
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪
10. 消費者倒産

履修上の留意点

民法法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みか履修中であることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法
教科書
参考書等

簡単なレポートと学期末試験により評価される。
徳田和幸『ブレップ破産法』（弘文堂、第4版、2008年）¥1,260 ISBN978-4-335-31309-7
①伊藤眞『破産法・民事再生法』（有斐閣、2007年）¥6,615 978-4-641-13498-0
②山本和彦・中西正・笠井正俊・沖野眞己・水元宏典『倒産法概説』（弘文堂、2006年）¥4,725 978-4-335-35373-4 C3032
③山本和彦『倒産処理法入門』（有斐閣、第3版、2008年）¥2,205 978-4-641-13534-5
④青山善充・伊藤眞・松下淳一『倒産判例百選』（有斐閣、第4版、2006）¥2,520 978-4-641-11484-6

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 333301 |
| 科目名 | 財政学 |
| 担当者名 | 速水 昇 |

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。例えば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。その反面、わが国の政府は平成20年度末で国債の発行残高が約615兆円、地方公共団体の長期債務残高は約197兆円、国と地方の重複分約34兆を考慮すれば、国と地方の長期債務残高は約778兆円になる。この数字は平成20年度わが国のGDP見込みの147.6%に相当する。欧州連合（EU）の参加条件を定めたマーストリヒ条約においては、ストックベースの債務残高をGDP比60%以内とすることが基準になっているので、わが国の財政はいかに借金をかかえているかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、このような問題を納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には前期は日本の財政状況を中心に、後期は財政政策を中心に講義する。
なお、公務員試験などで財政学の問題が非常に多く出題されているので、授業で講義した内容に関する問題の小テストを行って、授業の理解度の確認をする。

履修上の留意点

学生として当然のことだが、テキスト・ノートは必ず持参すること。小テストは10回程度予定しているので出席に自信のある学生を希望する（小テストを受けていない学生は成績評価の対象外としますので注意して下さい）。

成績評価の方法
教科書

試験、授業中の小テスト、レポート
青木一郎著『財政学』学文社 978-4-7620-1795-7 C3033 2,300円+税

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 325401 |
| 科目名 | 国際関係論 |
| 担当者名 | 三船 恵美 |

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを講義の目的とします。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期

1. 国際関係を学ぶ
2. アクター
3. 国益とパワー
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 安全保障（1）：安全保障の概念と類型
7. 安全保障（2）人道的介入
8. 安全保障（3）大量破壊兵器の拡散
9. 安全保障（4）テロリズム
10. グローバリズムとリージョナリズム
11. EU
12. 東アジア共同体の構想とその課題
13. 地球環境レジームの形成
14. 前期まとめ
15. 試験

後期

1. 「人間の安全保障」と人権
2. 国際開発と国際援助
3. 難民保護とUNHCR、
4. 国際関係を分析する4つの見方
5. 勢力均衡とバンドワゴン
6. 同盟の力学
7. 覇権による安定
8. リベラリズム
9. ネオ・リベラリズム
10. ゲーム理論と国際関係
11. 南北問題と構造的暴力
12. コンストラクティヴィズム
13. 国際政治と国際経済の連動
14. 後期まとめ
15. 試験

履修上の留意点

就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補ってください。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

試験（前期40%＋後期60%）。

山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
授業中に紹介します。

| | |
|-------|--------------------|
| 履修コード | 307201 |
| 科目名 | 経済政策 |
| 担当者名 | まつまえ たつよし 松前 龍宜 |

講義のねらい 本講義は、経済政策に関する様々なトピックとその背景にある基礎理論を学び、各々の経済政策がどのように私たちの生活に影響を及ぼしているのかを理解してもらうことを目的とする。本講義の特徴は、多くの専門分野における経済政策に関するトピックを、ミクロ経済政策（参入規制、価格規制、特定産業の保護政策）、マクロ経済政策（成長政策、財政・金融政策による安定化政策）、所得再配分政策（税制の公平性、社会保障制度、世代間所得移転問題）の3部に統一的に分類し、バランスよく解説することにある。講義の方針としては、数式の利用を極力避け、表やグラフを利用して直感的に理解してもらうこととする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学と経済政策の基礎知識 1
2. 経済学と経済政策の基礎知識 2
3. ミクロ経済政策 1：市場への政府介入
4. ミクロ経済政策 2：公共事業と競争政策
5. ミクロ経済政策 3：外部性と公共財
6. ミクロ経済政策 4：情報の経済学と経済政策
7. マクロ経済政策 1：成長政策の理論と課題
8. マクロ経済政策 2：安定化政策の基礎と財政・金融政策
9. マクロ経済政策 3：インフレ・デフレと失業
10. マクロ経済政策 4：安定化政策の現代的課題
11. 所得再配分政策 1：所得再配分政策の基礎知識
12. 所得再配分政策 2：税制の効率性と公平性
13. 所得再配分政策 3：年金と医療政策

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

数学の知識は特に必要としない。
試験60%、レポート40%で評価する。
岩田規久男、飯田泰之、(2006)、『ゼミナール経済政策入門』、日本経済新聞社、3200円（税別）、ISBN 4-532-13310-6

参考書等

ミクロ経済学：武隈慎一、(1999)、『ミクロ経済学』、新世社

その他

マクロ経済学：吉川洋、(2001)、『マクロ経済学』、岩波書店
板書による講義形式である。

| | |
|-------|-------------------|
| 履修コード | 307901 |
| 科目名 | 簿記論 |
| 担当者名 | すずき かつひろ 鈴木 勝浩 |

講義のねらい 簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 簿記の歴史 (2) 簿記の意義 (3) 簿記の基本原則① (4) 簿記の基本原則②
- (5) 簿記の基本原則③ (6) 現金預金 (7) 商品売買① (8) 商品売買② (9) 債権債務① (10) 債権債務② (11) 手形① (12) 手形② (13) 有価証券 (14) 固定資産① (15) 固定資産② (16) 資本金と引出金 (17) 収益と費用① (18) 収益と費用 (19) 税金 (20) 補助簿① (21) 補助簿② (22) 伝票会計① (23) 伝票会計② (24) 決算手続① (25) 決算手続② (26) 決算手続③ (27) 決算手続④ (28) 財務諸表① (29) 財務諸表② (30) コンピュータと簿記

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

**成績評価の方法
教科書**

定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。

参考書等

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』（中央経済社）

その他

加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』（中央経済社）

講義の際には、電卓を持参すること。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 307601 |
| 科目名 | 経営学総論 |
| 担当者名 | 名取 修一 |

講義のねらい 企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って、経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール 前期の目標：前期では、企業経営活動を全般に渡って概観する中で、「企業とは何か」を中心に講義する。そこでは、単に企業そのものの定義や概念を理解するだけでなく、「活動体」であり「存続体」であるという視点から企業と環境の構造的、体系的関連の構図の把握を目指す。
後期の目標：前期で理解した企業活動の構造的・体系的な理解の上に立って、体系的理解を目指す。経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的な統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるような環境創りに努めたい。

履修上の留意点 受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。
成績評価の方法 受講態度（出席状況）・レポート・定期試験により評価する。

教科書等 百田義治編著『経営学 基礎』（中央経済社）
鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）、名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』（同友館）

その他 講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 307101 |
| 科目名 | 会計学総論 |
| 担当者名 | 石川 純治 |

講義のねらい 変容する現実社会のなかで会計がどのように機能しているか、といった点の学習が大切である。本講義をとおして、変容する現代の会計のトータルな理解と将来の予見に役立つことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 大きく変容する現代の会計を読み解くため、「歴史」、「理論」、「社会」の3つの視軸をとおして講義を進める。

成績評価の方法 小テスト（2回）と定期試験の総合評価。
教科書等 石川・齋藤『現代の会計』放送大学教育振興会。
その都度指示。

Ⅲ 他 学 部 履 修 科 目

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 307501 |
| 科目名 | 商学総論 |
| 担当者名 | <small>おおぶき かつお</small> 大吹 勝男 |

講義のねらい

大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実に困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。

講義の内容・授業スケジュール

(1～3) 商品、貨幣および資本 (4～7) 商品の生産過程と価値増殖の仕組み (8～16) 資本の流通過程、流通時間、販売および購買費用、商品在庫と保管費用、市場と商品の輸送、倉庫業および輸送業 (17～20) 商業資本の本質と機能、商業資本自立化の利益と根拠 (21～28) 商品買取資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本の回収・補填 (29～30) 商業的賃労働者・ホワイトカラー労働者と商業利潤

成績評価の方法
教科書

成績は期末試験により評価します。

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』梓出版社1500円

大吹勝男著『商業資本の基礎理論』梓出版社1500円

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 履修コード | 308901 |
| 科目名 | 国際経済論 |
| 担当者名 | <small>とくなが としあき</small> 徳永 俊明 |

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているのです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義社会経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは、〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済

秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義を進めます。

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点、学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行いません。)

成績評価の方法

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 履修コード | 311101 |
| 科目名 | マーケティング |
| 担当者名 | <small>をがのぶたか</small> 皆我 信孝 |

| | |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 1～2回 マーケティングの概要と問題点を指摘する。 3～9回 製品政策について学習させる。 その内容は、製品の差別化、細分化等の政策やライフサイクルとその短縮に関する政策の問題点など。なお、この間に2度ほどの小テストをする。 10～15回 価格政策について学習させる。 その内容は、差別価格や価格維持の問題などとりあげる。この間に小テストをする。 16～22回 チャネル政策について学習させる。 流通機構とメーカーの販売チャネルとの関係、大規模メーカーによる流通支配などを取り上げる。この間に小テストをする。 23～28回 促進政策について学習させる。 広告、販売員管理、サービスなどを批判検討する。この間に小テストをする。 29～30回 マーケティング・ミックスについて学習する。 |
| 履修上の留意点 | マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。 |
| 成績評価の方法 | 夏休みの課題レポート(20%) 年度末の課題レポート(20%)と平常点(講義中の小テスト評価:60%)によって評価する。 |
| 教科書 参考書等 その他 | 基本的に教科書は使用しない。 参考書は適宜紹介する。 授業方法 講義形式 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 履修コード | 311311 |
| 科目名 | 中小企業論 |
| 担当者名 | <small>よしだ けいいち</small> 吉田 敬一 |

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。 |
| 講義の内容・授業スケジュール | 講義ガイダンス(1) I 中小企業の基礎理論 I-1 中小企業の法的規定(2) I-2 中小企業の経営類型(3) I-3 中小企業の企業形態(4) I-4 日本型下請構造の特質(5～6) II 日本型下請システムの形成過程、 II-1 日本経済復活期の生産分業構造(7～8) II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化(9～10) II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立(11～12) II-4 グローバル化と日本型下請構造の改変(13～14) 講義のまとめ(15) |
| 履修上の留意点 | 中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。 |
| 成績評価の方法 | 成績評価は定期試験(前期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施しません。 |
| 教科書 参考書等 | 教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。 『中小企業白書』 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣 『世界を制した中小企業』講談社現代新書 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 311401 |
| 科目名 | 中小企業政策論 |
| 担当者名 | 吉田 敬一 <small>よしだ けいいち</small> |

講義のねらい この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール 講義ガイダンス(1)
 1 復興期の中小企業政策(2~4)
 2 高度成長と中小企業近代化政策(5~8)
 3 中小企業政策の大転換(9~11)
 4 経済のグローバル化と中小企業政策(12~13)
 5 中小企業と不公正取引問題(14)
 講義のまとめ(15)

履修上の留意点 中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法 成績評価は定期試験(後期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施します。

教科書 教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。

参考書等 『中小企業白書』
 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房
 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版
 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣
 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

| | |
|-------|-----------------------------|
| 履修コード | 311701 |
| 科目名 | 人口論 |
| 担当者名 | 森岡 仁 <small>もりおか じん</small> |

講義のねらい 本講義は経済人口学の立場から、経済と人口の相互依存関係を理論的、実証的に論ずる。マルサスの人口波動理論に始まり、出生力の経済学に至る理論篇から、現在わが国に進行する少子高齢化人口減少の実状とその経済に及ぼす影響を追及する実証篇まで、人口がいかにわれわれにとって身近な問題を提起しているかを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1~8) 経済人口学とは何か、A.スミスの人口論、T.R.マルサスの人口波動理論、K.マルクスの相対的過剰人口論、J.S.ミルの人口論、E.キャナンの適度人口論、J.M.ケインズの過少人口論、発展途上国の過剰人口問題、(9~13) 人口転換論、出生力の経済学の先駆者H.ライベンシュタイン、G.S.ベッカーの出生力の経済学、R.イースターリンの出生力理論、出生力理論の統合、(14~16) 第2次大戦直後の日本の過剰人口問題、経済の高度成長と人口要因、人口移動、(17~25) 人口高齢化とは何か、人口高齢化の諸指標、日本の人口高齢化、人口高齢化と従属負担、人口高齢化と貯蓄行動、人口高齢化と労働力、人口高齢化と社会保障、人口高齢化と所得再分配、所得再分配の世代間摩擦、(26~29) 少子化とは何か、家族政策、人口減少と技術進歩、人口減少と資源・環境、(30) 人口政策。

履修上の留意点 近年大きな関心事になっている人口高齢化や少子化、それに人口減少に関する知識をどのような手段を通じてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法 学年末の定期試験。追試験も実施する。

教科書 大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論)1981年2800円。1033-330172-3177。大淵寛・森岡仁編『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年2800円。4-562-09112-6

参考書等 大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送協会)1997年

京極・高橋編『日本の人口減少社会を読み解く』(中央法規)2008年、2200円。

その他 授業方法:講義

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 312211 |
| 科目名 | 人的資源管理論 a |
| 担当者名 | 堀 龍二 |

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

a（前期）では、主に、わが国企業が求める人材像の変化および人的資源管理の基本理念の変化を、企業を取り巻く環境の変化と関わらせて考察します。概略としては、グローバリゼーションとIT革命、さらには新自由主義に基づく規制緩和といった環境の変化が、労働の質や労働市場の構造を変化させ、それに対応して企業の人的資源管理の基本理念が変化していることを具体的に検討し、それが労働者の働き方にどのような影響を与えているかという時代状況を把握することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の順序にそって進める予定ですが、変更することもあります。
 (1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2) 人事労務管理論から人的資源管理論へ、
 (3～5) 求められる人材像の変化、(6～8) 年功主義と能力主義、(9～10) 成果主義、(11～15) 経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

**履修上の留意点
成績評価の方法**

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。
 出席(10%)、小レポート(20%)、前期定期試験(70%)を総合して評価します。追試験は実施しません。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

木元進一郎監修『人間らしく働く』(泉文堂、2008年)。その他、講義中に適宜紹介する。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | 312221 |
| 科目名 | 人的資源管理論 b |
| 担当者名 | 堀 龍二 |

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

b（後期）では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するか、やる気をどう引き出し、どう育てるのかといった問題を取り上げます。具体的には、人事評価や賃金システムのあり方、職務割当や仕事の与え方、キャリア形成のあり方などが、成果主義時代にどのように変化してきているかという問題を考察します。いま、わが国企業は激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の有効活用の新たな方法を模索しています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って以下の構成で進める予定ですが、変更することもあります。
 (1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2～4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価(5～7) 賃金システムの変化、(8～9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11～12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンployヤビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

**履修上の留意点
成績評価の方法**

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。
 出席(10%)、小レポート(20%)、後期定期試験(70%)を総合して評価します。追試験は実施しません。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

木元進一郎監修『人間らしく働く』(泉文堂、2008年)。その他、講義中に適宜紹介する。

| | |
|-------|-------------------------------|
| 履修コード | 312611 |
| 科目名 | 社会思想史 a |
| 担当者名 | <small>あべ ひろし</small> 阿部 弘 |

| | |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講義のねらい | 「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。 |
| 講義の内容・ 授業スケジュール | 「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程 「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。 さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方であった。 近代的な「経済学」の成立は、ヨーロッパ的な「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後登場してくる「プロレタリアート」が、「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていく。 |
| 履修上の留意点 | 講義は15回であるので、次のスケジュールになる。 第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開（01-05回） 第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程（05-12回） 第3章：現代の経済的諸問題（13-15回） この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる： 1 出席の確認（授業中に適宜実施される） 2 3回のレポートの作成 |
| 成績評価の方法 | 「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。 |
| 教科書 | 阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983 |
| 参考書等 | 阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009 適宜授業中に指定する。 |

| | |
|-------|---------|
| 履修コード | 312621 |
| 科目名 | 社会思想史 b |
| 担当者名 | 阿部 弘 |

講義のねらい

私たちが何気なしに用いている「市民」という概念が私たち自身の「社会」との関わりのなかでの概念であり、そして、この「市民」・「市民社会」の成り立ちと共に「経済学」もまた形成されるのであるが、それは「国家」的なシステムの構築と共にあることを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それ自体をコスト原則で規定していった、「格差社会」なるもの作り上げて、それをさも「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。

そこでこの講義体系では「経世済民」論の成立過程そしてその本質と現代へつながっていく要素を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

講義は15回であるから、つぎのようなかたちになる：

- 第1章：「経世済民」思想（01-05回）
- 第2章：「経世済民論」と「経済学」（06-12回）
- 第3章：「経世済民論」と現代（13-15回）

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 3回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試試験」等は行わないので注意して欲しい。

**教科書
参考書等**

阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009
適宜授業中に指定する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 324201 |
| 科目名 | 法思想史 |
| 担当者名 | 高橋 洋城 |

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわなければならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景的世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んで講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 326801 |
| 科目名 | 倒産処理法 |
| 担当者名 | 鈴木 貴博 |

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

破産法を中心に倒産処理法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。
倒産処理手続は、債務者・債権者・担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜し、債権者の平等な取扱いや、破産者の再起更生、社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、実体法の規定に配慮しつつ、手続の基準として多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような様々な実体的法律関係の修正・処理のための法制度の特徴と概要を学んでいく。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産手続開始申立てとその効果
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 破産管財人の法的地位
7. 財団債権・取戻権
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪
10. 消費者倒産

履修上の留意点

民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みか履修中であることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法
教科書
参考書等

簡単なレポートと学期末試験により評価される。
徳田和幸『プレップ破産法』（弘文堂、第4版、2008年）¥1,260 ISBN978-4-335-31309-7
①伊藤眞『破産法・民事再生法』（有斐閣、2007年）¥6,615 978-4-641-13498-0
②山本和彦・中西正・笠井正俊・沖野眞巳・水元宏典『倒産法概説』（弘文堂、2006年）¥4,725 978-4-335-35373-4 C3032
③山本和彦『倒産処理法入門』（有斐閣、第3版、2008年）¥2,205 978-4-641-13534-5
④青山善充・伊藤眞・松下淳一『倒産判例百選』（有斐閣、第4版、2006）¥2,520 978-4-641-11484-6

| | |
|-------|--------|
| 履修コード | 332901 |
| 科目名 | 日本経済論 |
| 担当者名 | 羽鳥 茂 |

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムはそれらのうちの1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法
教科書
参考書等

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。
青木昌彦・奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）、1996年、3200円
鶴光太郎『日本の経済システム改革』2006年、2600円
その他、講義の進み具合に応じて適時紹介します。

IV 随 意 科 目

| | |
|-------|----------|
| 履修コード | — |
| 科目名 | 英語（海外演習） |
| 担当者名 | — |

**講義の内容・
授業スケジュール**

この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

**成績評価の方法
その他**

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

| | |
|-------|-------------|
| 履修コード | — |
| 科目名 | フランス語（海外演習） |
| 担当者名 | — |

**講義の内容・
授業スケジュール**

この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

| | |
|-------|-----------|
| 履修コード | — |
| 科目名 | 中国語（海外演習） |
| 担当者名 | — |

**講義の内容・
授業スケジュール**

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

法学部「YeStudy」利用予定科目一覧

(2009年1月28日現在)

「YeStudy」とは駒澤大学eラーニングシステムの愛称です。

2009年度「YeStudy」の利用を予定している科目の一覧です。

「YeStudy」履修科目の利用については、授業中に教員より説明があります。

| 科目名 | 担当教員 | 該当学科 | 科目名 | 担当教員 | 該当学科 |
|-------------|-------|-------------------------|-------------|-------|---------------|
| 新入生演習 | 中濱義章 | 法A1選 | 日本語文化研究Ⅱ | 萩原義雄 | 政234選 |
| 新入生演習 | 藤本茂 | 法A1選 | フレッシュマンセミナー | 萩原義雄 | 政1選 |
| 新入生演習 | 高橋洋城 | 法A1選 | 日本語文化基礎 | 萩原義雄 | 政12選 |
| 法哲学 | 高橋洋城 | 法A・B34選 | 日本語文化基礎 | 湯浅陽子 | 政12選 |
| 法思想史 | 高橋洋城 | 法A・B2選 | 仏教と人間 | 菅原壽清 | 政1必 |
| 演習Ⅰ・Ⅱ | 高橋洋城 | 法A・政34選 | 宗教学 | 菅原壽清 | 全学科選 |
| 基礎演習 | 村木保久 | 法A2選 | 経済学 | 矢野浩一 | 法A・政選 |
| 基礎演習 | 和知恵一 | 法A2選 | 統計学 | 新行内康慈 | 法A・政・法B選 |
| 債権各論 | 青野博之 | 法A・B2選 | 統計学 | 新行内康慈 | 法A・法B選 |
| 債権総論 | 中田英幸 | 法A2選必 | 地球科学 | 澤口隆 | 法A・政・法B選 |
| 債権総論 | 中田英幸 | 法B234選必 | コンピュータ基礎 | 澤口隆 | 法A・政選 |
| 登記法 | 田沼浩 | 法A・B34選 | コンピュータ基礎 | 澤口隆 | 法B選 |
| 税法(A・B) | 中江博行 | 法A・B34選 | 宇宙科学 | 篠原正雄 | 法A・政選 |
| 憲法 | 高畑英一郎 | 法A1必 | 現代西欧経済論 | 工藤芽衣 | 他学部履修科目 |
| 憲法 | 高畑英一郎 | 政1必 | 医療経済学 | 松元和敏 | 他学部履修科目 |
| 政治思想史 | 清滝仁志 | 政1234選必 | 英会話Ⅰ | セイジ、K | 法A・政選 |
| 演習Ⅰ | 清滝仁志 | 政3選 | 英会話Ⅱ | セイジ、K | 全学科(7LB除)234選 |
| 演習Ⅱ | 清滝仁志 | 政4選 | 英語LLⅡ | セイジ、K | 全学科(7LB除)234選 |
| 基礎演習 | 清滝仁志 | 政2選 | スペイン語ⅠA | 齊藤明美 | 法A・政1 |
| 外書講読Ⅰ・Ⅱ(英書) | 清滝仁志 | 政34選 | スペイン語ⅡB | 齊藤明美 | 政2 |
| 比較政治学 | 三竹直哉 | 政・政(国)234選必 政(行)234選 | スペイン語ⅠA | 齊藤明美 | 全学科(7LB除)234 |
| 政治学概論 | 三竹直哉 | 政1必 | スペイン語ⅡA | 齊藤明美 | 法A・政34 |
| 外書講読Ⅰ・Ⅱ(英書) | 三竹直哉 | 政34選 | スペイン語ⅠB(選) | 齊藤明美 | 法A・政選 |
| 基礎演習 | 三竹直哉 | 政2選 | ロシア語ⅠA | 杉山秀子 | 法B234 |
| 演習Ⅰ・Ⅱ | 三竹直哉 | 法A・政34選 | ロシア語ⅠB | 廣田英靖 | 法B1 |
| 人文地理学 | 伊藤修一 | 法A・政選 | ロシア語ⅡA | 杉山秀子 | 法A2 |
| 文学 | 萩原義雄 | 法A・政・法B選 | ロシア語ⅡA | 杉山秀子 | 法B34 |
| 文学 | 杉山秀子 | 法A・政・法B選 | ドイツ語ⅠB | 堀内美江 | 法A・政1 |
| 実務表現 | 萩原義雄 | 法A・政・法B選 | 日本語Ⅳ(a・b) | 鈴木美希 | 外国人留学生・帰国生対象 |
| 日本語文化研究Ⅰ | 萩原義雄 | 政選 | 日本事情Ⅵ | 三竹直哉 | 外国人留学生・帰国生対象 |

※「YeStudy」に関する問い合わせは、総合情報センター 情報メディア係(1号館3階)で受付けております。

No.

Name